

2019年度 夏期スクーリングの手引

第1期	8月 7日(水)～8月 9日(金)
第2期	8月 10日(土)～8月 12日(月)
第3期	8月 13日(火)～8月 15日(木)
第4期	8月 16日(金)～8月 18日(日)
第5期	8月 19日(月)～8月 21日(水)

スクーリング受講手続日程

①	受講申込開始日 (ポータルサイト)	6/14(金)
②	履修登録締切日 併用レポート提出締切日(必着) 受講申込締切日	6/28(金) <u>ポータルサイト【24:00まで】</u> <u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u> <u>郵送の場合【必着】</u>
③	受講資格審査 通知予定日	7/16(火) ポータルサイトに掲載します。
④	振込用紙発送予定日	7/16(火) 発送予定日から5日経過しても通知が届かない場合は会計課に連絡してください。
⑤	受講辞退手続締切日	7/23(火) <u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u> <u>郵送の場合【必着】</u>
⑥	受講料納入期限	8/ 1(木)
⑦	結果通知予定	9月上旬 ポータルサイトに掲載します。

はじめに

面接授業（スクーリング）とは、教員による直接の講義・演習・実技を受講することをいいます。その目的は、教材による在宅学修では十分に学修効果を上昇することが困難な科目の一面を補い、教育効果を高めることにあります。このような主旨・目的から、スクーリングは卒業のための必修となっています。

本学の通信教育部では、学生に多くの受講機会が得られるよう、多種多様なスクーリングを開講しています。この『手引』は、その実施要領などをとりまとめて掲載しています。

スクーリングの受講を希望する場合には、手続きの前にこの『手引』をよく読み、その指示に従って受講してください。

【所定単位とスクーリングについてお知らせ】

所定単位とは、その科目を修得するために必要な単位数のことです。

スクーリングでは、開講単位数を1単位又は2単位で開講しています。そのため、多くの講座は、所定単位の半分の開講単位数になります。したがって、**スクーリングのみを受講する場合は**、スクーリングで1回受講・合格しても1科目分の修得単位としては認められないため、所定単位を充足したことにはならず、**成績証明書、教員免許状申請用学力に関する証明書等に記載されません。**

大部分の科目において『学修要覧』にある科目の所定単位とスクーリングでの開講単位は異なります。所定単位と各スクーリングでの開講単位を十分確認してください。

【受講の調整について】

スクーリングには、十分な教育効果を得るための適正な受講者数の基準が設定されています。受講申込者数が、適正受講者数でない場合、大学側で受講の調整を行うことがあります。

調整にあたっては、「受講機会の均等」の観点から、各申込者の受講調整履歴、スクーリング受講状況、単位修得状況、在学年数等を総合的に判断し、対象者を確定しますので、あらかじめご了承ください。

なお、講座の適正人数は、おおよそ下表の人数を目安としますが、講座の特性、スクーリングの形態、スクーリング会場の試験時定員数、パソコン台数及び受講学生の履修要件等により、下表によらない場合もあります。

講 座	受講者数の上限	受講者数の下限
外国語科目講座	65名	5名
演 習 講 座	30名	5名
上記以外の講座	100名	10名

〔調整方法等〕

- 1 希望した講座が受講者数の上限を超えた場合、同時期に開講されている同じ科目の講座に振り分けることがあります。
- 2 超過人数の状況により新たに講座を増設し、受講者を分割して開講する場合があります。
- 3 上記1・2の方法で対応できない場合、調整対象者は当該講座の受講ができません。
- 4 受講申込者数が下限に満たない場合、開講を取りやめることがあります。
- 5 受講許可講座以外の講座の受講は認められません。また、一度決定した受講許可講座の追加・変更はできません。

目 次

I	開講日程・会場		VII	受講準備	
1	開講日程及び会場	2	1	使用教材の入手	176
II	講座の選定		2	「休暇依頼状(勸奨状)」と「出席証明書」 の発行	178
1	受講講座の選定	7	3	通学定期券の購入(通学証明書の発行)	178
2	「教職に関する科目」における新・旧科目に ついて	8	4	「学割証」の発行について (長距離区間乗車時の学生割引制度)	179
3	「開講講座表」の見方	9	VIII	受講及び試験	
III	開講講座表・講座内容(シラバス)		1	講座の受講	182
	・開講講座一覧表	10	2	試験の受験	182
◆	開講講座表及び講座内容(シラバス)		3	スクーリング結果の確認	183
	・第1期	14	IX	受講期間中の学生生活	
	・第2期	44	1	受講にあたっての諸注意	184
	・第3期	72	2	「千代田区生活環境条例」について	185
	・第4期	102	3	緊急時の避難行動の指示について	185
	・第5期	130	X	オープン受講	187
IV	講座の申込方法		XI	各種用紙	
1	受講手続の流れ	160		「為替」送付時の注意事項	190
2	履修登録をする	161		履修届	191
3	講座を申し込む	164		夏期スクーリング受講届	193
4	受講講座の変更・追加 (用紙で変更を行う場合)	168		「博物館実習I」受講届	195
V	申込講座の許可と不許可			オープン受講届(在学生用)	197
1	受講資格審査結果通知を確認する	169		オープン受講届(社会人等(卒業生用))	199
2	講座振り分け及び受講不許可について	170		スクーリング受講講座変更届	201
3	許可講座を辞退する	171		夏期スクーリング受講申込辞退願	203
VI	受講料の納入			教材配本申請書	205
1	受講料	172		教材購入用紙(丸沼書店用)	207
2	振込用紙発送予定日	172		教材購入願(通信教育教材用)	209
3	納入期限	172		通学定期乗車券発行控	211
4	納入方法	172		学割証交付願	213
				証明書交付願	215
				休暇依頼状(勸奨状)申込書	217
			■	付録	
				交通案内・校舎案内	219

I 開講日程・会場

1 開講日程及び会場

① 開講日程

夏期スクーリングは、「3日間集中講義型」で行われます。

第1期～第5期の全5期で開講し、最多で合計5講座まで受講できます。

第1期 8月 7日(水)～8月 9日(金)

第2期 8月 10日(土)～8月 12日(月)

第3期 8月 13日(火)～8月 15日(木)

第4期 8月 16日(金)～8月 18日(日)

第5期 8月 19日(月)～8月 21日(水)

授業時間各日9：00～17：30（時間内に昼休みを設けます）

		第1期			第2期			第3期			第4期			第5期		
		8月			8月			8月			8月			8月		
		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
授 業 時 間	9：00	授 業 1 日 目	授 業 2 日 目	授 業 3 日 目	授 業 1 日 目	授 業 2 日 目	授 業 3 日 目	授 業 1 日 目	授 業 2 日 目	授 業 3 日 目	授 業 1 日 目	授 業 2 日 目	授 業 3 日 目	授 業 1 日 目	授 業 2 日 目	授 業 3 日 目
	17：30			試 験			試 験			試 験			試 験			試 験

② 会 場

(1) 授業校舎

授業は主として日本大学法学部校舎で行います。ただし、「体育実技Ⅰ・Ⅱ」、「博物館実習Ⅰ」は文理学部校舎、「教職実践演習②」は通信教育部校舎（市ヶ谷キャンパス）で行います。

【講義科目・演習科目】

名 称	日本大学法学部
所 在 地	東京都千代田区神田三崎町2-3-1
交 通 案 内	水道橋駅から徒歩5分 神保町駅から徒歩7分

※授業講堂は本学通信教育部ポータルサイトにて事前にお知らせします。

(2) 文理学部で開講する講座（上記の授業校舎と異なる場所で開講する講座）

ア 「保健体育講義Ⅰ」（第1期）について

a 開講日程

8月10日(土)・8月11日(日) 10：00～16：30

※他の科目と開講日程及び時間が異なりますので、留意してください。

b 受講会場

日本大学文理学部3号館 予定（決定次第ポータルサイトで通知します。）

c 「保健体育講義Ⅰ」受講上の注意事項

・「教職実践演習②」を受講予定の方は日程が重複するため、受講できません。

イ 「体育実技 I・II」(第1期) について**a 開講日程**

8月7日(水)～9日(金) 9:00～17:30

b 受講会場

日本大学文理学部百周年記念館(後掲「案内図」参照)

c 持参物

- ・運動できる服装(トレーニングウェア等)
- ・室内運動靴
- ・健康保険証
- ・筆記用具
- ・夏期スクーリングの手引
- ・スクーリング受講資格審査結果通知書

d 集合場所・集合時間

日本大学文理学部総合体育館入口

※授業開始の15分前から受付を開始します。

※遅くとも授業開始の5分前には受付を済ませた後、運動のできる服装に着替え、時間厳守で受講会場に集合してください。

※更衣室の使用はできますが、ロッカーの使用及び更衣室に荷物を置いておくことはできませんので、荷物を持って会場に集合してください。

e 受講について

体育実技は卒業必修科目となっていますが、疾病その他身体に関する理由で体育実技への参加が困難であると思われる方は、**受講申込前(「受講届」提出前)**に教務課に連絡してください(TEL 03-5275-8911)。

f 「体育実技」受講上の注意事項

- ・ジーンズや普段着での受講はできません。
- ・更衣室は、総合体育館にあります。
- ・貴重品は、各自で管理してください。
- ・文理学部周辺は住宅街で付近に食事をする場所が少なく、また、当日、文理学部内の食堂は利用できないため、食事はなるべく持参することをお勧めします。

ウ 「博物館実習 I」(第1期) について

「博物館実習 I」は、他の講座と異なり文理学部校舎で受講します。また、以下の受講条件等を確認の上、申し込んでください。

a 開講日程

8月13日(火)～15日(木) 9:00～17:30

b 受講会場

日本大学文理学部1号館1階「学芸員課程実習室」

※「学芸員課程実習室」の場所は受講許可通知時に案内します。

c 受講条件(対象者)

- 1 3学年以上で、受講申込の時点で「生涯学習論」、「博物館概論」、「博物館経営論」及び「博物館資料論」の4科目をすでに修得済みであること。
- 2 これまで「博物館実習 I」を受講していないこと。

d 受講申込

- 1 巻末の「[博物館実習Ⅰ] 受講届」にて申し込んでください。
巻末の「夏期スクーリング受講届」及びポータルサイトからは申し込みできません。
- 2 別途、履修登録が必要です。
- 3 表紙記載の事務期限までに上記手続を行ってください。

e 受講許可

- 1 受講申込者のうち、前述の「c 受講条件」を充足しているか審査します。
- 2 受講許可者には、「博物館実習Ⅰ」専用の「受講許可通知書兼納金票」を送付します。

※受講定員は20名です。受講許可者数が受講定員を超えた場合は、別の開講期に増設して開講する予定です。

なお、増設して開講する場合、講座は大学側で指定します。あらかじめご了承ください。

f 受講料の納入

受講希望者は、以下のいずれかの方法で、納入期限までに受講料を納入してください。

【受講料】20,000円（スクーリング受講料10,000円、諸経費10,000円）

※他の講座と金額が異なりますので、注意してください。

【納入期限】8月1日（木）

※納入期限までに納入がない場合は、受講辞退とみなします。

【納入方法】

受講希望者は、以下のいずれかの方法で、納入期限までに受講料を納入してください。

- 1 窓口で手続きを行う場合
納金票と共に会計課窓口にて現金で納入してください。
- 2 郵送で手続きを行う場合
 - ① 定額小為替又は普通為替で納入する場合
納金票と共に簡易書留にて教務課宛に郵送してください。
その際、返信用封筒（住所・氏名を明記の上、82円切手貼付）を同封してください。
 - ② 現金で納入する場合
納金票と共に現金書留にて会計課宛に郵送してください。
その際、返信用封筒（住所・氏名を明記の上、82円切手貼付）を同封してください。

g 注意事項

- 1 当日は、動きやすい服装で受講してください。
- 2 講義内容の詳細は、シラバスを参照してください。
- 3 第4期に他の講座の受講申込がある場合、「博物館実習Ⅰ」は受講できません。ご注意ください。

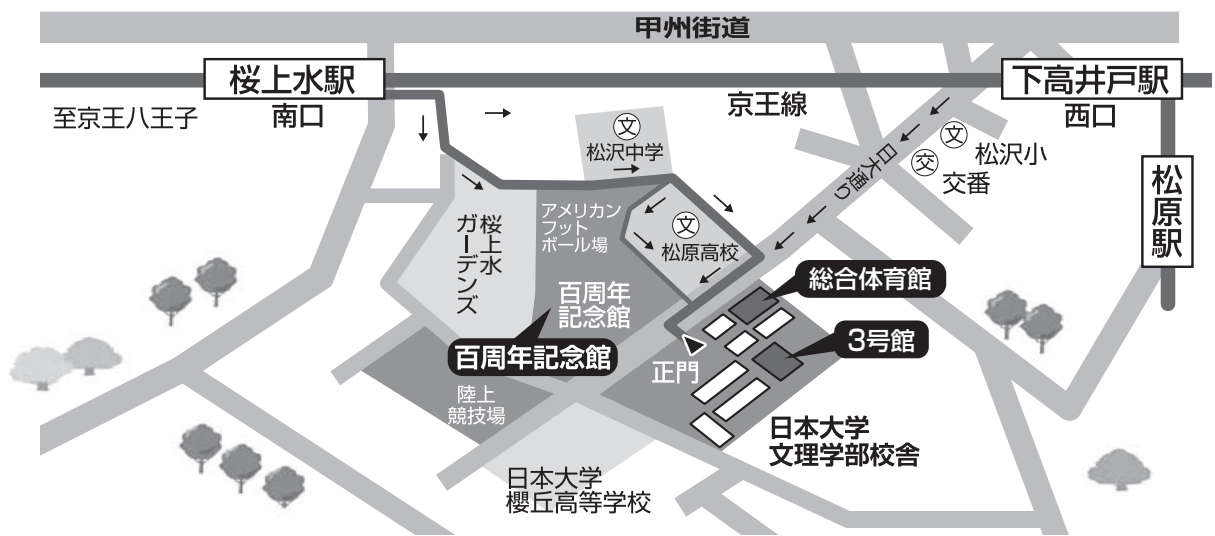
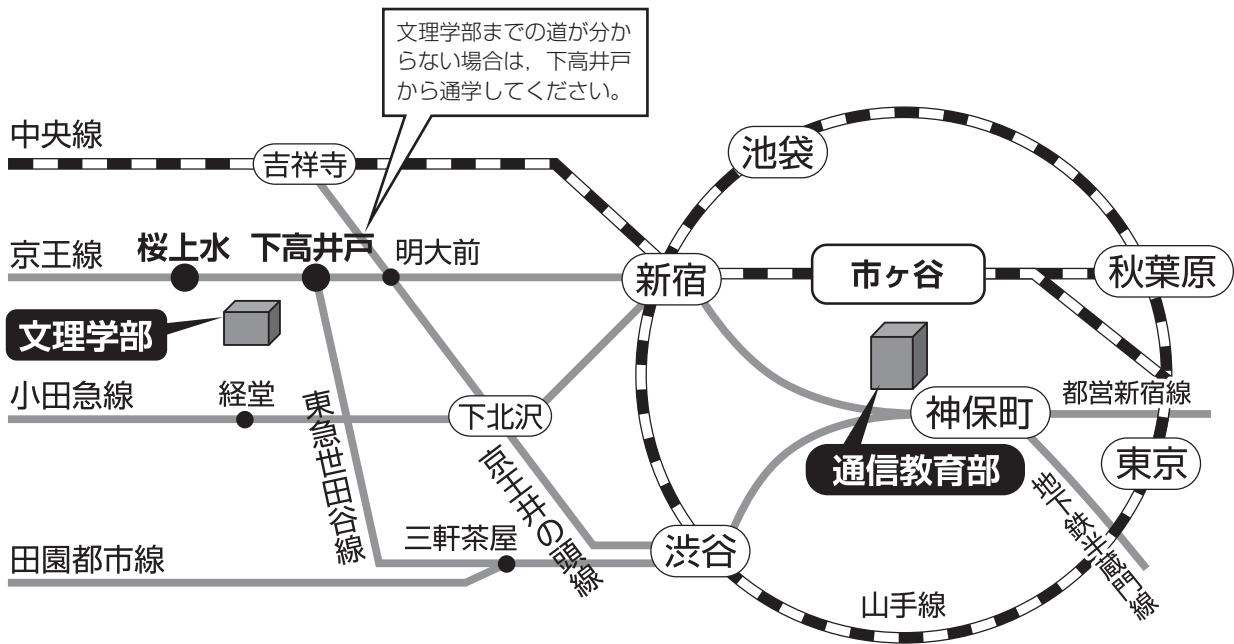
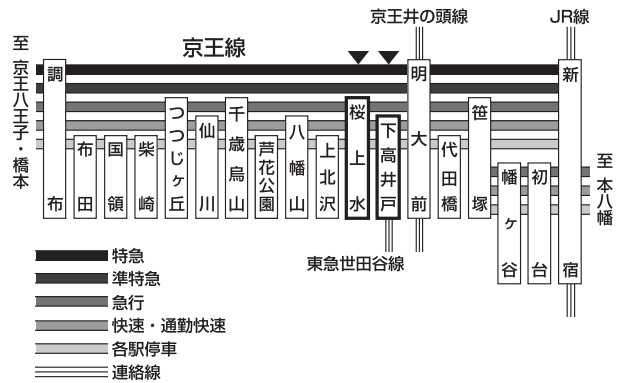
〈文理学部案内図〉

住 所

東京都世田谷区桜上水 3-25-40

交通案内

京王線下高井戸駅あるいは桜上水駅下車
徒歩約 10 分



2019年度教職実践演習②（8月10日，11日開講）の受講申込みについて

1 教職実践演習とは

教職実践演習とは，2008年の教育職員免許法施行規則の一部改正に伴い，2013年度から開講となったもので，教職課程の他の授業科目の履修や，教職課程外での様々な活動を通じて，教員として最小限必要な資質能力が形成されたかを最終的に確認するものであり，いわば全学年を通じた教職課程の「学びの軌跡の集大成」として位置づけられるものです。

2 開講日程及び会場

- ① 開講日程：2019年8月10日（土），11日（日）※2日間とも出席が必要です。
- ② 会場：日本大学通信教育部校舎（市ヶ谷キャンパス）

3 受講対象者

以下①・②の両方に該当する者。

- ① 対象となる入学年度・入学学年

入学年度	入学形態			
2010年度	1学年入学			
2011年度	//	2学年編(再)入学		
2012年度	//	//	3学年編(再)入学	
2013年度以降	//	//	//	4学年編(再)入学

- ② 「教職に関する科目」第5欄「総合演習」に該当する科目（※）を未修得。

【受講が不要な者】

2008年の教育職員免許法施行規則の改正前の旧課程適用者で，既に「教職に関する科目」の，第5欄「総合演習」に該当する科目（※）を本学もしくは出身大学で修得済みである者。

※本学では，2012年度までに開講していた「教職課題演習」及び「教職総合演習」。

4 受講料

【受講料】10,000円（スクーリング受講料）

【納入期限】8月1日（木）

教職実践演習②専用の「振込用紙」にて上記納入期限までに納入してください。

5 受講手続

「教職実践演習②」は，巻末の「受講届」では申し込みできません。手続き方法の詳細をポータルサイトに掲載していますので，そちらを参照の上，手続きしてください。

また，夏期スクーリング第2期の他の科目と重複して申し込むことはできません。

1 受講講座の選定

① 受講講座を選ぶ

夏期スクーリングでは、3日間の集中講義を、各期につき、1講座（最大5講座）申込みことができます。各自、入学時に配布された『学修要覧』やコース履修者は『コース履修の手引』を参照し、自分が履修しなければならない科目を把握し、学修計画を立てた上で受講申込みをしてください。

② 受講制限について

すべての方がすべての講座を申し込めるものではありません。自分の学年・学科（専攻）及びその他の理由により申し込むことができない講座があります。以下、それぞれの受講制限を掲載しますので、必ず確認の上、申込みしてください。

(1) 配当学年による受講制限

ア 1 学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」と記載されている講座のみ受講可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

イ 2 学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」又は「2年」と記載されている講座の受講が可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

ウ 3・4 学年生

配当学年による受講の制限はありませんが、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

(2) 科目履修生の受講制限

入学時の「履修申請書」で履修登録した科目に該当する講座のみ受講できます。

なお、科目履修生は「スクーリング併用試験方式」での申込み・受講はできませんので注意してください。

(3) シラバスによる受講制限

シラバスに、過去のスクーリングと積み重ね不可の記載がある場合、受講できません。

(4) その他の理由による受講制限

以下のいずれかに該当する場合、その講座は受講できません。

ア 既に所定単位を修得している科目及び単位修得方式が確定している科目を充当科目とする講座の受講

イ 受講の調整による受講制限

一部の講座については、申込希望者が講座の適正人員を超える場合があり、この場合、大学側で受講の調整を行います。

調整により、受講申込講座と異なる講座での受講を許可する場合や、受講不許可となる場合があります。

そのため、必ずポータルサイト上の「スクーリング・メディア授業情報一覧」にて、許可された講座を受講してください（受講許可講座と異なる講座の受講は、認められません）。

※受講届提出者は、「受講資格審査結果通知」を確認してください。

2 「教職に関する科目」における新・旧科目について

2011年度に下表の「教職に関する科目」4科目については、科目名称が変更となり、2011年度1学年入学者から学年進行により順次、新科目名での履修となります。

スクーリングの開講にあたっては、同一講座で新・旧両方の科目を充当科目として開講しますので、下表により適用となる充当科目を確認の上、受講申込みをしてください。

旧科目名		新科目名	
T10300	教育の思想	T10200	教育原論
T21400	道德教育の研究	T21300	道德教育の理論と方法
T21600	特別活動の研究	T21500	特別活動論
T30700	教育カウンセリング論	T30600	教育相談
旧科目名での履修対象者		新科目名での履修対象者	
右記以外の学生	入学年度	入学形態	
	2011年度	1学年入学生	
	2012年度	1学年入学生 2学年編入・再入学生 科目履修生	
	2013年度	1学年入学生 2学年編入・再入学生 3学年編入・再入学生 科目履修生	
	2014年度以降	全入学生	

3 「開講講座表」の見方

「開講講座表」の見方

1	講座コード	スクーリング開講講座を識別するために講座ごとに付された固有のコード番号です。 「受講届」の「講座コード」欄（4桁）には、この講座コードを記入してください。	
2	開講講座名	講座の名称です。原則、科目名と同一ですが、「英語」等のように複数開講される講座については、講座名の後ろにアルファベット等の記号を付して各講座を識別します。	
3	担当講師名	当該講座を担当する教員の氏名です。	
4	開講単位数	受講講座の合格により修得できる単位数です。	
5	充当科目（科目コード、科目名）	受講講座の合格により成績評価の対象となる科目コードと科目名です。 スクーリングの開講単位は「講座」であり、その「講座」に対してどの「科目（科目コード）」で受講するか（充当させるのか）を申告します。 多くの講座の充当科目は1講座につき1科目ですが、「英語」や「演習科目」のように受講者の単位修得状況により充当科目の選択が必要な講座もあるので、充当科目の選定は慎重に行ってください。 「受講届」の「充当科目コード」欄（6桁）には、この科目コードを記入してください。	
6	併用	「スクーリング併用試験方式」による受講の対象講座か否を記載しています。「スクーリング併用試験方式」による受講ができない講座には、「×印」が記載されています。	
7	制限・注意	配 当 学 年	ここに記載されている学年に達していない場合は受講できません。 学部・学科（専攻）により受講可能な学年が異なる場合は、「受講条件」欄に記載されています。
		受 講 条 件	その他の受講制限及び諸注意等がある場合に記載されています。
8	オープン受講	オープン受講ができない講座には「×印」が記載されています。 記載がない講座はオープン受講申込可です。	

Ⅲ 開講講座表・講座内容（シラバス）

開講講座一覧表

第1期 8/7(水)～8/9(金)			第2期 8/10(土)～8/12(月)		
講座コード	開講講座名	担当講師名	講座コード	開講講座名	担当講師名
COA1	総合科目Ⅰ～Ⅵ	鍋本 由徳	COB1	哲学	成田 正人
COA2	英語A	寒河江 融	COB2	英語D	和泉 周子
COA3	英語B	佐藤 恵一	COB3	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	志田 慎
COA4	英語C	マイケル ギルロイ	COB4	保健体育講義Ⅰ	高橋 正則
COA5	中国語Ⅲ・Ⅳ	稲葉 明子	COB5	商法Ⅰ	小菅 成一
COA6	体育実技Ⅰ・Ⅱ	高橋 正則	COB6	刑事訴訟法	南部 篤
COA7	憲法	名雪 健二	COB7	国文学講義Ⅱ（中古）	笹生 美貴子
COA8	行政法Ⅰ	西原 雄二	COB8	国文学講義Ⅳ（近世）	山崎 泉
COA9	知的財産権法	藤田 晶子	COB9	漢文学Ⅰ	本間 直人
COAA	政治学原論	吉野 篤	COBA	英語音声学	森 晴代
COAB	国文学基礎講義	近藤 健史	COBB	英語文学概説 / 英米文学概説	新井 英夫
COAC	国語音声学	田中 ゆかり	COBC	スピーチコミュニケーションⅡ	ダレ ハー ディ
COAD	イギリス文学史Ⅱ	猪野 恵也	COBD	英語学演習A	小澤 賢司
COAE	英語史	秋葉 倫史	COBE	英米文学演習B	堀切 大史
COAF	英作文Ⅱ	アレックス ブラウン	COBF	科学哲学	江川 晃
COAG	西洋古典	福島 昇	COBG	哲学演習A	興津 香織
COAH	スピーチコミュニケーションⅠ	パトリック マッコイ	COBH	西洋史概説 / 西洋史概論	馬 淵 彰
COAJ	英米文学演習A	閑田 朋子	COBJ	東洋史特講Ⅰ	須江 隆
COAK	哲学特殊講義	小山 英一	COBK	財政学総論 / 財政学	金子 光
COAL	日本史演習Ⅰ・Ⅱ	坂口 太助	COBL	情報概論	戸塚 英臣
COAM	東洋史演習Ⅰ・Ⅱ	高綱 博文	COBM	貿易論	岡田 直己
COAN	経済学史 / 経済学説史	高橋 宏幸	COBN	交通論	針谷 莊司
COAP	西洋経済史	上村 能弘	COBP	発達と学習	野村 康治
COAQ	情報概論	中村 典裕	COBQ	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	今泉 朝雄
COAR	マーケティング	雨宮 史卓	COBR	国語科教育法Ⅲ	野澤 拓夫
COAS	現代教職論	杉森 知也	COBS	文化人類学	服部 慶巨
COAT	かな書法	山本 まり子		教職実践演習②	
COAU	生徒指導・進路指導論	上野 昌之			

第3期 8 / 13(火)~8 / 15(木)		
講座コード	開講講座名	担当講師名
COC1	歴史学	下川 雅弘
COC2	英語E	天野 暁子
COC3	英語F	アレックス ブラウン
COC4	英語基礎	上島 美佳
COC5	商法Ⅲ	大久保 拓也
COC6	民事訴訟法	吉田 純平
COC7	西洋政治史	渡邊 容一郎
COC8	国文法	阿久澤 忠
COC9	国文学講義Ⅵ (現代)	尾形 大
COCA	英作文Ⅰ	ダレル ハーディ
COCB	英文法	山岡 洋
COCC	英米文学特殊講義	新井 英夫
COCD	英語学演習B	田中 竹史
COCE	英米文学演習C	堤 裕美子
COCF	日本思想史Ⅰ	島田 健太郎
COCG	哲学演習B	長谷川 武雄
COCH	日本史概説 / 日本史概論	鍋本 由徳
COCJ	西洋史演習Ⅰ・Ⅱ	藤井 信行
COCK	国際経済論	田宮 憲
COCL	地方財政論	金子 林太郎
COCM	労働経済論	村上 英吾
COCN	保険総論	岡田 太
COCP	経営学	海保 英孝
COCQ	教育制度論	北野 秋男
COCR	社会科・公民科教育法Ⅱ	壽福 隆人
COCS	英語科教育法Ⅲ	吉良 文孝
	博物館実習Ⅰ	折茂 克哉

第4期 8 / 16(金)~8 / 18(日)		
講座コード	開講講座名	担当講師名
COD1	心理学	須永 範明
COD2	英語G	齊藤 雄介
COD3	英語H	山下 登子
COD4	フランス語Ⅰ・Ⅱ	大庭 克夫
COD5	民法Ⅴ	山川 一陽
COD6	法哲学	高須 則行
COD7	日本政治史	石川 徳幸
COD8	国文学概論	武藤 純子
COD9	国文学演習Ⅰ~Ⅵ	長谷川 正江
CODA	イギリス文学史Ⅰ	鈴木 ふさ子
CODB	英語学概説	真野 一雄
CODC	英語学演習C	黒滝 真理子
CODD	英米文学演習D	桶田 由衣
CODE	哲学基礎講読	中澤 瞳
CODF	倫理学基礎講読	関谷 雄磨
CODG	日本史入門	関 幸彦
CODH	西洋史入門	後藤 秀和
CODJ	経済原論 / 経済学原論	陸 亦群
CODK	租税論	鶴藤 俊英
CODL	商法	金澤 大祐
CODM	簿記論Ⅰ	林 徳順
CODN	特別支援教育概論	田尻 由起
CODP	社会科・公民科教育法Ⅰ	宇内 一文
CODQ	英語科教育法Ⅳ	小林 和歌子
CODR	教育相談 / 教育カウンセリング論	望月 由起
CODS	博物館経営論	中野 照男

第5期 8 / 19(月)～8 / 21(水)

講座コード	開講講座名	担当講師名
COE1	政治学	関根 二三夫
COE2	英語J	小田井 勝彦
COE3	英語V	島本 慎一郎
COE4	TOEIC	八木 茂那子
COE5	中国語I・II	泉 朝子
COE6	刑法I	西貝 吉晃
COE7	民法IV	清水 恵介
COE8	国際政治学 / 国際政治論 / 国際政治学概論	大八木 時広
COE9	国文学講義I (上代)	梶川 信行
COEA	国語学演習I～III	鈴木 功真
COEB	国文学演習I～VI	藤平 泉
COEC	アメリカ文学史	北原 安治
COED	英語学特殊講義	吉良 文孝
COEE	英語学演習D	山岡 洋
COEF	異文化間コミュニケーション概論	大庭 香江
COEG	宗教学基礎講読	富田 真浩
COEH	倫理学特殊講義	金子 佳司
COEJ	西洋史特講II	高草木 邦人
COEK	考古学演習I・II	山本 孝文
COEL	経済史総論	飯島 正義
COEM	経済政策総論 / 経済政策	周藤 利一
COEN	国際金融論	谷川 孝美
COEP	社会科・地理歴史科教育法II	宇内 一文
COEQ	英語科教育法II	隅田 朗彦
COER	地誌学 / 地誌学概論 / 地理学概論 (地誌を含む)	羽田 麻美
COES	教育課程論	滝澤 雅彦
COET	博物館情報・メディア論	小林 克

MEMO

Horizontal dotted lines for writing notes.

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

第1期

日	程	授業時間	備考
8月7日	水	各日 9:00～17:30 <最終日は試験も含む>	※時間内に昼休みを設けます。
8月8日	木		
8月9日	金		

※以下の第1期開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位数講	充 当 科 目		制 限・注 意		受オ ー プ ン 講
				科目 コード	科目名	併 用	配当 学年	
C0A1	総合科目Ⅰ～Ⅵ	鍋本 由徳	2	B101S0	総合科目Ⅰ	×	1年	<ul style="list-style-type: none"> ・Ⅰ～Ⅵのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
				B102S0	総合科目Ⅱ			
				B103S0	総合科目Ⅲ			
				B104S0	総合科目Ⅳ			
				B105S0	総合科目Ⅴ			
				B106S0	総合科目Ⅵ			
C0A2	英語 A	寒河江 融	1	C10100	英語Ⅰ		1年	<ul style="list-style-type: none"> ・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英語Ⅱ			
				C10300	英語Ⅲ			
				C10400	英語Ⅳ			
C0A3	英語 B	佐藤 恵一	1	C10100	英語Ⅰ		1年	<ul style="list-style-type: none"> ・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英語Ⅱ			
				C10300	英語Ⅲ			
				C10400	英語Ⅳ			
C0A4	英語 C	マイケルイ ギルロイ	1	C10100	英語Ⅰ		1年	<ul style="list-style-type: none"> ・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英語Ⅱ			
				C10300	英語Ⅲ			
				C10400	英語Ⅳ			
C0A5	中国語Ⅲ・Ⅳ	稲葉 明子	1	F10300	中国語Ⅲ		2年	<ul style="list-style-type: none"> ・Ⅲ、Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				F10400	中国語Ⅳ			
C0A6	体育実技Ⅰ・Ⅱ	高橋 正則	1	J101S0	体育実技Ⅰ	×	1年	<ul style="list-style-type: none"> ・Ⅰ、Ⅱのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
				J102S0	体育実技Ⅱ			

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座 コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数	充 当 科 目		制 限 ・ 注 意			受 オ ー プ ン 講
				科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
C0A7	憲 法	名 雪 健 二	2	K20100	憲 法		条件 参照	・法学部のみ1学年以上申込 可。 ・上記以外は2学年以上申込 可。	×
C0A8	行 政 法 I	西 原 雄 二	2	K30900	行 政 法 I		2年		
C0A9	知的財産権法	藤 田 晶 子	2	K31400	知的財産権法		2年		
C0AA	政 治 学 原 論	吉 野 篤	2	L20100	政 治 学 原 論		条件 参照	・政治経済学科のみ1学年以上 申込可。 ・上記以外は2学年以上申込 可。	
C0AB	国文学基礎講義	近 藤 健 史	2	M20100	国文学基礎講義		条件 参照	・国文学専攻のみ1学年以上 申込可。 ・上記以外は2学年以上申込 可。	
C0AC	国 語 音 声 学	田 中 ゆ かり	2	M31400	国 語 音 声 学		2年		
C0AD	イギリス文学史Ⅱ	猪 野 恵 也	2	N30100	イギリス文学史Ⅱ		2年		
C0AE	英 語 史	秋 葉 倫 史	2	N30300	英 語 史		2年		×
C0AF	英 作 文 Ⅱ	アレックス ブラウン	2	N30500	英 作 文 Ⅱ		2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
C0AG	西 洋 古 典	福 島 昇	2	N308S0	西 洋 古 典	×	2年		
C0AH	スピーチコミュニ ケーションⅠ	パトリック マッコイ	1	N30900	スピーチコミュニ ケーションⅠ		2年		
C0AJ	英米文学演習A	閑 田 朋 子	1	N404S0	英米文学演習Ⅰ	×	3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				N405S0	英米文学演習Ⅱ				
				N406S0	英米文学演習Ⅲ				
C0AK	哲学特殊講義	小 山 英 一	2	P31000	哲学特殊講義		2年		
C0AL	日本史演習Ⅰ・Ⅱ	坂 口 太 助	1	Q401S0	日本史演習Ⅰ	×	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ、Ⅱのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				Q402S0	日本史演習Ⅱ				
C0AM	東洋史演習Ⅰ・Ⅱ	高 綱 博 文	1	Q403S0	東洋史演習Ⅰ	×	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ、Ⅱのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				Q404S0	東洋史演習Ⅱ				
C0AN	経 済 学 史 / 経 済 学 説 史	高 橋 宏 幸	2	R30100	経 済 学 史		2年	・文理・経済・商学部のみ申 込可。	
				L31300	経 済 学 説 史			・法学部のみ申込可。	
C0AP	西 洋 経 済 史	上 村 能 弘	2	R30600	西 洋 経 済 史		2年		
C0AQ	情 報 概 論	中 村 典 裕	2	R32300	情 報 概 論		2年		
C0AR	マーケティング	雨 宮 史 卓	2	S30500	マーケティング		2年		
C0AS	現代教職論	杉 森 知 也	2	T10100	現代教職論	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
C0AT	か な 書 法	山 本 ま り 子	2	T22500	か な 書 法	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
C0AU	生 徒 指 導 ・ 進 路 指 導 論	上 野 昌 之	2	T30500	生 徒 指 導 ・ 進 路 指 導 論	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	×

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔総合科目 I ～VI〕

鍋本 由徳

- ◆**授業概要** 「自主創造の基礎1」では、大学生としての基本的な資質を育成することをねらいとしています。この授業科目は、いわゆる専門教育の前段となる基礎教育を担うためではなく、社会人として学修することの意義やその在り方について理解できるようになること、「学び続けていく力」をつけるためにあります。なお、日本大学では、それを「自主創造型パーソン」と呼称しています。
- ◆**学修到達目標** 一般目標：日本大学教育憲章の「自主創造」を構成する3つの構成要素及びその能力を学修スキルの修得を通して理解し、グループの一員として課題に取り組む能力を身に付ける。
行動目標：①「日本大学マインド」と「自主創造」の3つの構成要素及びその能力を説明できる、②予習の内容をもとにグループ討議で論理的・批判的に意見を述べ、解決策を討議できる、③コミュニケーションを通じて相互理解、相手を尊重できる、④自己・他者の評価をもとに振り返りができる、⑤効果的なプレゼンテーションができる。
- ◆**授業方法** 集中講義ですから、指示された課題に必ず取り組んでから受講すること。それら予習をふまえて、授業では、講義形式のほか、アクティブ・ラーニングの授業形態をとって進めます。双方向かつ対話型で行う「学生参加型」の授業を実践します。基本的には、「個人ワーク」、「グループワーク」、「発表・共有」の繰り返しにより授業を展開します。
- ◆**履修条件** 2016～18年度、同一授業の合格者は受講不可
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：スタートアップ（この授業のねらい・展開・到達点） 事前学修：シラバスを熟読し、本講義の目的と授業展開をあらかじめ理解しておく。 事後学修：配付資料を読み直し、本講義での受講目的を再度確認する。
2回	授業内容：コミュニケーションの基本要素 事前学修：コミュニケーション力についての自己評価をまとめておく。 事後学修：配付資料とノート、当日の作業を振り返り、再度、自己評価する。
3回	授業内容：大学で学ぶとは ー日本大学とはー 事前学修：事前に指定されたメディアを視聴し、内容を把握しておく。 事後学修：配付資料とノートを読み直し、本講義の内容を振り返る。
4回	授業内容：大学で学ぶとは ー日本大学の通信教育部のあゆみー 事前学修：事前に配付された資料を読み、概要を把握しておく。 事後学修：配付資料とノートを読み直し、本講義の内容を振り返る。
5回	授業内容：大学での学修に必要なこと 事前学修：『Learning Guide』を熟読しておく。 事後学修：大学での学修とは何かを改めて振り返り、用語の再確認をする。
6回	授業内容：大学での学修に必要なこと ー通信教育部での学修ー 事前学修：『学修要覧』を熟読しておく。 事後学修：通信教育部独自の学び方を再確認し、自身の今後の学び方を考える。
7回	授業内容：図書館の効果的な利用と情報収集 事前学修：事前に配付された資料を読み、概要を把握しておく。 事後学修：配付資料とノートを読み直し、学んだ内容を実践する。
8回	授業内容：情報収集と整理・編集 ーノートテイクー 事前学修：過去の講義ノートを見て、自身のノートテイクの特徴を把握しておく。 事後学修：当日の講義ノート、過去の講義ノートを比較しながら、改善策を考える。
9回	授業内容：論理的な文章を書く ー文章を要約することー 事前学修：事前に配付された資料を読み、事前課題に取り組んでおく。 事後学修：当日の講義をふまえて、事前課題をやり直し、練度を上げる。
10回	授業内容：レポート作成の基礎 ーアウトラインの作成ー 事前学修：事前に配付された資料を読み、レポート（または論文）の基本ルールを把握しておく。 事後学修：当日の自己点検をふまえて、再度レポートを書き直し、修正していく。
11回	授業内容：プレゼンテーションの方法 ー発表の準備ー 事前学修：事前に配付された資料を読み、プレゼン資料作成の基本ルールを把握しておく。 事後学修：自身が作成したプレゼン素案を振り返り、より効果的な方法を考える。
12回	授業内容：グループ内プレゼンテーション ー発表の練習ー 事前学修：事前に配付された資料を読み、「話す」時の基本姿勢を把握しておく。 事後学修：他者の評価を踏まえて、より効果的な話し方について考える。
13回	授業内容：グループワーク ーテーマの決定と討論ー 事前学修：これまでに学んだ「学びの方法」を復習しておく。 事後学修：討論した結果を整理しておく。
14回	授業内容：グループワーク ー討論と準備ー 事前学修：プレゼン準備に必要なものは何かをまとめておく。 事後学修：作成した準備資料をもとに、作成資料の成果と課題を考える。
15回	授業内容：成果の発表 ープレゼンテーションー 事前学修：自身に与えられた役割について、何ができるか、何をすべきかを考える。 事後学修：講義全体を振り返り、今後の自身の目標や学修方針を改めて考える。

- ◆**教科書** **事前資料送付** 事前課題を記したプリントを配付する。
当日資料配布 毎時間資料・レジュメを配付する。
- ◆**参考書** 授業中に指示する。
- ◆**成績評価基準** 課題設定、問題探究、グループ内における議論、成果のまとめなどを総合的に判断して評価を行います。各回における課題やプロダクト、レポートなどを成績評価の対象とします。（※全回出席を前提とする）

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

【英語A】

寒河江 融

◆**授業概要** 英語の小説というと非常に難解なもの、という印象を持ちます。実際にベストセラーになっている長編小説や、名作と呼ばれる古典作品などは、生半可な知識では読み切れないものです。しかしながら、中学・高校で学んだ知識と辞書があれば、大体の短編小説は読むことができます。本授業では、わかりやすい文章の超短編推理小説を読み、わからない文に解説を加えて、より良く作品を理解し楽しむことを心掛ける。

◆**学習到達目標** ・わからない文章に対して文法的に解説をすることにより、これまでに学んできた英文法の知識を再確認し、文法知識が定着することを目標とする。
・本授業でおさらいした文法知識で正確に英文が読めるようになることを目標とする。
・辞書があれば英文が読める事を実感し、英文を読む自信をつける事を目標とする。
・謎を解く事で、文化や知識を深めることを目標とする。

◆**授業方法** 一文一文一語ずつ読んでいってもらいます。意識ではなく直訳で発表してもらいます(文構造を把握するため)。その訳について丁寧に解説を加えていきます。情景描写や表現などの、英文ならではの面白さも説明します。訳を発表する際、間違えることは問題ないです。わからないところを見つけるのも学習の一つです。なぜそのような意味になるのかをしっかりと説明します。また、テキストについている問題を通して、文法知識の定着をも目標とします。内容を把握した段階で謎解きをしてもらいます。授業進度は説明、質問への回答などで遅れがちです。その際、授業計画の作品進度より少なくなります。

◆**授業計画 (各90分)**

1回	授業内容: 教科書ガイダンス。Unit 7から読み進めます。文章の精読。文法説明。 事前学修: この段階では誰が当たるかわからないので、わからない単語の意味を調べて、なるべく意味を把握するようにする。 事後学修: 授業で説明された文法事項を復習し、正確な内容理解に努める。
2回	授業内容: Unit 7を引き続き読み進めます。文章の精読。文法説明。 事前学修: 名簿の順番で当てていくので、自分の当たりそうな文は、しっかりと予習し、発表が滞らないようにする。自分で物語の謎解きができるように読んでおく。 事後学修: 授業で説明された文法事項を復習し、正確な内容理解に努める。
3回	授業内容: Unit 7 読了。文章の精読。文法説明。内容確認。謎解き。Unit 8の導入。 事前学修: 名簿の順番で当てていくので、自分の当たりそうな文は、しっかりと予習し、発表が滞らないようにする。自分で物語の謎解きができるように読んでおく。 事後学修: 授業で説明された文法事項を復習し、正確な内容理解に努める。なぜ謎が解決されるのかをしっかりと理解する。
4回	授業内容: Unit 8を引き続き読み進めます。文章の精読。文法説明。 事前学修: 名簿の順番で当てていくので、自分の当たりそうな文は、しっかりと予習し、発表が滞らないようにする。自分で物語の謎解きができるように読んでおく。 事後学修: 授業で説明された文法事項を復習し、正確な内容理解に努める。
5回	授業内容: Unit 8 読了。文章の精読。文法説明。内容確認。謎解き。Unit 9の導入。 事前学修: 名簿の順番で当てていくので、自分の当たりそうな文は、しっかりと予習し、発表が滞らないようにする。自分で物語の謎解きができるように読んでおく。 事後学修: 授業で説明された文法事項を復習し、正確な内容理解に努める。なぜ謎が解決されるのかをしっかりと理解する。
6回	授業内容: Unit 9を引き続き読み進めます。文章の精読。文法説明。 事前学修: 名簿の順番で当てていくので、自分の当たりそうな文は、しっかりと予習し、発表が滞らないようにする。自分で物語の謎解きができるように読んでおく。 事後学修: 授業で説明された文法事項を復習し、正確な内容理解に努める。
7回	授業内容: Unit 9 読了。文章の精読。文法説明。内容確認。謎解き。Unit 10の導入。 事前学修: 名簿の順番で当てていくので、自分の当たりそうな文は、しっかりと予習し、発表が滞らないようにする。自分で物語の謎解きができるように読んでおく。 事後学修: 授業で説明された文法事項を復習し、正確な内容理解に努める。なぜ謎が解決されるのかをしっかりと理解する。
8回	授業内容: Unit 10を引き続き読み進めます。文章の精読。文法説明。 事前学修: 名簿の順番で当てていくので、自分の当たりそうな文は、しっかりと予習し、発表が滞らないようにする。自分で物語の謎解きができるように読んでおく。 事後学修: 授業で説明された文法事項を復習し、正確な内容理解に努める。
9回	授業内容: Unit 10 読了。文章の精読。文法説明。内容確認。謎解き。Unit 11の導入。 事前学修: 名簿の順番で当てていくので、自分の当たりそうな文は、しっかりと予習し、発表が滞らないようにする。自分で物語の謎解きができるように読んでおく。 事後学修: 授業で説明された文法事項を復習し、正確な内容理解に努める。なぜ謎が解決されるのかをしっかりと理解する。
10回	授業内容: Unit 11を引き続き読み進めます。文章の精読。文法説明。 事前学修: 名簿の順番で当てていくので、自分の当たりそうな文は、しっかりと予習し、発表が滞らないようにする。自分で物語の謎解きができるように読んでおく。 事後学修: 授業で説明された文法事項を復習し、正確な内容理解に努める。
11回	授業内容: Unit 11 読了。文章の精読。文法説明。内容確認。謎解き。Unit 12の導入。 事前学修: 名簿の順番で当てていくので、自分の当たりそうな文は、しっかりと予習し、発表が滞らないようにする。自分で物語の謎解きができるように読んでおく。 事後学修: 授業で説明された文法事項を復習し、正確な内容理解に努める。なぜ謎が解決されるのかをしっかりと理解する。
12回	授業内容: Unit 12を引き続き読み進めます。文章の精読。文法説明。 事前学修: 名簿の順番で当てていくので、自分の当たりそうな文は、しっかりと予習し、発表が滞らないようにする。自分で物語の謎解きができるように読んでおく。 事後学修: 授業で説明された文法事項を復習し、正確な内容理解に努める。
13回	授業内容: Unit 12 読了。文章の精読。文法説明。内容確認。謎解き。 事前学修: 名簿の順番で当てていくので、自分の当たりそうな文は、しっかりと予習し、発表が滞らないようにする。自分で物語の謎解きができるように読んでおく。 事後学修: 授業で説明された文法事項を復習し、正確な内容理解に努める。なぜ謎が解決されるのかをしっかりと理解する。
14回	授業内容: 今回のスクーリングの総復習。試験に向けてのガイダンス。質疑応答。 事前学修: これまで読んできた作品の内容把握、文法構造理解に努める。 事後学修: 最終試験に向けて、しっかりとこれまで学んだことを復習する。
15回	授業内容: 最終試験。 事前学修: これまで読んできた作品の内容把握、文法構造理解に努める。 事後学修: 試験を含めたスクーリング全体で学んだことをおさらいし、英語力の定着を図る。

◆**教科書** 函沼『Solve the Mystery and Improve Your English Reading Skills ミステリーを読んで英語のスキルアップ』Donald J. Sobol 著 英宝社 1,944円(税込)(送料215円)

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み(発表など)・テストにより総合的に評価します。毎回出席することを前提とします。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」

※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語 B〕

佐藤 恵一

◆**授業概要** アメリカからの留学生の日常生活を中心に（場面を設定した状況から）、必要なコミュニケーション力を高めるためのスキルを高め、またそれらの表現をアウトプットにつなげる言語活動を実践します。

◆**学修到達目標** コミュニケーション力をいかに高め、状況に応じた必要な表現力をマスターするかという点と、アウトプットに移行するためのノウハウを練習から学びとることを目標にします。

◆**授業方法** リスニングをし、大意を把握したら（簡単な）重要表現を口頭練習します。その後、再度 DVD で内容理解を図りペア又はグループで（対話形式で）授業を進めていきます。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容	Giving Directions and Helping (1)
	事前学修	Words & Expressions
	事後学修	Summary
2 回	授業内容	Giving Directions and Helping (2)
	事前学修	Dialogue 発音
	事後学修	Useful Expressions
3 回	授業内容	Talking about Yourself (1)
	事前学修	Words & Expressions
	事後学修	Summary
4 回	授業内容	Talking about Yourself (2)
	事前学修	Dialogue
	事後学修	Useful Expressions
5 回	授業内容	Host Family (1)
	事前学修	Words & Expressions
	事後学修	Summary
6 回	授業内容	Host Family (2)
	事前学修	Dialogue
	事後学修	Useful Expressions
7 回	授業内容	Commuting by Train (1)
	事前学修	Words & Expressions
	事後学修	Summary
8 回	授業内容	Commuting by Train (2)
	事前学修	Dialogue
	事後学修	Useful Expressions
9 回	授業内容	Taking Classes (1)
	事前学修	Words & Expressions
	事後学修	Summary
10 回	授業内容	Taking Classes (2)
	事前学修	Dialogue
	事後学修	Useful Expressions
11 回	授業内容	Talking with a Teacher (1)
	事前学修	Words & Expressions
	事後学修	Summary
12 回	授業内容	Talking with a Teacher (2)
	事前学修	Dialogue
	事後学修	Useful Expressions
13 回	授業内容	Finding Friends (1)
	事前学修	Words & Expressions
	事後学修	Summary
14 回	授業内容	Finding Friends (2)
	事前学修	Dialogue
	事後学修	Useful Expressions
15 回	授業内容	Review & Test
	事前学修	Review
	事後学修	overhaul

◆**教科書** 瓦沼『WELCOME TO NIPPON!』Asahi Press 2,592 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 学習意欲・参加度・課題や小テスト等で 40%および最終テストで 60%を総合的に評価。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語C〕

マイケル ギルロイ

◆授業概要 ENGLISH THAT MATTERS

◆学修到達目標 Students will develop an ability to talk about issues that affect us domestically and globally. Increase their vocabulary and confidence in communication.

◆授業方法 Students will work individually, in pairs or in groups to complete in-class assignments. Activities include reading, writing, role-plays and discussions.

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容: Introductions - Getting to know your teacher / each other. 事前学修: Enthusiasm, dictionary, notebook, pens, etc. 事後学修: Be prepared with dictionary, textbook, etc.
2回	授業内容: "Goodbye Maldives" 事前学修: Text or photocopy 事後学修: Review lesson.
3回	授業内容: "Sustainable Communities" 事前学修: Preview this unit. 事後学修: Review lesson.
4回	授業内容: "Economic Inequality: The Growing Gap" 事前学修: Preview this unit. 事後学修: Review lesson.
5回	授業内容: "Dilemmas for a Responsible Tourist" 事前学修: Preview this unit. 事後学修: Review the first four units from textbook.
6回	授業内容: "Learning from Nature" 事前学修: Preview this unit. 事後学修: Review lesson.
7回	授業内容: "We Can't Live Without Water" 事前学修: Preview this unit. 事後学修: Review lesson.
8回	授業内容: "Protecting World Heritage" 事前学修: Preview this unit. 事後学修: Review lesson.
9回	授業内容: "The War on Sugar" 事前学修: Preview this unit. 事後学修: Review lesson.
10回	授業内容: "Energy for a Stable Climate" 事前学修: Preview this unit. 事後学修: Review today's five units.
11回	授業内容: "Yasuni: A Dream of the Future" 事前学修: Preview this unit. 事後学修: Review lesson.
12回	授業内容: "No More Bananas?" 事前学修: Preview this unit. 事後学修: Review lesson.
13回	授業内容: "Closing the Loop" 事前学修: Preview this unit. 事後学修: Review lesson.
14回	授業内容: Presentation Preparation. 事前学修: Ideas / materials for presentation. 事後学修: Final prep for presentation.
15回	授業内容: Presentation. 事前学修: "Poster" and notes for presentation. 事後学修: None.

◆教科書 丸沼『Issues that Matter』 David Peaty and Jun Kuwata KINSEIDO 1,944円(税込)(送料300円)
〔当日資料配布〕 Supplementary materials

◆参考書 特になし。

◆成績評価基準 Grades will be allocated on the basis of attendance, participation and completed assignments.

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔中国語Ⅲ・Ⅳ〕

稲葉 明子

- ◆**授業概要** 講読とリスニングの二本立てです。『論説体中国語読解力養成講座』は「書面語（文章体中国語）」のバイブルであり、長く座右に置いて用いていくものですが、最初はどこから取り組んでいいかわからないかもしれません。初級文法を確認しながら読んでいく訓練を行います。リスニングでは、中国語検定 4 級リスニング問題を解き、次にシートを用いて単語を音で把握した後、場面と音声から自力で内容をつかんでいく訓練を行います。初日に学習方法を示すので、二日目以降に行う小テストにむけて指示通りに復習を続けてください。
- ◆**学修到達目標** 自宅学習が困難な発音を完成させながら、将来にわたって中国語を自立的に吸収し、自力で学習していくための能力を確立しましょう。正しい発音は即ち確固たるリスニング力を意味します。漢字や日本語訳に頼らず音声のみから文と文脈を自力で捉えていく力をつけます。
- ◆**授業方法** 長文読解のサンプルを事前資料で示しますので、日本語訳をノートに書いて授業に臨んでください。辞書の他、時事問題についてはインターネット検索も活用しましょう。適宜初級文法をまとめながら進めます。中国語Ⅱは習得中であっても差し支えありません。
- ◆**履修条件** 中国語Ⅰ既習相当の基礎が必要です。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：ガイダンス・発音 1（声調） 事前学修：教科書の序を読む（ユニット1以降は開かない） 事後学修：授業中の指示に従い、文房具を揃える
2 回	授業内容：発音 2（単母音） 事前学修：音節総表を下載して養生する 事後学修：授業中の指示に従い、復習用 WEB サイトをみつける
3 回	授業内容：発音 3（子音 1） 事前学修：音節総表をみて前回の内容を位置付ける 事後学修：ノートをまとめる
4 回	授業内容：発音 4（子音 2・総合） 事前学修：音節総表を見て前回の内容を位置付ける 事後学修：ノートをまとめる
5 回	授業内容：中国語検定 4 級リスニング問題「家族紹介」 事前学修：家庭での復習用に、WEB サイト（youtube）視聴可能なよう準備しておく。 事後学修：WEB サイトを用いて単語を徹底的に復習する。
6 回	授業内容：数字・リスニング問題 1 ディクテーションテスト 事前学修：家庭での復習用に、WEB サイト（youtube）視聴可能なよう準備しておく。 事後学修：WEB サイトを用いて多角的に復習する
7 回	授業内容：リスニング問題 2 「趣味」 事前学修：家庭での復習用に、WEB サイト（youtube）視聴可能なよう準備しておく。 事後学修：WEB サイトを用いて多角的に復習する
8 回	授業内容：長文読解 1 事前学修：事前配布問題について、日本語訳を 3 行ずつあけて書いてくる 事後学修：ノートをまとめる
9 回	授業内容：時量と時点、日時の言い方 事前学修：家庭での復習用に、WEB サイト（youtube）視聴可能なよう準備しておく。 事後学修：WEB サイトを用いて多角的に復習する
10 回	授業内容：リスニング問題 3 「買い物」 事前学修：家庭での復習用に、WEB サイト（youtube）視聴可能なよう準備しておく。 事後学修：WEB サイトを用いて多角的に復習する
11 回	授業内容：リスニング問題 3 のディクテーションテスト／数字・金額・大きな数字 事前学修：家庭での復習用に、WEB サイト（youtube）視聴可能なよう準備しておく。 事後学修：WEB サイトを用いて多角的に復習する
12 回	授業内容：リスニング問題 4 「日常生活」等 事前学修：家庭での復習用に、WEB サイト（youtube）視聴可能なよう準備しておく。 事後学修：WEB サイトを用いて多角的に復習する
13 回	授業内容：長文読解 2 事前学修：教科書にあるレベル式で指定問題を解いていく 事後学修：文法事項を確認する
14 回	授業内容：リスニング問題 5 「日常生活」等 事前学修：家庭での復習用に、WEB サイト（youtube）視聴可能なよう準備しておく。 事後学修：WEB サイトを用いて多角的に復習する
15 回	授業内容：中国語検定 4 級リスニング問題を用いた教場試験 事前学修：講習中のリスニング問題をふりかえる 事後学修：文法事項をふりかえる

- ◆**教科書** 丸沼『論説体中国語読解力養成講座』三浦正道 東方書店 2,592 円（税込）（送料 300 円）
家庭学習指示プリント・授業内プリント
- ◆**参考書** WEB 上に様々なトレーニング用コンテンツを UP しています。（youtube 動画）講習中にこの音声を用いた復習が必要になります。
- ◆**成績評価基準** 試験は、中国語検定 4 級リスニング試験が中心となります。これに加え、授業への取り組み、小テストなどにより総合的に評価します

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔体育実技Ⅰ・Ⅱ〕

高橋 正則

◆**授業概要** 現代の高齢社会において、健康を維持・増進するためには、適度な運動習慣を生活習慣に取り込むことが求められる。そこで、まず自己の体力の現状を把握し、身体運動の必要性について認識を高める。そして、年齢や体力に応じた運動参加への具体的方法を理解し、スポーツ実践を通して、他者とコミュニケーションを図る能力を養う。そのためにも、日頃より1日20分以上の連続歩行や軽い柔軟運動の実施を心がけ、コンディションの維持が大切である。

◆**学修到達目標** この授業では、多くの運動やスポーツの実践を通して、その楽しさや具体的方法を学び、自らが身体活動を継続して実施することの重要性を認識する。また、スポーツを通して、他者とのコミュニケーションを深め、社会的スキルを向上させることができることを習得する。

◆**授業方法** 原則、天候に左右されない体育館内での授業とし、いくつかの小グループに分かれ、体力測定をはじめとする様々な運動やネット型スポーツを中心としたスポーツを体験する。

◆**授業計画 (各90分)**

1回	授業内容	ガイダンス：集中授業における運動の効果とリスク・施設の使用法・注意事項の説明、グループ分けと準備体操の実施。
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
2回	授業内容	体力測定の実施と評価：5種目（閉眼片足立ち、握力、長座体前屈、上体起こし、反復横跳び）、具体的な説明の実施。測定後、各測定項目の基準値と比較照合し、自己評価する。
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
3回	授業内容	卓球：用具の理解、フォアハンドとバックハンド、サーブ、ボールの回転とショットとの関係、ラリー（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
4回	授業内容	卓球：ダブルスにおけるペアとのコンビネーション（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
5回	授業内容	卓球：ルール理解、ダブルスの試合（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
6回	授業内容	バドミントン：用具の理解、フォアハンドとバックハンド、ラリー（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
7回	授業内容	バドミントン：サーブ、ハイクリアー、ダブルスにおけるペアとのコンビネーション（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
8回	授業内容	バドミントン：ルール理解、ダブルスの試合（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
9回	授業内容	ミニテニス：用具の理解、フォアハンドとバックハンド、ボールの回転とショットとの関係、ラリー（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
10回	授業内容	ミニテニス：サーブ、ハイクリアー、ダブルスにおけるペアとのコンビネーション（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
11回	授業内容	ミニテニス：ルール理解、ダブルスの試合（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
12回	授業内容	バレーボール（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
13回	授業内容	バレーボール（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
14回	授業内容	ソフトバレーボール：ルール理解、試合（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
15回	授業内容	グループ別対抗ソフトバレーボール大会（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。

◆**教科書** 使用しない。

◆**参考書** 丸沼『健康・スポーツ教育論』日本大学文理学部体育学研究室編 八千代出版 1,836円（送料300円）

◆**成績評価基準** 授業への取り組みおよび自己の体力に合った運動への理解と遂行の程度によって総合的に評価する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

【憲法】 オープン受講：不可

名雪 健二

◆**授業概要** 本スクーリングでは、憲法の内容、憲法の種類、日本国憲法の構造といった基礎概念や基本原理、また、天皇をみていくが、人権総論（人権享有の主体、法の下での平等など）と精神的自由、経済的自由、人身の自由および統治機構としての国会・内閣・裁判所についてもみていく。

◆**学修到達目標** 憲法は、国家の在り方を規定した基本法である。したがって、われわれが国家生活をしていく上で憲法を知ることが、極めて重要である。憲法を学ぶことで、憲法とは何かを知ることができ、また、憲法判例をみることで、生きた憲法を理解することができ、さらに、憲法の規範論理的構造を理解することで、現代の複雑な憲法現象を統一的に、かつ、原理的にとらえることができる。

◆**授業方法** 憲法の解釈論が中心となる。また、生きた憲法を理解するために、判例を取り上げる。そのための資料として、授業に関連する判例を配布する。

◆**授業計画（各 90 分）**

1 回	授業内容 事前学修 事後学修	ガイダンス、憲法の学び方、憲法の内容、憲法の種類、日本国憲法制定の法理 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、日本国憲法制定の法理についてよく理解しておくこと。
2 回	授業内容 事前学修 事後学修	日本国憲法の構造、日本国憲法の基本原理 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、憲法前文の性質と前文が裁判規範となるかどうかについて理解しておくこと。また、国民主権の原理が、憲法上、いかに具現化されているかについても理解しておくこと。
3 回	授業内容 事前学修 事後学修	天皇（地位・皇位継承・天皇の権能の代行） 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、天皇の行為と天皇の権能の行使の要件について理解しておくこと。
4 回	授業内容 事前学修 事後学修	人権総論 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、人権の制約、違憲審査基準について理解しておくこと。また、人権享有の主体、特に、外国人の人権についてよく理解しておくこと。
5 回	授業内容 事前学修 事後学修	人権総論 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、法の下での平等の意味と不合理な差別の禁止について、判例を含めて理解しておくこと。また、私人間効力とは何かを理解し、どのような判例があるのかをまとめておくこと。
6 回	授業内容 事前学修 事後学修	精神的自由 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、内心の自由の保障の内容についてまとめておくこと。また、信教の自由と政教分離の原則を理解しておくこと。あわせて、判例の立場をまとめておくこと。
7 回	授業内容 事前学修 事後学修	精神的自由、国会の憲法上の地位 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、報道の自由と取材の自由、また、憲法が、学問の自由を保障した意義と大学の自治をよく理解し、あわせて、判例の立場をまとめておくこと。さらに、国会が最高機関であることと立法機関であることの意味をよく理解しておくこと。
8 回	授業内容 事前学修 事後学修	衆議院の解散、議院の権能（自律権、国政調査権） 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、衆議院の解散では、解散権の主体と根拠規定、解散の原因についてよく理解しておくこと。また、議院の自律権の意味を踏まえて、自律的事項についてよく理解しておくこと。さらに、国政調査権の性格・範囲・限界についてよく理解しておくこと。
9 回	授業内容 事前学修 事後学修	内閣総理大臣の憲法上の地位・憲法 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、内閣総理大臣が憲法上いかなる地位にあるのか、また、その権能として、国務大臣の任免権をはじめとして、内閣の代表権、法律・政令への連署権、国務大臣追討同意権について、それぞれ問題点があるので、よくまとめておくこと。
10 回	授業内容 事前学修 事後学修	違憲審査権 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、違憲審査権の意義を踏まえて、違憲審査権の性格・違憲審査の対象について、それぞれ学説が対立しているので、それを整理し、判例もあわせてまとめておくこと。
11 回	授業内容 事前学修 事後学修	経済的自由 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、財産権の保障・内容・財産権の制限と保障について理解しておくこと。
12 回	授業内容 事前学修 事後学修	人身の自由 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、適法手続の保障、不法に逮捕されない権利、刑法上の不遑及と一事不再理について理解しておくこと。
13 回	授業内容 事前学修 事後学修	社会権 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、生存権の法的性格をいかに解するかについて学説と判例をまとめておくこと。また、労働基本権については、公務員の労働基本権に関する判例の動向をよく理解しておくこと。
14 回	授業内容 事前学修 事後学修	憲法改正 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。憲法改正とは、いかなる行為であるのかを、憲法の廃棄、憲法の廃止などと区別して理解しておくこと。また、憲法改正手続において、内閣が憲法改正案を提出することができるかどうか、理解しておくこと。さらに、憲法改正に限界があるのかどうかについても、まとめておくこと。
15 回	授業内容 事前学修 事後学修	内閣の総辞職、総括 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。内閣の総辞職の意義、内閣が総辞職しなければならない場合をよくまとめておくこと。なお、総括の中で、講義した内容について、どこに問題点があるのかをよく整理しておくこと。

◆**教科書** 丸沼『日本国憲法』名雪健二 有信堂 3,780 円（税込）（送料 350 円）
〔当日資料配布〕重要判例

◆**参考書** 参考書を希望する者は、『憲法第 7 版』芦部信喜・高橋和之補訂 岩波書店を購入されたい。

◆**成績評価基準** 授業態度・小テスト（1 回）・スクーリングの最終試験により総合的に判断する。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔行政法Ⅰ〕

西原 雄二

- ◆**授業概要** 本授業では、行政法の理論や制度に関する基本的な知識や考え方について、重要な問題を取り上げながら、簡潔に説明する。
- ◆**学修到達目標** 行政法の基本構造とそれを支える基本的概念を理解しながら、国民にとって身近で重要な法律の1つである「行政法」に興味・関心を持ってもらえるようにする。
- ◆**授業方法** 講義形式を基本とするが、適宜、質疑応答を行う。板書しながら、解説する。
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：ガイダンス 事前学修：教科書を事前にざっと目を通しておくこと。 事後学修：教科書を通して、これから学ぶことを確認すること。
2回	授業内容：行政法とは何か 事前学修：教科書の該当箇所を読むこと。 事後学修：授業内容を教科書とつぎ合わせて、さらに理解を深めること。
3回	授業内容：行政と法 事前学修：教科書の該当箇所を読むこと。 事後学修：授業内容を教科書とつぎ合わせて、さらに理解を深めること。
4回	授業内容：行政法の法源 事前学修：教科書の該当箇所を読むこと。 事後学修：授業内容を教科書とつぎ合わせて、さらに理解を深めること。
5回	授業内容：法律による行政の原理 事前学修：教科書の該当箇所を読むこと。 事後学修：授業内容を教科書とつぎ合わせて、さらに理解を深めること。
6回	授業内容：行政活動の担い手 事前学修：教科書の該当箇所を読むこと。 事後学修：授業内容を教科書とつぎ合わせて、さらに理解を深めること。
7回	授業内容：行政行為 事前学修：教科書の該当箇所を読むこと。 事後学修：授業内容を教科書とつぎ合わせて、さらに理解を深めること。
8回	授業内容：行政裁量 事前学修：教科書の該当箇所を読むこと。 事後学修：授業内容を教科書とつぎ合わせて、さらに理解を深めること。
9回	授業内容：行政立法 事前学修：教科書の該当箇所を読むこと。 事後学修：授業内容を教科書とつぎ合わせて、さらに理解を深めること。
10回	授業内容：行政計画 事前学修：教科書の該当箇所を読むこと。 事後学修：授業内容を教科書とつぎ合わせて、さらに理解を深めること。
11回	授業内容：行政指導 事前学修：教科書の該当箇所を読むこと。 事後学修：授業内容を教科書とつぎ合わせて、さらに理解を深めること。
12回	授業内容：行政契約 事前学修：教科書の該当箇所を読むこと。 事後学修：授業内容を教科書とつぎ合わせて、さらに理解を深めること。
13回	授業内容：行政上の義務履行の確保 事前学修：教科書の該当箇所を読むこと。 事後学修：授業内容を教科書とつぎ合わせて、さらに理解を深めること。
14回	授業内容：行政救済 事前学修：教科書の該当箇所を読むこと。 事後学修：授業内容を教科書とつぎ合わせて、さらに理解を深めること。
15回	授業内容：試験及び解説 事前学修：これまで授業で学んだ内容を復習しておくこと。 事後学修：授業内容を再確認すること。

- ◆**教科書** **通材**『行政法Ⅰ K30900』通信教育教材（教材コード000565）3,800円（送料込）
〈この教材は市販の『行政法（第3版）』池村正道編（弘文堂）と同一です。〉

- ◆**参考書** 授業中に紹介する。

- ◆**成績評価基準** 授業内テスト（80%）と授業参画度（20%）により総合的に評価する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔知的財産権法〕

藤田 晶子

- ◆**授業概要** 知的財産法の中でも我が国の著作権法は特許・実用新案等の他の産業財産権と異なり、出願・審査・登録という権利化のプロセスがなく、著作物が創作の時から保護の対象となるほか、実に種類豊富、多彩な創作活動の成果物が「著作物」として扱われている。著作権法の知識は、企業法務においても、個人の社会生活においても、身近で役立つ法律知識である。弁護士としての 18 年の経験や実際の訴訟案件等の紹介も交えて、実践的でわかりやすい講義を目指す。
- ◆**学修到達目標** 著作権侵害が問題となった様々な裁判例を題材にして、条文の構造と基礎知識の習得を目的とする。判例を通して何が法的論点であるのか、受講生が問題の所在に気づき、該当する法文や判例の規範を示すことができることを目標とする。著作権法は面白い、と実感してほしい。
- ◆**授業方法** パワーポイントを使用して講義を進める。基本的に講義形式であるが、受講生も積極的に手を挙げて発言してほしい。知的財産法は民法・民事訴訟法の特別法としての性格を有する。基本の民法・民事訴訟法の基礎知識が備わっていることが望ましい。民法・民事訴訟法の知識が知的財産法（著作権法）の理解のベースとなることに留意すること。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 事前学修 事後学修	オリエンテーション、著作権法制の概要 教科書を購入して全体の目次に目を通しておくこと。 教科書等で知的財産法の全体像と著作権法制の概要を理解する。
2 回	授業内容 事前学修 事後学修	著作物性（1）書体、キャラクター「著作物」とは何か。裁判例は最判平 12.9.7（書体）、最判平 9.7.17（キャラクター）等を検討。 教科書、参考書の該当箇所を読んでおくこと。 教科書等で、著作権法上の客体としての「著作物」とは何か、様々なバリエーションや論点があることを理解する。
3 回	授業内容 事前学修 事後学修	著作物（2）応用美術、編集著作物、データベースの著作物「応用美術」とは何か、「編集著作物」、「データベースの著作物」とは何か。裁判例は仙台高判平 14.7.9（ファービー人形）、東京地判平 12.3.23（色見本帳）、東京地判平 12.3.17（データベース）等を検討。 教科書、参考書の該当箇所を読んでおくこと。 教科書等で、「応用美術」や「編集著作物」、「データベースの著作物」の特徴・論点を理解する。
4 回	授業内容 事前学修 事後学修	著作物（3）「二次的著作物」、「共同著作物」、「二次的著作物」とは何か、「共同著作物」とは何か。裁判例は知高判平 18.9.26（考古学研究事典）、最判平 13.10.25（キャンディ・キャンディ）等を検討。 教科書、参考書の該当箇所を読んでおくこと。 教科書等で、「二次的著作物」、「共同著作物」の意義、違い、条文構造等を理解する。
5 回	授業内容 事前学修 事後学修	「著作者」「著作者」とは何か。映画の著作物の著作権。裁判例は最判平 5.3.30（智恵子抄）、東京地判平 10.10.29（雑誌のインタビュー記事）等を検討。 教科書、参考書の該当箇所を読んでおくこと。 教科書等で、様々な事件の著作権の帰属主体に関する認定や、映画の著作物の場合の特殊性を理解する。
6 回	授業内容 事前学修 事後学修	「職務著作」「職務著作」とは何か、裁判例は最判平 15.4.11（RGB アドベンチャー）、知高判平 18.10.19（計装士学会）等を検討。 教科書、参考書の該当箇所を読んでおくこと。 教科書等で、「職務著作」と条文、具体的論点についての解釈を理解する。
7 回	授業内容 事前学修 事後学修	著作権・複製権「複製」とは何か、翻案との違い。裁判例は東京高判平 14.2.18（雪月花）、最判昭 53.9.7（ワン・レイン・ナイト・イン・トーキョー）等を検討。 教科書、参考書の該当箇所を読んでおくこと。 教科書等で、「複製」とは何か、複製の要件、翻案との違い等を理解する。
8 回	授業内容 事前学修 事後学修	「翻案権」・二次的著作物の原著作者の権利「翻案」とは何か。裁判例は最判平 13.6.28（江差追分）、東京高判平 14.9.6（記念樹）等を検討。 教科書、参考書の該当箇所を読んでおくこと。 教科書等で、「翻案」とは何か、判例の規範や二次的著作物の原著作者との関係を理解する。
9 回	授業内容 事前学修 事後学修	「公衆送信権」「上演権」「頒布権」等の支分権 複製権、翻案権以外の権利の内容。裁判例は東京高判平 17.3.3（2ちゃんねる）、最判平 14.4.25（中古ソフト）等を検討。 教科書、参考書の該当箇所を読んでおくこと。 教科書等で、複製権・翻案権以外の「支分権の束」と具体的判例を理解する。
10 回	授業内容 事前学修 事後学修	著作権の「制限」私的複製、引用等の著作権の「制限」。裁判例は東京高判昭 60.10.17（藤田嗣治）、東京地判平 9.9.5（ダリ）等を検討。 教科書、参考書の該当箇所を読んでおくこと。 教科書等で、法律上設けられている著作権の「制限」規定、判例等を理解する。
11 回	授業内容 事前学修 事後学修	ライセンス契約の解釈、譲渡契約の解釈、登録と対抗要件、電子書籍関連。裁判例は知高判平 20.3.27（Von Dutch）等を検討。 教科書、参考書の該当箇所を読んでおくこと。 教科書等で、著作権のライセンス契約の実務、登録と対抗要件、出版権設定行為等を理解する。
12 回	授業内容 事前学修 事後学修	「著作人人格権」、「著作隣接権」著作人人格権の内容・条文。裁判例は東京地判平 12.2.29（中田英寿）、大阪地判平 17.1.17（セキスイソーユーホーム）等を検討。「著作隣接権」とは何か。著作権と著作隣接権の関係。 教科書、参考書の該当箇所を読んでおくこと。 教科書等で、著作人人格権（公表権・氏名表示権・同一性保持権）の内容・条文、論点を理解する。著作隣接権とは何かを理解する。
13 回	授業内容 事前学修 事後学修	保護期間、侵害と救済（1）差止請求、「間接侵害」各種知的財産権の保護期間、著作権の保護期間、著作権侵害に基づく差止請求。裁判例は東京高判平成 17.3.31（P 2P ファイル交換）、最判平 23.1.18（まねき TV）等を検討。 教科書、参考書の該当箇所を読んでおくこと。 教科書等で、保護期間、著作権侵害に基づく差止請求の構成や判例法理を理解する。
14 回	授業内容 事前学修 事後学修	授業内容：侵害と救済（2）損害賠償請求、刑事罰等 著作権侵害に基づく損害賠償請求、損害額の算定方法。裁判例は最判平 13.3.2（ビデオメイツ）、東京地判平 13.5.16（東京リーガルマインド）等を検討。著作権法の罰則規定。 教科書、参考書の該当箇所を読んでおくこと。 教科書等で、著作権侵害に基づく損害賠償請求の算定方法、論点・解釈等を理解する。教科書等で、著作権法の罰則規定の理解。
15 回	授業内容 事前学修 事後学修	試験及び解説 全体的に復習しておくこと。 試験の結果により自己の習熟度を確認すること。

- ◆**教科書** 丸沼『著作権法判例百選 第6版』小泉直樹・他3名編 有斐閣 2,700円（税込）（送料 300円）
- ◆**参考書** 丸沼『標準 著作権法 第3版』高林龍 有斐閣 2,916円（税込）（送料 300円）
- ◆**成績評価基準** テスト（80%）、授業参加度（20%）により総合的に評価します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔政治学原論〕

吉野 篤

- ◆**授業概要** 前半で政治概念の歴史の変遷を取り上げ、後半で現代の政治過程のアクター分析および時間の許す限りアメリカの政治研究の歴史的發展過程を取り上げる
- ◆**学修到達目標** 政治学の基本的アウトラインを把握するとともに、政治研究の柔軟性、ダイナミックな性格を理解することを目標とする
- ◆**授業方法** 基本的に講義形式で行い、時宜に応じてジャーナルな政治問題を考えるために主として新聞報道を素材として取り上げ、問題の本質を考える機会としたい
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：古典古代の政治概念 プラトン 事前学修：テキストの該当箇所をチェックすること 事後学修：ノートを整理すること
2回	授業内容：アリストテレスの政治概念と統治構造論 事前学修：テキストの該当箇所をチェックすること 事後学修：ノートを整理すること
3回	授業内容：ヨーロッパ中世の政治像 事前学修：中世に関して予備知識を蓄えること 事後学修：内容を整理してノートに再度整理すること
4回	授業内容：マキャベリの政治概念 事前学修：ルネサンスについて概要を事前に確認すること 事後学修：内容を整理してノートを整理すること
5回	授業内容：社会契約説の政治理論 事前学修：テキストの該当箇所をチェックすること 事後学修：ノートを整理し論点を整理すること
6回	授業内容：市民革命の政治過程 事前学修：市民革命の歴史的位置づけについて知識を得ておくこと 事後学修：内容を再確認しノートを改めて整理すること
7回	授業内容：保守主義の出現 事前学修：保守と革新について知識を確認しておくこと 事後学修：内容を整理すること
8回	授業内容：19世紀の政治理論 社会主義の考えかた 事前学修：テキストの該当箇所を確認し熟読すること 事後学修：内容を改めて整理すること
9回	授業内容：20世紀の政治概念 事前学修：大衆社会の状況について知識を確認しておくこと 事後学修：内容を改めて整理すること
10回	授業内容：政治過程論の概要 事前学修：20世紀という時代の政治的側面について知識を得ておくこと 事後学修：内容を整理しノートを整理すること
11回	授業内容：政党の位置づけ 事前学修：テキストの該当箇所を熟読すること 事後学修：内容を改めて整理すること
12回	授業内容：政党システムの類型学 事前学修：テキストの該当箇所をチェックすること 事後学修：日本の政党システムの現状について改めて整理・考察すること
13回	授業内容：アメリカの政治研究の特質と展開 事前学修：テキストの該当箇所をチェックすること 事後学修：論点を改めて整理すること
14回	授業内容：新制度論の考え方 総論と方法論 事前学修：テキストの該当箇所をチェックすること 事後学修：内容を再度整理すること
15回	授業内容：新制度論の類型 事前学修：テキストの該当箇所をチェックすること 事後学修：内容を再度整理して全体の講義内容を改めて整理すること

- ◆**教科書** 丸沼 吉野篤編『政治学 第2版』弘文堂 2018年 2,160円（税込）（送料300円）
- ◆**参考書** 授業の際に指示する
- ◆**成績評価基準** 基本的には試験および場合によっては出席

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国文学基礎講義〕

近藤 健史

- ◆**授業概要** 日本における古代から近世までの文学の中で、各時代の代表的な散文と韻文の作品を取りあげ、多様な視点から作品を読み解く。古典文学という特性から、建築や生活様式などについての映像を視聴して理解を深める。
- ◆**学修到達目標** 日本古典文学の概要と作品の読み方を学修し、基礎的な知識や読解力を身につけることにより、今後の日本文学専門科目の学修に対応することができるようになることを目標とする。
- ◆**授業方法** 基本的には、テキストに沿って作品の時代背景、成立事情、内容や表現の特色などについて講義する。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 授業の進め方、日本古典文学の概要について講義する。 事前学修 各章の冒頭にある「本章のポイント」を読み、大まかな内容を把握しておくこと。 事後学修 各章末に付してある「理解を深めるための参考書」や「関連作品の案内」を読んでおくこと。
2 回	授業内容 古代、『古事記』『日本書紀』『風土記』の成立事情、構成内容、特色などについて講義する。 事前学修 テキストの第 1 章を読んで、各作品の成立事情などについて理解しておくこと。 事後学修 第 1 章のまとめとして章末の「知識を確認しよう」の問題を解き、理解を深めておくこと。
3 回	授業内容 古代、『万葉集』の成立事情、歌人、歌の特色などについて講義する。 事前学修 第 2 章を読んで成立事情などについて理解しておくこと。 事後学修 第 2 章のまとめとして章末の「知識を確認しよう」の問題を解き、理解を深めておくこと。
4 回	授業内容 中古、『源氏物語』の成立事情や特色などについて講義する。 事前学修 第 3 章を読んで、成立事情などについて理解しておくこと。 事後学修 事前学修と授業内容について確認し、理解を深めておくこと。
5 回	授業内容 中古、『源氏物語』の作品を読み解く。 事前学修 第 3 章に引用されている「帚木巻」「若紫巻」「藤壺巻」の作品について大意を把握しておくこと。 事後学修 第 3 章のまとめとして章末の「知識を確認しよう」の問題を解き、理解を深めておくこと。
6 回	授業内容 中古、『古今和歌集』の成立事情や特色などについて講義する。 事前学修 第 4 章を読んで、成立事情などについて理解しておくこと。 事後学修 事前学修と授業内容について確認し、理解を深めておくこと。
7 回	授業内容 中古、『古今和歌集』の作品を読み解く。 事前学修 第 4 章に引用されている和歌の意味や特色について理解しておくこと。 事後学修 第 4 章のまとめとして章末の「知識を確認しよう」の問題を解き、理解を深めておくこと。
8 回	授業内容 中世、『方丈記』と『徒然草』の成立事情や特色などについて講義する。 事前学修 第 5 章を読み、それぞれの作品の成立事情について理解しておくこと。 事後学修 事前学修と授業内容について確認し、理解を深めておくこと。
9 回	授業内容 中世、『方丈記』と『徒然草』の作品を読み解く。 事前学修 第 5 章に引用された両作品にみえる「無常」について理解しておくこと。 事後学修 第 5 章のまとめとして章末の「知識を確認しよう」の問題を解き、理解を深めておくこと。
10 回	授業内容 中世、『新古今和歌集』の成立事情、時代背景、影響などについて講義する。 事前学修 第 6 章を読んで、成立事情などについて理解しておくこと。 事後学修 事前学修と授業内容について確認し、理解を深めておくこと。
11 回	授業内容 中世、『新古今和歌集』の秀歌を読み解く。 事前学修 第 6 章に引用されている秀歌の鑑賞の仕方などについて理解しておくこと。 事後学修 第 6 章のまとめとして章末の「理解を確認しよう」の問題を解き、理解を深めておくこと。
12 回	授業内容 近世、井原西鶴の人と作品について講義する。 事前学修 第 7 章を読み、西鶴の登場とその時代背景などを理解しておくこと。 事後学修 事前学修と授業内容について確認し、理解を深めておくこと。
13 回	授業内容 近世、近松門左衛門の人と作品について講義する。 事前学修 第 7 章を読み、近松の登場とその時代背景などを理解しておくこと。 事後学修 第 7 章のまとめとして章末の「地誌句を確認しよう」の問題を解き、理解を深めておくこと。
14 回	授業内容 近世、松尾芭蕉の文学について講義する。 事前学修 第 8 章を読み、芭蕉の「不易流行」「かるみ」という文学理念について調べておくこと。 事後学修 第 8 章のまとめとして章末の「理解を確認しよう」の問題を解き、理解を深めておくこと。
15 回	授業内容 まとめ、試験 事前学修 これまでの授業内容を振り返り、試験に備えておくこと。 事後学修 各章にある「トピック」を読み直し、文学研究の最新線も把握しておくこと。

- ◆**教科書** 教材 『国文学基礎講義 M20100』 通信教育教材（教材コード 000519）3,350 円（送料込）
〈この教材は市販の『日本古典文学』近藤健史編（弘文堂）と同一です〉
- ◆**参考書** テキスト内の各章と『国文学基礎講義学修指導書』に記してある。
- ◆**成績評価基準** 試験 100%

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国語音声学〕

田中 ゆかり

- ◆**授業概要** 日本語の音声・音韻・リズム・アクセント・イントネーションについて概説する。
- ◆**学修到達目標** 日本語の音声・音韻・リズム・アクセント・イントネーションについて概説する。音声学・音韻論の基礎的な考え方について学習し、日本語音声・音韻・リズム・アクセント・イントネーションの具体的な記述と考察が、受講者各自可能な段階に到ることを目標とする。
- ◆**授業方法** 教科書・教場における初日に配付する資料を用いた講義形式を中心とするが、視聴覚教材なども用いた発音・聞き取りや、国際音声記号・音素記号など書き取りの練習も行う。具体的事例から、規則を発見する課題も適宜行う。
- ◆**履修条件** 国語学概論の単位修得済みであることが望ましい。
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：ガイダンス 事前学修：教科書1章を読む 事後学修：ノート・配付資料・教科書を読み直し、理解できていないところを把握する
2回	授業内容：拡大50音図・音素記号・音声記号（IPA） 事前学修：教科書1章を読む 事後学修：ノート・配付資料・教科書を読み直し、理解できていないところを把握する
3回	授業内容：発音器官 事前学修：教科書2章を読む 事後学修：ノート・配付資料・教科書を読み直し、理解できていないところを把握する
4回	授業内容：母音と子音 事前学修：教科書3章を読む 事後学修：ノート・配付資料・教科書を読み直し、理解できていないところを把握する
5回	授業内容：母音記述の観点 事前学修：教科書3章を読む 事後学修：ノート・配付資料・教科書を読み直し、理解できていないところを把握する
6回	授業内容：基本母音と日本語の母音 事前学修：教科書3章を読む 事後学修：ノート・配付資料・教科書を読み直し、理解できていないところを把握する
7回	授業内容：子音記述の観点 事前学修：教科書4章を読む 事後学修：ノート・配付資料・教科書を読み直し、理解できていないところを把握する
8回	授業内容：清音・濁音・半濁音 事前学修：教科書4章を読む 事後学修：ノート・配付資料・教科書を読み直し、理解できていないところを把握する
9回	授業内容：異音—条件異音— 事前学修：教科書3章・4章を読む 事後学修：ノート・配付資料・教科書を読み直し、理解できていないところを把握する
10回	授業内容：異音—撥音と促音— 事前学修：教科書4章を読む 事後学修：ノート・配付資料・教科書を読み直し、理解できていないところを把握する
11回	授業内容：異音とローマ字表記 事前学修：教科書4章を読む 事後学修：ノート・配付資料・教科書を読み直し、理解できていないところを把握する
12回	授業内容：リズム—拍・音声・フットー 事前学修：教科書5章を読む 事後学修：ノート・配付資料・教科書を読み直し、理解できていないところを把握する
13回	授業内容：アクセント 事前学修：教科書6章を読む 事後学修：ノート・配付資料・教科書を読み直し、理解できていないところを把握する
14回	授業内容：13回までの内容の総合的な復習 事前学修：13回までの内容の復習 事後学修：13回までの内容において理解の及んでいないところの確認と復習
15回	授業内容：定着度の確認（教場試験）と解説 事前学修：14回までの内容の総合的な復習 事後学修：定着度の確認と解説を踏まえた各自課題の理解

- ◆**教科書** 教材『国語音声学 M31400』通信教育教材（教材コード000266）1,650円（送料込）
- ◆**参考書** 教科書末尾掲載の参考文献参照。授業内でも随時紹介する。
- ◆**成績評価基準** 教場試験80%・平常点・出席20% ※全日程出席が試験受験資格

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔イギリス文学史Ⅱ〕

猪野 恵也

- ◆**授業概要** E.M.Forster の時代から現代のポストコロニアル文学に至るまでの代表的な作家及び作品を紹介し考察する。時と場所があまりにも違うので作品鑑賞に必要な想像力を育むために映画化されたものを一部観ていく。
- ◆**学修到達目標**
 1. 時代における代表的な作家と作品に触れることができる。
 2. 英文の抜粋を少し読むので様々な文体の英語に触れることができる。
 3. 作品の解釈の仕方を知ることができる。
- ◆**授業方法** プリントを用いて（枚数多し）時代背景、各作家の生涯及び代表的な作品に触れ、作品を一つ選び読んでいく。時間が余れば、作家や作品を追加したい。
- ◆**履修条件** 2019 年度昼間スクーリング（後期）「イギリス文学史Ⅱ」との積み重ね不可
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 : E.M.Forster 及び <i>Howards End</i> 事前学修 : イギリス文学史において E.M.Forster について学修しておく。 事後学修 : <i>Howards End</i> を原文で読む。
2 回	授業内容 : D.H.Lawrence 及び <i>Lady Chatterley's Lover</i> 事前学修 : イギリス文学史において D.H.Lawrence について学修しておく。 事後学修 : <i>Lady Chatterley's Lover</i> を原文で読む。
3 回	授業内容 : George Orwell 及び <i>1984</i> 事前学修 : イギリス文学史において George Orwell について学修しておく。 事後学修 : <i>1984</i> を原文で読む。
4 回	授業内容 : Virginia Woolf 及び <i>Mrs Dalloway</i> 事前学修 : イギリス文学史において Virginia Woolf について学修しておく。 事後学修 : <i>Mrs Dalloway</i> を原文で読む。柴田徹士先生の注釈を参考にするとよい。
5 回	授業内容 : James Joyce 及び <i>Ulysses</i> など 事前学修 : イギリス文学史において James Joyce について学修しておく。 事後学修 : <i>Dubliners</i> , <i>A Portrait of the Artist as a Young Man</i> を原文で読む。
6 回	授業内容 : H.G.Wells 及び <i>The Invisible Man</i> など 事前学修 : イギリス文学史において H.G.Wells について学修しておく。 事後学修 : <i>The Invisible Man</i> などを原文で読む。
7 回	授業内容 : T.S.Eliot 及び <i>The Waste Land</i> 事前学修 : イギリス文学史において T.S.Eliot について学修しておく。 事後学修 : <i>The Waste Land</i> や Eliot による批評を原文で読む。
8 回	授業内容 : William Somerset Maugham 及び <i>The Moon and Six Pence</i> 事前学修 : イギリス文学史において Maugham について学修しておく。 事後学修 : <i>The Moon and Six Pence</i> を原文で読む。
9 回	授業内容 : Evelyn Waugh 及び <i>Brideshead Revisited</i> 事前学修 : イギリス文学史において Evelyn Waugh について学修しておく。 事後学修 : <i>Brideshead Revisited</i> を原文で読む。
10 回	授業内容 : Graham Greene 及び <i>Brighton Rock</i> など 事前学修 : イギリス文学史において Graham Greene について学修しておく。 事後学修 : <i>Brighton Rock</i> などを原文で読む。映画「第三の男」を観る。
11 回	授業内容 : William Golding 及び <i>Lord of the Flies</i> 事前学修 : イギリス文学史において William Golding について学修しておく。 事後学修 : <i>Lord of the Flies</i> を原文で読む。
12 回	授業内容 : Kazuo Ishiguro 及び <i>Never Let Me Go</i> 事前学修 : イギリス文学史において Kazuo Ishiguro について学修しておく。 事後学修 : <i>Never Let Me Go</i> を原文で読む。
13 回	授業内容 : John McGahern 及び <i>Amongst Women</i> 事前学修 : アイルランド文学史において John McGahern について学修しておく。 事後学修 : <i>Amongst Women</i> を原文で読む。短編集もあるのでそれらを読む。
14 回	授業内容 : Ian McEwan 及び <i>Atonement</i> 事前学修 : イギリス文学史において Ian McEwan について学修しておく。 事後学修 : <i>Atonement</i> を原文で読む。
15 回	授業内容 : 試験 事前学修 : 前回までの授業内容をじゅうぶん時間をかけて復習する。 事後学修 : イギリス文学史を改めて読み、読んでいない作品を原文で読む。

- ◆**教科書** [当日資料配布] プリント
- ◆**参考書** 教材 『イギリス文学史Ⅱ N30100』 通信教育教材（教育コード 000112）3,200 円（送料込）
 丸沼 『イギリス文学史』 川崎寿彦著 成美堂 2,592 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**成績評価基準** 試験（70%）平常点（30%） 短期間のスクーリングのため皆出席を前提として評価する。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

【英語史】オープン受講：不可

秋葉 倫史

◆**授業概要** 「英語史」とは英語の「ことばの変化」を研究する学問分野です。現在、国際語となりつつある英語は1000年以上の歴史を持ち、その中で他の言語よりも大きな変化を経験してきました。本講座では、この英語の変化について、古英語・中英語・近代英語といった英語の時代区分を基に、それぞれの言語の特徴を知り、現代英語と比較することによって、英語がどのように変化してきたのかを学習します。

◆**学習到達目標** 本講座では、受講生が、
①各時代区分の英語の特徴を理解できるようになる
②古い英語と現代英語を比較し、その違いを説明できるようになる
③それぞれの文法項目がどのように変化してきたのかを説明できるようになる
ことを目標としています。

◆**授業方法** 基本的に配布プリントを基に講義形式で進めます。ただし、学習内容に沿った質疑応答や、プリントの例文について発表してもらうというような演習形式の要素も適宜加えていきます。必要に応じて、内容・進度は調整することもあります。

◆**授業計画 (各90分)**

1回	授業内容	ガイダンス・基礎知識の導入 ①授業概要・成績評価等について説明を行う。②英語史に関する基礎知識とインド・ヨーロッパ語族について学習する。
	事前学修	シラバスの内容に目を通しておく必要がある。事前配布プリント「Introduction」及び「印欧語族と英語の系統」を確認しておくこと。また、参考文献等で該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	授業目標や評価基準を理解しておくこと。基本用語は2回目以降の説明で用いるため定着させておく必要がある。また、授業内容を整理し、ノートにまとめること。
2回	授業内容	古英語期外面史・古英語を読む ①古英語期の社会的出来事について学習する。②古英語で書かれた West Saxon Gospels からの抜粋を読む。
	事前学修	事前配布プリント「古英語期外面史」及び「古英語を読む」を確認しておくこと。また、参考文献等で該当箇所を読んでおくこと。「古英語を読む」では、現代英語の聖書での該当箇所を参照し、古英語と現代英語の単語の対応を可能な限り検討しておくことが望ましい。
	事後学修	「古英語期外面史」では、参考文献等の外面史記載の箇所を確認し、歴史的出来事の流れを再確認すること。特に、言語に影響を与えた出来事については年代と内容を定着させておく必要がある。「古英語を読む」では、古英語と現代英語の違いについてポイントを整理しておくこと。
3回	授業内容	古英語の語形変化 古英語の語形変化(名詞・動詞)とその変遷を学習する。
	事前学修	事前配布プリント「名詞の起源」及び「動詞の起源」を確認しておくこと。また、参考文献等で該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	授業内容を整理し、ノートにまとめること。
4回	授業内容	語順の変化 古英語の語順の特徴とその変遷を学習する。
	事前学修	事前配布プリント「語順の通時的変化」を確認しておくこと。また、参考文献等で該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	授業内容を整理し、ノートにまとめること。
5回	授業内容	中英語期外面史 中英語期の社会的出来事について学習する。
	事前学修	事前配布プリント「中英語期外面史」を確認しておくこと。また、参考文献等で該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	参考文献等の外面史記載の箇所を確認し、歴史的出来事の流れを再確認すること。特に、言語に影響を与えた出来事については年代と内容を定着させておく必要がある。
6回	授業内容	中英語を読む 中英語で書かれた「カンタベリ物語」からの抜粋を読む。
	事前学修	事前配布プリント「カンタベリ物語」を読んでおくこと。
	事後学修	プリントの中英語の文章の内容を再確認すること。また、現代英語との違いについて整理しておくこと。
7回	授業内容	非人称動詞の発達 非人称動詞の用法とその変遷を学習する。
	事前学修	事前配布プリント「非人称構文の発達」を確認しておくこと。また、参考文献等で該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	授業内容を整理し、ノートにまとめること。
8回	授業内容	完了形の発達 初期の完了形の形式・用法とその変遷を学習する。
	事前学修	事前配布プリント「完了形の発達」を確認しておくこと。また、参考文献等で該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	授業内容を整理し、ノートにまとめること。
9回	授業内容	再帰代名詞の発達 初期の再帰代名詞の用法とその変遷を学習する。
	事前学修	事前配布プリント「再帰代名詞の発達」を確認しておくこと。また、参考文献等で該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	授業内容を整理し、ノートにまとめること。
10回	授業内容	近代英語の外面史 近代英語期の社会的出来事について学習する。
	事前学修	事前配布プリント「近代英語期外面史」を確認しておくこと。また、参考文献等で該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	参考文献等の外面史記載の箇所を確認し、歴史的出来事の流れを再確認すること。特に、言語に影響を与えた出来事については年代と内容を定着させておく必要がある。
11回	授業内容	初期近代英語を読む 初期近代英語で書かれた『欽定訳聖書』からの抜粋を読む。
	事前学修	事前配布プリント『欽定訳聖書』の抜粋を読んでおくこと。また、現代英語の対応箇所を確認し、その違いを確認しておくこと。
	事後学修	プリントの初期近代英語の文章の内容を再確認すること。また、現代英語との違いについて整理しておくこと。
12回	授業内容	法助動詞の発達 近代英語までの法助動詞の用法とその変遷を学習する。
	事前学修	事前配布プリント「法助動詞の発達」を確認しておくこと。また、参考文献等で該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	授業内容を整理し、ノートにまとめること。
13回	授業内容	助動詞 do の発達 近代英語までの助動詞 do の用法とその変遷を学習する。
	事前学修	事前配布プリント「助動詞 do の発達」を確認しておくこと。また、参考文献等で該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	授業内容を整理し、ノートにまとめること。
14回	授業内容	英語の発音と綴り・言語変化のメカニズム ①大母音推移を中心に英語の発音と綴りの関係性を学習する。②言語変化理論である「文法化」について学習する。
	事前学修	事前配布プリント「英語の綴りと発音」及び「言語変化のメカニズム(文法化)」を確認しておくこと。また、参考文献等で該当箇所を読んでおくこと。
	事後学修	授業内容を整理し、ノートにまとめること。
15回	授業内容	試験・解説 学習内容を確認するための試験とその解説を行う。
	事前学修	これまでの学習内容を整理し、ノートにまとめておくこと。
	事後学修	問題を再度解きなおし、本講座で学習した内容を整理すること。

◆**教科書** 事前資料送付 事前に授業プリントを配布します。

◆**参考書** 丸沼『英語史入門』橋本功著 慶應義塾大学出版会 2,592円(税込)(送料300円)
丸沼『ファンダメンタル英語史』児馬修著 ひつじ書房 1,728円(税込)(送料300円)
丸沼『文法化する英語』保坂道雄著 開拓社 1,944円(税込)(送料300円)

◆**成績評価基準** 試験(60%)、授業への取り組み(40%)を総合的に評価します。ただし、全出席を前提とします。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

〔英作文Ⅱ〕

アレックス ブラウン

- ◆**授業概要** This is a short, intensive writing course that requires students to work together in groups to generate ideas and edit students' essays. The teacher will review notes on the writing process and guide you through other writing activities such as revising grammar and using persuasive writing techniques.
- ◆**学修到達目標** This course focusses on the writing process of a five-paragraph essay. It's a step by step process in which we will build 2 essays that have a sound Introduction, Body and Conclusion. Students will work together in a work-shop like manner and will have the chance to explore writing narratives and comparative essays.
- ◆**授業方法** Students will work on developing ideas, arguments and opinions based on supporting sentences within a five-step writing process. Generating ideas in groups along with editing written pieces within these groups is an important part of this course. Active participation is expected from all students to achieve our academic writing goals.
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	Prepare a written self-introduction providing some general information about yourself.
	事前学修	A general course orientation will start the day followed by a self-introduction activity in which students will model the teacher's example.
	事後学修	Familiarize yourself with the five steps of the writing process.
2 回	授業内容	Read over your notes on topic sentences.
	事前学修	The teacher will give you examples of good and not so good topic sentences. Find the good ones and indicate the bad ones. Practice writing your own topic sentences.
	事後学修	Research your topic for Essay 1 based on the teacher's guidelines.
3 回	授業内容	Present your essay topic to your group and discuss how you plan to support it with ideas.
	事前学修	Students will work in groups to brainstorm their individual topic ideas. Follow the model your teacher gives you and list ideas accordingly.
	事後学修	Finish the activity on supporting sentences.
4 回	授業内容	Prepare to offer answers on the blackboard regarding supporting sentences.
	事前学修	Today's lesson focusses on paragraph construction. Make sure to back up your ideas with strong supporting topic sentences.
	事後学修	Complete the grammar editing exercise.
5 回	授業内容	Prepare to write the answers of your editing exercise on the board.
	事前学修	This class will be devoted to finishing the rough draft for Essay 1. The teacher will pass out an editing checklist for review.
	事後学修	Check off the points on the editing check-list as it pertains to your essay.
6 回	授業内容	Prepare some positive comments and possible questions for your partner's essay.
	事前学修	Essay analysis of your partner's essay will be conducted. Fill it out the comment sheet.
	事後学修	Prepare your final draft for essay submission.
7 回	授業内容	Pass in Essay 1 at the beginning of class.
	事前学修	The teacher will give an example of compare and contrast essays. Compare and contrast 1 topic from the list that your teacher gives you.
	事後学修	Research points and ideas for Essay 2.
8 回	授業内容	Prepare to brainstorm your ideas for essay2 with your partners. Keep in mind the teacher's guidelines for topic selection.
	事前学修	In groups of 3, students will brainstorm their ideas for Essay 2. List the permanent information and disregard others. Be ready to offer ideas to your partners.
	事後学修	Try a 3-minute free-writing activity at home. Your teacher will provide the topic.
9 回	授業内容	Prepare a short summary of your free-writing activity.
	事前学修	Construct supporting ideas for your main points of Essay 2. Construct effective paragraphs for Essay 2.
	事後学修	You may need to complete the rough draft for Essay 2.
10 回	授業内容	Prepare Essay 2 for editing and revising.
	事前学修	In groups of 3, go over your partner's essays and complete the revision for checklists. Give positive feedback when it applies. Ask questions when necessary.
	事後学修	Edit your essay by checking grammar and sentence structure as per the checklists provided.
11 回	授業内容	Prepare Essay 2 for submission at the end of class.
	事前学修	The teacher will give you a grading form that will be used to grade your essays. You will follow the guide and give yourself a grade that the teacher will strongly consider.
	事後学修	Go over the notes for Plot-driven essays.
12 回	授業内容	Prepare to explain the plot of your favorite story, be it animation, movie or any literary work.
	事前学修	We'll work on an activity where students have to unscramble the starts of 3 stories. Next, choose one story and complete it with your own ideas.
	事後学修	Finish your plot-driven story.
13 回	授業内容	Prepare to read your plot-driven story in a group of 3.
	事前学修	Today's activity will focus on creating dialogue based on the situations your teacher gives you. Sentence structures will be edited by looking at examples from students.
	事後学修	Try a 3-minute free-writing activity at home. Your teacher will provide the topic.
14 回	授業内容	Prepare to discuss a summary of your free-writing activity.
	事前学修	We'll take a look at character driven stories. In groups, students will take part in character generation. Discuss similarities and differences of your characters.
	事後学修	Choose 2 of the characters from the previous activity and add to their descriptions. Focus on their actions based on their character.
15 回	授業内容	Prepare to present your characters in groups.
	事前学修	Complete a four-scene story-board using your characters. Plan an effective plot point based on the characters. Expand the story as you see fit.
	事後学修	Thank you for your efforts during this course.

- ◆**教科書** No textbook is necessary. Students will be given handouts each day.
- ◆**参考書** None
- ◆**成績評価基準** Students will be graded on two essays with strong consideration on class participation and group contributions.

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔西洋古典〕

福島 昇

◆**授業概要** シェイクスピアのロマンス劇『テンペスト』を読む。シェイクスピアの英語は英文学、米文学、言語学の基礎です。シェイクスピアの英語を通して、『テンペスト』の奥深さを少しでも理解し、『テンペスト』のテーマ——復讐、赦し、和解——について学ぶ。また『テンペスト』がいかにかトニ・モンスンの『タール・ベイビー』に影響を与えたか理解させる。

◆**学修到達目標** 英文学専攻の学生として必要な英文法の知識とシェイクスピアの英語を修得する。シェイクスピアは世界の演劇、小説、音楽、美術等に深い影響を与え続けている。授業では、『テンペスト』だけでなく、その他のシェイクスピアの主要なテキスト、西洋演劇、日本演劇（歌舞伎、文楽、能・狂言、新派、大衆演劇）、トニ・モンスンなども理解させる。

◆**授業方法** 毎回30分ぐらい精読し、シェイクスピアの文法に慣れるようにする。シェイクスピアと『テンペスト』の諸問題について議論し、批評的感想（おしゃべり）を述べる習慣を身につける。ギリシア悲劇、現代劇、黒人演劇、日本演劇、日本文学、トニ・モンスンなどと比較しながら話題を広げる。理解力を深めるために、ジュリー・テイモア監督『テンペスト』（2012）を鑑賞する。

◆**授業計画〔各90分〕**

	授業内容：ガイダンス：授業の方針、到達目標確認試験（中間試験、期末試験、授業参画度）について
1回	事前学修：シラバスをよく読んでおくこと。 事後学修：授業の方針、到達目標確認試験等について再確認すること。
	授業内容：ジュリー・テイモア監督『テンペスト』（2012）
2回	事前学修：ジュリー・テイモア監督『テンペスト』（2012）を調べてくる。 事後学修：映画の内容をノートに整理し、確認しておくこと。
	授業内容：ジュリー・テイモア監督『テンペスト』（2012）
3回	事前学修：ジュリー・テイモア監督『テンペスト』（2012）を調べてくる。 事後学修：映画の内容をノートに整理し、確認しておくこと。
	授業内容：The Tempest 30行ほど
4回	事前学修：The Tempest 30行ほど読んでくる。 事後学修：授業内容をノートに整理し、確認しておくこと。
	授業内容：The Tempest 30行ほど
5回	事前学修：The Tempest 30行ほど読んでくる。 事後学修：授業内容をノートに整理し、確認しておくこと。
	授業内容：The Tempest 30行ほど
6回	事前学修：The Tempest 30行ほど読んでくる。 事後学修：授業内容をノートに整理し、確認しておくこと。
	授業内容：The Tempest 30行ほど
7回	事前学修：The Tempest 30行ほど読んでくる。 事後学修：映画の内容をノートに整理し、確認しておくこと。
	授業内容：到達目標確認試験（中間試験）
8回	事前学修：試験範囲（4～8回）を勉強する。 事後学修：授業内容（4～8回）を再確認しておくこと。
	授業内容：『もうひとりのシェイクスピア』（2011）
9回	事前学修：『もうひとりのシェイクスピア』（2011）を調べてくる。 事後学修：映画の内容をノートに整理し、確認しておくこと。
	授業内容：『もうひとりのシェイクスピア』（2011）
10回	事前学修：『もうひとりのシェイクスピア』（2011）を調べてくる。 事後学修：映画の内容をノートに整理し、確認しておくこと。
	授業内容：The Tempest 30行ほど
11回	事前学修：The Tempest 30行ほど読んでくる。 事後学修：授業内容をノートに整理し、確認しておくこと。
	授業内容：The Tempest 30行ほど
12回	事前学修：The Tempest 30行ほど読んでくる。 事後学修：授業内容をノートに整理し、確認しておくこと。
	授業内容：The Tempest 30行ほど
13回	事前学修：The Tempest 30行ほど読んでくる。 事後学修：授業内容をノートに整理し、確認しておくこと。
	授業内容：The Tempest 30行ほど
14回	事前学修：The Tempest 30行ほど読んでくる。 事後学修：授業内容をノートに整理し、確認しておくこと。
	授業内容：到達目標確認試験（期末試験）
15回	事前学修：試験範囲（10～14回）を勉強する。 事後学修：授業内容（10～14回）を再確認しておくこと。

◆**教科書** 『テンペスト The Tempest (The New Cambridge Shakespeare)』 David Lindley 編集
Cambridge University Press 2版 2013 ペーパーバック 1,378円（中古629円より）
アマゾン等で事前に用意してください。

◆**参考書** 授業中に随時紹介する。

◆**成績評価基準** 学修到達目標確認試験（中間試験：40%、定期試験：40%、授業参画度20%）

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

〔スピーチコミュニケーションⅠ〕

パトリック マッコイ

◆**授業概要** Since this is a speech communication class, I expect you to try your best to speak English at all times (part of your grade will be based on participation)

There are no prerequisites for this class, so I expect there will be a mixture of students with a variety of language ability in English. For students who have had little experience studying English communication, this class may seem quite difficult – please try your best. For students who have studied English communication or have lived abroad, this course may seem rather easy; however, I expect you to do your best and help other students. Your grade for the speaking test will be based on your effort to communicate using the Language covered in this course. Your grade will NOT be based on your overall language ability.

◆**学修到達目標** 1. To use English for communication with a focus on fluency.
2. To review basic language to talk about general themes.
3. To reduce student apprehension towards communicating in English.

◆**授業方法** Students will have a variety of opportunities to practice the four skills with an emphasis on speaking and listening.

◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容	Orientation; Clarifying Language, introducing your partner (Getting To Know You); Find Someone Who.....
	事前学修	None
	事後学修	Review handouts.
2 回	授業内容	Values Topics discussion.
	事前学修	Review handouts.
	事後学修	Review handouts.
3 回	授業内容	Talking About Routines. (part one)
	事前学修	Review handouts.
	事後学修	Review handouts.
4 回	授業内容	Talking About Routines. (part two)
	事前学修	Review handouts.
	事後学修	Review handouts.
5 回	授業内容	Talking About Routines. (part three)
	事前学修	Review handouts.
	事後学修	Review handouts.
6 回	授業内容	Famous Firsts (part one)
	事前学修	Review handouts.
	事後学修	Review handouts.
7 回	授業内容	Famous Firsts (part two)
	事前学修	Review handouts.
	事後学修	Review handouts.
8 回	授業内容	Famous Firsts (part three)
	事前学修	Review handouts.
	事後学修	Review handouts.
9 回	授業内容	Talking About Appearance and Personality (part one)
	事前学修	Review handouts.
	事後学修	Review handouts.
10 回	授業内容	Talking About Appearance and Personality (part one)
	事前学修	Review handouts.
	事後学修	Review handouts.
11 回	授業内容	Discussion Skills 2: Pairs & Triads / Large Group Discussion
	事前学修	Review handouts.
	事後学修	Review handouts.
12 回	授業内容	TED Talk (Alex Kerr)
	事前学修	Review handouts.
	事後学修	Review handouts.
13 回	授業内容	Preparation for presentations of topics from previous lessons / Students give
	事前学修	Review handouts.
	事後学修	Review new handouts for Written Test.
14 回	授業内容	Written Test
	事前学修	Review handouts for Written Test.
	事後学修	Review handouts for Oral Test.
15 回	授業内容	Oral Tests.
	事前学修	Review handouts for Oral Test
	事後学修	None.

◆**教科書** No text-handouts will be provided by instructor.

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** Class participation 60% Written test 20% Oral Test 20%

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

【英米文学演習A】

閑田 朋子

- ◆**授業概要** 文学作品においては、「何を」描くかということばかりでなく、それを「どのように」描くのか、という点が重要なポイントになります。そして「どのような」描き方をしたかによって、文学作品を媒介として伝達される言葉や思考に伴って、読者にもたらされる感情の質や内容が変わってきます。この授業では、英米文学の小説を題材として、小説における技法とそのもたらした効果について考えます。授業の1～5回は、読者・作者・語り手、6～10回は時間、11～15回は違和感をキーワードとします。
- ◆**学習到達目標** 小説について、単なる「感想」を述べるのではなく、小説のどの部分にどのような技法が用いられ、それがどのような効果をもたらしたか、何を意味するのか、具体的に指摘し、「批評」できるようにすることを目的とします。この授業で学んだ小説の技法への理解や批評理論を、レポートや卒業論文を作成する際に活用し、さらに卒業後は、小説のみならず様々なディスコースを読み解くために活用してほしい。
- ◆**授業方法** まず、受講者をいくつかのグループに分けます。そして、それぞれの章の頭の英米文学作品からの抜粋部分の内容について各グループ内で確認します。次に、その抜粋部分に、どのような小説の技法が用いられているのか、そしてどのような効果をもたらしたのか、教員が説明します。そして、その説明を受けて、同じような技法が用いられている例をグループ内のディスカッションで出しあい、扱った小説の技法について理解を深めます。
- ◆**授業計画 (各90分)**

1回	授業内容 事前学修 事後学修	●授業内容・方法・評価基準などについての説明・確認。 ●信用できない語り手—もしや私はだまされている? Kazuo Ishiguroの <i>The Remain of the Days</i> を題材として、様々なタイプの語り手について学ぶ。 テキスト7頁の英文を読み、内容を理解していただくこと。その際に、理解が難しい文章があれば、授業内に確認できるように、印をつけていただくこと。 授業の内容をノートに整理し、「信用できない語り手」がどのような語り手であるのか、ディスカッションであげられた具体例を参考に、自身の考えを明確にしておくこと。
2回	授業内容 事前学修 事後学修	●介入する作者、登場する読者1—「よい子の皆さん、こういうことをすると困ったことになりましたよ」と語りかけているのは一体誰なのか? E. M. Forsterの <i>Howards End</i> を題材にして、様々なタイプの「介入する作者」について学ぶ。 テキスト11頁の英文を読み、内容を理解していただくこと。その際に、理解が難しい文章があれば、授業内に確認できるように、印をつけていただくこと。 授業の内容をノートに整理し、「介入する作者」がどのような作者であるのか、ディスカッションであげられた具体例を参考に、自身の考えを明確にしておくこと。
3回	授業内容 事前学修 事後学修	●介入する作者、登場する読者2—コマーシャルで「うっそー、やっすーい」と叫んでいるのは一体誰なのか? Laurence Sterneの <i>The Life and Opinions of Tristram Shandy, Gent.</i> を題材にして、様々なタイプの「テクストのなかの読者」について学ぶ。 テキスト15頁の英文を読み、内容を理解していただくこと。その際に、理解が難しい文章があれば、授業内に確認できるように、印をつけていただくこと。 授業の内容をノートに整理し、「テクストのなかの読者」がどのような読者であるのか、ディスカッションであげられた具体例を参考に、自身の考えを明確にしておくこと。
4回	授業内容 事前学修 事後学修	●語りと視点—見ているのに分かっていない彼女。Henry Jamesの <i>What Maisie Knew</i> を題材にして、語りと視点について学ぶ。 テキスト19頁の英文を読み、内容を理解していただくこと。その際に、理解が難しい文章があれば、授業内に確認できるように、印をつけていただくこと。 授業の内容をノートに整理し、語りと視点の関係性について、ディスカッションであげられた具体例を参考に、自身の考えを明確にしておくこと。
5回	事前学修 事後学修	●発表と復習 第1～4回の授業で扱った小説の技法から一つを選び、各自が具体例を挙げて、グループ内で発表を行う。 第1～4回の授業で扱った小説の技法から一つを選び、その章の全体を読んでいただくこと。事前学習をする際に説明部分が難解だと感じられた場合は、参考文献の和訳を参照されたい。 第1～4回の授業で扱った小説の技法について、ディスカッションであげられた具体例を参考に、自身の考えを明確にしておくこと。
6回	授業内容 事前学修 事後学修	●反復—「Aさんっていい人だよ、Aさんっていい人だよ、Aさんっていい人だよ」と繰り返されて3度目にあなたは何を思うのか Ernest Hemingwayの <i>In Another Country</i> を題材にして、反復について学ぶ。 テキスト67頁の英文を読み、内容を理解していただくこと。その際に、理解が難しい文章があれば、授業内に確認できるように、印をつけていただくこと。 授業の内容をノートに整理し、反復について、ディスカッションであげられた具体例を参考に、自身の考えを明確にしておくこと。
7回	授業内容 事前学修 事後学修	●持続感と伸縮する時間—3秒で100年、1時間で0秒 Donald Barthelmeの <i>Come Back, Dr Caligari</i> を題材にして、持続感について学ぶ。 テキスト83頁の英文を読み、内容を理解していただくこと。その際に、理解が難しい文章があれば、授業内に確認できるように、印をつけていただくこと。 授業の内容をノートに整理し、反復について、ディスカッションであげられた具体例を参考に、自身の考えを明確にしておくこと。
8回	授業内容 事前学修 事後学修	●時間の移動—なんで彼女、不機嫌なんだろう、俺、なんかやった!? Muriel Sparkの <i>The Prime of Miss Jean Brodie</i> を題材にして、時間の移動について学ぶ。 テキスト55頁の英文を読み、内容を理解していただくこと。その際に、理解が難しい文章があれば、授業内に確認できるように、印をつけていただくこと。 授業の内容をノートに整理し、反復について、ディスカッションであげられた具体例を参考に、自身の考えを明確にしておくこと。
9回	授業内容 事前学修 事後学修	●エビファニー—この永遠の瞬間 John Updikeの <i>Rabbit, Run</i> を題材にして、エビファニーについて学ぶ。 テキスト36頁の英文を読み、内容を理解していただくこと。その際に、理解が難しい文章があれば、授業内に確認できるように、印をつけていただくこと。 授業の内容をノートに整理し、反復について、ディスカッションであげられた具体例を参考に、自身の考えを明確にしておくこと。
10回	授業内容 事前学修 事後学修	●発表と復習 第5～9回の授業で扱った小説の技法から一つを選び、各自が具体例を挙げて、グループ内で発表を行う。 第5～9回の授業で扱った小説の技法から一つを選び、その章の全体を読んでいただくこと。事前学習をする際に説明部分が難解だと感じられた場合は、参考文献の和訳を参照されたい。 第5～9回の授業で扱った小説の技法について、ディスカッションであげられた具体例を参考に、自身の考えを明確にしておくこと。
11回	授業内容 事前学修 事後学修	●異化—慣れがあなたを貪り食う Charlotte Brontëの <i>Villette</i> を題材にして、異化について学ぶ。 テキスト40頁の英文を読み、内容を理解していただくこと。その際に、理解が難しい文章があれば、授業内に確認できるように、印をつけていただくこと。 授業の内容をノートに整理し、異化について、ディスカッションであげられた具体例を参考に、自身の考えを明確にしておくこと。
12回	授業内容 事前学修 事後学修	●ティーンエイジ・スカースと昭和軽佻浮薄体—ゲッゴロの鬼こわい J. D. Salingerの <i>The Catcher in the Rye</i> を題材にして、ティーンエイジ・スカースについて学ぶ。 テキスト72頁の英文を読み、内容を理解していただくこと。その際に、理解が難しい文章があれば、授業内に確認できるように、印をつけていただくこと。 授業の内容をノートに整理し、反復について、ディスカッションであげられた具体例を参考に、自身の考えを明確にしておくこと。
13回	授業内容 事前学修 事後学修	●怪奇—ドッペルゲンガーの正体は、実は生き別れの双子!? Edgar Allan Poeの"William Wilson"を題材にして、怪奇について学ぶ。 テキスト36頁の英文を読み、内容を理解していただくこと。その際に、理解が難しい文章があれば、授業内に確認できるように、印をつけていただくこと。 授業の内容をノートに整理し、反復について、ディスカッションであげられた具体例を参考に、自身の考えを明確にしておくこと。
14回	授業内容 事前学修 事後学修	●電話—あなたの声は聞こえるけれど姿が見えない、姿は見えるけれど触れない、声は聞こえる、姿も見える、でも助けられない Evelyn Waughの <i>A Handful of Dust</i> を題材にして、電話という小道具の効果について学ぶ。 テキスト77頁の英文を読み、内容を理解していただくこと。その際に、理解が難しい文章があれば、授業内に確認できるように、印をつけていただくこと。 授業の内容をノートに整理し、反復について、ディスカッションであげられた具体例を参考に、自身の考えを明確にしておくこと。
15回	授業内容 事前学修 事後学修	●授業内試験と振り返り 全体の復習を通して小説の技法についての授業内容を振り返り、試験を行う。 第1～15回の授業で扱った小説の技法からとくに興味をもった技法の一つを選び、その章の全体を改めて読んでいただくこと。事前学習をする際に説明部分が難解だと感じられた場合は、参考文献の和訳を参照されたい。 第1～15回の授業で扱った小説の技法について、ディスカッションであげられた具体例を参考に、自身の考えを明確にする。

- ◆**教科書** 丸沼『*The Art of Fiction*』 David Lodge (『小説の技法』 D. ロッジ) 英宝社 1,995円(税込)(送料300円)
- ◆**参考書** 丸沼『*小説の技巧*』デイヴィッド・ロッジ 柴田元幸・斎藤兆史訳 白水社 2,592円(税込)(送料300円)
- ◆**成績評価基準** グループ学習における参加・貢献および教員からの質問に対する回答(30%) 試験(70%)
※全日程出席を試験受験資格とします。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔哲学特殊講義〕

小山 英一

- ◆**授業概要** 船木著の『現代思想史入門』を（教科書・テキストとして）使って、現代の思想状況の方向性を探求していく。現代の思想については従来の視点、近代哲学の視点では語ることができない。近代哲学の視点を越えた、広い、多面的な視点で見ていくことになる。前年は「はじめに」「序章」「第 1 章 生命 —— 進化論から生命政治まで」「第 2 章 精神 —— 宇宙における人間」195 頁までを講義をした。今回は「はじめに」「序章」「第 3 章 歴史 —— 構造主義史観へ」から講義を始める。第 1 章、第 2 章は各自で読んでおいてほしい。
- ◆**学修到達目標** 難解な現代思想を（「生命」「精神」「歴史」「情報」「暴力」という観点から他者に説明できるようになる。現代思想にあらわれるさまざまな概念（進化論、西洋の没落、生の哲学、実存主義、現代哲学、論理実証主義、構造主義、ポストモダン思想、情報化社会論、暴力論、ポスト・ヒューマニズム、サイボーグなど）を理解し説明できるようになる。
- ◆**授業方法** 教科書・テキストをゆっくり読みながら下記の教科書を中心に講義形式で行う（教科書を購入すること。持っていない人は講義も試験も受けることはできない）。教科書を（指名して）読んでもらう（ゆっくり読みながら授業を進めて行く）。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	「はじめに」現代思想にはどんなものがあるか、近代の行きづまり、ツリーからリゾームへ、現代思想の諸層について説明する。
	事前学修	テキストの 013 頁～024 頁を読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、テキストの該当箇所を再度読んで、内容を理解し、自分なりの見解を考えておくこと。
2 回	授業内容	「序章 現代とは何か」近代の終わり、ポストモダン、現代のはじまりについて説明する。
	事前学修	テキストの 026 頁～046 頁を読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、テキストの該当箇所を再度読んで、内容を理解し、自分なりの見解を考えておくこと。
3 回	授業内容	「第 3 章 歴史」（1）時代区分、歴史の概念、ヘーゲルとポパーの歴史についての主張、宇宙の歴史と歴史学、ナチュラリストリーについて説明する。
	事前学修	テキストの 214 頁～228 頁を読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、テキストの該当箇所を再度読んで、内容を理解し、自分なりの見解を考えておくこと。
4 回	授業内容	「第 3 章 歴史」（2）普遍的登記簿、歴史とポストモダン、哲学の終焉、哲学の 4 つの道について説明する。
	事前学修	テキストの 228 頁～244 頁を読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、テキストの該当箇所を再度読んで、内容を理解し、自分なりの見解を考えておくこと。
5 回	授業内容	「第 3 章 歴史」（3）現象学、現象学的反省、時間性、純粹持続、差異の哲学について説明する。
	事前学修	テキストの 244 頁～259 頁を読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、テキストの該当箇所を再度読んで、内容を理解し、自分なりの見解を考えておくこと。
6 回	授業内容	「第 3 章 歴史」（4）現代哲学の終焉、論理実証主義、意味と意義、語り得ないものについて説明する。
	事前学修	テキストの 259 頁～273 頁を読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、テキストの該当箇所を再度読んで、内容を理解し、自分なりの見解を考えておくこと。
7 回	授業内容	「第 3 章 歴史」（5）構造主義、差異の体系、構造主義の 3 つの課題、エクリチュールについて説明する。
	事前学修	テキストの 273 頁～288 頁を読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、テキストの該当箇所を再度読んで、内容を理解し、自分なりの見解を考えておくこと。
8 回	授業内容	「第 3 章 歴史」（6）構造主義的批評、エピステーメー、構造主義的歴史、メルロポンティとソシュールの主張、人間の終焉について説明する。
	事前学修	テキストの 289 頁～306 頁を読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、テキストの該当箇所を再度読んで、内容を理解し、自分なりの見解を考えておくこと。
9 回	授業内容	「第 4 章 情報」（1）ポストモダニズム、建築・芸術・文学・映画のポストモダンについて説明する。
	事前学修	テキストの 308 頁～325 頁を読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、テキストの該当箇所を再度読んで、内容を理解し、自分なりの見解を考えておくこと。
10 回	授業内容	「第 4 章 情報」（2）ポストモダン思想、ポストモダンの条件、大きな物語、思想のポストモダン、ポスト構造主義、脱構築、ポストモダン思想のその後について説明する。
	事前学修	テキストの 325 頁～349 頁を読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、テキストの該当箇所を再度読んで、内容を理解し、自分なりの見解を考えておくこと。
11 回	授業内容	「第 4 章 情報」（3）イデオロギーの終焉、国家イデオロギー装置、シミュラクル、道徳と芸術のゆくえについて説明する。
	事前学修	テキストの 350 頁～363 頁を読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、テキストの該当箇所を再度読んで、内容を理解し、自分なりの見解を考えておくこと。
12 回	授業内容	「第 4 章 情報」（4）価値の相対化、ポスト歴史的人間、世界と人間の発見、時計の発明、大衆の出現とマスメディアについて説明する。
	事前学修	テキストの 364 頁～382 頁を読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、テキストの該当箇所を再度読んで、内容を理解し、自分なりの見解を考えておくこと。
13 回	授業内容	「第 4 章 情報」（5）大衆社会論、メディアはメッセージ、帝国とグローバリゼーション、管理社会論について説明する。
	事前学修	テキストの 382 頁～393 頁を読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、テキストの該当箇所を再度読んで、内容を理解し、自分なりの見解を考えておくこと。
14 回	授業内容	「第 4 章 情報」（6）マルクス主義と進歩の終わり、資本主義社会、共産主義社会、歴史の過剰と欠如、人間の脱人間化と世界の脱中心化、自由の刑、哲学のゆくえについて説明する。
	事前学修	テキストの 393 頁～413 頁を読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、テキストの該当箇所を再度読んで、内容を理解し、自分なりの見解を考えておくこと。
15 回	授業内容	授業の理解度を測るための試験とその試験の解説をする。
	事前学修	1 回から 14 回までの内容を試験に合わせて総復習して試験に臨むこと。
	事後学修	解説を通じて試験の内容を再確認し、理解の内容を深めること。

- ◆**教科書** 丸沼『現代思想史入門』船木亨 ちくま新書 1183 1,404 円（税込）（送料 300 円）必ず購入しておくこと。
- ◆**参考書** 特になし。
- ◆**成績評価基準** 試験（80%、記述式 2 問）と授業参画度（20%、小レポート、小テスト、発表、授業への参加・貢献など）により総合的に評価する。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔日本史演習Ⅰ・Ⅱ〕

坂口 太助

◆**授業概要** 歴史を学ぶためには、その時代に作られた、あるいは当事者・関係者によって作られた様々な文献・史料を読み込むことが重要である。本講義は、『昭和天皇独白録』を題材として日本近代史の文献・史料の読み方、そしてより深く読む(内容を把握する)ための調べ方を学ぶことを目標とし、同時に史料から浮かび上がる近代日本の特徴や問題点を考えていく。

◆**学修到達目標** 1. ある文献・史料について、ただ「読む」だけではなく、その内容について自ら調べ、確認して本当の意味でその文献・史料を「読む(読み込む・読み解く)」ことができるようになる。
2. 「1」に基づき、文献・史料から歴史上の出来事について自ら「考える」ことができるようになる。

◆**授業方法** 受講者による報告とそれを受けての質疑応答・議論が中心の授業となる(教員もコメントを行うがあくまで中心は受講者、また理解を深めるために映像資料を視聴することもある)。受講者確定後、各受講者に教科書の担当ページを連絡するので、授業開始日までに報告用プリントを作成して授業に出席してもらうこととなる。なお「報告用プリントはA3用紙2〜3枚、報告時間は20〜30分」が目安となる(受講者数によって増減)。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容: ガイダンス及び総論: この講義の目的・到達目標・評価方法等について解説するとともに、『昭和天皇独白録』の特徴等について確認する。 事前学修: 教科書の「はじめに」と「解説にかえて」を読んでおくこと。 事後学修: 教科書の特徴について改めて確認する。
2回	授業内容: 昭和初期の『独白録』を読む①: 正確な担当ページは受講者確定後に決定するが、初日(第2〜5回)は概ね昭和初期の部分について受講者に報告してもらう。 事前学修: 報告者以外の受講者も必ず教科書の1日目に扱う部分を読んでおくこと。 事後学修: 質疑応答・講師コメント等をふまえ、改善点を確認する。
3回	授業内容: 昭和初期の『独白録』を読む②: 正確な担当ページは受講者確定後に決定するが、初日(第2〜5回)は概ね昭和初期の部分について受講者に報告してもらう。 事前学修: 報告者以外の受講者も必ず教科書の1日目に扱う部分を読んでおくこと。 事後学修: 質疑応答・講師コメント等をふまえ、改善点を確認する。
4回	授業内容: 昭和初期の『独白録』を読む③: 正確な担当ページは受講者確定後に決定するが、初日(第2〜5回)は概ね昭和初期の部分について受講者に報告してもらう。 事前学修: 報告者以外の受講者も必ず教科書の1日目に扱う部分を読んでおくこと。 事後学修: 質疑応答・講師コメント等をふまえ、改善点を確認する。
5回	授業内容: 昭和初期の『独白録』を読む④: 正確な担当ページは受講者確定後に決定するが、初日(第2〜5回)は概ね昭和初期の部分について受講者に報告してもらう。 事前学修: 報告者以外の受講者も必ず教科書の1日目に扱う部分を読んでおくこと。 事後学修: 質疑応答・講師コメント等をふまえ、改善点を確認する。
6回	授業内容: 日中戦争期の『独白録』を読む①: 正確な担当ページは受講者確定後に決定するが、2日目(第6〜10回)は概ね日中戦争と日独伊三国同盟に関する部分について受講者に報告してもらう。 事前学修: 報告者以外の受講者も必ず教科書の2日目に扱う部分を読んでおくこと。 事後学修: 質疑応答・講師コメント等をふまえ、改善点を確認する。
7回	授業内容: 日中戦争期の『独白録』を読む②: 正確な担当ページは受講者確定後に決定するが、2日目(第6〜10回)は概ね日中戦争と日独伊三国同盟に関する部分について受講者に報告してもらう。 事前学修: 報告者以外の受講者も必ず教科書の2日目に扱う部分を読んでおくこと。 事後学修: 質疑応答・講師コメント等をふまえ、改善点を確認する。
8回	授業内容: 日中戦争期の『独白録』を読む③: 正確な担当ページは受講者確定後に決定するが、2日目(第6〜10回)は概ね日中戦争と日独伊三国同盟に関する部分について受講者に報告してもらう。 事前学修: 報告者以外の受講者も必ず教科書の2日目に扱う部分を読んでおくこと。 事後学修: 質疑応答・講師コメント等をふまえ、改善点を確認する。
9回	授業内容: 日中戦争期の『独白録』を読む④: 正確な担当ページは受講者確定後に決定するが、2日目(第6〜10回)は概ね日中戦争と日独伊三国同盟に関する部分について受講者に報告してもらう。 事前学修: 報告者以外の受講者も必ず教科書の2日目に扱う部分を読んでおくこと。 事後学修: 質疑応答・講師コメント等をふまえ、改善点を確認する。
10回	授業内容: 日中戦争期の『独白録』を読む⑤: 正確な担当ページは受講者確定後に決定するが、2日目(第6〜10回)は概ね日中戦争と日独伊三国同盟に関する部分について受講者に報告してもらう。 事前学修: 報告者以外の受講者も必ず教科書の2日目に扱う部分を読んでおくこと。 事後学修: 質疑応答・講師コメント等をふまえ、改善点を確認する。
11回	授業内容: 太平洋戦争期の『独白録』を読む①: 正確な担当ページは受講者確定後に決定するが、3日目(第11〜14回)は概ね太平洋戦争に関する部分について受講者に報告してもらう。 事前学修: 報告者以外の受講者も必ず教科書の3日目に扱う部分を読んでおくこと。 事後学修: 質疑応答・講師コメント等をふまえ、改善点を確認する。
12回	授業内容: 太平洋戦争期の『独白録』を読む②: 正確な担当ページは受講者確定後に決定するが、3日目(第11〜14回)は概ね太平洋戦争に関する部分について受講者に報告してもらう。 事前学修: 報告者以外の受講者も必ず教科書の3日目に扱う部分を読んでおくこと。 事後学修: 質疑応答・講師コメント等をふまえ、改善点を確認する。
13回	授業内容: 太平洋戦争期の『独白録』を読む③: 正確な担当ページは受講者確定後に決定するが、3日目(第11〜14回)は概ね太平洋戦争に関する部分について受講者に報告してもらう。 事前学修: 報告者以外の受講者も必ず教科書の3日目に扱う部分を読んでおくこと。 事後学修: 質疑応答・講師コメント等をふまえ、改善点を確認する。
14回	授業内容: 太平洋戦争期の『独白録』を読む④: 正確な担当ページは受講者確定後に決定するが、3日目(第11〜14回)は概ね太平洋戦争に関する部分について受講者に報告してもらう。 事前学修: 報告者以外の受講者も必ず教科書の3日目に扱う部分を読んでおくこと。 事後学修: 質疑応答・講師コメント等をふまえ、改善点を確認する。
15回	授業内容: まとめと講評: 全員の報告を受けて最後にまとめと講評を行う。 事前学修: 全受講者の報告をふまえ、報告内容・報告用プリントの改善点を再確認する。 事後学修: 史料・文献の読み方・調べ方について確認する。

◆**教科書** 丸沼『昭和天皇独白録』寺崎英成/マリコ・テラサキ・ミラー編 文春文庫 1995年 637円(税込)(送料215円)(2019年1月現在) 受講者は必ず購入すること。

◆**参考書** 丸沼『昭和天皇「理性の君主」の孤独』古川隆久 中公新書 2011年 1,080円(税込)(送料215円) 教科書の「はじめに」と「解説にかえて」に加え本書にも目を通してくと昭和天皇について理解が深まる。

◆**成績評価基準** 報告50%、平常点(授業参加度)50%。試験は実施しない。報告と、他の受講者の報告を受けての質疑応答・議論への参加度から評価する。なお、毎回出席することが前提となる。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔東洋史演習Ⅰ・Ⅱ〕

高綱 博文

◆**授業概要** 波多野澄雄・戸部良一等『決定版 日中戦争』をテキストとして、日中戦争の全体像について政治、外交、軍事、財政などさまざまな面から検証しながら講読する。また、日中戦争に関するドキュメント映像や映画も視聴する。

◆**学修到達目標** 日中戦争の全体像について発起・展開、拡大、収束の過程を追いながら政治、外交、軍事、財政などの側面から検証して理解につとめる。日中戦争の「失敗の本質」を考えることを目標とする。

◆**授業方法** 報告担当者を決め、レジュメを提出していただき発表・討論・質疑応答の形式で進める。
なお、授業開始の1ヶ月ほど前に資料を送付しますので、担当したテキスト箇所についてレジュメ（内容要約・コメント等）を作成する。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 講義（1）—近代日中関係史・日中戦争史の研究方法 事前学修 『決定版 日中戦争』を読んでおくこと 事後学修 授業内容の確認
2 回	授業内容 講義（2）—近年の日中戦争史研究の現状と課題 事前学修 テキスト『決定版 日中戦争』を読んでおくこと 事後学修 授業内容の確認
3 回	授業内容 日中戦争に関するドキュメント映画の視聴 事前学修 なし 事後学修 映画の感想をまとめる
4 回	授業内容 『決定版 日中戦争』：第 1 章の発表と討論 事前学修 同上：第 1 章を読み問題点を整理しておくこと 事後学修 授業内容の確認
5 回	授業内容 『決定版 日中戦争』：第 2 章の発表と討論 事前学修 同上：第 2 章を読み問題点を整理しておくこと 事後学修 授業内容の確認
6 回	授業内容 『決定版 日中戦争』：第 3 章の発表と討論 事前学修 同上：第 3 章を読み問題点を整理しておくこと 事後学修 授業内容の確認
7 回	授業内容 『決定版 日中戦争』：第 4 章の発表と討論 事前学修 同上：第 4 章を読み問題点を整理しておくこと 事後学修 授業内容の確認
8 回	授業内容 日中戦争に関する映画の視聴 事前学修 なし 事後学修 授業内容の確認
9 回	授業内容 『決定版 日中戦争』：第 5 章の発表と討論 事前学修 同上：第 5 章を読み問題点を整理しておくこと 事後学修 授業内容の確認
10 回	授業内容 『決定版 日中戦争』：第 6 章の発表と討論 事前学修 同上：第 6 章を読み問題点を整理しておくこと 事後学修 授業内容の確認
11 回	授業内容 『決定版 日中戦争』：第 7 章の発表と討論 事前学修 同上：第 7 章を読み問題点を整理しておくこと 事後学修 授業内容の確認
12 回	授業内容 『決定版 日中戦争』：第 8 章の発表と討論 事前学修 同上：第 8 章を読み問題点を整理しておくこと 事後学修 授業内容の確認
13 回	授業内容 『決定版 日中戦争』：第 9 章の発表と討論 事前学修 同上：第 9 章を読み問題点を整理しておくこと 事後学修 授業内容の確認
14 回	授業内容 『決定版 日中戦争』：第 10 章の発表と討論 事前学修 同上：第 10 章を読み問題点を整理しておくこと 事後学修 授業内容の確認
15 回	授業内容 日中戦争についてのまとめ及び総合討論 事前学修 テキスト内容及び授業内容の確認 事後学修 授業内容の確認及び反省

◆**教科書** 丸沼『決定版 日中戦争』波多野澄雄・戸部良一等 新潮新書 907 円（税込）（送料 215 円）

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 発表・討論（60%）、小レポート（20%）、授業参画度（20%）により総合的に評価します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔経済学史 / 経済学説史〕

高橋 宏幸

◆**授業概要** 本講義では、各時代の経済学がどのような時代背景でどのような思想を持った経済学者によってどのように構築・展開されたかを学ぶ。経済学の形成期から19世紀初頭頃までを主たる対象とする。

◆**学修到達目標** 経済学の歴史の基本的内容や展開過程について説明できるようになること、そして各時代の経済学や現代経済学の土台となる思想や考え方に目を向け、経済学が時代制約性を有していること、様々な価値判断に立脚して組み立てられていることを考察できるようになることを到達目標とする。

◆**授業方法** 本講義は、基本的には板書やその解説を中心に進めます。補助資料としてプリントを使用することもあります。本講義は、専門科目ですので、基本的な歴史の概要、そして経済学と経済史についての基本的知識をすでに習得していることを前提として講義を進めます。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：講義における目標や方法、講義内容についての概説 事前学修：シラバスに目を通しておくこと 事後学修：今回の講義内容をノートやシラバス等で確認・復習しておくこと
2回	授業内容：経済学史とはどのような学問分野か。経済学史の学習目的・捉え方、研究方法等 事前学修：前回までの講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・見直しを行っておくこと 事後学修：今回の講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・復習しておくこと
3回	授業内容：重商主義の概念およびイギリス重商主義の政策体系 事前学修：前回までの講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・見直しを行っておくこと 事後学修：今回の講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・復習しておくこと
4回	授業内容：イギリス重商主義：その経済理論および経済政策 事前学修：前回までの講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・見直しを行っておくこと 事後学修：今回の講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・復習しておくこと
5回	授業内容：フランス重商主義：コルベール主義の政策体系 事前学修：前回までの講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・見直しを行っておくこと 事後学修：今回の講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・復習しておくこと
6回	授業内容：重農主義の社会的背景およびフランソワ・ケネーの哲学的基礎 事前学修：前回までの講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・見直しを行っておくこと 事後学修：今回の講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・復習しておくこと
7回	授業内容：フランソワ・ケネーとその『経済表』および経済政策論 事前学修：前回までの講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・見直しを行っておくこと 事後学修：今回の講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・復習しておくこと
8回	授業内容：アダム・スミスの経済学体系① 生涯と著作、富の概念、分業論 事前学修：前回までの講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・見直しを行っておくこと 事後学修：今回の講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・復習しておくこと
9回	授業内容：アダム・スミスの経済学体系② 価値論、自然価格論・市場価格論 事前学修：前回までの講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・見直しを行っておくこと 事後学修：今回の講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・復習しておくこと
10回	授業内容：アダム・スミスの経済学体系③ 分配論、資本蓄積論 事前学修：前回までの講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・見直しを行っておくこと 事後学修：今回の講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・復習しておくこと
11回	授業内容：アダム・スミスの経済学体系④ 投資の自然的順序、経済発展論 事前学修：前回までの講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・見直しを行っておくこと 事後学修：今回の講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・復習しておくこと
12回	授業内容：T・R・マルサスの人口論 事前学修：前回までの講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・見直しを行っておくこと 事後学修：今回の講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・復習しておくこと
13回	授業内容：T・R・マルサスとD・リカードの論争 事前学修：前回までの講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・見直しを行っておくこと 事後学修：今回の講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・復習しておくこと
14回	授業内容：T・R・マルサスとD・リカードの経済学の特質 事前学修：前回までの講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・見直しを行っておくこと 事後学修：今回の講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・復習しておくこと
15回	授業内容：総括及び試験 事前学修：前回までの講義内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・見直しを行っておくこと 事後学修：講義全体の内容をノートや教科書の該当箇所等で確認・復習しておくこと

◆**教科書** 教材 『経済学史 R30100 / 経済学説史 L31300』 通信教育教材（教材コード000160）2,500円（送料込）

◆**参考書** 丸沼『入門経済思想史 世俗の思想家たち』 ロバート・ハイルブローナー著 ちくま学芸文庫
1,620円（税込）（送料300円）
『経済学の歩み』 山口正春・川村哲章・高橋宏幸著 三恵社
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、単位認定試験（最終試験）100%で評価します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔西洋経済史〕

上村 能弘

◆**授業概要** この講義では、主に 1870 年代以降に大きな構造変動を遂げたとされる世界資本主義経済の歴史的展開を扱う。貧困や格差、環境問題などを含め、日頃、我々が目にする社会的・経済的な問題の多くは、直接的には 1870 年代以降の「重工業資本主義の時代」に歴史的原点が見られるといわれる。ここでは、こうしたことも念頭に置きながら、この時代の歴史的な特徴や本質について考察する。

◆**学修到達目標** 1. 1870 年代以降、世界資本主義の主導産業となった重工業の歴史的特徴を説明することができる。
2. 1870 年代以降の世界商品市場と世界金融市場の歴史的展開を説明することができる。
3. 上記を総合し、1870 年代以降の世界資本主義経済の構造変動の歴史的本質を説明することができる。

◆**授業方法** 講義形式。適宜、質問と討論を行う予定である。また、観念的な理解に陥ることがないように、可能な限り具体的な史料によりながら講義を進めるつもりである。講義の進捗に合わせ、参考図書や補足的な史料を紹介するので、教科書とあわせ、これらを図書館等で大いに利用されたい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容	「西洋経済史」とはどんな学問か 経済学における「西洋経済史」の位置づけを明らかにする。
	事前学修	教科書の 23～42 ページを読んで、要点をメモしておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分とあわせて、授業内容を確認し理解しておくこと。
2 回	授業内容	製鋼業における技術革新と「鋼の時代」の到来 ベッセマー転炉製鋼法と、シーメンズ＝マルタン平炉製鋼法、トマス＝ギルクリスト製鋼法の概要を説明し、1870 年代以降の主導産業の交替と、その経済史的意義について考察する。
	事前学修	教科書の 131～143 ページを読んで、要点をメモしておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分とあわせて、授業内容を確認し理解しておくこと。
3 回	授業内容	重工業を中心とした産業構造の再編成 1870 年代以降にあらわれた国際的な協調に基づく競争関係や、独占の進行について説明する。
	事前学修	教科書の 143～150 ページを読んで、要点をメモしておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分とあわせて、授業内容を確認し理解しておくこと。
4 回	授業内容	鉄道建設のいっそうの進展と景気循環 1870 年代以降の鉄道建設の進捗状況を、アジア、オセアニア、中南米、アフリカの事例を取り上げながら説明するとともに、それらが世界的景気循環に与えた影響について考察する。
	事前学修	教科書の 150～162 ページを読んで、要点をメモしておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分とあわせて、授業内容を確認し理解しておくこと。
5 回	授業内容	＜海運革命＞と世界的電信網の整備 蒸気船の「本格的な」普及と、海底電信ケーブルの敷設の進捗状況を説明し、＜海運革命＞が世界通商の仕組みに対して与えた影響について考察する。
	事前学修	教科書の 162～167 ページを読んで、要点をメモしておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分とあわせて、授業内容を確認し理解しておくこと。
6 回	授業内容	農業の構造変動〔Ⅰ〕 新たな小麦供給地域の登場と、南半球からの冷凍食肉の供給を取り上げながら、1870 年代以降の農業の構造変動の歴史的意義を考察する。
	事前学修	教科書の 167～176 ページを読んで、要点をメモしておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分とあわせて、授業内容を確認し理解しておくこと。
7 回	授業内容	農業の構造変動〔Ⅱ〕 非鉄金属産業と鋳山業の世界的展開と、アジアの米作農業との関連を取り上げて、1870 年代以降の農業の構造変動の歴史的意義を考察する。
	事前学修	教科書の 177～184 ページを読んで、要点をメモしておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分とあわせて、授業内容を確認し理解しておくこと。
8 回	授業内容	世界的な通商の多角化 1870 年代以降に見られるようになった世界通商の新たなパターンを概説する。
	事前学修	教科書の 184～201 ページを読んで、要点をメモしておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分とあわせて、授業内容を確認し理解しておくこと。
9 回	授業内容	世界短期金融市場の構造変動 1870 年代以降の荷為替信用制度の確立を中心に、世界短期金融市場の構造変動について説明する。
	事前学修	教科書の 201～203 ページを読んで、要点をメモしておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分とあわせて、授業内容を確認し理解しておくこと。
10 回	授業内容	世界長期金融市場の構造変動 マーチャント・バンカーに主導されながら行われた世界長期金融市場の再編成を説明する。
	事前学修	教科書の 204～208 ページを読んで、要点をメモしておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分とあわせて、授業内容を確認し理解しておくこと。
11 回	授業内容	帝国主義と資本輸出〔Ⅰ〕 中近東に対するウェスタン・インパクトと金融的支配について、イランの事例を通じて考察する。
	事前学修	教科書の 208～218 ページを読んで、要点をメモしておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分とあわせて、授業内容を確認し理解しておくこと。
12 回	授業内容	帝国主義と資本輸出〔Ⅱ〕 中近東に対するウェスタン・インパクトと金融的支配について、エジプトの事例を通じて考察する。
	事前学修	教科書の 208～218 ページを読んで、要点をメモしておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分とあわせて、授業内容を確認し理解しておくこと。
13 回	授業内容	帝国主義と資本輸出〔Ⅲ〕 日清戦争と日本の「近代化」の関係について説明する。
	事前学修	教科書の 208～218 ページを読んで、要点をメモしておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分とあわせて、授業内容を確認し理解しておくこと。
14 回	授業内容	＜大不況＞ 独占的・金融的資本主義の確立を背景とした＜大不況＞の経済史的意義を考察する。
	事前学修	教科書の 219～226 ページを読んで、要点をメモしておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分とあわせて、授業内容を確認し理解しておくこと。
15 回	授業内容	まとめと試験
	事前学修	教科書の 227～239 ページを読んで、要点をメモしておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分とあわせて、授業内容を確認し理解しておくこと。また、試験の結果をもとに、自分の知識を再点検すること。

◆**教科書** 丸沼『世界経済史の方法と展開——経済史の新しいパラダイム（1820-1914 年）』入江節次郎 藤原書店 4,536 円（税込）（送料 350 円）

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 試験（100%）：論述形式を予定。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔情報概論〕

中村 典裕

◆**授業概要** 現代社会において知的活動を行うためには、コンピュータの活用は必須である。中でも特にオフィスソフトと呼ばれる、ワープロ・表計算・プレゼンソフトを使いこなす技術は極めて重用である。本講義では、文書などの文字情報を扱うワープロソフトとして Microsoft Word、数字やデータなどの表計算ソフトとして Microsoft Excel、研究成果や地域情報の発信などを行うプレゼンソフトとして Microsoft PowerPoint を用いて学習する。

◆**学修到達目標** 本講義を通じてオフィスソフトの概要と特徴を把握し、情報の種類に応じて適切なソフトウェアを選択して利用できる技術を習得する。最終的に次の内容を習得することを目標とする。

1. オフィスソフトの概要を習得する。
2. 情報の種類に応じて、ワープロ・表計算・プレゼンソフトの使い分けが可能になる。
3. 最終的にオフィスソフトを活用して、ある程度まとまった課題を完成する事ができる。

◆**授業方法** 本スクーリングの中では講義形式と演習の両方を行う。講義形式ではコンピュータの構造、歴史、コンピュータセキュリティ、情報倫理などについて学ぶ。演習ではコンピュータを実際に操作しながら、必要な技術の習得を目指す。授業の折々に小課題を課し提出する。

◆**授業計画（各90分）**

1回	授業内容：ガイダンス、PC操作の基礎とウェブの原理と閲覧 事前学修：日頃から情報通信技術（ICT）に関するテレビ報道や新聞記事などに興味や関心を持って接する態度を期待する。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
2回	授業内容：ワードの基礎：タイピング、各種記号や特殊文字の入力、コピー & ペースト 事前学修：授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
3回	授業内容：ワードの応用：表、図形の作成、ビジネス文書（社内文書、社外文書）の作成 事前学修：授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
4回	授業内容：コンピュータの基本原則・コンピュータ技術の基礎に関する学習 事前学修：授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
5回	授業内容：ワードの総合演習：表現力のある文書の作成 事前学修：授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
6回	授業内容：表計算ソフトの概要とエクセルの基礎 事前学修：授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
7回	授業内容：エクセル入門：表計算ソフトの基礎、合計と平均を使った表の作成 事前学修：授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
8回	授業内容：エクセル活用：四則演算、グラフ基礎、IF 関数、条件付き書式 事前学修：授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
9回	授業内容：エクセル応用：オートフィルタ、データベース機能、ピボットテーブル 事前学修：授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
10回	授業内容：情報化社会の発達と進展 事前学修：授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
11回	授業内容：HTML の基礎・ホームページ記述言語の基礎について学ぶ 事前学修：授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
12回	授業内容：インターネットセキュリティ：コンピュータ犯罪などについて学ぶ 事前学修：授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
13回	授業内容：パワーポイント入門：プレゼンテーションの基礎 事前学修：授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
14回	授業内容：パワーポイント演習：プレゼンテーションの実践演習 事前学修：授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修：授業の内容をノートに整理する。授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
15回	授業内容：最終課題：これまでに学習した内容を駆使して課題に取り組む 事前学修：前回までの授業内容を確認し、最終課題に備える。 事後学修：最終課題の結果を整理し、結果について再確認する。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕基本的には講義初日に3日分の資料を配付する。

◆**参考書** 特に指示しない

◆**成績評価基準** 平常点（20%）、小課題（30%）、最終課題レポート（50%）。全時間受講する事を前提として評価する。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔マーケティング〕

雨宮 史卓

◆**授業概要** 製品にまつわる競争優位の源泉は、時代とともに大きく変化している。それによって、マーケティング戦略の進め方も大きく変化してきた。近年、強まっていた消費者の低価格志向による価格競争は、広告費の減少やメディア戦略の見直しを迫っているのが現状である。このような状況下で、本講義はマーケティングを深く理解するための前提となる、基礎的な知識を体系的に解説する事を目的とする。

◆**学修到達目標** 1 マーケティング戦略の基本事項と理論が理解できる。

2 消費者ニーズを探り、それを満たすための企業活動が理解できる。

3 実際のビジネスの場面で起きた事例に基づき、各個人が分析し問題を解決する手法を考案できるように心掛ける。

◆**授業方法** 初日はテキストに沿いながらマーケティングの基本機能を解説し、二日目以降は、必要に応じて資料を配布して企業の戦略事例をおり交えてマーケティング理論を解説する。また、二日目の後半は、テストの解答方法を授業内容と共に解説し、質問を受け付ける。そして、最終日は簡単なテストを実施する。

◆**履修条件** 前期・後期の昼間スクーリングとの併用は不可

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: ガイダンス 授業の進め方 マーケティングを学ぶことの意義 事前学修: テキスト9頁～19頁をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
2 回	授業内容: マーケティングの基本理念とその概念 事前学修: テキスト23頁～32頁をよく読んでおくこと。 事後学修: テキスト28頁の図をノートに書き写し、内容を理解しておくこと。
3 回	授業内容: 市場細分化戦略 事前学修: テキスト31頁～34頁をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
4 回	授業内容: ソーシャル・マーケティング 事前学修: テキスト37頁～49頁をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
5 回	授業内容: サービスのマーケティング 事前学修: テキスト54頁～56頁と配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
6 回	授業内容: 価格戦略と消費者の価格心理 事前学修: テキスト第9章と配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
7 回	授業内容: 取引と流通 事前学修: テキスト209頁～223頁をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、テキストの該当箇所を読んで、ノートにまとめておくこと。
8 回	授業内容: プロモーションの種類と役割 事前学修: 配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業で指摘された配布資料の図をノートに書き写して理解しておくこと。
9 回	授業内容: ブランド概念とコミュニケーション 事前学修: 配布資料とテキスト135頁～137頁をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
10 回	授業内容: マーケティングとフード・サービス 事前学修: 配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 配布資料を読み返し、食の種類をノートにまとめておくこと。
11 回	授業内容: 消費者行動と購買行動 事前学修: 配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
12 回	授業内容: 時間と空間のマーケティング 事前学修: 配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容を整理し、配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
13 回	授業内容: 環境とマーケティング 事前学修: 配布資料と指示されたテキストの該当ページをよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
14 回	授業内容: 非営利組織のマーケティング 事前学修: 配布資料に目を通しておくこと。 事後学修: 授業の内容を整理し、配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
15 回	授業内容: 授業の総まとめ 事前学修: 配布資料の各項目をノートとテキストで確認すること。 事後学修: テキストの全体を読み返し、それぞれの当該箇所をノートで確認し、授業内容の全体像を理解すること。

◆**教科書** 教材『マーケティング S30500』通信教育教材（教材コード000182）2,550円（送料込）
〔当日資料配布〕必要に応じて当日、資料を配布する

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として評価します。テスト（70%）、平常点（30%）

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔現代教職論〕

杉森 知也

◆**授業概要** 「教師の成長」をキーワードに、養成・採用・研修を通して見通しながら、教職のもつ特性を歴史的・国際的な視点も含めて把握する。さらに、学校・教師を巡る現代的な課題などにも迫るとともに、採用段階および入職後に求められることに関する諸情報を伝達するとともに、自らの教職観を具体的に構築しながら、これを実際の学校現場でどのように実現していくことができるかなど、講義を通して得られる知見を総合しながら考える。

◆**学修到達目標** 1. 教職の意義、教員の役割と職務内容、研修、服務上・身分上の義務と身分保障、教職の専門性などについて総合的に理解し、それらを含めて求められる役割・資質能力について説明することができる。
2. 近年の学校・教員を巡る状況の変化(チーム学校を含む)について、国際的な動向を踏まえて説明することができる。
3. 講義内容とグループ・個人ワークを合わせて、教職の職業的特徴と自己の教職観を説明することができる。

◆**授業方法** 原則として、講義形式による解説を中心とするが、適宜、グループワークと個人作業を組み込んで実施する。指定教科書に基づきながら、学校現場での実例を含めて解説する。本講の性質上、教育上の理論の紹介よりも学校現場で生起している問題・課題をベースに解説する。採用・研修段階で求められることに関しては、自らの教職観を紡ぎだす作業や他者と議論するワークを通して、マッチングを意識しながら開発する。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1回	授業内容：ガイダンス：教師との出会いを振り返る 事前学修：これまでに会った教師、受けた授業を思い返し、簡単なメモを作成する 事後学修：「良い」教師、「良い」授業の要件をまとめる
2回	授業内容：教員の職務内容とその意義 事前学修：教科書第3章を読んで、質問事項をまとめておく 事後学修：授業を振り返りテスト対策をしておく
3回	授業内容：教員の地位と身分①：教員の地位 事前学修：教科書第5章1を読んで、質問事項をまとめておく 事後学修：授業を振り返りテスト対策をしておく
4回	授業内容：教員の地位と身分②：教員の義務と身分保障の意味 事前学修：教科書第5章2,3を読み、扱われている法令の凡例等を『解説教育六法』で調べる 事後学修：授業を振り返りテスト対策をしておく
5回	授業内容：教員の地位と身分③：教員の待遇 事前学修：教科書第5章4,5を読んで、質問事項をまとめておく 事後学修：授業を振り返りテスト対策をしておく
6回	授業内容：教員研修の意義と種類 事前学修：教科書第4章1,2と第6章を読んで、質問事項をまとめておく 事後学修：授業を振り返りテスト対策をしておく
7回	授業内容：教員の免許制度①：日本の教員免許制度 事前学修：教科書第2章を読んで、質問事項をまとめておく 事後学修：授業を振り返りテスト対策をしておく
8回	授業内容：教員の免許制度②：世界の教員免許制度と日本の改革動向 事前学修：「教員養成6年制」がなぜ議論されたのかについて、インターネット等で調べておく 事後学修：教員免許が教員の質の維持・向上に寄与しているのか、寄与する要件は何かまとめておく
9回	授業内容：教員のやりがいとバーンアウト 事前学修：教科書第7章1,2,3,5を読んで、質問事項をまとめる 事後学修：配布資料と教科書該当箇所、ノートをもとに授業の振り返りをおこなう
10回	授業内容：価値多様化社会の中の専門職 事前学修：配布資料に目を通す 事後学修：配布資料と授業内容をまとめる
11回	授業内容：新しい教師の力量 事前学修：教科書第4章4を読んで、質問事項をまとめておく 事後学修：教科書第4章4と授業内容をまとめる
12回	授業内容：チーム学校 事前学修：インターネット、図書館等で「チーム学校」について情報を得ておくこと 事後学修：授業内容を踏まえて、多様な専門家との連携の意義をまとめる
13回	授業内容：養成・採用・研修の一体化①：東京都を事例として 事前学修：自分が赴任したい地域の教育委員会のHPをみて、求める教師像の情報を得ておく 事後学修：教科指導、クラス運営面から自分の教職観を立ててみる
14回	授業内容：養成・採用・研修の一体化②：教職観ワーク 事前学修：教科指導、クラス運営面から自分の教職観を具体的に見直す 事後学修：授業でおこなったワークをもとに、自分の教職観を修正する
15回	授業内容：養成・採用・研修の一体化③：マッチング 事前学修：希望赴任地の教育委員会の望む教師像と自らの教職観がマッチするよう修正する 事後学修：本時の活動を振り返り、指摘されたことを踏まえて最終のアウトプットを作成する

◆**教科書** 教材『現代教職論 T10100』通信教育教材(教材コード000541) 3,100円(送料込)
(この教材は市販の『現代教職論』羽田積男・関川悦雄編著(弘文堂)と同一です。)
凡例『解説教育六法 2019』解説教育六法編修委員会 三省堂 2,808円(税込)(送料 500円)

◆**参考書** 『教師教育学Ⅲ 教師として生きる』日本教師教育学会 学文社
(上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。)
凡例『専門家の知恵』ドナルド・ショーン/佐藤学・秋田喜代美訳 ゆみる出版 1,836円(税込)(送料 300円)

◆**成績評価基準** 試験の成績(60%)、コメントシート(20%)、授業の参加姿勢(20%)を、総合的に判断する。試験は、授業内で数回に分けて実施する。授業の参加姿勢は、質問や各種ワークでの積極的な姿勢を評価する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔かな書法〕

山本 まり子

◆**授業概要** 書・文字に関する歴史的・文化的事項について理解を深める。芸術性のみならず、実社会・実生活において活かせる書についても学び、毛筆・硬筆による実践を通して書写力の向上を図る。
中学校の学習内容において「正しい」とされている字形、筆遣い等の確認を行った上で学校教育現場で「書写」を指導するために必要な基礎的知識・技能を学び、基礎固めを行う。

◆**学修到達目標** 1) 授業中取り上げる書・文字に関する歴史的・文化的事項、基礎知識の習得

- ① 文字・書体の誕生とその変遷 ② 平安時代の名筆
- 2) 毛筆・硬筆による表現技術の習得
 - ① 仮名の単体・連綿 ② 漢字（楷書・行書） ③ 漢字仮名交じり（和歌・俳句・書簡）
- 3) 学校教育現場で「書写」を指導するために必要な基礎的知識、技能の習得
 - ① 中学校の学習内容において「正しい」とされている字形・筆遣いについて
 - ② 文房四宝（筆・墨・硯・料紙）について

◆**授業方法** 規範とされる書のいくつかを取り上げ、それを中心に講義・実践を行う。各自、指定の「提出作品」を制作する（「提出作品」の内容は担当者作成のプリントに記載）。課題の中には受講生自作の俳句の毛筆による作品化もある（自作俳句は原則、事前にく開講前>メールにて回収する）。授業後半には映像の鑑賞を行う。分析的、感覚的鑑賞を行い、受講生自らの言葉でそれについて説明・表現する時間も設ける。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：ガイダンス、書道用品店・古書店めぐり 事前学修：資料 A「ガイダンスプリント」・資料 C No.25 に目を通す。 事後学修：資料 A「ガイダンスプリント」・資料 C No.25 再読
2 回	授業内容：文房四宝（筆・墨・硯・料紙）に関する基礎知識 事前学修：資料 A No.1 ①に目を通す。 事後学修：資料 A No.1 ①再読
3 回	授業内容：仮名の「単体」 事前学修：資料 A No.1 ②をもとに各自、毛筆による模写を行う。 事後学修：授業中、指摘した平安時代の書の特徴について復習を行う。
4 回	授業内容：仮名の「単体」、中学「書写」学習指導要領の主旨。 事前学修：資料 A No.1 ②をもとに毛筆による模写を行う。 事後学修：授業中、指摘した平安時代の仮名の書の特徴についてノートに整理し、各自定着を図る。
5 回	授業内容：熨斗袋の表書き、資料 A No.8（当該内容は授業中、指示する）。 事前学修：資料 A No.3 を手本とし、毛筆による学習を行う。 事後学修：授業中指摘した個々の字形、筆遣いの特徴について言葉で説明できるようにノートに纏め、整理する。
6 回	授業内容：仮名の「連綿」 事前学修：資料 A No.2（両面 2 枚）に目を通し、字母の確認を行う。 事後学修：授業中の解説内容（「右寄法」「省略法」、それに伴う変体仮名の書き方）について確認を行う。
7 回	授業内容：和歌 1 首（資料 A No.5）の実践、映像の視聴。 事前学修：資料 A No.5 の筆路について確認を行う。 事後学修：資料 A No.5 の筆路について復習を行い、要点をノートに纏める。
8 回	授業内容：資料 A No.5 の清書を行う。資料 A No.8：「正しい」字形・筆遣いについて考える。 事前学修：資料 A No.5 の筆路について再度復習を行う。資料 B No.18 に目を通す。 事後学修：資料 A No.5 の筆路についての復習、資料 A No.8 記載の「正しい」字形・筆遣いについての復習を行う。
9 回	授業内容：小テスト（持ち込み不可、20 分間）の実施、及び書簡文について。 事前学修：第 1 日目に予告する小テストに関する必要事項について確認を行う。 事後学修：授業中の書簡文の指摘事項についてノートに纏める。
10 回	授業内容：「散らし書き」の基礎 事前学修：自作俳句を漢字仮名交じりで書す。 事後学修：漢字仮名交じりで書した自作俳句の散らし方について再検討を行う。
11 回	授業内容：漢字の書体の変遷 事前学修：資料 B No.11・14 に目を通す。 事後学修：授業中指摘した漢字の書体に関する基礎知識をノートに纏める。
12 回	授業内容：平安時代の古筆に見られる筆遣い、上下に位置する文字の関係について。 事前学修：資料 B No.17 裏に目を通す。その他、粘葉本和漢朗詠集に関する基礎知識を各自得ておく。 事後学修：映像の書を指摘事項を踏まえ、再度、毛筆にて表現する。
13 回	授業内容：仮名の成立とその変遷 事前学修：資料 B No.13 に目を通す。 事後学修：資料 B No.13 の再読。主に「万葉仮名」「草仮名」「変体仮名」に関する説明事項を纏める。
14 回	授業内容：寸松庵色紙の鑑賞と臨書 事前学修：資料 A No.9、資料 B No.10・No.12 に目を通す。 事後学修：資料 A No.9、資料 B No.10・No.12 の再読、及び復習。
15 回	授業内容：寸松庵色紙に関する基礎知識、及び総括。 事前学修：再度、資料 A No.9 の筆路・作品構成、及び資料 B No.10・No.12 について復習を行う。 事後学修：資料 B No.10・No.12 の再読。

◆**教科書** **事前資料送付** 事前にプリント配布（資料 A・B・C の束に分かれている）
書道道具・用具一式、新聞紙を 5 枚必ず持参すること（新聞が無い場合、B4 版サイズ以上の紙でも可）。
万が一、持参できない場合は事前送付資料記載の連絡先に相談すること。

◆**参考書** 授業中、適宜紹介する

◆**成績評価基準** 受講状況（授業中の課題への取り組み方・積極性等）50%、授業成果 30%、授業内テスト 20%

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔生徒指導・進路指導論〕 オープン受講：不可

上野 昌之

- ◆**授業概要** 学校教育における生徒指導の理念、意義を踏まえ、実際の学校現場や子どもを取り巻く環境で生じる諸問題を検討する。生徒指導が個の伸張と社会性の育成を目指している観点に立ち、生徒指導がどのように進められるものかを考えてもらう。
- ◆**学修到達目標** 生徒指導が、社会性を促し自己存在の確立を考えさせる指導であることを理解する。子どもを取り巻く社会の諸相に目を向け、子どもの置かれた状況を理解したうえで、実践的な生徒指導ができるように個々の事例について問題点を整理する。そして、生徒が自己確立と社会的協同の重要性を理解していくにはどのような働きかけが必要か考えられるようになる。
- ◆**授業方法** 基本的には講義形式で授業を行うが、受講者人数などを考慮した上で、可能な限りバスセッションなどのアクティビティを導入する。授業の中で主要な課題についての意見、考えを記したレビューシートの提出を求める。
- ◆**履修条件** 2019年度昼間・土曜スクーリング「生徒指導・進路指導論」との積み重ね不可
- ◆**授業計画（各90分）**

1回	授業内容：イントロダクション：生徒指導とはどのような指導か。 事前学修：これまでの学校生活での生活指導体験をまとめておく。 事後学修：生徒指導の意味をまとめて理解すること。
2回	授業内容：生徒指導の意義と目的：学校教育における生徒指導の重要性を考える。 事前学修：教科書の第1章第1節を読んでおくこと。 事後学修：本時の要点をまとめておくこと。
3回	授業内容：生徒指導の法的な位置づけ：教育基本法・学校教育法・子どもの権利条約他。 事前学修：教育基本法の前文および第1条を調べ、記録しておくこと。 事後学修：生徒指導が法的に位置づけられている指導であることを理解すること。
4回	授業内容：生徒指導における生徒理解：集団指導と個別指導、教師の生徒理解。 事前学修：教科書の第1章第4節を読んでおくこと。 事後学修：本時のそれぞれの指導により何を育成しようとしているのかまとめて理解しておくこと。
5回	授業内容：学校教育の諸問題1：外的問題行動（非行）の実態と対応指導。 事前学修：教科書第6章第1節を読んでおくこと。 事後学修：外的問題行動への対応をまとめて理解しておくこと。
6回	授業内容：学校教育の諸問題2：生徒指導と体罰。 事前学修：これまでの学校生活で体罰を見聞きした経験を思い出ししておくこと。 事後学修：体罰の排除について必要なことはなにか考えをまとめておくこと。
7回	授業内容：学校教育の諸問題3：内的問題行動の実態と対応指導（教育相談）。 事前学修：教科書第5章第1節を読んでおくこと。 事後学修：内的問題行動への対応をまとめて理解しておくこと。
8回	授業内容：学校教育の諸問題4：不登校・引きこもりの実態と対応指導。 事前学修：教科書第6章第12節を読んでおくこと。 事後学修：不登校のもたらす意味、不登校への対応をまとめて理解しておくこと。
9回	授業内容：学校教育の諸問題5：いじめの実態と対応指導。 事前学修：教科書第6章第6節を読んでおくこと。 事後学修：いじめが起きないようにするにはどうしたらよいか考えをまとめる。
10回	授業内容：学校教育の諸問題6：発達障害・身体的障害の実態と対応指導。 事前学修：教科書第6章第2節を読んでおくこと。 事後学修：発達障害についてまとめて理解しておくこと。
11回	授業内容：キャリア教育1：進路指導の位置づけ。キャリア教育への展開。 事前学修：自分自身の高等学校時代の進路指導を振り返っておくこと。 事後学修：キャリア教育の目的、方法を理解すること。
12回	授業内容：キャリア教育2：フリーターとニート問題。 事前学修：フリーター、ニートとはどのようなものか調べること。 事後学修：フリーター、ニート問題が現代社会に及ぼす影響を確認し整理すること。
13回	授業内容：キャリア教育3：キャリア教育の実践。 事前学修：自分自身のキャリア形成に関し考えをまとめておくこと。 事後学修：本時の内容をもとに、今後の自己キャリア形成を考えること。
14回	授業内容：理解度の確認 事前学修：これまでの講義を振り返っておくこと。 事後学修：生徒指導とキャリア教育の要点をまとめ、整理すること。
15回	授業内容：試験及び解説 事前学修：これまでの講義をまとめ、要点を整理しておくこと。 事後学修：解説のポイントを整理し、生徒指導に求められる観点を理解すること。

- ◆**教科書** 丸沼『生徒指導提要』文部科学省編 教育図書 363円（税込）（送料350円）
〔当日資料配布〕 当日プリント配布
- ◆**参考書** なし
- ◆**成績評価基準** 試験（70%）、授業内レビューシート（20%）、授業への参画度（10%）により総合的に評価します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

第2期

日	程	授業時間	備考
8月10日	土	各日 9:00～17:30 <最終日は試験も含む>	※時間内に昼休みを設けます。
8月11日	日		
8月12日	月		

※以下の第2期開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数	充 当 科 目		制 限・注 意		受 オ ー プ ン 講	
				科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年		受 講 条 件
C0B1	哲 学	成 田 正 人	2	B10700	哲 学		1年		
C0B2	英 語 D	和 泉 周 子	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 II		2年		
				C10300	英 語 III				
				C10400	英 語 IV				
C0B3	ドイツ語 I・II	志 田 慎	1	D10100	ド イ ツ 語 I		1年	・ I, IIのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				D10200	ド イ ツ 語 II				
C0B4	保健体育講義 I	高 橋 正 則	1	H10100	保健体育講義 I	×	1年	・ スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
C0B5	商 法 I	小 菅 成 一	2	K30500	商 法 I		2年		×
C0B6	刑 事 訴 訟 法	南 部 篤	2	K31700	刑 事 訴 訟 法		2年		
C0B7	国文学講義 II (中古)	笹 生 美 貴 子	2	M306S0	国文学講義 II (中古)	×	2年		
C0B8	国文学講義 IV (近世)	山 崎 泉	2	M30800	国文学講義 IV (近世)		2年		
C0B9	漢 文 学 I	本 間 直 人	2	M31500	漢 文 学 I		2年		×
C0BA	英 語 音 声 学	森 晴 代	2	N30600	英 語 音 声 学		2年		
C0BB	英語文学概説/ 英米文学概説	新 井 英 夫	2	N20300	英米文学概説	条件 参照		・ 英文学専攻のみ1学年以上 申込可。 ・ 上記以外は2学年以上申込 可。	×
				N20400	英語文学概説				
C0BC	スピーチコミュニ ケーションII	ダ レ ル ハ ー デ イ	1	N31000	スピーチコミュニ ケーションII				×
C0BD	英語学演習 A	小 澤 賢 司	1	N401S0	英語学演習 I	×	3年	・ 英文学専攻のみ申込可。 ・ I～IIIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				N402S0	英語学演習 II				
				N403S0	英語学演習 III				

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座 コード	開講講座名	担当講師名	単開 位数講	充 当 科 目		制 限 ・ 注 意			受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配当 学年	受 講 条 件	
C0BE	英米文学演習 B	堀 切 大 史	1	N404S0	英米文学演習 I	×	3 年	・英文学専攻のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				N405S0	英米文学演習 II				
				N406S0	英米文学演習 III				
C0BF	科 学 哲 学	江 川 晃	2	P31300	科 学 哲 学		2 年		
C0BG	哲 学 演 習 A	興 津 香 織	1	P401S0	哲 学 演 習 I	×	3 年	・哲学専攻のみ申込可。 ・I, IIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				P402S0	哲 学 演 習 II				
C0BH	西 洋 史 概 説 / 西 洋 史 概 論	馬 淵 彰	2	Q30400	西 洋 史 概 説		2 年	・文理・経済・商学部のみ申 込可。 ・法学部のみ申込可。	
				K32400	西 洋 史 概 論				
C0BJ	東 洋 史 特 講 I	須 江 隆	2	Q31000	東 洋 史 特 講 I		2 年		
C0BK	財 政 学 総 論 / 財 政 学	金 子 光	2	R31500	財 政 学 総 論		2 年	・文理・経済・商学部のみ申 込可。 ・法学部のみ申込可。	
				L31400	財 政 学				
C0BL	情 報 概 論	戸 塚 英 臣	2	R32300	情 報 概 論		2 年		×
C0BM	貿 易 論	岡 田 直 己	2	S30400	貿 易 論		2 年		
C0BN	交 通 論	針 谷 莊 司	2	S30700	交 通 論		2 年		
C0BP	発 達 と 学 習	野 村 康 治	2	T10500	発 達 と 学 習	×	2 年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
C0BQ	特別活動・総合的な 学習の時間の指導法	今 泉 朝 雄	2	T23400	特別活動・総合的な 学習の時間の指導法	×	2 年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
C0BR	国 語 科 教 育 法 III	野 澤 拓 夫	2	T30100	国 語 科 教 育 法 III	×	2 年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。 ・国文学専攻のみ申込可。	
C0BS	文 化 人 類 学	服 部 慶 亘	2	Y21300	文 化 人 類 学		2 年		
	教 職 実 践 演 習 ②					×	4 年		×

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔哲学〕

成田 正人

◆**授業概要** 哲学者の代表的な思想や議論を学習するだけでなく、実際に対話や論述を通して自分たち自身で哲学を実践します。もちろん、哲学の基本的なやり方を学ぶには、哲学史上の有名な問題や学説の理解に努めなければなりません。しかし、それだけでは、哲学する力は育ちません。そこで本授業では哲学の実践を求めます。他の人と哲学的な対話を重ね、自ら批判的に思考を続けることで、自分たちで世界や人生を哲学する力が養われるでしょう。

◆**学修到達目標** 1. 哲学史上の有名な議論を（歴史的な背景や論理的な構造を含め）正しく理解することを目標とする。
2. 哲学の基本的なやり方を身に付け、対話や論述で自ら哲学することの楽しさを実感できるようになる。
3. 自分（の人生）に固有の問題を身の回り（の世界）から見つけ出せるようになる。
4. 自分自身に固有の問題で哲学的な思考を展開し言語で表現することができる。

◆**授業方法** 初めに、配布する資料を使って、哲学を代表する問題や学説を紹介し、また、問題や学説の理解を深めるために、専門的な用語や歴史的な背景を必要に応じて説明します。次に、理解した問題（の解決案）や学説（の問題点）をグループで話し合います。このとき、思考の展開が見て取れるように、対話の経過を描き出してください。さらに、それぞれが自らの哲学的な思考を論述できるよう準備を進めてください。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 ガイダンスとアイスブレイク 初めに、本授業の内容と目的を説明します。次に、特に（哲学）対話と論述（試験）を詳細に解説し、授業計画と評価方法を確認します。また、哲学とは何かを自由に論じ合い、受講生が積極的に授業に参加できる環境を整えます。	事前学修 何も調べる必要はないので、哲学とは何かを自分で考えて、考えたことを書き出してください。	事後学修 授業で論じたことを活かして、同じ問いをさらに考えてください。また、考えられたところまでよいので、自らの哲学的な思考の展開を言葉で表現してみてください。
2 回	授業内容 探求と真理（前半） プラトンの『メノン』や『パイドン』を部分的に読んで探求と真理の問題を考えます。そもそも哲学では何かどのように探求されるのでしょうか？哲学的な真理とは何なのでしょうか？	事前学修 参考書 24 - 31 頁でプラトンのイデア論を確認してください。また真理とは何かを考えてみてください。	事後学修 授業で学んだことを整理し、さらに探求と真理の問題を独力で考えてください。もちろん自身の思考の展開は書き留めてください。
3 回	授業内容 探求と真理（後半） 普遍と個物の問題や類似性の問題と共に探求と真理の問題を考えます。普遍とは何でしょうか？普遍と個物はどちらが先立つのでしょうか？そもそも、似ているとは、どのようなことなのでしょうか？	事前学修 参考書 57 - 58 頁で普遍論を確認してください。また類似とは何かを自分で考えてみてください。	事後学修 授業で論じたことを引き続き考えてみてください。また、考えられたところまでは、きちんと言葉で表現してみましょう。
4 回	授業内容 人生と価値（前半） ソクラテスやアリストテレスから人生と価値の問題を考えます。私たちの人生の目標は何なのでしょうか？私たちは一体どのように生きるべきなのでしょうか？	事前学修 参考書 185 - 186 頁と 189 - 190 頁を読んで、人生や価値の問題を予め考えておいてください。	事後学修 授業で学んだことを活かして、さらに人生や価値の問題を考えてください。もちろん考えた過程はきちんと書き出してください。
5 回	授業内容 人生と価値（後半） カントの義務論やミルの功利主義を学び、さらに人生と価値の問題を考えます。そもそも「よい」とは何なのでしょうか？私たちの人生は実は連に左右されるのではないのでしょうか？	事前学修 参考書 225 - 230 頁でカントの道徳哲学と功利主義を確認してください。その上で再び人生や価値の問題を考えてみてください。	事後学修 授業で得たことを使って、さらに独力で人生や価値の問題を論じてみてください。
6 回	授業内容 神と存在（前半） アンセルムスやデカルトの神の存在証明を手がかりに神と存在の問題を考えます。神とはどのような存在なのでしょうか？どうしたら神の存在（や不在）が分かるのでしょうか？	事前学修 参考書 51 - 56 頁で神の存在証明を確認しておいてください。自分で神や存在の問題を考えてみてください。	事後学修 授業で話し合ったことから、さらに神や存在の問題を掘り下げて論じてみてください。
7 回	授業内容 神と存在（後半） 事象内容と存在（や現実）の差異を捉えてから、再び神と存在の問題を考えます。そもそも存在（や現実）とは何なのでしょうか？何が（本当に）存在する（と言える）のでしょうか？	事前学修 引き続き存在（や現実）とは何かを考えておいてください。	事後学修 授業で学んだことを活かして、もっと神や存在（や現実）の問題を考えてみてください。
8 回	授業内容 哲学と対話 哲学者の論じる伝統的な問題でなく、もっと身近に感じられる日常の問題で、哲学対話を実践します。	事前学修 授業内の哲学対話で取り上げたい日常的問題を考えてきてください。	事後学修 自分に固有の問題を見つけて出し、そこで哲学的な思考を展開してみてください。
9 回	授業内容 精神と物質（前半） デカルトやロックやバークリーの部分を部分的に読んで精神と物質の問題を考えます。（外的）物質が存在するとは、どのようなことなのでしょうか？どうして（心的な）私は存在する（と言える）のでしょうか？	事前学修 参考書 64 - 67 頁と 120 - 124 頁を読んで、精神や物質の問題を考えてください。	事後学修 授業で話し合ったことを活かして、精神や物質の問題を論じてみてください。
10 回	授業内容 精神と物質（後半） 心身問題や他我問題を踏まえて、さらに精神と物質の問題を考えます。私たちの精神と肉体にはどのような関係があるのでしょうか？心は脳から生じるのでしょうか？そもそも私とは何なのでしょうか？どうして他の人に心が分かるのでしょうか？	事前学修 心と脳の関係や他人の意識について考えてみてください。もちろん考えたことは書き留めておいてください。	事後学修 授業で学習したことを利用して、心身問題や他我問題などを哲学的に考察してください。
11 回	授業内容 因果と帰納（前半） ヒュームの『人間本性論』の一部を読み因果と帰納の問題を考えます。そもそも因果とは何でしょうか？原因と結果とはどのような関係でしょうか？（因果的な）帰納は正当な推論なのでしょうか？	事前学修 参考書 124 - 125 頁を読みヒュームの因果論を確認してください。また、自分でも因果について考えてみてください。	事後学修 授業で学んだことを整理し、引き続き因果や帰納の問題を考えてみてください。
12 回	授業内容 因果と帰納（後半） 規則の問題を学び、再び因果と帰納の問題を考えます。（どうして）規則のない因果は（ありえ）ないのでしょうか？帰納の問題と規則の問題にはどのような関係があるのでしょうか？	事前学修 参考書 152 頁で規則の問題を確認し、規則の問題と共に因果や帰納の問題を考えてみてください。	事後学修 授業で論じたことを活かして、さらに因果と帰納の問題を論じてください。
13 回	授業内容 時間と変化（前半） アリストテレスやアウグスティヌスを手がかりに時間と変化の問題を考えます。時間（や空間）は無限に分割できるのでしょうか？（どうして）変化なしに時間は（ありえ）ないのでしょうか？過去や未来は記憶や予期でしかないのでしょうか？	事前学修 独力で時間とは何かを考えておいてください。考えたことは書き留めておいてください。	事後学修 授業で得たことを使って、さらに時間や変化の問題を掘り下げてみてください。
14 回	授業内容 時間と変化（後半） マクタガートの時間論から再び時間と変化の問題を考えます。現在とは何なのでしょうか？過去と未来はどのように異なるのでしょうか？そもそも時間とは何なのでしょうか？	事前学修 さらに時間について考えてください。特に現在（や過去や未来）とは何なのかを考えてみてください。	事後学修 授業で論じたことを活かして、時間とは何かをさらに論じて進めてみてください。
15 回	授業内容 試験と解説 本授業の総括と論述試験を行います。	事前学修 試験に備えて自らの哲学的な思考の展開が論述できるよう準備しておいてください。	事後学修 授業で考えたことを活かして、自分の大事な問題をさらに哲学的に思考し続けてください。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕 当日プリント配布

◆**参考書** 〔通材〕『哲学 B10700』 通信教育教材（教材コード 000404）3,650 円（送料込）
〔この教材は市販の『西洋思想の要諦周覧』 嘉吉純夫・齋藤隆著（北樹出版）と同一です。〕

◆**成績評価基準** 論述試験（70%）と授業参画度（30%）で総合的に評価します。毎回出席することを前提として評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」[学生番号] および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

【英語D】

和泉 周子

◆**授業概要** 文法を押さえた上で、英語4技能の内の「ライティング」の技能を学びます。多様な文法演習問題と3行でひとまとまりとなっているライティング演習問題に取り組むことを通して、一つ一つの英文を正確に書けるようになることに加え、前後のつながりが適切な文章を書けるようになることを目指します。

◆**学修到達目標** 文法と脈絡が正確で適切な文章が書けるようになることを目的とします。

◆**授業方法** 授業計画通りに進めます。各回、演習問題の解答に加え、文法や語彙の意味、英文の和訳等も答えてもらいます。なお、Warming-upの問題は扱いません。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：ガイダンス：授業の内容や進め方の説明・Chapter 1：Weather 進行形の文法確認及び演習 事前学修：Grammar Practiceの問題を解く。Grammar Focusは読んでおくこと。 事後学修：練習問題の間違った箇所や授業内で紹介した別表現を確認し、理解する。
2回	授業内容：Chapter 1：Weather 進行形のライティング演習 事前学修：Three-line Writingの問題を解く。 事後学修：練習問題の間違った箇所や授業内で紹介した別表現を確認し、理解する。
3回	授業内容：Chapter 3：Everyday Life 助動詞1の文法確認及び演習 事前学修：Grammar Practiceの問題を解く。Grammar Focusは読んでおくこと。 事後学修：練習問題の間違った箇所や授業内で紹介した別表現を確認し、理解する。
4回	授業内容：Chapter 3：Everyday Life 助動詞1のライティング演習 事前学修：Three-line Writingの問題を解く。 事後学修：練習問題の間違った箇所や授業内で紹介した別表現を確認し、理解する。
5回	授業内容：Chapter 7：Eating Out 不定詞の文法確認及び演習 事前学修：Grammar Practiceの問題を解く。Grammar Focusは読んでおくこと。 事後学修：練習問題の間違った箇所や授業内で紹介した別表現を確認し、理解する。
6回	授業内容：Chapter 7：Eating Out 不定詞のライティング演習 事前学修：Three-line Writingの問題を解く。 事後学修：練習問題の間違った箇所や授業内で紹介した別表現を確認し、理解する。
7回	授業内容：Chapter 8：Music 現在完了の文法確認及び演習 事前学修：Grammar Practiceの問題を解く。Grammar Focusは読んでおくこと。 事後学修：練習問題の間違った箇所や授業内で紹介した別表現を確認し、理解する。
8回	授業内容：Chapter 8：Music 現在完了のライティング演習 事前学修：Three-line Writingの問題を解く。 事後学修：練習問題の間違った箇所や授業内で紹介した別表現を確認し、理解する。
9回	授業内容：Chapter 9：Television and Radio 分詞の文法確認及び演習 事前学修：Grammar Practiceの問題を解く。Grammar Focusは読んでおくこと。 事後学修：練習問題の間違った箇所や授業内で紹介した別表現を確認し、理解する。
10回	授業内容：Chapter 9：Television and Radio 分詞のライティング演習 事前学修：Three-line Writingの問題を解く。 事後学修：練習問題の間違った箇所や授業内で紹介した別表現を確認し、理解する。
11回	授業内容：Chapter 6：Shopping 比較の文法確認及び演習 事前学修：Grammar Practiceの問題を解く。Grammar Focusは読んでおくこと。 事後学修：練習問題の間違った箇所や授業内で紹介した別表現を確認し、理解する。
12回	授業内容：Chapter 6：Shopping 比較のライティング演習 事前学修：Three-line Writingの問題を解く。 事後学修：練習問題の間違った箇所や授業内で紹介した別表現を確認し、理解する。
13回	授業内容：Chapter 4：Campus Life（1）助動詞2の文法確認及び演習 事前学修：Grammar Practiceの問題を解く。Grammar Focusは読んでおくこと。 事後学修：練習問題の間違った箇所や授業内で紹介した別表現を確認し、理解する。
14回	授業内容：Chapter 4：Campus Life（1）助動詞2のライティング演習 事前学修：Three-line Writingの問題を解く。 事後学修：練習問題の間違った箇所や授業内で紹介した別表現を確認し、理解する。
15回	授業内容：試験及び解説 事前学修：14回目までの授業内容を確認し、理解する。 事後学修：全授業内容を再確認し、ノート等にまとめる。

◆**教科書** 丸沼『Three-line Writing in English 日常英語ライティング入門』登美博之・Curt Wold 成美堂
1,944円（税込）（送料300円）

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 試験（60%）、発表等の授業への取り組み（40%）
毎回出席することを前提とします。また、発表等の授業への取り組みは予習状況を含みます。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔ドイツ語 I・II〕

志田 慎

◆**授業概要** 「聴く」、「読む」、「話す」、「書く」の四つの基本能力をバランスよく磨いて、ドイツ語技能検定 5 級から 4 級レベルの総合的なドイツ語力を身につけます。

◆**学修到達目標** 「聴く」、「読む」、「話す」、「書く」の四つの基本能力をバランスよく身につけること。ドイツ語技能検定 5 級から 4 級レベルの総合的なドイツ語力を身につけること。

◆**授業方法** 1. 各課のダイアログを CD で聴き、みなで真似て発音練習します。これを数回繰り返します。
2. 教科書の例文を用いて文法事項を解説します。
3. 練習問題をみなさんに解いてもらいます。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容: アルファベット／発音の基礎 事前学修: 付録 CD を聴いてみること。 事後学修: 付録 CD を聴いて発音練習すること。
2 回	授業内容: 数字／曜日／月名／四季／日常のあいさつ／ドイツ語を話す地域 事前学修: 付録 CD を聴いてみること。 事後学修: 付録 CD を聴いて発音練習すること。
3 回	授業内容: Lektion 1 (人称代名詞 動詞 sein, haben) 事前学修: 教科書の該当部分を読み、問題を解いてみること。 事後学修: 授業で学習した部分を読みなおすこと。
4 回	授業内容: Lektion 2 (動詞の変化 名詞の性 動詞の位置 疑問文) 事前学修: 教科書の該当部分を読み、問題を解いてみること。 事後学修: 授業で学習した部分を読みなおすこと。
5 回	授業内容: Lektion 3 (不規則変化動詞 名詞の 1・4 格) 小テスト 事前学修: 教科書の該当部分を読み、問題を解いてみること。 事後学修: 授業で学習した部分を読みなおすこと。
6 回	授業内容: 前回まで学習した内容の復習 事前学修: 付録 CD を聴き、教科書の該当部分を読んでおくこと。 事後学修: 授業で学習した部分を読みなおすこと。
7 回	授業内容: Lektion 4 (人称代名詞と名詞の 3・4 格 否定疑問の答え) 事前学修: 教科書の該当部分を読み、問題を解いてみること。 事後学修: 授業で学習した部分を読みなおすこと。
8 回	授業内容: Lektion 5 (名詞の 2 格 前置詞) 事前学修: 教科書の該当部分を読み、問題を解いてみること。 事後学修: 授業で学習した部分を読みなおすこと。
9 回	授業内容: Lektion 6 (3・4 格支配の前置詞) 事前学修: 教科書の該当部分を読み、問題を解いてみること。 事後学修: 授業で学習した部分を読みなおすこと。
10 回	授業内容: Lektion 7 (話法の助動詞 名詞の複数形) 小テスト 事前学修: 教科書の該当部分を読み、問題を解いてみること。 事後学修: 授業で学習した部分を読みなおすこと。
11 回	授業内容: 前回まで学習した内容の復習 事前学修: 教科書の該当部分を読んでおくこと。 事後学修: 授業で学習した部分を読みなおすこと。
12 回	授業内容: Lektion 8 (再帰代名詞 再帰動詞 時刻の表現) 事前学修: 教科書の該当部分を読み、問題を解いてみること。 事後学修: 授業で学習した部分を読みなおすこと。
13 回	授業内容: Lektion 9 (分離動詞 副文) 事前学修: 教科書の該当部分を読み、問題を解いてみること。 事後学修: 授業で学習した部分を読みなおすこと。
14 回	授業内容: 理解度の確認 事前学修: 教科書の該当部分を読んでおくこと。 事後学修: これまでに学習した内容を確認すること。
15 回	授業内容: 試験及び解説 事前学修: 教科書の該当部分を読んでおくこと。 事後学修: これまでに学習した内容を再確認すること。

◆**教科書** 丸沼『ドイツ環境問題へのアプローチ ノイ』 Troll・大申著 第三書房 2,376 円(税込) (送料 300 円)

◆**参考書** 独和辞典を必ず用意してください。推奨は『アポロン独和辞典』同学社、『クラウン独和辞典』三省堂。

◆**成績評価基準** 最終試験 50%、平常点(練習問題、小テストなど) 50%により総合的に評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔保健体育講義Ⅰ〕

高橋 正則

- ◆**授業概要** 近年、超高齢化社会を向かえているわが国の平均寿命は、年々上昇しているものの、健康寿命との差は依然として縮まらない傾向が続いている。平均寿命と健康寿命の差は約10年前後であり、その差を埋めるためには、自立して生活できる健康な身体を積極的に獲得する必要がある。そこで、健康・体力に関する情報に日頃から関心を向け、自身の健康維持・増進を目指す生活習慣を考える。
- ◆**学修到達目標** 生涯を通じて最も大切な健康とは何か、また、健康・体力の維持増進のために何が必要かについて、基本的な知識を習得することで、自らの生活習慣に結びつけることができるようになる。
- ◆**授業方法** この授業は、パワーポイントによって資料をスクリーンに提示しながら、講義形式で授業を進める。また、必要に応じて、配布資料を準備する予定である。なお、授業では講義内容からレポートや課題を出す場合がある。
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：ガイダンス、現代社会と健康：現代社会と健康の関連を説明する。 事前学修：事前に新聞やニュースなどのメディアを通して、関連情報を得ておくこと。 事後学修：配布資料をまとめ、理解しておくこと。
2回	授業内容：コミュニケーションスキル：現代社会におけるコミュニケーションスキルの重要性を解説する。 事前学修：事前に新聞やニュースなどのメディアを通して、関連情報を得ておくこと。 事後学修：配布資料をまとめ、理解しておくこと。
3回	授業内容：体力の概念：体力の構成を行動体力と防衛体力の観点から説明する。 事前学修：事前に新聞やニュースなどのメディアを通して、関連情報を得ておくこと。 事後学修：配布資料をまとめ、理解しておくこと。
4回	授業内容：オリンピズム：オリンピックに対する考え方やオリンピック教育の具体的内容を説明する。 事前学修：事前に新聞やニュースなどのメディアを通して、関連情報を得ておくこと。 事後学修：配布資料をまとめ、理解しておくこと。
5回	授業内容：運動・スポーツの効果：運動やスポーツが心身に及ぼす影響を解説する。 事前学修：事前に新聞やニュースなどのメディアを通して、関連情報を得ておくこと。 事後学修：配布資料をまとめ、理解しておくこと。
6回	授業内容：運動による疲労：身体活動が与える疲労を様々な指標で捉え、その影響を説明する。 事前学修：事前に新聞やニュースなどのメディアを通して、関連情報を得ておくこと。 事後学修：配布資料をまとめ、理解しておくこと。
7回	授業内容：休養の実態と意義：休養の必要性や効果的な取り方を解説する。 事前学修：事前に新聞やニュースなどのメディアを通して、関連情報を得ておくこと。 事後学修：配布資料をまとめ、理解しておくこと。
8回	授業内容：運動学習：運動を学習するための理論を説明する。試験 事前学修：事前に新聞やニュースなどのメディアを通して、関連情報を得ておくこと。 事後学修：配布資料をまとめ、講義全体の内容を整理し、理解しておくこと。

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕 当日、プリント配布。
- ◆**参考書** 指定しない。
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組みおよびレポート・テストによって総合的に評価する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔商法 I〕 オープン受講：不可

小菅 成一

- ◆**授業概要** 本授業では、商法のうち商法総則・商行為法に関する分野を取り上げながら、企業取引と法律との関係について勉強していきます。具体的には、商業登記制度、商人・会社の名称（商号）、企業取引の補助者（商業使用人・代理商等）、事業譲渡、商事売買、運送取引、施設取引（場屋・倉庫営業）、消費者法等について取り上げていきます。
- ◆**学修到達目標** 商法における商業登記（取引相手の会社を確認する方法）や商業使用人の権限（従業員の権限外の行為に対する会社の責任は？）、商事売買（企業間で取引する場合どのようなルールに従うべきか？）、運送取引（物品・旅客運送取引に関わるルールの内容）等の規制について、その概要を把握するとともに、そこで生じる法律問題にはどのようなものがあり、それがどのように解決されるのかを勉強していきます。
- ◆**授業方法** 授業の方法は、講義形式（講義担当者の作成したプリントを使用して）で行います。最終日には筆記試験を実施します。商法総則・商行為法を勉強することで、受講生が企業取引をめぐる法的な問題に関心が持てるようにしていきます。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 事前学修 事後学修	企業に関わる法律＝商法を学ぶ意義、成績評価の方法等。 簡単なもので構わないので、民法（総則、債権法等の箇所）に関する参考書等を読んでおいてください。 担当教員の話した内容等について、今一度確認してみましょう。
2 回	授業内容 事前学修 事後学修	商法の特徴（企業の種類、商法の歴史等）、商法と他の法律（民法や労働法等）との違い。 授業時に配布したプリント（商法 I・第 2 回）をよく読んでおくこと。 この回で取り上げた項目（事例・判例も含め）について復習しましょう。
3 回	授業内容 事前学修 事後学修	商行為の種類と特徴（どのような活動をするか？商行為として商法が適用されるのか？）。商人とは何か（会社と個人商人の違い。商人の資格取得時期はいつから？）。 授業時に配布したプリント（商法 I・第 3 回）をよく読んでおくこと。 この回で取り上げた項目（事例・判例も含め）について復習しましょう。
4 回	授業内容 事前学修 事後学修	商人や会社の名称である「商号」の意義、有名な会社の名称を使用した場合の問題点（不正競争防止法との関係等）。他人に自己の商号を貸した場合、貸手にはどのような責任が生じるか（名板貸し責任について）。 授業時に配布したプリント（商法 I・第 4 回）をよく読んでおくこと。 この回で取り上げた項目（事例・判例も含め）について復習しましょう。
5 回	授業内容 事前学修 事後学修	従業員（使用人）の役割とその権限の特徴。商法に規定される支配人、部長・課長、店舗における使用人等の権限外の行為について、どのような規制がなされているか。 授業時に配布したプリント（商法 I・第 5 回）をよく読んでおくこと。 この回で取り上げた項目（事例・判例も含め）について復習しましょう。
6 回	授業内容 事前学修 事後学修	取引先企業の情報を調査するために必要な「商業登記制度」の意義や手続等。商業登記の効力（登記の有無による取引の効力等）。 授業時に配布したプリント（商法 I・第 6 回）をよく読んでおくこと。 この回で取り上げた項目（事例・判例も含め）について復習しましょう。
7 回	授業内容 事前学修 事後学修	商人・会社の「営業・事業」とは何か。企業組織の譲渡に関わる「営業・事業譲渡」について、法律はどのように規制しているか。 授業時に配布したプリント（商法 I・第 7 回）をよく読んでおくこと。 この回で取り上げた項目（事例・判例も含め）について復習しましょう。
8 回	授業内容 事前学修 事後学修	商取引における契約締結の問題点、（企業間取引に関わる基本契約書の中身等）。 授業時に配布したプリント（商法 I・第 8 回）をよく読んでおくこと。 この回で取り上げた項目（事例・判例も含め）について復習しましょう。
9 回	授業内容 事前学修 事後学修	企業間売買における注意点（商品の受領、受け入れた商品の検査等の必要性等。取引における民法と商法との違い。実務上の企業間契約との関係等）。 授業時に配布したプリント（商法 I・第 8 回）をよく読んでおくこと。 この回で取り上げた項目（事例・判例も含め）について復習しましょう。
10 回	授業内容 事前学修 事後学修	物品・旅客運送業者の運送依頼人に対する義務と責任にはどのような規制があるか。 授業時に配布したプリント（商法 I・第 9 回）をよく読んでおくこと。 この回で取り上げた項目（事例・判例も含め）について復習しましょう。
11 回	授業内容 事前学修 事後学修	宿泊施設、映画館、ゴルフ場を営む場屋営業者、倉庫業者の施設利用者等に対する義務と責任。 授業時に配布したプリント（商法 I・第 10 回）をよく読んでおくこと。 この回で取り上げた項目（事例・判例も含め）について復習しましょう。
12 回	授業内容 事前学修 事後学修	他の商人の活動を補助する商人（代理商、問屋、仲立人）の機能と法的規制にはどのようなものがあるのか。 授業時に配布したプリント（商法 I・第 11 回）をよく読んでおくこと。 この回で取り上げた項目（事例・判例も含め）について復習しましょう。
13 回	授業内容 事前学修 事後学修	消費者保護の必要性。企業からの不当な取引（契約）に対し消費者をいかに保護するのか（消費者契約法）。 授業時に配布したプリント（商法 I・第 12 回）をよく読んでおくこと。 この回で取り上げた項目（事例・判例も含め）について復習しましょう。
14 回	授業内容 事前学修 事後学修	訪問販売や通信販売、マルチ商法等に対する規制、クーリング・オフ制度の特徴（特定商取引法）。クレジット取引に対する規制（割賦販売法）。 授業時に配布したプリント（商法 I・第 13 回）をよく読んでおくこと。 この回で取り上げた項目（事例・判例も含め）について復習しましょう。
15 回	授業内容 事前学修 事後学修	試験および解説 試験に備え、配布されたプリントをすべて見直すこと。 試験内容についてどこまで解答できたかを各自で確認してみましょう。

- ◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 当日プリント配布
最新版の六法（判例が掲載されているものを除く）
- ◆**参考書** 指定しない。
- ◆**成績評価基準** スクーリングの性質上、受講態度（30%）、定期試験の結果（70%）で評価します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔刑事訴訟法〕

南部 篤

◆**授業概要** 刑事訴訟の理念とその構造、歴史的経緯、近代刑事手続の意義をふまえ、犯罪捜査、公訴、公判、裁判の執行を規律する刑事訴訟法全体の理解を獲得すべく、できる限り具体的な設例・事例・判例を素材に検討を加える。刑事司法制度をリアルに実感できる授業を試みる。

◆**学修到達目標** 犯罪捜査から起訴、公判、裁判の執行に至る刑事手続を規律する法、刑事訴訟法の基礎を理解することを基本的到達目標とする。そのうえで、刑事手続が直面する課題にも目を向け、今日の刑事司法制度のあり方についての問題意識と理解の獲得を発展的到達目標とする。

◆**授業方法** 授業は、第1日と第2日は各5コマの講義を行い、第3日は4コマの講義と1コマの予備・補足・質問の時間に充て、全15コマ構成で展開する。テキストに沿って進めるが、テーマの重要度、受講者の理解度等に配慮し、割愛と捕捉を行う。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：刑事訴訟の意義、刑事訴訟法と刑事手続、手続法と実体法、刑事訴訟法の特徴を解説する。 事前学修：刑事裁判と民事裁判との違いを考えてみる（当然教科書には目を通しておくこと。以下同じ）。 事後学修：授業内容を教科書の記述を確認し、ノートに整理すること。
2回	授業内容：刑事訴訟を担うもの（裁判所・検察官・被告人等）を概観する。 事前学修：裁判所や検察庁のホームページを閲覧、または書籍等で刑事司法機関を概観しておく。 事後学修：刑事司法手続の流れ図を自分で図示するなどメモを作ってみること。
3回	授業内容：裁判所と検察官、司法警察職員、被告人、弁護人、被害者について検討する。 事前学修：裁判所の役割は何か、検察官と警察官の役割の違いは何か、考えた上で授業に臨む。 事後学修：刑事司法に関わるものを表にして役割・問題点・課題を書き入れる等の作業をしてみること。
4回	授業内容：捜査の意義と捜査の端緒、任意捜査と強制捜査の意義と問題点を考察する。 事前学修：「任意」と「強制」は、それぞれ何を意味するか、問われて答えられるよう考えてみる。 事後学修：任意捜査と強制捜査を対照する表作成を試み、整理しておくこと。
5回	授業内容：逮捕および勾留の意義と種類、問題点、課題について考える。 事前学修：逮捕や勾留が可能なのはどんなときか、身柄拘束時間の制約はどうかにつき調べておく。 事後学修：各種逮捕の種類と要件について一覧できる表を作って整理しておくこと。
6回	授業内容：捜索・押収、検証・鑑定・証人尋問及び特殊な捜査（おとり・撮影・通信傍受）につき検討する。 事前学修：授業で扱うテーマに対応する教科書の該当頁を読み込んで講義に臨む。 事後学修：おとり捜査、通信傍受に関する裁判例、立法例を調べてみる。
7回	授業内容：捜査の構造、被疑者側の防御活動、取調と黙秘権、接見交通権について考察する。 事前学修：被疑者に対する逮捕、勾留という強制捜査の目的は何かを考えてみる。 事後学修：接見交通権の意義と問題について、簡潔にレポートにまとめておくこと。
8回	授業内容：公訴の基本原則、公訴提起の手続、訴因と公訴事実、公訴提起の効果に関し説明する。 事前学修：六法の巻末付録やネット上のリソース、図書館資料等を利用し、起訴状の書式を見ておく。 事後学修：訴因とは何かについて、公訴事実との関係をふまえた説明にまとめておくこと。
9回	授業内容：公判の諸原則と公判準備、冒頭手続、証拠調べ、手続の分離等を解説する。 事前学修：公判がどのように進行するのかを調べ、簡潔な図を書いてみる。 事後学修：公判準備の手続についてどのような問題があるか、まとめておくこと。
10回	授業内容：証拠裁判主義、挙証責任、自由心証主義、証拠の関連性等について考察する。 事前学修：裁判は、なぜ証拠に基づいて行われなければならないのか、を考えてみる。 事後学修：挙証責任の意義と、刑事裁判においてその転換がありうるのかについてまとめておくこと。
11回	授業内容：自白、自白法則等をめぐる諸問題について概観し、検討を加える。 事前学修：自白を強制することはなぜゆるされないのかを考え、自分なりの答えをメモにまとめる。 事後学修：強制によって得られた自白が排除される理由について検討しまとめておくこと。
12回	授業内容：伝聞証拠と伝聞法則、伝聞禁止とその例外について考察を行う。 事前学修：刑事訴訟法における「伝聞」の意味は、通常の用例とどう異なるかを調べてみる。 事後学修：伝聞禁止の意義と、その例外の場合を整理しまとめておくこと。
13回	授業内容：違法収集証拠排除の意義、排除法則の根拠と基準について考える。 事前学修：違法な捜査によって得られた証拠を用いて有罪認定をすることはなぜ許されないかを考える。 事後学修：違法に取得された物的証拠を用いた有罪認定の是非についてまとめておくこと。
14回	授業内容：裁判の意義と種類、裁判の効力、既判力・一事不再理、裁判の執行について検討する。 事前学修：一度裁判が確定した場合、同じ事件につきもう一度裁判を行うことができるかを考えてみる。 事後学修：有罪判決と無罪判決に付すべき理由について整理し、まとめておくこと。
15回	授業内容：上訴（控訴、上告等）と非常救済手続（再審等） 事前学修：控訴、上告、再審とは何かについて調べてみる。 事後学修：控訴審の意義・構造について、および再審の意義と要件についてまとめておくこと。

◆**教科書** 丸沼『刑事訴訟法第2版（Next教科書シリーズ）』関正晴編 弘文堂 2,700円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 開講時に紹介する。また、講義時、質問に応じて、テーマに関連して随時紹介する。

◆**成績評価基準** ①複数回実施する授業内小テスト（70%）、②質問、意見等の積極的発言、簡単な発表、または課題レポート提出等（30%）、を総合して評価を行う。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国文学講義Ⅱ（中古）〕

笹生 美貴子

- ◆**授業概要** 『源氏物語』を吟味することによって、物語の読みの広がりや解釈を学びます。また、周辺作品との関連にも触れながら、『源氏物語』の文学的位置についても考えていきます。文学作品にふれることにより、心の豊かさや、物語作品に込められたメッセージを読み取る力を養うことを目標とします。
- ◆**学修到達目標** 作品の講読というスタイルをとります。文脈の一つ一つを丹念に追いかけて作品世界を読解し、その魅力を明らかにします。1日目・2日目の最後には、感想・意見等を書いたものを提出してもらいます。また、最終日に小論文（授業内容を踏まえた上での論述）を書いてもらい、試験の代わりとします。
- ◆**授業方法** 事前に「桐壺」巻（教科書）全体に目を通し、内容を把握しておきましょう。また、難解な語については古語辞典を用いて予習をしてください。登場人物が多く複雑なため、教科書に載っている人物系図等を参考にしつつ把握しておいてください。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 授業の進め方・オリエンテーション・『源氏物語』の主要人物について 事前学修 源氏物語の人物系図を確認しておくこと。 事後学修 授業内容をノートに整理し、人物系図を理解しておくこと。
2 回	授業内容 『源氏物語』と異文化概説・『源氏物語』『桐壺』巻の読解①—冒頭文について学ぶ 事前学修 前回授業に配布したプリント、教科書冒頭部分に目を通しておくこと。 事後学修 授業内容をノートに整理し、『源氏物語』におけるメディア・翻訳の多様性について理解しておくこと。
3 回	授業内容 『源氏物語』『桐壺』巻の読解②—光源氏誕生の場面について学ぶ 事前学修 前回授業に配布したプリント・教科書該当部分に目を通しておくこと。 事後学修 授業内容をノートに整理し、光源氏誕生場面の読解についてよく理解しておくこと。
4 回	授業内容 『源氏物語』『桐壺』巻の読解③—光源氏の袴着の儀の場面を学ぶ・当時の年中行事を学ぶ 事前学修 前回授業に配布したプリント、教科書該当部分に目を通しておくこと。 事後学修 授業内容をノートに整理し、光源氏袴着の儀の読解についてよく理解しておくこと。
5 回	授業内容 『源氏物語』『桐壺』巻の読解④—桐壺更衣の死の場面について学ぶ・和歌の修辞法について学ぶ 事前学修 前回授業に配布したプリント、教科書該当部分に目を通しておくこと。 事後学修 授業内容をノートに整理し、桐壺更衣の死の場面読解についてよく理解しておくこと。
6 回	授業内容 『源氏物語』『桐壺』巻の読解⑤—桐壺更衣の葬送場面を中心に学ぶ・当時の葬送儀礼について学ぶ 事前学修 前回授業に配布したプリント、教科書該当部分に目を通しておくこと。 事後学修 授業内容をノートに整理し、桐壺更衣の葬送場面を中心とした読解についてよく理解しておくこと。
7 回	授業内容 『源氏物語』『桐壺』巻の読解⑥—悲しみに暮れる桐壺帝（『長恨歌』引用）の場面を中心に学ぶ 事前学修 前回授業に配布したプリント、教科書該当部分に目を通しておくこと。 事後学修 授業内容をノートに整理し、当該場面における『長恨歌』引用についてよく理解しておくこと。
8 回	授業内容 『源氏物語』『桐壺』巻の読解⑦—高麗人の観相場面を学ぶ 事前学修 前回授業に配布したプリント、教科書該当部分に目を通しておくこと。 事後学修 授業内容をノートに整理し、高麗人の観相場面についてよく理解しておくこと。
9 回	授業内容 『源氏物語』『桐壺』巻の読解⑧—藤壺入内・藤壺を思慕する光源氏の場面を中心に学ぶ 事前学修 前回授業に配布したプリント、教科書該当部分に目を通しておくこと。 事後学修 授業内容をノートに整理し、当該場面について理解しておくこと。
10 回	授業内容 『源氏物語』『桐壺』巻の読解⑨—光源氏元服・結婚の場面について学ぶ 事前学修 前回授業に配布したプリント、教科書該当部分に目を通しておくこと。 事後学修 授業内容をノートに整理し、光源氏元服・結婚の場面について理解しておくこと。
11 回	授業内容 『源氏物語』『桐壺』巻の読解⑩—「桐壺」巻に出てくる和歌の解釈を学ぶ 事前学修 前回授業に配布したプリント、教科書該当部分に目を通しておくこと。 事後学修 授業内容をノートに整理し、和歌について理解しておくこと。
12 回	授業内容 『源氏物語』『桐壺』巻以降の内容について学ぶ①—六条院世界を中心に 事前学修 前回授業に配布したプリント、教科書該当部分に目を通しておくこと。 事後学修 授業内容をノートに整理し、六条院世界について理解しておくこと。
13 回	授業内容 『源氏物語』『桐壺』巻以降の内容について学ぶ②—女三の宮降嫁の場面を中心に 事前学修 前回授業に配布したプリントに目を通しておくこと。 事後学修 授業内容をノートに整理し、女三の宮降嫁の場面理について理解しておくこと。
14 回	授業内容 『源氏物語』『桐壺』巻以降の内容について学ぶ③—宇治十帖の世界を中心に 事前学修 前回授業に配布したプリントに目を通しておくこと。 事後学修 授業内容をノートに整理し、宇治十帖の世界について理解しておくこと。
15 回	授業内容 試験及び解説 事前学修 ノートや今までの授業で配布したプリント、教科書によく目を通しておくこと。 事後学修 授業内容を確認・理解して、自身の見解が適切であったかどうか再確認すること。

- ◆**教科書** 丸沼『源氏物語—付現代語訳』（第一巻 桐壺〜若紫）（角川ソフィア文庫）玉上琢彌訳注 角川書店
864 円（税込）（送料 215 円）
- ◆**参考書** 多岐にわたるので、授業時に伝えます。
- ◆**成績評価基準** 「授業後提出の感想・意見・授業態度」40%、「試験（小論文）」60%
毎回出席することを前提として評価します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」[学生番号] および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国文学講義Ⅳ（近世）〕

山崎 泉

◆**授業概要** 小説、俳諧、狂歌、川柳、浄瑠璃、歌舞伎、音曲等々、多種多様なジャンルが栄えた近世文学。本講義ではその中から、浄瑠璃と歌舞伎、そして音曲について学んでいきます。はるか江戸の昔から今日まで脈々と伝承されてきた「生きた文化遺産」を学ぶことにより、近世文学の多様性に触れることを目的とします。

◆**学修到達目標** 浄瑠璃や歌舞伎、音曲の特徴とその歴史が説明できるようになります。浄瑠璃や歌舞伎、音曲が近世文学においてどのような位置を占め、今日まで伝承されてきたのかが、理解できるようになります。古典作品の重要性を再認識できます。

◆**授業方法** 主に講義形式で進めます。まず近世文学の特色について解説した後、浄瑠璃、歌舞伎、音曲、それぞれの歴史に関する講義を行います。その後、実際の作品を鑑賞し、その特徴を具体的な形で学んでいきます。さらに、作品鑑賞後、それぞれの作品に関する小論文の提出をして頂く予定です。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：授業の進め方・オリエンテーション・近世文学の特色 事前学修：シラバスの内容を確認しておいて下さい。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、近世文学の特色を理解して下さい。	授業の進め方・オリエンテーション・近世文学の特色 まず、授業の進め方を説明した後、近世文学の特色について解説します。
2回	授業内容：人形浄瑠璃の歴史（1）浄瑠璃の発生から義太夫節の誕生までを学びます。 事前学修：前回の授業の内容を確認しておいて下さい。 事後学修：配布したレジュメを参照しながら、授業の内容をノートに整理して下さい。	人形浄瑠璃の歴史（1） 浄瑠璃の発生から義太夫節の誕生までを学びます。
3回	授業内容：人形浄瑠璃の歴史（2）近松門左衛門の時代から人形浄瑠璃の全盛時代までを学びます。 事前学修：前回の授業の内容を確認しておいて下さい。 事後学修：配布したレジュメを参照しながら、授業の内容をノートに整理して下さい。	人形浄瑠璃の歴史（2） 近松門左衛門の時代から人形浄瑠璃の全盛時代までを学びます。
4回	授業内容：人形浄瑠璃の歴史（3）近松半二の時代から江戸の人形浄瑠璃までを学びます。 事前学修：前回の授業の内容を確認しておいて下さい。 事後学修：配布したレジュメを参照しながら、授業の内容をノートに整理して下さい。	人形浄瑠璃の歴史（3） 近松半二の時代から江戸の人形浄瑠璃までを学びます。
5回	授業内容：人形浄瑠璃「心中天網島」鑑賞 近松門左衛門晩年の代表作である「心中天網島」を鑑賞、浄瑠璃とは何かを具体的に学びます。 事前学修：前回の授業の内容を確認しておいて下さい。 事後学修：作品の内容をノートに整理し、人形浄瑠璃の特徴について考察して下さい。	人形浄瑠璃「心中天網島」鑑賞 近松門左衛門晩年の代表作である「心中天網島」を鑑賞、浄瑠璃とは何かを具体的に学びます。
6回	授業内容：歌舞伎の歴史（1）歌舞伎の発生から元禄歌舞伎までを学びます。 事前学修：配布したレジュメに目を通しておいて下さい。 事後学修：配布したレジュメを参照しながら、授業の内容をノートに整理して下さい。	歌舞伎の歴史（1） 歌舞伎の発生から元禄歌舞伎までを学びます。
7回	授業内容：歌舞伎の歴史（2）享保歌舞伎から宝暦歌舞伎までを学びます。 事前学修：前回の授業の内容を確認しておいて下さい。 事後学修：配布したレジュメを参照しながら、授業の内容をノートに整理して下さい。	歌舞伎の歴史（2） 享保歌舞伎から宝暦歌舞伎までを学びます。
8回	授業内容：歌舞伎の歴史（3）寛政歌舞伎から化政歌舞伎までを学びます。 事前学修：前回の授業の内容を確認しておいて下さい。 事後学修：配布したレジュメを参照しながら、授業の内容をノートに整理して下さい。	歌舞伎の歴史（3） 寛政歌舞伎から化政歌舞伎までを学びます。
9回	授業内容：歌舞伎の歴史（4）幕末歌舞伎について学びます。 事前学修：前回の授業の内容を確認しておいて下さい。 事後学修：配布したレジュメを参照しながら、授業の内容をノートに整理して下さい。	歌舞伎の歴史（4） 幕末歌舞伎について学びます。
10回	授業内容：歌舞伎「心中天網島（河庄）」鑑賞 人形浄瑠璃「心中天網島」の歌舞伎化作品を鑑賞します。両者を比較することにより、人形浄瑠璃と歌舞伎、それぞれの個性の違いについて具体的に学びます。 事前学修：前回の授業の内容を確認しておいて下さい。 事後学修：作品の内容をノートに整理し、歌舞伎の特徴及び人形浄瑠璃との違いについて考察して下さい。	歌舞伎「心中天網島（河庄）」鑑賞 人形浄瑠璃「心中天網島」の歌舞伎化作品を鑑賞します。両者を比較することにより、人形浄瑠璃と歌舞伎、それぞれの個性の違いについて具体的に学びます。
11回	授業内容：音曲のいろいろ 人形浄瑠璃や歌舞伎と共に生まれた音曲について学びます。多くのジャンルが存在するので、ここでは代表的な豊後系浄瑠璃や河東節等について解説します。 事前学修：人形浄瑠璃及び歌舞伎の歴史を復習しておいて下さい。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、音曲の種類を理解して下さい。	音曲のいろいろ 人形浄瑠璃や歌舞伎と共に生まれた音曲について学びます。多くのジャンルが存在するので、ここでは代表的な豊後系浄瑠璃や河東節等について解説します。
12回	授業内容：歌舞伎「助六所縁江戸桜」鑑賞（1）河東節を用いた歌舞伎作品である「助六所縁江戸桜」を鑑賞、音曲の魅力を探ります。 事前学修：前回の授業の内容を確認しておいて下さい。 事後学修：作品の内容をノートに整理し、河東節がどのように活用されているかを考察して下さい。	歌舞伎「助六所縁江戸桜」鑑賞（1） 河東節を用いた歌舞伎作品である「助六所縁江戸桜」を鑑賞、音曲の魅力を探ります。
13回	授業内容：歌舞伎「助六所縁江戸桜」鑑賞（2）引き続き、河東節を用いた歌舞伎作品である「助六所縁江戸桜」を鑑賞、音曲の魅力を探ります。 事前学修：作品の内容を確認しておいて下さい。 事後学修：作品の内容をノートに整理し、河東節がどのように活用されているかを考察して下さい。	歌舞伎「助六所縁江戸桜」鑑賞（2） 引き続き、河東節を用いた歌舞伎作品である「助六所縁江戸桜」を鑑賞、音曲の魅力を探ります。
14回	授業内容：理解度の確認 事前学修：配布したレジュメの内容をもう一度確認して下さい。 事後学修：レジュメの内容を再確認し、ノートに整理して下さい。	理解度の確認
15回	授業内容：試験及び解説 事前学修：レジュメ及びノートに整理した内容をよく確認して下さい。 事後学修：これまで学んだことをいま一度振り返りながら、レジュメを再読して下さい。	試験及び解説

◆**教科書** 〔当日資料配布〕◆**参考書** 授業時に紹介します。◆**成績評価基準** 平常点（20%）、試験（80%）により、総合的に評価します。毎回出席することを前提として採点します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔漢文学Ⅰ〕 オープン受講：不可

本間 直人

- ◆**授業概要** 漢文学の内容は極めて深淵です。授業で取り上げる書物は、中国古代の哲学思想において、極めて重要な思惟を展開しています。漢文学読解に必要な基礎知識を学ぶとともに、常に問題意識を持って中国の古典文献を読む態度を身につけます。
- ◆**学修到達目標** 漢文を正確に理解できる能力を身につけることを目標とします。また、中国古代の哲学思想について、荘子の思想を中心に理解を深めます。中国古代の哲学者・思想家たちの言葉は国を超え、時代を超え、現代に生きる我々に、生きる上でのヒントを与えてくれることでしょう。さらに、研究の意義、必要性などについても学びます。
- ◆**授業方法** 上記の「学習到達目標」を達成することに留意しながら、発表形式で授業を行います。具体的には、テキストの文章、または配布した資料の文章などを一人ずつ読んでいただきます。さらに、レポートのまとめ方についても指導します。なお、授業内で小テスト、作文などを課すこともあります。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: ガイダンス（研究の意義、必要性について） 事前学修: テキストの「はじめに」の部分をよく読んでおくこと。 事後学修: テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
2 回	授業内容: 漢文学とは何か 事前学修: テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
3 回	授業内容: 訓点について 事前学修: テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
4 回	授業内容: 書き下し文（訓読）・漢文の基本文型について 事前学修: テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
5 回	授業内容: 老荘思想について 事前学修: テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
6 回	授業内容: 荘子の人物・生涯 “万物斉同” 説の概要 相対観—万物斉同の説の認識論的次元での分析— 事前学修: テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
7 回	授業内容: 相対観の超克—万物斉同の世界の体現について— 事前学修: テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
8 回	授業内容: 万物斉同の世界の実際 事前学修: テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
9 回	授業内容: 「胡蝶の夢」について 事前学修: テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
10 回	授業内容: 「大鵬説話」について 事前学修: テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
11 回	授業内容: その人となり—山中の隠者— まとめ 事前学修: テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: テキスト、ノート、プリントなどで、荘子の思想についてまとめておくこと。
12 回	授業内容: レポートの書き方について①（司馬遷「任少卿に報ずるの書」を題材として） 事前学修: 1 回目の授業で配布されたプリントをよく読んでおくこと。 事後学修: テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
13 回	授業内容: レポートの書き方について②（個別指導） 事前学修: 前回の授業で配布されたプリントをよく読んでおくこと。 事後学修: 個別指導で指摘された点を中心にレポートをまとめること。
14 回	授業内容: レポートの書き方について③（講評） まとめ 事前学修: 前回の授業で配布されたプリントをよく読んでおくこと。 事後学修: 個別指導で指摘された点を中心にレポートをまとめること。
15 回	授業内容: 試験及び解説 事前学修: 漢文学とは何か、また老荘思想について再確認すること。 事後学修: 改めて、漢文学を学ぶ意義について考えてみること。

- ◆**教科書** 教材『漢文学Ⅰ M31500』通信教育教材（教材コード 000437）2,150 円（送料込）
〔当日資料配布〕当日プリント配布
漢和辞典を用意してください。
- ◆**参考書** 指定しない。
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組み（発表など）・レポート・テストにより総合的に評価します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

【英語音声学】

森 晴代

◆**授業概要** 発声器官の説明から始めて、母音、子音については細かい音声現象の説明、日本語と英語の違い、英米の違いの理解の徹底及び発音練習を行います。プロソディでは語強勢と文強勢の理論について時間の許す限り触れ、総合的な発音練習を行います。授業時に各自発音発表をしてもらいます。理論に関する小テストを課して習熟度の確認を行います。最終目的は発音記号を正確に読める力をつけることです。辞典を引くとき発音記号を意識して見るようにしておきましょう。授業には必ず辞典を持参してください。

◆**学修到達目標** 1. 日本語との違いを意識し、英語の発音の特徴及び発音記号を理解することができる。
2. 英語のスペルと発音のずれに意識を置き、正確な発音をすることができる。
3. 発音記号からスペルに変換することができる。

◆**授業方法** 母音、子音の詳細な説明を行い、項目ごとに小テストを課して習熟度を確認します。事前に配布するプリントには専門用語が数多く出てくるので、前もって読んでおいてください。練習問題を解きながらわかりにくい箇所を補足説明します。クラス全体の人数を見ながら8名から10名のグループを作り、発音練習の取り組みやプリント作成など協力しながら進めていきます。全員参加型の授業を目指します。

◆**履修条件** 平成30年度夏期スクーリングの「英語音声学」との積み重ね不可

◆**授業計画（各90分）**

1回	授業内容：音声学とは？発声器官の名称説明 事前学修：音声学の学問領域について、参考書を読んで各自調べておくこと 事後学修：学問分野、発声器官の名称を覚えること
2回	授業内容：発音記号に慣れよう！（練習問題配布）及び解答、発音記号の見方 事前学修：発声器官のそれぞれの役割を見返しておくこと、発音記号を書けるようにしておくこと 事後学修：解答したプリントの発音記号を理解しておくこと
3回	授業内容：基本母音の説明、英語の母音の分類基準の説明 事前学修：基本母音について、参考書を各自調べておくこと 事後学修：基本母音について、整理しておくこと
4回	授業内容：前舌母音、後舌母音の説明及び発音練習 事前学修：前舌母音、後舌母音について、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修：前舌母音、後舌母音の発音練習をしておくこと、日本語との違いを意識すること
5回	授業内容：中舌母音、二重母音の説明及び発音練習 事前学修：中舌母音、二重母音について、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修：中舌母音、二重母音の発音練習をしておくこと、英語と日本語の二重母音に対する認識の違いを理解しておくこと、二重母音の発音記号が書けるようにしておくこと
6回	授業内容：母音、二重母音の演習問題配布及び解答 事前学修：英語の母音、二重母音の理論及び発音を理解しておくこと 事後学修：解答したプリントの復習をしておくこと
7回	授業内容：子音の分類基準の説明、閉鎖音の説明及び発音練習 事前学修：閉鎖音について、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修：閉鎖音の理論、日本語との違いの理解及び発音練習をしておくこと
8回	授業内容：摩擦音、破擦音の説明及び発音練習 事前学修：摩擦音、破擦音について、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修：摩擦音、破擦音の理論、日本語との違いの理解及び発音練習をしておくこと
9回	授業内容：鼻音の説明及び発音練習 事前学修：鼻音について、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修：鼻音の理論、日本語との違いの理解及び発音練習をしておくこと
10回	授業内容：流音、半母音の説明及び発音練習 事前学修：流音、半母音について、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修：流音、半母音の理論、日本語との違いの理解及び発音練習をしておくこと
11回	授業内容：子音連続の発音練習 事前学修：子音連続について、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修：英語の子音連続の発音練習をしておくこと、母語干渉を理解しておくこと
12回	授業内容：子音の演習問題配布及び解答 事前学修：英語と日本語の子音の違いを理解しておくこと 事後学修：解答したプリントの復習をしておくこと
13回	授業内容：語強勢、句強勢の説明、演習 事前学修：強勢、句強勢とは何か、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修：語強勢、句強勢を正確に理解できたか復習すること
14回	授業内容：文強勢の説明、演習 事前学修：文強勢とは何か、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修：文強勢規則、通常強勢、対比強勢について正確に理解できたか復習すること
15回	授業内容：筆記試験及び解説 事前学修：試験に備え、理論と発音の総復習をしておくこと 事後学修：英語音声学における諸事象を理解できたか復習すること

◆**教科書** **【事前資料送付】** プリント使用（事前配布）
【当日資料配布】 当日配布の資料

◆**参考書** 丸沼『英語の音声を科学する』川越いつえ著 大修館書店 新装版 CD付 2,592円（税込）（送料300円）
*授業では使用しません。

◆**成績評価基準** 平常点（20%）、小テスト（20%）、試験（60%）

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
*授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語文学概説 / 英米文学概説〕 オープン受講：不可

新井 英夫

- ◆**授業概要** 英米文学にはどのような特徴があり、またどのような分析が可能なかを考える。
- ◆**学修到達目標** 英米小説の特徴をよりよく理解し、多様かつ有効な文学形式における読みの可能性を感じ取るために、次に掲げる目標を達成しましょう。
 - ①英米小説の読解に必要な英語力がどの程度のものであるかを知ることができるようになる。
 - ②大学入学までに学習してきた英語の基本事項を、小説の読解に活用することができるようになる。
 - ③小説の形式を理解することで、作品のテーマについて説得力ある論を展開できるようになる。
- ◆**授業方法** 演習形式のスタイルを採ります。ただし授業が単なる日本語訳の発表大会に終わることのないように、結論に至るプロセスを皆さんには大切にしてもらいたいと思っています。グループ活動なども取り入れる予定ですので、英語が苦手な方の受講も歓迎です。また「英文を読む」と「小説を理解する」との差異を学生たちに理解してもらうべく、小説の読み方も丁寧に指導します。英文学で学ぶ学生たちの「入門講座」となるように授業を展開できればと考えています。
- ◆**履修条件** 2018 年度夏期スクーリングにおいて、新井が担当する英米文学概説を受講したものは、授業内容が同一のため、履修を認めないこととする。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：【演習&解説】 J. K. ローリングの『ハリー・ポッターと賢者の石』の一節を読む。 事前学修：J. K. ローリングについて調べる。 事後学修：講義で解説した内容を復習する。
2 回	授業内容：【演習&解説】 ジェイン・オースティンの『高慢と偏見』の一節を読む。 事前学修：ジェイン・オースティンについて調べる。 事後学修：講義で解説した内容を復習する。
3 回	授業内容：【演習&解説】 E. M. フォスターの『ハワーズ・エンド』の一節を読む。 事前学修：E. M. フォスターについて調べる。 事後学修：講義で解説した内容を復習する。
4 回	授業内容：【演習&解説】 J. D. サリンジャーの『ライ麦畑でつかまえて』の一節を読む。 事前学修：J. D. サリンジャーについて調べる。 事後学修：講義で解説した内容を復習する。
5 回	授業内容：【演習&解説】 シャーロット・ブロンテの『ヴィレット』の一節を読む。 事前学修：シャーロット・ブロンテについて調べる。 事後学修：講義で解説した内容を復習する。
6 回	授業内容：【演習&解説】 クリストファー・イシャウッドの『ベルリンよさらば』の一節を読む。 事前学修：クリストファー・イシャウッドについて調べる。 事後学修：講義で解説した内容を復習する。
7 回	授業内容：【演習&解説】 ミュリエル・スパークの『ミス・ブロウディの青春』の一節を読む。 事前学修：ミュリエル・スパークについて調べる。 事後学修：講義で解説した内容を復習する。
8 回	授業内容：【演習&解説】 ジェイン・オースティンの『エマ』の一節を読む。 事前学修：ジェイン・オースティンについて調べる。 事後学修：講義で解説した内容を復習する。
9 回	授業内容：【演習&解説】 ジョージ・オーウェルの『一九八四』の一節を読む。 事前学修：ジョージ・オーウェルについて調べる。 事後学修：講義で解説した内容を復習する。
10 回	授業内容：【演習&解説】 D. H. ロレンスの『恋する女たち』の一節を読む。 事前学修：D. H. ロレンスについて調べる。 事後学修：講義で解説した内容を復習する。
11 回	授業内容：【演習&解説】 シャーロット・ブロンテの『ジェイン・エア』の一節を読む。 事前学修：シャーロット・ブロンテについて調べる。 事後学修：講義で解説した内容を復習する。
12 回	授業内容：【演習&解説】 カズオ・イシグロの『日の名残り』の一節を読む。 事前学修：カズオ・イシグロについて調べる。 事後学修：講義で解説した内容を復習する。
13 回	授業内容：【演習&解説】 グレアム・グリーン『事件の核心』の一節を読む。 事前学修：グレアム・グリーンについて調べる。 事後学修：講義で解説した内容を復習する。
14 回	授業内容：【演習&解説】 ジェイン・オースティンの『ノーサンガー・アベイ』の一節を読む。 事前学修：ジェイン・オースティンについて調べる。 事後学修：講義で解説した内容を復習する。
15 回	授業内容：【試験&まとめ】 試験とこれまでの授業のまとめを行う。 事前学修：これまでの授業内容を復習する。 事後学修：授業で扱った作品をいずれか 1 冊読む。

- ◆**教科書** 事前資料送付 当日資料配布
- ◆**参考書** 丸沼『はじめて学ぶイギリス文学史』 神山妙子 ミネルヴァ書房 1989 年 3,024 円（税込）（送料 350 円）
- ◆**成績評価基準** 授業内活動（40%）＋最終試験（60%）。欠席者には単位を認定しません。また遅刻は各時限につき 10 点減点とします。遅刻は各時限の授業開始から 15 分までとし、それ以降は欠席扱いとなります。早退は原則として認めません。総得点が 0 点を下回る場合には、0 点として評価します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

【スピーチコミュニケーションⅡ】 オープン受講：不可

ダレル ハーディ

◆**授業概要** This course will focus on communication skills, mainly speaking and listening. The emphasis will be on using English in an authentic context and developing fluency.◆**学修到達目標** Course Objectives:

1. To use English for communication with a focus on fluency.
2. To review basic language to talk about general themes/topics.
3. To reduce student apprehension towards communicating in English.

◆**授業方法** This course is based on a topic-based syllabus where students will learn vocabulary, language structures and functions commonly used related to the topics. Students will then perform activities such as group tasks and role-plays which incorporate the language covered in the section.◆**履修条件** Students are required to attend all three days, complete a written and oral test.◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: Orientation; introductions, and classroom language. 事前学修: None 事後学修: Review questions and expressions for asking for clarification.
2回	授業内容: Topic one: using modal verbs to talk about obligations – current work or other situations. 事前学修: Review notes from the previous lecture. 事後学修: Review lecture notes and complete homework activities.
3回	授業内容: Obligations continued: past obligations. 事前学修: Prepare a two minute mini speech on current obligations. 事後学修: Review lecture notes and complete homework activities.
4回	授業内容: Obligations continued: modal verbs for giving advice or recommendations 事前学修: Prepare a two minute mini presentation on past obligations. 事後学修: Review lecture notes and complete homework activities.
5回	授業内容: Obligations continued: create a “special theme language school” group activities: description of school, rules and guidelines for teachers and students. 事前学修: Make a list of ideas for creating a special theme language school. 事後学修: Review the description, rules and guidelines for your language school.
6回	授業内容: Topic two: Situations and Dilemmas – review of first conditional to discuss consequences. 事前学修: Prepare a three minute presentation about your school, rules, and guidelines. 事後学修: Review lecture notes and complete homework activities.
7回	授業内容: Situations and Dilemmas continued: chain story telling. 事前学修: List several consequences for a given number of events. 事後学修: Review lecture notes and complete homework activities.
8回	授業内容: Situations and Dilemmas continued: second / unreal conditionals. 事前学修: Review formation of second conditional (unreal conditional) sentences. 事後学修: Review lecture notes and complete homework activities.
9回	授業内容: Situations and Dilemmas continued: discussion – what would you do? 事前学修: Prepare an unreal conditional question to ask classmates. 事後学修: Review lecture notes and complete homework activities.
10回	授業内容: Situations and Dilemmas continued: using past conditionals to express regret. 事前学修: Review the formation of third conditional (past conditional) sentences. 事後学修: Review lecture notes and complete homework activities.
11回	授業内容: Topic three: Future Plans and Predictions: expressing probability. 事前学修: Prepare a topic of regret (real or imaginary) for discussion. 事後学修: Review lecture notes and complete homework activities.
12回	授業内容: Future Plans and Predictions continued: the world in 2050. 事前学修: Decide on the probability of certain events occurring on or before 2050. 事後学修: Review lecture notes and complete homework activities.
13回	授業内容: Future Plans and Predictions continued: your future. 事前学修: Describe your future life. 事後学修: Review lecture notes and complete homework activities.
14回	授業内容: Review for final tests (speaking and writing) 事前学修: Decide the future of some famous people. 事後学修: Review for final tests
15回	授業内容: Final tests (speaking and writing) 事前学修: Review for final test. 事後学修: End of course.

◆**教科書** Handouts will be provided◆**参考書** A dictionary may be helpful.◆**成績評価基準** Written test = 40%; Oral test = 40%; Participation = 20%

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

〔英語学演習 A〕

小澤 賢司

◆**授業概要** 本授業では、「卒業論文」作成の一助となるよう、以下の項目を扱います。

- ① 進行形の各種用法を知る (文献精読)。
- ② 進行形に見られる多彩な特徴を体系的に理解する。
- ③ 疑問点等を整理する。
- ④ 受講者同士で意見を交わす。
- ⑤ 論文とは何かを知る。

◆**学修到達目標** 本授業では、以下の点を学修到達目標とします。

- (a) 進行形の各種用法をわかりやすい言葉で説明できる。
- (b) 文献資料 (洋文献含む) を正確に読解することができる。
- (c) 文献の読み方とまとめ方を身につける。
- (d) 協働作業を通して、疑問点に対する解決策などを創出することができる。

◆**授業方法** 輪読形式でテキスト (プリント) を読み進めていきます。適宜、受講者の方を指名します。テキスト (プリント) には、英語で書かれた文献が多数ありますので、事前に精読しておいてください。きれいな日本語にすることも重要ですが、それだけでなく、書かれている内容の理解を重視してください。音読はとて重要で、既知の単語でも発音とアクセント (特にアクセント) はしっかりと調べ、発音できるようにしておいてください。本授業は 3 日間のスクーリングですので、全 15 回の授業計画は、1 日で約 5 回分進むとお考え下さい。

◆**授業計画 [各 90 分]**

1 回	授業内容: 論文とは何か, 論文を読む (Can vs. May) 事前学修: 本授業のシラバス全体を一読しておくこと。 事後学修: 論文とは何かを正しく理解しておくこと。
2 回	授業内容: 論文を読む (Will / Can / Would / Could) you ~ ? の意味の違い 事前学修: Will / Can / Would / Could you ~ ? の意味の違いについて、手持ちの辞書や文法書などで調べてくること。 事後学修: 手持ちの文法書で、英語の進行形の用法等を確認しておくこと。
3 回	授業内容: 進行形の各種用法 事前学修: 0 節および 1 節を熟読しておくこと。 事後学修: 学習した内容を整理し、疑問点などはしっかりまとめておくこと。
4 回	授業内容: 進行中の状況, 状態動詞 be の進行形, 思考や知覚を表す状態動詞の進行形 事前学修: 2.1 節, 2.2 節, 2.3 節を熟読しておくこと。Question 1, 2 を考えてくること。 事後学修: 学習した内容を整理し、疑問点などはしっかりまとめておくこと。
5 回	授業内容: 未完了性 事前学修: 2.4 節, 2.4.1 節を熟読しておくこと。Question 3 を考えてくること。 事後学修: 学習した内容を整理し、疑問点などはしっかりまとめておくこと。
6 回	授業内容: 未来を表す進行形 事前学修: 2.5 節を熟読しておくこと。Question 4 を考えてくること。 事後学修: 学習した内容を整理し、疑問点などはしっかりまとめておくこと。
7 回	授業内容: 時間幅の付与 事前学修: 3.1 節, 3.1.1 節を熟読しておくこと。Question 5, 6 を考えてくること。 事後学修: 学習した内容を整理し、疑問点などはしっかりまとめておくこと。
8 回	授業内容: 時間幅の制限, 感情の表出 事前学修: 3.2 節, 3.3 節, 3.3.1 節を熟読しておくこと。Question 7, 8, 9 を考えてくること。 事後学修: 学習した内容を整理し、疑問点などはしっかりまとめておくこと。
9 回	授業内容: 丁寧表現としての進行形, 'I'm lovin' it. 事前学修: 3.4 節, 3.5 節を熟読しておくこと。Question 10 を考えてくること。 事後学修: 学習した内容を整理し、疑問点などはしっかりまとめておくこと。
10 回	授業内容: アスペクトと動詞の種類 事前学修: これまでの学習内容を復習しておくこと。 事後学修: 学習した内容を整理し、疑問点などはしっかりまとめておくこと。
11 回	授業内容: 状態的: Quality and State 事前学修: これまでの学習内容を復習しておくこと。 事後学修: 学習した内容を整理し、疑問点などはしっかりまとめておくこと。
12 回	授業内容: 動的: Accomplishment and Achievement 事前学修: これまでの学習内容を復習しておくこと。 事後学修: 学習した内容を整理し、疑問点などはしっかりまとめておくこと。
13 回	授業内容: 英語の進行形の体系 事前学修: これまでの学習内容を復習しておくこと。 事後学修: 学習した内容を整理し、疑問点などはしっかりまとめておくこと。
14 回	授業内容: 予備日 (これまでの復習) 事前学修: これまでの学習内容を復習しておくこと。 事後学修: 漏れのある学習内容を確認しておくこと。
15 回	授業内容: まとめ及び試験 事前学修: これまでの学習内容を復習しておくこと。 事後学修: 再度、全ての学習内容を復習しておくこと。

◆**教科書** **事前資料送付** プリントを配布します。

◆**参考書** 特に指定はしませんが、大学生・社会人向けの辞書は必ず持参してください。出来れば、2000 年以降に発行された辞書が望ましいです。新しい辞書の購入をお考えの方は、授業中にいくつか紹介します。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み (予習状況・出席状況・発表など)、および、最終日試験にて総合的に評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英米文学演習B〕

堀切 大史

- ◆**授業概要** F・スコット・フィッツジェラルド『華麗なるギャツビー』を読み、その多様な英語表現および作品に描かれている多様な文化について学修することによって、文学作品の読解力および批評力を高めます。
- ◆**学修到達目標** 英語文学作品を、その多様な英語表現および作品に描かれている多様な文化に触れながら読解できるようになるとともに、批評できるようになることも目標とします。
- ◆**授業方法** 演習形式。受講生のみなさんには、輪読形式によるテキストの音読および担当部分に関する質問およびコメントをしてもらい、それをふまえて、クラス全体でディスカッションをします。スクーリング終了後にレポート提出あり。
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：1920年代のアメリカ 事前学修：テキストの精読 事後学修：ノートの整理および授業内容の確認
2回	授業内容：F・スコット・フィッツジェラルド『華麗なるギャツビー』第1章（前半） 事前学修：テキストの精読 事後学修：ノートの整理および授業内容の確認
3回	授業内容：F・スコット・フィッツジェラルド『華麗なるギャツビー』第1章（後半） 事前学修：テキストの精読 事後学修：ノートの整理および授業内容の確認
4回	授業内容：F・スコット・フィッツジェラルド『華麗なるギャツビー』第2章（前半） 事前学修：テキストの精読 事後学修：ノートの整理および授業内容の確認
5回	授業内容：F・スコット・フィッツジェラルド『華麗なるギャツビー』第2章（後半） 事前学修：テキストの精読 事後学修：ノートの整理および授業内容の確認
6回	授業内容：F・スコット・フィッツジェラルド『華麗なるギャツビー』第3章 事前学修：テキストの精読 事後学修：ノートの整理および授業内容の確認
7回	授業内容：F・スコット・フィッツジェラルド『華麗なるギャツビー』第4章 事前学修：テキストの精読 事後学修：ノートの整理および授業内容の確認
8回	授業内容：F・スコット・フィッツジェラルド『華麗なるギャツビー』第5章 事前学修：テキストの精読 事後学修：ノートの整理および授業内容の確認
9回	授業内容：F・スコット・フィッツジェラルド『華麗なるギャツビー』第6章 事前学修：テキストの精読 事後学修：ノートの整理および授業内容の確認
10回	授業内容：F・スコット・フィッツジェラルド『華麗なるギャツビー』第7章（前半） 事前学修：テキストの精読 事後学修：ノートの整理および授業内容の確認
11回	授業内容：F・スコット・フィッツジェラルド『華麗なるギャツビー』第7章（後半） 事前学修：テキストの精読 事後学修：ノートの整理および授業内容の確認
12回	授業内容：F・スコット・フィッツジェラルド『華麗なるギャツビー』第8章（前半） 事前学修：テキストの精読 事後学修：ノートの整理および授業内容の確認
13回	授業内容：F・スコット・フィッツジェラルド『華麗なるギャツビー』第8章（後半） 事前学修：テキストの精読 事後学修：ノートの整理および授業内容の確認
14回	授業内容：F・スコット・フィッツジェラルド『華麗なるギャツビー』第9章（前半） 事前学修：テキストの精読 事後学修：ノートの整理および授業内容の確認
15回	授業内容：F・スコット・フィッツジェラルド『華麗なるギャツビー』第9章（後半） 事前学修：テキストの精読 事後学修：ノートの整理、授業内容の確認、レポートの作成！

- ◆**教科書** 『The Great Gatsby』 F. Scott Fitzgerald Scribner (ISBN：9780743273565)
〈上記の本は、丸沼書店では取り扱っていませんので、Amazon等で購入してください。〉
- ◆**参考書** 英語辞典その他の事典や辞典など
- ◆**成績評価基準** 授業参加（50%）、レポート（50%） 毎回出席することを前提として評価します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

〔科学哲学〕

江川 晃

◆**授業概要** 現代において、科学技術と私たちの基本的関係が根本的に問われている。つまり、「純粋な科学の領域」と「純粋な政治の領域」と区別することが難しく、この科学・技術と社会との新たな関係は「トランス・サイエンス」と呼ばれる。ここでは、現代の「トランス・サイエンス」の技術倫理について考えていく。

◆**学修到達目標** 科学が技術と結合して「科学技術」へと変貌していく過程において、科学社会学は生じてきた。この講座の目標は、科学技術の先端化と社会的リスクの増大とが表裏一体であることに言及しつつ、科学技術の実践に必要な「倫理」あるいは「社会的説明責任」について考察できる能力を養うことにある。

◆**授業方法** 教科書とパワポによる講義、小レポート、発表、討論しながら、ダイナミックに行こう。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：1 科学哲学とは何か 事前学修：教科書の「まえがき」と第 1 章を読んでおいてください。 事後学修：配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
2 回	授業内容：2 科学社会学の展開 事前学修：教科書の第 13 章を読んでおいてください。 事後学修：教科書の該当箇所及びパワポのプリントを復習すること。
3 回	授業内容：(1) 科学社会学の成立 事前学修：教科書の第 13 章、第 1 節を読んでおいてください。 事後学修：教科書の該当箇所及びパワポのプリントを復習すること。
4 回	授業内容：(2) 科学知識の社会学 事前学修：教科書の第 13 章、第 2 節を読んでおいてください。 事後学修：教科書の該当箇所及びパワポのプリントを復習すること。
5 回	授業内容：(3) サイエンス・ウォーズ 事前学修：教科書の第 13 章、第 3 節を読んでおいてください。 事後学修：教科書の該当箇所及びパワポのプリントを復習すること。
6 回	授業内容：3 科学の変貌と科学技術革命 事前学修：教科書の第 14 章を読んでおいてください。 事後学修：教科書の該当箇所及びパワポのプリントを復習すること。
7 回	授業内容：(1) 「科学技術」という言葉 事前学修：教科書の第 14 章、第 1 節を読んでおいてください。 事後学修：教科書の該当箇所及びパワポのプリントを復習すること。
8 回	授業内容：(2) 科学技術革命 事前学修：教科書の第 14 章、第 2 節を読んでおいてください。 事後学修：教科書の該当箇所及びパワポのプリントを復習すること。
9 回	授業内容：(3) 科学の変貌と再定義 事前学修：教科書の第 14 章、第 3 節を読んでおいてください。 事後学修：教科書の該当箇所及びパワポのプリントを復習すること。
10 回	授業内容：4 科学技術の倫理 事前学修：教科書の第 15 章を読んでおいてください。 事後学修：教科書の該当箇所及びパワポのプリントを復習すること。
11 回	授業内容：(1) 地球環境問題 事前学修：教科書の第 15 章、第 1 節を読んでおいてください。 事後学修：教科書の該当箇所及びパワポのプリントを復習すること。
12 回	授業内容：(2) 科学技術の社会的責任 事前学修：教科書の第 15 章、第 2 節を読んでおいてください。 事後学修：教科書の該当箇所及びパワポのプリントを復習すること。
13 回	授業内容：(3) 科学技術と公共性 事前学修：教科書の第 15 章、第 3 節を読んでおいてください。 事後学修：教科書の該当箇所及びパワポのプリントを復習すること。
14 回	授業内容：5 3・11 以後の科学技術と人間 事前学修：教科書の補章を読んでおいてください。 事後学修：教科書の該当箇所及びパワポのプリントを復習すること。
15 回	授業内容：まとめと試験 事前学修：総復習する。 事後学修：反省。

◆**教科書** 教材『科学哲学 P31300』通信教育教材（教材コード 000573）2,000 円（送料込）
〈この教材は市販の『科学哲学への招待』野家啓一著（ちくま学芸文庫 筑摩書房）と同一です。〉

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 平常点・課題（50%）、試験（50%、参照可）、毎回出席を前提として評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔哲学演習 A〕

興津 香織

- ◆**授業概要** インド思想について、その本流であるバラモン教系統の諸思想を中心に、インドにおいて誕生した仏教との関係性にも着目して理解する。インド思想史を概観し各思想の特徴を説明した後、実際にそれぞれの文献の抜粋を読んで理解を深める。インド思想の根底にある基本的な考え方や専門用語も学び、インドにおける諸思想の理解に役立たせる。
- ◆**学修到達目標** インドにおける諸思想を思想史の中で理解し、正統バラモン教系統の思想とインド仏教との相違を確認し説明できるようになる。インド思想を全体的に把握することにより、インドにおける宗教のあり方や神話など、インドの人々が共通的に有する知識や仏教の位置付けを知ることができる。
- ◆**授業方法** 基本的には講義形式で、専門用語や背景、要点などを解説してから実際の文献の抜粋を読み進める。資料および文献の抜粋を配付する。受講生にも分担して読んでもらう(発表)。一日目と二日目の最後に小レポートを作成してもらう。詳細は授業時。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容: 講義概要、講義の進め方、参考文献の紹介 事前学修: 通信教育教材『宗教学基礎講読』の第七章(インド人の宗教)と第八章(仏教)を読んでおく 事後学修: 配付資料を読んで、授業内容を確認する
2 回	授業内容: インド思想史の流れと基本情報の解説 インドス文明からマウリヤ王朝まで 事前学修: 配付資料を読んでおく(読む箇所は前の回にて指定する) 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、配付資料を読み返し、内容を整理・確認する
3 回	授業内容: インド思想史の流れと基本情報の解説 仏教の消滅まで 事前学修: 配付資料を読んでおく(読む箇所は前の回にて指定する) 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、配付資料を読み返し、内容を整理・確認する
4 回	授業内容: ヴェーダの思想Ⅰ: 世界創造神話など ヴェーダ概要と種類、部門などについて解説 事前学修: 配付資料を読んでおく(読む箇所は前の回にて指定する) 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、配付資料を読み返し、内容を整理・確認する
5 回	授業内容: ヴェーダの思想Ⅱ: ウパニシャッド インド思想の極致を味わい、インド思想の根底を整理確認する 事前学修: 配付資料を読んでおく(読む箇所は前の回にて指定する) 事後学修: 配付資料を読み返し、ウパニシャッドにおける重要思想について整理・確認し説明できるようにする
6 回	授業内容: ヴェーダの思想講読とヴェーダの神々 ヴェーダの基本情報を踏まえた上で、実際に読んで理解を深める。ヴェーダの神々についても把握する 事前学修: 配付資料を読んでおく(読む箇所は前の回にて指定する) 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、配付資料を読み返し、内容を整理・確認する
7 回	授業内容: ヒンドゥー教の神々 インド神話の世界を学び、諸思想に登場する神々について理解を深める 事前学修: 配付資料を読んでおく(読む箇所は前の回にて指定する) 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、配付資料を読み返し、内容を整理・確認する
8 回	授業内容: 叙事詩に見られる思想 『ラーマヤナ』『ラーマヤナ』に見られる思想とインドにおける位置付けについて解説する 事前学修: 配付資料を読んでおく(読む箇所は前の回にて指定する) 事後学修: 配付資料を読み返し、『ラーマヤナ』における思想的ポイントについて整理・確認し説明できるようにする
9 回	授業内容: 叙事詩に見られる思想 『マハーバーラタ』『マハーバーラタ』に見られる思想とインドにおける位置付けについて解説する 事前学修: 配付資料を読んでおく(読む箇所は前の回にて指定する) 事後学修: 配付資料を読み返し、『マハーバーラタ』における思想的ポイントについて整理・確認し説明できるようにする
10 回	授業内容: 叙事詩における思想講読 神話や叙事詩の基本情報を踏まえた上で、実際に読んで理解を深める。インド神話や叙事詩において思想的に重要な部分について講読する 事前学修: 配付資料を読んでおく(読む箇所は前の回にて指定する) 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、配付資料を読み返し、内容を整理・確認する
11 回	授業内容: 正統バラモン教系統の哲学Ⅰ: サーンキヤ学派とヨーガ学派 インドの二元論とヨーガについて解説する 事前学修: 配付資料を読んでおく(読む箇所は前の回にて指定する) 事後学修: 配付資料を読み返し、サンキヤ学派とヨーガ学派について整理・確認し説明できるようにする
12 回	授業内容: 正統バラモン教系統の哲学Ⅱ: ニヤーヤ学派とヴァイシェーシカ学派 インドの自然哲学と論理学について解説する 事前学修: 配付資料を読んでおく(読む箇所は前の回にて指定する) 事後学修: 配付資料を読み返し、ニヤーヤ学派とヴァイシェーシカ学派について整理・確認し説明できるようにする
13 回	授業内容: 正統バラモン教系統の哲学Ⅲ: ミーマンサー学派とヴェーダーンタ学派 インド哲学において最も正統派である一元論について解説する 事前学修: 配付資料を読んでおく(読む箇所は前の回にて指定する) 事後学修: 配付資料を読み返し、ミーマンサー学派とヴェーダーンタ学派について整理・確認し説明できるようにする
14 回	授業内容: 正統バラモン教系統の哲学講読 インド哲学の基本情報を踏まえた上で、実際に読んで理解を深める。これまで見てきた諸思想と仏教思想との相違点などにも触れる 事前学修: 配付資料を読んでおく(読む箇所は前の回にて指定する) 事後学修: 配付資料を読み返し、これまで学んだインド諸思想について整理・確認し説明できるようにする
15 回	授業内容: 試験および解説 事前学修: 14 回までに学んだ内容を全体的に整理し、不明な言葉や項目などは調べる 事後学修: 授業内容を確認・理解し、定着させる

◆**教科書** 〔当日資料配布〕 使用しない◆**参考書** 講義内において指示◆**成績評価基準** 試験(50%)、授業への取り組み(発表、小レポートなど 50%) 発表や小レポートなど授業参加の姿勢と最終回に実施する試験による総合評価。一定以上の出席回数(回数は公表しない)がなければ評価はつけない。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※ 授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔西洋史概説 / 西洋史概論〕

馬淵 彰

- ◆**授業概要** 授業では、主にルネサンスの時代から啓蒙思想の時代に至るまでの人物や事件、思想、文化などを取り上げて、ヨーロッパにおける政治、経済、社会、宗教、文化などにわたる幅広い歴史像を持つ力を養う。
- ◆**学修到達目標** 「三時代区分問題」と関連づけながら、ルネサンスや宗教改革、自然科学革命に関わる代表的な人物や事件、思想、文化などを理解した上で、過去の世界を理解しようとする際にどのような問題が生じるか意識し、政治、社会、宗教、文化などにわたる幅広いヨーロッパの歴史像を自ら探究する力を養う。
- ◆**授業方法** 講義が中心だが、授業中に受講者に発言や小レポートの提出を求めることもある。具体的なイメージを受講者が持てるよう、ビデオや絵画、写真などを用いる予定である。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 事前学修 事後学修	ガイダンス シラバスに目を通し、講義の概要などを理解しておく。 授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
2 回	授業内容 事前学修 事後学修	西洋史とは何か 西洋史とは何か、また西洋史が東洋史など他の歴史とどうして区別されているのか考えておく。 西洋史という歴史研究・教育領域が日本の特殊な歴史背景と関係していること、また今日では西洋史という枠組みが揺らいでいることをまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
3 回	授業内容 事前学修 事後学修	西洋史における時代区分法 アジアの「直線史観」、西洋での継承と変容 循環史観と直線史観とは何か、また代表的なものにそれぞれどのようなものがあるか調べておく。 ヨーロッパ世界に直線史観がどのような経緯で入ったのか、またどのような変容を遂げたのかまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
4 回	授業内容 事前学修 事後学修	三時代区分再考：ルネサンス① 古代ギリシアの世界 古代ギリシアとはどのような世界であったか、政治・社会・文化などの特徴を調べる。 「ルネサンス」期の人々が古代ギリシアの世界にあこがれた理由をまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
5 回	授業内容 事前学修 事後学修	三時代区分再考：ルネサンス② 古代ローマの世界 古代ローマとはどのような世界であったか、政治・社会・文化などの特徴を調べる。 「ルネサンス」期の人々が古代ローマの世界にあこがれた理由をまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
6 回	授業内容 事前学修 事後学修	三時代区分再考：ルネサンス③ 古代世界の再生か、「個」の発見か、前進か？ 「ルネサンス」とは何か、また「ルネサンス」との呼称がついている歴史用語にどのようなものがあるか調べてくる。 「ルネサンス」の前後で「中世」と「近代」とに時代を区分することの問題点をまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
7 回	授業内容 事前学修 事後学修	三時代区分再考：宗教改革① ルターの福音解釈と近代個人主義？ 「宗教改革」とは、何をどのように改革しようと試みたものなのか調べておく。 ルターの説く福音信仰による個人の救いとはどういうことかをまとめる。
8 回	授業内容 事前学修 事後学修	三時代区分再考：宗教改革② 「中世」的世界観を引きずるルター？ 己（個人）の魂の革新をえるために格闘し続けてきた隠修士・修道士に、古代ローマ時代から宗教改革期までの時期にどのようなグループ（修道院・修道会）があり、どのように発展してきたか調べておく。 「宗教改革」の前後で「中世」と「近代」とに時代を区分することの問題点をまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
9 回	授業内容 事前学修 事後学修	三時代区分再考：自然科学革命① キリスト教自然観の落とし子「近代科学」 なぜギリシアでは地動説がキリスト教からの反発を受けず、ニュートンたちによって近代自然科学が確立したのか調べておく。 ある種のキリスト教的自然観が近代科学の誕生に影響を与えていたことをまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
10 回	授業内容 事前学修 事後学修	三時代区分再考：自然科学革命② 法・政治・経済・社会の科学ブームとその反動 近代自然科学の成果と啓蒙思想の発展がどのように関係しているか、また 17 世紀から 19 世紀において科学的・合理的世界とは異なる（あるいは反する）思想にどのようなものがあったか調べてくる。 「科学革命」の前後で「中世」と「近代」とに時代を区分することの問題点をまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
11 回	授業内容 事前学修 事後学修	三時代区分の問題点のまとめ 人類の歴史を三区分する賢さ、または愚かさ？ 「ルネサンス」「宗教改革」「科学革命」のどれによってでも、「中世」と「近代」を区分する際に、過去の実態を見誤らせられることを再確認しておく。 なぜ三時代区分が歴史研究において深刻な問題を生じさせるのかまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
12 回	授業内容 事前学修 事後学修	西洋における歴史研究の発展（近代歴史学の誕生） 科学的歴史研究へのチャレンジ 近代歴史学がどのように誕生したのか、近代歴史学はそれまでの歴史研究とどのような点で異なるか調べておく。 近代歴史学の手法が、これまで人類が持っていた歴史研究手法とは異なり、特殊であることをまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
13 回	授業内容 事前学修 事後学修	歴史研究の方法 ある種の「タイムマシーン」プロジェクト 現代人を過去の世界へと送り込めるか？ 今日の歴史研究者が、近代歴史学に基づいて実際にどのように研究作業を遂行しているか調べる。 近代歴史学的手法による歴史研究の長所と短所をまとめる。授業の中で触れられた歴史用語や人物などで分からなかったものを、図書館などで調べノートにまとめる。
14 回	授業内容 事前学修 事後学修	授業理解度確認作業 前回までに学んだことの要点を理解できるまで復習する。 授業理解度確認作業をおこなってみて、どこが理解できていなかったのかまとめる。
15 回	授業内容 事前学修 事後学修	全体のまとめ これまでの授業の中で理解しきれない箇所をまとめてくる。 授業内に紹介された参考文献や配布された資料を読み、西洋史の知識や歴史学的手法を自分の研究に応用する能力を確かなものにしていく。

- ◆**教科書** 使用しない。必要に応じてプリントを配布する。
- ◆**参考書** **通材**『西洋史概論 K32400 / 西洋史概説 Q30400』通信教育教材（教材コード 000147）2,550 円（送料込）
次の本は、講義を受ける前の良いウォーミングアップとなる。
丸沼『世界史とヨーロッパ：ヘロドトスからウォーラー・ステインまで』岡崎勝世著 講談社現代新書
864 円（税込）（送料 215 円）
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組み、授業中の課題、試験などを総合評価する。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔東洋史特講Ⅰ〕

須江 隆

◆**授業概要** 中国史上の宋代は、「唐宋変革」という概念からも明らかのように、一大変革期であったことは間違いない。しかしこれまでは唐代との比較に重点が置かれ、300年余り続いた宋の時代性の把握が不十分であった。この授業では、宋の時代性の推移を解明するために、「唐宋時代の祠廟制の研究」というテーマを設定し、地域住民の身近な信仰の場であった「祠廟」に着目して、そこをめぐる王朝権力と地域社会の連関構造の特質を検討していく。

◆**学修到達目標** ①「唐宋変革」論と「両宋画期」論に関する理解を深め、中国史上の宋代の時代性を説明できる。②祠廟を核とした嘗ての中国地域社会の実態を学び、関連する現代社会が直面する諸問題を抽出し、歴史的視点から見つめ直すことができる。③宋代社会史研究を具体的事例とした中国史研究の視点や手法を学び、卒業論文の作成に向けた一連の研究方法を自ら参考にすることができる。

◆**授業方法** 授業の大半を講義形式で進めていくが、グループディスカッション（課題解決型学習）や振り返り学習の時間を授業内に設けて能動的な学修を促したり、質疑応答の時間を設けて双方型の授業になるように配慮したりする。

◆**授業計画 (各90分)**

1回	授業内容	授業ガイダンス、修士論文作成談Ⅰ・Ⅱ（自己紹介を兼ねて）、受講に当たってのアンケート 授業の進め方や到達目標などを説明する。また授業担当者の自己紹介を兼ねて、修士論文作成談に言及する。加えて、受講に当たってのアンケートを各受講者に記入してもらう。
	事前学修	シラバスを熟読して、授業概要や学修到達目標などを理解しておくこと。
	事後学修	配付資料を参照しながら授業の内容をノートに整理し、特に授業の到達目標への理解を深めておくこと。
2回	授業内容	中国史上の宋代—「唐宋変革論」と「両宋画期論」— 中国史上の宋代が、これまでどのような時代と捉えられてきたのかを、「唐宋変革論」や「両宋画期論」などに即して解説する。
	事前学修	「唐宋変革論」と「両宋画期論」の理解に向けて、テキスト3～22頁の解説の部分を読んでおくこと。
	事後学修	配付資料を参照しながら授業の内容をノートに整理し、「唐宋変革論」と「両宋画期論」についての概要や課題を説明できるようにしておくこと。
3回	授業内容	祠廟と中国社会 祠廟とは何か、中国社会における祠廟の役割、授業担当者が祠廟に着目した研究の視点について解説する。
	事前学修	配付資料の該当箇所に一通り目を通して頂くこと。
	事後学修	配付資料を参照しながら授業の内容をノートに整理し、
4回	授業内容	祠廟の記録 祠廟の分析に要する史料についての解説をおこない、それら史料の研究への活用の可能性にも言及する。
	事前学修	祠廟の記録でもある地方志や碑記に関する理解に向けて、テキスト23～48頁の第一章日本における宋代地域史料研究の現状と課題を読んでおくこと。
	事後学修	配付資料を参照しながら授業の内容をノートに整理し、祠廟の記録とそれら史料の研究への活用の可能性についてまとめておくこと。
5回	授業内容	唐宋期における祠廟の賜額・賜号問題Ⅰ 唐及び五代の諸王朝の祠廟への介入のあり方を理解してもらうために、当該時代の賜額・賜号問題に即して解説する。
	事前学修	配付資料の該当箇所に一通り目を通して頂くこと。
	事後学修	配付資料を参照しながら授業の内容をノートに整理し直し、授業内容の理解に努めること。
6回	授業内容	唐宋期における祠廟の賜額・賜号問題Ⅱ 宋朝の祠廟への介入のあり方を理解してもらうために、北宋から南宋時代の賜額・賜号制度の推移に即して解説する。
	事前学修	配付資料の該当箇所に一通り目を通して頂くこと。
	事後学修	配付資料を参照しながら授業の内容をノートに整理し直し、授業内容の理解に努めること。
7回	授業内容	熙寧七年の詔—神宗朝期の賜額・賜号— 宋朝の賜額・賜号の最初の画期となった神宗朝期に着目し、賜額・賜号件数の増加をもたらした熙寧七年の詔が出された背景を検討する。
	事前学修	配付資料の該当箇所に一通り目を通して頂くこと。
	事後学修	配付資料を参照しながら授業の内容をノートに整理し直し、授業内容の理解に努めること。
8回	授業内容	宣和二年の衝撃—北宋末期以降の賜額・賜号— 宋朝の賜額・賜号の第二の画期となった徽宗朝期に着目し、賜額・賜号件数の激増現象をもたらした要因を探る。
	事前学修	配付資料の該当箇所に一通り目を通して頂くこと。
	事後学修	配付資料を参照しながら授業の内容をノートに整理し直し、授業内容の理解に努めること。
9回	授業内容	祠廟と地域社会Ⅰ—尤氏一族と徐偃王廟— 祠廟を核とした宋代地域社会の実態を具体的に理解してもらうために、尤氏一族と徐偃王廟を事例として解説する。
	事前学修	配付資料の該当箇所に一通り目を通して頂くこと。
	事後学修	配付資料を参照しながら授業の内容をノートに整理し直し、授業内容の理解に努めること。
10回	授業内容	祠廟と地域社会Ⅱ—方氏一族と祥応廟— 祠廟を核とした宋代地域社会の実態を具体的に理解してもらうために、方氏一族と祥応廟を事例として解説する。
	事前学修	配付資料の該当箇所に一通り目を通して頂くこと。
	事後学修	配付資料を参照しながら授業の内容をノートに整理し直し、授業内容の理解に努めること。
11回	授業内容	祠廟と地域社会Ⅲ—華氏一族と嘉応廟— 祠廟を核とした宋代地域社会の実態を具体的に理解してもらうために、華氏一族と嘉応廟を事例として解説する。
	事前学修	配付資料の該当箇所に一通り目を通して頂くこと。
	事後学修	配付資料を参照しながら授業の内容をノートに整理し直し、授業内容の理解に努めること。
12回	授業内容	祠廟と地域社会Ⅳ—朱氏一族と薦福祠— 祠廟を核とした宋代地域社会の実態を具体的に理解してもらうために、朱氏一族と薦福祠を事例として解説する。
	事前学修	配付資料の該当箇所に一通り目を通して頂くこと。
	事後学修	配付資料を参照しながら授業の内容をノートに整理し直し、授業内容の理解に努めること。
13回	授業内容	グループディスカッション（課題解決型学習）—歴史的視点から現実を見つめ直す— 授業内容に関連する事前に提示した課題を、複数のグループ内で討論した後、その成果を発表し合い、グループ間でも討論をおこなう。
	事前学修	事前に示した課題についての自身の考えをまとめ、グループディスカッションに備えておくこと。
	事後学修	他グループの成果やグループディスカッションでの自身の実績を振り返っておくこと。
14回	授業内容	結論、授業全体の総括と質疑応答、授業の振り返り学習 「唐宋時代の祠廟制の研究」の結論に言及し、授業全体を総括する。また授業内容に関する質疑応答をおこなう。加えて各受講者に全授業への取り組みの姿勢を振り返ってもらい、自己評価シートへの記入をしてもらう。
	事前学修	配付資料の該当箇所に一通り目を通して頂くこと。またこれまでの全ての授業内容を振り返り、質問事項等を抽出しておくこと。
	事後学修	配付資料を参照しながら授業の内容をノートに整理し直し、自身の本授業への取り組みの姿勢や学び得たことを再認識しておくこと。
15回	授業内容	筆記試験及び解説
	事前学修	全ての配付資料や授業ノートを参照して、筆記試験への備えをしておくこと。
	事後学修	筆記試験の解説などを参考にして、この授業で得られた学修成果と到達目標への達成度を自身で再確認すること。

◆**教科書** 教材『東洋史特講Ⅰ Q31000』通信教育教材（教材コード000507）2,300円（送料込）
〔当日資料配布〕当日プリント配布

◆**参考書** 『東洋史特講Ⅰ Q31000』（通信教育教材）の関連部分の本文や註にあげられた研究文献を参照すること。

◆**成績評価基準** 筆記試験（70%）、グループディスカッション（20%）、自己評価シート（10%）により総合的に評価する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔財政学総論 / 財政学〕

金子 光

- ◆**授業概要** 本講義では、ミクロ経済学・マクロ経済学の理論を概説した上で、現在の日本が直面している様々な政策課題に焦点をあてながら、国や地方公共団体などの公共部門が果たす役割を理論面・制度面・政策面から考察を行います。
- ◆**学修到達目標** 財政の役割とその仕組みに関して理解を深めるとともに、政策論に必要な分析手法を重点的に修得することで、予算・税制・公債・社会保障・地方財政などの問題を分析し、政策形成に資する能力を身に付けることを目標とします。
- ◆**授業方法** アベノミクス、東京五輪（2020）の政策課題、消費税の軽減税率、法人税の税率引き下げ、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）などはすべて財政学の研究対象です。
講義では、ミクロ経済学・マクロ経済学の理論を概説した上で、財政学が現実の政策課題へ如何に応用されるか考察します。政治・経済が重要な局面を迎えるなか、様々な政策課題を皆さんと共に考えていきたいと思っております。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容	【財政学の潮流】 財政学の分析視角について説明した上で、「市場の失敗」と政府の役割、財政学と政策形成の関連について明らかにする。
	事前学修	「財政学の対象」について調べる
	事後学修	レポートに取り組むこと
2 回	授業内容	【財政の 3 機能】 「財政の 3 機能」の今日的課題として、「アベノミクス」、「格差社会と財政の役割」、「東日本大震災と財政の役割」を取り上げる。
	事前学修	「「財政の 3 機能」の今日的課題」について調べる
	事後学修	レポートに取り組むこと
3 回	授業内容	【財政民主主義】 憲法の条文を踏まえて、財政民主主義と「政府の失敗」、会計検査院の役割などについて明らかにする。
	事前学修	「憲法における財政の条文」について調べる
	事後学修	レポートに取り組むこと
4 回	授業内容	【予算論】 予算原則、予算の循環について説明した上で、増分主義的予算編成の課題を明らかにする。
	事前学修	「予算の循環における決算の位置づけ」について調べる
	事後学修	レポートに取り組むこと
5 回	授業内容	【財政の持続可能性】 プライマリー・バランス論、ドーマーモデル、「利子率と成長率」論争など、財政規律に関する議論を検討する。
	事前学修	「プライマリー・バランスに関する議論」について調べる
	事後学修	レポートに取り組むこと
6 回	授業内容	【政策評価】 政策評価に関する理論を概観し、PPBS の意義と問題点について検討する。
	事前学修	「費用便益分析」について調べる
	事後学修	レポートに取り組むこと
7 回	授業内容	【租税の理論】 租税の意義と原則、租税の転嫁と帰着、従価税と従量税などについて取り上げる。
	事前学修	「租税の意義と原則」について調べる
	事後学修	レポートに取り組むこと
8 回	授業内容	【消費税】 一般売上税の特徴、付加価値税のメカニズムについて説明した上で、先進国の付加価値税について検討する。
	事前学修	「消費税増税をめぐる議論」について調べる
	事後学修	レポートに取り組むこと
9 回	授業内容	【社会保障】 社会保障の体系、社会保障の財源問題について説明した上で、マクロ経済スライドに関する議論を検討する。
	事前学修	「社会保障と税の一体改革」について調べる
	事後学修	レポートに取り組むこと
10 回	授業内容	【グローバル化と財政】 開放経済下の財政政策、マクロ経済政策の国際協調などについて取り上げる。
	事前学修	「Sustainable Development Goals (SDGs) と ODA 改革」について調べる
	事後学修	レポートに取り組むこと
11 回	授業内容	【地方財政】 オーツの分権化定理、ティビー仮説（足による投票）、ヤードスティック競争について概観した上で、平成の大合併について検討する。
	事前学修	「市町村合併の課題」について調べる
	事後学修	レポートに取り組むこと
12 回	授業内容	【財政のマクロ経済分析】 財政のマクロ経済分析について、ケインズモデル、ハロッド=ドーマーの成長理論、ソロー・モデルを取り上げる。
	事前学修	「ソロー・モデル」について調べる
	事後学修	レポートに取り組むこと
13 回	授業内容	【公共選択論】 コンドルセのパラドックス、官僚制と予算最大化、コモンプール問題などを取り上げる。
	事前学修	「コンドルセのパラドックス」について調べる
	事後学修	レポートに取り組むこと
14 回	授業内容	【日本の財政の未来】 日本の財政の課題として、「東京五輪（2020）と政策課題」、「財政再建と行政改革」、「小千化時代の政策形成」について、検討する。
	事前学修	「東京五輪（2020）に関連する予算」について調べる
	事後学修	レポートに取り組むこと
15 回	授業内容	【試験及び解説】
	事前学修	授業の内容の総括をすること
	事後学修	日本の財政の将来像を明確にすること

- ◆**教科書** 必要に応じてレジュメ等を配布します。
- ◆**参考書** 講義の際、各回の内容に基づいて、適宜紹介します。
- ◆**成績評価基準** 政策課題を分析し政策を形成する能力について、テスト（50%）、レポート（30%）、小テスト（20%）の様々な観点から総合的に評価します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔情報概論〕 オープン受講：不可

戸塚 英臣

◆授業概要 下記の項目について実習を進めていきます。

- 1) 文書作成
- 2) 表計算ソフトと統計処理
- 3) プレゼンテーション技術の基礎
- 4) HTMLとJavaScript

◆学修到達目標 表計算ソフト、文書作成ソフト、プレゼンテーションソフト、HTMLとJavaScriptの利用を通じて、コンピュータによる問題解決の方法の基礎を学び、情報技術の基本的知識の習得を目指します。

◆授業方法 基本的にはコンピュータを用いて実習しますが、表計算ソフトの必要な知識については必要に応じて講義形式で学習します。

◆履修条件 文書作成ソフト (Word)、表計算ソフト (Excel)、プレゼンテーションソフト (PowerPoint)、テキストエディタ (メモ帳) の基本的な使い方を理解していること、さらに、メールで課題提出を行うので Nu-Mail が使えることが望ましい。2019年度昼間スクーリング (前期) 「情報概論」との積み重ね不可。

◆授業計画 (各 90 分)

1回	授業内容：文書作成ソフトの基本操作の習得を目指します。 事前学修：文書作成ソフトの基本 (文字入力、ファイル操作等) について確認しておくこと。 事後学修：配布資料に基づき文書作成ソフトの基本操作について理解すること。
2回	授業内容：表計算ソフトの基本操作の習得を目指します。 事前学修：表計算ソフトの基本 (相対参照・絶対参照) について確認しておくこと。 事後学修：配布資料に基づき相対参照・絶対参照について理解すること。
3回	授業内容：表計算ソフトによるグラフの作成方法の習得を目指します。 事前学修：縦棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフの作成について理解しておくこと。 事後学修：配布資料に基づき各グラフの作成方法、ならびに用法について理解すること。
4回	授業内容：表計算ソフトと文章作成ソフトによるレポート作成方法の習得を目指します。 事前学修：文書作成ソフトの基本 (文字入力やファイル操作) について再確認しておくこと。 事後学修：配布資料に基づきレポート作成方法について理解すること。
5回	授業内容：表計算ソフトの基本関数の習得を目指します。 事前学修：表計算ソフトの基本関数 (平均、合計、順位等) について確認しておくこと。 事後学修：配布資料に基づき度数分布表・ヒストグラムの作成方法を理解すること。
6回	授業内容：表計算ソフトによる度数分布表・ヒストグラムの作成の習得を目指します。 事前学修：度数分布表とヒストグラムについて理解しておくこと。 事後学修：配布資料に基づき度数分布表・ヒストグラムの作成方法を理解すること。
7回	授業内容：表計算ソフトを用いて定義式による基本統計量 (平均、合計、分散、標準偏差) の計算方法の習得を目指します。 事前学修：平均、合計、分散、標準偏差などの基本統計量の定義式を理解しておくこと。 事後学修：配布資料に基づき基本統計量の計算方法を理解すること。
8回	授業内容：表計算ソフトを用いて散布図の作成方法、ならびに定義式に基づいた相関係数の計算方法を習得します。 事前学修：散布図や相関係数について確認しておくこと。 事後学修：配布資料に基づき散布図の作成方法と定義式に基づいた相関係数の計算方法について理解すること。
9回	授業内容：プレゼンテーションソフトの基本的操作の習得を目指します。 事前学修：プレゼンテーションソフトの基本について確認しておくこと。 事後学修：配布資料に基づきプレゼンテーションソフトの基本操作について理解すること。
10回	授業内容：プレゼンテーションソフトを用いた発表資料の作成を行います。 事前学修：発表する時事問題を特定し、参考文献や論文、または Web を調べてくること。 事後学修：プレゼンテーションソフトを用いた発表資料の作成について理解すること。
11回	授業内容：Web ページの基本概念である HTML の基本文法の習得を目指します。 事前学修：HTML の基本文法について確認しておくこと。 事後学修：配布資料に基づき HTML の基本文法について理解すること。
12回	授業内容：HTML に動的な処理を加えることができるスクリプト言語である JavaScript の基本文法の習得を目指します。 事前学修：JavaScript の基本文法について理解しておくこと。 事後学修：配布資料に基づき JavaScript の基本文法を理解すること。
13回	授業内容：12回で習得した JavaScript を用いた Web ページの作成法の理解を目指します。 事前学修：HTML と JavaScript の基本文法について再確認しておくこと。 事後学修：配布資料に基づき HTML と JavaScript による動的 Web ページの作成法について理解すること。
14回	授業内容：理解度の確認 事前学修：1回～13回までに配布した資料を再確認しておくこと。 事後学修：配布した資料に基づき1回～13回までの授業内容について理解しておくこと。
15回	授業内容：確認試験、および解説 事前学修：前回の授業内で指摘した基本的な事柄について確認しておくこと。 事後学修：授業内容を確認・理解し、表計算ソフトの活用法について再確認すること。

◆教科書 [当日資料配布] 授業当日に資料を配布します。

◆参考書 コンピュータに関してはインターネット上の情報が最新の場合が多いです。従って、そちらを参考にしてください。ただし、インターネット上の情報は必ずしも正しいとは限りません。ご自身で情報の真偽を判断し活用するようにして下さい。

◆成績評価基準 授業参加度 (30%)、平常課題 (50%)、授業内試験 (20%) により総合的に評価します。
※演習形式の授業なので、毎回出席することを前提に評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔貿易論〕

岡田 直己

◆**授業概要** 「貿易」は国・地域を越境して行われる主に企業間の経済活動であり、モノの輸出入が想起されたり、国家・企業間の政治経済の問題（国益の対立と交渉）として捉えられることが多い。しかし、「貿易」の対象はモノだけではなく、すべての貿易活動は「法」（条約や関連国内法）に基づいて行われており、利害対立をめぐる交渉・解決も「法」に基づいて行われる。本科目は、そのような「法」の基礎的領域の理論と実際を扱うものである。

◆**学修到達目標** 米中通商交渉など貿易分野にとどまらない国家間の経済対立、TPP11 や日欧 EPA（経済連携協定）の発効、世界各国による貿易制限措置の相次ぐ発動と WTO（世界貿易機関）に対する紛争解決の要請等、貿易・国際投資の動向の変容は目まぐるしい。本科目では、貿易・国際投資のリーガル・スキームに関する基礎的理解を習得するとともに、貿易・国際投資をめぐる諸課題や貿易紛争に関する基礎知識を身につける。

◆**授業方法** 教科書の内容を中心に貿易・投資のルールについて解説するとともに、貿易・投資関係の各種資料を参照しながら、貿易・投資のルールが現実の貿易・投資にどのような影響を与えているのかを説明する。また、「現実」をルールに則して考えることが重要であるため、受講者との Q & A やディスカッションを可能な限り行う。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：総論（データでみる貿易・投資の動向） 事前学修：教科書または参考書 1 の当該部分を一読しておくこと。 事後学修：教科書等を再読し、関連条約の該当箇所を参照しつつ授業内容を整理し理解しておくこと。
2 回	授業内容：グローバル貿易体制の成立と展開・全体像（GATT/WTO 体制の歴史的展開） 事前学修：教科書または参考書 1 の当該部分を一読しておくこと。 事後学修：教科書等を再読し、関連条約の該当箇所を参照しつつ授業内容を整理し理解しておくこと。
3 回	授業内容：基本原則（最恵国待遇、内国民待遇、数量制限禁止など。ケーススタディを含む） 事前学修：教科書または参考書 1 の当該部分を一読しておくこと。 事後学修：教科書等を再読し、関連条約の該当箇所を参照しつつ授業内容を整理し理解しておくこと。
4 回	授業内容：一般的例外と非貿易的関心事項（「貿易と環境」問題を中心に） 事前学修：教科書または参考書 1 の当該部分を一読しておくこと。 事後学修：教科書等を再読し、関連条約の該当箇所を参照しつつ授業内容を整理し理解しておくこと。
5 回	授業内容：1 日目のまとめ（時間が許せば、受講者によるディスカッション） 事前学修：第 1 回～第 4 回授業内容の復習 事後学修：1 日目（第 1 回～第 5 回授業）に関する不明点があれば、担当者に質問すること。
6 回	授業内容：衛生植物検疫措置／貿易の技術的障害（ケーススタディを含む） 事前学修：教科書または参考書 1 の当該部分を一読しておくこと。 事後学修：教科書等を再読し、関連条約の該当箇所を参照しつつ授業内容を整理し理解しておくこと。
7 回	授業内容：貿易救済措置①（セーフガード。ケーススタディを含む） 事前学修：教科書または参考書 1 の当該部分を一読しておくこと。 事後学修：教科書等を再読し、関連条約の該当箇所を参照しつつ授業内容を整理し理解しておくこと。
8 回	授業内容：貿易救済措置②（アンチダンピング。ケーススタディを含む） 事前学修：教科書または参考書 1 の当該部分を一読しておくこと。 事後学修：教科書等を再読し、関連条約の該当箇所を参照しつつ授業内容を整理し理解しておくこと。
9 回	授業内容：貿易救済措置③（補助金・相殺措置。ケーススタディを含む） 事前学修：教科書または参考書 1 の当該部分を一読しておくこと。 事後学修：教科書等を再読し、関連条約の該当箇所を参照しつつ授業内容を整理し理解しておくこと。
10 回	授業内容：2 日目のまとめ（時間が許せば、受講者によるディスカッション） 事前学修：第 6 回～第 9 回授業内容の復習 事後学修：2 日目（第 6 回～第 10 回授業）に関する不明点があれば、担当者に質問すること。
11 回	授業内容：農産品貿易・サービス貿易の自由化（ケーススタディを含む） 事前学修：教科書または参考書 1 の当該部分を一読しておくこと。 事後学修：教科書等を再読し、関連条約の該当箇所を参照しつつ授業内容を整理し理解しておくこと。
12 回	授業内容：地域経済統合・原産地規則（FTA/EPA、関税同盟。ケーススタディを含む） 事前学修：教科書または参考書 1 の当該部分を一読しておくこと。 事後学修：教科書等を再読し、関連条約の該当箇所を参照しつつ授業内容を整理し理解しておくこと。
13 回	授業内容：貿易・投資紛争処理制度（WTO 紛争解決手続を中心に。ケーススタディを含む） 事前学修：教科書または参考書 1 の当該部分を一読しておくこと。 事後学修：教科書等を再読し、関連条約の該当箇所を参照しつつ授業内容を整理し理解しておくこと。
14 回	授業内容：3 日目のまとめ（時間が許せば、受講者によるディスカッション） 事前学修：第 11 回～第 13 回授業内容の復習 事後学修：試験（第 15 回授業）の準備
15 回	授業内容：総括（30 分）、試験（60 分） 事前学修：3 日間の授業内容の復習 事後学修：試験内容に関する特段の不明点があれば、担当者に質問することが望ましい。

◆**教科書** 関沼『WTO・FTA・CPTPP（仮）』飯野文著 弘文堂（2019 年 7 月発売予定） 価格未定（送料未定）
* 7 月 10 日までに発売されない場合、参考書 1 を教科書とする。

◆**参考書** 参考書 1：関沼『WTO・FTA 法入門』小林友彦ほか著 法律文化社 2,592 円（税込）（送料 300 円）
参考書 2：関沼『講義 国際経済法』柳赫秀ほか編 東信堂 4,698 円（税込）（送料 500 円）
参考書 3：関沼『ケースブック WTO 法』松下満雄ほか編 有斐閣 3,024 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 授業の出席を前提として、試験の評点（+ディスカッション実施の場合はその参加度）で評価を行います。試験のみとなれば 100 点満点、上記の合算方式となれば試験 80%+ディスカッション 20%を予定します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔交通論〕

針谷 莊司

- ◆**授業概要** 近年の経済の変革は、非常に速いスピードで進んでいます。この状況を踏まえ、この時代に対応できる基礎力を養成していきます。時代の流れを捉えられる感覚を得られる講義をすすめます。
- ◆**学修到達目標** 交通サービスをマーケティングの視点から考察する基礎知識を得る。
日常生活の中での諸現象を交通・マーケティングの立場から考察できる知識を養成する。
- ◆**授業方法** この講義は、単に聴講するだけでなく、自分自身の考えを積極的に表現できる能力を習得することを目標とする。日常の起こっている現象を常に経済的思考をもとに分析し、授業では積極的に意見を発表する講義をめざす。
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：交通とは何か 事前学修：テキストを一読し、内容について把握しておく 事後学修：授業の関連事項について資料収集・理解をすすめる
2回	授業内容：交通サービスのとらえかたについて 事前学修：受講生はスクーリングまでの間に起こった交通に関するトピックスについてまとめておく 事後学修：内容の理解に努める
3回	授業内容：交通に関するトピックス（意見発表） 事前学修：スクーリングまでの間に起こった交通に関するトピックスについてまとめておく 事後学修：内容の理解に努める
4回	授業内容：交通サービスと観光① 事前学修：この項目に関する資料を広く収集する 事後学修：内容の理解に努める
5回	授業内容：交通サービスと観光② 事前学修：この項目に関する資料を広く収集する 事後学修：内容の理解に努める
6回	授業内容：交通の発達と地域のありかた 事前学修：自分の育った地域・生活をしている地域についての特性を考える 事後学修：他の受講生の発表を踏まえ、自分の意見をまとめる
7回	授業内容：都市交通について 事前学修：この項目に関する資料を広く収集する 事後学修：内容の理解に努める
8回	授業内容：規制緩和の流れと交通サービス① 事前学修：この項目に関する資料を広く収集する 事後学修：内容の理解に努める
9回	授業内容：規制緩和の流れと交通サービス② 事前学修：この項目に関する資料を広く収集する 事後学修：内容の理解に努める
10回	授業内容：規制緩和の影響 事前学修：この項目に関する資料を広く収集する 事後学修：内容の理解に努める
11回	授業内容：交通サービスとマーケティング 事前学修：この項目に関する資料を広く収集する 事後学修：内容の理解に努める
12回	授業内容：自分と交通サービスとのかかわり方（意見発表）① 事前学修：この項目に関する資料をまとめておく 事後学修：内容の理解に努める
13回	授業内容：自分と交通サービスとのかかわり方（意見発表）② 事前学修：この項目に関する資料をまとめておく 事後学修：内容の理解に努める
14回	授業内容：交通サービスの変化と私たちの生活① 事前学修：この項目に関する資料を広く収集する 事後学修：内容の理解に努める
15回	授業内容：交通サービスの変化と私たちの生活② 事前学修：この項目に関する資料を広く収集する 事後学修：この講座の理解をすすめ、疑問点などはメールで講師に質問する

◆**教科書** 教材『交通論 S30700』通信教育教材（教材コード000184）2,250円（送料込）

◆**参考書** 講義時、指示致します

◆**成績評価基準** 毎回、授業時課題を課します。意見発表 体験発表 試験を総合的に評価します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔発達と学習〕

野村 康治

◆**授業概要** 乳幼児期から青年期にかけての運動・認知能力の発達、社会性の獲得や人格形成の問題を取り上げる。また、基本的な学習理論を紹介し、様々な学習方法、教授法を概説する。

◆**学修到達目標** 教育に関わる発達と学習の諸問題に関する知識を獲得し、それらを有機的に関連づけて説明できるようになる。また、そうした知識を幼児、児童、生徒の学習を支援するために活用できるようになる。

◆**授業方法** 配布するプリントに沿って主に講義形式で行う。ただし、積極的な傾聴態度を促し、講義内容の理解を促すため、授業時に意見を求める場合もある。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 事前学修 事後学修	発達の概念の変遷。発達の基本原理を解説する。 テキストの序章～第 1 章第 2 節を読んでおくこと。 授業内容をノートに整理し、テキストの関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。
2 回	授業内容 事前学修 事後学修	ピアジェ、ヴィゴツキー、ブルナーなどによる認知発達理論を解説する。 プリントやテキスト（1 章など）にあるピアジェやヴィゴツキーに関する記述を読んでおくこと。 授業内容をノートに整理し、テキストの関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。
3 回	授業内容 事前学修 事後学修	人格発達に関する発達理論をエリクソンの理論を中心に解説する。 プリントやテキスト（6 章など）にあるエリクソンに関する記述を読んでおくこと。 授業内容をノートに整理し、テキストの関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。
4 回	授業内容 事前学修 事後学修	乳児期における心身の発達（知覚能力の発達、言語の獲得、愛着行動など）を解説する。 プリントやテキストの乳児期（2 章など）に関する記述を読んでおくこと。 授業内容をノートに整理し、テキストの関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。
5 回	授業内容 事前学修 事後学修	幼児期における心身の発達（身体能力、認知能力、情緒の発達など）を解説する。 プリントやテキストの幼児期（3 章など）に関する記述を読んでおくこと。 授業内容をノートに整理し、テキストの関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。
6 回	授業内容 事前学修 事後学修	児童期における心身の発達（個性化と社会化の問題）について解説する。 プリントやテキストの児童期（4 章など）に関する記述を読んでおくこと。 授業内容をノートに整理し、テキストの関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。
7 回	授業内容 事前学修 事後学修	青年期における心身の発達（特に青年期の心理的葛藤）について解説する。また生涯発達の観点に立ち、青年期以降の発達についても概説する。 プリントやテキストの青年期（5 章など）に関する記述を読んでおくこと。 授業内容をノートに整理し、テキストの関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。
8 回	授業内容 事前学修 事後学修	学習の定義を示したうえで、連合理論に基づく学習理論（古典的条件づけや道具手条件づけなど）を解説する。 プリントやテキストの学習概念、条件づけ（7 章など）に関する記述を読んでおくこと。 授業内容をノートに整理し、テキストの関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。
9 回	授業内容 事前学修 事後学修	洞察説やサイン・ゲシュタルト説など認知理論に基づく学習理論を解説する。また社会的学習についても説明する。 プリントやテキストの認知学習（8 章など）に関する記述を読んでおくこと。 授業内容をノートに整理し、テキストの関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。
10 回	授業内容 事前学修 事後学修	学習方法の分類と学習時に生じる諸現、また学習成果の規定因について解説する。 プリントの学習方法の分類と学習の規定因に関する記述（8、9 章など）を読んでおくこと。 授業内容をノートに整理し、テキストの関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。
11 回	授業内容 事前学修 事後学修	学習と動機づけとの関連、特に成長欲求に基づく動機づけとの関連について解説する。 プリントやテキストの動機づけ（10 章など）に関する記述を読んでおくこと。 授業内容をノートに整理し、テキストの関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。
12 回	授業内容 事前学修 事後学修	集団づくりと集団学習について解説する。 プリントやテキストの協同学習（12 章など）に関する記述を読んでおくこと。 授業内容をノートに整理し、テキストの関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。
13 回	授業内容 事前学修 事後学修	様々な教授法（学習者主体の教授法と教授者主導の教授法について）解説する。 プリントやテキストの学習指導法（12 章など）に関する記述を読んでおくこと。 授業内容をノートに整理し、テキストの関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。
14 回	授業内容 事前学修 事後学修	学習の評価方法と評価時に生じる諸問題について解説する。 プリントの教育評価に関する記述や障害に関する記載（13、14 章）を読んでおくこと。 授業内容をノートに整理し、テキストの関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。
15 回	授業内容 事前学修 事後学修	理解度の確認、試験 プリントやノートを読み返し、授業内容の確認しておくこと。 授業内容をの確認と知識の整理を行うこと。

◆**教科書** 通材『発達と学習 T23100』通信教育教材（教材コード 000593）2,850 円（送料込）
〈この教材は市販の『教職ベースック 発達・学習の心理学』柏崎秀子編著（北樹出版）と同一です。〉
〔当日資料配布〕当日プリント配布

◆**参考書** 〔丸沼〕『発達と学習（現代の認知心理学 5）』市川伸一編著 北大路書房 3,888 円（税込）（送料 350 円）

◆**成績評価基準** 成績は主に試験の得点をもとに授業への積極的関与（発言）を加味して総合的に評価する。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔特別活動・総合的な学習の時間の指導法〕

今泉 朝雄

◆**授業概要** 学校教育における重要な教育活動である特別活動、総合的な学習の時間について、教育課程上の位置づけや教育的意義、計画や指導の方法等について学習する。また、それら基礎的知識をもとに、主体的・対話的で深い学びを基盤とした集団活動、探究的な学習に関わる計画、指導の実践的な資質・能力を身につける。

◆**学習到達目標** ①特別活動・総合的な学習の時間の教育的意義、教育課程における位置付け、各領域の特徴、学習指導要領における目標、内容について理解する。②それぞれの実践に関する年間指導計画、各活動の指導計画、指導方法、評価方法について実践的な視点から検討することが出来る。

◆**授業方法** 講義だけではなく、特別活動、総合的な学習に関する様々な活動、指導方法や実践に関する学生同士の討議・分析などを採り入れ、実践的な学習を行う。

◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: イントロダクション ～本時で何を学ぶのか～ 特別活動と総合的な学習の定義を理解する。そしてそれらの指導のために学ぶべき内容について把握する。 事前学修: 自身の特別活動と総合的な学習の経験について振り返る。 事後学修: それぞれの言葉の定義を自身なりに明確にする。
2回	授業内容: 特別活動の教育的意義と学習指導要領上の位置付け 教科との比較において特別活動の特徴と教育的意義を考察し、学習指導要領における特別活動の目標、内容を踏まえてその理解を深める。 事前学修: 自身の特別活動の経験が教育的にどのような意味を持っていたのか、振り返る。 事後学修: 自身の経験が学習指導要領の目標とどのように関わっていたかを自身なりに整理する。
3回	授業内容: 教育課程における特別活動、総合的な学習の位置付け 特別活動、総合的な学習が各教科や道徳教育など他の教育課程領域とどのように関連を持つべきなのかを理解する。 事前学修: 学校の教育課程にはどのような領域があったかを振り返る。 事後学修: 特別活動、総合的な学習が他の領域とどのような関係にあるのかを整理する。
4回	授業内容: 集団活動と特別活動 特別活動の基盤となる学校に於ける集団活動のあり方についてその基礎理論を学ぶ。 事前学修: 学校に於ける集団活動について、よかった点、悪かった点を振り返る。 事後学修: 本時の理論を踏まえながら、よりよい集団のあり方について自身なりに検討する。
5回	授業内容: 学級活動の計画と指導 特別活動の一領域である学級活動・ホームルーム活動の目標、内容を理解し、それらをどのように計画を立て指導をしたらよいかについて事例的に学ぶ。 事前学修: 学級活動でどのような取り組みを行ったかについて振り返る。 事後学修: 学級活動の目標を整理し、よりよい学級活動を実施するために必要なことについて過去の経験から検討する。
6回	授業内容: 話し合い活動の実践 学級活動のみならず学校教育のあらゆる場面で必要となる合意形成や話し合い活動の指導方法について実践的な取組を行う。 事前学修: 小学校～大学、社会人経験も踏まえ、どのような話し合いがよいのかを考えておく。 事後学修: 本時の実践におけるのよかった点、悪かった点を整理する。
7回	授業内容: 話し合い活動の指導理論 前回の取組を踏まえながら、話し合いの基本的な考え方とその指導方法について多面的に理解する。 事前学修: 前回の内容について、指導する側から振り返る。 事後学修: 本時の指導方法を実践の場でどのように生かすかを検討する。
8回	授業内容: 学校行事の計画と指導 学校行事の目標、内容を理解し、諸行事の取組みが学校教育のあり方をより豊かにするためには、どのように教育課程に位置付け、どのように計画を立て、指導を実践していけばよいかについて事例に基づきながら学ぶ。 事前学修: 運動会とはどのような意義があったかについて、経験から考察する。 事後学修: 運動会を事例に、学校教育をどのように変えていくことが可能なのかについて検討する。
9回	授業内容: 生徒会活動の計画と指導 生徒会活動の目標、内容を理解し、生徒の自発的自治的な取組みを高めるために必要な指導を検討する。 事前学修: 自身の生徒会活動への取組みがどのようなものだったか、振り返る。 事後学修: 目標を踏まえながら、生徒の自発性と教師の指導性との関係について検討する。
10回	授業内容: 総合的な学習の意義について 学習指導要領における目標、内容の位置付けを理解し、それが現代の教育政策においてどのような意義をもたらさせているのかについて理解する。 事前学修: どのような総合的な学習の経験があるかについて振り返る。 事後学修: 目標に照らしながら、自身のこれまでの経験がその目標に当たっていたのかを分析する。
11回	授業内容: 総合的な学習で育てるべき資質について 前回の内容を踏まえながら、総合的な学習において具体的にどのような資質を育てるべきなのか、教科を越えて必要となる資質・能力とは何かについて学ぶ。 事前学修: 総合的な学習の経験において得られた知識・資質・能力について振り返る。 事後学修: 総合的な学習において求められる資質・能力について現代の教育政策との関連で整理する。
12回	授業内容: 総合的な学習の年間指導計画 総合的な学習の年間指導計画がどのような考え方のもとに構成されるのか、それがどのように行われるか、事例的に理解する。 事前学修: ネット上から年間指導計画例を一つ探し、その全体のあり方を把握しておく。 事後学修: 他の領域との関係も踏まえた年間指導計画の意義を自身なりに整理する。
13回	授業内容: 主体的・対話的で深い学びを実現する単元計画 主体的・対話的で深い学びの意味を理解し、それを実現するための探究的な課題設定について、事例的に検討する。 事前学修: 「主体的・対話的で深い学び」の意味について事前に学習しておく。 事後学修: 主体的・対話的で深い学びを実現する探究のプロセスを整理する。
14回	授業内容: 家庭や地域住民、関係機関との連携のあり方/両領域の評価の方法について 特別活動、総合的な学習の取組をより豊にするために様々な関係諸機関等との連携をどのように取るべきかについて事例的に検討する。また、教育目標を実現するために必要な評価の考え方についてその基本を学ぶ。 事前学修: 「チーム学校」という考え方について基礎概念を調べる。 事後学修: 連携のあり方を整理し、どのように具体化すべきかについて検討する。
15回	授業内容: 授業全体のまとめ、自身の学習の振り返り これまでの内容を総合的に振り返りながら、特別活動、総合的な学習の計画、指導実践のポイントを整理し、これからの新しい時代における両者の方向性について検討する。 事前学修: これまでの学習内容について総復習しておく。 事後学修: これからの特別活動、総合的な学習がどうあるべきかを自身なりに検討する。

◆**教科書** 教材『特別活動・総合的な学習の理論と指導法 T23400』通信教育教材(教材コード 000591) 2,950円(送料込) この教材は市販の『特別活動・総合的な学習の理論と指導法』関川悦雄・今泉朝雄編(弘文堂)と同一です。

◆**参考書** 丸沼『中学校学習指導要領解説 特別活動編(平成29年告示)』文部科学省 2017年 276円(税込)(送料300円)
丸沼『中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編(平成29年告示)』文部科学省 2018年 225円(税込)(送料300円)

◆**成績評価基準** 授業時の課題の取り組み、授業への参加状況(30%)、課題レポート(70%)

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国語科教育法Ⅲ〕

野澤 拓夫

- ◆**授業概要** 新たな時代が要請する国語学力「思考力・判断力・表現力」の養成・伸長を目指した教育とはどのようなものなのかについて考え、理解する。また、その実現に必要な「よい授業」とそれを旨とした「よい指導案」づくりを、グループごとに検討する。具体的には、高校1年生対象の『国語総合』の教材により現代文・古文・漢文の各分野で、どのようにしたら学習者を主体とした授業を展開できるかをグループごとに検討し、模擬授業を通して確認・評価していく。
- ◆**学修到達目標** 具体的な教材に即した模擬授業を経験することにより、「よい指導案」を作成するための基本的な知識を得ることができる。さらに意識的・計画的に作成していく意味を体得することができる。また、グループごとに話し合い、検討し合っ意欲的な模擬授業を展開することを通して、確かな授業力を身に付ける準備ができる。模擬授業後に全体で展開例について議論・評価していく過程を通して、全体でもその成果物を共有することができる。
- ◆**授業方法** 初日の理論を基に2日目からグループごとに「よい指導案」づくりと「よい授業」の実現を目指し、協働してさまざまな検討を加え、意欲的な模擬授業を実践する。その具体的な展開例から全体で議論を重ね、指導案・指導法の適否についての考察・評価を行う。教育実践例（DVD）を紹介し、これらについても分析・検討を行う。模擬授業・教育実践例とも個人に評価シートの提出を求める。
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容 ガイダンスとして授業の進め方を説明する。グループを編成し、本シラバスに提示した現代文・古文・漢文の3分野8教材を用いた模擬授業の分担（グループ・発表者）を決める。よい模擬授業の実現に向けて、「授業評価」の観点を参照しつつ、その条件について討議する。
	事前学修 本シラバスに提示した現代文・古文・漢文の3分野8教材を読んでおくこと。また「よい授業」の条件には何が挙げられるかを考えておくこと。「評価」の意味について考えておくこと。
	事後学修 討議内容を整理するとともに、授業内容と配布資料とを確認し、理解を深めておくこと。
2回	授業内容 教育実践例「言語活動を活かす読むことの授業」をDVDで紹介し、解説する。また、指導技術に関するプリントを配布し、「思考力・判断力・表現力を伸ばすための授業」とはどのような授業なのかについて検討する。
	事前学修 「思考力・判断力・表現力」を伸ばすためには、何が必要かについて考えておくこと。
	事後学修 授業内容と配布資料を確認し、国語科教育に求められている事項を理解しておくこと。
3回	授業内容 『国語科教育法Ⅲ』のテキストにより、国語科教育に求められる「国語学力」の内実について解説する。それをふまえて「学習指導要領解説」を参照しつつ、新しい時代に求められる学習者を主体とした国語科教育の内容、国語科教員が果たすべき役割について解説する。
	事前学修 テキストと「学習指導要領解説」に目を通しておくこと。
	事後学修 授業内容を確認・整理して、国語科教員が果たすべき役割について理解を深めておくこと。
4回	授業内容 新しい時代が要請する能力と「2020年度以降の大学入試改革」との関わりについて解説し、併せてそれを受けてさまざまな教育機関がどのような動きをみせているかについても解説する。
	事前学修 「2020年度以降の大学入試改革」について調べておくこと。
	事後学修 授業内容を確認・整理して、国語科教育を取り巻く環境についての理解を深めておくこと。
5回	授業内容 現代文・古文・漢文の授業それぞれの模擬授業展開上の留意点と、指導案作成上の注意点を説明し、質疑に答える。その後、グループごとに担当する教材の性格を分析し、模擬授業の準備に入る。配布された指導案のフォームを用いて、「よい指導案」づくりに取り組む。
	事前学修 指導案を作成するうえでの留意点をインターネット等であらかじめ調べておくこと。
	事後学修 授業内容をふまえ、各グループごとに担当する模擬授業の指導方法・授業形態について検討、決定しておくこと。
6回	授業内容 現代文 評論「彼らがそれを学ばなければならぬ理由」（65～69頁）の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修 当該教材を読んで、適切と思われる指導方法を考え、授業プランを立てておくこと。 ※当該教材による模擬授業を担当するグループについては、発表者を中心に協働して教材のジャンルや性格に適した指導方法・授業形態を選択し、意欲的な授業プランを立てること。それに基づいた学習指導案を作成し、必要に応じてワークシートなども用意すること。
	事後学修 授業内容を確認し、評論教材の扱い方について整理し、教育現場で求められる指導力について把握しておくこと。 ※模擬授業を担当したグループについては、授業内容をふまえて、ふりかえりを行い、その成果を共有しておくこと。
7回	授業内容 古文 伊勢物語「さらぬ別れ」（290頁）の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修 当該教材を読んで、古文：物語という性格をふまえた授業プランを立てておくこと。
	事後学修 授業内容を確認し、古文教材の扱い方について整理し、自らの授業プランを評価しておくこと。
8回	授業内容 漢文 唐詩「登鸛鶴樓・春望」（320～325頁）の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修 当該教材を読んで、漢詩という教材の性格をふまえた授業プランを立てておくこと。
	事後学修 授業内容を確認し、漢文教材の扱い方について整理し、自らの授業プランを評価しておくこと。
9回	授業内容 現代文 随筆「赤毛のアン」との出会い」（16～21頁）の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修 当該教材を読んで、随筆という性格をふまえた授業プランを立てておくこと。
	事後学修 授業内容を確認し、随筆教材の扱い方について整理し、自らの授業プランを評価しておくこと。
10回	授業内容 古文 俳諧紀行文・奥の細道「平泉」（279～280頁）の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修 当該教材を読んで、前の古文で学んだ留意点を活かした授業プランを立てておくこと。
	事後学修 授業内容を確認し、事前学習で立てた授業プランが当を得ていたかを評価しておくこと。
11回	授業内容 古文 随筆・徒然草「仁和寺にある法師」（246～247頁）の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修 当該教材を読んで、古文：随筆という性格をふまえた授業プランを立てておくこと。
	事後学修 授業内容を確認し、事前学習で立てた授業プランが当を得ていたかを評価しておくこと。
12回	授業内容 漢文 史伝「管鮑の交わり」（312～313頁）の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修 当該教材を読んで、前の漢文で学んだ留意点を活かした授業プランを立てておくこと。
	事後学修 授業内容を確認し、事前学習で立てた授業プランが当を得ていたかを評価しておくこと。
13回	授業内容 現代文 小説「デューク」（29～39頁）の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修 当該教材を読んで、小説という教材の性格をふまえた授業プランを立てておくこと。
	事後学修 授業内容を確認し、小説の扱い方について整理し、自らの授業プランを評価しておくこと。
14回	授業内容 教育実践例として、アクティブ・ラーニングを用いた2例（作文と漢字）の「学習ゲーム」をDVDで紹介し、その教育的な意図と効果について分析・検討する。
	事前学修 アクティブ・ラーニングについて調べておくこと。
	事後学修 授業内容を確認し、アクティブ・ラーニングをどのようにしたら、授業に取り入れられるのかについて考えておくこと。
15回	授業内容 試験
	事前学修 14回の授業のふりかえりを行い、試験のための準備をしておくこと。
	事後学修 試験問題（課題）について、正しい理解と適切な解答ができたかを確認すること。

- ◆**教科書** 教材『国語科教育法Ⅲ T30100』通信教育教材（教材コード 000545）3,550円（送料込）
この教材は市販の『中学校 高等学校 国語科指導法』益地恵一編著（建帛社）と同一です。
丸沼『新編 国語総合』高校1年教科書 教育出版 17 教出 国総 343 910円（税込）（送料 300円）
丸沼『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編』文部科学省 312円（税込）（送料 350円）
『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 国語編』文部科学省
国語・古語・漢和の各辞書
丸沼『国語科 重要用語事典』高木まさき他 明治図書 3,196円（税込）（送料 350円）
- ◆**参考書** 特になし。
- ◆**成績評価基準** 授業参画度（30%）、提出物（30%）、試験（40%）により総合的に評価します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔文化人類学〕

服部 慶巨

◆**授業概要** 人間についての総合的研究—それが文化人類学である。そしてまた、文化人類学は各地の様々な文化や社会などを比較する学問でもある。グローバル化が進む現代において「自分とは異なる現象」を「比較」することは、すなわち自分自身を知ることにもつながる。そのような視点を養いつつ、総合的に「人間生活」や「日本社会」を理解する基礎を3日間で身に付けられるのが、本講義の目標である。

◆**学修到達目標** 「大学で学んだことは、日常で役に立たない」という声を聞くが、本当にそうだろうか？ そんな疑問と対峙しつつ、学問が自分の日常生活や人生の現在・過去・未来と密接に関わっていることを理解し、文化人類学的な視点で自分自身をとらえる技術を身につける。

◆**授業方法** 教科書・プリント・板書（パワーポイント）などを用い、受講生自身も陥りがちな問題点を指摘・解説する。必要に応じて視聴覚資料（CD、DVD、マンガ、その他）を多用する。また、学生に質問を投げかけ、対話とシミュレーションを展開しながら講義を進めていく。よって、講義を単に「聴く」のではなく、講義に「参加」する意欲が好成績につながるものと思われる。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：初日① 本スクーリングに関するガイダンス 講義の方針、展開方法、目標などを確認する。 事前学修：シラバスを読んで、講義の目的・目標を理解する。 事後学修：テキストの「もくじ」に目を通しておく。
2回	授業内容：初日② 「文化」(culture)の構造と機能① 人間にとって重要な環境としての「社会」「文化」について理解する。 事前学修：前回の講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
3回	授業内容：初日③ 「文化」(culture)の構造と機能② 「culture」の本来の意味を理解する。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
4回	授業内容：初日④ 「文化」(culture)の構造と機能③ 「文化」について機能主義的に考える。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
5回	授業内容：初日⑤ 「文化」(culture)の構造と機能④ 「文化」と「パーソナリティ」の関係性について理解する。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
6回	授業内容：2日目① 日本(人)的パーソナリティ① 日本(人)的発達の根源としての「仏教的思考」について。 事前学修：初日の講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
7回	授業内容：2日目② 日本(人)的パーソナリティ② 日本人の人間関係に見られる「慈悲」「共悲」について。 事前学修：前回の講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
8回	授業内容：2日目③ 日本(人)的パーソナリティ③ 「甘え」に見られるネオテニー性について。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
9回	授業内容：2日目④ 日本(人)的パーソナリティ④ 日本社会と「恥の文化」について(その1) 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
10回	授業内容：2日目⑤ 日本(人)的パーソナリティ⑤ 日本社会と「恥の文化」について(その2) 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
11回	授業内容：最終日① 日本の社会と文化① 担当者が外務省から委託され韓国人学生に講演した内容をもとに、日本人の特徴を解説する。 事前学修：2日間の講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
12回	授業内容：最終日② 日本の社会と文化② 前回の内容から、さらに日本社会の特徴を考える。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
13回	授業内容：最終日③ 日本の社会と文化③ 3日間の講義内容全体から、日本人および日本社会を再考する。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認(実践)する。
14回	授業内容：最終日④ 理解度確認(まとめ) 事前学修：これまでの講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。 事後学修：試験に向けて、これまでの講義内容を復習しておく。
15回	授業内容：最終日⑤ 試験および解説 事前学修：これまでの講義内容について、テキストやノート、資料を読んで、自身でまとめておく。 事後学修：今後の受講、または日常生活改善に向けて、講義内容を再確認する。

◆**教科書** 教材『文化人類学 Y21300』通信教育教材(教材コード000424)3,350円(送料込)
〈この教材は市販の『文化人類学のレッスン〔新版〕』梅屋潔・シンジルト共編(学陽書房)と同一です。〉
[五選]『補強版ストレス・スパイラル』服部慶巨 人間の科学社 1,296円(税込)(送料300円)

◆**参考書** [当日資料配布] 当日プリント配布

◆**成績評価基準** 終講試験(70%)、授業参加度(20%)、レポート類(10%)で評価する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

第3期

日 程		授 業 時 間	備 考
8月13日	火	各日 9:00～17:30 <最終日は試験も含む>	※時間内に昼休みを設けます。
8月14日	水		
8月15日	木		

※以下の第3期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単 開 位 数 講	充 当 科 目		制 限・注 意			受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
C0C1	歴 史 学	下川 雅弘	2	B11100	歴 史 学		1年		
C0C2	英 語 E	天野 暁子	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 II		2年		
				C10300	英 語 III				
				C10400	英 語 IV				
C0C3	英 語 F	アレックス ブラウン	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 II		2年		
				C10300	英 語 III				
				C10400	英 語 IV				
C0C4	英 語 基 礎	上島 美佳	1	C10600	英 語 基 礎		1年	・ 英文学専攻は申込不可。	
C0C5	商 法 III	大久保 拓也	2	K30700	商 法 III		2年		
C0C6	民 事 訴 訟 法	吉田 純平	2	K31600	民 事 訴 訟 法		2年		
C0C7	西 洋 政 治 史	渡邊 容一郎	2	L30500	西 洋 政 治 史		2年		
C0C8	国 文 法	阿久澤 忠	2	M30300	国 文 法		2年		
C0C9	国文学講義Ⅵ (現代)	尾形 大	2	M31000	国文学講義Ⅵ (現代)		2年		
C0CA	英 作 文 I	ダレ ハーディ	2	N30400	英 作 文 I	×	2年	・ スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	×
C0CB	英 文 法	山岡 洋	2	N20200	英 文 法		条件 参照	・ 英文学専攻のみ1学年以上 申込可。 ・ 上記以外は2学年以上申 込可。	
C0CC	英米文学特殊講義	新井 英夫	2	N31200	英米文学特殊講義		2年		
C0CD	英 語 学 演 習 B	田中 竹史	1	N401S0	英 語 学 演 習 I	×	3年	・ 英文学専攻のみ申込可。 ・ I～IIIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				N402S0	英 語 学 演 習 II				
				N403S0	英 語 学 演 習 III				

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座 コード	開講講座名	担当講師名	単開 位数講	充 当 科 目		制 限 ・ 注 意			受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
C0CE	英米文学演習 C	堤 裕美子	1	N404S0	英米文学演習 I	×	3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				N405S0	英米文学演習 II				
				N406S0	英米文学演習 III				
C0CF	日本思想史 I	島田 健太郎	2	P30800	日本思想史 I				
C0CG	哲学演習 B	長谷川 武雄	1	P401S0	哲学演習 I	×	3年		
				P402S0	哲学演習 II				
C0CH	日本史概説/ 日本史概論	鍋本 由徳	2	Q30200	日本史概説				
				K32200	日本史概論				
C0CJ	西洋史演習 I・II	藤井 信行	1	Q405S0	西洋史演習 I	×	3年	・哲学専攻のみ申込可。 ・I, IIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				Q406S0	西洋史演習 II				
C0CK	国際経済論	田宮 憲	2	R31100	国際経済論		2年		
C0CL	地方財政論	金子 林太郎	2	R31600	地方財政論		2年		×
C0CM	労働経済論	村上 英吾	2	R32200	労働経済論		2年		
C0CN	保険総論	岡田 太	2	S30600	保険総論		2年		
C0CP	経営学	海保 英孝	2	S20200	経営学		条件 参照	・経済学部のみ1学年以上申 込可。 ・法・文理・商学部は2学年 以上申込可。	×
C0CQ	教育制度論	北野 秋男	2	T20200	教育制度論	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
C0CR	社会科・ 公民科教育法 II	壽福 隆人	2	T20800	社会科・ 公民科教育法 II	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。 ・法学部・哲学専攻・史学専 攻・経済学部・商学部のみ 申込可。	
C0CS	英語科教育法 III	吉良 文孝	2	T30300	英語科教育法 III	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。 ・英文学専攻のみ申込可。	
	博物館実習 I	折茂 克哉	1	Y301S0	博物館実習 I	×	3年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。 ・申込みは巻末の『令和元年 度「博物館実習 I」受講届』 を使用してください。	×

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔歴史学〕

下川 雅弘

◆**授業概要** 日本の中世において、内乱が繰り返されたのはなぜか。戦争の中世を、人々はどのように生き抜いたのか。日本の近世において、泰平の世はいかにして創出されたのか。近世の平和を、人々はどのように享受したのか。日本が、再び戦争の近代へと向かったのはどうしてか。中世から近代初頭に至る日本史を、戦争と平和をキーワードに読み直す。

◆**学修到達目標** 1. 歴史学とはどういう学問かについて理解する。
2. 歴史を学ぶことの現代的な意義を発見する。

◆**授業方法** 配布するプリントや、パワーポイントにより適宜紹介する写真・地図・図表などを用いて、講義形式により授業を展開する。テーマごとに講義内容に関する質問を行い、プリントの所定欄に記入してもらった回答を紹介することを通じて、受講者の基礎知識や理解度を確認しながら講義を進めていく。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容	はじめに①－戦争の中世と平和な近世－ i 授業の全体テーマ・目標, ii 中世・近世の改元理由
	事前学修	配布プリントの該当部分をよく読んでおくこと。
	事後学修	配布プリント該当部分の質問・単元のまとめ等の課題を整理し、授業内容を確認すること。
2 回	授業内容	はじめに②－戦争の中世と平和な近世－ iii なぜ中世に戦争が繰り返されたのか
	事前学修	配布プリントの該当部分をよく読んでおくこと。
	事後学修	配布プリント該当部分の質問・単元のまとめ等の課題を整理し、授業内容を確認すること。
3 回	授業内容	中世の飢饉と戦争①－足軽とはどういう人々か－ i 応仁の乱と土一揆の不思議な関係, ii 飢饉と土一揆
	事前学修	配布プリントの該当部分をよく読んでおくこと。
	事後学修	配布プリント該当部分の質問・単元のまとめ等の課題を整理し、授業内容を確認すること。
4 回	授業内容	中世の飢饉と戦争②－足軽とはどういう人々か－ iii 応仁の乱と足軽
	事前学修	配布プリントの該当部分をよく読んでおくこと。
	事後学修	配布プリント該当部分の質問・単元のまとめ等の課題を整理し、授業内容を確認すること。
5 回	授業内容	戦国の世を生きた民衆の実情①－戦乱の世を生きる民衆の知恵－ i 民衆の戦争対応, ii 大量出土銭をめぐる解釈
	事前学修	配布プリントの該当部分をよく読んでおくこと。
	事後学修	配布プリント該当部分の質問・単元のまとめ等の課題を整理し、授業内容を確認すること。
6 回	授業内容	戦国の世を生きた民衆の実情②－戦乱の世を生きる民衆の知恵－ iii 預物という習俗
	事前学修	配布プリントの該当部分をよく読んでおくこと。
	事後学修	配布プリント該当部分の質問・単元のまとめ等の課題を整理し、授業内容を確認すること。
7 回	授業内容	平和をもたらした天下人たち①－秀吉の惣無事から徳川の平和へ－ i 秀吉の関白任官, ii 秀吉の天下統一と惣無事
	事前学修	配布プリントの該当部分をよく読んでおくこと。
	事後学修	配布プリント該当部分の質問・単元のまとめ等の課題を整理し、授業内容を確認すること。
8 回	授業内容	平和をもたらした天下人たち②－秀吉の惣無事から徳川の平和へ－ iii 家康の国家戦略, iv バクス・トクガワナ
	事前学修	配布プリントの該当部分をよく読んでおくこと。
	事後学修	配布プリント該当部分の質問・単元のまとめ等の課題を整理し、授業内容を確認すること。
9 回	授業内容	平和を享受する近世の庶民と文化①－ I 平和な社会と庶民の衣食住－ i 衣
	事前学修	配布プリントの該当部分をよく読んでおくこと。
	事後学修	配布プリント該当部分の質問・単元のまとめ等の課題を整理し、授業内容を確認すること。
10 回	授業内容	平和を享受する近世の庶民と文化②－ I 平和な社会と庶民の衣食住－ ii 住
	事前学修	配布プリントの該当部分をよく読んでおくこと。
	事後学修	配布プリント該当部分の質問・単元のまとめ等の課題を整理し、授業内容を確認すること。
11 回	授業内容	平和を享受する近世の庶民と文化③－ I 平和な社会と庶民の衣食住－ iii 食
	事前学修	配布プリントの該当部分をよく読んでおくこと。
	事後学修	配布プリント該当部分の質問・単元のまとめ等の課題を整理し、授業内容を確認すること。
12 回	授業内容	平和を享受する近世の庶民と文化④－ II 江戸の文化と儒学・蘭学－ i 黄檗禅の伝来と日本文化, ii 儒学の需要とその日本的展開
	事前学修	配布プリントの該当部分をよく読んでおくこと。
	事後学修	配布プリント該当部分の質問・単元のまとめ等の課題を整理し、授業内容を確認すること。
13 回	授業内容	平和を享受する近世の庶民と文化⑤－ II 江戸の文化と儒学・蘭学－ iii 医学・本草学と蘭学の役割, iv 江戸時代の日本と西洋画
	事前学修	配布プリントの該当部分をよく読んでおくこと。
	事後学修	配布プリント該当部分の質問・単元のまとめ等の課題を整理し、授業内容を確認すること。
14 回	授業内容	おわりに①－近代化の波と日本－ i 再び戦争の道へ, ii 百姓を戦争に動員する論理
	事前学修	配布プリントの該当部分をよく読んでおくこと。
	事後学修	配布プリント該当部分の質問・単元のまとめ等の課題を整理し、授業内容を確認すること。
15 回	授業内容	おわりに②－近代化の波と日本－ iii 歴史を学ぶ意義とは, iv 試験と解説
	事前学修	配布プリントの該当部分をよく読んでおくこと。
	事後学修	配布プリント該当部分の質問・単元のまとめ等の課題を整理し、授業内容を確認すること。

◆**教科書** [当日資料配布] プリント配布

◆**参考書** 指定しない（授業時に適宜紹介）

◆**成績評価基準** 試験（70%）、平常点（30%）。平常点は配布プリントの課題への回答状況などにより評価する。毎回出席することを前提とする。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語E〕

天野 暁子

◆**授業概要** キャンパスライフを舞台にしたストーリーから、アルバイトや期末試験など、日々の生活の中で、密着した英語の表現を学びます。「音読」を取り入れて、基礎的な語彙や文法の確認をし、受信とともに発信する英語力を高めることを目指します。2019年度東京スクーリングで同テキストを使用しますが、学習箇所が異なるため、両方の登録が可能です。

◆**学修到達目標** 「音読」はリスニングやスピーキングにも有効となります。発音できる英単語は聴きとることができるからです。発音の基礎と練習問題の文法項目を復習し、リーディングやライティングの基礎力を定着させて、学習した語彙や表現を用いたスピーキング能力の向上を目標とします。

◆**授業方法** 'Warm Up' は予習を前提とし、文法項目の確認をします。'Let's Listen' の対話を聴き、大意理解問題や空欄補充問題を行い、ロールプレイで対話発表をします。'Let's Read' でのグループワークや、各章毎の小テストも行います。音読発表など積極的に授業参加をしましょう。

◆**授業計画 (各90分)**

1回	授業内容: ガイダンス (進度は受講生の習熟度・要望により変更する場合があります)、発音学習 事前学修: 音声ファイルのダウンロード/ストリーミング、巻末資料を読んでおく。'Warm Up' などの予習 事後学修: 発音練習、単語練習
2回	授業内容: Unit 9 What do you want me to do? - 1 プレゼン準備 (不定詞) 問題点を述べる / 依頼する 事前学修: 単語、リスニング、文法問題の予習 事後学修: 対話文の暗唱、単語練習
3回	授業内容: Unit 9 What do you want me to do? - 2 プレゼン準備 (不定詞)、発表 事前学修: 単語、リスニング、文法問題の予習 事後学修: 対話文の暗唱、単語練習
4回	授業内容: Unit 10 I'm on a tight budget. - 1 生活費 (関係詞) 理由を述べる / 理解を示す 事前学修: 単語、リスニング、文法問題の予習 事後学修: 対話文の暗唱、単語練習、小テスト準備
5回	授業内容: Unit 10 I'm on a tight budget - 2 発表、小テスト 事前学修: 単語、リスニング、文法問題の予習 事後学修: 対話文の暗唱、単語練習
6回	授業内容: Unit 11 What do you think of this program? - 1 語学研修 (形容詞・副詞) 意見を尋ねる / 励ます 事前学修: 単語、リスニング、文法問題の予習 事後学修: 対話文の暗唱、単語練習、小テスト準備
7回	授業内容: Unit 11 What do you think of this program? - 2、発表、小テスト 事前学修: 単語、リスニング、文法問題の予習 事後学修: 対話文の暗唱、単語練習
8回	授業内容: Unit 12 I'm reviewing what I studied. - 1 試験勉強 (接続詞・前置詞) 近況を尋ねる / 確信を示す 事前学修: 単語、リスニング、文法問題の予習 事後学修: 対話文の暗唱、単語練習、小テスト準備
9回	授業内容: Unit 12 I'm reviewing what I studied. - 2 発表、小テスト 事前学修: 単語、リスニング、文法問題の予習 事後学修: 対話文の暗唱、単語練習
10回	授業内容: Unit 13 Final exam week is so stressful! - 1 期末試験 (動名詞) 賛同する / 不安を示す 事前学修: 単語、リスニング、文法問題の予習 事後学修: 対話文の暗唱、単語練習、小テスト準備
11回	授業内容: Unit 13 Final exam week is so stressful! - 2 発表、小テスト 事前学修: 単語、リスニング、文法問題の予習 事後学修: 対話文の暗唱、単語練習
12回	授業内容: Unit 14 Have you been there? - 1 パーティ企画 (現在完了形) 経験を尋ねる / 提案する 事前学修: 単語、リスニング、文法問題の予習 事後学修: 対話文の暗唱、単語練習、最終発表分担保確認
13回	授業内容: Unit 14 Have you been there? - 2、総まとめ① 最終発表練習① 事前学修: 対話文の暗唱、単語練習 事後学修: 最終発表練習
14回	授業内容: 総まとめ② 最終発表練習②、発表 事前学修: 単語、リスニング、文法問題確認、最終発表練習 事後学修: 前回までの学習範囲内の語彙、音声、対話文の内容を確認しておく。
15回	授業内容: 試験及び解説 事前学修: 前回までの学習範囲内の語彙、音声、対話文の内容を確認しておく。 事後学修: 学習した語彙の定着を図るため、繰り返し復習をする。

◆**教科書** 丸沼『Let's Read Aloud & Learn English: On Campus!』角山照彦・Simon Capper 著 成美堂
2,376円 (税込) (送料300円)

◆**参考書** 中型英和辞書を必ず持参して下さい。電子辞書も可。授業中の電子機器等 (スマホ、iPad、PC等) の使用は不可。その他は必要に応じて提示。

◆**成績評価基準** 発話活動・発表 (30%)、小テスト (20%)、試験 (50%) 無遅刻・無欠席を前提として総合的に評価します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談 (連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語 F〕

アレックス ブラウン

- ◆**授業概要** This course is designed for keen beginners and lower intermediate level students who would like to improve their listening and speaking skills by engaging with other students. Students who appreciate interactive, topic-based classes with pair work and group work will enjoy this class.
- ◆**学修到達目標** General Talking Topics provides fluency-based units where students are encouraged to share their interests and opinions. First students will listen to examples of authentic English and will be given advice on pronunciation when applicable.
- ◆**授業方法** Students will be presented with various topics and corresponding questions. Students will answer questions on their own and then conduct interviews where they will ask and record the information as well as providing their original answers to the topic-based questions. Answers to these questions will be provided in authentic English for fluency purposes.
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	Prepare a self-introduction for the first day of class.
	事前学修	Class orientation. Greetings and Introductions. Classroom Language.
	事後学修	Prepare to discuss the language of Time and Numbers.
2 回	授業内容	Prepare to answer questions related to times and dates and counting objects such as money.
	事前学修	Time and Money; Listen and circle the answers that you hear. Answer the questions provided. Interview 2 students and record their answers.
	事後学修	Make 2 original questions regarding Time and Money.
3 回	授業内容	Prepare to discuss the findings of your survey in a small group.
	事前学修	House and Home; Listen to the questions and circle the correct answers. Answer the questions individually, then interview 2 students.
	事後学修	Make 2 original questions regarding House and Home.
4 回	授業内容	Prepare to discuss the findings of your survey in a group.
	事前学修	Music ; Listen to the questions and circle the correct answer. Give your own answers to the music questions. Interview 2 students.
	事後学修	Create two original questions for the topic of music.
5 回	授業内容	Prepare to discuss the findings of your interview.
	事前学修	Song Report. The teacher will give you the guidelines for your song report. Students will listen to various songs, fill in the blanks and study the related vocabulary.
	事後学修	Work on your Song Report.
6 回	授業内容	Prepare translations for your song's vocabulary. Provide 2 copies of lyrics for students.
	事前学修	Song Report Presentations
	事後学修	Answer questions for Books, Magazines and News Sites.
7 回	授業内容	Prepare to discuss your favorite book.
	事前学修	Books, Magazines and News Sites. Listen and circle the best answers. Interview 2 students.
	事後学修	Make 3 original questions about the topic.
8 回	授業内容	Prepare to discuss your findings in a new group.
	事前学修	Sickness and Health. Listen and circle the best answers. Conduct an interview with 2 students and record their answers.
	事後学修	Ask 3 original questions regarding the topic.
9 回	授業内容	Prepare to discuss the previous findings in a new group.
	事前学修	Fears and Scary Stories. Listen and circle the correct answers. Prepare to interview 2 students and record their answers.
	事後学修	Create 3 original questions about Fears and Scary Stories.
10 回	授業内容	Prepare your findings for a group discussion next class.
	事前学修	Dating and Marriage. Listen and circle the correct answers. Using the questions, interview 2 students.
	事後学修	Make 3 questions regarding the above topic.
11 回	授業内容	Prepare your findings for a group discussion.
	事前学修	Crime and Punishment. Listen and circle the best answers. Ask 2 students the same questions and record the answers.
	事後学修	Make 3 questions regarding the topic.
12 回	授業内容	Prepare your findings for a group discussion.
	事前学修	Opinions; Listen and circle the correct answers. Interview 2 students and note their answers.
	事後学修	Make 3 questions regarding Opinions.
13 回	授業内容	Prepare to discuss your findings in a group.
	事前学修	Beliefs; Listen and circle the correct answers. Interview 2 students.
	事後学修	Make 3 original questions for the topic.
14 回	授業内容	Prepare to discuss your findings in a group.
	事前学修	Review all topics and prepare for the final tests.
	事後学修	Study the speaking test check-list provided by the teacher.
15 回	授業内容	Review the practice test answers of the multiple choice test.
	事前学修	Speaking tests will be conducted in groups of 3 people. Multiple choice is an individual test.
	事後学修	Thank you for your hard work throughout the course.

- ◆**教科書** None
- ◆**参考書** None
- ◆**成績評価基準** Students will be graded on class participation, a group speaking test and a multiple choice test.

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語基礎〕

上島 美佳

- ◆**授業概要** 講義形式で英文法の基礎学習を行い、その後 *Beauty and the Beast* のテキストを読み、和訳します。
- ◆**学修到達目標** 英語の文章を読むために、必要且つ基本的な文法等を習得することを目標とします。簡単な英語の文章を訳せるようになることを目指します。
- ◆**授業方法** 各日、1コマ～2コマ程度、講義形式で英文法の基礎学習を行います。その後演習形式でテキストの該当箇所を音読し、和訳してもらいます。シラバスはあくまでも目安です。
受講者の様子を見ながら進行します。辞書とノートは必ず持参してください。
- ◆**履修条件** 2017年夏期スクーリング「英語基礎」との積み重ね不可
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容：ガイダンス、授業の進め方、テストについての説明、文法解説（品詞他） 事前学修：事前プリントに目を通しておいてください。 事後学修：ノート作成
2回	授業内容：文法解説（文型）事前プリント講読、発表 事前学修：講読した範囲の復習 事後学修：ノート作成
3回	授業内容：テキスト講読（pp. 1～2）、発表 事前学修：講読した範囲の復習 事後学修：ノート作成
4回	授業内容：テキスト講読（pp. 2～3）、発表 事前学修：講読した範囲の復習 事後学修：ノート作成
5回	授業内容：テキスト講読（pp. 3～4）、発表 事前学修：講読した範囲の復習 事後学修：ノート作成
6回	授業内容：文法解説（文型） 事前学修：講読した範囲の復習 事後学修：ノート作成
7回	授業内容：文法解説（文型他）テキスト講読（p. 5）、発表 事前学修：講読した範囲の復習 事後学修：ノート作成
8回	授業内容：テキスト講読（pp. 6～7）、発表 事前学修：講読した範囲の復習 事後学修：ノート作成
9回	授業内容：DVD鑑賞『美女と野獣』 事前学修：講読した範囲の復習 事後学修：ノート作成
10回	授業内容：DVD鑑賞『美女と野獣』 事前学修：講読した範囲の復習 事後学修：ノート作成
11回	授業内容：文法解説（助動詞） 事前学修：講読した範囲の復習 事後学修：ノート作成
12回	授業内容：文法解説（不定詞 / 動名詞）テキスト講読（pp. 8～9）、発表 事前学修：講読した範囲の復習 事後学修：ノート作成
13回	授業内容：テキスト講読（pp. 9～10）、発表 質疑応答 事前学修：講読した範囲の復習 事後学修：ノート作成
14回	授業内容：質疑応答 自習 事前学修：講読した範囲の復習 事後学修：ノート作成
15回	授業内容：テスト 事前学修：講読した範囲の復習 事後学修：講読した範囲の復習

- ◆**教科書** **事前資料送付** 事前プリントあり
当日資料配布 当日テキスト配布
- ◆**参考書** 特になし。
- ◆**成績評価基準** 出席・発表・試験により、総合的に評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

〔商法Ⅲ〕

大久保 拓也

◆**授業概要** 個人や企業が売買代金の支払いを行う際、現金で支払う、クレジット・カードで支払う、銀行振込を利用する、手形・小切手を利用する等さまざまな方法が考えられる。支払決済の中心に位置するのが、銀行をはじめとする金融機関である。本講義では、企業取引の決済手段に関する法知識の理解を目指す。古くからある手形・小切手に限らず、電子記録債権等新しい決済方法についても学ぶことで、企業取引の決済手段が理解できることを心がける。

◆**学修到達目標** 個人や企業が契約を結び、代金の支払いをする。支払をすることで代金を支払うという義務（債務）が消滅する。これを支払決済というが、どのような場合に債務が消滅するのか。代金を現金で支払った場合とクレジット・カードや銀行振込による場合とでどう違うのか。企業取引で使われる手形・小切手による決済はどういう仕組みか。このようなことについて詳しく知り、説明することができる能力の修得を目的とする。

◆**授業方法** 講義形式で行う。講義においては、現金、小切手、約束手形・為替手形等従来から利用されている決済手段と、電子マネー、クレジット・カード、電子記録債権等の最新の法制度まで幅広く取り扱うこととする。その理解のためにはきちんと出席することが必要である。また、ただ漫然と授業に出席しているだけでは知識が身につかないと思うので、講義時に小テストを行い理解度をチェックする。そのため、予習・復習も必須となる。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容	講義の進度に合わせて、以下の内容には変更がありうる。 ガイダンス、支払決済法の全体像を理解する。支払手段法の役割について学ぶ
	事前学修	授業で取り扱われた教科書の該当部分を復習する。
2 回	授業内容	電子マネーとデビットカードについて学ぶ。どのような決済の仕組みなのかを解説する。
	事前学修	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
3 回	授業内容	電子マネーとデビットカードについて学ぶ。決済の特徴を理解できるよう、図解をしつつ解説する。
	事前学修	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
4 回	授業内容	銀行振込・資金移動業は「送金」決済の手段として広く使われている。その仕組みを解説する。
	事前学修	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
5 回	授業内容	「小切手」という現金の代用品である証券がある。その仕組みを解説する。
	事前学修	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
6 回	授業内容	「為替手形」という送金決済のための証券がある。その仕組みを解説する。
	事前学修	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
7 回	授業内容	「約束手形」という与信決済のための証券がある。その仕組みの概要を解説する。
	事前学修	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
8 回	授業内容	「約束手形」にはどのような事項を記載すべきか。それについて解説する。
	事前学修	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
9 回	授業内容	「約束手形」の譲渡はどのような方法で行うか。それについて解説する。
	事前学修	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
10 回	授業内容	「約束手形」の支払いはどのような方法で行うか。それについて解説する。
	事前学修	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
11 回	授業内容	「約束手形」の支払拒絶事由、白地手形等の特殊な問題について解説する。
	事前学修	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
12 回	授業内容	電子記録債権を使った決済方法として、与信決済の仕組みがある。その特徴を解説する。
	事前学修	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
13 回	授業内容	電子記録債権の記録方法、譲渡方法、支払方法を解説する。
	事前学修	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
14 回	授業内容	クレジット・カードとはどのような支払い決済の仕組みであるか。その概要を解説する。
	事前学修	日刊新聞紙の経済面を読んでおくこと。教科書を予習する。
15 回	授業内容	有価証券理論の概要を説明する。講義のまとめと復習。「試験」を行う。
	事前学修	教科書全体、配付資料を読み返す。

◆**教科書** 丸沼『支払決済法—手形小切手から電子マネーまで—（第3版）』小塚荘一郎・森田果 商事法務 2018年 2,700円（税込）（送料300円）
六法を持参すること（民法（債権関係）改正が成立したため、最新版（2019（平成31）年版）が望ましい）

◆**参考書** 丸沼『手形小切手判例百選（第7版）』別冊ジュリスト222号 神田秀樹・神作裕之編 有斐閣 2014年 2,376円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** ①授業中に行う「小テスト」（20%）、②授業中にふれた重要な事項から出題する「試験問題」（80%）。毎回出席することを前提として評価する。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔民事訴訟法〕

吉田 純平

◆**授業概要** 民事訴訟法は、私人間の紛争を解決するための訴訟を規律する法律である。本講義では、民事訴訟の基本的な流れやルールを概観しながら、民事訴訟法における基礎的な概念を説明し、同法における重要な論点について学説や判例の解説を行う。

◆**学修到達目標** 民事訴訟法における基礎的な概念の意味を理解し、説明することができるようになる。また、民事訴訟に関する簡単な事例について、関連する法規を適用するとともに、論点を見つけて学説や判例を参考に議論することができるようになる。

◆**授業方法** 基本的には講義形式とする。可能な限り事例に沿って解説する。そのほか、小テストを行うことで授業内容の復習をする。

◆**履修条件** 民法科目を履修していることが望ましい。

◆**授業計画（各90分）**

1回	授業内容：紛争解決と民事手続法 事前学修：教科書第1章を読む。 事後学修：教科書第1章の「知識を確認しよう」の問題を解く。
2回	授業内容：民事訴訟の流れ・民事訴訟の目的・司法権の限界 事前学修：教科書第1章を読む。 事後学修：司法権の限界について、授業で紹介したもの以外の判例を読む。
3回	授業内容：裁判所 事前学修：教科書第2章1裁判所を読む。 事後学修：教科書第2章「知識を確認しよう」の裁判所に関連する問題を解く。
4回	授業内容：当事者 事前学修：教科書第2章2当事者を読む。 事後学修：教科書第2章「知識を確認しよう」の当事者に関連する問題を解く。
5回	授業内容：訴えの利益 事前学修：教科書第3章5訴えの適法性、6訴えの利益を読む。 事後学修：教科書第3章「知識を確認しよう」の訴えの利益に関する問題を解く。
6回	授業内容：訴訟物・二重起訴の禁止 事前学修：教科書第3章の1～4までを読む。 事後学修：教科書第3章の「知識を確認しよう」の二重起訴の禁止に関する問題を解く。
7回	授業内容：口頭弁論・証拠調べ 事前学修：教科書第4章を読む。 事後学修：教科書第4章の「知識を確認しよう」を解く。
8回	授業内容：訴訟の終了と判決の効力 事前学修：教科書第5章1を読む。 事後学修：教科書第5章の「知識を確認しよう」の当事者による訴訟終了に関する問題を解く。
9回	授業内容：既判力 事前学修：教科書第5章2を読む。 事後学修：教科書第5章の「知識を確認しよう」の既判力に関する問題を解く。
10回	授業内容：複数請求訴訟 事前学修：教科書第6章1を読む。 事後学修：教科書第6章の「知識を確認しよう」の複数請求訴訟に関する問題を解く。
11回	授業内容：複数当事者訴訟 事前学修：教科書第6章2を読む。 事後学修：教科書第6章の「知識を確認しよう」の共同訴訟に関する問題を解く。
12回	授業内容：参加 事前学修：教科書第6章2を読む。 事後学修：教科書第6章の「知識を確認しよう」の参加に関する問題を解く。
13回	授業内容：上訴 事前学修：教科書第7章を読む。 事後学修：教科書第7章の「知識を確認しよう」を解く。
14回	授業内容：試験および解説 事前学修：これまでの授業内容を復習する。 事後学修：試験の事例と論点についての教科書を読む。
15回	授業内容：理解度の確認 事前学修：試験の内容を踏まえて、指定された範囲の教科書を読む。 事後学修：これまでの「知識を確認しよう」から一つ選んでもう一度解く。

◆**教科書** 丸岡『(Nextシリーズ) 民事訴訟法〔第2版〕』小田司編 弘文堂 2,376円(税込)(送料300円)

◆**参考書** 適宜紹介する。

◆**成績評価基準** 小テストの点数(60点)と期末試験の点数(40点)を合計して評価する。民事訴訟法の基本概念の確認と事例への民事訴訟法の適用能力を問う問題とする。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔西洋政治史〕

渡邊 容一郎

◆**授業概要** 現在の政治社会や政治現象が何故、どのように生じたのかを説明できることは、21 世紀を生きる社会人に欠かせない教養となっている。そこで、前年度の後篇となる本年度は、第一次世界大戦以降の「現代西洋政治史」（テキストの第 3 章～第 5 章）を対象として講義を行う。国際情勢や政治思想、世界経済の側面も踏まえながら、今日の重要な政治現象について、歴史的観点から理解・説明できるようになることを心掛けたい。

◆**学修到達目標** 1. 20 世紀以降の欧米政治の流れを掴み、現代的な政治経済システムが何故、どのような経緯で形成され変容していったのかを理解し、それを自分の言葉で説明できるようになる。
2. 現代西洋政治史を学ぶことによって、世界経済と国内政治との因果関係、内政と外交の関連、そして政治リーダーの思想と具体的政策との関係性などが論理的に思考できるようになる。

◆**授業方法** 使用テキスト第 3 章～第 5 章の項目・内容に基づき、原則として講義形式で授業を行う。テキストとノートは必ず持参すること。必要に応じてレジュメや資料等を配布する。また、受講生の人数次第では、対話型の授業もできるだけ取り入れるようにしたい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容	ガイダンス（講義計画、試験実施方法）、第一次世界大戦の勃発：第一次世界大戦が勃発した背景について考察する。
	事前学修	テキストの 77 - 85 頁を予め読んでおくこと。
	事後学修	授業で習った専門用語の概念定義をノートに整理しておくこと。
2 回	授業内容	総力戦体制とロシア革命：第一次世界大戦の特徴と意義、ロシア革命の経緯と問題点について考察する。
	事前学修	テキストの 86 - 93 頁を予め読んでおくこと。
	事後学修	授業で習った専門用語の概念定義をノートに整理しておくこと。
3 回	授業内容	第一次世界大戦の終結とヴェルサイユ条約：ヴェルサイユ体制の成立過程・特質・問題点などについて考察する。
	事前学修	テキストの 93 - 96 頁を予め読んでおくこと。
	事後学修	授業で習った専門用語の概念定義をノートに整理しておくこと。
4 回	授業内容	ヴェルサイユ体制下のヨーロッパ：1920 年代のドイツ、イギリス、フランス、国際連盟、ヨーロッパ統合構想について説明する。
	事前学修	テキストの 96 - 101 頁を予め読んでおくこと。
	事後学修	授業で習った専門用語の概念定義をノートに整理しておくこと。
5 回	授業内容	世界恐慌とナチスの台頭：世界恐慌とファシズム台頭との関係、ナチズムの特徴と問題点などについて考察する。
	事前学修	テキストの 101 - 105 頁を予め読んでおくこと。
	事後学修	授業で習った専門用語の概念定義をノートに整理しておくこと。
6 回	授業内容	第二次世界大戦：第二次世界大戦が勃発した背景や、第二次世界大戦の特徴と意義について考察する。
	事前学修	テキストの 109 - 114 頁を予め読んでおくこと。
	事後学修	授業で習った専門用語の概念定義をノートに整理しておくこと。
7 回	授業内容	冷戦の始まりとヨーロッパの分断：冷戦開始の背景と、1950 年代の西ドイツ、フランス、イギリス、ヨーロッパ統合の起源について説明する。
	事前学修	テキストの 114 - 125 頁を予め読んでおくこと。
	事後学修	授業で習った専門用語の概念定義をノートに整理しておくこと。
8 回	授業内容	模索する西ヨーロッパ諸国：1960 年代の西ドイツ、フランス、イギリス、ヨーロッパ統合の状況について説明する。
	事前学修	テキストの 125 - 130 頁を予め読んでおくこと。
	事後学修	授業で習った専門用語の概念定義をノートに整理しておくこと。
9 回	授業内容	冷戦の緊張緩和とオイルショック：1970 年代の西ドイツ、フランス、イギリス、ヨーロッパ統合の状況について説明する。
	事前学修	テキストの 131 - 140 頁を予め読んでおくこと。
	事後学修	授業で習った専門用語の概念定義をノートに整理しておくこと。
10 回	授業内容	新冷戦から冷戦の終焉へ：1980 年代の米・ソ、西ドイツ、フランス、イギリス、ヨーロッパ統合の状況について説明する。
	事前学修	テキストの 140 - 150 頁を予め読んでおくこと。
	事後学修	授業で習った専門用語の概念定義をノートに整理しておくこと。
11 回	授業内容	東欧革命と民主化の第三の波：東欧民主化や東西ドイツ統一、冷戦終結、ソ連崩壊の背景と経緯について考察する。
	事前学修	テキストの 153 - 158 頁を予め読んでおくこと。
	事後学修	授業で習った専門用語の概念定義をノートに整理しておくこと。
12 回	授業内容	ヨーロッパ統合をめぐる相克：ヨーロッパ統合の深化および拡大に関する新展開と、それらによって生じた問題点などについて考察する。
	事前学修	テキストの 158 - 164 頁を予め読んでおくこと。
	事後学修	授業で習った専門用語の概念定義をノートに整理しておくこと。
13 回	授業内容	福祉国家論と国際統合論：これまでの授業内容を理論面から解説して補強する。
	事前学修	福祉国家と国際統合の意味について調べておくこと。
	事後学修	授業で習った専門用語の概念定義をノートに整理しておくこと。
14 回	授業内容	グローバリゼーションとポピュリズム、全体のまとめと理解度の確認：経済のグローバル化とポピュリズム台頭との関連性について考察する。
	事前学修	グローバリゼーションとポピュリズムの意味について調べておくこと。
	事後学修	授業で習った専門用語の概念定義をノートに整理しておくこと。
15 回	授業内容	全体のまとめと試験
	事前学修	予め指定した試験範囲を中心に、自筆ノートとテキストの復習をしておくこと。
	事後学修	3 日間の授業内容全体を再確認して、学修到達目標に達したかどうか振り返りを行うこと。

◆**教科書** 教材 『西洋政治史 L30500』 通信教育教材（教材コード 000503）2,950 円（送料込）
この教材は市販の『Next 教科書シリーズ 西洋政治史』杉本稔編（弘文堂）と同一です。

◆**参考書** 使用しない

◆**成績評価基準** 最終日に実施する試験の成績（100%）。毎回出席していることを前提として評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国文法〕

阿久澤 忠

◆**授業概要** 日本語学（国語学）では、言葉のどの面に焦点を当てるかによって音韻論、語彙語、文字論などの分野があるが文法論もその一つであり、その中で品詞分解の手順と付属語（特に助詞）を中心に学ぶ。

◆**学修到達目標** 日本の古典作品（古今和歌集や徒然草）の言葉を対象として、そこに内在する文法的な法則を体系的に学び、その上で助詞を中心とした付属語に対する認識を深め、古典を読解する力を養うことができる。さらに現代語の付属語と比較してその違いや共通性を理解する。

◆**授業方法** 講義によって授業を進めていく。さらには各項目ごとに設けてある課題（問題）を解いていく。質問もその都度受け、こちらからの問いかけもできるだけ多く行いたい。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：ガイダンス・「文法」は言葉のどういう面を考察するのか。 事前学修：シラバスによって授業内容を確認しておくこと。 事後学修：授業の内容をノートし、整理しておくこと。
2回	授業内容：文法論の単位一文・文節・単語。「文章」について解説する。 事前学修：配布資料の当該部分を読んでおくこと。 事後学修：配布資料の当該部分の内容を確認し、整理しておくこと。
3回	授業内容：文節の相互関係の3つの関係について解説する。 事前学修：配布資料の当該部分を読んでおくこと。 事後学修：配布資料の当該部分の内容を確認し、整理しておくこと。
4回	授業内容：文節の相互関係の残る3つの関係について解説する。 事前学修：配布資料の当該部分の内容を読んでおくこと。 事後学修：配布資料の当該部分の内容を確認し、整理しておくこと。
5回	授業内容：文節と単語に関する「課題」を解く。 事前学修：配布資料にある「課題」の部分であらかじめ解いておくこと。 事後学修：「課題」の答えを確認し、その「課題」を通してこれまでの学習を整理すること。
6回	授業内容：品詞分類に至るプロセス（その1）を解説する。 事前学修：配布資料の「10 単語の分類」の中の「11 詞と辞」の項目を読んでおくこと。 事後学修：配布資料の当該部分の内容を確認し、整理しておくこと。
7回	授業内容：品詞分類に至るプロセス（その2）を解説する。 事前学修：配布資料の「13 品詞分類の手続」のうち「用語の分類」について読んでおくこと。 事後学修：配布資料の当該部分の内容を確認し、整理しておくこと。
8回	授業内容：品詞分類に至るプロセス（その3）を解説する。 事前学修：配布資料の「助詞 1 辞の分類」の部分を読んでおくこと。 事後学修：「辞」（付属語）の概念（「詞」と比較して）を確認し、整理しておくこと。
9回	授業内容：助詞の分類のうち「格助詞」について解説する。 事前学修：配布資料の「助詞 3 格助詞」の部分を読んでおくこと。 事後学修：「格助詞」について確認し、整理しておくこと。
10回	授業内容：助詞の分類のうち「接続助詞」について解説する。 事前学修：配布資料の「助詞 4 接続助詞」の部分を読んでおくこと。 事後学修：「接続助詞」について確認し、整理しておくこと。
11回	授業内容：助詞の分類のうち「係助詞」と「副助詞」について解説する。 事前学修：配布資料の「助詞 5 係助詞」と「6 副助詞」の部分を読んでおくこと。 事後学修：「係助詞」と「副助詞」について確認し、整理しておくこと。
12回	授業内容：助詞の分類のうち「終助詞」と「間投助詞」について解説する。 事前学修：配布資料の「7 終助詞」と「8 間投助詞」の部分を読んでおくこと。 事後学修：「終助詞」と「間投助詞」について確認し、整理しておくこと。
13回	授業内容：助詞に関する「課題」を解く。 事前学修：配布資料にある「課題」の部分であらかじめ解いておくこと。 事後学修：「課題」の答えを確認し、助詞全般について整理すること。
14回	授業内容：助動詞について説明する。 事前学修：品詞分類における助動詞の位置について確認しておくこと。 事後学修：助動詞について確認し、整理しておくこと。
15回	授業内容：助詞研究の歴史について説明し、本居宣長の『紐鏡』と『詞の玉緒』の一部を読む。 事前学修：配布資料にある『紐鏡』と『詞の玉緒』に目を通しておくこと。 事後学修：助詞研究の歴史の概要について整理しておくこと。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕当日プリント（資料）を配布。

◆**参考書** 指定しない。

◆**成績評価基準** 試験（90%）、授業への取り組み（10%）毎回出席することを前提として評価します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国文学講義Ⅵ（現代）〕

尾形 大

◆**授業概要** 本講義では、主に 1920～40 年代にかけて創作・発表された文学テキストを、「戦争」という文化的・歴史的背景を切り口にしながら読み解いていく。たとえば中学高校の国語の「定番教材」としてよく知られている文学テキストの内にも戦争と様々なかわり合いながら創作され、受容されたものが少なくない。以上のようなテーマを通して、文学を専門的に読むための多様な切り口の一端を学んでいく。

◆**学修到達目標** 1. 文学を専門的に学ぶための姿勢や方法や概念について学び、文学作品を〈読む〉ための多様な視点の獲得と分析方法を理解することを目的とする。
2. 1920～40 年代の文学と戦争とのかわりについて学び、個々の文学テキストの位置付けを説明できるようになる。

◆**授業方法** 各日前半に各期の戦争に関する文化的・歴史的状況を概説し、続けて具体的なテキストに関する映像資料との比較検討、ディスカッションをおこなう。それを踏まえた上で、各テキストに組み込まれた／入り込んだ戦争の問題について考察し解説していく。視聴覚資料を多く取り入れるので、受講生間の活発な議論、主体的な思考を期待する。なお、受講人数によっては文学散歩の実施等、変更が生じる可能性もある。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容	オリエンテーション／第一次大戦について学ぶ（「映像の世紀」第 2 巻の視聴） 最初に本授業の進め方について説明する。次に本授業のテーマである戦争に関する映像資料を視聴し、基礎的な知識を得る。
	事前学修	指定教科書 P63～103 を読んでおくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、授業内で取り上げられた文学テキストを実際に読む。
2 回	授業内容	宮澤賢治「注文の多い料理店」を読む① 映画「注文の多い料理店」を視聴し、原作との比較検討をおこなう（含・ディスカッション）
	事前学修	原作「注文の多い料理店」を読んでおくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、自分なりに映画と原作の相違点をまとめる。
3 回	授業内容	宮澤賢治「注文の多い料理店」を読む② 「注文の多い料理店」に描かれた戦争について考える。
	事前学修	宮澤賢治について調べておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、「紳士」の描かれ方についてテキストを読み直しながらまとめる。
4 回	授業内容	宮澤賢治「注文の多い料理店」を読む③ 「注文の多い料理店」の物語構造と現代性について説明する。
	事前学修	「なめとこ山のくま」を読んでおくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、取り上げられた参考資料を読み直す。
5 回	授業内容	宮澤賢治「注文の多い料理店」を読む④+小レポート 戦時下の賢治イメージの推移について学ぶ。
	事前学修	「永訣の朝」および「雨二毛ケズ」を読んでおくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、詩人宮澤賢治像の推移を確認する。
6 回	授業内容	第二次大戦について学ぶ（「映像の世紀」第 5 巻の視聴） 「戦争文学」の多様性について概説する。言論統制と文学者の状況について確認する。
	事前学修	指定教科書 P117～129 を読んでおくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、授業内で取り上げられた文学テキストを実際に読む。
7 回	授業内容	中島敦「山月記」を読む① 舞台劇「敦」を視聴し、原作との比較検討をおこなう（含・ディスカッション）。
	事前学修	「山月記」を読んでおくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、自分なりに舞台劇と原作の相違点をまとめる。
8 回	授業内容	中島敦「山月記」を読む② 国語の授業的な「山月記」の読みについて説明する。戦時下の歴史小説ブームについて解説する。
	事前学修	中島敦について調べておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、国語の授業的な「山月記」の読みについてまとめる。
9 回	授業内容	中島敦「山月記」を読む③ 「山月記」を「天竺の末年」の物語として読む。
	事前学修	前回までの授業ノートを確認し、「山月記」の冒頭部を読み直しておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、テキスト論的な「山月記」解釈を確認する。
10 回	授業内容	中島敦「山月記」を読む④+小レポート 「山月記」に描かれた戦争について考える。
	事前学修	前回までの授業ノートを確認し、指定教科書 P117～129 を読み直しておく。
	事後学修	前回までの授業内容を確認して、「小レポート」の内容を再検討する。
11 回	授業内容	戦後の戦争文学について学ぶ。 現代の戦争映画を視聴した上で、ディスカッションを通して理解を深める。
	事前学修	指定教科書 P130～147 を読んでおくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、授業内で取り上げられた文学テキストを実際に読む。
12 回	授業内容	帰還兵を描いた戦争文学 太宰治「トカトントン」を読む。
	事前学修	「トカトントン」を読んでおくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、「トカトントン」に描かれた戦争について確認する。
13 回	授業内容	被爆者を描いた戦争文学① 原民喜「夏の花」を読む／映画「この世界の片隅で」との比較考察（含・ディスカッション）。
	事前学修	「夏の花」を読んでおくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、「夏の花」に描かれた戦争に注目してテキストを読み直す。
14 回	授業内容	被爆者を描いた戦争文学② 井上ひさし「父と暮らせば」を読む。 戦争文学の〈当事者〉性の問題について整理し、これまでの授業内容をまとめる。
	事前学修	「父と暮らせば」を読んでおくこと。
	事後学修	授業で取り上げた文学テキストを読み、「戦争」を語ることの意味について考える。
15 回	授業内容	試験及び解説
	事前学修	これまでの授業内容をまとめておく。また、試験では指定教科書 P147 までに記載されたテキストから一つを選び分析を行ってもらうので、事前に候補を 2～3 篇選びメモをとりながら読んでおくこと。
	事後学修	これまでの授業内容を確認した上で、自身が選んだ文学テキストにどのような戦争が描きこまれているかを再確認する。

◆教科書

〔当日資料配布〕

【通材】『国文学講義Ⅵ M31000』通信教育教材（教材コード 000361）2,800 円（送料込）
〈この教材は市販の『現代日本文学史』大久保典夫・高橋春雄・保昌正夫・薬師寺章明（笠間書院）と同一です。〉

◆参考書

特になし。

◆**成績評価基準** 授業内で実施するレビューシートおよび小レポート（60%）、第 15 回目を実施するレポート形式の試験（40%）。毎回出席することを前提として評価する。試験に関しては授業計画の第 15 回を参照のこと。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」[学生番号] および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英作文 I〕 オープン受講：不可

ダレル ハーディ

◆**授業概要** This course will focus on the organization of a formal paragraph, the style of writing necessary for academic writing, and the arrangement of supporting details within a paragraph.

◆**学修到達目標** The course objectives are as follows:

1. To define academic writing and become familiar with pre-writing activities.
2. To review and practice writing effective topic, supporting, and concluding sentences.
3. To learn important language factors to make paragraphs more coherent and cohesive.
4. To practice and improve edition and revision skills.

◆**授業方法** In this course we will emphasize academic writing skills and focus on how to write an "academic" paragraph. We will begin with practicing pre-writing activities to generate ideas for writing. Next, we will look at the components of a paragraph, topic sentence, supporting sentences, and concluding sentence, in detail. Once we have covered the main components, we will study language factors which are important for paragraph coherence and cohesion. Finally, we will discuss what to look for when editing.

◆**履修条件** Students are required to attend all three days, submit an "academic" paragraph, and write a final test.

◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容: Orientation. Introduction to academic writing. What is a paragraph? 事前学修: None 事後学修: Review materials from lesson one.
2 回	授業内容: Review of the structure of a paragraph. Generating ideas for writing – brainstorming activities. 事前学修: Re-read the model paragraph in exercise one. 事後学修: Expand on and practice brainstorming techniques.
3 回	授業内容: How to write an effective topic sentence and choose supporting points. Developing an effective outline for your paragraph. 事前学修: Review the main components of a paragraph covered in the previous lesson. 事後学修: Complete activities for evaluating and writing topic sentences.
4 回	授業内容: How to develop supporting sentences with details. Arranging supporting sentences. 事前学修: Complete outline for your paragraph. 事後学修: Complete activities evaluating supporting points and adding details.
5 回	授業内容: How to write a concluding sentence and choose a title. 事前学修: Complete detailed outline. 事後学修: Complete activities on writing concluding sentences and choosing an appropriate title.
6 回	授業内容: How to write a coherent paragraph – review of conjunctions. 事前学修: Begin drafting academic paragraph. 事後学修: Complete activities using conjunctions to form complex sentences.
7 回	授業内容: Review of conjunctions continued. How to use transitional expressions. 事前学修: Complete and submit first draft of academic paragraph. 事後学修: Complete activities for using transitional expressions.
8 回	授業内容: How to avoid common mistakes: run-on sentences. 事前学修: Review proper use of conjunctions and transitions. 事後学修: Complete activities for correcting run-on sentences.
9 回	授業内容: How to avoid common mistakes continued: sentence fragments. 事前学修: Review homework activities. 事後学修: Complete activities for correcting sentence fragments.
10 回	授業内容: Editing a paragraph: review of academic writing style. 事前学修: Review homework activities. 事後学修: Review lecture notes.
11 回	授業内容: Editing a paragraph continued: editing check list and editing activities. 事前学修: Review lecture notes. 事後学修: Complete editing activities.
12 回	授業内容: Editing a paragraph continued: peer editing. 事前学修: Complete second draft of paragraph. 事後学修: Review lecture notes.
13 回	授業内容: Editing a paragraph continued: scoring rubric. 事前学修: Revise and submit final draft of paragraph. 事後学修: Review lecture notes.
14 回	授業内容: Review of course content and preparation of final test. 事前学修: Prepare an outline for in-class paragraph. 事後学修: Review for final test.
15 回	授業内容: Final test including in-class paragraph. 事前学修: Prepare for final test. 事後学修: End of course.

◆**教科書** Handouts will be provided.

◆**参考書** A dictionary may be helpful.

◆**成績評価基準** "Academic" paragraph = 40%; Final test = 40%; Participation = 20%

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英文法〕

山岡 洋

- ◆**授業概要** 最初に品詞（名詞・動詞など）と文の働き（S, V, O など）の違いを説明してから、単文・複文・十分の違いを説明する。その後で単文を形成する基本的な品詞（名詞・動詞・形容詞・副詞・前置詞・等位接続詞）や文の働き（S, V, O, C, M, A）の説明をする。その上で、文の中で句が形成される仕組みを説明して、それを実際の英文を分析しながら知識の活用法を身に付けていく。
- ◆**学修到達目標** 単文レベルの構造を十分に理解できるようになることを目標とする。特に、文型を十分に理解することにより、文の中心要素である述語動詞と、その述語動詞との結合度が高い要素によって形成される「述部（Predicate）」を発見することによって、文の構造を見極められるようになる。
- ◆**授業方法** 初日に、品詞、文の要素（S, V, O, C, A）、語の結合度の説明をし、2日は実際の英文を用いて、様々な英文を主部（S）、述部（P）、付加部（A）、に分ける実際的な練習をし、3日目の午前中は最終試験のための模擬試験を行う。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: Course Introduction: The Difference Between Word Classes and Sentence Functions 事前学修: 教科書 pp. 2-12 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. pp. 2-12 を見ながら再確認する。
2 回	授業内容: Course Introduction: Types of Sentences, Parts-of-Speech 事前学修: 教科書 pp. 65-87 と pp. 2-12 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 65-87 と pp. 2-12 を見ながら再確認する。
3 回	授業内容: Course Introduction: Sentence Patterns, Sentence Functions 事前学修: 教科書 pp. 13-31 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 13-31 を見ながら再確認する。
4 回	授業内容: Course Introduction: How Phrases Are Formed, Complement, Modification 事前学修: 教科書 pp. 53-64 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 13-31 を見ながら再確認する。
5 回	授業内容: 品詞の理解を定着させるための初級英文分析 事前学修: 教科書第 4 章、第 5 章を読んでおく。 事後学修: 授業中の分析を、教科書第 4 章、第 5 章を見ながら再確認する。
6 回	授業内容: 文の働きを定着させるための初級英文分析 事前学修: 第 3 回目の授業の復習と教科書 pp. 13-31 を読んでおく。 事後学修: 授業中の分析を、教科書 pp. 13-31 を見ながら再確認する。
7 回	授業内容: S, P, A 分析を定着させるための初級英文分析 事前学修: 第 4 回目の授業の復習と教科書 pp. 53-64 を読んでおく。 事後学修: 授業中の分析を、教科書 pp. 53-64 を見ながら再確認する。
8 回	授業内容: Trial Quizzes とその解説 事前学修: 第 1 回目から 4 回目までの内容を復習し、Trial Quizzes に備える。 事後学修: Trial Quizzes で理解度を確認し、最終試験に備えて理解不十分な部分を修正する。
9 回	授業内容: 品詞の理解を定着させるための中級英文分析 事前学修: 教科書第 4 章、第 5 章を読んでおく。 事後学修: 授業中の分析を、教科書第 4 章、第 5 章を見ながら再確認する。
10 回	授業内容: 文の働きを定着させるための中級英文分析 事前学修: 第 3 回目の授業の復習と教科書 pp. 13-31 を読んでおく。 事後学修: 授業中の分析を、教科書 pp. 13-31 を見ながら再確認する。
11 回	授業内容: S, P, A 分析を定着させるための中級英文分析 事前学修: 第 4 回目の授業の復習と教科書 pp. 53-64 を読んでおく。 事後学修: 授業中の分析を、教科書 pp. 53-64 を見ながら再確認する。
12 回	授業内容: 総合的な英文分析 事前学修: 第 5 回目から第 11 回目までの授業の復習をしておく。 事後学修: 授業中の分析を、第 5 回目から第 11 回目までの授業の復習を見ながら再確認する。
13 回	授業内容: 理解度確認 事前学修: これまでの授業の内容を改めて見直し、特に英文分析を確認する。 事後学修: 試験に備えて、例文における英文分析を確認する。
14 回	授業内容: 最終試験とその解説 事前学修: 前回の理解度確認を改めて読み直し、新たな英文で自分の理解度を再度確認する。 事後学修: 自分の試験の答案を確認し、教科書の該当箇所と照合する。
15 回	授業内容: 最終試験の解説 事前学修: 自分の試験の答案を確認し、教科書の該当箇所と照合する。 事後学修: 授業内容を確認して、自分の単文の構造に関する理解が適切かどうかを再確認する。

- ◆**教科書** 丸沼『新英文法概説』山岡洋 開拓社 3,780 円（税込）（送料 500 円）
〔当日資料配布〕当日配付資料あり
- ◆**参考書** 丸沼『ジーニアス総合英語』中邑光男・山岡憲史・柏野健次 大修館 1,620 円（税込）（送料 350 円）
丸沼『ロイヤル英文法』改訂新版 綿貫陽・宮川幸久・須貝猛敏・高松尚弘・マークピーターセン 旺文社 1,944 円（税込）（送料 500 円）
『Evergreen』埴タカユキ いいずな書店
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉
- ◆**成績評価基準** 授業参加度（20%）、最終試験（80%）

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」[学生番号] および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

【英米文学特殊講義】

新井 英夫

◆**授業概要** ジェイン・オースティン (Jane Austen 1775-1817) の『エマ』(Emma 1814) を読みます。作品を多面的な視点から読み、作品がどのように政治、社会制度等と結びついているのかを考えます。また、読み方の多重性を意識することを通して、小説そのものの読み方の新たな方向性について考察するきっかけとします。

◆**学修到達目標** 19 世紀前半、ヴィクトリア朝とは明らかなコントラストをなす「摂政時代」と呼ばれる時代に活躍した女性作家ジェイン・オースティンの代表作『エマ』を読み、次に掲げる各号の目標を達成しましょう。

- ①近代英国小説の読解に必要な英語力がどの程度のものであるかを知ることができるようになる。
- ②大学入学までに学習してきた英語の基本事項を、小説の読解に活用することができるようになる。
- ③作品の構造、人物関係等を明確に説明できるようになる。
- ④作品のテーマについて説得力のある論を展開できるようになる。

◆**授業方法** 演習形式のスタイルを採ります。ただし授業が単なる日本語訳の発表大会に終わることのないように、結論に至るプロセスを皆さんには大切にしてもらいたいと思っています。グループ活動なども取り入れる予定ですので、英語が苦手な方の受講も歓迎です。また「英文を読む」と「小説を理解する」ことの差異を学生たちに理解してもらおうべく、小説の読み方も丁寧に指導します。

◆**履修条件** 2017 年度夏期スクーリングにおいて、新井が担当する英米文学特殊講義を受講したものは、授業内容が同一のため、履修を認めないこととする。

◆**授業計画（各 90 分）**

1 回	授業内容：【講義】 ジェイン・オースティンの人物像に迫る。 事前学修：ジェイン・オースティンの『エマ』を通読する。 事後学修：講義で解説したジェイン・オースティンの評価について復習する。
2 回	授業内容：【発表】 事前学修の成果をグループ内で共有する。 事前学修：ジェイン・オースティンの『エマ』を通読し、その感想をまとめる。 事後学修：グループ内の他者の意見と自分の意見の違いを意識する。
3 回	授業内容：【演習&解説】 第 1 章から第 5 章までを当日配布資料に基づきすめる。 事前学修：第 1 章から第 5 章までの内容を把握する。 事後学修：講義で解説した第 1 章から第 5 章までの内容を復習する。
4 回	授業内容：【演習&解説】 第 6 章から第 10 章までを当日配布資料に基づきすめる。 事前学修：第 6 章から第 10 章までの内容を把握する。 事後学修：講義で解説した第 6 章から第 10 章までの内容を復習する。
5 回	授業内容：【演習&解説】 第 11 章から第 15 章までを当日配布資料に基づきすめる。 事前学修：第 11 章から第 15 章までの内容を把握する。 事後学修：講義で解説した第 11 章から第 15 章までの内容を復習する。
6 回	授業内容：【演習&解説】 第 16 章から第 20 章までを当日配布資料に基づきすめる。 事前学修：第 16 章から第 20 章までの内容を把握する。 事後学修：講義で解説した第 16 章から第 20 章までの内容を復習する。
7 回	授業内容：【演習&解説】 第 21 章から第 25 章までを当日配布資料に基づきすめる。 事前学修：第 21 章から第 25 章までの内容を把握する。 事後学修：講義で解説した第 21 章から第 25 章までの内容を復習する。
8 回	授業内容：【演習&解説】 第 26 章から第 30 章までを当日配布資料に基づきすめる。 事前学修：第 26 章から第 30 章までの内容を把握する。 事後学修：講義で解説した第 26 章から第 30 章までの内容を復習する。
9 回	授業内容：【演習&解説】 第 31 章から第 35 章までを当日配布資料に基づきすめる。 事前学修：第 31 章から第 35 章までの内容を把握する。 事後学修：講義で解説した第 31 章から第 35 章までの内容を復習する。
10 回	授業内容：【演習&解説】 第 36 章から第 40 章までを当日配布資料に基づきすめる。 事前学修：第 36 章から第 40 章までの内容を把握する。 事後学修：講義で解説した第 36 章から第 40 章までの内容を復習する。
11 回	授業内容：【演習&解説】 第 41 章から第 45 章までを当日配布資料に基づきすめる。 事前学修：第 41 章から第 45 章までの内容を把握する。 事後学修：講義で解説した第 41 章から第 45 章までの内容を復習する。
12 回	授業内容：【演習&解説】 第 46 章から第 50 章までを当日配布資料に基づきすめる。 事前学修：第 46 章から第 50 章までの内容を把握する。 事後学修：講義で解説した第 46 章から第 50 章までの内容を復習する。
13 回	授業内容：【演習&解説】 第 51 章から第 55 章までを当日配布資料に基づきすめる。 事前学修：第 51 章から第 55 章までの内容を把握する。 事後学修：講義で解説した第 51 章から第 55 章までの内容を復習する。
14 回	授業内容：【演習&発表】 小論文を作成し、グループ内で発表する。 事前学修：これまでの授業をふりかえり、エマの成長について考えをまとめる。 事後学修：グループ内の他者の意見と自分の意見の違いを意識する。
15 回	授業内容：【試験&まとめ】 試験とこれまでの授業のまとめを行う。 事前学修：これまでの授業内容を復習する。 事後学修：『エマ』以外のジェイン・オースティンの作品を 1 冊読む。

◆**教科書** 事前資料送付（当日資料配布）

◆**参考書** 丸沼『エマ（上）』ジェイン・オースティン著 中野康司翻訳 ちくま文庫 2005 年 1,188 円（税込）（送料 215 円）
丸沼『エマ（下）』ジェイン・オースティン著 中野康司翻訳 ちくま文庫 2005 年 1,188 円（税込）（送料 215 円）
『Emma』 Jane Austen London: Penguin 2003
〈上記の本は、丸沼書店では取り扱っていませんので、Amazon 等で購入してください。〉

◆**成績評価基準** 授業内活動（40%）＋最終試験（60%）。欠席者には単位を認定しません。また遅刻は各時限につき 10 点減点とします。遅刻は各時限の授業開始から 15 分までとし、それ以降は欠席扱いとなります。早退は原則として認めません。総得点が 0 点を下回る場合には、0 点として評価します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

【英語学演習 B】

田中 竹史

◆**授業概要** ヒトは誰でも母語を獲得することができますが、その獲得は特別な勉強や訓練なしに子供の頃にいつの間にか当たり前のようになされてしまいます。これは、たとえば計算の仕方や交通規則を身につけるためには勉強しなければならないということや、ピアノやバイオリンを弾いたりあるいは泳いだり車を運転したりするためには特別な訓練が必要になる、といったことは対照的です。また、通常大人が外国語を身につけるのには意識的な努力が必要であるということとも対照的です。それでは、なぜ子供は特別な勉強や訓練をせずとも母語を身につけられるのでしょうか。なぜ大人は勉強や訓練なしには外国語を身につけることができないのでしょうか。そもそもヒトは一体どのような仕組みにより、極めて複雑で豊かな内容を持つ言語を身につけているのでしょうか。本講座では、上記のような事柄を通じて生物種としてのヒトの特徴について考えます。

◆**学修到達目標** 全ての生物種の中でヒト科ヒト属のみが持つと考えられている特殊な知識体系であることばに内在する性質、そして幼児による言語獲得の過程に触れることにより、ことばの分析方法や言語学・英語学の方法論を学ぶことを目標とします。

◆**授業方法** はじめにヒトのことばに関する基礎的知識（母語話者の持つ言語知識、言語獲得の過程、言語障害、類人猿などヒト以外の生物のコミュニケーション体系など）を講義形式により確認します。その後、テキストを題材に、受講者による担当部分の内容説明・質疑応答、教員による補足説明、という演習形式で授業を進めます。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 母語と外国語（1） 事前学修 参考書に挙げられてる大津（2004, 2008）を読んでおくこと。 事後学修 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。
2 回	授業内容 母語と外国語（2） 事前学修 配布された資料をよく読んでおくこと。 事後学修 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。
3 回	授業内容 言語の研究（1） 事前学修 配布された資料をよく読んでおくこと。 事後学修 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。
4 回	授業内容 言語の研究（2） 事前学修 配布された資料をよく読んでおくこと。 事後学修 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。
5 回	授業内容 ヒトの言語獲得（1） 事前学修 配布された資料をよく読んでおくこと。 事後学修 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。
6 回	授業内容 ヒトの言語獲得（2） 事前学修 配布された資料をよく読んでおくこと。 事後学修 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。
7 回	授業内容 11 Phrasal Categories 事前学修 配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。 事後学修 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。
8 回	授業内容 1 Movement Testes 事前学修 配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。 事後学修 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。
9 回	授業内容 2 Substitution Testes 事前学修 配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。 事後学修 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。
10 回	授業内容 3 "One" -substitution 事前学修 配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。 事後学修 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。
11 回	授業内容 12 Ambiguity and Productivity 事前学修 配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。 事後学修 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。
12 回	授業内容 1 Ambiguity 事前学修 配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。 事後学修 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。
13 回	授業内容 2 Productivity 事前学修 配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。 事後学修 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。
14 回	授業内容 13 Children's Knowledge of Phrase Structure 事前学修 配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。 事後学修 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。
15 回	授業内容 Conclusion 事前学修 配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。 事後学修 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。

◆**教科書** **事前資料送付** 『An Introduction to Linguistic Theory and Language Acquisition』 Crain & Lillo-Martin (1999) Blackwell (該当箇所 (112-144 頁) を配布します)

事前資料送付 その他資料はオンラインストレージ経由で配布します。

◆**参考書** **丸沼** 『探検! ことばの世界』 大津由紀雄著 ひつじ書房 1,728 円 (税込) (送料 300 円)

丸沼 『ことばに魅せられて 対話編』 大津由紀雄著 ひつじ書房 1,728 円 (税込) (送料 300 円)

丸沼 『ファンダメンタル英語学 改訂版』 中島平三著 ひつじ書房 1,512 円 (税込) (送料 300 円)

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、発表や質疑応答などの授業に対する取り組みと授業終了後に提出のレポートにより総合的に評価します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英米文学演習C〕

堤 裕美子

◆**授業概要** Shakespeare 劇の有名な作品の有名な場面を読み、その映画や舞台を鑑賞した上で、受講者でいくつかの研究グループを作り、Shakespeare 劇の上演に関するルールに則りながら、衣装や舞台設定など、受講者の自由な発想で劇を上演することで、Shakespeare 作品の理解を深めることができます。

◆**学修到達目標** 初日午前は講義形式の授業を行い、初日の午後最後の授業から最終日午前中まで演習形式の授業、最終日午後は単位認定試験として筆記試験を行います。グループに分かれての共同研究になるので、授業での積極的な参加を求めます。共同研究ですので、受講期間中の欠席や遅刻は厳禁とします。

◆**授業方法** 円滑な授業展開のため、事前資料を郵送し、開講前に配役希望アンケートを実施して、研究チームと配役を決定します。事前資料に目を通さず配役アンケートに参加しなかった場合、3日間の受講は不可能となってしまいます。**受講申し込みから7月中の、通信教育部からの郵送物の確認には十分にご注意下さい。**『夏の夜の夢』と『ハムレット』両作品のあらすじを把握しておいて下さい。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：概要説明、当時の演劇事情、Shakespeare 作品を読むための基礎知識 事前学修：配布されたプリントで分からない単語を調べておく。 事後学修：発音の分からない単語がないか、意味が理解できるか確かめる。
2回	授業内容：台本購読『夏の夜の夢』台本①台本② 事前学修：配布されたプリントで分からない単語を調べておく。 事後学修：発音の分からない単語がないか、意味が理解できるか確かめる。
3回	授業内容：研究グループ組み合わせ発表・劇団結成 事前学修：自分が演じる台本、配役を把握しておく。 事後学修：他の劇団員とどのような場面を演じたいのか、共通認識を得ることができたかを振り返る。
4回	授業内容：台本購読『ハムレット』台本③台本④ 事前学修：配布されたプリントで分からない単語を調べておく。 事後学修：当時特有の文法事項や、近年で使用されない単語の発音が身に着いたか確認する。
5回	授業内容：発表練習（稽古開始） 事前学修：自分の役柄の台詞が、台本のどのあたりにあるか把握しておく。 事後学修：講義によって、担当する台詞の意味や発音を理解できたかを確認する。
6回	授業内容：稽古 事前学修：台詞を舞台用の声の大きさと適切に発音できるかどうか、難しいところを把握しておく。 事後学修：他の劇団員とコミュニケーションをとり、全員が満足いく場面を創造できているか確認する。
7回	授業内容：劇団挨拶と演出の工夫について、各研究グループによる口頭発表 事前学修：団長挨拶や、各劇団員の抱負をあらかじめ簡潔に考えておく。 事後学修：同じ台本を演じる劇団や役者の解釈、演じ方から得るものがあつたかどうか自問する。
8回	授業内容：ディスカッションタイム：同役会談（他劇団で同じ役柄の学生さんと演出について意見交換） 事前学修：演じる上で悩んでいる事、同じ配役の人に訊ねてみたい質問をあらかじめ用意する。 事後学修：お互いに収穫ある意見交換ができたかどうか、学びを振り返る。
9回	授業内容：リハーサル（別教室で予行演習）と稽古 事前学修：これまでの稽古の成果、個人的に演じるポイント、衣装などはっきりとしたビジョンを持って臨む。 事後学修：本番仕様で演じてみた感想、より良い演出へのヒントを劇団全体でシェアする。
10回	授業内容：リハチェックと調整（リハーサルの録画を劇団毎に早送りで鑑賞し、本番へのヒントを得る） 事前学修：苦手としていた台詞や演技を把握し、録画で効果的にチェックできるように準備する。 事後学修：録画を見て、舞台鑑賞モードの立ち位置、動き方、他の役者との立ち位置をチェックし活かす。
11回	授業内容：リハチェックと調整・続（リハーサルの録画を劇団毎に早送りで鑑賞し、本番へのヒントを得る） 事前学修：苦手としていた台詞や演技を把握し、録画で効果的にチェックできるように準備する。 事後学修：明日の本番へ向けて各自最終調整、衣装や小道具の貸し借りの確認をしておく。
12回	授業内容：通し稽古（本番前の最終調整） 事前学修：効果音と自分の声量の調整、自分の見せ場と他の役者の演技の盛り上げ方など考えておく。 事後学修：各劇団で掲げたテーマを、劇団員全員で伝える演技に仕上がっているか確認する。
13回	授業内容：本番 事前学修：衣装や小道具の貸し借りが劇団間で円滑に行えるよう、確認をしておく。 事後学修：400年前の文学作品のメッセージを10分という時間の中で表現できたか振り返る。
14回	授業内容：鑑賞会（本番を録画した演出を鑑賞する） 事前学修：レポート課題で何を書くか、おおまかな準備をしてくる。個人のペースで、レポート課題は事前に仕上げてきても、この鑑賞会の時間に書いてもよい。 事後学修：次の時間のコメントを考えながら鑑賞する。
15回	授業内容：After the Stage Talk（3日間の感想を述べ、シェアする） 事前学修：Shakespeare 作品を演じてみた感想をポイントを絞り、簡潔にまとめる。 事後学修：文学作品を人間が鑑賞し愛する意味について感じたこと、考えたことを深く認識する。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕『夏の夜の夢』と『ハムレット』の台本となるプリントを配布します。
〔当日資料配布〕参考資料としてプリントを教室にて配布します。

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 平常点30%、配役の演技に対する評価40%、レポート30%の総合評価

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

〔日本思想史 I〕

島田 健太郎

◆**授業概要** 「武士道」をテーマに、中世から近代まで、武士の理想的あり方についてどのように考えられてきたのか見ていきたいと思います。理想的な武士のあり方は、時代によって様々に変化しています。その変化の過程をたどることで、日本人のものの考え方の変遷を浮き彫りにするのが本講義のねらいです。そして現代の私たちがイメージする「武士道」が、どのような過程で形成されたかを検討することで、現代の「武士道」がどのようなものか、自身で考えるきっかけになればと考えています。

◆**学修到達目標** 1. 武士の理想的ありかたについての言説を学ぶことで、当時の思想的営為についての理解を深めるとともに、人間の思想や日本文化に対するより広い視野を獲得することができる。
2. 武士道の変遷について学ぶことで、現代のわれわれのものの考え方に対する一つの視点を獲得することができる。
3. 日本文化に対する自己の問題意識をより明らかにし、それについて主体的に考察することを目標とする。

◆**授業方法** プリントとして配布する原典や史料を中心に、講義形式で行います。授業中の質問は大歓迎です。プリントには読みと現代語訳を付けるので、古文・漢文の読解に自信がなくても構いません。また 1 日目と 2 日目の終りに授業内容についてのリアクション・ペーパーの提出を予定しています。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 概要 事前学修 日本史の大まかな流れを復習しておく。 事後学修 プリントの興味ある箇所目を通しておく。
2 回	授業内容 平安時代の武士 武士とは－平安時代の武士の行動原理 事前学修 清和源氏の家系、代表的人物について調べておく。 事後学修 授業内容の確認と疑問点を整理しておく。
3 回	授業内容 鎌倉時代の武士 御成敗式目－家訓－鎌倉時代の武士の行動原理 事前学修 北条氏の家系や代表的人物について調べておく。 事後学修 前代とどのように違うのか、継承されている部分はどこか、整理する。
4 回	授業内容 室町時代の武士 天道－文武両道－室町時代の武士の行動原理 事前学修 室町時代の守護大名とその領地について調べておく。 事後学修 室町時代の家訓の特徴について、考える所をまとめてみる。
5 回	授業内容 戦国大名の家訓に見られる武士のあり方 武士の心得－理想的な戦国武士 事前学修 代表的な戦国大名について調べておく。 事後学修 ここまでの授業内容を復習し、疑問点とともにノートにまとめておく。
6 回	授業内容 近世の武士道 新旧武士道の相克－『三河物語』 事前学修 『三河物語』について調べておく。 事後学修 扱われる人物・著作について再確認。
7 回	授業内容 『葉隠』の武士道 山本常朝について－死に狂いの武士道－忍ぶ恋 事前学修 『葉隠』について調べておく。 事後学修 『葉隠』の思想と現代の「武士道」との違いをまとめてみる。
8 回	授業内容 山鹿素行の士道（1） 山鹿素行について－朱子学の考え方－素行の士道論 事前学修 儒教と朱子学について調べておく。 事後学修 素行の思想をまとめ、『葉隠』などとどう違うかまとめてみる。
9 回	授業内容 山鹿素行の士道（2） 道徳的存在としての武士－その他の武士道論 事前学修 山鹿素行について調べておく。 事後学修 ここまでの授業内容を復習し、疑問点とともにノートにまとめておく。
10 回	授業内容 赤穂浪士討入り事件（1） 事件の概要－武士の鑑か犯罪者か 事前学修 ここまでの新旧武士道論の対立について復習しておく。 事後学修 自分はどのように考えるか、考える所をまとめてみる。
11 回	授業内容 赤穂浪士討入り事件（2） 浪士批判派の主張－浪士擁護派の主張－法治主義と徳治主義 事前学修 プリントの関連する箇所を読んでおく。 事後学修 各思想家の主要な論点をまとめておく。
12 回	授業内容 近代の武士道（1） 新渡戸稲造の『武士道』に見られる「武士道」 事前学修 新渡戸稲造について調べておく。 事後学修 授業内容の確認と疑問点の整理。
13 回	授業内容 近代の武士道（2） 内村鑑三－やまとだまし－武士道精神 事前学修 儒教の忠孝の概念について調べておく。 事後学修 江戸時代の武士道との違いについてまとめてみる。
14 回	授業内容 近代の武士道（3） 和辻哲郎－三島由紀夫－その他 事前学修 これまでの授業内容の復習・確認。 事後学修 ここまでの授業内容を復習し、疑問点とともにノートにまとめておく。
15 回	授業内容 まとめと試験 事前学修 各自の問題意識に基づいて、自分の見解をまとめておく。 事後学修 武士道に関する他の文献も読み、理解を深めるとともに問題関心の視野を広げること。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕教科書は使用しません。当日プリントを配布します。

◆**参考書** 丸沼『武士道』相良亨著 講談社学術文庫 885 円（税込）（送料 215 円）
『武士道の名著』山本博文著 中公新書
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉

◆**成績評価基準** 試験の成績を基準に、授業への取り組みなどを勘案して、総合的に評価します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔哲学演習B〕

長谷川 武雄

- ◆**授業概要** 昨今「仕事・労働」における少子化、IT導入、外国人労働者の受け入れ等々、大いに話題となっている。更に死亡や精神的病に陥る難問が存在する。それでも人は働かねばならない。ならば「なぜ、どのように」を改めて考える上で、「労働」や「仕事」とはどのようなものとして思考の世界(学問の世界)で捉えられてきたのか、哲学ではなく政治哲学者アレントの「仕事観」を考察する。
- ◆**学修到達目標** 日本は高齢化と少子化、結果労働力不足と共に働き方の問題に直面している。「生きるため」に働くは周知のことである。今回は一女性政治哲学者の「人間の条件(condition)」から、「第3章 労働」について考察した。今回は次の「第4章 仕事」を考察の対象とする。＜生活する＞中で「労働」と「仕事」との関係において示唆するものを得てもらいたい。
- ◆**授業方法** 講義の後に、「一定ページについての発表(分析・批判)」と、それに対する「質疑応答」を中心とする。従ってこの点から授業の中では、様々な「問い・答え」の組合せ(いわゆる「対話」)方法を通して、「分析」に加え、「探求」をも実践する。同時に受講者にはその要点・妥当性を「記述(論述)」することにより、「分析・探求」の整理を行ってもらう。尚受講者数により変更(発表方法・時間配分・論述等)がある。
- ◆**授業計画(各90分)**

1回	授業内容 事前学修 事後学修	・これからの講義について全体的説明(主に授業内容、講義方法、成績評価など)。 ・この授業における論述の書き方について。 シラバスの内容を確認しておくこと。 これからの自分の勉強方法(授業への臨み方)を再整理・再確認。
2回	授業内容 事前学修 事後学修	・講義(ヘーゲル以降の「労働観」：ヘーゲルからマルクス)。 ・ヘーゲルからマルクスまでの「労働観」の整理(まとめ、問題点、批判的考察)。 ヘーゲル、マルクスの哲学(観念論・唯物論、弁証法)について確認し整理しておくこと。 両者の「労働観」の共通点と相異点を整理する。
3回	授業内容 事前学修 事後学修	・講義(テキスト：第一章 人間の条件、第二章 公的領域と私的領域)。 ・アレントにおける「人間観」とその現象について(まとめ、問題点、批判的考察)。 テキスト第一章、第二章を読み、これから論述する筆者の思想の「枠組」を捉えておくこと。 筆者は「人間」について、その何を語ろうとしているのか、まとめる。
4回	授業内容 事前学修 事後学修	・講義「第三章 労働」。 ・アレントにおける「労働」の捉え方とその特徴(まとめ、問題点、批判的考察)。 アレントの捉えようとした人間における「労働」の主要な点を抽出してみる。 先のヘーゲルやマルクスの「労働観」とアレントの「労働観」を比較分析する。
5回	授業内容 事前学修 事後学修	・第一章～三章までのまとめ。 ・課題：上記の内容について論述してもらう(用紙は指定、配布)。 第一章～三章の中で、人間と労働の関係を整理しておく。 「労働」と「仕事」(今回の発表主題である)とは何が異なるのか、各自の生活の中で考えてみる。
6回	授業内容 事前学修 事後学修	発表(テキスト「18 世界の耐久性」)、質疑応答。 ここで言う「世界」とは何か、また「耐久性」とはなにか、テキストを読み、まとめる。 発表者の捉えた(解釈した)「世界」「耐久性」、及び両者の関係性を整理しておく。
7回	授業内容 事前学修 事後学修	発表(テキスト「19 物化」)、質疑応答。 マルクスの「物化」について調べておく。 「物化」について、マルクスとアレントの意味の相異を比較考察し再確認する。
8回	授業内容 事前学修 事後学修	発表(テキスト「20 手段性と<労働する動物>」)、質疑応答。 「手段性」が「労働」とどのように関係しているのか、また「仕事」との関係性はどのようなものか、アレントの論述を解釈する。 「労働する動物」とはどのようなものか、「そして「仕事」とどのように関係しているのか、ここまでのテキストの中でどのように言及しているか再確認してみる。
9回	授業内容 事前学修 事後学修	発表(テキスト「20 手段性と<労働する動物>」(続き))、質疑応答。 前回の発表の範囲で、「手段性」と「労働する動物」の関係を整理しておく。 <労働する動物>と<仕事をする動物>の関係をどのように捉えているか、発表者の見解を整理し、各自の解釈をまとめてみる。
10回	授業内容 事前学修 事後学修	発表(テキスト「21 手段性と<工人>」)、質疑応答。 「20」の「労働する動物」の解釈を明確にし、その上で「仕事」との関係づけを整理しておく。 <労働する動物>と<工人>をどのように関係づけているか、整理する。
11回	授業内容 事前学修 事後学修	発表(テキスト「21 手段性と<工人>」(続き))、質疑応答。 <労働する動物>から<工人>への移行がどのように述べられているか、まとめておく。 「20、21」の<手段性>の意味を確認し、同様<労働する動物>と<工人>の比較により、3者(手段性、労働する動物、工人)をどのように関連づけているか、整理する。
12回	授業内容 事前学修 事後学修	発表(テキスト「22 交換市場」)、質疑応答。 「公的領域」と「私的領域」とはどのような領域か、第二章を参照し整理しておく。 <工人>と「公的領域」の関係を確認する。
13回	授業内容 事前学修 事後学修	発表(テキスト「23 世界の永続性と芸術作品」)、質疑応答。 「工作物」とは何か、「22」の中で再確認しておく。 「工作物」の本質を踏まえ、それと「芸術作品」の本質をどのように捉えているか、整理しておく。
14回	授業内容 事前学修 事後学修	発表(テキスト「23 世界の永続性と芸術作品」(続き))、質疑応答。 <工人と工作物>、<芸術家と芸術作品>の関係を考える。 「物化」(テキスト19など)をどう捉え、関連する事柄を再度確認しておく。
15回	授業内容 事前学修 事後学修	発表(テキスト「23 世界の永続性と芸術作品」(続き))、質疑応答。 「18 世界の耐久性」と「23 世界の永続性と芸術作品」との関係を整理する。 アレントが「労働」に対して「仕事」をどのように捉えようとしたのか、時代的なものか、本質的なものか、単に言葉の意味の上のことなのか。今自分が生活している中で「仕事」をどのように意識的・無意識的に捉えているか、反省してみる。

- ◆**教科書** 丸沼『人間の条件』ハンナ・アレント 筑摩書房(ちくま学芸文庫) 1,620円(税込)(送料300円)
- ◆**参考書** 丸沼『ハンナ・アレント「戦争の世紀」を生きた政治哲学者』矢野久美子 中央公論新社(中公新書) 885円(税込)(送料300円)
- 丸沼『ハンナ・アレント「人間の条件」入門講義』仲正昌樹 作品社 2,160円(税込)(送料500円)
- ◆**成績評価基準** 発表・質疑応答(60%)、授業時課題(主に論述)(30%)、その他(10%)。最終的には、以上の全体を見わたして「総合的に評価」する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔日本史概説 / 日本史概論〕

鍋本 由徳

◆**授業概要** 本科目では、①「日本史」とは何か、②原始・古代～現代までの歴史の変遷、③「歴史事実」の多様性への理解などを、世界のなかでの日本を意識しながら学び、「日本史」全体を考える技術と態度の修得をめざします。社会経済や文化を中心に据えながら、政治・外交の影響に関わる理解を深めます。

◆**学修到達目標** 1. 日本史を知るため、全時代を通じた時代の流れを説明できるようにする。
2. 各時代の社会運動や文化形成の背景や意義、着眼点について説明できるようにする。
3. 将来教壇に立つ者として必要な知識と学修姿勢を身につける。

◆**授業方法** 事前に教科書で時代概要を把握していることを前提に講義します。当日の授業はプリント・スクリーン投影資料を併用しながら教科書の内容を補足し、適宜思考を促す発議をします。講義内容の理解を深めるため、受講生数により、都内の施設巡見を2日目に実施する場合もある（費用受講生実費）。

◆**履修条件** 2018 年度昼間・土曜スクーリング（後期）「日本史概説」修得済の学生、2019 年度昼間スクーリング（後期）「日本史概説」受講予定の学生は履修不可

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 日本史概説の参考文献と辞典 「日本史概説」の目的、参考文献と辞典について学びます。 事前学修 シラバスを熟読し、講義全体の流れをおさえておく。 事後学修 各回の意図を振り返り、今後の自身の学修目標を立てる。
2 回	授業内容 倭五王に至るまで 主に弥生時代における「クニ」「倭連合」の特徴について学びます。 事前学修 教科書の倭五王の範囲を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
3 回	授業内容 冊封体制と列島～倭五王と飛鳥～ 冊封体制からの離脱をめぐる外交について学びます。 事前学修 教科書の冊封に関わる範囲を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
4 回	授業内容 古代の歴史認識～記紀の成立～ 『古事記』『日本書紀』の成立事情について学びます。 事前学修 教科書の古代文化の範囲を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
5 回	授業内容 荘園制度と武士団の形成～平氏政権～ 武士の成立と平氏政権の特徴について学びます。 事前学修 教科書の平安時代政治史を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
6 回	授業内容 元寇と得宗体制～徳政～ 元寇前後の得宗政治、徳政の意義について学びます。 事前学修 教科書の鎌倉時代政治史の範囲を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
7 回	授業内容 室町幕府と「日本国王」～政治と外交～ 足利義満の外交を東アジア情勢から学びます。 事前学修 教科書の中世後期アジアと日本の範囲を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
8 回	授業内容 中世文化～鎌倉・室町～ 院政期から東山文化までの文化的特徴を学びます。 事前学修 教科書の中世文化の範囲を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
9 回	授業内容 戦国社会と近世社会～中世から近世へ～ 兵農分離政策から移行期の特徴を学びます。 事前学修 教科書の近世朝廷に関わる範囲を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
10 回	授業内容 三大改革と江戸文化～社会の変容～ 三大改革と文化から、社会の変容を学びます。 事前学修 教科書の幕藩体制の確立・動揺の範囲を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
11 回	授業内容 明治時代の政治・社会運動～自由民権運動の展開～ 運動を導く社会背景を学びます。 事前学修 教科書の自由民権運動と議会の範囲を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
12 回	授業内容 米騒動と都市での憂い～大正の世相～ 大戦不況と都市問題について学びます。 事前学修 教科書の近代社会運動に関わる範囲を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
13 回	授業内容 太平洋戦争と国民生活～国民文化と大衆文化～ 国策としての文化政策を学びます。 事前学修 教科書の太平洋戦争の範囲を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
14 回	授業内容 新たな日本へ～東西冷戦と高度経済成長～ 高度経済成長・東西冷戦を学びます。 事前学修 教科書の高度経済成長の範囲を読み、事前シートの課題に取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
15 回	授業内容 講義総括 日本史概説の振り返りと今後の課題 学びを改めて振り返ります。 事前学修 第 1 回から第 14 回の学修内容の要点をまとめておく。 事後学修 当日配付されたプリントから自身の弱点を知り、重点復習箇所を確認する。

◆**教科書** 教材 『日本史概説 / 日本史概論 K32200/Q30200』 通信教育教材（教材コード 000382）2,850 円（送料込）
〈この教材は市販の『概論 日本歴史』佐々木潤之介著（吉川弘文館）と同一です。〉
〔当日資料配布〕 参照プリントを 1～2 枚配付

◆**参考書** 配布プリントで適宜紹介する

◆**成績評価基準** 授業内提出レポート（70%）、授業内小テスト（30%）の総合評価 ※全日出席することを前提とした評価です。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

(西洋史演習 I・II)

藤井 信行

- ◆**授業概要** 歴史学の勉強を卒業論文に集約させることが目的です。そのため、授業をとおして卒業論文のテーマ決定・文献目録の作成・文献の解説・事実の解釈、および研究史の整理・資料の収集・論証とは?など1つ1つステップを積み重ね、歴史学の論文を書くことへとつながっていきます。
- ◆**学修到達目標** 歴史とは、事実の積み重ねがおのずから歴史を創っていくのではなく、歴史家がいくつもの事実を解釈することをおして創られていくものであることを理解する。それをおして、自己のテーマで学生各自が事実を解釈し、論文にまとめる(歴史を書く)ことを目的とする。
- ◆**授業方法** 歴史学の卒業論文を完成させるためのステップを、1つずつゼミナール形式で進めます。3年次生(来年度の卒論提出予定者)は、これをモデルにして同じステップを各自の論文テーマで行います。4年次生(今年12月に提出予定者)は、これを今一度自分の論文で確認しつつ論文を完成させてください。3年・4年次生ともに授業内でのそれまでの研究成果を報告してもらうとともに、報告内容についてディスカッションを行います。
- ◆**履修条件** 2019年度昼間スクーリング(前期)「西洋史演習 I・II」との積み重ね不可
- ◆**授業計画 [各90分]**

1回	授業内容: 歴史学の論文を書く: まずこの授業の全体像と具体的な進め方を説明する。つづいて歴史学の論文を書く上で重要な2つのポイント「参考文献目録の作成」と「研究史の整理」について説明する。 事前学修: テキスト第2章(41~78頁)をよく読んでおくこと。 事後学修: 2つのポイントについて、授業内容とテキストをノートにまとめ、それぞれを確認し理解する。
2回	授業内容: 歴史学とは?: 歴史学(歴史)を構成している2つの重要なキーワードとして「事実」と「解釈」を挙げる事が出来る。新しい「事実」が発見されれば、つねにそれに従って新しい「解釈」が生まれる。歴史学はその積み重ねであることを説明する。 事前学修: テキスト第3章(79~126頁)をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、2つのキーワード「事実」と「解釈」を理解する。
3回	授業内容: 「事実」について: 事実の積み重ねがおのずから歴史を創っていくのではなく、歴史とは歴史家による「事実」の「解釈」であり、歴史家がいくつもの事実を解釈することをおして創られていくものであることを解説する。 事前学修: テキスト第1章(1~40頁)をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、2つのキーワード「事実」と「解釈」を理解する。
4回	授業内容: 一般的事実と歴史的事実(1): 一般的事実と歴史的事実の違いについて説明するとともに、歴史学の論文(プリントを配布)を読んで、一般的事実を拾い集めリストアップする。 事前学修: 配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業で作成した事実のリストアップ表を(授業中に未完の学生は完成させる)、配布資料と照らし合わせて確認する。
5回	授業内容: 一般的事実と歴史的事実(2): リストアップした一般的事実の中から、自己の解釈を証明してくれる事実(歴史的事実)をピックアップして、レポートにまとめる。 事前学修: 作成したリストアップ表をよく読んでおく。 事後学修: まとめたレポートを提出用に完成させる→次回授業時に提出。
6回	授業内容: 参考文献目録の作成(1): 共通テーマ「第1次世界大戦原因論」で参考文献の検索・目録の作成を行う。 事前学修: 参考書「歴史学」第8部をよく読んでおくこと。 事後学修: ネットを利用した検索方法を各自で再確認する。
7回	授業内容: 参考文献目録の作成(2): 各自の卒業論文のテーマ(まだテーマ未決定の学生は関心のあるテーマ)で参考文献の検索・目録の作成を行う。 事前学修: 各自、参考文献を1つ選び、よく読んでおく。 事後学修: 授業の時間内では取り上げられなかったキーワードの組み合わせで、さらに検索をかけてみる。
8回	授業内容: 史料批判(1): 歴史学における史料批判とは何か? また歴史学における史料批判の必要性は何か? を解説する。 事前学修: テキスト第1章(1~40頁)をよく読んでおくこと(特に16~22頁)。 事後学修: テキストと授業ノートを整理し、内容を確認・理解する。
9回	授業内容: 史料批判(2): 外交文書集や個人の自伝などに掲載されている書簡などは、事実であるけれども、たとえば著者が考えた事実であったり、あるいはその他にも事実が存在することもある。こうしたことを、実際の例を挙げて解説する。(プリントを配布) 事前学修: 配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業内容を配布資料でよく確認し、歴史学における史料批判の必要性を理解する。
10回	授業内容: 編年表を作る(1): 共通テーマとして歴史学の関連図書(通信教材「歴史学」)を読んで、出来事を編年形式でまとめる。 事前学修: 第4回・5回授業で作成したリストアップ表を1度よく読んでおくこと。 事後学修: テーマについての出来事の経緯(編年表)を(未完の学生は完成させ)確認し理解する。
11回	授業内容: 編年表を作る(2): 各自のテーマに関する論文を読み、出来事を編年形式でまとめる。 事前学修: 各自、参考文献を1つ選び、よく読んでおく。 事後学修: テーマについての出来事の経緯(編年表)を(未完の学生は完成させ)確認し理解する。
12回	授業内容: 3年次生のテーマ決定報告とディスカッション(1): 学生それぞれの報告と報告内容(テーマ・章立て・論証内容など)についてのディスカッションを行う。 事前学修: 各自の報告を準備するとともに、他の学生たちの報告要旨(事前に配布する)をよく読んでおく。積極的にディスカッションに参加できる準備を整えておく。 事後学修: 報告に関してのディスカッションの内容を確認し理解する。
13回	授業内容: 3年次生のテーマ決定報告とディスカッション(2): 学生それぞれの報告と報告内容(テーマ・章立て・論証内容など)についてのディスカッションを行う。 事前学修: 各自の報告を準備するとともに、他の学生たちの報告要旨(事前に配布する)をよく読んでおく。積極的にディスカッションに参加できる準備を整えておく。 事後学修: 報告に関してのディスカッションの内容を確認し理解する。
14回	授業内容: 4年次生の卒業論文中間報告とディスカッション(1): 学生それぞれの報告と報告内容(テーマ・章立て・論証内容など)についてのディスカッションを行う。 事前学修: 各自の報告を準備するとともに、他の学生たちの報告要旨(事前に配布する)をよく読んでおく。積極的にディスカッションに参加できる準備を整えておく。 事後学修: 報告に関してのディスカッションの内容を確認し理解する。
15回	授業内容: 4年次生の卒業論文中間報告とディスカッション(2): 学生それぞれの報告と報告内容(テーマ・章立て・論証内容など)についてのディスカッションを行う。 事前学修: 各自の報告を準備するとともに、他の学生たちの報告要旨(事前に配布する)をよく読んでおく。積極的にディスカッションに参加できる準備を整えておく。 事後学修: 報告に関してのディスカッションの内容を確認し理解する。

- ◆**教科書** 通材『西洋史入門 Q20300』通信教育教材(教材コード000047)1,700円(送料込)
この教材は市販の「歴史とは何か」E.H.カー著(岩波書店)と同一です。
- ◆**参考書** 通材『西洋史特講 I Q31200』通信教育教材(教材コード000156)2,000円(送料込)
通材『歴史学 B11100』通信教育教材(教材コード000393)1,950円(送料込)
- ◆**成績評価基準** レポート2回(2日目と最終授業時)各30%×2、報告40% 毎回出席することを前提に評価します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国際経済論〕

田宮 憲

- ◆**授業概要** まず、日本経済における国際貿易が果たす役割を概説し、貿易理論の基礎を整理します。その後、現代の複雑な貿易パターンを理解するための様々な新しい貿易理論を紹介します。また、関税政策等の基本的な貿易政策についても学修し、実際に行われる貿易政策の意義を考えるために、現実のホット・イシューである「自由貿易論争」について整理します。その際、経済学的な論点以外にも配慮して、説明します。
- ◆**学修到達目標** 国際貿易に関する理論・政策の基本を学び、現代国際貿易の潮流を把握することを学修目標とします。具体的には、本講義の受講によって、受講生は、(1) 日本経済における国際貿易の役割、(2) 国際貿易理論の概要、(3) 実際の貿易政策を理解し、説明できるようになります。また、これらの知識をもとに「自由貿易論争」について、ある一定の見解を示すことができるようになります。
- ◆**授業方法** 授業計画に記されたトピックスについて、講義中心に授業を構成します。各時限の最後に受講生自ら、リフレクション・ノート（授業の振り返りノート）をまとめ、各回の学修の定着を図ります。そのまとめが記述式テストの準備になるように配慮します。ただし、受講人数により、授業構成、授業方法を変更することがあります。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	ガイダンスおよび国際経済の全体像の解説
	事前学修	
	事後学修	授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
2 回	授業内容	国際経済の変遷と日本経済の解説（キーワード）戦後の国際経済体制、変動相場制、円高
	事前学修	キーワードの意味を確認しておく
	事後学修	授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
3 回	授業内容	日本の国際貿易の変遷を解説（キーワード）日本の比較優位構造、輸出生産比率
	事前学修	キーワードの意味を確認しておく
	事後学修	授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
4 回	授業内容	日本の国際経済関係の変化を解説（キーワード）日米貿易摩擦、新興工業諸国群
	事前学修	キーワードの意味を確認しておく
	事後学修	授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
5 回	授業内容	伝統的貿易理論の解説（キーワード）比較優位論、ヘクシャー＝オリーンの定理
	事前学修	キーワードの意味を確認しておく
	事後学修	授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
6 回	授業内容	新貿易理論の解説（キーワード）新貿易理論（クルーグマン・モデル）、産業内貿易
	事前学修	キーワードの意味を確認しておく
	事後学修	授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
7 回	授業内容	新々貿易理論の解説（キーワード）新々貿易理論（メリッツ・モデル）、企業内貿易
	事前学修	キーワードの意味を確認しておく
	事後学修	授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
8 回	授業内容	多国籍企業の行動に関する解説（キーワード）多国籍企業、直接投資、フラグメンテーション
	事前学修	キーワードの意味を確認しておく
	事後学修	授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
9 回	授業内容	基本的な貿易政策の解説（キーワード）関税
	事前学修	キーワードの意味を確認しておく
	事後学修	授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
10 回	授業内容	基本的な貿易政策の解説（キーワード）非関税障壁
	事前学修	キーワードの意味を確認しておく
	事後学修	授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
11 回	授業内容	近年の国際貿易環境の変化を解説（キーワード）WTO、FTA、EPA
	事前学修	キーワードの意味を確認しておく
	事後学修	授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
12 回	授業内容	自由貿易論争について（キーワード）自由貿易、保護主義
	事前学修	キーワードの意味を確認しておく
	事後学修	授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
13 回	授業内容	日本は自由貿易をさらに推進すべきか（キーワード）輸出促進、国内産業保護、消費者利益
	事前学修	キーワードの意味を確認しておく
	事後学修	授業後にリフレクション・ノート（授業の振り返りノート）の提出
14 回	授業内容	授業の総まとめ
	事前学修	前回までの授業の総復習
	事後学修	記述式テストの準備
15 回	授業内容	記述式テスト
	事前学修	
	事後学修	

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕特に指定しません。授業当日に資料・プリント等を配布します。
- ◆**参考書** 特に指定しません。
- ◆**成績評価基準** (1) 授業への主体的参加（各授業におけるリフレクション・ノート等の提出）30%
(2) 論述式テスト（日本経済が直面する国際貿易の諸問題に関するテスト）70%
成績評価規程・基準を記したルーブリックを配布します。また毎回出席することを単位取得の前提とします。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔地方財政論〕 オープン受講：不可

金子 林太郎

◆**授業概要** 私たちは生まれて(生まれる前)から死ぬ(死んだ後)まで、さまざまな公共サービスの便益を受けている。その多くは地方政府(それも主に市町村)によって提供されている。本講義では、私たちの生活に身近な公共サービスを供給する地方財政(特に市町村の財政)が、国の財政とどのような関係を持ち、どのように組織され、機能し、問題を抱えているのかを学ぶ。また、個々の自治体の財政状況についても理解できるようになることを目指す。

◆**学習到達目標** 1. 地方財政の意義と役割について理解し、概要を説明できるようになる。
2. わが国の地方財政の現状と課題を理解し、課題に対してどのような考えを持てるようになる。
3. 身近な地方自治体の財政状況が健全かどうかについて簡単な分析ができるようになる。

◆**授業方法** スクリーンに資料を提示し、プリントの内容を解説しながら進める。受講者は、解説を聞きながら重要だと思った内容をノートやプリントの余白にメモしながら聞くことが望ましい。授業の終盤に重要なポイントの理解を確認するための小テストを数回実施するほか、1日目、2日目の授業の終わりにはその日に学んだことについてのリアクションペーパーの提出を求める。

◆授業計画 (各90分)

1回	授業内容: オリエンテーション、地方財政とは何か はじめに授業の進め方や評価方法を説明する。その後、地方自治や地方自治体の制度の説明を通して、地方財政とは何かを解説する。 事前学修: 『平成30年版地方財政白書ビジュアル版(平成28年度決算)』(http://bit.ly/2AAIXhk,以下『ビジュアル版』と記す)の全体にざっと目を通しておくこと。余裕があれば、総務省ホームページ「地方財政関係資料」(http://bit.ly/2ADarTv)にも目を通しておくこと。 事後学修: プリントやノートを見直して、重要なポイントを整理しておくこと。
2回	授業内容: 財政の役割と地方財政の守備範囲 財政(政府)の役割について解説した後、中央政府(国)と地方の役割分担について理論と実際を解説する。 事前学修: 総務省HP『ビジュアル版』の2~4頁を閲覧しておくこと。 事後学修: プリントやノートを見直して、重要なポイントを整理しておくこと。
3回	授業内容: 国と地方の財政関係 国と地方の間の税財源の配分を紹介して、わが国では国と地方が財政面で密接な関係(政府間財政関係)を持っていることを解説する。さらに、具体的にどのような関係にあるのか地方財政計画にもとづいて説明する。 事前学修: 総務省ホームページ「地方財政関係資料」に目を通しておくこと。 事後学修: プリントやノートを見直して、重要なポイントを整理しておくこと。
4回	授業内容: 地方財政の歳出、地方自治体の予算制度 前半は、地方自治体の歳出を分析するための経費分類を説明し、地方財政がどのような役割をどのように果たしているのかを解説する。後半は、地方財政をコントロールする(歳出の内容を決める)手段である地方自治体の予算について解説する。 事前学修: 『ビジュアル版』の14~19頁を閲覧しておくこと。 事後学修: プリントやノートを見直して、重要なポイントを整理しておくこと。
5回	授業内容: 地方自治体の収入構造、地方税の意義、地方税原則、地方税の体系 前半は、地方自治体のさまざまな収入要素を大まかに説明する。後半は、地方自治体の収入の基本である地方税について、その意義、地方税原則、地方税の体系を説明する。 事前学修: 『ビジュアル版』の7~13頁、総務省ホームページ「地方税の概要」(http://bit.ly/2SFguxv)や「地方税収等の状況」(http://bit.ly/2SKELCy)を閲覧しておくこと。 事後学修: プリントやノートを見直して、重要なポイントを整理しておくこと。
6回	授業内容: 住民税、事業税 主な地方税として、所得に対する税である住民税と事業税の現状や課題について解説する。 事前学修: 総務省ホームページ「地方税の概要」を閲覧しておくこと。 事後学修: プリントやノートを見直して、重要なポイントを整理しておくこと。
7回	授業内容: 地方消費税、固定資産税 主な地方税として、消費に対する税である地方消費税と資産に対する税である固定資産税の現状や課題について解説する。 事前学修: 総務省ホームページ「地方税の概要」を閲覧しておくこと。 事後学修: プリントやノートを見直して、重要なポイントを整理しておくこと。
8回	授業内容: 課税自主権(法定外税など)、地方税の課題 地方自治体の独自課税(法定外税)などについて意義や制度、現状を説明した後、地方税の課題についてまとめる。 事前学修: 総務省ホームページ「地方税の概要」や「地方税収等の状況」を閲覧しておくこと。 事後学修: プリントやノートを見直して、重要なポイントを整理しておくこと。
9回	授業内容: 地方財政調整の意義と諸制度 まず地方自治体間にどのような財政的な不均衡があるのかを説明し、その後に財政調整の手段としてどのようなものがあるのか概要を解説する。 事前学修: 総務省ホームページ「地方財政制度」(http://bit.ly/2ACpb4V)を閲覧しておくこと。 事後学修: プリントやノートを見直して、重要なポイントを整理しておくこと。
10回	授業内容: 地方交付税の仕組みと機能 国から地方への財政移転であり、地方財政調整の役割を担う地方交付税について、仕組みと機能を解説する。 事前学修: 総務省ホームページ「地方交付税」(http://bit.ly/2SK4UBB)に目を通しておくこと。 事後学修: プリントやノートを見直して、重要なポイントを整理しておくこと。
11回	授業内容: 国庫支出金 国から地方への財政移転の1つである国庫支出金(いわゆる補助金)について、現状や問題点を解説する。 事前学修: 『ビジュアル版』の7頁を閲覧しておくこと。 事後学修: プリントやノートを見直して、重要なポイントを整理しておくこと。
12回	授業内容: 地方債 地方自治体の借金である地方債について、その意義や現状、問題点を解説する。 事前学修: 『ビジュアル版』の26頁を閲覧しておくこと。 事後学修: プリントやノートを見直して、重要なポイントを整理しておくこと。
13回	授業内容: 地方自治体の財政状況の分析、財政健全化 前半は、個々の地方自治体の財政状況を分析する意義、方法(分析指標や視点)について解説する。後半は、地方自治体の財政健全化に向けた動きを説明する。 事前学修: 総務省ホームページ「地方財政の分析」(http://bit.ly/2AMfrVZ)や『ビジュアル版』の33~36頁を閲覧しておくこと。 事後学修: プリントやノートを見直して、重要なポイントを整理しておくこと。
14回	授業内容: 個別の地方自治体の財政状況の事例分析、まとめ 決算カード等の公表資料を手がかりに、いくつかの地方自治体の財政分析事例を紹介し、自治体財政分析の進め方について理解を深めてもらう。後半には、本講義全体を振り返り、まとめを行う。 事前学修: 配布資料(サンプルとする自治体の決算カード)に目を通しておくこと。 事後学修: プリントやノートを見直して、重要なポイントを整理しておくこと。
15回	授業内容: 最終試験と解説 事前学修: これまでの授業内容を振り返り、重要なポイントを確認しておくこと。 事後学修: 講義全体を振り返り、自分の住んでいる自治体の財政状況について自ら調べてみる。

◆**教科書** [当日資料配布] 特定の教科書は使用しない。当日にプリントを配布する。

◆**参考書** 丸沼『地方財政を学ぶ』沼尾波子ほか著 有斐閣 2,592円(税込)(送料300円)
『平成30年版地方財政白書ビジュアル版(平成28年度決算)』総務省編
(http://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/30data/index.htmlで閲覧可)
総務省ホームページ(詳細は授業中に説明する)

◆**成績評価基準** 最終試験(50%)、授業中の小テスト(30%)、リアクションペーパーの内容(20%)により総合的に評価する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

〔労働経済論〕

村上 英吾

◆**授業概要** 本講義の目標は、雇用・失業、賃金、労働時間ならびに働き方・働かされ方に関する諸問題を経済学的に分析する視点を身につけることです。はじめに、応用ミクロ経済学としての労働経済学における基本的な理論を学び、それを批判的に検討した上で、現代日本の身近な労働問題について考えていきたいと思います。

◆**学修到達目標** 本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。

1. 経済学、政治経済学的な諸理論を応用して現代日本の労働問題の実態について説明できる
2. 労働市場制度改革のあり方について、理論的・実証的根拠に基づき考察できる

◆**授業方法** 事前に講義スライドと関連資料を Web ページから配付し、スライドに沿って講義を進めます。ただし、講義の内容や進度は、受講生の理解の程度、経済状況の変化や要望等により変更することがあります。なお、講義時間内に簡単な小テストの実施を予定しています。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 労働市場の基本モデル（新古典派の労働供給理論）について解説します。 事前学修 資料 2（スライド 1～17）を読み、新古典派の労働供給理論の概要を把握してください。 事後学修 新古典派労働供給理論を踏まえて新古典派的労働者像の特徴を説明できるようにしましょう。
2 回	授業内容 政治経済学の労働供給理論について説明します。 事前学修 資料 2（スライド 19～23）を読み、政治経済学の労働供給理論の概要を把握してください。 事後学修 政治経済学的労働供給理論を踏まえて政治経済学の労働者像の特徴を説明できるようにしましょう。
3 回	授業内容 労働市場の基本モデル（新古典派の労働需要理論）について解説します。 事前学修 資料 3（スライド 1～16）を読み、新古典派の労働需要理論の概要を把握してください。 事後学修 新古典派労働供給理論を踏まえて新古典派的労働者像の特徴を説明できるようにしましょう。
4 回	授業内容 労働時間決定をめぐる労使間利害対立について理論的に解説します。 事前学修 資料 4 を読み、新古典派的労働時間決定理論の問題点を把握してください。 事後学修 労働時間が法制度により規制される理由を理論的に説明できるようにしましょう。
5 回	授業内容 労働者統制モデルに基づく賃金決定について解説します。 事前学修 資料 5 を読み、労働者統制モデルに基づく賃金決定の概要を把握してください。 事後学修 競争的賃金決定と労働者統制モデルの違いを説明できるようにしましょう。
6 回	授業内容 労働者統制システムの理論について解説します。 事前学修 資料 6 を読み、労働者統制システムの理論の概要を把握しておいてください。 事後学修 労働者統制システムの理論を用いて職場の統制システムについて分析できるようにしましょう。
7 回	授業内容 日本的雇用慣行の特徴について解説します。 事前学修 資料 7（スライド 1～17）を読み、日本的雇用慣行の概要を把握してください。 事後学修 日本的雇用慣行の特徴を説明できるようにしましょう。
8 回	授業内容 近年の日本的雇用慣行の変容について解説します。 事前学修 資料 7（スライド 18～40）を読み、日本的雇用慣行の変容の動向を把握してください。 事後学修 近年の日本的雇用慣行の変容について説明できるようにしましょう。
9 回	授業内容 日本企業における労働時間制度の特徴について解説します。 事前学修 資料 8（スライド 1～17）を読み、日本の労働時間制度の特徴を把握してください。 事後学修 日本における長時間制度の特徴を説明できるようにしましょう。
10 回	授業内容 日本の長時間労働の実態について考察します。 事前学修 資料 8（スライド 18～39）を読み、日本の長時間労働の実態を把握してください。 事後学修 日本の労働時間制度を踏まえて長時間労働の原因について説明できるようにしましょう。
11 回	授業内容 長時間労働と「働き方改革」について解説します。 事前学修 資料 9 を読み、労働時間制度をめぐる議論とその帰結の概要を把握してください。 事後学修 日本の「働き方改革」の意義と限界について説明できるようにしましょう。
12 回	授業内容 90 年代半ば以降の日本の労働市場の動向についてマクロ的視点から解説します。 事前学修 資料 10（スライド 1～14）を読み、日本の労働市場の全体動向について把握してください。 事後学修 労働市場の動向をマクロ経済との関係から説明できるようにしましょう。
13 回	授業内容 90 年代半ば以降の非正規雇用の増加とその対策について解説します。 事前学修 資料 10（スライド 15～37）を読み、日本の労働市場の全体動向について把握してください。 事後学修 90 年代半ば以降の非正規雇用増加の問題とその対策について説明できるようにしましょう。
14 回	授業内容 同一労働同一賃金に向けた取り組みについて解説します。 事前学修 資料 11 を読み、同一労働同一賃金をめぐる動向について概要を把握してください。 事後学修 日本における同一労働同一賃金の実現に向けた政策の意義と限界について説明できるようにしましょう。
15 回	授業内容 理解度の確認と解説 事前学修 講義内容全体について復習しておいてください。 事後学修 講義内容を踏まえて、現代日本の労働問題と労働政策について説明できるようにしましょう。

◆**教科書** テキストは使用しません。

◆**参考書** 丸沼『労働経済学入門 新版』太田・橘木 有斐閣 2012 年 1,836 円（税込）（送料 300 円）
一般的な「労働経済学」のテキストです。
丸沼『よくわかる社会政策 [第 2 版]』石畑・牧野編 ミネルヴァ書房 2014 年 2,808 円（税込）（送料 350 円）
労働政策の動向について参考になるテキストです。
丸沼『入門 社会経済学』宇仁・坂口・遠山・鍋島著 ナカニシヤ出版 3,240 円（税込）（送料 350 円）
「社会経済学」の新しいテキストです。批判的な視点から経済学を学べます。

◆**成績評価基準** 授業内の小テスト（20%）、最終日の筆記試験（70%）、授業への参画度（10%）により総合的に評価します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

【保険総論】

岡田 太

◆**授業概要** 保険理論の基礎を通じて、保険がなぜ社会に存在するのか、その存在意義を明らかにする。一方、保険が存在するためにもたらす社会的コストのうち逆選択とモラルハザードをとりあげ、具体例を用いて説明する。次に、日本の保険市場150年の軌跡について、商品と流通の視点から概観する。最後に、ビッグデータ、AIなどの保険への適用事例を紹介し、今後を展望する。

◆**学修到達目標** 保険の基礎理論を理解し、それをもとに、保険に関する諸問題を分析、考察し、改善することができるようになる。
・保険市場を150年という時間的視野でとらえ、新たな環境変化のもとで保険ビジネスがどのように変化していくかを理解し、説明することができるようになる。
・グループワークを通じて、具体的な保険の課題に対する問題設定、仮説論証を行うことができるようになる。

◆**授業方法** 講義とグループワークの2本立てで実施する。講義はスライドによる説明に加え、演習問題を随時織り交ぜ知識の定着を目指す。グループワークは3～4人でグループを結成してから、テーマを決定し計画書を作成する。その後、レポート作成、発表、ディスカッション、レポート提出の順序で進める。最後に、授業のまとめと復習を行い、テストを実施する。レポートは1人2000字程度を目安とする。なお、文献・資料調査を行うため、インターネットに接続できるノートPCがあると便利である。

◆**授業計画（各90分）**

1回	授業内容：ガイダンス、保険の存在意義－リスクとは何かから紐解き、保険の果たす役割を学ぶ 事前学修：教科書の第1章と第2章を精読し、キーワードを理解する 事後学修：講義内容と配布資料（演習問題）を確認し、理解する
2回	授業内容：保険の仕組み－保険の原理・原則を学び、保険の機能・経済効果を理解する 事前学修：教科書の第3章を精読し、キーワードを理解する 事後学修：講義内容と配布資料（演習問題）を確認し、理解する
3回	授業内容：保険の機能を制約する問題：①逆選択－リスク細分型保険の意義と課題を学ぶ 事前学修：教科書の第6章を精読し、キーワードを理解する 事後学修：講義内容と配布資料（演習問題）を確認し、理解する
4回	授業内容：保険の機能を制約する問題：②モラルハザード－保険におけるロスコントロールの重要性を学ぶ 事前学修：教科書の第6章を精読し、キーワードを理解する 事後学修：講義内容と配布資料を確認し、理解する
5回	授業内容：グループ・ミーティング：グループ毎にテーマ決定、計画書の完成 事前学修：グループワークの進め方を理解し、参加するための準備を行う 事後学修：計画書に従い、レポート作成を開始する
6回	授業内容：保険市場150年の軌跡：①商品－主要な保険商品の変遷を通じて保険商品のデザインについて考察する 事前学修：教科書の第7-12章を熟読し、保険の歴史、主要な保険商品の概要を理解する 事後学修：講義内容と配布資料を確認し、理解する
7回	授業内容：保険市場150年の軌跡：②流通－保険自由化以降を中心に保険流通の変革を学ぶ 事前学修：教科書の第16章を理解し、保険流通の概要を理解する 事後学修：講義内容と配布資料を確認し、理解する
8回	授業内容：近年の環境変化と保険：①ビッグデータ、AI－テレマティクス、健康増進支援型保険など最新技術を活用した保険を学ぶ 事前学修：配布資料を熟読し、ウェブサイトで示された関連資料にアクセスする 事後学修：講義内容と配布資料を確認し、理解する
9回	授業内容：近年の環境変化と保険：②インシュアテック－諸外国の動向もふまえて新しい時代の保険の可能性を探る 事前学修：配布資料を熟読し、ウェブサイトで示された関連資料にアクセスする 事後学修：講義内容と配布資料を確認し、理解する
10回	授業内容：グループ・ミーティング：レポート作成、プレゼンに向けた打ち合わせ 事前学修：レポートの草稿（完成度80%程度）を作成する 事後学修：レポートの完成稿を作成し、プレゼンの役割分担の確認と準備を行う
11回	授業内容：保険業の将来展望－日本およびグローバルな視点から保険業の変化を考える 事前学修：配布資料を熟読し、ウェブサイトで示された関連資料にアクセスする 事後学修：講義内容と配布資料を確認し、理解する
12回	授業内容：課題に対するプレゼンテーション（グループ毎に評価を行う） 事前学修：作成したレポートをもとにプレゼンの準備を行う 事後学修：プレゼンテーションのふりかえりを行う
13回	授業内容：課題に対するグループ・ディスカッション（ワークシートに記入） 事前学修：レポート、プレゼンをふまえてディスカッションの準備を行う 事後学修：ディスカッションのふりかえりを行う
14回	授業内容：まとめと確認・質疑応答 事前学修：テキストと講義資料を熟読し、疑問点を整理する 事後学修：ポイントを確認し、内容を整理すること
15回	授業内容：テストと解説 事前学修：授業内容で示したポイントを中心にテストの準備を行う 事後学修：テストを通じて理解不足な事項を確認し、理解できるようにする

◆**教科書** 教材『保険総論 S30600』通信教育教材（教材コード000578）3,800円（送料込）
〈この教材は市販の『はじめて学ぶリスクと保険（第4版）』下和田功著（有斐閣）と同一です。〉

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** テスト（50%）、レポート（25%）、プレゼンテーション・ディスカッション（15%）、授業参加度（10%）により、総合的に評価する。授業参加度は、演習問題に対する議論やグループワークに対する取り組みを指す。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔経営学〕 オープン受講：不可

海保 英孝

◆**授業概要** この講義の目的は、単に学問としての「経営学」に限らず、実際の「商売」に必要な初歩的な知識を体系的に学び、学び続ける能力を養うことにある。毎回ひとつの「テーマ」を設定し、それを中心に基礎的な概念などを学ぶ。最先端のアイデア、知識、経営手法よりも、初歩的な知識の学習を主眼とする。

◆**学修到達目標** 1. 株式会社の存立意義から実態までを説明することができる。
2. 経営の「数字」の基礎的な概念を説明し、計算、分析することができる。
3. 企業が取り組んでいる、基礎的な「工夫」について説明し、評価することができる。

◆**授業方法** 授業の前半は、テーマについて解説したうえで、経営の基礎的な概念について整理する。後半は、参加者諸君とのディスカッションやチーム別作業などを行っていく。

◆ 授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 株式会社の本質 事前学修 教科書（第 13 章）を読んで、わからない専門用語を調べておくこと。 事後学修 授業内容でわからなかったことを調べたうえで、テーマの答えを整理しておくこと。
2 回	授業内容 「大きな会社」のガバナンス（統治） 事前学修 教科書（第 13 章）を読んで、わからない専門用語を調べておくこと。 事後学修 授業内容でわからなかったことを調べたうえで、テーマの答えを整理しておくこと。
3 回	授業内容 簿記の基礎と財務諸表分析 事前学修 教科書（第 2 章）を読んで、わからない専門用語を調べておくこと。 事後学修 授業内容でわからなかったことを調べたうえで、テーマの答えを整理しておくこと。
4 回	授業内容 市場の変化と製品のライフサイクル 事前学修 教科書（第 3 章）を読んで、わからない専門用語を調べておくこと。 事後学修 授業内容でわからなかったことを調べたうえで、テーマの答えを整理しておくこと。
5 回	授業内容 確認テスト第 1 回と解説 事前学修 第 1 回から第 4 回までの内容を復習しておくこと。 事後学修 確認テストでわからなかったことを調べておくこと。
6 回	授業内容 需要・供給と市場構造分析 事前学修 教科書（第 4・5 章）を読んで、わからない専門用語を調べておくこと。 事後学修 授業内容でわからなかったことを調べたうえで、テーマの答えを整理しておくこと。
7 回	授業内容 業界構造分析と競争戦略 事前学修 教科書（第 6・7 章）を読んで、わからない専門用語を調べておくこと。 事後学修 授業内容でわからなかったことを調べたうえで、テーマの答えを整理しておくこと。
8 回	授業内容 確認テスト第 2 回と解説 事前学修 第 6 回から第 7 回までの内容を復習しておくこと。 事後学修 確認テストでわからなかったことを調べておくこと。
9 回	授業内容 コストダウンの原理 事前学修 教科書（第 8・10 章）を読んで、わからない専門用語を調べておくこと。 事後学修 授業内容でわからなかったことを調べたうえで、テーマの答えを整理しておくこと。
10 回	授業内容 損益分岐点分析 事前学修 教科書（第 13 章）を読んで、わからない専門用語を調べておくこと。 事後学修 授業内容でわからなかったことを調べたうえで、テーマの答えを整理しておくこと。
11 回	授業内容 デジタル技術の変化と競争戦略 事前学修 教科書（第 9 章）を読んで、わからない専門用語を調べておくこと。 事後学修 授業内容でわからなかったことを調べたうえで、テーマの答えを整理しておくこと。
12 回	授業内容 確認テスト第 3 回と解説 事前学修 第 9 回から第 11 回までの内容を復習しておくこと。 事後学修 確認テストでわからなかったことを調べておくこと。
13 回	授業内容 多角化と M&A 事前学修 教科書（第 10・11 章）を読んで、わからない専門用語を調べておくこと。 事後学修 授業内容でわからなかったことを調べたうえで、テーマの答えを整理しておくこと。
14 回	授業内容 経営品質の計算と評価 事前学修 教科書（第 12 章）を読んで、わからない専門用語を調べておくこと。 事後学修 授業内容でわからなかったことを調べたうえで、テーマの答えを整理しておくこと。
15 回	授業内容 期末試験および解説 事前学修 学習した内容すべてについて復習しておくこと。 事後学修 試験でわからなかったことを調べておくこと。

◆**教科書** 『戦略経営の基礎 講義資料』 戦略経営問題研究会編 戦略経営問題研究会
〈上記の本は、丸沼書店では取り扱っていませんので、Amazon 等で購入してください。〉

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 成績は確認テスト（3回、60%）と試験（1回、40%）で評価する。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔教育制度論〕

北野 秋男

◆**授業概要** 現代の学校教育を取り巻く様々な問題への理解を確実なものとするために、以下のトピックを取り上げ、多角的な授業を展開する。トピックの容は、近代公教育制度の成立（教育の権利と義務）、現代の学校を取り巻く制度改革や地域との連携、教師職務と専門性、学力と評価制度、教育委員会制度の改革、学校と地域の連携（コミュニティ・スクール）、学校安全への対応などである。現代の教育制度改革の理念や背景を理解したい。

◆**学修到達目標** 現代の国内外の学校制度改革の様々な動向を、基礎的事項や用語を中心に、分かりやすく解説する。その際に、社会の状況や歴史的背景を理解し、その変化が現代の学校教育にもたらす影響や課題を検討する。また、現代の学校教育を取り巻く様々な問題への理解を確実なものとするために、政治・経済・福祉・文化などの社会的観点からのアプローチも取り入れ、教育に関する広範囲で深い視野を育成しつつ、教育への基礎的・基本的な視座を養うことを目標にする。

◆**授業方法** 講義・グループ学習と討論・課題発表・レポート作成を組み合わせた多角的な授業を展開する。テキストを事前に丁寧に読んでおくこと。その際には、日本の教育制度の特徴や問題点などを念頭に置きながら読み進めること。新自由主義的な方向へと進む、我が国の教育制度改革の全体像を大まかに理解しておくこと。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：ガイダンス、全体の授業構成、課題の説明、評価方法など 事前学修：シラバスをよく読み、テキストを購入し、「はじめに」を読んでおくこと。 事後学修：授業の要点と課題をノートにまとめること。
2回	授業内容：欧米と日本における近代公教育制度の成立と展開 事前学修：テキストの序章を中心に予め読んでおくこと 事後学修：授業の要点と課題をノートにまとめること。
3回	授業内容：教育の権利と義務、学習権思想、「憲法」や「教育基本法」の理解 事前学修：テキストの序章を中心に予め読んでおくこと 事後学修：授業の要点と課題をノートにまとめること。
4回	授業内容：アメリカの学校選択制度、日本における学校選択制度導入の経緯と課題 事前学修：テキストの第1章を中心に予め読んでおくこと 事後学修：授業の要点と課題をノートにまとめること。
5回	授業内容：学級の運営と経営、生徒指導のあり方 事前学修：テキストの第2章を中心に予め読んでおくこと 事後学修：授業の要点と課題をノートにまとめること。
6回	授業内容：教師の職務内容と教師の専門性（研修制度） 事前学修：テキストの第5章を中心に予め読んでおくこと 事後学修：授業の要点と課題をノートにまとめること。
7回	授業内容：学習指導要領の変遷と学力観の推移 事前学修：テキストの第3章を中心に予め読んでおくこと 事後学修：授業の要点と課題をノートにまとめること。
8回	授業内容：教育委員会制度の歴史と課題、改正教育委員会制度の課題 事前学修：テキストの第4章を中心に予め読んでおくこと 事後学修：授業の要点と課題をノートにまとめること。
9回	授業内容：学校・教師と地域連携（コミュニティ・スクール設置の経緯） 事前学修：テキストの第5章を中心に予め読んでおくこと 事後学修：授業の要点と課題をノートにまとめること。
10回	授業内容：コミュニティ・スクールの全国的動向と事例 事前学修：参考書を使って、全国的な動向や実態を調べておくこと。 事後学修：授業の要点と課題をノートにまとめること。
11回	授業内容：学力評価とテスト（学校・地域・家庭の連携） 事前学修：テキストの第6章を中心に予め読んでおくこと 事後学修：授業の要点と課題をノートにまとめること。
12回	授業内容：テスト問題の作成と反省 事前学修：テキストの第6章を中心に予め読んでおくこと 事後学修：授業の要点と課題をノートにまとめること。
13回	授業内容：日米の格差社会の現状、格差と教育・学力への影響 事前学修：テキストの第7章を中心に予め読んでおくこと 事後学修：授業の要点と課題をノートにまとめること。
14回	授業内容：学校の事件・事故・災害と学校安全への取り組み 事前学修：過去の自然災害、学校内のいじめや暴力など、学校の安全に関する問題を調べる。 事後学修：授業の要点と課題をノートにまとめること。
15回	授業内容：最終試験、授業の総括 事前学修：テキスト、授業用のノートを丁寧に復習しておくこと。 事後学修：解答できなかった不明な箇所を確認し、復習しておくこと。

◆**教科書** 通材『教育制度論 T20200』通信教育教材（教材コード000579）3,100円（送料込）
〈この教材は市販の『教育学へのアプローチ～教育と社会を考える18の課題～』北野秋男編著（啓明出版）と同一です。〉

◆**参考書** 丸沼『地域運営学校成功への道しるべ』北野秋男編著 ぎょうせい 2,484円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 平常点（20%）、授業内の課題（30%）、最終試験（50%）で総合的に判断します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔社会科・公民科教育法Ⅱ〕

壽福 隆人

◆**授業概要** 中学校社会科・高等学校公民科の倫理分野を中心に、学習指導要領が掲げる指導目標を踏まえて、学習の意義を理解し、教育機器を用いた授業を設計・実施できる能力を育てる。

◆**学修到達目標** 世界には様々な価値観が存在することを前提として、それぞれの思想や倫理観がそれぞれの民族や社会の歴史や文化を踏まえて成立していることを、授業を通じて理解し考えることができる中学生や高校生を育てるための教材開発能力を身につける。とくに教育機器を用いた教材収集力と授業展開能力を身につけることを目標として、学習指導案を作成し、模擬授業を実施して教員としての資質を育てる。

◆**授業方法** 講義形式を中心に進められるが、並行して学習指導案作成のための教材研究を行い、適宜研究発表を行い、議論を通してよりよい学習指導案の作成方法を考える。さらに、模擬授業を実施して討論を通してより良い倫理分野の授業を考える。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 資料検索の方法（1）NDL を利用した資料収集の方法 事前学修 インターネットを用いた資料収集の体験 事後学修 国立国会図書館を利用してみる
2 回	授業内容 資料検索の方法（2）Researchmap を用いた資料収集の方法 事前学修 インターネットを用いた資料収集の体験 事後学修 研究者検索をやってみる
3 回	授業内容 資料収集と知的人権について考える 事前学修 インターネットを用いた資料収集の体験 事後学修 研究者は著作物を検索する
4 回	授業内容 中学生・高校生の倫理分野の知識について理解する 事前学修 中学校学習指導案を読んで中学生の倫理分野学習状況を調べる 事後学修 中学校学習指導案を読んで中学生の倫理分野学習状況を確認する
5 回	授業内容 中学生・高校生の倫理分野の知識について理解する 事前学修 高等学校学習指導案を読んで高校生が学ぶべき倫理について調べる 事後学修 高等学校学習指導案を読んで高校生が学ぶべき倫理について確認する
6 回	授業内容 倫理の学習指導案を作成する（1）古代ギリシャ思想を題材として 事前学修 インターネットで倫理学習指導案例をさがす 事後学修 倫理学習指導案例の良い部分や問題点についてまとめる
7 回	授業内容 倫理の学習指導案を作成する（2）世界の宗教を題材として 事前学修 倫理の資料について考える 事後学修 倫理で用いられている資料の価値について考える
8 回	授業内容 倫理の学習指導案を作成する（3）アジアの思想を題材として 事前学修 高校生が議論できる討論の議題について考える 事後学修 高校生が議論できる討論の議題としてよい議題と悪い議題について整理する
9 回	授業内容 倫理におけるディベートについて考える（1）近代ヨーロッパの思想を題材として 事前学修 ディベートの題材を考える 事後学修 倫理学習におけるディベートの成果について考える
10 回	授業内容 倫理におけるディベートについて考える（2）アメリカの思想を題材として 事前学修 ディベートの題材を考える 事後学修 倫理学習におけるディベートの成果について考える
11 回	授業内容 倫理模擬授業のためのマイクロティーチング（1）民主主義を題材として 事前学修 文字資料を用いた授業案を作成してみる 事後学修 文字資料を用いた授業の良い点悪い点を整理する
12 回	授業内容 倫理模擬授業のためのマイクロティーチング（2）平和主義を題材として 事前学修 討論を用いた授業案を作成してみる 事後学修 討論を用いた授業の良い点悪い点を整理する
13 回	授業内容 倫理模擬授業のためのマイクロティーチング（3）資本主義の思想を題材として 事前学修 グループ発表を用いた授業案を作成してみる 事後学修 グループ発表を用いた授業の良い点悪い点を整理する
14 回	授業内容 倫理模擬授業のためのマイクロティーチング（4）社会主義の思想を題材として 事前学修 作業を用いた授業案を作成してみる 事後学修 作業を用いた授業の良い点悪い点を整理する
15 回	授業内容 倫理の学習の意義についてまとめる 事前学修 これまでの検討してきた倫理の授業案をまとめる 事後学修 倫理の授業を作成するときの留意点についてまとめる

◆**教科書** 中学校学習指導要領・高等学校学習指導要領
丸沼『新編歴史教育課題と教育の方法・技術』 壽福隆人著 DTP 出版 平成 31 年 2,592 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 出席と提出物で総合評価する。また、討論中の発言も評価の重要な材料とする。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語科教育法Ⅲ〕

吉良 文孝

◆**授業概要** 高校の教科書（中級レベル）を使用して模擬授業を行ないます。教える内容を「リーダー」（6名）と「文法」（4名）とに分け、1人50分間の授業をします。模擬授業内での生徒役となる受講者からの質問等への即応力が求められることもあり、実際に50分間の授業をすることの難しさを実感することになります。模擬授業終了後のフィードバック（生徒役、ならびに教員からのコメントや質疑等）により、1つの授業をまとめあげることのノウハウを学びます。

◆**学習到達目標** 教師役の受講者は、1つの授業を何とか切り盛りすることの困難さと達成感を実感することになります。生徒役からの「予想外の質問に即応し、限られた時間内に授業をまとめ上げる」能力を身につけることができます。生徒役の受講者は、「模擬授業の進行（展開）を学ぶ」ことはもちろんですが、模擬授業内での質問を投げかける（時として、答えがわかっていることを敢えて教師役に質問することにより、「質問に対する教師役の説明の良し悪しを自身になぞらえて学ぶ」こと）になります。これは、教師役の説明から何事かを学び、自分の立場を生徒役から教師役に置き換えていることでもあります。その意味では、生徒役も教師役といえるでしょう。

◆**授業方法** 1人でも多くの受講者が模擬授業をすることができるように、20分、30分の短時間の模擬授業をするよりも、実際の現場での授業のように、50分間を何とか1人で切り盛りし、授業としてまとめあげることに意義があります。上述のとおり、生徒役は、ある意味では、教師役でもありますから、10名による模擬授業でも回数としては十分と考えます。模擬授業の教師役10名は、受講者の皆さんで決めることとなります。「教師役を是非やってみたい！」という人は、事前送付される模擬授業教材の入念な下調べが必要となります。なお、教授材料の具体的な内容は、リーダーが「月面着陸の話」、文法は、「時制」と「5文型」を扱います。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：授業の進め方・オリエンテーション 事前学修：事前送付資料（模擬授業の教授材料）の下調べ。 事後学修：次の模擬授業範囲の入念な下調べ。
2回	授業内容：模擬授業に向けての事前講義（1）－「英語の授業は英語で」の意味合いについて 事前学修：講義内容配付資料の熟読。 事後学修：講義内容の整理。
3回	授業内容：模擬授業に向けての事前講義（2）－「母語力と外国語能力」について 事前学修：講義内容配付資料の熟読。 事後学修：講義内容の整理。
4回	授業内容：模擬授業（1回目）[リーダー：p. 76] 事前学修：1回目模擬授業範囲の入念な下調べ。 事後学修：1回目模擬授業内容とフィードバック内容の整理。
5回	授業内容：模擬授業（2回目）[リーダー：p. 77] 事前学修：2回目模擬授業範囲の入念な下調べ。 事後学修：2回目模擬授業内容とフィードバック内容の整理。
6回	授業内容：模擬授業（3回目）[リーダー：p. 78] 事前学修：3回目模擬授業範囲の入念な下調べ。 事後学修：3回目模擬授業内容とフィードバック内容の整理。
7回	授業内容：模擬授業（4回目）[リーダー：p. 79からp. 80の3行目（the Columbia）まで] 事前学修：4回目模擬授業範囲の入念な下調べ。 事後学修：4回目模擬授業内容とフィードバック内容の整理。
8回	授業内容：模擬授業（5回目）[リーダー：p. 80の4行目からp. 80の最終行まで] 事前学修：5回目模擬授業範囲の入念な下調べ。 事後学修：5回目模擬授業内容とフィードバック内容の整理。
9回	授業内容：模擬授業（6回目）[リーダー：p. 82とP. 84] 事前学修：6回目模擬授業範囲の入念な下調べ。 事後学修：6回目模擬授業内容とフィードバック内容の整理。
10回	授業内容：模擬授業（7回目）[文法：5文型（1）] 事前学修：7回目模擬授業範囲の入念な下調べ。 事後学修：7回目模擬授業内容とフィードバック内容の整理。
11回	授業内容：模擬授業（8回目）[文法：5文型（2）] 事前学修：8回目模擬授業範囲の入念な下調べ。 事後学修：8回目模擬授業内容とフィードバック内容の整理。
12回	授業内容：模擬授業（9回目）[文法：時制（1）] 事前学修：9回目模擬授業範囲の入念な下調べ。 事後学修：9回目模擬授業内容とフィードバック内容の整理。
13回	授業内容：模擬授業（10回目）[文法：時制（2）] 事前学修：10回目模擬授業範囲の入念な下調べ。 事後学修：10回目模擬授業内容とフィードバック内容の整理。
14回	授業内容：模擬授業全範囲の総復習 事前学修：模擬授業全範囲の再読。 事後学修：模擬授業全範囲の復習・整理。
15回	授業内容：試験、およびその解説 事前学修：事前送付資料（模擬授業の教授材料）全体の整理と「授業案」の作成。 事後学修：試験解説による自身の学修度を再確認する。

◆**教科書** 丸沼『英文法解説（改訂三版）』江川泰一郎著 金子書房 1,836円（税込）（送料500円）
事前資料送付 模擬授業の教授材料（「リーダー」と「文法」）は受講者に事前送付します。

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 試験（50%）、授業参画度（50%）により総合的に判断します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔博物館実習Ⅰ〕 オープン受講：不可

折茂 克哉

◆**授業概要** 「博物館実習Ⅰ」は学芸員養成課程の各教科の中で初めて実資料を取り扱う実習型の科目である。それまで教科書とレポートによる学習しかしてこなかった学生が、博物館の学芸員の日常的な作業を体験する初めての機会となる。実習型の科目は後に見学実習、そして館務実習へと続いていくが、その前段階で基礎知識を得、実資料に対しての作業体験を学内において行うものである。

◆**学修到達目標** 博物館の専門職員である学芸員として知っておかなければならない理論や知識の他に、業務を行う際に直面するであろう問題について考える。そのなかでも特に重要な資料に関する問題への理解、資料に接する際に必要な実技の体験、修得を目標とする。

◆**授業方法** 博物館や学芸員業務の実際についての講義。日常業務のなかで学芸員が資料に接する機会を想定し、資料の収集・調査、保管・運搬、そして展示という3つの状況下における作業を体験する。また、事後のレポートだけでなく、毎回の授業終了時にも小レポートを提出する。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：ガイダンス 事前学修：これまでに受講した学芸員関連科目の教科書を復習しておく 事後学修：配布資料に目を通しておく
2 回	授業内容：資料取り扱い体験 事前学修：「資料論」や「資料保存論」の教科書を復習しておく 事後学修：自身の資料の取り扱いについて反省点をまとめておく
3 回	授業内容：資料の基本的な取り扱い方 1（器物） 事前学修：器物の特性を理解し注意すべき点を考えておく 事後学修：配布資料の器物についての取り扱い方を復習しておく
4 回	授業内容：資料の基本的な取り扱い方 2（巻物・冊子） 事前学修：巻物・冊子の特性を理解し注意すべき点を考えておく 事後学修：配布資料の巻物・冊子についての取り扱い方を復習しておく
5 回	授業内容：資料の基本的な取り扱い方 3（軸物・その他） 事前学修：軸物の特性を理解し注意すべき点を考えておく 事後学修：配布資料の軸物についての取り扱い方を復習しておく
6 回	授業内容：学芸員の仕事 事前学修：「概論」や「教育論」の教科書・「博物館法」を復習しておく 事後学修：理念的・法的に定められた「学芸員」と自身の「学芸員像」との差異を理解しておく
7 回	授業内容：資料収集・調査に関わる作業 1（現状確認・借用のための資料調査） 事前学修：「資料論」や「資料保存論」、「情報・メディア論」の教科書を復習しておく 事後学修：他の資料で資料調査を作成してみる
8 回	授業内容：資料収集・調査に関わる作業 2（管理・研究のための資料カード） 事前学修：「資料論」や「資料保存論」、「情報・メディア論」の教科書を復習しておく 事後学修：他の資料で資料カードを作成してみる
9 回	授業内容：保管・運搬に関わる作業 1（巻物・冊子） 事前学修：「資料論」や「資料保存論」、「概論」の教科書を復習しておく 事後学修：他の資料で梱包してみる
10 回	授業内容：保管・運搬に関わる作業 2（器物） 事前学修：「資料論」や「資料保存論」、「概論」の教科書を復習しておく 事後学修：他の資料で梱包してみる
11 回	授業内容：博物館業務の種類 事前学修：「概論」の教科書・「博物館法」を復習しておく 事後学修：博物館業務について博物館内外のイメージの違いについて整理しておく
12 回	授業内容：博物館運営の現状と課題 事前学修：「経営論」や「概論」の教科書・「博物館法」を復習しておく 事後学修：運営母体や種類の違いによる目的や達成目標の違いを整理しておく
13 回	授業内容：展示に関わる作業 1（資材） 事前学修：「資料論」や「資料保存論」、「情報・メディア論」、「展示論」の教科書を復習しておく 事後学修：様々な展示資材について整理しておく
14 回	授業内容：展示に関わる作業 2（展示空間） 事前学修：「資料論」や「資料保存論」、「情報・メディア論」、「展示論」の教科書を復習しておく 事後学修：展示空間の状況と対策について整理しておく
15 回	授業内容：博物館と地域社会 事前学修：これまでの教科書・資料を復習しておく 事後学修：内容を再度整理して実習全体の内容を改めて整理すること

◆**教科書** 〔当日資料配布〕

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 毎回の小レポート（60%）と事後レポート（40%）による。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

第4期

日 程		授 業 時 間	備 考
8月16日	金	各日 9:00～17:30 <最終日は試験も含む>	※時間内に昼休みを 設けます。
8月17日	土		
8月18日	日		

※以下の第4期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単 開 位 数 講	充 当 科 目		制 限・注 意		受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配 当 学 年	
C0D1	心 理 学	須 永 範 明	2	B12100	心 理 学		1年	
C0D2	英 語 G	齊 藤 雄 介	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英 語 II		2年	
				C10300	英 語 III			
				C10400	英 語 IV			
C0D3	英 語 H	山 下 登 子	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英 語 II		2年	
				C10300	英 語 III			
				C10400	英 語 IV			
C0D4	フランス語 I・II	大 庭 克 夫	1	E10100	フ ラ ン ス 語 I		1年	・ I, IIのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。
				E10200	フ ラ ン ス 語 II			
C0D5	民 法 V	山 川 一 陽	2	K30400	民 法 V		2年	
C0D6	法 哲 学	高 須 則 行	2	K318S0	法 哲 学		2年	
C0D7	日 本 政 治 史	石 川 徳 幸	2	L30400	日 本 政 治 史		2年	
C0D8	国 文 学 概 論	武 藤 純 子	2	M20200	国 文 学 概 論	条 件 参 照		・ 国文学専攻のみ1学年以上 申込可。 ・ 上記以外は2学年以上申込 可。
C0D9	国文学演習 I～VI	長 谷 川 正 江	1	M404S0	国 文 学 演 習 I	×	3年	・ 国文学専攻のみ申込可。 ・ I～VIのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。
				M405S0	国 文 学 演 習 II			
				M406S0	国 文 学 演 習 III			
				M407S0	国 文 学 演 習 IV			
				M408S0	国 文 学 演 習 V			
				M409S0	国 文 学 演 習 VI			

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座 コード	開講講座名	担当講師名	単開 位数講	充 当 科 目		制 限 ・ 注 意			受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
C0DA	イギリス文学史 I	鈴木 ふさ子	2	N20100	イギリス文学史 I		条件 参照	・英文学専攻のみ1学年以上 申込可。 ・上記以外は2学年以上申込 可。	
C0DB	英語学概説	真野 一雄	2	N30700	英語学概説				
C0DC	英語学演習 C	黒滝 真理子	1	N401S0	英語学演習 I	×	3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させ るのか充当科目コードを必 ず記入してください。	
				N402S0	英語学演習 II				
				N403S0	英語学演習 III				
C0DD	英米文学演習 D	桶田 由衣	1	N404S0	英米文学演習 I	×	3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させ るのか充当科目コードを必 ず記入してください。	
				N405S0	英米文学演習 II				
				N406S0	英米文学演習 III				
C0DE	哲学基礎講読	中澤 瞳	2	P20100	哲学基礎講読		2年		
C0DF	倫理学基礎講読	関谷 雄磨	2	P30200	倫理学基礎講読			2年	
C0DG	日本史入門	関 幸彦	2	Q20100	日本史入門		条件 参照	・史学専攻のみ1学年以上申 込可。 ・上記以外は2学年以上申込 可。	
C0DH	西洋史入門	後藤 秀和	2	Q20300	西洋史入門		条件 参照	・史学専攻のみ1学年以上申 込可。 ・上記以外は2学年以上申込 可。	
C0DJ	経済原論/ 経済学原論	陸 亦群	2	R20100	経済原論		2年	・文理・経済・商学部のみ申 込可。 ・法学部のみ申込可。	
				L20200	経済学原論				
C0DK	租 税 論	鶴藤 俊英	2	R31700	租 税 論			2年	
C0DL	商 法	金澤 大祐	2	S30200	商 法			2年	
C0DM	簿記論 I	林 徳順	2	S20300	簿記論 I		条件 参照	・商学部のみ1学年以上申込 可。 ・法・文理・経済学部は2学 年以上申込可。	
C0DN	特別支援教育概論	田尻 由起	1	T23200	特別支援教育概論	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
C0DP	社会科・ 公民科教育法 I	宇内 一文	2	T20700	社会科・ 公民科教育法 I	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。 ・法学部・哲学専攻・史学専 攻・経済学部・商学部のみ 申込可。	
				T23700	社会科・ 公民科教育法 I (新法)				
C0DQ	英語科教育法 IV	小林 和歌子	2	T30400	英語科教育法 IV	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。 ・英文学専攻のみ申込可。	×
C0DR	教育相談/ 教育カウンセリング論	望月 由起	2	T30600	教育相談	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
				T30700	教育カウンセリング論				
C0DS	博物館経営論	中野 照男	2	Y20400	博物館経営論	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔心理学〕

須永 範明

- ◆**授業概要** 心理学は、人間のこころの動きを科学的に研究する学問です。この講義では、心理学の代表的な領域から、感覚・知覚、記憶、学習、思考を取り上げます。学生の皆さんはこれらの知見を学ぶことを通して、現代心理学の人間に対する見方・考え方に触れていただきます。
- ◆**学修到達目標** 1. 4つの領域（感覚・知覚、記憶、学習、思考）の基礎的知識をいくつか説明することができる。
2. 心理学が人間をどのようなものと考えているか、自分の言葉でおおまかに述べるができる。
- ◆**授業方法** もっぱら講義の形式を取ります。パワーポイントで要点をスクリーンに表示しながら、授業を進めていきます。必要に応じて補足資料を配布します。また、簡単なデモンストレーションを交えることや、ビデオを映すことがあります。随時、質問に答えます。
- ◆**履修条件** 2018 年度東京スクーリング（6 月期）「心理学 A」、2018 年度地方スクーリング（6 月期）（名古屋）「心理学 B」との積み重ね不可
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 オリエンテーション 授業の内容・進め方を説明します。次に、科学である心理学の定義、特質、主たる研究領域を解説します。
	事前学修 教科書第 1 章「1.1.1 心理学の起源」、「1.2.2 感覚と知覚の研究」、「1.3.3 進化論の影響」、「1.4 20 世紀初頭の動向」、「1.5 現代心理学の展開」を読んでおいてください。
	事後学修 授業内容をノートに整理し、教科書の該当部分を復習して、理解した内容を確認してください。
2 回	授業内容 感覚とはなにか、感覚の種類 感覚の定義および感覚と知覚の区別を述べます。次に、感覚にはどのような種類があるか説明します。
	事前学修 教科書第 2 章「2.1 感覚と知覚」、「2.2.1 感覚の種類」を読んでおいてください。
	事後学修 配付資料を活用して授業内容を整理し、感覚の定義、感覚の種類についての理解を確認してください。
3 回	授業内容 視覚の仕組み 眼球の構造を中心に視覚の仕組みについて解説します。
	事前学修 教科書第 2 章「BOX 2.3 錐体と桿体」を読んでおいてください。
	事後学修 配付資料を活用して授業内容を整理し、視覚の仕組みについての理解を確認してください。
4 回	授業内容 知覚とはなにか、形の知覚、錯視
	事前学修 教科書第 2 章「2.3.1 図と地の分化」、「2.3.3 幾何学的錯視」を読んでおいてください。
	事後学修 配付資料を活用して授業内容を整理し、知覚の定義、形の知覚、錯視についての理解を確認してください。
5 回	授業内容 空間知覚、知覚恒常性
	事前学修 教科書第 2 章「2.3.4 空間知覚」、「2.3.5 知覚恒常性」を読んでおいてください。
	事後学修 配付資料を活用して授業内容を整理し、空間知覚と知覚恒常性についての理解を確認してください。
6 回	授業内容 記憶の時間的過程、記憶の種類、感覚記憶
	事前学修 教科書第 3 章「3.1 記憶の意義」、「3.2 記憶と行動」、「3.3 記憶の種類」、「3.5 感覚記憶」、第 2 章「BOX2.12 知覚と記憶の間」を読んでおいてください。
	事後学修 配付資料を活用して授業内容を整理し、記憶の時間的過程、記憶の種類、感覚記憶についての理解を確認してください。
7 回	授業内容 短期記憶、長期記憶
	事前学修 教科書第 3 章「3.6 短期記憶」、「3.7 記憶と行動」を読んでおいてください。
	事後学修 配付資料を活用して授業内容を整理し、短期記憶と長期記憶についての理解を確認してください。
8 回	授業内容 忘却、日常の記憶
	事前学修 教科書第 3 章「3.8 忘却」、「3.9 日常の記憶」を読んでおいてください。
	事後学修 配付資料を活用して授業内容を整理し、忘却と日常の記憶についての理解を確認してください。
9 回	授業内容 学習とはなにか、古典的条件づけ
	事前学修 教科書第 4 章「3.1 学習の意味と定義」、「4.2.1 古典的条件づけ」を読んでおいてください。
	事後学修 配付資料を活用して授業内容を整理し、学習の定義と種類および古典的条件づけについての理解を確認してください。
10 回	授業内容 オペラント条件づけ
	事前学修 教科書第 4 章「4.2.2 オペラント条件づけ」を読んでおいてください。
	事後学修 配付資料を活用して授業内容を整理し、オペラント条件づけについての理解を確認してください。
11 回	授業内容 社会的学習、自律的学習
	事前学修 教科書第 4 章「4.3 社会的学習」、「4.4 自律的学習」を読んでおいてください。
	事後学修 配付資料を活用して授業内容を整理し、社会的学習と自律的学習についての理解を確認してください。
12 回	授業内容 問題解決、思考の分類
	事前学修 教科書第 5 章「5.1 問題解決」を読んでおいてください。
	事後学修 配付資料を活用して授業内容を整理し、問題解決と思考の分類についての理解を確認してください。
13 回	授業内容 推理、創造的思考
	事前学修 教科書第 5 章「5.5 推理」、「5.6 創造的思考」を読んでおいてください。
	事後学修 配付資料を活用して授業内容を整理し、推理と創造的思考についての理解を確認してください。
14 回	授業内容 思考の歪み
	事前学修 教科書第 5 章「5.7 思考の障害」を読んでおいてください。
	事後学修 配付資料を活用して授業内容を整理し、思考の歪みについての理解を確認してください。
15 回	授業内容 試験および解説
	事前学修 前回までの配付資料とノートを見直し、授業内容の理解を再確認しておいてください。
	事後学修 自身の理解が適切であったか確認してください。

- ◆**教科書** 丸沼『心理学への招待〔改訂版〕こころの科学を知る』梅本堯夫・大山正編著 サイエンス社 2,700 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**参考書** 指定しない
- ◆**成績評価基準** 課題（50%）と試験（50%）に基づいて評価します。課題は、1 日目と 2 日目の最終の授業時間に課す予定です。なお、原則、毎回出席することは、成績評価の前提となります。
- ◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に案内します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語G〕

齊藤 雄介

◆**授業概要** 本科目では基本的な英語と日本語の表現方法の差異に着目することにより、より自然な英語表現を学びます。◆**学修到達目標** 英作文を通して、実際の writing や speaking に即した英語の表現を習得することを目標とする。◆**授業方法** テキストの内容を説明した上で、テキストの問題に一人一問ずつ解答してもらいます。◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: Unit 1 日本語と英語の語順 日本語と英語の表現における語順の共通点及び相違点について学習します。 事前学修: テキスト 7～8 ページの問題に解答しておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
2回	授業内容: Unit 2 動詞中心構文を好む日本語、名詞中心構文を好む英語 各言語において好まれる品詞について学びます。 事前学修: テキスト 10～11 ページの問題に解答しておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
3回	授業内容: Unit 3 「ナル」型言語の日本語、「スル」型言語の英語 日本語と英語における動詞の使い方の差異について学習します。 事前学修: テキスト 13～14 ページの問題に解答しておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
4回	授業内容: Unit 4 「経過」重視の日本語、「結果」重視の英語 各言語の動詞の意味の含意について学びます。 事前学修: テキスト 16～17 ページの問題に解答しておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
5回	授業内容: Unit 5 日本語と英語の肯定表現と否定表現 日本語と英語の肯定表現と否定表現のニュアンスの差異について学びます。 事前学修: テキスト 19～20 ページの問題に解答しておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
6回	授業内容: Unit 6 「BE 言語」の日本語、「HAVE 言語」の英語 日本語の「いる」と英語の「持っている」の共通点について学習します。 事前学修: テキスト 22～23 ページの問題に解答しておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
7回	授業内容: Unit 7 日本語の「無界性」と英語の「有界性」の傾向 各言語の表現の明確性の差異について学びます。 事前学修: テキスト 25～26 ページの問題に解答しておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
8回	授業内容: Unit 8 「状況」に焦点を置く日本語、「人間」に焦点を置く英語 両言語の他動性の差異について学習します。 事前学修: テキスト 28～29 ページの問題に解答しておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
9回	授業内容: Unit 9 日本語の「人間主語」と英語の「無生物主語」 日本語と英語の主語の使い方について学びます。 事前学修: テキスト 31～32 ページの問題に解答しておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
10回	授業内容: Unit 10 日本語の自動表現・間接受動文とそれらに対応する英語の表現 各言語の自動表現と受動表現について学習します。 事前学修: テキスト 34～35 ページの問題に解答しておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
11回	授業内容: Unit 11 日本語の間接受動文と英語の能動文、直接受動文 日本語の受動文に対応する英語の表現について学習します。 事前学修: テキスト 37～38 ページの問題に解答しておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
12回	授業内容: Unit 12 日本語の「テイル」表現とそれに対応する英語表現 動作や事態の継続を表す日本語とそれに対応する英語表現について学びます。 事前学修: テキスト 40～41 ページの問題に解答しておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
13回	授業内容: Unit 13 日本語の完了相と英語の完了相 各言語の完了相の差異について学びます。 事前学修: テキスト 43～44 ページの問題に解答しておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
14回	授業内容: Unit 14 日英の心理動詞・心理形容詞 日本語と英語の心理動詞及び心理形容詞の差異について学習します。 事前学修: テキスト 46～47 ページの問題に解答しておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
15回	授業内容: 学習内容のまとめ及び最終試験 事前学修: テキストの Unit 1 から Unit 14 までの部分を復習しておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること

◆**教科書** 丸沼『English Composition Based on the Comparison Between English and Japanese (日英比較—コミュニケーションカティブ英作文)』2,160円(税込)(送料300円)◆**参考書** 毎回和英辞典及び英和辞典(電子辞書でも可)を持参してください。◆**成績評価基準** 授業参加度(10%)、最終試験(90%) * 毎回出席していることを前提に評価します。◆**授業相談(連絡先)**: 初回授業時に案内します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※ 授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語H〕

山下 登子

◆**授業概要** 英語学習に必要な4技能（聞く・読む・話す・書く）の総合的な向上を目指すことで、実際に日常生活で英語を活用できるように心がけたい。語彙力や文法事項などについての学習方法を演習形式で学ぶことで、英語学習の基礎作りを行う場となるように努める。

◆**学修到達目標** 英語学習において基礎となる文法力と語彙力を見直すことで、英語4技能の総合的な習得向上につなげることを目標とする。

◆**授業方法** 初日にグループ分けを行い、グループ活動を中心にした演習形式である。文法事項を確認した上で、グループで練習問題の答え合わせ・板書・発表を行う。授業時に問題点を確認できるように、また円滑にグループ活動ができるように、必ず予習を行うこと。学習範囲は Unit 1～7です。

◆授業計画〔各90分〕

1回	授業内容 事前学修 事後学修	ガイダンス・授業の進め方について・グループ分け 教科書の学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
2回	授業内容 事前学修 事後学修	・単語の学習 ・Unit 1（動詞 [1]）（学習 Unit は順番が前後したり、レポート課題にすることもあります。） 教科書の学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。「practice」の項目は問題を解いておくこと。 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
3回	授業内容 事前学修 事後学修	・単語の学習 ・Unit 1（動詞 [1]） 教科書の学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。「practice」の項目は問題を解いておくこと。 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
4回	授業内容 事前学修 事後学修	・単語の学習 ・Unit 2（動詞 [2]） 教科書の学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。「practice」の項目は問題を解いておくこと。 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
5回	授業内容 事前学修 事後学修	・単語の学習 ・Unit 2（動詞 [2]） 教科書の学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。「practice」の項目は問題を解いておくこと。 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
6回	授業内容 事前学修 事後学修	・単語の学習 ・Unit 3（動詞 [3]） 教科書の学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。「practice」の項目は問題を解いておくこと。 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
7回	授業内容 事前学修 事後学修	・単語の学習 ・Unit 4（受動態） 教科書の学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。「practice」の項目は問題を解いておくこと。 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
8回	授業内容 事前学修 事後学修	・単語の学習 ・Unit 4（受動態） 教科書の学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。「practice」の項目は問題を解いておくこと。 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
9回	授業内容 事前学修 事後学修	・単語の学習 ・Unit 5（準動詞） 教科書の学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。「practice」の項目は問題を解いておくこと。 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
10回	授業内容 事前学修 事後学修	・単語の学習 ・Unit 5（準動詞） 教科書の学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。「practice」の項目は問題を解いておくこと。 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
11回	授業内容 事前学修 事後学修	・単語の学習 ・Unit 6（修飾 [1]） 教科書の学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。「practice」の項目は問題を解いておくこと。 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
12回	授業内容 事前学修 事後学修	・単語の学習 ・Unit 6（修飾 [1]） 教科書の学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。「practice」の項目は問題を解いておくこと。 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
13回	授業内容 事前学修 事後学修	・単語の学習 ・Unit 7（修飾 [2]） 教科書の学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。「practice」の項目は問題を解いておくこと。 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
14回	授業内容 事前学修 事後学修	・単語の学習 ・Unit 7（修飾 [2]） 教科書の学習範囲の中で分からない単語を洗い出し、調べておくこと。「practice」の項目は問題を解いておくこと。 授業の内容をノートにまとめ、確認しておくこと。配布資料を読み不明な点はないか理解しておくこと。
15回	授業内容 事前学修 事後学修	試験及び解説 学習した範囲全体の復習をし、分からない点がないか確認をすること。 授業の内容及び、試験の内容を確認し、復習すること。

◆**教科書** 丸沼『English Quest-Plus【New Edition】』 酒井志延ほか著 桐原書店 2,052円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 中型以上の英和辞書（電子辞書可）

◆**成績評価基準** 予習・発表・受講状況・グループワーク（50%）、試験（50%）。毎回出席することを前提として評価する。

◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に案内します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔フランス語Ⅰ・Ⅱ〕

大庭 克夫

◆**授業概要** 科目名こそフランス語Ⅰ・Ⅱとなっておりますが、3日間の授業で実際に扱えるのは「昼間スクーリング」の前期分の内容が精一杯です。それとて、全くの初学者の人がわずか3日間で前期15回分の内容を身に付けることなど到底不可能なことは明らかでしょう。そこで事前に『報告課題フランス語Ⅰ』に取り組んでください：「不合格」になっても構いませんから、とにかく懸命に精一杯取り組んでください。

◆**学習到達目標** 英語にすれば中学1年レベルの内容が、フランス語でも言えて・書いて・聞き取れるようにするのが目標です。また「報告課題」や「科目修得試験」の＜フランス語Ⅰ＞は無論のこと、＜フランス語Ⅱ＞以降の学習をする上でもその大切なベースとなる、フランス語の持つルール＝規則性をしっかりと身に付けます（ルールがあって面倒なのではなく、フランス語はきっちりとしルールがあるからこそ習得可能であり、習得する価値もあります）。

◆**授業方法** 上述のように、『報告課題フランス語Ⅰ』に真剣に取り組めば、その過程で様々な疑問・質問が生じるはずですが、ぜひそれをスクーリングの場でぶつけてください。また『報告課題』を提出し受講登録をした人には、事前に授業内容をできるだけ分かりやすく解説した補助プリントを送付しますので、その内容を可能な限り覚えて授業初日に臨んでください。【夏期スクーリング】の成果が上がるかどうかは、すべて事前学習にかかっています。

◆**履修条件** 『報告課題フランス語Ⅰ』に真剣に取り組むこと、事前送付のプリントの内容を可能な限り身に付けること。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：フランス語のアルファベ、綴り字と発音との関係の説明（1）（青色プリント使用） 事前学修：事前に送付したCDと補助プリントを使って、フランス語のアルファベを完全に覚える。 事後学修：青色プリント左側の内容〔発音の発音はアルファベ対応等〕をマスターする。
2回	授業内容：綴り字と発音との関係の説明（2）：「複合母音」（＝母音と母音の特別な組み合わせ）5種類について、青色プリント右上半分を使って説明します。 事前学修：事前に送付した補助プリントに基づいて、「複合母音」5種類をよく頭に入れること。 事後学修：「複合母音」5種類をその具体例と共にしっかりと覚えること。
3回	授業内容：綴り字と発音との関係（3）：母音と＜n＞の特別な組み合わせ（＝「鼻母音」）は2種類：これを青色プリント右下半分を使って具体例と共に説明します。 事前学修：事前に送付した補助プリントに基づいて、「鼻母音」2種類をよく頭に入れてくる 事後学修：「鼻母音」2「複合母音」5種類をその具体例と共にしっかりと覚えること。
4回	授業内容：メインのB4判10Pのプリントの1P～2P目を説明します 事前学修：送付したCDを聞きながら、B4判10Pのプリントの1P～2P目に目を通してくること 事後学修：1P～2P目に具体例として挙げた名詞の「発音」「綴り」「意味」「性別」を覚えること
5回	授業内容：プリント3P目：3種類の「冠詞」の使い分けをその具体例と共に説明します。 事前学修：プリント3P目（「不定冠詞」「部分冠詞」「定冠詞」）に目を通してくること。 事後学修：プリント3P目に具体例として挙げた名詞を、「冠詞」と共に覚えること。
6回	授業内容：プリント4P目：「数詞」（1～10）と、「前置形容詞」「後置形容詞」の用法を具体例と共に説明。 事前学修：プリント4P目（「数詞」「前置形容詞」と「後置形容詞」）に目を通してくること。 事後学修：プリント4P目に具体例として挙げた単語・表現をしっかりと身に付けること。
7回	授業内容：プリント5P目：「指示形容詞」と「所有形容詞」、3種類の「提示の仕方」を、配布したCDを使いながら説明します。 事前学修：プリント5P目（「指示形容詞」、3種類の「提示の仕方」）に目を通してくること。 事後学修：プリント5P目の内容を、その具体的な用例・例文と共に覚えること。
8回	授業内容：プリント6P目：「動詞」＜être＞（＝be動詞）の活用と用例を説明します。 事前学修：付属のCDを聞きながら、プリント6P目の＜être＞の活用に目を通すこと 事後学修：動詞＜être＞の活用（「肯定形」と「否定形」）と用例を徹底して覚えること。
9回	授業内容：プリント7P目：「動詞」＜avoir＞（＝have）の活用と用例を説明。また2日目の最後（＝10回目授業）に行う「中間試験」のための演習を行います。 事前学修：付属のCDを聞きながら、プリント7P目の＜avoir＞の活用に目を通すこと 事後学修：動詞＜avoir＞の活用（「肯定形」と「否定形」）と用例を徹底して覚えること。
10回	授業内容：中間試験：主に基本的な単語（名詞・数詞・形容詞etc）の「書き取り/聞き取り試験」。 事前学修：プリントで扱った基本的な「名詞」を、その「発音」「綴り」「意味」「性別」と共にしっかりと覚えること 事後学修：試験後「解答」を配布するので、間違えた箇所を各自チェックしておくこと。
11回	授業内容：プリント7P目下段～8P目前半：「第1群規則動詞」の活用と用例（前半部分）を説明します。 事前学修：付属のCDを聞きながら、「第1群規則動詞」の活用と用例に目を通すこと 事後学修：「第1群規則動詞」の活用と用例（前半部分）をしっかりと覚えること。
12回	授業内容：プリント8P目後半～9P目：「第1群規則動詞」の活用と用例（後半部分）を説明します。 事前学修：付属のCDを聞きながら、「第1群規則動詞」の活用と用例に目を通すこと 事後学修：「第1群規則動詞」の活用と用例（後半部分）をしっかりと覚えること。
13回	授業内容：プリント9P～10P目：「基本的な前置詞の整理」とヒヤリング演習14題。 事前学修：10P目の＜ヒヤリング演習＞用の14題を、事前に取り組んでくること。 事後学修：プリント9P～10P目の内容をしっかりと身に付けること。
14回	授業内容：最終試験 事前学修：プリントの後半部分の内容（とりわけ3種類の動詞の活用と用例）をきちんとマスターすること。 事後学修：試験後「解答」を配布するので、間違えた箇所を各自チェックしておくこと。
15回	授業内容：最終試験の解説と、今後＜フランス語Ⅱ＞以降の学習事項について簡単に説明します。 事前学修： 事後学修：最終試験で自分ができなかった箇所・間違えた箇所をしっかりとフォローすること。

◆**教科書** **事前資料送付** 1. ＜発音と綴り字との関係＞をまとめた青色B4判（横）のプリント1枚
2. 授業でメインに使用する、B4判（縦）の10ページ綴りのプリント（CD付き）
事前資料送付 事前学習用に、上記1と2の内容を分かりやすく解説した補助プリント

◆**参考書** **教材** 『フランス語Ⅰ E10100』 通信教育教材（教材コード000372）2,950円（送料込）
〈この教材は市販の「新ゼフィール（フランス語文法の基礎）」E.E.F.L.E.U.K. 著（早美出版社）と同一です。〉
教材 『フランス語Ⅱ E10200』 通信教育教材（教材コード000373）2,850円（送料込）
〈この教材は市販の『CD・イラストで覚えるフランス語基本500語』フランス語教育振興協会編（朝日出版社）と同一です。〉

◆**成績評価基準** 中間試験（2日目）と最終試験の2回分の結果で判定します。なお最終試験は「和文仏訳」と「ヒヤリング形式」（原文をフランス語で書きとったのち和訳する）で出題します〔安直な和訳・書き換え・穴埋めなどは一切出題しません〕。

◆**授業相談（連絡先）**：E-Mail：katsuofrancois@mug.biglobe.ne.jp

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の選定

開講講座
一覧表

第1期

第2期

第3期

第4期

第5期

申込方法

申込講座の
許可と不許可

受講料の納入

受講準備

受講及び試験

受講期間中の
学生生活

オープン受講

各種用紙

付録

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔民法Ⅴ〕

山川 一陽

◆**授業概要** 親族という家族における法律関係の発生・変更・解消、親族の死亡にともなう相続という法律関係、相続の形態としての法定相続ではないものとしての遺言相続などについて学修する。

◆**学修到達目標** 「授業概要」に記載した事項を理解し、説明できるようになる。

◆**授業方法** 教科書を元にして講義方式によるが、なるべく重要な所については集中方式をとりたい。

◆**履修条件** 講義前に一通り教科書に目を通しておくこと。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 事前学修 事後学修	家族法の歴史と家族法を学ぶに際しての前提となる知識〔家庭裁判所の機能と役割、家族の登録制度である戸籍制度など〕、親族概念とその発生・変更・解消、家族の発生原因としての婚姻、解消原因としての離婚など 講義前に一通り教科書の該当箇所に目を通しておくこと。 板書事項の確認。
2 回	授業内容 事前学修 事後学修	1 親子と新しい家族制度など 講義前に一通り教科書の該当箇所に目を通しておくこと。 板書事項の確認。
3 回	授業内容 事前学修 事後学修	民法が認める親子の種類など 講義前に一通り教科書の該当箇所に目を通しておくこと。 板書事項の確認。
4 回	授業内容 事前学修 事後学修	実親子関係とその変容など 講義前に一通り教科書の該当箇所に目を通しておくこと。 板書事項の確認。
5 回	授業内容 事前学修 事後学修	普通養子制度と特別養子制度など 講義前に一通り教科書の該当箇所に目を通しておくこと。 板書事項の確認。
6 回	授業内容 事前学修 事後学修	扶養制度など 講義前に一通り教科書の該当箇所に目を通しておくこと。 板書事項の確認。
7 回	授業内容 事前学修 事後学修	相続の歴史と相続の基礎知識など 講義前に一通り教科書の該当箇所に目を通しておくこと。 板書事項の確認。
8 回	授業内容 事前学修 事後学修	相続における同時存在の原則と相続の基本原則など 講義前に一通り教科書の該当箇所に目を通しておくこと。 板書事項の確認。
9 回	授業内容 事前学修 事後学修	相続人と相続分など 講義前に一通り教科書の該当箇所に目を通しておくこと。 板書事項の確認。
10 回	授業内容 事前学修 事後学修	代襲相続制度など 講義前に一通り教科書の該当箇所に目を通しておくこと。 板書事項の確認。
11 回	授業内容 事前学修 事後学修	相続の放棄と承認など 講義前に一通り教科書の該当箇所に目を通しておくこと。 板書事項の確認。
12 回	授業内容 事前学修 事後学修	特別受益と寄与分など 講義前に一通り教科書の該当箇所に目を通しておくこと。 板書事項の確認。
13 回	授業内容 事前学修 事後学修	遺言制度など 講義前に一通り教科書の該当箇所に目を通しておくこと。 板書事項の確認。
14 回	授業内容 事前学修 事後学修	遺留分制度など 講義前に一通り教科書の該当箇所に目を通しておくこと。 板書事項の確認。
15 回	授業内容 事前学修 事後学修	最新の相続法改正とその概要など 講義前に一通り教科書の該当箇所に目を通しておくこと。

◆**教科書** 丸沼『親族法・相続法講義〔第6版〕』山川一陽著 日本加除出版 3,888 円（税込）（送料 350 円）

◆**参考書** 丸沼『相続法改正のポイントと実務への影響』山川一陽他 日本加除出版 4,644 円（税込）（送料 350 円）

◆**成績評価基準** 講義への出席と論文試験の結果による。

◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に案内します。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔法哲学〕

高須 則行

◆**授業概要** 法哲学とは、法を対象として、全体的、根源的に考察するものとされる。今回の講義は、法哲学のひとつの研究領域である法的価値論（正義論）を対象として、それがどのような事柄であるかを、いくつかの具体的事例を取り上げて解説しようとする。

◆**学修到達目標** ①正義の概念について理解し、説明することができる。
②ラードブルフの価値相対主義を理解し、説明することができる。
③ベンサム・ミルの功利主義を理解し、説明することができる。
④ロールズの公正としての正義を理解し、説明することができる。
⑤リバタリアニズムの正義論を理解し、説明することができる。
⑥共同体論の正義論を理解し、説明することができる。

◆**授業方法** 講義形式で行いますが、その都度、受講生の皆さんに質問し、自らの考えを述べてもらいたいと思っています。そのような双方向の授業を心掛けていきたいと思っております。
受講者の人数にもよりますが、ゼミ形式で授業を進めることも考えています。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：法哲学へのいざない 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
2回	授業内容：社会規範と法 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
3回	授業内容：法的思考：正義との関係性 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
4回	授業内容：実定法と自然法 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
5回	授業内容：正義の種類 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
6回	授業内容：ラードブルフの価値相対主義 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
7回	授業内容：古典的功利主義 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
8回	授業内容：現代的功利主義 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
9回	授業内容：ロールズの公正としての正義論（1）：功利主義批判 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
10回	授業内容：ロールズの公正としての正義論（2）：原初状態と無知のヴェール 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
11回	授業内容：ロールズの公正としての正義論（3）：正義の2原理 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
12回	授業内容：ドゥオーキンの正義論 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
13回	授業内容：リバタリアニズム 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
14回	授業内容：共同体論 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
15回	授業内容：ケアの倫理と正義 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。

◆**教科書** 特になし。レジュメを配布する。

◆**参考書** 丸田『法哲学』平野仁彦・亀本洋・服部高宏 有斐閣アルマ 2002 2,376円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** ①試験結果（50%）②授業参加度（30%）③レポート（20%）

◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に案内します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔日本政治史〕

石川 徳幸

- ◆**授業概要** 本講義では、近代日本において展開された政治を通史のかたちで学んでいく。歴史的な脈を正しく把握するためには、時代ごとに区切って学ぶことは必ずしも得策ではないが、便宜上、本講義では昭和前期（戦前期・戦中期・占領期〔一部〕）を対象とする。史料に基づいて通説を批判的に検証しながら、「日中戦争」や「太平洋戦争」に臨んだ歴史的背景と国内政治の過程を理解する。
- ◆**学修到達目標** 歴史を考察するための基本的な方法を理解し、批判的に史料を読むことができる。戦前日本の二大政党による国内政治の展開と挫折、軍部が政治に進出してくる過程を説明することができる。戦時体制の形成過程と敗戦までの政治情勢について説明することができる。
- ◆**授業方法** 基本的には、通信教育教材（教科書）の章立てに沿うかたちで、史料や最新の研究成果を紹介しながら講義を進める。授業の内容は、あくまでも初学者を対象として構成しているが、高校までの歴史科目で扱われている基本的な出来事や人物に関しては、おおむね理解していることを前提に話を進める。受講にあたっては、かならずノートを用意すること。
- ◆**履修条件** なおオープン受講可だが、昨年度の夏期スクーリングと扱う時代は同じなので注意すること。本講義が対象とする時代より前の「日本政治史」は昼間スクーリングで展開している。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 事前学修 事後学修	イントロダクション シラバスを読むこと。 ノートの取り方を確認する。
2 回	授業内容 事前学修 事後学修	政党政治の隆盛と国際的孤立① 教科書第 8 章第 1 節第 1 項～第 2 項を読んでおくこと。 ノートを整理し、金融恐慌や昭和恐慌の過程を理解する。
3 回	授業内容 事前学修 事後学修	政党政治の隆盛と国際的孤立② 教科書第 8 章第 1 節第 3 項～第 5 項を読んでおくこと。 ノートを整理し、満洲事変や五・一五事件の歴史的意義を理解する。
4 回	授業内容 事前学修 事後学修	戦争とファシズムへの道① 教科書第 8 章第 2 節第 1 項～第 2 項を読んでおくこと。 ノートを整理し、皇道派と統制派の論理と陸軍の派閥抗争の展開を理解する。
5 回	授業内容 事前学修 事後学修	戦争とファシズムへの道① 教科書第 8 章第 2 節第 3 項～第 4 項を読んでおくこと。 ノートを整理し、二・二六事件の歴史的意義を理解する。
6 回	授業内容 事前学修 事後学修	小括：軍部支配と戦争への歩み ここまでのノートを見返し、教科書や参考文献などで補う。 政党政治が失墜し、軍部が台頭した理由を考える。
7 回	授業内容 事前学修 事後学修	補論：新聞記事から捉える昭和前期の政治① ここまでのノートを見返し、教科書や参考文献などで補う。 1 目目で扱われていた出来事が当時の新聞でどのように扱われていたのかを理解する。
8 回	授業内容 事前学修 事後学修	日中戦争① 教科書第 8 章第 3 節第 1 項～第 2 項を読んでおくこと。 ノートを整理し、「庶政一新」「広義国防」の論理と軍部が専横する過程を理解する。
9 回	授業内容 事前学修 事後学修	日中戦争② 教科書第 8 章第 3 節第 3 項～第 4 項を読んでおくこと。 ノートを整理し、盧溝橋事件の展開と、国家総動員法や近衛声明の歴史的意義を理解する。
10 回	授業内容 事前学修 事後学修	戦争への道① 教科書第 9 章第 1 節第 1 項～第 3 項を読んでおくこと。 ノートを整理し、「東亜新秩序建設」の論理や、日独伊三国同盟の歴史的意義を理解する。
11 回	授業内容 事前学修 事後学修	小括：大日本帝国の崩壊へ ここまでのノートを見返し、教科書や参考文献などで補う。 日中戦争が泥沼化した理由を考える。
12 回	授業内容 事前学修 事後学修	補論：新聞記事から捉える昭和前期の政治② ここまでのノートを見返し、教科書や参考文献などで補う。 2 目目で扱われていた出来事が当時の新聞でどのように扱われていたのかを理解する。
13 回	授業内容 事前学修 事後学修	戦争への道② 教科書第 9 章第 1 節第 4 項～第 5 項を読んでおくこと。 ノートを整理し、対米交渉の過程と「ハル・ノート」の歴史的意義を理解する。
14 回	授業内容 事前学修 事後学修	大東亜戦争（アジア・太平洋戦争）① 教科書第 9 章第 2 節第 1 項～第 2 項を読んでおくこと。 ノートを整理し、大東亜会議の歴史的意義や、緒戦勝利から戦局悪化の過程を理解する。
15 回	授業内容 事前学修 事後学修	大東亜戦争（アジア・太平洋戦争）②／総括 教科書第 9 章第 2 節第 3 項を読んでおくこと。ここまでのノートを見返しおくこと。 現代に生きる私たちが、昭和前期の政治から何を学び得るか考える。

- ◆**教科書** 教材『日本政治史 L30400』通信教育教材（教材コード 000452）3,400 円（送料込）
〔当日資料配布〕※必要に応じてプリントを配布する。
- ◆**参考書** ※参考書は適宜、授業で紹介する。
- ◆**成績評価基準** 筆記試験の結果をもとに成績評価を行う。なお、全体の 3 分の 1 を超える欠席がある場合は、試験を受けても評価の対象にはならない。
- ◆**授業相談（連絡先）**：リアクションペーパーや小テストの用紙に、質問・感想を書き込めるコメント欄を用意している。質問に関しては、次の授業回の冒頭でフィードバックを行う。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国文学概論〕

武藤 純子

◆**授業概要** 国文学の一ジャンルである浮世草子、浄瑠璃、歌舞伎、黄表紙といった江戸時代の文学を考察する。江戸と上方（関西）を中心に誕生・発展したこれらは、遊里や遊女を描くことが多くある。本授業ではその部分に注目することによって、それぞれのジャンルの文体と表現様式の特徴をわかりやすく理解できるように心がける。

◆**学修到達目標** 浮世草子、浄瑠璃、歌舞伎、黄表紙、洒落本の代表的作品について、文学史的意義、文体、表現様式の特徴などを説明できるようになることを、学修到達目標とする。

◆**授業方法** 受講者参加型の講義形式で進める。テキストの音読をはじめ、読み解きに関しても意見を求める。理解を深めるために、文楽・歌舞伎のDVDおよび浮世絵画像を利用する。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：授業の進め方およびガイダンス。次に近世文学のジャンルと歴史の変遷を説明する。 事前学修：「好色一代男」「冥途の飛脚」「金々先生栄花夢」について調べ、ノートに概説をまとめておく。 事後学修：浮世草子、浄瑠璃、黄表紙の代表的作品と地域を確認し理解しておく。
2回	授業内容：近世文学・浮世絵が描いた遊里・遊女について 事前学修：遊里・遊廓・遊女について調べ、ノートに概説をまとめておく。 事後学修：三都の遊廓と遊女の階級について確認し理解しておく。
3回	授業内容：「好色一代男」「冥途の飛脚」「金々先生栄花夢」の概要・特色について 事前学修：「好色一代男」「冥途の飛脚」「金々先生栄花夢」についてのノートを補足充実させておく。 事後学修：「好色一代男」「冥途の飛脚」「金々先生栄花夢」の作者・年代・地域を確認し理解しておく。
4回	授業内容：井原西鶴作「好色一代男」巻七（世之介）四十九歳のエピソードについて 事前学修：該当箇所を予め読んでおく。 事後学修：浮世草子の文体の特色と島原の太夫の描かれ方を確認し理解しておく。
5回	授業内容：井原西鶴作「好色一代男」巻七（世之介）五十二歳のエピソードについて 事前学修：該当箇所を予め読んでおく。 事後学修：浮世草子の文体の特色と江戸の太夫の描かれ方を確認し理解しておく。
6回	授業内容：近松門左衛門作「冥途の飛脚」上の巻について 事前学修：該当箇所を予め読んでおく。 事後学修：亀屋の忠兵衛（職業・年代・経歴）と大坂新町について確認し理解しておく。
7回	授業内容：近松門左衛門作「冥途の飛脚」中の巻について 事前学修：該当箇所を予め読んでおく。 事後学修：遊女梅川と大坂新町について確認し理解しておく。
8回	授業内容：近松門左衛門作「冥途の飛脚」下の巻について 事前学修：該当箇所を予め読んでおく。 事後学修：新口村への道行について確認し理解しておく。
9回	授業内容：人形浄瑠璃（文楽）「冥途の飛脚」の鑑賞 事前学修：「冥途の飛脚」のあらすじ・展開をまとめておく。 事後学修：文楽（演劇）「冥途の飛脚」の表現方法を確認し理解しておく。
10回	授業内容：恋川春町作「金々先生栄花夢」冒頭について 事前学修：該当箇所を予め読んでおく。 事後学修：文章と挿絵の特色を確認し理解しておく。
11回	授業内容：恋川春町作「金々先生栄花夢」夢の場面について 事前学修：該当箇所を予め読んでおく。 事後学修：文章と挿絵の特色を確認し理解しておく。
12回	授業内容：恋川春町作「金々先生栄花夢」が描く遊里・遊女・芸子について 事前学修：挿絵の疑問点をノートにまとめておく。 事後学修：江戸の吉原・深川・品川の遊里について確認し理解しておく。
13回	授業内容：歌舞伎の鑑賞―歌舞伎に登場する遊里・遊女― 事前学修：「好色一代男」「冥途の飛脚」「金々先生栄花夢」に描かれた遊女について復習しておく。 事後学修：演劇に登場する三都の遊女の性格や立ち居振る舞いを確認し理解しておく。
14回	授業内容：理解度の確認 事前学修：配布資料を熟読するとともに、ノートの補足充実を行う。 事後学修：要点について再確認する。
15回	授業内容：試験 事前学修：配布資料の熟読と要点についての再理解を行う。 事後学修：授業内容を再確認する。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕 当日資料を配布

◆**参考書** 配布資料の中で指示

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（15%）、試験（85%）により総合的に評価します。

◆**授業相談（連絡先）**：Eメールアドレスは初回の授業時に伝えます。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国文学演習 I～VI〕

長谷川 正江

- ◆**授業概要** 井原西鶴の浮世草子の中から町人物を中心に4作品を読解する。西鶴とその文芸を理解する場合、当時興隆してきた商業出版界を背景に、元禄期という“時代性”、大坂という“地域性”、町人という“階層性”に着目することが大切である。授業では西鶴に特徴的な語句・表現・文体に焦点を当て、上方を中心とする元禄期の町人生活の実態や、町人文化の形成を理解できるように心掛ける。
- ◆**学修到達目標** 作品の翻刻・注釈を複数調査し比較対照した上で、各自発表の準備ができるようになることを目的とする。各自が発表資料を最低A4サイズ一枚は用意し、教員と受講者全員に配布し説明できるようにする。作品を解釈する上で、各自が研究史を踏まえつつ、興味関心を持って西鶴作品を主体的に読解する（必ずしも作品の主題に拘る必要はない）姿勢を習得できる。
- ◆**授業方法** 受講者決定後に、人数を考慮しつつテキストに収録されている短編作品を適宜割り振り、全員に通知する。最初に近世前期の出版文化の概略について長谷川が講義するが、各作品については、個々の学生の発表と質疑による演習形式で行う。欠席する発表担当者が出ることが予想されるが、その時間を適宜影印の読解作業に宛てる。
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：近世前期の出版文化の概略について講義する。 事前学修：テキストの「解説Ⅱ」と「西鶴略年譜」を読んでおくこと。 事後学修：当時の大坂の出版事情について理解しておくこと。
2回	授業内容：『日本永代蔵』1-1「初午は乗ってくる仕合」演習 事前学修：テキストの「解題」を読んでおくこと。 事後学修：作品冒頭の序の意味を理解しておくこと。
3回	授業内容：同1-2「二代目に破る扇の風」演習 事前学修：テキストの「解題」を読んでおくこと。 事後学修：京都の遊廓島原について理解しておくこと。
4回	授業内容：同1-4「首は掛算今は当座銀」演習① 事前学修：テキストの「解題」を読んでおくこと。 事後学修：江戸時代の呉服商賣の実態を理解しておくこと。
5回	授業内容：同上 演習② 事前学修：テキストの「解題」を読んでおくこと。 事後学修：“三井の商法”の画期性を理解しておくこと。
6回	授業内容：同4-4「茶の十徳も一度に皆」演習 事前学修：テキストの「解題」を読んでおくこと。 事後学修：当時の町人倫理観について理解しておくこと。
7回	授業内容：『世間胸算用』1-2「長刀はむかしの鞘」演習 事前学修：テキストの「解題」を読んでおくこと。 事後学修：西鶴が“小質屋”店頭を舞台にした意味を理解しておくこと。
8回	授業内容：同1-4「鼠の文づかひ」演習 事前学修：テキストの「解題」を読んでおくこと。 事後学修：当時の隠居制度について理解しておくこと。
9回	授業内容：同2-4「門柱も皆かりの世」演習 事前学修：テキストの「解題」を読んでおくこと。 事後学修：当時の掛買・掛取の商習慣について理解しておくこと。
10回	授業内容：同3-3「小判は寝姿の夢」演習 事前学修：テキストの「解題」を読んでおくこと。 事後学修：当時の女性奉公人の事情を理解しておくこと。
11回	授業内容：『西鶴置土産』2-2「人には棒振むし同前におもはれ」演習① 事前学修：テキストの「解題」を読んでおくこと。 事後学修：西鶴追善発句を読み直しておくこと。
12回	授業内容：同上 演習② 事前学修：テキストの「解題」を読んでおくこと。 事後学修：上方版と江戸版の相違について理解しておくこと。
13回	授業内容：『万の文反古』1-3「百三十里の所を拾ふの無心」演習 事前学修：テキストの「解題」を読んでおくこと。 事後学修：序文の内容から書翰体小説の意味を理解しておくこと。
14回	授業内容：同1-4「来る十九日の栄耀献立」演習 事前学修：テキストの「解題」を読んでおくこと。 事後学修：当時の料理献立の意味を理解しておくこと。
15回	授業内容：試験（影印によるくずし字読解試験・記述試験）および解説 事前学修：各自の担当箇所につき、テーマを絞ってまとめておき試験に臨むこと。 事後学修：影印読解の正解を配布するので確認すること。

- ◆**教科書** 丸沼『影印版頭注付 西鶴の世界Ⅱ』雲英末雄・谷協理史他編 新典社 1,404円（税込）（送料215円）
- ◆**参考書** 市販の変体仮名手引き書（出版社は指定しない）。
- ◆**成績評価基準** 配布資料と発表内容の充実度（45%）、質疑など授業への参加度・影印読解への取り組み姿勢（20%）、レポート形式の試験の達成度（35%）で評価。変体仮名の読解が出来なくても、それを理由に不合格となることはない。
- ◆**授業相談（連絡先）**：受講者決定後に事前に通知する。近年発表準備の仕方が分からないという者がいるが、事前に質問や相談を寄せることは全く差支えない。個々の作品によって、参照すべき参考文献が異なる場合は当然ながらあり得る。

注意 E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔イギリス文学史 I〕

鈴木 ふさ子

- ◆**授業概要** 文学とはその時代と社会を映し出す鏡である。この授業では黎明期から 18 世紀前半のイギリスの文学をイギリス史と社会との関係から概観する。具体的には指定したテキストのプロローグから第 4 章までの各章における時代の特徴と社会について学び、各時代の文学を詩、散文、戯曲のジャンルごとの代表的作家とその作品の内容を学び、イギリス文学を歴史の流れの中で広い視座から理解できる事を心がける。
- ◆**学修到達目標** 黎明期から 18 世紀前半のイギリスの歴史・社会と文学の関連性を説明できるようになる事を目的とする。それぞれの時代や社会の特徴について学び、それらが文学にどのような影響を与えたのかを考察し、理解できるようになる事を目的とする。その過程でイギリス文学に必要な基礎知識(代表的作家、代表的作品、文学用語など)を身につけ、文学を深く理解する土台を築く事を目的とする。
- ◆**授業方法** テキストに沿ってプロローグから第 4 章までの時代思潮と各ジャンル(詩、散文、戯曲)の概説を学んだ上で、代表的な作家についての解説、代表作の内容についての解説を行う。重要な作品の原文を読む。詩は重要な作品を音声で聞き、発音してもらう場合もある。作品や時代を理解する一助として映像を使用する場合もある。作品についてのコメントを書いてもらうこともある。
- ◆**履修条件** 2018 年度以前の同担当による同科目で単位修得した者は不可
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 ガイダンス、オリエンテーション、授業の進め方、講義内容に記載されている成績評価方法等の確認、夏期スクーリングで扱う作家や作品を紹介する。 事前学修 指定されたテキストの範囲(プロローグから第 4 章まで)を読み、自分が興味のある作家と作品を考えてくる。 事後学修 夏期スクーリングで学ぶ予定のイギリス文学はどのような作品があるのか調べる。
2 回	授業内容 テキスト プロローグ(1) イギリス文学の黎明期 イギリスの文学の黎明期をどこに置くのか、イギリスという国の歴史を振り返りながら解説する。この時代の詩について解説する。 事前学修 テキストの 2-3 頁を読み、イギリスという国や英語の歴史について調べる。 事後学修 授業時にとったノートを復習し、イギリスという国の成立や英語の歴史についてまとめる。
3 回	授業内容 テキスト プロローグ(2) アングロサクソンの文学(古英語の文) 叙事詩 <i>Beowulf</i> について解説し、音声聞き、読んでみる。映像で内容をたどる。古英語を使った他の詩を聞いて内容を解説する。この時代の散文について解説する。 事前学修 テキストの 4-10 頁を読み、古英語で書かれた詩にはどのようなものがあるのか調べる。 事後学修 授業時にとったノートを復習し、 <i>Beowulf</i> や他の古英語で書かれた他の詩の特徴や内容についてまとめる。散文にはどのようなものがあるのかその内容についてまとめる。
4 回	授業内容 テキスト 第 1 章 中世(14, 15 世紀)の文学(1) 14, 15 世紀のイギリスの社会について解説する。この時代の詩の特徴について解説する。代表的詩人(Geoffrey Chaucer, William Langland)とその作品について、また ballad について解説する。 <i>The Canterbury Tales</i> の解説をし、抜粋部分の原文の音声聞き、内容を確認する。 事前学修 テキストの 12-27 頁を読み、中世のイギリスの社会やこの時代の詩人と作品について調べる。 事後学修 授業時にとったノートを復習し、中世のイギリス社会や当時の代表的詩人(Geoffrey Chaucer)とその作品についてまとめる。
5 回	授業内容 テキスト 第 1 章 中世(14, 15 世紀)の文学(2) 14, 15 世紀の散文の特徴について解説する。代表的散文家(Thomas Malory)とその作品について解説する。アーサー王伝説について解説する。アーサー王伝説に関する映像で鑑賞する。中世の演劇について解説する。 事前学修 テキストの 27-31 頁を読み、中世の散文、アーサー王伝説について調べる。 事後学修 授業時にとったノートを復習し、中世の散文やアーサー王伝説についてまとめる。アーサー王が後世の文学に与えた影響を考える。中世の演劇の特徴についてまとめる。
6 回	授業内容 テキスト 第 2 章 ルネサンス(16 世紀)の文学(1) 16 世紀のイギリスの社会、イギリスのルネサンスについて解説する。16 世紀の詩について解説し、この時代の代表的詩人(Edmund Spenser, Philip Sidney, William Shakespeare)とその作品の概要について解説する。詩型や修辭法について解説する。詩を音声で確認する。 事前学修 テキストの 36-43 頁を読み、ルネサンス期のイギリス社会、この時代の詩や詩人について調べる。 事後学修 授業時にとったノートを復習し、ルネサンス期のイギリス社会、この時代の詩や詩人についてまとめ、興味を持った詩を読んでみる。詩型や修辭法の復習をする。
7 回	授業内容 テキスト 第 2 章 ルネサンス(16 世紀)の文学(2) William Shakespeare の <i>Sonnets</i> から有名なものを選び、映像も用いて内容をたどり、音声で確認し、読む。 事前学修 William Shakespeare の <i>Sonnets</i> にはどのようなものがあるのか調べる。 事後学修 William Shakespeare の <i>Sonnets</i> について復習し、授業時に扱った詩の内容を確認し、声に出して読む。
8 回	授業内容 テキスト 第 2 章 ルネサンス(16 世紀)の文学(3) 16 世紀の散文について解説し、代表的散文家(Thomas More, Francis Bacon)を紹介し、その内容を概説する。16 世紀の演劇について解説し、代表的劇作家(Christopher Marlowe, William Shakespeare)を紹介し、代表作を概説する。 事前学修 テキストの 45-60 頁を読み、16 世紀の散文家、劇作家にはどのような人物がいるか、どのような作品があるのか調べる。 事後学修 授業時にとったノートを復習し、ルネサンス期の散文や演劇についてまとめる。
9 回	授業内容 テキスト 第 2 章 ルネサンス(16 世紀)の文学(4) William Shakespeare 代表作を映像や有名な台詞の意味を考えながら鑑賞する。 事前学修 William Shakespeare の演劇にはどのようなものがあるのか調べる。 事後学修 授業時にとったノートを復習し、William Shakespeare の作品で興味のあるものを読む。
10 回	授業内容 テキスト 第 3 章 17 世紀の文学 宗教革命と文学(1) 17 世紀のイギリスの社会、宗教革命の影響について解説する。17 世紀の詩について解説し、この時代の代表的詩人(John Donne, Robert Herrick, George Herbert, John Milton, Andrew Marvell)とその作品の概要について解説する。 事前学修 テキストの 62-82 頁を読み、17 世紀のイギリス社会とこの時代の詩や詩人について調べる。 事後学修 授業時にとったノートを復習し、17 世紀のイギリス社会とこの時代の詩や詩人についてまとめる。
11 回	授業内容 テキスト 第 3 章 17 世紀の文学 宗教革命と文学(2) 17 世紀の王党派詩人、形而上派詩人、宗教詩や説教から有名な作品を選んで読む。音声で確認もする。 事前学修 17 世紀の詩にはどのようなものがあるのか調べて読む。 事後学修 授業で扱った詩の内容を復習し、時代背景と関連づけてまとめる。授業で扱った詩を声に出して読んでみる。
12 回	授業内容 テキスト 第 3 章 17 世紀の文学 宗教革命と文学(3) 17 世紀の散文について解説する。欽定訳聖書ができるまでの過程を解説する。この時代の代表的な散文家(John Bunyan)を紹介し、代表作について概説する。 事前学修 テキストの 82-90 頁を読み、17 世紀の散文家について調べる。欽定訳聖書について調べる。 事後学修 授業時にとったノートを復習する。17 世紀の散文、欽定訳聖書成立までの過程をまとめる。
13 回	授業内容 テキスト 第 4 章 王政復古から 18 世紀初頭の文学(1) 王政復古の時代から 18 世紀初頭の詩について解説する。代表的詩人(John Dryden, Alexander Pope)を紹介し、代表作を概説する。 事前学修 テキストの 92-101 頁を読み、王政復古の時代の詩や詩人の特徴を調べる。 事後学修 授業時にとったノートを復習する。王政復古の時代の詩と 17 世紀の宗教詩と比較してみる。
14 回	授業内容 テキスト 第 4 章 王政復古から 18 世紀初頭の文学(2) 全体の総まとめ 王政復古の時代から 18 世紀初頭の散文について解説する。代表的作家(Joseph Addison, Daniel Defoe, Jonathan Swift)を紹介し、ジャーナリズムと次世代の近代小説の萌芽になる作品とに分けて概説する。この時代の演劇、劇作家(William Congreve)を紹介し、代表作を概説する。これまで解説してきた事のポイントを解説する。 事前学修 テキストの 102-115 頁を読み、王政復古の時代の散文家や劇作家について調べる。 事後学修 授業時にとったノートを復習する。王政復古の時代の散文と劇についてまとめる。
15 回	授業内容 試験とその解説を行う。 事前学修 夏期スクーリングで学んだことを総復習する。 事後学修 試験でできなかったところを見直し、復習する。

- ◆**教科書** 丸沼『はじめて学ぶイギリス文学史』 ミネルヴァ書房 3,024 円(税込)(送料 350 円)
- ◆**参考書** 丸沼『英語文学事典』 ミネルヴァ書房 4,860 円(税込)(送料 500 円)
丸沼『映画で英詩入門』 平凡社 1,404 円(税込)(送料 300 円)
丸沼『イギリス名詩選』 岩波文庫 993 円(税込)(送料 215 円)
※参考文献は自習用であり、授業では使用しません。

- ◆**成績評価基準** コメントシート(30%)、試験(70%)
授業には毎回出席することを前提として評価を行います。

- ◆**授業相談(連絡先)** 基本的には授業終了時に対応します。
事前に相談内容を話していただいた上でアポイントメントをとることが望ましい。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語学概説〕

真野 一雄

- ◆**授業概要** 英語学の根幹をなす意味論・語用論について基礎的・一般的な分野から専門的な事項まで幅広く概観します。
- ◆**学修到達目標** 英文学専攻の学生として必要な英語学の知識を修得し、英語学とは何か、意味論・語用論は何か、詳細に説明できるようになる。
- ◆**授業方法** テキスト本文の解説、補足説明を行います。「設問」の解答は事前に準備しておいてください。また、必要に応じて担当講師が用意する練習問題も行います。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 第5章 語彙意味論 1 語の意味 2 意味関係 事前学修 テキスト p. 118-p. 126 を読み、問題点を整理しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
2 回	授業内容 第5章 語彙意味論 3 多義 事前学修 テキスト p. 126-p. 129 を読み、問題点を整理しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
3 回	授業内容 第5章 語彙意味論 4 名詞の意味：加算と不可算 事前学修 テキスト p. 129-p. 135 を読み、問題点を整理しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
4 回	授業内容 第5章 語彙意味論 5 動詞の意味 事前学修 テキスト p. 135-p. 144 を読み、問題点を整理しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
5 回	授業内容 第6章 認知意味論 1 認知言語学 2 カテゴリー化とプロトタイプ 事前学修 テキスト p. 148-p. 155 を読み、問題点を整理しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
6 回	授業内容 第6章 認知意味論 3 メトニミー 事前学修 テキスト p. 155-p. 158 を読み、問題点を整理しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
7 回	授業内容 第6章 認知意味論 4 語の意味 事前学修 テキスト p. 158-p. 161 を読み、問題点を整理しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
8 回	授業内容 第6章 認知意味論 5 抽象概念とメタファー 事前学修 テキスト p. 161-p. 170 を読み、問題点を整理しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
9 回	授業内容 第6章 認知意味論 6 事態の解釈 7 概念融合 事前学修 テキスト p. 170-p. 175 を読み、問題点を整理しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
10 回	授業内容 第7章 語用論 1 語用論という領域 2 発話の論理形式 事前学修 テキスト p. 178-p. 183 を読み、問題点を整理しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
11 回	授業内容 第7章 語用論 3 表意 事前学修 テキスト p. 183-p. 189 を読み、問題点を整理しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
12 回	授業内容 第7章 語用論 4 推意 事前学修 テキスト p. 189-p. 191 を読み、問題点を整理しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
13 回	授業内容 第7章 語用論 5 概念的情報を持つ表現 6 手続き的情報を持つ表現 事前学修 テキスト p. 191-p. 197 を読み、問題点を整理しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
14 回	授業内容 第7章 語用論 7 記述的使用と帰属的使用 8 日英比較 事前学修 テキスト p. 197-p. 204 を読み、問題点を整理しておく。 事後学修 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
15 回	授業内容 試験とその解説 事前学修 5章～7章の総復習をしておく。 事後学修 5章～7章のまとめをし、理解を完璧にする。

- ◆**教科書** 教材『英語学概説 N30700』通信教育教材（教材コード 000567）2,750 円（送料込）
〈この教材は市販の『日英対照英語学の基礎』（くろしお出版）と同一です。〉
【※新教材】
- ◆**参考書** 丸沼『明解言語学辞典』三省堂 2,376 円（税込）（送料 300 円）
丸沼『最新英語学・言語学用語辞典』開拓社 4,768 円（税込）（送料 500 円）
その他の英語学入門書、概説書なら何でも結構です。
- ◆**成績評価基準** 全出席を前提に、試験 100%で評価の予定。（試験は途中退場なしです）
- ◆**授業相談（連絡先）**：mano.kazuo@nihon-u.ac.jp

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

【英語学演習C】

黒滝 真理子

◆**授業概要** 煩雑で混沌としたように捉えられる言語現象を理解するには、何らかの理論的枠組みが必要である。本講義では、物事の捉え方とことばの仕組みは密接に関連しているとみなす認知言語学（Cognitive Linguistics）の枠組みを通して、様々な日英語の言語現象について考えていく。その認知言語理論を基に文化と言語の関係を考察する力を養い、ことばに関する様々な現象への興味関心や洞察力を深めていく。

◆**学習到達目標** 文法と意味のメカニズムを明らかにするために、いかにして認知的作用が言語現象に反映されているかを考えながら、認知言語学の基本概念を体系的に身につける。その認知言語学が日英語の文法研究にどのような洞察を与えてくれるかを理解した上で、言語の本質と働きに関わる考察力を養うことを到達目標とする。さらに、専門的な文献を批判的に読むことで書評的能力を高め、論文作成への応用の仕方が体得できるようになる。

◆**授業方法** 事前学習で会得した先行知識をもとに、補足プリント教材も併用し、演習形式で授業を展開していく。各授業の後半で、その日の主な学習に対し、理解度を確認するためにリアクション・ペーパーの提出を求める。

◆授業計画（各90分）

1回	授業内容 事前学修 事後学修	授業のテーマや内容、授業スケジュール、成績評価の方法、参考文献の紹介などを含めて英語学の学習方法や研究方法について理解し、授業の準備を具体的に行えるようにする。次に、認知言語学とは何かについて触れる。 シラバスを確認すると共に、教科書各章の冒頭にある導入説明を読み、講義全体を概観する。 講義ノートを確認して、卒論も見据えての自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討する。
2回	授業内容 事前学修 事後学修	言語理論の歴史における認知言語学の位置付けを概観し、何故認知言語学の重要性が高まってきたかを理解するために背景を捉える。 前回の授業内容を再読し、理解できた点とできなかった点を確認する。前もって教科書の該当部分と配布資料に目を通しておく。 学習項目を見直し、教科書の該当部分と配布資料を読みながら授業内容を確認・整理・理解し、疑問点があれば書き上げておく。また可能な場合は未習事項も読んでおく。
3回	授業内容 事前学修 事後学修	カテゴリー化・プロトタイプ・スキーマを学習する。 前回の授業内容を再読し、理解できた点とできなかった点を確認する。前もって教科書の該当部分と配布資料に目を通しておく。 学習項目を見直し、教科書の該当部分と配布資料を読みながら授業内容を確認・整理・理解し、疑問点があれば書き上げておく。また可能な場合は未習事項も読んでおく。
4回	授業内容 事前学修 事後学修	認知文法と構文について考察する。 前回の授業内容を再読し、理解できた点とできなかった点を確認する。前もって教科書の該当部分と配布資料に目を通しておく。 学習項目を見直し、教科書の該当部分と配布資料を読みながら授業内容を確認・整理・理解し、疑問点があれば書き上げておく。また可能な場合は未習事項も読んでおく。
5回	授業内容 事前学修 事後学修	意味拡張の仕組みと多義性を考察する。 前回の授業内容を再読し、理解できた点とできなかった点を確認する。前もって教科書の該当部分と配布資料に目を通しておく。 学習項目を見直し、教科書の該当部分と配布資料を読みながら授業内容を確認・整理・理解し、疑問点があれば書き上げておく。また可能な場合は未習事項も読んでおく。
6回	授業内容 事前学修 事後学修	認知能力としてのメタファーとメトニミーを学習し、具体例を考察する。 前回の授業内容を再読し、理解できた点とできなかった点を確認する。前もって教科書の該当部分と配布資料に目を通しておく。 学習項目を見直し、教科書の該当部分と配布資料を読みながら授業内容を確認・整理・理解し、疑問点があれば書き上げておく。また可能な場合は未習事項も読んでおく。
7回	授業内容 事前学修 事後学修	メタファーを応用した例文を解釈し、メタファーへの理解を深める。 前回の授業内容を再読し、理解できた点とできなかった点を確認する。前もって教科書の該当部分と配布資料に目を通しておく。 学習項目を見直し、教科書の該当部分と配布資料を読みながら授業内容を確認・整理・理解し、疑問点があれば書き上げておく。また可能な場合は未習事項も読んでおく。
8回	授業内容 事前学修 事後学修	日英語対照の観点から「ことばの意味変化」を考察する。 前回の授業内容を再読し、理解できた点とできなかった点を確認する。前もって教科書の該当部分と配布資料に目を通しておく。 学習項目を見直し、教科書の該当部分と配布資料を読みながら授業内容を確認・整理・理解し、疑問点があれば書き上げておく。また可能な場合は未習事項も読んでおく。
9回	授業内容 事前学修 事後学修	「文法化と主体化」について学習する。 前回の授業内容を再読し、理解できた点とできなかった点を確認する。前もって教科書の該当部分と配布資料に目を通しておく。 学習項目を見直し、教科書の該当部分と配布資料を読みながら授業内容を確認・整理・理解し、疑問点があれば書き上げておく。また可能な場合は未習事項も読んでおく。
10回	授業内容 事前学修 事後学修	対照研究の面白さと意義を考察する。 前回の授業内容を再読し、理解できた点とできなかった点を確認する。前もって教科書の該当部分と配布資料に目を通しておく。 学習項目を見直し、教科書の該当部分と配布資料を読みながら授業内容を確認・整理・理解し、疑問点があれば書き上げておく。また可能な場合は未習事項も読んでおく。
11回	授業内容 事前学修 事後学修	「日本語らしさ」と「英語らしさ」について分析し、整理する。 前回の授業内容を再読し、理解できた点とできなかった点を確認する。前もって教科書の該当部分と配布資料に目を通しておく。 学習項目を見直し、教科書の該当部分と配布資料を読みながら授業内容を確認・整理・理解し、疑問点があれば書き上げておく。また可能な場合は未習事項も読んでおく。
12回	授業内容 事前学修 事後学修	日英語の「事態把握」の相違を把握する。 前回の授業内容を再読し、理解できた点とできなかった点を確認する。前もって教科書の該当部分と配布資料に目を通しておく。 学習項目を見直し、教科書の該当部分と配布資料を読みながら授業内容を確認・整理・理解し、疑問点があれば書き上げておく。また可能な場合は未習事項も読んでおく。
13回	授業内容 事前学修 事後学修	認知言語学から見た「英語らしさ」「日本語らしさ」を考察する。 前回の授業内容を再読し、理解できた点とできなかった点を確認する。前もって教科書の該当部分と配布資料に目を通しておく。 学習項目を見直し、教科書の該当部分と配布資料を読みながら授業内容を確認・整理・理解し、疑問点があれば書き上げておく。また可能な場合は未習事項も読んでおく。
14回	授業内容 事前学修 事後学修	「認知言語学と文化学」を説き、「認知→言語→学」の流れをまとめる。本授業の総括及び理解度の確認をする。 授業内容をノートに整理し、今まで学習したことを復習し、疑問点を洗い出す。 最終試験に備えて、確認・理解を試みる。
15回	授業内容 事前学修 事後学修	最終試験及び講評 前回の授業内で指摘した重要箇所を確認し、最終試験に備える。 授業内容を復習・確認し、言語の本質と働きに関わる考察力を引き続き養っていく。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕

◆**参考書** 丸沼『認知言語学の基礎』河上誓作 研究社 1996 2,916円（税込）（送料300円）
丸沼『新編 認知言語学キーワード事典』辻幸夫編 研究社 2013 4,644円（税込）（送料500円）

◆**成績評価基準** 授業参加度（40%）、課題と試験（60%）を総合的に評価する。

◆**授業相談（連絡先）**：授業の際にわからない箇所などがあつた場合は臆せず授業前後に質問し、確実に身につけるようにすること。詳細は初回授業時に伝える。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英米文学演習D〕

桶田 由衣

- ◆**授業概要** Frances Hodgson Burnett 作の児童文学 *The Secret Garden* を読み、文学作品を読む際に気づく点を一つでも多く身につけられるようにします。精読だけでなく、グループワークで自分の意見を言う練習や、関連する先行研究等を読んで、どのように作品を分析しているのかも一緒に見ていけたらと思います。
- ◆**学修到達目標**
 - ・ *The Secret Garden* を読み、自分が気になった箇所について自分の意見を説明できるようになる。
 - ・ Mary, Dickon, Colin そして秘密の花園や魔法といったキーワードを通して、*The Secret Garden* を新たな視点で読むことができるようになる。
 - ・ 授業を通して一つでも多く気づくことができ、自分の意見が言えるようになる。
- ◆**授業方法**
 - ・ 翻訳で一度作品を読んでおくこと。その上で説明します。
 - ・ 以下で指定した章（ページの記載があればそのページ）を扱います。単語は予め調べてください。和訳もします。
 - ・ 指定箇所を全て扱えるわけではありません。指定の章以外も一部扱うこともありますが、その場合はこちらで説明します。
 - ・ 精読やグループワークで意見を出しあうこともします。
 - ・ 授業計画は変更する場合（章の変更はなし、扱わない場合有り）があります。
- ◆**履修条件**
 - ・ 予習が必須です。また予め翻訳で一読してください。
 - ・ 電子辞書（紙辞書でも可）をご持参ください。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	<i>The Secret Garden</i> および作者 Frances Hodgson Burnett について説明することができる。
	事前学修	シラバスを熟読すること。 <i>The Secret Garden</i> および作者 Frances Hodgson Burnett について調べて、整理しておくこと。
	事後学修	他の受講者が調べてきたものを自分が予め調べてきたものと比較し、整理する。
2 回	授業内容	Chapter 1：以下に指定した箇所について精読し、その内容と英語表現を説明できるようになる。
	事前学修	テキスト p.1 When Mary Lennox ~ p.3 the worst insult of all. と p.6 But no one ~ as she watched him. を精読すること。
	事後学修	授業内で扱った英単語や文法事項を確認する。
3 回	授業内容	Chapter 1：Mary の性格・特徴について説明できるようになる。その他に気がついたことを自分の意見として発表することができるようになる。
	事前学修	Chapter 1 を熟読する。
	事後学修	自分の意見以外のものも含めて整理する。
4 回	授業内容	Chapter 5：閉ざされた庭の特徴とその背景について説明できるようになる。
	事前学修	テキスト p.52 That reminded ~ p.53 the key. と p.54 'Why did he ~ p.55 talk about it. を精読すること。
	事後学修	10 年前になぜ庭に誰も入ることができなくなったかを説明できるようにする。
5 回	授業内容	Chapter 9：閉ざされた庭の内側の描写を読み取ることができるようになる。
	事前学修	テキスト p.88 It was the sweetest ~ p.89 in her life. と p.91 'Yes, they are ~ p.92 around them. を精読すること。
	事後学修	授業内で扱った英単語や文法事項を確認する。
6 回	授業内容	Chapter 9：ここまでで確認した庭の描写・背景について、説明できるようになる。
	事前学修	前回の授業で確認した庭の描写についてまとめておく。
	事後学修	秘密の花園に関するポイントとなる描写について整理する。
7 回	授業内容	Dickon, Colin の性格・特徴について説明できるようになる。
	事前学修	意見交換できるように、Chapter 10, 13 をヒントにしなが、それぞれの特徴をまとめる。
	事後学修	自分の意見以外のものをまとめる。
8 回	授業内容	Chapter 17：Mary と Colin の口論の描写について気づく点を挙げられるようになる。
	事前学修	Chapter 17 を読み、Mary と Colin それぞれの立場について気がついたことをまとめておく（特に他の児童文学の女の子の主人公と Mary の違いなど）。
	事後学修	他の人の意見を取り入れた上で自分の意見を改めて整理する。
9 回	授業内容	Chapter 23：魔法に関する記述に焦点を当てて精読を行い、英語表現や文法を説明できるようになる。
	事前学修	テキスト p.267 He was a very proud boy. ~ p.268 columbines or campanulas. と p.272 'When Mary found this garden ~ p.273 Ben Weatherstaff?' を精読すること。
	事後学修	わからなかった英語表現等を復習する。
10 回	授業内容	Chapter 23：魔法に関する記述について、どのようなものを表す言葉として用いられているかを考え、説明できるようになる。※ Chapter 26 の一部も扱うかもしれません。
	事前学修	Chapter 23 を熟読する。※念のため Chapter 26 の p.310 But Colin was ~ p.312 blessing flow? も精読しておくこと。
	事後学修	わからなかった英語表現等を復習する。
11 回	授業内容	Chapter 26：魔法や祈りの場面に焦点を当てて精読を行い、英語表現や文法を説明できるようになる。
	事前学修	テキスト p.310 But Colin was of ~ p.312 blessing flow? と p.316 'Do you believe in ~ p.317 soft pat again. を精読すること。
	事後学修	わからなかった英語表現について見返す。
12 回	授業内容	Chapter 26：魔法, Colin, "the Good Thing" に焦点を当てて気がついたことを説明できるようになる。
	事前学修	Chapter 26 を熟読し、魔法や "the Good Thing" について自分の意見を考えておく。
	事後学修	他の人の意見を取り入れ、自分の意見を整理する。
13 回	授業内容	Chapter 27：気づいたことをグループで議論し、自分の意見を言えるようになる。
	事前学修	テキスト p.327 He did not know ~ p.328 the lovely night. (文の途中です) と p.338 The place was ~ round and round. を精読すること。
	事後学修	自分が授業を通してさらに気づいたことを整理する。
14 回	授業内容	これまでのまとめと解説（今まで扱った章の英語表現について精読かつ書くことができるようになる。）
	事前学修	今回扱った全ての章の英語表現等を確認する。
	事後学修	解けなかった箇所について、発音しながら、あるいは書きながら覚える。
15 回	授業内容	理解度の確認と解説（授業で習得した表現を運用できるようになり、作品で自分が興味を持った箇所について自分の意見が言えるようになる。）
	事前学修	これまでの授業で扱った英語表現や作品を読んで気になったところを整理する。
	事後学修	理解度の確認を通して、自分の理解が足りなかったと思われる章を必ず読み直す。

- ◆**教科書** 『*The Secret Garden*』 Frances Hodgson Burnett Puffin Books 2015
 上記の本は、丸沼書店では取り扱っていませんので、Amazon 等で購入してください。)
- ◆**参考書** 丸沼『秘密の花園』フランシス・ホジソン・バーネット作 土屋京子訳 光文社 950 円（税込）（送料 215 円）
- ◆**成績評価基準** 小テストないしはコメントシート（60%）、試験（40%）
- ◆**授業相談（連絡先）**：初回の授業時に伝えます。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔哲学基礎講読〕

中澤 瞳

- ◆**授業概要** 本授業は、テキストの読み方、要約の方法を理解しながら、哲学者の文献を丁寧に読むことを心がける授業である。課題文献は、シモーヌ・ド・ボーヴォワール『老い』である。この文献の第2部「世界＝内＝存在（老いの発見と受容－身体経験）」を中心に使用する。
- ◆**学修到達目標** 本授業の目標は、講読ができるようになること、要約ができるようになること、文献の内容を理解し、文献の提起する問題について自分でも考えることである。
- ◆**授業方法** 参加者全員、順番にテキストを読み、内容の要約を発表し、文献の理解に努める。
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：ガイダンス、著者紹介 事前学修：ボーヴォワールについて調べる。 事後学修：ボーヴォワールの思想について理解する。
2回	授業内容：基礎講読と要約について 事前学修：講読とはなにか、要約とはなにか調べる。 事後学修：講読の仕方、要約の仕方について理解する。
3回	授業内容：基礎講読と要約について 事前学修：前回の内容を踏まえる。 事後学修：講読の仕方について理解する。
4回	授業内容：課題文献を読む 事前学修：『老い』第2部「世界＝内＝存在（老いの発見と受容－身体経験）」を読んでおく。 事後学修：文献を要約しながら、まとめる。
5回	授業内容：授業内レポート 事前学修：文献を要約しながら、まとめる。 事後学修：自分でまとめた文献をもとに、老いについて考える。
6回	授業内容：課題文献を読む 事前学修：『老い』第2部「世界＝内＝存在（老いの発見と受容－身体経験）」を読んでおく。 事後学修：テキストを要約しながら、まとめる。
7回	授業内容：課題文献を読む 事前学修：『老い』第2部「世界＝内＝存在（老いの発見と受容－身体経験）」を読んでおく。 事後学修：テキストを要約しながら、まとめる。
8回	授業内容：課題文献を読む 事前学修：『老い』第2部「世界＝内＝存在（老いの発見と受容－身体経験）」を読んでおく。 事後学修：テキストを要約しながら、まとめる。
9回	授業内容：課題文献を読む 事前学修：『老い』第2部「世界＝内＝存在（老いの発見と受容－身体経験）」を読んでおく。 事後学修：テキストを要約しながら、まとめる。
10回	授業内容：授業内レポート 事前学修：文献を要約しながら、まとめる。 事後学修：自分でまとめた文献をもとに、老いについて考える。
11回	授業内容：課題文献を読む 事前学修：『老い』第2部「世界＝内＝存在（老いの発見と受容－身体経験）」を読んでおく。 事後学修：テキストを要約しながら、まとめる。
12回	授業内容：課題文献を読む 事前学修：『老い』第2部「世界＝内＝存在（老いの発見と受容－身体経験）」を読んでおく。 事後学修：テキストを要約しながら、まとめる。
13回	授業内容：課題文献を読む 事前学修：『老い』第2部「世界＝内＝存在（老いの発見と受容－身体経験）」を読んでおく。 事後学修：テキストを要約しながら、まとめる。
14回	授業内容：課題文献を読む 事前学修：『老い』第2部「世界＝内＝存在（老いの発見と受容－身体経験）」を読んでおく。 事後学修：テキストを要約しながら、まとめる。
15回	授業内容：授業内レポート 事前学修：文献を要約しながら、まとめ、これまでの事後学修で考えた老いについての意見をまとめる。 事後学修：自分でまとめた文献をもとに、老いについて考える。

- ◆**教科書** 事前資料送付
- ◆**参考書** 授業中に適宜紹介する。
- ◆**成績評価基準** 授業への参加、貢献（50%）、各日の最後の時間に実施する授業内レポート（50%）により総合的に評価する。
なお、毎回出席することを前提として評価する。
- ◆**授業相談（連絡先）**：授業の前後に受け付ける。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔倫理学基礎講読〕

関谷 雄磨

- ◆**授業概要** 「倫理学基礎講読」では、「人間はどのように生きるのがよいのか」という根本的な問題について、実際の倫理学（哲学）書を読み解きながら考察します。本講座では、プラトンの中期作品である『饗宴』を取り上げ、「美」への「あこがれの哲学」と評されるプラトンの倫理思想がどのようなものなのかを考察します。（本作品には、いわゆる「性的描写」が含まれています。履修する際にはその点に留意して下さい。）
- ◆**学修到達目標** プラトンの作品と一緒に読みながら、倫理学（哲学）書の読み方を習得することを目標とします。具体的には、1) まず、作品の中でどのような問題が提起されているのかを理解し、2) そして、その問題に対して著者（あるいは登場人物）がどのような主張をしているのかを読み解きます。3) その上で、読み手であるわれわれ自身がその問題について主体的に考察・評価する、というものです。
- ◆**授業方法** 授業は、学生のみなさんひとりひとりにテキストを音読してもらい、そこにどのような問題が隠れているのかを掘り起こして解説しながら読み進むというスタイルで行います。なお、三日間という短期間で読了しなければならないので、必ず事前に『饗宴』を読んでから授業に臨んで下さい。（「授業計画」におけるページの割り振りは便宜的なものです。）
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: ガイダンスおよび古代ギリシアの文化についての一般的説明 事前学修: 必ず『饗宴』を読了しておくこと 事後学修: 配布プリントを用いて、古代ギリシア文化を振り返り、理解を深めること
2 回	授業内容: プラトンの思想の概要 事前学修: 哲学史の参考書の「プラトン」の項目を読んでおくこと 事後学修: プラトンの思想を振り返り、内容をよく理解しておくこと
3 回	授業内容: 『饗宴』 PP.16-31 の講読 事前学修: 『饗宴』 PP.16-31 を精読し、疑問点を整理しておくこと 事後学修: 『饗宴』 PP.16-31 を振り返り、内容をよく理解しておくこと
4 回	授業内容: 『饗宴』 PP.32-47 の講読 事前学修: 『饗宴』 PP.32-47 を精読し、疑問点を整理しておくこと 事後学修: 『饗宴』 PP.32-47 を振り返り、内容をよく理解しておくこと
5 回	授業内容: 『饗宴』 PP.48-63 の講読 事前学修: 『饗宴』 PP.48-63 を精読し、疑問点を整理しておくこと 事後学修: 『饗宴』 PP.48-63 を振り返り、内容をよく理解しておくこと
6 回	授業内容: 『饗宴』 PP.64-79 の講読 事前学修: 『饗宴』 PP.64-79 を精読し、疑問点を整理しておくこと 事後学修: 『饗宴』 PP.64-79 を振り返り、内容をよく理解しておくこと
7 回	授業内容: 『饗宴』 PP.80-96 の講読 事前学修: 『饗宴』 PP.80-96 を精読し、疑問点を整理しておくこと 事後学修: 『饗宴』 PP.80-96 を振り返り、内容をよく理解しておくこと
8 回	授業内容: 『饗宴』 PP.97-112 の講読 事前学修: 『饗宴』 PP.97-112 を精読し、疑問点を整理しておくこと 事後学修: 『饗宴』 PP.97-112 を振り返り、内容をよく理解しておくこと
9 回	授業内容: 『饗宴』 PP.113-128 の講読 事前学修: 『饗宴』 PP.113-128 を精読し、疑問点を整理しておくこと 事後学修: 『饗宴』 PP.113-128 を振り返り、内容をよく理解しておくこと
10 回	授業内容: 『饗宴』 PP.129-144 の講読 事前学修: 『饗宴』 PP.129-144 を精読し、疑問点を整理しておくこと 事後学修: 『饗宴』 PP.129-144 を振り返り、内容をよく理解しておくこと
11 回	授業内容: 『饗宴』 PP.145-160 の講読 事前学修: 『饗宴』 PP.145-160 を精読し、疑問点を整理しておくこと 事後学修: 『饗宴』 PP.145-160 を振り返り、内容をよく理解しておくこと
12 回	授業内容: 『饗宴』 PP.161-176 の講読 事前学修: 『饗宴』 PP.161-176 を精読し、疑問点を整理しておくこと 事後学修: 『饗宴』 PP.161-176 を振り返り、内容をよく理解しておくこと
13 回	授業内容: 『饗宴』 PP.177-193 の講読 事前学修: 『饗宴』 PP.177-193 を精読し、疑問点を整理しておくこと 事後学修: 『饗宴』 PP.177-193 を振り返り、内容をよく理解しておくこと
14 回	授業内容: 総まとめ（質問コーナー） 事前学修: 全回を振り返り、疑問点を整理しておくこと 事後学修: 話題になったことから振り返り、理解を深めておくこと
15 回	授業内容: 試験および振り返り 事前学修: 試験範囲についての理解を深めておくこと 事後学修: 全回の内容を振り返り、試験範囲以外のことからについての理解を深めておくこと

- ◆**教科書** 丸沼『饗宴』中澤務訳 光文社古典新訳文庫 1,015 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**参考書** 通材『哲学 B10700』通信教育教材（教材コード 000404）3,650 円（送料込）
この教材は市販の『西洋思想の要諦周覧』嘉吉・齋藤共編（北樹出版）と同一です。）
『西洋思想史 I P20200』通信教育旧教材（教材コード 000133）
（例えば上記のような哲学史の参考書が一冊手元にあるとよいでしょう。）
- ◆**成績評価基準** 試験によって評価します。
- ◆**授業相談（連絡先）**: philosophy_gr_sekiya@yahoo.co.jp

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔日本史入門〕

関 幸彦

- ◆**授業概要** 本科目では、わが国の歴史の根底にある「国史」について、その成立から確立のプロセスや課題について知るために、前近代ならびに近現代の論書や史論を紹介しつつ、わが国の歴史学の発達を概観する。
- ◆**学修到達目標** 日本史の時代区分、歴史学とは何かなど、日本史学修の上で必要な基礎的知識の獲得と、学修姿勢の修得を目標とする。
- ◆**授業方法** テキスト『国史の誕生』を、章・節ごとに解説しつつ、テキストの内容を肉付けする。
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：歴史とは何か。学問としての歴史学 事前学修：テキスト全般の流れと、序章を熟読しておく。 事後学修：授業の内容を復習しておくこと。
2回	授業内容：日本史の時代区分 事前学修：日本史における時代区分の問題点（時代区分論争など）を調べておく 事後学修：授業の内容を復習しておくこと。
3回	授業内容：江戸期における史論あれこれ 事前学修：テキストの1章1節を熟読しておく。 事後学修：授業の内容を復習しておくこと。
4回	授業内容：江戸期における学問の流れを探る 事前学修：テキストの1章2節を熟読しておく。 事後学修：授業の内容を復習しておくこと。
5回	授業内容：江戸から明治期におけるわが国の歴史学の流れ 事前学修：テキストの1章3節を熟読し、2～4章の概要を把握しておく。 事後学修：授業の内容を復習しておくこと。
6回	授業内容：近代史学の成立 一明治期の学問事情（1）— 開化期の史学 事前学修：テキストの2章を熟読しておく。 事後学修：授業の内容を復習しておくこと。
7回	授業内容：近代史学の成立 一明治期の学問事情（2）— 「欧羅巴」史学・リース 事前学修：テキストの3章を熟読しておく。 事後学修：授業の内容を復習しておくこと。
8回	授業内容：近代史学の成立 一明治期の学問事情（3）— 久米邦武筆禍事件 事前学修：テキストの4章を熟読しておく。 事後学修：授業の内容を復習しておくこと。
9回	授業内容：近代史学の展開 一大正期の学問事情（1）— 南北朝正閏論争 事前学修：テキストの5章1節を熟読しておく。 事後学修：授業の内容を復習しておくこと。
10回	授業内容：近代史学の展開 一大正期の学問事情（2）— 近代の論理 事前学修：テキストの5章2節を熟読し、3節を読んでおく。 事後学修：授業の内容を復習しておくこと。
11回	授業内容：近代史学の確立 一昭和戦前期と実証主義（1）— 喜田貞吉 事前学修：テキスト5章3節を熟読しておく。 事後学修：授業の内容を復習しておくこと。
12回	授業内容：近代史学の確立 一昭和戦前期と実証主義（2）— 史観の転換 事前学修：テキスト5章全体を読み、戦前期の史観や歴史の研究方法について調べる。 事後学修：授業の内容を復習しておくこと。
13回	授業内容：近代史学の確立 一マルクス主義歴史学（1）— 唯物史観 事前学修：唯物史観（史的唯物論）についてその概要を調べておく。 事後学修：授業の内容を復習しておくこと。
14回	授業内容：近代史学の確立 一マルクス主義歴史学（2）— 社会経済史学 事前学修：昭和期における社会経済史のあゆみについて調べておく。 事後学修：授業の内容を復習しておくこと。
15回	授業内容：再び歴史学とは何か 事前学修：これまでの講義の内容を振り返っておく。 事後学修：授業の内容を復習しておくこと。

- ◆**教科書** 丸沼『国史の誕生』 関幸彦 講談社学術文庫 907円（税込）（送料215円）
- ◆**参考書** 講義のなかで適宜指示する。
- ◆**成績評価基準** 試験80%、平常点（授業参画度）20%で評価する。なお、評価は全日出席を前提とする。
- ◆**授業相談（連絡先）**：授業終了時、あるいは昼休み

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔西洋史入門〕

後藤 秀和

- ◆**授業概要** 将来、西洋史分野で卒業論文を作成しようと考えたとき、その第一歩をどのように踏み出せば良いか。西洋史各分野の個別「知識」ではなく、研究者としてとるべき「作法」すなわち「調べ」「集め」「読み」「問題を立てる」ための手法について基礎から実習形式を交えて学ぶのが本講座である。
- ◆**学修到達目標** いわゆる西洋史とよばれる分野において卒業論文を作成することを目的とする学生が、自ら選んだテーマおよび時代について、問題を設定し、先行研究を収集し、史料を調査し、論じることを、すなわち大学生として自ら研究を進めることができるように、基礎的方法やキー概念を身につけることを目標とする。
- ◆**授業方法** 実習および講義形式。「興味を持っていること」を具体的に論じるための準備作業として何が必要なのか、教員の専門領域における実例などを交えながら、順を追って講義する。また、参加者には図書館内の参考図書を用いた調査、「文献カード作成」実習、個人テーマ報告と参加者間の質疑応答に参加していただく。
- ◆**履修条件** 積み重ね履修を禁じるものではないが、入門講座という性質上、同一教員による当授業を複数回履修することによる教育効果は高くない。よって既修者に対しては、報告・討論やグループワークにおいて主導的な役割を果たしているか否かが成績評価における重要な基準のひとつとなることを予め理解しておいていただきたい。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 導入：「西洋史学」とは何をする学問か、その問題意識と方法の変遷 事前学修 大型書店等の歴史関連棚を見て現在の歴史学が何を問題にしているのかをつかむ 事後学修 授業内容から史学史的に「問題意識」や「方法」の変遷をまとめる
2 回	授業内容 問題意識と暫定テーマの選定 事前学修 どの時代や地域、どのような問題を論じたいのか、書き出しておく 事後学修 講義内容をもとに、自身の問題意識をより明確に文章化する
3 回	授業内容 研究対象の背景となるミリュー（環境）を意識する 事前学修 地球儀や地図帳などを用い、自身の関心の対象となる地域の環境条件をつかむ 事後学修 講義内容をもとに、対象領域の環境条件をよりくわしく記述する
4 回	授業内容 関心の所在を説明し問いを立てる（受講者による報告・質疑） 事前学修 事前に案内された参考文献を集めて読み、個別報告準備を行う 事後学修 質疑内容や教員からのコメントをもとに、問題構成を修正し問題意識を深化させる
5 回	授業内容 関心の所在を説明し問いを立てる（受講者による報告・質疑） 事前学修 事前に案内された参考文献を集めて読み、個別報告準備を行う 事後学修 質疑内容や教員からのコメントをもとに、問題構成を修正し問題意識を深化させる
6 回	授業内容 「やりたいこと」と「できること」：史料上の制約と方法論による克服、いくつかの事例から 事前学修 自身と興味関心の近い研究を読み、どのような史料を用いているか書き出しておく 事後学修 講義内容をもとに、自身の研究について実施可能性の低い方法を修正する
7 回	授業内容 関心の所在を説明し問いを立てる（受講者による報告・質疑） 事前学修 事前に案内された参考文献を集めて読み、個別報告準備を行う 事後学修 質疑内容や教員からのコメントをもとに、問題構成を修正し問題意識を深化させる
8 回	授業内容 関心の所在を説明し問いを立てる（受講者による報告・質疑） 事前学修 事前に案内された参考文献を集めて読み、個別報告準備を行う 事後学修 質疑内容や教員からのコメントをもとに、問題構成を修正し問題意識を深化させる
9 回	授業内容 作業道具としての辞書、歴史地図、統計、概説書 事前学修 英英辞典や百科事典の中からいくつかを選び、凡例や略号一覧に目を通しておく 事後学修 講義内容をまとめなおす
10 回	授業内容 語義の変遷を歴史的に追う（グループワーク） 事前学修 Oxford English Dictionary などの大型英英辞典の凡例と略号について調べておく 事後学修 実習内容をノートにまとめふりかえる
11 回	授業内容 語義の変遷を歴史的に追う（グループワーク） 事前学修 Oxford English Dictionary などの大型英英辞典の凡例と略号について調べておく 事後学修 実習内容をノートにまとめふりかえる
12 回	授業内容 先行研究を集める：叙述の作法と芋づる式調査 事前学修 自身の関心領域の研究書を手に取り、脚注や文献一覧から探したい本をリスト化する 事後学修 参考文献一覧や脚注の重要性について学んだことをレポートにする
13 回	授業内容 先行研究を集める：網羅的調査と雑誌目録 事前学修 自身の関心領域の研究書を手に取り、脚注や文献一覧から探したい本をリスト化する 事後学修 各自、実習時に作成した計画に従い図書館で調査を行う
14 回	授業内容 先行研究を集める：網羅的調査と WEB 検索 事前学修 自身の関心領域の研究書を手に取り、脚注や文献一覧から探したい本をリスト化する 事後学修 各自、実習時に作成した計画に従い図書館で調査を行う
15 回	授業内容 調査計画の作成 事前学修 近隣の図書館を訪問し、国立国会図書館の資料取り寄せ方法について下調べを行う 事後学修 作成した調査計画を実行する

- ◆**教科書** 使用しない
- ◆**参考書** 事前提出レジュメ作成を案内する際、および講義時にお知らせする。
- ◆**成績評価基準** 事前提出のレジュメ（内容だけでなく形式にも重点を置く）、授業内の質疑応答の内容および積極性、実習作業の到達度、授業内レポートによって総合的に評価する。
- ◆**授業相談（連絡先）**：教務課を通じて相談されたい。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

(経済原論 / 経済学原論)

陸 亦群

◆**授業概要** この経済原論は現代マクロ経済学入門として位置づける。講義は先ず、ケインズ経済学の基礎である有効需要原理、流動性選好利子率論を説明し、そのうえ、IS=LM分析とマンデル=フレミング・モデルを中心とするオープンエコノミーを展開する。続いて、短期モデルと長期モデルの比較を踏まえて、新古典派経済学の視点から物価水準の決定、インフレとデフレを中心に講義を進める。

◆**学修到達目標** 経済原論では、有効需要原理、流動性選好利子率論、IS=LM分析、国際マクロ経済学、短期モデルと長期モデルの比較、物価水準の決定、インフレとデフレを中心に講義を進める。この講義では、現実のマクロ経済現象を読み解くマクロ経済学の構造を理解するため、最低限必要な「基礎知識」、「経済学の考え方」、「分析手法」を習得することが目標となる。

◆**授業方法** 本講義は原則としてパワーポイントを使用して授業を進める。必要に応じて板書を行う。また、具体例や経済動向を解説し、そのプリント資料を配布する。

◆**授業計画 (各90分)**

1回	授業内容：マクロ経済学では何を学ぶか、特に現代マクロ経済学の学習内容を概説する 事前学修：教科書の第1章を熟読すること 事後学修：講義レジュメを参照し、講義ノートを整理事務すること
2回	授業内容：国民所得の決定について 事前学修：教科書第4章 (P.75-82) を予め読んでおくこと 事後学修：消費関数、投資関数、45度線モデルと財市場の均衡調整を復習すること
3回	授業内容：有効需要原理 事前学修：教科書第4章 (P.83-98) を予め読んでおくこと 事後学修：財政政策、総需要管理、乗数効果を復習すること
4回	授業内容：流動性選好利子立論 事前学修：教科書第5章 (P.99-130) を予め読んでおくこと 事後学修：流動性選好利子立論、貨幣の需要とマネーサプライの基礎知識を復習すること
5回	授業内容：財市場・貨幣市場の均衡とIS=LM分析 事前学修：教科書第6章 (P.131-152) を予め読んでおくこと 事後学修：財市場とIS曲線、貨幣市場均衡LM曲線、そしてIS=LM同時均衡の基礎的分析手法を復習すること
6回	授業内容：国際収支表の構造、国際通貨制度、ISバランスと資本勘定 事前学修：教科書第7章 (P.153-162) を予め読んでおくこと 事後学修：国際通貨制度を理解し、国際収支表の構造とISバランスと資本勘定の基礎概念を確認すること
7回	授業内容：マンデル=フレミング・モデル 事前学修：教科書第7章 (P.162-167) を予め読んでおくこと 事後学修：開放経済体系における財市場の均衡とIS曲線の導出、貨幣市場の均衡とLM曲線の導出、資本移動と利子率の決定の講義内容を復習すること
8回	授業内容：固定相場制のもとでの経済政策の効果 事前学修：教科書第7章 (P.167-172) を予め読んでおくこと 事後学修：固定相場制のもとでの財政政策の効果、金融政策の効果、為替レート変更の効果、保護主義的な貿易政策の効果について復習すること
9回	授業内容：変動相場制のもとでの経済政策の効果 事前学修：教科書第7章 (P.172-178) を予め読んでおくこと 事後学修：変動相場制のもとでの財政政策の効果、金融政策の効果、為替レート変更の効果、保護主義的な貿易政策の効果について復習すること
10回	授業内容：マクロ経済分析の基本的な枠組み、短期のケインズモデル、長期の新古典派モデル 事前学修：教科書第3章 (P.52-66) および第8章 (P.183-192) を予め読んでおくこと 事後学修：長期均衡モデルにおける労働市場の均衡と産出量の決定、財市場の均衡と利子率の決定、貨幣市場の役割、貨幣数量説を復習すること
11回	授業内容：供給サイドを考慮した長期モデルの分析 事前学修：教科書第8章 (P.193-203) を予め読んでおくこと 事後学修：マネーサプライと名目GDP及びイン플레이ションの関係、期待物価上昇率、「名目」利子率と「実質」利子率について復習すること
12回	授業内容：物価水準はどのように決まるのか / IS・LMモデルの拡張① 事前学修：教科書第9章 (P.208-213) を予め読んでおくこと 事後学修：ケインジアンと古典派の総供給曲線、現実的な短期の総供給曲線、労働者錯覚モデル、総供給関数における長期と短期について確認し講義内容を復習すること
13回	授業内容：物価水準はどのように決まるのか / IS・LMモデルの拡張② 事前学修：教科書第9章 (P.214-222) を予め読んでおくこと 事後学修：物価水準の決定、名目賃金率の伸縮性、労働市場と完全雇用、ピグー効果、AD/AS分析と財政・金融政策の効果、価格の調整速度について復習すること
14回	授業内容：インフレとデフレ 事前学修：教科書第10章を熟読しておくこと 事後学修：フィリップス曲線とインフレーション、合理的期待形成と自然失業率仮説、インフレとデフレの社会的費用の概念を整理し復習すること
15回	授業内容：第2回から第14回までの要点まとめ 事前学修：教科書第2章から10章までの各章を読み、各章のポイントを確認すること 事後学修：各章の講義レジュメを参照し、講義ノートを整理事務し、全体復習すること

◆**教科書** 丸岡『入門マクロ経済学 第5版』中谷巖 日本評論社 3,024円 (税込) (送料350円)
事前資料送付 講義レジュメ

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 定期試験80%、講義態度(出席)20%。経済学の基礎知識を身に付けているかを判定する。

◆**授業相談 (連絡先)**：オフィスアワー：講義終了後

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔租税論〕

鵜藤 俊英

◆**授業概要** 日本の国家（地方公共団体）の財政の収入源は、ほぼ税金である。国の財政状態の現状を把握・理解し、そこにある問題点を解決する方法を検討する。本講座では、現実に施行されている租税制度を基に研究していく。初学者にも理解できるように、わかり易い副教材・資料を用いて、具体的なテーマを設定の上、実社会でも問題とした内容をもとに授業を進めていくアクティブラーニング型講座である。

◆**学修到達目標** まず、日本の財政の現状が今後の国の在り方にどのように影響するのかを理解し、そこにある問題点を指摘・説明できる。

次に、その問題点を解決するために必要と考えられる税制度を模索し、現状の税制度の問題点と合わせ、どのような税制度への改善策があるのかを指摘できるようにする。

◆**授業方法** 各講義でのテーマについて、必要に応じて補助教材等を使用しながら解説する。各授業の最後に、そのテーマについてのリアクション・ペーパー（小論文）を記述し、提出を求める。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：日本の財政状態の現状を把握する。 事前学修：ネットニュースなどで、事前に調べておくこと。 事後学修：当日配布資料を再読する。
2 回	授業内容：財政再建には何をすべきかを検討する。 事前学修：税金と国債について調べておくこと。 事後学修：国債（＝借金）について再考する。
3 回	授業内容：税の基本的考え方（公平・中立・簡素）を説明する。 事前学修：身近な税金にはどんなものがあるのかを調べておくこと。 事後学修：社会の会費とは何を意味するのかを考える。
4 回	授業内容：現在の日本の税体系を説明する。 事前学修：所得税、消費税とは何かを調べておくこと。 事後学修：予算編成が意味するところを再考する。
5 回	授業内容：財政民主主義（租税法律主義）について説明する。 事前学修：国民が負担している税金の意味を調べておくこと。 事後学修：誰が税負担を決めたのか、再考する。
6 回	授業内容：租税回避行為について説明する。 事前学修：節税について調べておくこと。 事後学修：脱税と租税回避行為の境界を考える。
7 回	授業内容：「パナマ文書」事件について説明する。 事前学修：ネットで、「パナマ文書」を検索し、概要を把握しておくこと。 事後学修：「パナマ文書」が抱える社会問題について再考する。
8 回	授業内容：格差が社会にもたらす影響について説明する。 事前学修：実際にある格差について調べておくこと。 事後学修：不公平社会における公平課税について考えてみる。
9 回	授業内容：低所得者に対する課税と生活保護について説明する。 事前学修：生活保護について調べておくこと。 事後学修：課税最低限について再考する。
10 回	授業内容：少子高齢化社会について説明する。 事前学修：日本の未来について考えてみること。 事後学修：少子高齢化社会で担われる税について再考する。
11 回	授業内容：「税と社会保障の一体改革」について説明する。 事前学修：政府が主張した説明を調べておくこと。 事後学修：政府の取り組み方（特に「税」）について再考する。
12 回	授業内容：社会保障制度を概観する。 事前学修：健康保険と年金について調べておくこと。 事後学修：税の使い道としての社会保障制度を再考する。
13 回	授業内容：「人生 100 年時代」の生き方を考え、30 年後を考える。 事前学修：自分の未来設計をしておくこと。 事後学修：事前学習での未来設計の問題点を調べる。
14 回	授業内容：理解度の確認。 事前学修：リアクションペーパーに記した自分の考えをまとめておくこと。 事後学修：再考すべき点を再確認し、まとめておく。
15 回	授業内容：試験及び解説。 事前学修：前回の授業でまとめたものと教科書を読み比べておくこと。 事後学修：本講座で指摘した問題点を再確認する。

◆**教科書** 教材『租税論 R31700』通信教育教材（教材コード 000467）4,050 円（送料込）
〈この教材は市販の『新版租税論』高木勝一（八千代出版）と同一です。〉

◆**参考書** 図説『よくわかる税法入門最新版』三木義一編著 有斐閣 2,268 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** テスト 60%、小論文 30%、授業参画度 10%

◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に案内する。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔商法〕

金澤 大祐

◆**授業概要** 本授業では、まず、会社の設立から、会社の資金調達、企業買収に至るまでの会社を取り巻く利害関係者間の利害を調整している会社法上の制度についての基礎的な知識を修得し、次に、会社法が関係する具体的な事例について、当該事例における事実関係を踏まえて、会社法を適用し、一定の結論を導き出せるようになることを目的とする。

◆**学修到達目標** 会社法上の基礎的な条文を六法で引くことができる。
会社法上の基礎的な制度について、その概要や制度趣旨を説明することができる。
会社法上の基礎的な判例について、事案、争点及び裁判所の判断について説明することができる。
会社法が関係する具体的な事案について、関連する法律や判例を参考に、一定の結論を導き出せる。

◆**授業方法** 講義形式が基本であるため、予習と復習が必須であるが、漫然と講義を受講していても知識が定着しないため、講義内容での質疑応答や小テストを実施することによって知識の定着を図る。

◆**履修条件** 民法を履修していることが望ましい。

◆**授業計画（各90分）**

1回	授業内容：株式会社設立と会社の能力 事前学修：授業内容の該当箇所をテキスト又は事前配布資料で一読し、関係条文を六法で引くこと。 事後学修：授業で取り扱った具体的な事案について、理解しておくこと。
2回	授業内容：株主の地位と株主間の利害調整 事前学修：授業内容の該当箇所をテキスト又は事前配布資料で一読し、関係条文を六法で引くこと。 事後学修：授業で取り扱った具体的な事案について、理解しておくこと。
3回	授業内容：株式の内容と株式の流通 事前学修：授業内容の該当箇所をテキスト又は事前配布資料で一読し、関係条文を六法で引くこと。 事後学修：授業で取り扱った具体的な事案について、理解しておくこと。
4回	授業内容：会社の資金調達方法 事前学修：授業内容の該当箇所をテキスト又は事前配布資料で一読し、関係条文を六法で引くこと。 事後学修：授業で取り扱った具体的な事案について、理解しておくこと。
5回	授業内容：株主総会の手続と運営 事前学修：授業内容の該当箇所をテキスト又は事前配布資料で一読し、関係条文を六法で引くこと。 事後学修：授業で取り扱った具体的な事案について、理解しておくこと。
6回	授業内容：株主総会決議の瑕疵 事前学修：授業内容の該当箇所をテキスト又は事前配布資料で一読し、関係条文を六法で引くこと。 事後学修：授業で取り扱った具体的な事案について、理解しておくこと。
7回	授業内容：取締役の選解任と取締役会 事前学修：授業内容の該当箇所をテキスト又は事前配布資料で一読し、関係条文を六法で引くこと。 事後学修：授業で取り扱った具体的な事案について、理解しておくこと。
8回	授業内容：取締役の義務、取締役の報酬 事前学修：授業内容の該当箇所をテキスト又は事前配布資料で一読し、関係条文を六法で引くこと。 事後学修：授業で取り扱った具体的な事案について、理解しておくこと。
9回	授業内容：企業会計と監査役、指名委員会等設置会社と監査等委員会設置会社 事前学修：授業内容の該当箇所をテキスト又は事前配布資料で一読し、関係条文を六法で引くこと。 事後学修：授業で取り扱った具体的な事案について、理解しておくこと。
10回	授業内容：役員等の対会社責任と対第三者責任 事前学修：授業内容の該当箇所をテキスト又は事前配布資料で一読し、関係条文を六法で引くこと。 事後学修：授業で取り扱った具体的な事案について、理解しておくこと。
11回	授業内容：組織再編総論 事前学修：授業内容の該当箇所をテキスト又は事前配布資料で一読し、関係条文を六法で引くこと。 事後学修：授業で取り扱った具体的な事案について、理解しておくこと。
12回	授業内容：組織再編の手続 事前学修：授業内容の該当箇所をテキスト又は事前配布資料で一読し、関係条文を六法で引くこと。 事後学修：授業で取り扱った具体的な事案について、理解しておくこと。
13回	授業内容：組織再編における救済手段 事前学修：授業内容の該当箇所をテキスト又は事前配布資料で一読し、関係条文を六法で引くこと。 事後学修：授業で取り扱った具体的な事案について、理解しておくこと。
14回	授業内容：キャッシュアウト 事前学修：授業内容の該当箇所をテキスト又は事前配布資料で一読し、関係条文を六法で引くこと。 事後学修：授業で取り扱った具体的な事案について、理解しておくこと。
15回	授業内容：最終試験とその解説 事前学修：1回～14回までの講義内容を確認すること。 事後学修：試験の解説を参考に十分に理解していなかった箇所について、復習すること。

◆**教科書** ポータルサイト上にて指定する。
事前配布資料も予定している。
最新版六法

◆**参考書** 関潤『会社法判例百選〔第3版〕』岩原紳作ほか編 有斐閣 2016年 2,592円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 最終試験70%、小テスト30%

◆**授業相談（連絡先）**：kanazawa.daisuke@nihon-u.ac.jp

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔簿記論 I〕

林 徳順

- ◆**授業概要** 簿記は「帳簿記入」の略語であります。企業の経済活動及びその結果について、企業の経理担当者は一定なルールに従って、種々の帳簿に記入し、それらの帳簿を基に計算書を作成して関係者に報告します。本講義では、①企業の経済活動及びその結果に関する記録ルールが学修でき、②報告に必要な主たる計算書の作成方法について理論的に学修できます。
- ◆**学修到達目標** 本講義の学修到達目標は、①簿記の基礎理論（簿記の種類、簿記上の取引、複式簿記の構造及びその一巡の手続き）について理解でき、②現金・預金、売掛金・買掛金、固定資産の取得と減価償却等に関する具体的な簿記上の会計処理が理解でき、③決算の意義、④精算表等が作成できることであります。
- ◆**授業方法** 本講義では、教員がパワーポイントを利用しながら授業内容についてわかりやすく解説し、受講生の皆さんが授業内容に関する練習問題を解いていただきます。練習問題を解くとき、電卓が必要であります。受講生の理解度の考慮し、授業進捗度を調節する場合があります。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	簿記の概要
	事前学修	簿記の概要（テキスト P 1～P 3）について予習し、専門用語の意味を調べておく。
2 回	事後学修	簿記の歴史、種類等について練習問題を解きながら理解を深める。
	授業内容	複式簿記の構造（1）
3 回	事前学修	資産・負債・純資産の定義、純資産等式など（テキスト P 4～P 7）について事前に学習する。
	事後学修	資産・負債・純資産の定義及び純資産等式に関する練習問題を解きながら理解を深める。
4 回	授業内容	複式簿記の構造（2）
	事前学修	収益・費用・損益計算書の定義、損益法と財産法の関係（テキスト P 8～P 12）について事前に学習する。
5 回	事後学修	収益・費用・損益法と財産法に関する練習問題を解きながら理解を深める。
	授業内容	複式簿記の一巡の手続き（1）～勘定・仕訳・転記～
6 回	事前学修	簿記上の取引、勘定の定義、仕訳・転記（テキスト P 13～P 20）について事前に学習する。
	事後学修	仕訳・転記に関する練習問題を解きながら理解を深める。
7 回	授業内容	複式簿記の一巡の手続き（2）～試算表・精算表の作成等～
	事前学修	試算表・6桁精算表の作成・帳簿決算（テキスト P 22～P 28）について事前に学習する。
8 回	事後学修	試算表・精算表に関する練習問題を解きながら理解を深める。
	授業内容	商品に関する記帳方法・商品売買に伴う諸勘定
9 回	事前学修	商品売買に関する処理方法（テキスト P 29～P 31）について事前に学習する。
	事後学修	分記法・総記法・分割法等に関する練習問題を解きながら理解を深める。
10 回	授業内容	商品売上損益の計算等
	事前学修	三分法による商品売上損益の計算（テキスト P 32～P 36）について事前に学習する。
11 回	事後学修	現金・預金に関する仕訳問題を解きながら理解を深める。
	授業内容	現金・預金の意義及びその簿記上の会計処理
12 回	事前学修	現金・預金の意義等（テキスト P 41～P 49）について事前に学習する。
	事後学修	現金・預金に関する仕訳問題を解きながら理解を深める。
13 回	授業内容	売掛金・買掛金の意義及びその簿記上の会計処理
	事前学修	売掛金・買掛金の意義等（テキスト P 52～P 57）について事前に学習する。
14 回	事後学修	売掛金・買掛金に関する仕訳問題を解きながら理解を深める。
	授業内容	その他の債権債務の意義及びその簿記上の会計処理
15 回	事前学修	未収金・未払金等の意義（テキスト P 58～P 62）について事前に学習する。
	事後学修	その他の債権債務に関する仕訳問題を解きながら理解を深める。
16 回	授業内容	有価証券
	事前学修	有価証券の範囲及び評価等（テキスト P 71～P 74）について事前に学習する。
17 回	事後学修	有価証券の範囲及び評価等に関する仕訳問題を解きながら理解を深める。
	授業内容	固定資産の意義及びその簿記上の会計処理
18 回	事前学修	固定資産の意義等（テキスト P 102～P 108）について事前に学習する。
	事後学修	固定資産に関する仕訳問題を解きながら理解を深める。
19 回	授業内容	決算の意義・試算表の作成
	事前学修	決算の意義・試算表の意義について事前に学習する。
20 回	事後学修	試算表作成に関する練習問題を解きながら理解を深める。
	授業内容	決算整理事項
21 回	事前学修	決算整理事項（テキスト P 139～P 147）について事前に学習する。
	事後学修	試算表作成に関する練習問題を解きながら理解を深める。
22 回	授業内容	精算表の作成
	事前学修	8桁精算表（テキスト P 148～P 151）の作成について事前に学習する。
23 回	事後学修	8桁精算表作成に関する問題を解きながら理解を深める。

- ◆**教科書** 教材『簿記論 I S20300』通信教育教材（教材コード 000454）2,150 円（送料込）
- ◆**参考書** 特になし。
- ◆**成績評価基準** 期末試験 100%、毎回出席することを前提として成績評価します。
- ◆**授業相談（連絡先）**：初回の講義時に受講学生に直接伝えます。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔特別支援教育概論〕

田尻 由起

◆**授業概要** 教員養成課程の中で、特別支援教育に関する最も基本となる科目である。障害児教育に関する制度・歴史をはじめ、様々な障害やその他、教育的支援ニーズを持つ、児童、生徒の教育・心理・生理・指導法について概説する。また障害のある児童、生徒にとどまらず、個々の違いを認識しつつ、様々な人々が活躍できる共生社会の形成の基礎となる特別支援教育について、理解を深める。

◆**学修到達目標** 通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別な支援を必要とする児童、生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学んでいけるよう、①児童、生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、②指導の方法を身につけ、③個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を身につける。

◆**授業方法** 基本的にはテキストに沿って講義形式で行われるが、講義中、簡単な疑似体験、支援の実態についてのVTR視聴、事例検討、指導案の作成等を含み、その後リアクションペーパーを作成し提出。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：オリエンテーション、特別支援教育の理念と制度、歴史を知る 事前学修：教科書3-56頁を読んで理解しておくこと。また今、ニュースや新聞等で話題になっている特別支援教育に関する話題について、理解し、自分なりの意見を持っておく。 事後学修：授業内容について整理し、ノートにまとめておく。初日の授業を聞いて、自分のイメージしていた特別支援教育との差異について考えをまとめる。
2回	授業内容：障害の状態像の理解と指導・支援Ⅰ：聴覚障害、視覚障害、肢体不自由、知的障害、病弱児及び教育上の医療的配慮 事前学修：教科書59-118頁を読んで理解しておくこと。 事後学修：それぞれの障害像を整理するとともに、それぞれの教育的支援ニーズ、指導、支援についてまとめる。
3回	授業内容：障害の状態像の理解と指導・支援Ⅱ：発達障害の概要とDSM-5 事前学修：教科書119-166頁まで読んでおくこと。また発達障害に関する今日的话题について、新聞、ニュース等から学んでおく。 事後学修：多様な発達障害の障害像について整理し、理解しておくこと。
4回	授業内容：就学前の早期支援と就学前後の移行支援：乳幼児期、学齢期の子どもの発達を理解するとともに、スクリーニングや早期支援の実態を学ぶ。また就学前後や小学校から中学校への移行時の移行支援について学ぶ。 事前学修：乳幼児期から青年期にかけての発達について理解しておく。 事後学修：学齢期前の子どもの姿の理解を深めるとともに、幼児期から小学校へ、また小学校から中学校への移行支援のポイントについて、まとめる。
5回	授業内容：特別支援教育に関する教育課程、教育制度の理解Ⅰ：普通学級、通級、特別支援学級等における教育課程について学ぶ。また各教科の指導法や自立活動の指導法について学ぶ。 事前学修：特別支援教育における様々な授業実践について、インターネットや本などを通して学んでおく。 事後学修：授業で学んだことについて、使用テキスト以外の書籍にも目を通し、自らの実践の際の参考となるよう、復習する。
6回	授業内容：特別支援教育に関する教育課程、教育制度の理解Ⅱ：学校教育における目標と各種「計画」、及びカリキュラムマネジメント 事前学修：インターネット等で学校教育、特別支援教育にかかわる各種「計画」について内容やその書式に目を通しておく。 事後学修：授業で学んだことについて、使用テキスト以外の書籍にも目を通し、自らの実践の際の参考となるよう、復習する。
7回	授業内容：1. インクルーシブな学校と特別な支援の必要な障害のない幼児児童生徒 2. 関係機関との連携：①地域の支援体制と特別支援教育コーディネータ ②教育と福祉・医療・労働機関との連携 事前学修：教科書17-31頁を再読しておくこと。また169-109頁を読んで理解しておくこと。 事後学修：特別支援教育にかかわる「学校」以外の多様な資源についても興味を持ち、理解を深めること。
8回	授業内容：特別支援教育の視点を取り入れたクラスづくり・授業づくり・学校づくり 事前学修：これまでの学習の復習をしておくこと。また実際に担任としてクラス運営をしていくことを意識しながら授業に望むこと。 事後学修：授業で学んだことについて、使用テキスト以外の書籍にも目を通し、自らの実践の際の参考となるよう、復習しておく。

◆**教科書** **教材**『特別支援教育概論 T23200』通信教育教材（教材コード000590）3,150円（送料込）
〈この教材は市販の『MINERVA はじめて学ぶ教職18 特別支援教育－共生社会の実現に向けて－』吉田武男監修 小林秀之・米田宏樹・安藤隆男編著（ミネルヴァ書房）と同一です。〉

〔当日資料配布〕

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 疑似体験や模擬授業、グループ討議、等を実施するため、授業への参加度を重視する（リアクションペーパーを含む）（40%）、定期試験（60%）

◆**授業相談（連絡先）**：基本的には授業時間に受け付ける。その他の時間帯については初回授業の際に案内する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔社会科・公民科教育法 I〕

宇内 一文

- ◆**授業概要** 中学校社会科及び高等学校公民科の授業の実際について、最新の教育動向を踏まえて学んでいく。中学校教員として、自分が授業を担当する際、どのように教材研究をするのか、また生徒に対してどの学習方法をもって授業を展開していくのかについて学習する。実践に必要な知識・指導方法・指導技術について、具体的な討議や様々なグループワーク、模擬授業などを通して身につけることを目標とする。
- ◆**学習到達目標**
 1. 学習指導要領に示された中学校社会科及び高等学校公民科の目標と内容を理解できる。
 2. 社会科・公民科の背景となる学問領域との関係を理解し教材研究に活用できるとともに、発展的な学習内容について探究し、それを学習指導に生かすことができる。
 3. 社会科・公民科の基礎的な学習指導理論を理解するとともに、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につけている。
 4. 社会科・公民科の実践研究の動向を知り、授業設計の向上に主体的に取り組むことができる。
- ◆**授業方法** 授業の前半は社会科・公民科における教育目標、育成を目指す資質・能力などの内容についての社会科教育原理を解説する。後半は社会科・公民科の学習指導と授業設計の方法を修得し、主体的に取り組むことができるようになるために、受講者による模擬授業を行う。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 社会科の学びが変わる：社会科・公民科をめぐる現代的課題 事前学修 指定した学習指導要領をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、授業にかかわる課題に取り組むことを通して、「社会科・公民科をめぐる現代的課題」についての理解を深めていくこと。
2 回	授業内容 社会科の目標と内容：「公民的資質・能力」の育成と「社会的な見方・考え方」を活用した社会科授業の構造化 事前学修 前回の授業のノートと配布資料を確認し、指定した箇所をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、授業にかかわる課題に取り組むことを通して、「社会科の目標と内容」についての理解を深めていくこと。
3 回	授業内容 社会科の成り立ちとその歩み：学習指導要領の変遷 事前学修 前回の授業のノートと配布資料を確認し、指定した箇所をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、授業にかかわる課題に取り組むことを通して、「社会科の成り立ちとその歩み」についての理解を深めていくこと。
4 回	授業内容 社会科の教育課程と教科書：学習指導要領と社会科・公民科のカリキュラム・マネジメント 事前学修 前回の授業のノートと配布資料を確認し、指定した箇所をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、授業にかかわる課題に取り組むことを通して、「社会科の教育課程と教科書」についての理解を深めていくこと。
5 回	授業内容 社会科における憲法学習の役割と位置づけ 事前学修 前回の授業のノートと配布資料を確認し、指定した箇所をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、授業にかかわる課題に取り組むことを通して、「憲法学習の役割と位置づけ」についての理解を深めていくこと。
6 回	授業内容 社会科における政治教育の役割と位置づけ 事前学修 前回の授業のノートと配布資料を確認し、指定した箇所をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、授業にかかわる課題に取り組むことを通して、「政治教育の役割と位置づけ」についての理解を深めていくこと。
7 回	授業内容 社会科における人権学習の役割と位置づけ 事前学修 前回の授業のノートと配布資料を確認し、指定した箇所をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、授業にかかわる課題に取り組むことを通して、「人権学習の役割と位置づけ」についての理解を深めていくこと。
8 回	授業内容 社会科における平和学習の役割と位置づけ 事前学修 前回の授業のノートと配布資料を確認し、指定した箇所をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、授業にかかわる課題に取り組むことを通して、「平和学習の役割と位置づけ」についての理解を深めていくこと。
9 回	授業内容 社会科の授業をどうやればいいのか（社会科の授業技術）：「どのように学ぶか」と「何ができるようになるか」、学習指導案と新聞・情報機器の活用の仕方・掲示物等の作成 事前学修 前回の授業のノートと配布資料を確認し、指定した箇所をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、授業にかかわる課題に取り組むことを通して、「社会科の授業技術」についての理解を深めていくこと。
10 回	授業内容 社会科の学習指導と評価：「真正の学び」と「バックワード・デザイン」 事前学修 前回の授業のノートと配布資料を確認し、指定した箇所をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、授業にかかわる課題に取り組むことを通して、「社会科の学習指導と評価」についての理解を深めていくこと。
11 回	授業内容 公民分野の教材研究・授業・実践例（1）A 私たちと現代社会／学習指導案の作成 事前学修 公民的分野の目標（1）をねらいとした、「A 私たちと現代社会」の内容に関する授業計画を構想し、その第 1 時限目の〔学習指導案〕と〔板書案〕を作成すること。 事後学修 PDCA サイクルにもとづく学習指導案および模擬授業のふり返り（1）
12 回	授業内容 公民分野の教材研究・授業・実践例（2）B 私たちと経済／模擬授業 事前学修 公民的分野の目標（2）をねらいとした、「B 私たちと経済」の内容に関する授業計画を構想し、その第 1 時限目の〔学習指導案〕と〔板書案〕を作成すること。 事後学修 PDCA サイクルにもとづく学習指導案および模擬授業のふり返り（2）
13 回	授業内容 公民分野の教材研究・授業・実践例（3）私たちと政治／学習指導案の作成 事前学修 公民的分野の目標（2）をねらいとした、「C 私たちと政治」の内容に関する授業計画を構想し、その第 1 時限目の〔学習指導案〕と〔板書案〕を作成すること。 事後学修 PDCA サイクルにもとづく学習指導案および模擬授業のふり返り（3）
14 回	授業内容 公民分野の教材研究・授業・実践例（4）私たちと国際社会の諸課題／模擬授業 事前学修 公民的分野の目標（3）をねらいとした、「D 私たちと国際社会の諸課題」の内容に関する授業計画を構想し、その第 1 時限目の〔学習指導案〕と〔板書案〕を作成すること。 事後学修 PDCA サイクルにもとづく学習指導案および模擬授業のふり返り（4）
15 回	授業内容 これからの社会科・公民科について考える 事前学修 前回の授業のノートと配布資料を確認し、指定した箇所をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、授業にかかわる課題に取り組むことを通して、「これからの社会科・公民科の方向性」についての理解を深めていくこと。

- ◆**教科書** **【教材】**『社会科・公民科教育法 I T23700』通信教育教材（教材コード 000587/000592）1,000 円 / 1,600 円（送料込）
 〈この教材は市販の『中学校学習指導要領解説社会編 / 高等学校学習指導要領解説公民編』文部科学省（東洋館出版社）と同一です。〉文部科学省の HP よりダウンロード可能です。
【事前資料送付】
- ◆**参考書** 現行学習指導要領に準拠した中学校社会科教科書と高等学校公民科教科書。
- ◆**成績評価基準** リアクションペーパーやグループワークなどの取り組み（30%）、模擬授業及び学習指導案（40%）、期末レポート（30%）。これらを総合的に判断し、評価する。
- ◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に案内します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語科教育法Ⅳ〕 オープン受講：不可

小林 和歌子

◆**授業概要** 本講義では、英語及び英語科目の指導法に関して教授法の観点から、また第二言語習得理論の観点から総合的に学習する。主に4技能を如何に効率的に教えた方が良いのか、学習動機・自律的な学習者の育成・また、CEFRとCan-Doリストを使用した英語教育法に関して考察を深める。

◆**学修到達目標** 英語学習の過程、英語教授法・第二言語習得理論の具体的な歴史・概要を知りそれらを現在の英語学習者のニーズや学習環境に応じて実行できるようになる技術を身に付ける。第二言語習得理論の過去・現在を知ることで、今後の英語教育業界における山積する問題についても考察し、よりよい「行動志向の進化する英語教師」となることを目標とする。

◆**授業方法** 講義に加えてグループワークによるマイクロ・ティーチングも適宜取り入れる。また、各教授法・第二言語習得理論・評価法についての省察（リフレクションペーパー）を書いたり発表したりすることにより、英語学習・英語教育における振り返りの習慣を構築する。中間テストと期末試験を実施する予定である。

◆**授業計画（各90分）**

1回	授業内容：オリエンテーション・EFLとESLの違い・英語教育の目的 講義とディスカッション 事前学修：該当するテキストをよく読んで基本用語を学習しておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理して、授業内容を良く確認しておくこと。
2回	授業内容：各英語教授法の概観 講義とディスカッション 事前学修：該当するテキストの章をよく読んで、ざっと理解しておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理して、授業内容を良く確認しておくこと。
3回	授業内容：各英語教授法の概観 講義とディスカッション 事前学修：該当するテキストの章をよく読んで、ざっと理解しておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理して、授業内容を良く確認しておくこと。
4回	授業内容：小中高でいかに連携は可能か CEFRの紹介 講義とディスカッション 事前学修：CEFRに関して、テキストの該当箇所をよく読んで、理解しておくこと。 事後学修：授業内容をノートに整理して、授業内容を良く確認しておくこと。中間テストに備え始めよう。
5回	授業内容：第二言語習得に関する研究の紹介 講義とディスカッション 事前学修：第二言語習得理論に関するテキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：授業内容をノートに整理して、良く確認しておくこと。
6回	授業内容：インプットとアウトプットそしてインタラクション 講義とディスカッション 事前学修：該当するテキストの章をよく読んで理解しておくこと。 事後学修：授業内容を確認して、中間テストの準備をすること。
7回	授業内容：Vygotskyの発達最近接領域と足場架け 講義とディスカッション 事前学修：Vygotskyの理論の基本用語を該当するテキストの箇所を読んで理解に努めること。 事後学修：授業のノートを整理しつつ、授業内容を良く理解しようと努めること。
8回	授業内容：学習ストラテジー 講義とディスカッション 事前学修：様々な種類のある学習ストラテジーをテキストの該当する箇所を読み理解に努めること。 事後学修：授業中のスライドを良くノートに纏めて、自ら深い理解に到達するように思考をまとめること。
9回	授業内容：中間テストと解説 事前学修：今までの学習を振り返り、想定問答を作る等して、試験に備えること。 事後学修：テストに出た問題に対して、自分が如何に答えたかノートを見ながら確認すること。
10回	授業内容：英語能力をどのように評価するか 観点別評価 講義とディスカッション 事前学修：該当するテキストの箇所を良く読んで、評価に対して考察すること。 事後学修：授業中のスライドをノートに纏めて、理解を深めること。
11回	授業内容：CEFRとCan-Doリスト 観点別評価 講義とディスカッション 事前学修：該当するテキストの箇所を良く読み込んで、CEFRの基本理念について考えること。 事後学修：授業中のスライドをノートに纏めて、CEFR及びCan-Doリストに関して考察を深めること。
12回	授業内容：自律的な学習者育成のために 講義とディスカッション 事前学修：該当するテキストの箇所をよく読み、自律的とは何かよく考えてみること。 事後学修：授業中のスライドをノートに纏めながら、ディスカッションの内容を振り返ること。
13回	授業内容：学習動機・自己効力感 講義とディスカッション 事前学修：該当するテキストの箇所をよく読み、モチベーション、自己効力感について考えること。 事後学修：授業中のスライドをノートに纏めながら、口頭発表や期末テストに備えること。
14回	授業内容：口頭発表 及び総括まとめ 事前学修：授業中のディスカッションで扱ったテーマを参考にして、良い教師とはどんな教師か考える。 事後学修：クラスメートの口頭発表を振り返り、これまでの学習に関して考察を深めること。
15回	授業内容：期末テストと解説 事前学修：中間テスト以降の学習を振り返り、期末テストに備えること。 事後学修：授業内容を確認理解して、この英語教授法Ⅳの講義内容を振り返ること。

◆**教科書** 教材『英語科教育法Ⅰ T23800』通信教育教材（教材コード000580）3,600円（送料込）
〈この教材は市販の『行動志向の英語科教育の基礎と実践—教師は成長する』JACET教育問題研究会編（三修社）と同一です。〉
丸沼『国際語としての英語・進化する英語教育法』岩本夏美・今井由美子・大塚朝美・杉森直樹著 松柏社
2,376円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** リフレクションペーパー（30%）発表・参加（30%）中間・期末試験（40%）

◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に案内します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔教育相談 / 教育カウンセリング論〕

望月 由起

◆**授業概要** 教育相談やカウンセリングの目的や方法について理解を深め、児童・生徒への基本的な支援を実践的に行うことができるよう、教科書や映像教材等を使用しながら講義を行うとともに、受講者によるプレゼンテーションや意見交換（質疑応答）も積極的に取り入れる。

「受講者の理解」を第一とするため、理解の状況をみながら授業計画を一部変更する可能性もある。

◆**学修到達目標** 児童・生徒の発達状況に即しつつ、個々の心理的特質や現代の日本社会における学校の教育的課題を適切に捉え、学校現場の実態に照らし合わせながら、教育相談やカウンセリングを行うために必要な基礎的知識を身につけることを目標とする。

◆**授業方法** 教科書（補助プリントがある場合には、当日の授業時に配布）や映像教材等を使用しながら講義を行うだけでなく、受講者の人数や講義の進捗状況に応じて、受講者によるグループプレゼンテーションや受講者間での意見交換（質疑応答）も積極的に取り入れる。

プレゼンテーション資料作成のために、モバイルパソコンやタブレット等の持ち込みも可とする。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：学校における教育相談を学ぶ意義 事前学修：教科書の該当する章に目を通しておくとともに、自身の経験についての振り返りも行う 事後学修：疑問の残る点、理解が不十分な点などがあれば担当者に質問をするなどして、理解を深める
2 回	授業内容：生徒理解のための心理学理論 事前学修：教科書の該当する章に目を通しておくとともに、自身の経験についての振り返りも行う 事後学修：疑問の残る点、理解が不十分な点などがあれば担当者に質問をするなどして、理解を深める
3 回	授業内容：生徒理解のための視点と方法（アセスメント） 事前学修：教科書の該当する章に目を通しておくとともに、自身の経験についての振り返りも行う 事後学修：疑問の残る点、理解が不十分な点などがあれば担当者に質問をするなどして、理解を深める
4 回	授業内容：学校カウンセリング 事前学修：教科書の該当する章に目を通しておくとともに、自身の経験についての振り返りも行う 事後学修：疑問の残る点、理解が不十分な点などがあれば担当者に質問をするなどして、理解を深める
5 回	授業内容：指導・援助のための協働（コンサルテーション） 事前学修：教科書の該当する章に目を通しておくとともに、自身の経験についての振り返りも行う 事後学修：疑問の残る点、理解が不十分な点などがあれば担当者に質問をするなどして、理解を深める
6 回	授業内容：ソーシャルスキル教育 事前学修：教科書の該当する章に目を通しておくとともに、自身の経験についての振り返りも行う 事後学修：疑問の残る点、理解が不十分な点などがあれば担当者に質問をするなどして、理解を深める
7 回	授業内容：ストレスマネジメント教育 事前学修：教科書の該当する章に目を通しておくとともに、自身の経験についての振り返りも行う 事後学修：疑問の残る点、理解が不十分な点などがあれば担当者に質問をするなどして、理解を深める
8 回	授業内容：キャリア教育 事前学修：教科書の該当する章に目を通しておくとともに、自身の経験についての振り返りも行う 事後学修：疑問の残る点、理解が不十分な点などがあれば担当者に質問をするなどして、理解を深める
9 回	授業内容：不登校 事前学修：教科書の該当する章に目を通しておくとともに、自身の経験についての振り返りも行う 事後学修：疑問の残る点、理解が不十分な点などがあれば担当者に質問をするなどして、理解を深める
10 回	授業内容：いじめ・非行 事前学修：教科書の該当する章に目を通しておくとともに、自身の経験についての振り返りも行う 事後学修：疑問の残る点、理解が不十分な点などがあれば担当者に質問をするなどして、理解を深める
11 回	授業内容：発達障害（特別支援教育） 事前学修：教科書の該当する章に目を通しておくとともに、自身の経験についての振り返りも行う 事後学修：疑問の残る点、理解が不十分な点などがあれば担当者に質問をするなどして、理解を深める
12 回	授業内容：学校の危機管理 事前学修：教科書の該当する章に目を通しておくとともに、自身の経験についての振り返りも行う 事後学修：疑問の残る点、理解が不十分な点などがあれば担当者に質問をするなどして、理解を深める
13 回	授業内容：教育相談の実際（プレゼンテーション：専門機関との連携等） 事前学修：プレゼンテーションのテーマを予習するとともに、自身の経験についての振り返りも行う 事後学修：疑問の残る点、理解が不十分な点などがあれば発表者に質問をするなどして、理解を深める
14 回	授業内容：教育相談の実際（プレゼンテーション：学生によるピアサポート等） 事前学修：プレゼンテーションのテーマを予習するとともに、自身の経験についての振り返りも行う 事後学修：疑問の残る点、理解が不十分な点などがあれば発表者に質問をするなどして、理解を深める
15 回	授業内容：まとめ、試験 事前学修：これまでの授業内容の振り返り 事後学修：試験内容の振り返り

◆**教科書** 凡沼『絶対役立つ教育相談－学校現場の今に向き合う－』藤田哲也監修 ミネルヴァ書房 2,376 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 通初『教育相談 T30600 / 教育カウンセリング論 T30700』通信教育教材（教材コード 000498） 1,900 円（送料込）

◆**成績評価基準** 試験（50%）、発表（30%）、平常点（20%）により、総合的に評価する。

◆**授業相談（連絡先）**：初回講義時に受講者に直接伝える。

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔博物館経営論〕

中野 照男

◆**授業概要** 本講義は、博物館の適切な管理と運営について理解し、ミュージアム・マネージメントの基礎能力を養うことを目指す。博物館の設置状況により、さまざまな管理運営形態が存在することを理解し、各運営形態によって、どのような問題が存在するかを個別に把握し、ミュージアム・マネージメントの基礎的、実践的な能力を養う。

◆**学修到達目標** 履修する学生が、博物館と学芸員を取り巻く過去と現在の状況をつづさに理解することによって、学芸員になった際に役に立つミュージアム・マネージメントの手法を獲得し、博物館運営に対する明確な展望を持つことができる。

◆**授業方法** 講義形式で進める。画像等を活用し、博物館の現場をできる限り具体的に、かつ詳細に説明することによって、博物館運営の現況を身近に感じられるように工夫する。受講生に発言や議論を求めることがある。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：ガイダンス ―博物館経営論で何を学ぶのか 事前学修：博物館を訪れ、その運営形態や展示企画を観察する 事後学修：渡された資料をもとに、講義内容を復習し、ノートを整理する
2回	授業内容：現在の博物館制度が抱える諸問題 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、質問事項を準備する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
3回	授業内容：欧米の博物館の歴史 古代～19世紀 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、質問事項を準備する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
4回	授業内容：日本の博物館の歴史 ―東京国立博物館の150年 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、質問事項を準備する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
5回	授業内容：国立西洋美術館の設立と運営に関わった学芸員の証言 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、質問事項を準備する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
6回	授業内容：国立歴史民俗博物館が開館までに考えたこと・準備したこと 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
7回	授業内容：国立博物館の独立行政法人化、博物館の委託管理者制度 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
8回	授業内容：博物館の機構改革 ―組織と機能の変革 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
9回	授業内容：博物館の財政制度と予算 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
10回	授業内容：博物館施設の管理と保全 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
11回	授業内容：博物館のマーケティングとその実例 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
12回	授業内容：博物館の危機管理 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
13回	授業内容：博物館と博物館職員の倫理規程 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
14回	授業内容：博物館の教育・普及・広報 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
15回	授業内容：博物館における運営計画の策定と点検評価 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する

◆**教科書** 教科書は使用しない。
講義資料を初回の講義の折にデータの形で渡すので、USBを持参すること。

◆**参考書** **選材** 『博物館経営論 Y20400』通信教育教材（教材コード000475）3,800円（送料込）
〈この教材は市販の『新博物館学 これからの博物館経営』小林克著（同成社）と同一です。〉
図説 『美術館の舞台裏 ―魅せる展覧会を作るには』高橋明也、筑摩書房 2015年12月
842円（税込）（送料215円）

◆**成績評価基準** 講義の最終時に試験を行う。試験を70%、講義への参加・貢献度を30%として、総合的に評価する。
試験は、回答が明快な論理を持っているかどうか、参加・貢献度は、積極的に質疑応答したかどうかを主に評価する。

◆**授業相談（連絡先）**：メールアドレス spgu75x9@eco.ocn.ne.jp
講義の前後に教室にて質問や相談を受ける。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

第5期

日 程		授 業 時 間	備 考
8月19日	月	各日 9:00～17:30 <最終日は試験も含む>	※時間内に昼休みを設けます。
8月20日	火		
8月21日	水		

※以下の第5期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単 開 位 数 講	充 当 科 目		制 限・注 意		受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配 当 学 年	
C0E1	政 治 学	関根 二三夫	2	B11700	政 治 学		1年	
C0E2	英 語 J	小田井 勝彦	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英 語 II		2年	
				C10300	英 語 III			
				C10400	英 語 IV			
C0E3	英 語 V	島本 慎一郎	1	C10500	英 語 V		2年	・ 英文学専攻のみ申込可。
C0E4	T O E I C	八木 茂那子	1	C108S0	T O E I C	×	1年	
C0E5	中国語 I・II	泉 朝子	1	F10100	中 国 語 I		1年	・ I・IIのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。
				F10200	中 国 語 II			
C0E6	刑 法 I	西貝 吉晃	2	K20300	刑 法 I		条件参照	・ 法律学科のみ1学年以上申込可。
								・ 上記以外は2学年以上申込可。
C0E7	民 法 IV	清水 恵介	2	K30300	民 法 IV		2年	
C0E8	国際政治学/ 国際政治論/ 国際政治学概論	大八木 時広	2	L30200	国際政治学		2年	・ 法・文理学部のみ申込可。
				R32700	国際政治論			・ 経済学部のみ申込可。
				S33200	国際政治学概論			・ 商学部のみ申込可。
C0E9	国文学講義 I (上代)	梶川 信行	2	M30500	国文学講義 I (上代)		2年	
C0EA	国語学演習 I～III	鈴木 功真	1	M401S0	国語学演習 I	×	3年	・ 国文学専攻のみ申込可。 ・ I～IIIのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。
				M402S0	国語学演習 II			
				M403S0	国語学演習 III			

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座 コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数 講	充 当 科 目		制 限 ・ 注 意			受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配当 学年	受 講 条 件	
C0EB	国文学演習Ⅰ～Ⅵ	藤平 泉	1	M404S0	国文学演習Ⅰ	×	3年	・国文学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				M405S0	国文学演習Ⅱ				
				M406S0	国文学演習Ⅲ				
				M407S0	国文学演習Ⅳ				
				M408S0	国文学演習Ⅴ				
				M409S0	国文学演習Ⅵ				
C0EC	アメリカ文学史	北原 安治	2	N30200	アメリカ文学史		2年		
C0ED	英語学特殊講義	吉良 文孝	2	N311S0	英語学特殊講義	×	2年		
C0EE	英語学演習D	山岡 洋	1	N401S0	英語学演習Ⅰ	×	3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				N402S0	英語学演習Ⅱ				
				N403S0	英語学演習Ⅲ				
C0EF	異文化間コミュニケーション概論	大庭 香江	2	N31700	異文化間コミュニケーション概論	×	2年		
C0EG	宗教学基礎講読	富田 真浩	2	P30100	宗教学基礎講読		2年		
C0EH	倫理学特殊講義	金子 佳司	2	P312S0	倫理学特殊講義		2年		
C0EJ	西洋史特講Ⅱ	高草木 邦人	2	Q313S0	西洋史特講Ⅱ	×	2年		
C0EK	考古学演習Ⅰ・Ⅱ	山本 孝文	1	Q407S0	考古学演習Ⅰ	×	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ・Ⅱのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				Q408S0	考古学演習Ⅱ				
C0EL	経済史総論	飯島 正義	2	R20200	経済史総論		条件参照	・経済学部のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
C0EM	経済政策総論/ 経済政策	周藤 利一	2	R30700	経済政策総論		2年	・法学部のみ申込可。 ・文理・経済・商学部のみ申込可。	
				L31500	経済政策				
C0EN	国際金融論	谷川 孝美	2	S31200	国際金融論		2年		
C0EP	社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	宇内 一文	2	T20600	社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	×	2年	・法学部・哲学専攻・史学専攻・ 経済学部・商学部のみ申込可。	
C0EQ	英語科教育法Ⅱ	隅田 朗彦	2	T21000	英語科教育法Ⅱ	×	2年	・英文学専攻のみ申込可。	
C0ER	地誌学 / 地誌学概論 / 地理学概論 (地誌を含む)	羽田 麻美	2	T21900	地誌学		2年	・哲学専攻・史学専攻・経済 学部のみ申込可。 ・法学部のみ申込可。 ・商学部のみ申込可。	×
				T22000	地誌学概論				
				T22100	地理学概論 (地誌を含む)				
C0ES	教育課程論	滝澤 雅彦	2	T23300	教育課程論	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
C0ET	博物館情報・ メディア論	小林 克	2	Y21000	博物館情報・ メディア論	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔政治学〕

関根 二三夫

◆**授業概要** 基礎教育としての講義を行います。政治学の変遷、政治の概念、政治の本質、政治権力、国家、議会政治、立法部と行政部、選挙、政党、圧力団体、コミュニケーション、リーダーシップについて学びます。

◆**学修到達目標** 議会や大統領もしくは内閣の動きを見ますと、政治が難しい現象のように思われます。しかし、法律や予算の制定や執行は、国家や社会や個人の発展に寄与するために役立ちます。この講義においては、政治が我々の生活に大きな影響を及ぼすと同時に、我々にとって身近な現象であることを理解できるようにします。

◆**授業方法** 講義形式で行います。講義においては、政治に関する受講生の問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に理解しなければなりません。受講に際しては、予習及び復習が必要になります。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 政治学の変遷 事前学修 参考書の第 1 章第 2 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
2 回	授業内容 政治の概念 事前学修 参考書の第 1 章第 1 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
3 回	授業内容 政治の本質 事前学修 テキストの第 1 章第 1 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
4 回	授業内容 政治権力 事前学修 テキストの第 1 章第 2 節及び参考書の第 2 章第 4 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
5 回	授業内容 国家 事前学修 参考書の第 3 章を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
6 回	授業内容 議会政治 事前学修 テキストの第 5 章及び参考書の第 4 章第 1 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
7 回	授業内容 立法部と行政部（議院内閣制） 事前学修 テキストの第 5 章及び参考書の第 4 章第 1 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
8 回	授業内容 立法部と行政部（大統領制） 事前学修 テキストの第 5 章及び参考書の第 4 章第 1 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
9 回	授業内容 選挙（選挙制度及び選挙区） 事前学修 テキストの第 3 章第 3 節及び参考書の第 5 章第 1 節及び第 2 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
10 回	授業内容 選挙（代表選出の形態） 事前学修 テキストの第 3 章第 3 節及び参考書の第 5 章第 2 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
11 回	授業内容 政党（概念及び特徴・形態） 事前学修 テキストの第 3 章第 4 節及び参考書の第 4 章第 2 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
12 回	授業内容 政党（機能及び問題点） 事前学修 テキストの第 3 章第 4 節及び参考書の第 4 章第 2 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
13 回	授業内容 圧力団体 事前学修 テキストの第 3 章第 5 節及び参考書の第 4 章第 3 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
14 回	授業内容 コミュニケーション 事前学修 参考書の第 6 章第 3 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
15 回	授業内容 リーダーシップ 事前学修 参考書の第 2 章第 5 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。

◆**教科書** 教材『政治学 B11700』通信教育教材（教材コード 000279）2,100 円（送料込）

◆**参考書** 図説『教養政治学』岩井奉信・黒川貢三郎・関根二三夫他 南窓社 3,132 円（税込）（送料 350 円）

◆**成績評価基準** 試験 70%、平常点 30% ※試験同様、質問や理解度チェック等の平常点も重視しますので、受講に際しては欠席をしないように注意して下さい。

◆**授業相談（連絡先）**：sekine.fumio@nihon-u.ac.jp

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語J〕

小田井 勝彦

◆**授業概要** 2018年訪日する外国人旅行者の数が初めて3000万人を突破し、東京五輪、大阪万博とさらに訪日客が増えることが予想され、世界的に日本文化への関心が高まっている。この授業では、英語で日本文化に関する文章を読むことで英語の読解力を向上させるとともに、英語の語彙や表現を修得し、外国人に日本文化を発信する英語力を培う。

◆**学修到達目標** 1. 基本的な語彙、表現を修得すること
2. 英文構造を理解し、正確に英文を読めるようになること
3. 日本文化を発信する表現力を身につけること

◆**授業方法** 事前に本文を読み、Listening以外のExerciseを解答してきてください。授業では、1文1文学生を指名し、日本語に和訳していただきます。また、各Exerciseに解答していただきます。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：ガイダンス、Unit 1 The Spirit of Japanese Hospitality 前半 事前学修：本文前半の読解 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
2回	授業内容：Unit 1 The Spirit of Japanese Hospitality 後半 事前学修：本文後半の読解、Let's Skim!、Vocabulary Reviewを解答 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
3回	授業内容：Unit 2 Superb! Tokyo Skytree 前半 事前学修：本文前半の読解 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
4回	授業内容：Unit 2 Superb! Tokyo Skytree 後半 事前学修：本文後半の読解、Let's Skim!、Vocabulary Reviewを解答 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
5回	授業内容：Unit 3 Japanese Seasonal Charms: The Bewitching Beauty of Kimono 前半 事前学修：本文前半の読解 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
6回	授業内容：Unit 3 Japanese Seasonal Charms: The Bewitching Beauty of Kimono 後半 事前学修：本文後半の読解、Let's Skim!、Vocabulary Reviewを解答 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
7回	授業内容：Unit 4 Japanese High-Quality Technology 前半 事前学修：本文前半の読解 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
8回	授業内容：Unit 4 Japanese High-Quality Technology 後半 事前学修：本文後半の読解、Let's Skim!、Vocabulary Reviewを解答 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
9回	授業内容：Unit 5 Healthy and Colorful Japanese Cuisine 前半 事前学修：本文前半の読解 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
10回	授業内容：Unit 5 Healthy and Colorful Japanese Cuisine 後半 事前学修：本文後半の読解、Let's Skim!、Vocabulary Reviewを解答 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
11回	授業内容：Unit 6 Destruction and Creation: Japanese Stage Art 前半 事前学修：本文前半の読解 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
12回	授業内容：Unit 6 Destruction and Creation: Japanese Stage Art 後半 事前学修：本文後半の読解、Let's Skim!、Vocabulary Reviewを解答 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
13回	授業内容：Unit 7 Hospitality and Peace in Japanese Robots 前半 事前学修：本文前半の読解 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
14回	授業内容：Unit 7 Hospitality and Peace in Japanese Robots 後半 事前学修：本文後半の読解、Let's Skim!、Vocabulary Reviewを解答 事後学修：語彙、英文構造の確認、内容の確認
15回	授業内容：試験および解説 事前学修：授業の総復習 事後学修：授業の総復習

◆**教科書** 丸沼『Let's Introduce Japanese Culture』英宝社 2014 1,944円(税込)(送料300円)

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 試験70%、平常点(予習の有無、発表など)30%で評価します。
※すべて出席することを前提とします。

◆**授業相談(連絡先)**：初回授業時に案内します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

〔英語 V〕

島本 慎一郎

◆**授業概要** Bilingual に憧れることは誰も一度経験することだろう。しかし Bilingual とは一体どのような人のことを指すのだろうか、またバイリンガルと呼ばれる人のバックグラウンドや環境は意外にも知る機会が少ないように思える。Reading Strategies の実践と Reading Fluency の向上を目指しながら、Bilingual の定義から Monolingual との相違点まで網羅的に学ぶ。

◆**学修到達目標** 1. 目的や用途に応じて Reading Strategies を使用できる。
2. 複数言語使用者の定義について例を交えて説明できる。
3. Reading Fluency 向上の仕組みを踏まえて、Rapid Reading を実践できる。

◆**授業方法** 指定した範囲を各自読んでくることを前提とする。部分的に内容の解説や読解についてクラス全体で取り扱うが、基本的には読んできたものを Peer reading や Small Group Reading の形式で内容の再構築やディスカッション、ポイントの整理を行う。同時に Reading Strategies の導入と実践を全体で行う。また、その日学んだことをまとめるリアクションペーパーの提出を求める。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容: 授業の進め方, オリエンテーション, バイリンガルとは何か? 事前学修: テキスト 1 章を読んでおくこと。 事後学修: 事前学習, 授業内容を踏まえて, テキストの内容の要点を確認し, テキスト英文の文法・語彙を理解しておくこと。
2 回	授業内容: バイリンガルを取り巻く環境, Reading における流暢さ, Chunking の実践 事前学修: テキスト 2 章を読んでおくこと。 事後学修: 事前学習, 授業内容を踏まえて, テキストの内容の要点を確認し, テキスト英文の文法・語彙を理解しておくこと。
3 回	授業内容: ことばの働きと役割, Reading Strategies 導入, Inferring の実践 事前学修: テキスト 3 章を読んでおくこと。 事後学修: 事前学習, 授業内容を踏まえて, テキストの内容の要点を確認し, テキスト英文の文法・語彙を理解しておくこと。
4 回	授業内容: 言語の選択, Scanning の実践 事前学修: テキスト 4 章を読んでおくこと。 事後学修: 事前学習, 授業内容を踏まえて, テキストの内容の要点を確認し, テキスト英文の文法・語彙を理解しておくこと。
5 回	授業内容: Code-Switching と Code-Mixing, リアクションペーパー①作成 事前学修: テキスト 5 章を読んでおくこと。(※ 6 章は割愛します。) 事後学修: 事前学習, 授業内容を踏まえて, テキストの内容の要点を確認し, テキスト英文の文法・語彙を理解しておくこと。
6 回	授業内容: ことばの詠り, Skimming の実践 事前学修: テキスト 7 章を読んでおくこと。 事後学修: 事前学習, 授業内容を踏まえて, テキストの内容の要点を確認し, テキスト英文の文法・語彙を理解しておくこと。
7 回	授業内容: 複数言語の習得過程とバックグラウンド, Reading における未知語への対処 事前学修: テキスト 8 章を読んでおくこと。 事後学修: 事前学習, 授業内容を踏まえて, テキストの内容の要点を確認し, テキスト英文の文法・語彙を理解しておくこと。
8 回	授業内容: バイリンガルであることの利便性と悩み 事前学修: テキスト 9 章を読んでおくこと。(※ 10 章は割愛します。) 事後学修: 事前学習, 授業内容を踏まえて, テキストの内容の要点を確認し, テキスト英文の文法・語彙を理解しておくこと。
9 回	授業内容: バイリンガルの思考, バイリンガルの種類 事前学修: テキスト 11 章を読んでおくこと。(※ 12, 13 章は割愛します。) 事後学修: 事前学習, 授業内容を踏まえて, テキストの内容の要点を確認し, テキスト英文の文法・語彙を理解しておくこと。
10 回	授業内容: バイリンガルの子どもに見られる特徴, リアクションペーパー②作成 事前学修: テキスト 14 章を読んでおくこと。 事後学修: 事前学習, 授業内容を踏まえて, テキストの内容の要点を確認し, テキスト英文の文法・語彙を理解しておくこと。
11 回	授業内容: 子どもがバイリンガルになる過程 事前学修: テキスト 15 章を読んでおくこと。 事後学修: 事前学習, 授業内容を踏まえて, テキストの内容の要点を確認し, テキスト英文の文法・語彙を理解しておくこと。
12 回	授業内容: バイリンガルの子どもに見られることばの特徴 事前学修: テキスト 16 章を読んでおくこと。 事後学修: 事前学習, 授業内容を踏まえて, テキストの内容の要点を確認し, テキスト英文の文法・語彙を理解しておくこと。
13 回	授業内容: 子どもをバイリンガルにするには, Schema-building の実践 事前学修: テキスト 17 章を読んでおくこと。 事後学修: 事前学習, 授業内容を踏まえて, テキストの内容の要点を確認し, テキスト英文の文法・語彙を理解しておくこと。
14 回	授業内容: バイリンガル教育とその影響 事前学修: テキスト 18 ~ 19 章を読んでおくこと。 事後学修: 事前学習, 授業内容を踏まえて, テキストの内容の要点を確認し, テキスト英文の文法・語彙を理解しておくこと。
15 回	授業内容: 実体験に基づくバイリンガル経験談, 試験及び解説 事前学修: 第 1 回~第 14 回の内容の復習とテキストの英文を読めるようにしておくこと。 事後学修: 事前学習, 授業内容を踏まえて, テキストの内容の要点を確認し, テキスト英文の文法・語彙を理解しておくこと。

◆**教科書** 『Bilingual: Life and Reality』 François Grosjean 2012 Harvard University Press
ISBN: 978-0674066137
〈上記の本は、丸沼書店では取り扱っていませんので、Amazon 等で購入してください。〉

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** テスト (40%), リアクションペーパー (40%), 授業参画度 (20%)

◆**授業相談 (連絡先)**: メール: ss81@hawaii.edu

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例: 「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔TOEIC〕

八木 茂那子

◆**授業概要** TOEIC test (L&R) 500点突破に必要な4技能の向上を図ることを目的に問題演習を中心とした授業をおこないます。Listening Sectionでは写真、応答、会話、Short Talkを、Reading sectionでは文法・語彙に関する単文、長文穴埋め問題、読解問題を新聞・雑誌の記事、広告、お知らせ、ビジネスレター、email、chatなどをテーマに各パートを万遍なく、問題演習と弱点強化のために速写、速音読、3つのシャドウイングといった種々のトレーニングを行います。

◆**学修到達目標** 本講座終了後 Listening & Reading (R&L) test 500点突破、もしくはそれに必要な高等学校レベルの英語が理解運用できるようになる英語力をつけることを学修到達目標とします。

◆**授業方法** 授業はCD、OHC、黒板を使った対面による一斉授業と演習形式を中心に self-training、pair work、group activity など色々取り込みながら、楽しくトレーニングをしていく予定です。受講者の理解度、進度などにより、授業内容を変更することがあります。

◆**授業計画 (各90分)**

1回	授業内容: ガイダンス (自己紹介、授業の進め方、テキスト、成績評価について) 事前学修: テキスト p.p. x-xv 掲載の横断的コア表現リストの例文 *** 印の例文をノートに書き写す。 事後学修: テキスト p.p. xvi-xxi 掲載の横断的コア表現リストの例文 *** 印の例文をノートに書き写す。
2回	授業内容: Unit 1 Home Appliances (Part 1, 2, 5) 家庭用電化製品・器具 問題演習、解答解説 事前学修: Unit 1の練習問題を解き、答えはノートに書く。Part 1, 2はテキスト音声ファイルを web site からダウンロードして解答、Part 5は1問あたり20秒時間を計って解く。 事後学修: ノートに、事前学修で解いた問題のうち間違えた問題を基本例文の正しい形にして一例あたり5回ずつ音読しながら速写し弱点強化をする。
3回	授業内容: Unit 2 Recreation (Part 3, 6) レクリエーション 問題演習、解答解説 弱点強化と4技能レベルアップのための基礎トレーニングを行う 事前学修: Unit 2の練習問題を解き、答えはノートに書く。Part 3はテキスト音声ファイルを web site からダウンロードして解答、Part 6は1問あたり20秒時間を計って解く。 事後学修: ノートに、事前学修で解いた問題のうち間違えた問題を基本例文の正しい形にして一例あたり5回ずつ音読しながら速写し弱点強化をする。
4回	授業内容: Unit 3 Restaurants (Part 4, 7) レストラン 問題演習、解答解説 弱点強化と4技能レベルアップのための基礎トレーニングを行う 事前学修: Unit 3の練習問題を解き、答えはノートに書く。Part 4はテキスト音声ファイルを web site からダウンロードして解答、Part 7は1問あたり1分時間を計って解く。 事後学修: ノートに、事前学修で解いた問題のうち間違えた問題を基本例文の正しい形にして一例あたり5回ずつ音読しながら速写し弱点強化をする。
5回	授業内容: Unit 4 Supermarket Shopping (Part 1, 2, 5) スーパーマーケット 弱点強化と4技能レベルアップのための基礎トレーニングを行う 事前学修: Unit 4の練習問題を解き、答えはノートに書く。Part 1, 2はテキスト音声ファイルを web site からダウンロードして解答、Part 5は1問あたり20秒時間を計って解く。 事後学修: ノートに、事前学修で解いた問題のうち間違えた問題を基本例文の正しい形にして一例あたり5回ずつ音読しながら速写し弱点強化をする。
6回	授業内容: Unit 5 Housing (Part 3, 6) ハウジング 問題演習、解答解説 弱点強化と4技能レベルアップのための基礎トレーニングを行う 事前学修: Unit 5の練習問題を解き、答えはノートに書く。Part 3はテキスト音声ファイルを web site からダウンロードして解答、Part 6は1問あたり20秒時間を計って解く。 事後学修: ノートに、事前学修で解いた問題のうち間違えた問題を基本例文の正しい形にして一例あたり5回ずつ音読しながら速写し弱点強化をする。
7回	授業内容: Unit 6 Business (Part 4, 7) ビジネス 問題演習、解答解説 弱点強化と4技能レベルアップのための基礎トレーニングを行う 事前学修: Unit 6の練習問題を解き、答えはノートに書く。Part 4はテキスト音声ファイルを web site からダウンロードして解答、Part 7は1問あたり1分時間を計って解く。 事後学修: ノートに、事前学修で解いた問題のうち間違えた問題を基本例文の正しい形にして一例あたり5回ずつ音読しながら速写し弱点強化をする。
8回	授業内容: Mini TOEIC 解答解説 弱点強化と4技能レベルアップのための基礎トレーニングを行う 事前学修: これまでの授業学修したことの見直し、Mini TOEICの準備 事後学修: ノートに、事前学修で解いた問題のうち間違えた問題を基本例文の正しい形にして一例あたり5回ずつ音読しながら速写し弱点強化をする。
9回	授業内容: Unit 7 Bank & Post office (Part 1, 2, 5) 銀行&郵便局 問題演習、解答解説 弱点強化と4技能レベルアップのための基礎トレーニングを行う 事前学修: Unit 7の練習問題を解き、答えはノートに書く。Part 1, 2はテキスト音声ファイルを web site からダウンロードして解答、Part 5は1問あたり20秒時間を計って解く。 事後学修: ノートに、事前学修で解いた問題のうち間違えた問題を基本例文の正しい形にして一例あたり5回ずつ音読しながら速写し弱点強化をする。
10回	授業内容: Unit 8 Job Hunting (Part 3, 6) 就職活動 問題演習、解答解説 弱点強化と4技能レベルアップのための基礎トレーニングを行う 事前学修: Unit 8の練習問題を解き、答えはノートに書く。Part 3はテキスト音声ファイルを web site からダウンロードして解答、Part 6は1問あたり20秒時間を計って解く。 事後学修: ノートに、事前学修で解いた問題のうち間違えた問題を基本例文の正しい形にして一例あたり5回ずつ音読しながら速写し弱点強化をする。
11回	授業内容: Unit 9 Health (Part 4, 7) 健康問題演習、解答解説 弱点強化と4技能レベルアップのための基礎トレーニングを行う 事前学修: Unit 9の練習問題を解き、答えはノートに書く。Part 4はテキスト音声ファイルを web site からダウンロードして解答、Part 7は1問あたり1分時間を計って解く。 事後学修: ノートに、事前学修で解いた問題のうち間違えた問題を基本例文の正しい形にして一例あたり5回ずつ音読しながら速写し弱点強化をする。
12回	授業内容: Unit 10 Tourism: Travel by Land (Part 1, 2, 5) ツーリズム: 交通問題演習、解答解説 弱点強化と4技能レベルアップのための基礎トレーニングを行う 事前学修: Unit 10の練習問題を解き、答えはノートに書く。Part 1, 2はテキスト音声ファイルを web site からダウンロードして解答、Part 5は1問あたり20秒時間を計って解く。 事後学修: ノートに、事前学修で解いた問題のうち間違えた問題を基本例文の正しい形にして一例あたり5回ずつ音読しながら速写し弱点強化をする。
13回	授業内容: Unit 11 Tourism: Travel by Air (Part 3, 6) ツーリズム: 航空 問題演習、解答解説 弱点強化と4技能レベルアップのための基礎トレーニングを行う 事前学修: Unit 11の練習問題を解き、答えはノートに書く。Part 3はテキスト音声ファイルを web site からダウンロードして解答、Part 6は1問あたり20秒時間を計って解く。 事後学修: ノートに、事前学修で解いた問題のうち間違えた問題を基本例文の正しい形にして一例あたり5回ずつ音読しながら速写し弱点強化をする。
14回	授業内容: Unit 12 Tourism: Hotels (Part 4, 7) ツーリズム: ホテル問題演習、解答解説 弱点強化と4技能レベルアップのための基礎トレーニングを行う 事前学修: Unit 12の練習問題を解き、答えはノートに書く。Part 4はテキスト音声ファイルを web site からダウンロードして解答、Part 7は1問あたり1分時間を計って解く。 事後学修: ノートに、事前学修で解いた問題のうち間違えた問題を基本例文の正しい形にして一例あたり5回ずつ音読しながら速写し弱点強化をする。
15回	授業内容: まとめと試験、解答解説 事前学修: これまでの授業学修したことの見直し、試験の準備 事後学修: ノートに、事前学修で解いた問題のうち間違えた問題を基本例文の正しい形にして一例あたり5回ずつ音読しながら速写し弱点強化をする。

◆**教科書** 丸沼『AN AMAZING APPROACH TO THE TOEIC L&R TEST』(頻出表現と頻出単語で攻略する TOEIC L&R TEST) 稲富美・Eleanor Smith 他著 成美堂 2,376円(税込)(送料300円)

◆**参考書** 丸沼『公式 TOEIC® Listening&Reading 問題集 3』 Educational Testing Service (編) 3,024円(税込)(送料350円)
丸沼『公式 TOEIC® Listening&Reading 問題集 2』 Educational Testing Service (編) 3,024円(税込)(送料350円)
丸沼『公式 TOEIC® Listening&Reading 問題集 1』 Educational Testing Service (編) 3,024円(税込)(送料350円)

◆**成績評価基準** (Quiz、Pre-test) 20% + Mini TOEIC 30% + 期末試験 50%) による総合評価(クラスのレベルを考慮し一定の基準になるよう調整を加えることがあります。)

◆**授業相談 (連絡先)** : なるべく授業中か授業後をお願いします。(連絡先は追って指示します。)

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔中国語 I・II〕

泉 朝子

◆**授業概要** 難しいと言われる中国語の発音。せっかく中国語に興味をもって、発音でつまずき、あきらめてしまう人も少なくありません。この講義では発音指導を中心に、基礎となるピンインと声調を理解するところから課題文の暗唱ができるようになるまで、時間をかけて丁寧に学んでいきます。発音以外にも翻訳やクイズなどに挑戦していただき、さまざまな角度から中国語への興味を深めていただければと思います。

◆**学修到達目標** 発音の基礎となるピンインと声調をしっかりと学び、最終的に課題文を暗唱できるようになりましょう。また、グループワークなどの主体的な学びを通して、中国語に馴れ親しみましょう。

◆**授業方法** 発音指導を中心に、説明→全体練習→グループ練習および個別指導を繰り返し行い（履修者が多い場合、個別指導ができない可能性もありますが、極力実施したいと思います）、最後に三日間の集大成として、課題文の暗唱を発表してもらいます。また、翻訳やクイズにはグループで取り組み、教えたり教えられるりしながら中国語への理解を深めていきましょう。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容: ガイダンス、中国語について 事前学修: 自分が中国語を学びたい理由を明確しておく 事後学修: ガイダンスの内容を確認する
2 回	授業内容: 課題文の翻訳、翻訳発表 事前学修: 課題文に目を通しておく 事後学修: 他者の翻訳発表をふまえて翻訳の推敲をする
3 回	授業内容: 翻訳の講評と解説、中国語のドラマ鑑賞 事前学修: 課題文に目を通しておく 事後学修: 翻訳で間違っていたところがあれば直し、なぜ間違っていたのかを理解する
4 回	授業内容: ピンインの発音練習（全体）、ピンインの書き方のルールを学ぶ 事前学修: ピンイン練習用の配布資料に目を通しておく 事後学修: ピンインの書き方のルールを復習する
5 回	授業内容: ピンインの発音練習（グループ練習／個別指導） 事前学修: ピンイン練習用の配布資料を使って自分で発音してみる 事後学修: ピンイン練習用の配布資料を使って発音を復習する
6 回	授業内容: 声調の発音練習（全体）、声調変化のルール・声調記号のふり方を学ぶ 事前学修: 声調練習用の配布資料に目を通しておく 事後学修: 声調変化のルール・声調記号のふり方を復習する
7 回	授業内容: 声調の発音練習（グループ練習／個別指導） 事前学修: 声調練習用の配布資料を使って自分で発音してみる 事後学修: 声調練習用の配布資料を使って発音を復習する
8 回	授業内容: 辞書を引く練習、中国語のドラマ鑑賞 事前学修: 本・電子・スマートフォンなど形態は問わないが辞書を用意し自分で引いてみる 事後学修: 辞書を引いて授業中にわからなかった単語を調べてみる
9 回	授業内容: 課題文の発音練習（全体、グループ練習／個別指導） 事前学修: 課題文に目を通して、これまでに習った内容を応用してみる 事後学修: 課題文の発音を復習する
10 回	授業内容: 中間発表、ピンイン・声調の復習 事前学修: 課題文の発音練習を行う 事後学修: ピンインのしくみ・声調の特徴を理解できているか確認する
11 回	授業内容: ピンイン・声調・単語クイズ 事前学修: ピンイン・声調練習用の配布資料に目を通しておく 事後学修: クイズで間違っていたところがあれば直し、なぜ間違っていたのかを理解する
12 回	授業内容: 数字・金額の表し方 事前学修: 辞書を利用し、一から十までの発音を予習しておく 事後学修: 数字・金額の表し方を復習する
13 回	授業内容: 時刻の表し方、中国語のアニメ鑑賞 事前学修: 一から十までの発音ができるようにしておく 事後学修: 時刻の表し方を復習する
14 回	授業内容: 課題文の発音練習（全体、グループ練習／個別指導） 事前学修: 課題文の発音練習を行う 事後学修: 課題文の発音を復習する
15 回	授業内容: 課題文の発表、まとめ 事前学修: 課題文の発音練習を行う 事後学修: 課題文を実際に使ってみる

◆**教科書** 〔当日資料配布〕

◆**参考書** 使用しない（本・電子・スマートフォンなど形態は問わないが辞書の携帯が望ましい）

◆**成績評価基準** 平常点 40%（主にグループワークへの参加度、発音練習への取り組み姿勢で評価します）
発表 60%（発音の発表を行ってもらいます。発音には個人差がありますので、各人がスクーリングの 3 日間でどれだけ上達したかをもとに評価します）

◆**授業相談（連絡先）** : izumischooling@gmail.com

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔刑法Ⅰ〕

西貝 吉晃

- ◆**授業概要** 犯罪論のうちの、刑法総論という、一般的な犯罪の成立要件に関する議論を学ぶ。
- ◆**学修到達目標** 刑法総論の基本的な考え方を具体的な事案に対する裁判所の判断（判例）を読みながら学ぶ。判例を読むことで、実際の事案の解決方法を知ることができるようになる。
- ◆**授業方法** 基本的には教科書の叙述にしたがって進める。同時に、教科書に書かれている難解な概念の理解を促進するために、判例を実際に一緒に読んでいく。
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：犯罪論の基礎 犯罪の定義、罪刑法定主義 事前学修：教科書の第1編、及び第2編第1章を読んでおく。 事後学修：三段階説に基づく犯罪の定義を確実にいえるようにする。
2回	授業内容：構成要件論1 構成要件の内容、行為論、犯罪類型（危険犯等） 事前学修：教科書の第2編第2章第1節～第3節を読んでおく。 事後学修：法益の概念を用いた解釈の方法論について説明できるようになっているか確認する。
3回	授業内容：構成要件論2 刑法上の因果関係、間接正犯 事前学修：教科書の第2編第2章第4節、及び第5節を読んでおく。 事後学修：刑法特有の議論を含む因果関係の議論の方法を事案に応じて説明できるようにする。
4回	授業内容：構成要件論3 不作為犯論 事前学修：教科書の第2編第2章第6節を読んでおく。 事後学修：不真正不作為犯における作為義務の要件を説明できるようにする。
5回	授業内容：違法性1 違法性阻却事由の議論としての違法性論 正当防衛論 事前学修：教科書の第2編第3章第1節、及び第3節を読んでおく。 事後学修：正当防衛の成否について各要件の機能を考えつつ事案に応じて説明できるようにする。
6回	授業内容：違法性2 被害者の同意論 事前学修：教科書の第2編第3章第5節を読んでおく。 事後学修：被害者の同意によって犯罪にならない場合の範囲を説明できるようになる。
7回	授業内容：違法性3 その他の違法性阻却事由（緊急避難、可罰的違法性等） 事前学修：教科書の第2編第3章第2節、第4節、及び第6節を読んでおく。 事後学修：その他の違法性が阻却される場合を説明できるようになる。
8回	授業内容：責任論1 責任総論、及び故意・過失総論 事前学修：教科書の第2編第4章第1節、及び第2節を読んでおく。 事後学修：故意・過失の基本的な定義とその内容を説明できるようにする。
9回	授業内容：責任論1 故意論 錯誤論 事前学修：教科書の第2編第4章第3節を読んでおく。 事後学修：錯誤論について事案に応じて説明できるようになる。
10回	授業内容：責任論2 過失犯論、及びその他の責任論 事前学修：教科書の第2編第4章第4節を読んでおく。 事後学修：過失犯論について事案に応じて説明できるようになる。
11回	授業内容：構成要件の拡張1 未遂犯論（中止犯を含む） 事前学修：教科書の第2編第5章を読んでおく。 事後学修：未遂犯論について事案に応じて説明できるようになる。
12回	授業内容：構成要件の拡張2 共犯論 総論（共犯の処罰根拠、共同正犯の成立要件） 事前学修：教科書の第2編第6章第1節、及び第2節を読んでおく。 事後学修：共同正犯の成立範囲を説明できるようになる。
13回	授業内容：構成要件の拡張2 共犯論 各論（教唆・幫助、共犯と身分、共犯関係の解消、承継的共犯） 事前学修：教科書の第2編第6章第3節を読んでおく。 事後学修：各論的な共犯に関する議論について知る。
14回	授業内容：罪数と科刑処理 事前学修：教科書の第2編第7章を読んでおく。 事後学修：犯罪の個数について処理の方法を説明できるようになる。
15回	授業内容：確認テストを行う。（教科書を見ながら解いてよい。） 事前学修：教科書の刑法総論の部分の復習を行う。 事後学修：刑法総論についての理解が足りなかったところを重点的に復習し、刑法各論の予習とする。

- ◆**教科書** 丸沼『刑法 第3版』山口厚 3,456円（税込）（送料500円）
- ◆**参考書** 『判例刑法総論』（購入する必要はない。）
- ◆**成績評価基準** 最終授業時に実施する筆記試験に平常評価を加味して評価を行う。評価の基準は、上の学修到達目標を、完璧に達成した場合をSとし、以下、十分に達成をA、概ね達成をB、最低限達成をC、不達成をDとする。
- ◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に案内します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔民法Ⅳ〕

清水 恵介

- ◆**授業概要** 契約や不法行為など、財産法の具体的な規律内容を知るうえで極めて有益な債権法各論。民法第 3 編「債権」のうち、第 2 章の「契約」以下に規定された第 521 条から第 724 条の 2 までの対象条文を扱う。
- ◆**学修到達目標** 授業概要に記した上記法領域中の各概念や各制度を理解し、説明することができるようになることを目的とする。
- ◆**授業方法** 実務や学界の動向、最新判例、債権関係法の改正内容なども視野に入れつつ講義を行う。
- ◆**履修条件** 最新版（平成 31 年版）の六法を必ず持参すること。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 事前学修 事後学修	履修条件を満たし得ることを確認した上で、シラバスに沿って授業概要や学修到達目標、授業方法、教科書、成績評価基準について説明し、次回以降、受講生が授業に参加できるよう、その準備や心構えを促す。 シラバスを確認し、授業概要を踏まえつつ、各回の授業内容を読み込むとともに、教科書序、1～4 頁をよく読んでおく。 授業での説明内容を確認し、教科書・六法・ノートの購入等、受講に向けた具体的準備を行う。
2 回	授業内容 事前学修 事後学修	契約の概念、契約の成立、及び、契約の効力のうち同時履行の抗弁権を解説する。 教科書第 1 章のうち、5～29 頁をよく読んでおく。 授業中の理解が正しいことを確認するとともに、レジュメや授業中に記入したノートを見返し、わからない箇所については教科書を再度確認した上で、授業のテーマについて再検討する。
3 回	授業内容 事前学修 事後学修	契約の効力のうち、危険負担、第三者のためにする契約及び契約上の地位の移転を解説するとともに、契約の解除及び定型約款を解説する。 教科書第 1 章のうち、29～50 頁をよく読んでおく。 授業中の理解が正しいことを確認するとともに、レジュメや授業中に記入したノートを見返し、わからない箇所については教科書を再度確認した上で、授業のテーマについて再検討する。
4 回	授業内容 事前学修 事後学修	売買のうち、売買の成立及び契約の効力中の主に契約不適合を解説する。 教科書第 2 章のうち、52～83 頁をよく読んでおく。 授業中の理解が正しいことを確認するとともに、レジュメや授業中に記入したノートを見返し、わからない箇所については教科書を再度確認した上で、授業のテーマについて再検討する。
5 回	授業内容 事前学修 事後学修	売買のうち、買戻し及び特殊な売買を解説するとともに、贈与及び交換を解説する。 教科書第 2 章のうち、83～100 頁をよく読んでおく。 授業中の理解が正しいことを確認するとともに、レジュメや授業中に記入したノートを見返し、わからない箇所については教科書を再度確認した上で、授業のテーマについて再検討する。
6 回	授業内容 事前学修 事後学修	消費貸借を解説するとともに、賃貸借のうち、主に当事者間の効力を解説する。 教科書第 3 章のうち、101～123 頁をよく読んでおく。 授業中の理解が正しいことを確認するとともに、レジュメや授業中に記入したノートを見返し、わからない箇所については教科書を再度確認した上で、授業のテーマについて再検討する。
7 回	授業内容 事前学修 事後学修	賃貸借のうち、第三者に対する効力、当事者の変更及び特赦な賃貸借を解説するとともに、使用貸借、雇用及び請負を解説する。 教科書第 3 章のうち、123～139 頁と、同第 4 章のうち、140～149 頁をよく読んでおく。 授業中の理解が正しいことを確認するとともに、レジュメや授業中に記入したノートを見返し、わからない箇所については教科書を再度確認した上で、授業のテーマについて再検討する。
8 回	授業内容 事前学修 事後学修	委任、寄託、組合、終身定期金及び和解を解説するとともに、事務管理を解説する。 教科書第 4 章のうち、149～165 頁と、同第 5 章のうち、168～177 頁をよく読んでおく。 授業中の理解が正しいことを確認するとともに、レジュメや授業中に記入したノートを見返し、わからない箇所については教科書を再度確認した上で、授業のテーマについて再検討する。
9 回	授業内容 事前学修 事後学修	不当利得のうち、一般的な要件・効果及び給付利得一般を解説する。 教科書第 5 章のうち、177～196 頁をよく読んでおく。 授業中の理解が正しいことを確認するとともに、レジュメや授業中に記入したノートを見返し、わからない箇所については教科書を再度確認した上で、授業のテーマについて再検討する。
10 回	授業内容 事前学修 事後学修	不当利得のうち、特殊な給付利得、侵害利得、支出利得及び多数当事者間の不当利得を解説する。 教科書第 5 章のうち、196～225 頁をよく読んでおく。 授業中の理解が正しいことを確認するとともに、レジュメや授業中に記入したノートを見返し、わからない箇所については教科書を再度確認した上で、授業のテーマについて再検討する。
11 回	授業内容 事前学修 事後学修	不法行為のうち、主に一般的不法行為の要件を解説する。 教科書第 6 章のうち、226～248 頁をよく読んでおく。 授業中の理解が正しいことを確認するとともに、レジュメや授業中に記入したノートを見返し、わからない箇所については教科書を再度確認した上で、授業のテーマについて再検討する。
12 回	授業内容 事前学修 事後学修	不法行為のうち、不法行為の効果を解説する。 教科書第 6 章のうち、248～265 頁をよく読んでおく。 授業中の理解が正しいことを確認するとともに、レジュメや授業中に記入したノートを見返し、わからない箇所については教科書を再度確認した上で、授業のテーマについて再検討する。
13 回	授業内容 事前学修 事後学修	不法行為のうち、加害者側の反論、責任無能力者の監督者責任及び使用者責任を解説する。 教科書第 6 章のうち、265～278 頁と、同第 7 章のうち、279～295 頁をよく読んでおく。 授業中の理解が正しいことを確認するとともに、レジュメや授業中に記入したノートを見返し、わからない箇所については教科書を再度確認した上で、授業のテーマについて再検討する。
14 回	授業内容 事前学修 事後学修	不法行為のうち、土地工作物責任、製造物責任、動物占有者の責任、自動車損害賠償責任及び共同不法行為を解説する。 教科書第 7 章のうち、295～318 頁をよく読んでおく。 授業中の理解が正しいことを確認するとともに、レジュメや授業中に記入したノートを見返し、わからない箇所については教科書を再度確認した上で、授業のテーマについて再検討する。
15 回	授業内容 事前学修 事後学修	授業内試験を実施するとともに、残った時間で全体のまとめとなるポイントを説明する。 教科書の各章のうち、欠席等により理解が不十分であった箇所を読み直し、授業内試験に向けて学習事項をまとめる。 授業内試験やその後の説明を通じて理解が不十分であった箇所について、教科書や参考書等を確認した上で再検討する。

- ◆**教科書** 丸沼「新ハイブリッド民法4 債権各論」滝沢昌彦ほか 法律文化社 2018 年 3,240 円（税込）（送料 350 円）
〔当日資料配布〕当日プリント配布
- ◆**参考書** 指定しない
- ◆**成績評価基準** 試験（100%）。授業内容を踏まえて出題される設問を解答させ、その内容により理解度をはかり、毎回出席することを前提として評価する。
- ◆**授業相談（連絡先）**：初回の講義時に受講学生に直接伝える。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国際政治学 / 国際政治論 / 国際政治学概論〕

大八木 時広

◆**授業概要** グローバル化が進展する国際社会においては、人権、国家主権、領土に関して様々な問題が起こり、また課題が生じている。特に、人種・民族問題、核兵器の拡散と軍縮問題、安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域経済統合、国際社会における南北問題や貧困や格差、国際協力や国際協調の推進などの問題や課題があり、それらの問題を理解させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割について認識させる。以上の点について、本講義では国際政治史の視点から授業をおこなう。

◆**学修到達目標** 授業概要で述べられているような項目について、国際政治上の出来事、とりわけ20世紀の現代史の出来事に関して知識を身につけることができるようになる。またそうした事柄について現代の問題と結びつけて説明できるようになる。

◆**授業方法** 受講者にはあらかじめテキストで予習をしてもらい、授業当日は配布プリントとパワーポイントを用いて講義形式で授業を実施する。なおスクーリング中、適時、リアクションペーパーの記入と提出を求める。

◆**授業計画 (各90分)**

1回	授業内容 事前学修 事後学修	授業オリエンテーション・授業の進め方・成績評価・国際政治史への導入 まず、授業の進め方や成績評価などについて説明する。つぎに、20世紀の国際政治を学ぶことが国際政治学にとってどのような意味があるのか、また国際政治学の基本概念、すなわち、国家、主権、民族、アクター、パワーなどについて説明する。 テキストのまえがき、および24～42項を読んで20世紀前半の国際政治について理解しておくこと。 配布プリントと自分のノートを整理して、授業内容を理解しておくこと。
2回	授業内容 事前学修 事後学修	新たな国際秩序 第二次世界大戦終了後、米ソによってヤルタ体制が、そして米によってブレトンウッズ体制が形成され、新たな国際政治・経済の秩序が確立されたことを説明する。 テキスト44～60項を読んで、ヤルタ体制やブレトンウッズ体制の形成された国際的背景について理解しておくこと。 配布プリントと自分のノートを整理して、とくにヤルタ体制とブレトンウッズ体制の担い手の違いについて確認し、授業内容を理解しておくこと。
3回	授業内容 事前学修 事後学修	ソ連脅威論と封じ込め政策 ソ連脅威論が誰によってどのように拡散したのか、またそれに対してアメリカは対ソ封じ込め政策をどのように展開したのか、米ソの軍拡(とくに核軍拡)はどうかを説明する。 テキスト50～71項を読んで、ソ連脅威論が登場する国際的背景について理解しておくこと。 配布プリントと自分のノートを整理して、とくに封じ込め政策の性格についてまとめて、授業内容を理解しておくこと。
4回	授業内容 事前学修 事後学修	アジアの民族運動・独立 アジアにおける戦後の民族運動や独立、とりわけ東南アジア諸国の独立や中華人民共和国の成立について説明する。 テキスト98～112項および134～150項を読んで、アジア諸国の独立の国際的背景について理解しておくこと。 配布プリントと自分のノートを整理して、とくにアジアの民族運動の性格についてまとめて、授業内容を理解しておくこと。
5回	授業内容 事前学修 事後学修	戦後日本～占領から独立へ まずアメリカによる対日占領(政策)について説明する。次に、どのようにして日本が独立を回復していったかを、冷戦と関連づけながら説明する。 テキスト152～167項を読んで、占領当時の国際的背景、とくに冷戦の背景について理解しておくこと。 配布プリントと自分のノートを整理して、とくに日本占領がなぜ早期に終了したかについてまとめて、授業内容を理解しておくこと。
6回	授業内容 事前学修 事後学修	冷戦下の国際危機① 冷戦下で発生した、ベルリン危機や台湾海峡危機について、どのように始まり、どのようにそれぞれの危機が収束したかを説明する。 テキスト86～92項および254～257項を読んで、危機発生の国際的背景について理解しておくこと。 配布プリントと自分のノートを整理して、とくに危機の収束の仕方についてまとめて、授業内容を理解しておくこと。
7回	授業内容 事前学修 事後学修	冷戦下の国際危機② 冷戦下で発生した、キューバ危機について、どのように始まり、どのように危機が収束したかを説明する。 テキスト287～297項を読んで、キューバ危機発生の国際的背景について理解しておくこと。 配布プリントと自分のノートを整理して、とくにキューバ危機の収束の仕方と国際的影響についてまとめて、授業内容を理解しておくこと。
8回	授業内容 事前学修 事後学修	多極化世界① 相互依存関係の進展・ソ連陣営の動揺・中ソ対立 まず先進国間での経済的な相互依存関係の進展、主要国間でのパワーの拡散について説明する。つぎになぜソ連陣営が動揺したのか、またなぜ中国がソ連と決別して独自路線を歩むことになったのかを説明する。 テキスト226～242項を読んで、中ソ対立の国際的背景について理解しておくこと。 配布プリントと自分のノートを整理して、とくに危機の収束の仕方と国際的影響についてまとめて、授業内容を理解しておくこと。
9回	授業内容 事前学修 事後学修	多極化世界② 第三世界の台頭と南北問題 まず第三世界の独立運動について概要を説明する。また第三世界による非同盟運動について、なぜ始まり、どう展開したか、どのように国際政治に影響を及ぼしたかについて、南北問題と関連づけつつ説明する。 テキスト271～280項を読んで、第三世界の独立運動の国際的背景について理解しておくこと。 配布プリントと自分のノートを整理して、とくに非同盟運動についてまとめて、授業内容を理解しておくこと。
10回	授業内容 事前学修 事後学修	デタント① プラントの東方外交・CSCE まず旧西独のプラント政権による緊張緩和の外交(東方外交)について、つぎに欧州大陸全域での緊張緩和の取り組みであるCSCE(欧州安全保障協力会議)について説明する。 テキスト320～327項を読んで、東方外交とCSCEの国際的背景について理解しておくこと。 配布プリントと自分のノートを整理して、とくにCSCEの意義についてまとめて、授業内容を理解しておくこと。
11回	授業内容 事前学修 事後学修	デタント② 米ソの核軍備管理・新冷戦 まず米ソによるデタント外交、とくに核の軍備管理交渉について説明する。つぎにそのデタントが揺らぎ、崩壊したのはなぜかを説明する。 テキスト327～336項を読んで、米ソデタント外交の国際的背景について理解しておくこと。 配布プリントと自分のノートを整理して、とくに米ソの核軍備管理の成果と課題についてまとめて、授業内容を理解しておくこと。
12回	授業内容 事前学修 事後学修	冷戦終結① ベレストロイカ・米ソの核軍縮 まずゴルバチョフによる内政・外交の改革がなぜ、どのようにしておこなわれたかを説明する。つぎに米ソによる核軍縮について、なぜ、どのようにおこなわれたかを説明する。 テキスト358～370項を読んで、米ソ核軍縮の国際的背景について理解しておくこと。 配布プリントと自分のノートを整理して、とくに米ソ核軍縮の成果と課題についてまとめて、授業内容を理解しておくこと。
13回	授業内容 事前学修 事後学修	冷戦終結② 東欧市民革命とベルリンの壁崩壊 東欧市民革命がどう展開したかについて、ポーランド、ハンガリー、チェコスロバキアなどの事例から説明する。つぎに東欧市民革命の最中に起こったベルリンの壁の崩壊について、どのように展開し、冷戦の終結にどのような影響を与えたのかについて説明する。 テキスト371～374項を読んで、東欧市民革命の国際的背景について理解しておくこと。 配布プリントと自分のノートを整理して、とくに東欧市民革命とベルリンの壁崩壊の影響についてまとめて、授業内容を理解しておくこと。
14回	授業内容 事前学修 事後学修	冷戦終結③ ドイツ統一・ソ連邦解体 ドイツ統一とソ連解体について、それぞれどのような過程をたどり、冷戦の終結にどのような影響を与えたのかについて説明する。 テキスト372～374項を読んで、ドイツ統一とソ連解体の国際的背景について理解しておくこと。 配布プリントと自分のノートを整理して、とくにドイツ統一とソ連解体の影響についてまとめて、授業内容を理解しておくこと。
15回	授業内容 事前学修 事後学修	グローバル化世界の課題 グローバル化世界における国際協力やグローバル・イシューについて、各地域における地域統合や地域協力の枠組みと関連づけながら説明する。またそうした世界における日本および日本人の果たすべき役割について説明する。 テキスト390～402項を読んで、グローバル化世界の概要について理解しておくこと。 配布プリントと自分のノートを整理して、とくに地域統合とグローバル・イシューについてまとめて、授業内容を理解しておくこと。

◆**教科書** 丸沼『20世紀の国際政治(第3版)』松岡岡 同文館出版 3,780円(税込)(送料500円)◆**参考書** なし◆**成績評価基準** 授業内テスト(60%)、リアクションペーパー(20%)、授業参画度(20%)による総合評価。◆**授業相談(連絡先)**: 初回授業時に案内します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

〔国文学講義 I（上代）〕

梶川 信行

◆授業概要 『万葉集』の大伴家持の作品を読む。

大伴家持は古来、『万葉集』の編纂者に擬せられている。歌に関するさまざまな資料が家持の手元に集められていたことが窺えるが、それもあって家持は、初期万葉以来の歌の伝統を集約したところに位置づけられる。ヤマトウタの歴史をどう受け継いで家持の歌の世界が成り立ったのか。本講義では、家持の作品を読み進めることを通して、古代和歌の成熟過程を見据える。

◆学修到達目標 大伴家持の習作期から円熟期までの各時期を特徴づける作品を一つずつ分析することを通して、家持がどのように歌人としての自覚を深めて行ったのかを理解することが目標である。また、近代短歌などとは異なる、古代和歌としての『万葉集』独自の表現の方法などについて理解を深めることも、その目標の一つである。

◆授業方法 プロジェクターを使って、スクリーンにさまざまな画像（写真・地図・各事項のまとめ など）を映し出しつつ講義を進める。時折、受講生全員に意見を求めるが、それを平常点とし、試験の点数に加算する。受身で受講するのではなく、どんどん質問をすること。

講義の中で、繰り返し問題を投げかけるので、ぜひ自分なりに考えてほしいと思う。受講生が積極的な姿勢で取り組めば取り組むほど、より深く読めることになる。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：ガイダンス 『万葉集』における大伴家持の位相 事前学修：『万葉集』に関する基本的な知識を蓄えておくこと。 事後学修：家持の生涯の概要をノートに整理しておくこと。
2 回	授業内容：青春時代の家持——大伴坂上郎女の影響 事前学修：993 と 994 番の歌を味読しておくこと。 事後学修：叔母坂上郎女の影響について、ノートに整理しておくこと。
3 回	授業内容：青年たちの宴席——社交の歌への眼覚め 事前学修：1581 ～ 1591 番歌を味読しておくこと。 事後学修：平城京の青年たちの交流の特色について、ノートに整理しておくこと。
4 回	授業内容：亡妾悲傷歌——亡妻挽歌の系譜 事前学修：466 ～ 469 番歌を味読しておくこと。 事後学修：初めて長歌をなした意義について、よく考えておくこと。
5 回	授業内容：伊勢行幸への従駕——従駕歌人の系譜 事前学修：1029 ～ 1036 番歌を味読しておくこと。 事後学修：官僚見習いとして行幸に従駕したことの意味を理解しておくこと。
6 回	授業内容：恭仁京の日々——宮廷歌人への憧憬 1 事前学修：1037 ～ 1039 番歌を味読しておくこと。 事後学修：宮廷讃歌の献呈を身近で見たことで家持がどう変わったかを考えること。
7 回	授業内容：安積皇子への挽歌——宮廷歌人への憧憬 2 事前学修：475 ～ 480 番歌を味読しておくこと。 事後学修：挽歌の制作が氏族全体の苦悩であったことを理解しておくこと。
8 回	授業内容：雪の肆宴——士大夫の自覚 事前学修：3922 ～ 3926 番歌を味読しておくこと。 事後学修：初めて晴れやかな席を経験したことが、どのような意味を持ったかを考えること。
9 回	授業内容：越中への下向——夷における生活詠 事前学修：3943 ～ 3955 番歌を味読しておくこと。 事後学修：新天地での宴席が家持にどのような変化をもたらしたかを理解しておくこと。
10 回	授業内容：二上山の賦——国土讃美の歌の系譜 事前学修：3985 ～ 3987 番歌を味読しておくこと。 事後学修：越中の国守としての立場で長歌を成すことの意味をノートに整理しておくこと。
11 回	授業内容：田辺福麻呂の越中来訪——社交の歌の成熟 事前学修：4032 ～ 4037 番歌を味読しておくこと。 事後学修：宴席の場ではどのような配慮に基づく表現が必要なのかを理解すること。
12 回	授業内容：配下の人々との交流——夷における雅 事前学修：1037 ～ 1039 番歌を味読しておくこと。 事後学修：古代の貴族たちの歌の場とは、具体的にどのようなものだったのかを理解すること。
13 回	授業内容：越中秀吟——新たな歌の世界へ 事前学修：3960 ～ 3961 番歌を味読しておくこと。 事後学修：古来〈秀歌〉とされた歌がどのような理由で評価されたのかを理解しておくこと。
14 回	授業内容：防人歌の収集——意識された氏族の伝統 事前学修：4331 ～ 4333 番歌を味読しておくこと。 事後学修：氏族の伝統に基づいて作歌することの意味を理解しておくこと。
15 回	授業内容：まとめ 因幡国庁の正月 事前学修：4516 番歌を味読しておくこと。 事後学修：大伴家持がどのように自身の歌の世界を創造して来たか、その全体像を理解すること。

◆教科書 丸沼『訳文万葉集』 森淳司編 笠間書院 1,944 円（税込）（送料 500 円）

一応、上記のテキストを指定しておくが、『万葉集』全 20 巻が収録されているものならば、それ以外でもよい。ただし、あまり古いものは不可。

◆参考書 大伴家持に関する本はたくさんある。多田一臣『大伴家持』（至文堂・1994）がもっともお薦めだが、手に入りにくい。できるだけ学術的なものを選んで、事前に読んでおくこと。

◆成績評価基準 試験。それに平常点を加える。

試験は自筆ノートのみ持ち込み可とするので、できるだけ丁寧にノートを取っておくこと。

◆授業相談（連絡先）：meruko11@mbp.nifty.com

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国語学演習Ⅰ～Ⅲ〕

鈴木 功真

◆**授業概要** 具体的に日本語学・日本語史としての分析考察方法を把握するために、今回は具体的な文献としてキリシタン資料のうちイエズス会系の『イソホ物語』（エソポのハプラス）を採り上げる。その実際の本文を全員で分担して解読することが第一段階である。その次に、具体的に見ることの出来た本文の日本語史的特徴について調査・考察報告を行う。

◆**学修到達目標** 日本語の歴史を明らかにするためには、日本語史に関する各種資料を参照する必要がある。そのため、日本語史に関する各種資料に接した際に、実際に資料をどのように見て、本文をどのように解読するか、どのような参照図書やWEB上の情報を活用したら良いか、また、実際の用例に対してどのように解釈したら良いかといった感覚を身につけることを目標とする。

◆**授業方法** 最初に、「日本語史」とは何か、「日本語史的考察」とは何かのガイダンスを行う。それと平行して、各受講者は分担に従った本文解読の発表を行う。その上で、本文に見られる「日本語史的特徴」を観察しておき、各自の興味関心に従って、日本語史的な考察発表を行う。必要に応じて、事後レポートを課すことがある。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：ガイダンス「日本語史」とは 事前学修：日本語史に関する概説書等で概要を把握しておくこと。 事後学修：演習発表に向けてどのように知識を活用するかまとめておくこと。
2回	授業内容：ガイダンス「キリシタン資料」とは 事前学修：資料特性を概説書等で予習し想像しておくこと。 事後学修：演習発表に向けて資料特性をどのように活用するかまとめておくこと。
3回	授業内容：第1回発表① 443 ペ 10 行「エソポが〜」 事前学修：本文を読んでおくこと。 事後学修：どう口語訳したか、日本語史的特徴は何かをまとめておくこと。
4回	授業内容：第1回発表② 444 ペ 1 行「の時は未〜」 事前学修：本文を読んでおくこと。 事後学修：どう口語訳したか、日本語史的特徴は何かをまとめておくこと。
5回	授業内容：第1回発表③ 444 ペ 12 行「た。これを〜」 事前学修：本文を読んでおくこと。 事後学修：どう口語訳したか、日本語史的特徴は何かをまとめておくこと。
6回	授業内容：第1回発表④ 409 ペ 1 行「エソポが〜」 事前学修：本文を読んでおくこと。 事後学修：どう口語訳したか、日本語史的特徴は何かをまとめておくこと。
7回	授業内容：第1回発表⑤ 409 ペ 11 行「もおりな〜」 事前学修：本文を読んでおくこと。 事後学修：どう口語訳したか、日本語史的特徴は何かをまとめておくこと。
8回	授業内容：第1回発表⑥ 410 ペ 1 行「向こうて〜」 事前学修：本文を読んでおくこと。 事後学修：どう口語訳したか、日本語史的特徴は何かをまとめておくこと。
9回	授業内容：第2回発表① 学術事典の利用 事前学修：一般辞典と学術事典の違いを想像しておくこと。 事後学修：学術事典にどのようなものがあるかまとめておくこと。
10回	授業内容：第2回発表② 索引の利用 事前学修：索引とは何かを想像しておくこと。 事後学修：索引の利用法をまとめておくこと。
11回	授業内容：第2回発表③ 辞典類の利用 事前学修：学術的に用いる辞典とは何かを想像しておくこと。 事後学修：辞典をどう用いたらよいかまとめておくこと。
12回	授業内容：第2回発表④ cinii の利用 事前学修：cinii をこれまでどのように利用してきたか振り返っておくこと。 事後学修：cinii を学術的に用いるのはどうしたらよいかまとめておくこと。
13回	授業内容：第2回発表⑤ 国立国語研究所データベースの利用 事前学修：国立国語研究所とは何か調べておくこと。 事後学修：国立国語研究所データベースはどう用いたらよいかまとめておくこと。
14回	授業内容：第2回発表⑥ PDF 公開論文の利用 事前学修：PDF 公開論文をどのように用いていたか振り返っておくこと。 事後学修：PDF 公開論文を学術的に用いるのはどうしたらよいかまとめておくこと。
15回	授業内容：まとめ「キリシタン資料」の「日本語史的」な把握 事前学修：ここまでの発表を振り返っておくこと。 事後学修：今後の研究で必要となった際に本演習を参照できるようにまとめておくこと。

◆**教科書** **事前資料送付** 事前資料を送付する。

◆**参考書** 『日本語学大辞典』 日本語学会編 東京堂出版 大学や公共図書館で閲覧するレベル。

『日本語大事典』 佐藤武義ほか編 朝倉書店 同上

『日本国語大辞典』 小学館 WEB上のジャパンナレッジ内で日大Gメールアカウントにより学術認証の利用が可能である。

◆**成績評価基準** 1回目2回目の発表80%、授業参画度20%として総合的に評価する。

◆**授業相談（連絡先）**：事前資料に記すが、それ以前に必要であればメールを送信すること。

アドレス：sun@cd.main.jp

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国文学演習 I～VI〕

藤平 泉

- ◆**授業概要** 藤原定家撰の「小倉百人一首」をテキストとして各自一首ずつ好きな和歌を選び、事前送付資料を基に各自事前に調査をし発表資料を作成し、順番に口頭発表を行いその後質疑をする。
- ◆**学修到達目標** 「小倉百人一首」を教材として、平安～鎌倉時代の様々なタイプの和歌について学び、平安時代に風習や恋愛事情、歴史的出来事との関係など、古典文学を学ぶ上での基礎知識を修得すると共に、口頭発表の方法を習得することを目標とする。
- ◆**授業方法** 事前送付の資料に基づき演習開始前に各自で発表資料を作成しておき、口頭発表し各自質疑を行う。参加人数によって一日の発表者数は異なる。どうしても人前で発表ができない人は事前に申し出ること。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：ガイダンス 事前学修：事前配布資料を熟読し元に発表資料を作成する 事後学修：ガイダンス内容を確認する
2 回	授業内容：講義、小倉百人一首の成立 事前学修：テキストを熟読する 事後学修：講義内容をノートする 資料の準備
3 回	授業内容：講義 藤原定家の問題 発表順を決める（原則名簿順） 事前学修：テキストを読み前回の講義内容を確認する 事後学修：講義内容をノートする 自分の発表資料の準備
4 回	授業内容：口頭発表にむけて準備をする 事前学修：自分の資料を人数分コピーする 事後学修：自分の発表内容を確認する
5 回	授業内容：口頭発表 1 他人の発表の仕方を見ておく 事前学修：本日の発表についてテキスト等で確認しておく 事後学修：自分の発表の参考になることを確認する
6 回	授業内容：口頭発表 2 人の発表からも学ぼう 事前学修：本日の発表についてテキスト等で確認しておく 何が問題かを知る 事後学修：人の発表から発表の仕方を確認しよう
7 回	授業内容：口頭発表 3 質問事項を考えておこう 事前学修：本日の発表についてテキスト等で確認しておく 自分でも質問を考える 事後学修：基本的な調査事項を確認しよう
8 回	授業内容：口頭発表 4 自分でも質問してみよう 事前学修：本日の発表についてテキスト等で確認しておく 事後学修：新しい発見があったか振り返ろう
9 回	授業内容：口頭発表 5 人の意見を聞いてみよう 事前学修：本日の発表についてテキスト等で確認しておく 自分ならこう考えるということ 事後学修：自分の考え方を学問的にしていこう
10 回	授業内容：口頭発表 6 自分の考えを述べてみよう 事前学修：本日の発表についてテキスト等で確認しておく 事後学修：自分の資料と人の資料を比較してみよう
11 回	授業内容：口頭発表 7 人の発表からも学ぼう 事前学修：本日の発表についてテキスト等で確認しておく 事後学修：研究上の注意点を確認しよう
12 回	授業内容：口頭発表 8 自分の知識を確認しよう 事前学修：本日の発表についてテキスト等で確認しておく 事後学修：いろいろな人の考えを知り参考にしよう
13 回	授業内容：口頭発表 9 これまで学んだことを質問に盛り込もう 事前学修：本日の発表についてテキスト等で確認しておく 事後学修：自分の修得した知識を確認しよう
14 回	授業内容：口頭発表 10 自分の考え方を確認しよう 事前学修：本日の発表についてテキスト等で確認しておく 事後学修：演習の最初と自分の研究態度が変わったか確認しよう
15 回	授業内容：演習のまとめと修得事項の確認 事前学修：これまでの発表を振り返り自分の知識と修得したことを確認する 事後学修：発表資料をファイルし、質疑を振り返り内容を再度確認する

- ◆**教科書** 丸沼『百人一首』有吉保 講談社学術文庫 1,533 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**参考書** 丸沼『百人一首』島津忠夫 角川ソフィア文庫 691 円（税込）（送料 215 円）
- ◆**成績評価基準** 口頭発表の内容（60%）と質疑への積極的な参加度（40%）を総合的に判断する。
- ◆**授業相談（連絡先）**：フジヒラをアルファベット小文字+ @chs.nihon-u.ac.jp 件名に通信教育部夏期スクと入れて下さい。添付ファイルは付けられないこと。質問事項は具体的に。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔アメリカ文学史〕

北原 安治

- ◆**授業概要** アメリカの建国から 20 世紀までのアメリカ文学の流れを学び、各作家の特徴を理解できるようになる。
- ◆**学修到達目標** テキストを最初から読んで行きます。文法構造を把握して、英文がしっかり読めることが前提となります。映像資料を活用などして米文学史の全体的な流れを把握します。村上春樹の新訳のフィッツジェラルドの『華麗なるギャツビー』の DVD など事前に見ておけば良い。28 章のヘミングウェイまでは行きたい。
- ◆**授業方法** 予習テストと予習ノート検査(教科書の書き込みだけでは不可)をする場合がある。テキストの英文を手書きでノートに写す。手書き以外は不可。なるべく多く予習してもらいたいが理想として 28 章まで予習。40 人すべて予習をしてもよい。和訳を付ける。テキストの最後に参考文献があるので予習の参考に。抜き打ちの実力テストをやる場合があるので辞書必携。試験は持ち込み無し。毎回テキストを間違える学生がいるので注意。薄手のテキスト。

◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容: 映像資料, アメリカ先住民の文学およびジョン・スミス 事前学修: 『アメリカ・インディアン』(1977 年) (中公新書) 金閣寿夫著参照 事後学修: 講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
2 回	授業内容: 映像資料, 『プリマス植民地』のブラッドフォードとアメリカ最初の詩人のブラッドストリート 事前学修: 英文の自分なりの和訳をしておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修: 講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
3 回	授業内容: 映像資料, 『大なる目覚め』のエドワーズと『ヤンキーズム』のフランクリン 事前学修: 英文の自分なりの和訳をしておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修: 講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
4 回	授業内容: 映像資料, ゴシック小説の先駆者のブロックデン・ブラウンと『リップ・ヴァン・ウィンクル』のアーヴィング 事前学修: 英文の自分なりの和訳をしておく。アーヴィングの映画『スリーピー・ホロウ』を見ておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修: 講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
5 回	授業内容: 映像資料, 歴史ロマンスのクーバーとロマン派の詩人プライアント 事前学修: 英文の自分なりの和訳をしておく。クーバーの映画『モヒカン族の最後』を見ておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修: 講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
6 回	授業内容: 映像資料, 怪奇・推理小説のボウと『超絶主義』のエマーソン 事前学修: 英文の自分なりの和訳をしておく。ボウの怪奇短編映画『世にも奇妙な物語』などを見ておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修: 講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
7 回	授業内容: 映像資料, 『ウォールデン』のソローとピューリタニズム批判のホーソン 事前学修: 英文の自分なりの和訳をしておく。ホーソンの映画『緋文字』を見ておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修: 講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
8 回	授業内容: 映像資料, 『白鯨』のメルヴィルと米代表詩人のホイットマン 事前学修: 英文の自分なりの和訳をしておく。映画『白鯨』を見ておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修: 講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
9 回	授業内容: 映像資料, 孤独な心境を詠ったディッキンソンとリアリズムのトウェイン 事前学修: 英文の自分なりの和訳をしておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修: 講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
10 回	授業内容: 映像資料, 心理主義のジェームズと自然主義のクレイン 事前学修: 英文の自分なりの和訳をしておく。ジェームズの映画『ある貴婦人の肖像』を見ておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修: 講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
11 回	授業内容: 映像資料, 環境決定論のドライバーとシカゴ・グループのサンドバーグ 事前学修: 英文の自分なりの和訳をしておく。ドライバーの映画テキスト『陽の当たる場所』を見ておく。47 ページの文献にあたっておく。 事後学修: 講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
12 回	授業内容: 映像資料, 深層心理のアンダソンと自然を詠ったフロスト 事前学修: 英文の自分なりの和訳をしておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修: 講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
13 回	授業内容: 映像資料, ハーレム・ルネッサンスのヒューズと『パターソン』のウィリアムズ 事前学修: 英文の自分なりの和訳をしておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修: 講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
14 回	授業内容: 映像資料, 『偉大なギャツビー』のフィッツジェラルドとノーベル賞作家ヘミングウェイ 事前学修: 英文の自分なりの和訳をしておく。映画『偉大なギャツビー』を見ておく。ヘミングウェイの映画『老人と海』など見ておく。テキスト 47 ページの文献にあたっておく。 事後学修: 講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。
15 回	授業内容: アメリカ文学史の全体的まとめと試験 事前学修: 講義の復習。正しい和訳と小論文の準備。 事後学修: アメリカ文学史の全体的な復習。

- ◆**教科書** 丸沼 セメスターシリーズ『An Outline of American Literature (アメリカ文学概観)』 井上謙治編著 南雲堂 全 48 ページの薄いテキスト 1,296 円 (税込) (送料 215 円)

- ◆**参考書** テキスト 47 ページ参照。中型辞書を持っていくこと。
通材 『アメリカ文学史 N30200』 通信教育教材 (教材コード 000536) 3,300 円 (送料込)
 『この教材は市販の『アメリカ小説入門』井上謙治著 (研究社) と同一です。』
 『アメリカ小説入門』 井上謙治著 研究社 1995 年 (この本は講義では使いません。図書館で参照。)
 『講義 アメリカ文学史 全 3 巻』 渡辺利雄著 研究社 2007 年 (この本は講義では使いません。図書館で参照。)

- ◆**成績評価基準** 小テスト、試験などによる総合評価。手書きノート検査あり。必ず手書き。テキスト間違いや不携帯は不可。試験はテキストの和訳 (テキスト全体からだ分量が多いので、講義中に指定する限定個所の和訳) と小論文 (和訳がある程度できないと、小論文がいくらできてても不可とする)。試験用紙裏面すべてに小論文を当てる。1,000 字以上書くこと。試験時間は 100 分ほどの予定。小論文タイトルは「ボウとホーソンのふたりの特徴と作品を論じる」。この 2 作家以外のことを書いてはいけない。書き方として全体論でも作品論でもよい。全体論は上の参考書の『アメリカ小説入門』にあるような 2 作家の全体的特徴と複数の代表作の説明を 1,000 字以上使い、浅く広く書くものである。作品論は二人の作品からひとつずつ選び (短編でも長編でもよい)、例えばボウの短編『ウィリアム・ウィルソン』とホーソンの『緋文字』の 2 冊に集中して深く論ずるものである (500 字以上ずつ合計 1,000 字以上)。どちらの論じ方でもよい。事前にまとめておくこと。辞書やノートなどの持ち込みなし。2 作家の作品名や登場人物名は日本語でよい。作品名はヒントとして試験の問題文に印刷しておく。皆出席すること。

- ◆**授業相談 (連絡先)** : fra3in5@yahoo.co.jp

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例: 「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
 ※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語学特殊講義〕

吉良 文孝

- ◆**授業概要** 「時制」(Tense) に関する基礎的な知識を身につけ、そこからさらに一步踏み込んだ内容を、具体的な例、そして日本語との比較対照を織り交ぜながら講じます。本講座での講義内容全般を通して、ことばの世界に存在する大原則、すなわち、Bolinger のいう「意味と形（現形式）の一対一の対応関係」を実感することとなります。
- ◆**学修到達目標** 英語学の専攻学生が当然身につけていなければならない「時制」、ならびにその関連領域についての素養・知識を学修するとともに、英語の文献をしっかりと読みこなす力を養成すること、それを本講座の学習到達目標とします。
- ◆**授業方法** 講義形式ですが、「時制」に関連する重要な論文・著書の原書（の一部）を演習形式で受講者の皆さんも読むことになります。
- ◆**授業計画**〔各 90 分〕

1 回	授業内容 授業の進め方・オリエンテーション。 事前学修 教科書の「はしがき」に記した「ことばの世界の大原則」について、その意味するところは何かを具体的に考えておくこと。 事後学修 講義内容を整理し、「意味と形の一対一の対応関係」の意味合いについて理解する。
2 回	授業内容 「時制」(Tense) とは何かを論じます。 事前学修 教科書の第 1 章（2 頁から 11 頁まで）を熟読しておくこと。 事後学修 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
3 回	授業内容 「時」(Time) と「時制」の違いについて講じます。 事前学修 教科書の第 1 章（2 頁から 11 頁まで）を熟読しておくこと。 事後学修 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
4 回	授業内容 「時制」と「相」(Aspect) の関係を論じます。 事前学修 教科書の第 1 章（2 頁から 11 頁まで）を熟読しておくこと。 事後学修 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
5 回	授業内容 Quirk et al. (1985) の講読（その 1）。「時制」と「時」（の 3 区分）の関係性について既修の講義内容を再確認します。 事前学修 配付資料（Quirk et al. (1985)）の徹底した予習をしておくこと。 事後学修 記述内容の整理・再確認。
6 回	授業内容 Quirk et al. (1985) の講読（その 2）。文法（grammar）の立場から見た「時制」と「時」の関係性について既修の講義内容を再確認します。 事前学修 配付資料（Quirk et al. (1985)）の徹底した予習をしておくこと。 事後学修 記述内容の整理・再確認。
7 回	授業内容 単純現在時制の意味機能について、「モダリティ」(Modality) の立場から論じます。 事前学修 教科書の第 2 章（12 頁から 20 頁まで）を熟読しておくこと。 事後学修 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
8 回	授業内容 「モダリティの 3 要件」について論じます。 事前学修 教科書の 23 頁を熟読し、その意味合いについて考えておくこと。 事後学修 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
9 回	授業内容 単純現在時制の意味機能（その 1：「現在の状態・状況」、「現在の習慣的動作」、「不変の真理」、「手順の説明」）について論じます。 事前学修 教科書の 25 頁から 39 頁までを熟読しておくこと。 事後学修 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
10 回	授業内容 単純現在時制の意味機能（その 2：「逐行文」、「劇的現在」、「新聞の見出しなど」、「伝達動詞・認識動詞など」、「スポーツの実況」、「Here/There で始まる文（瞬時的出現構文）」）について論じます。 事前学修 教科書の 40 頁から 55 頁までを熟読しておくこと。 事後学修 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
11 回	授業内容 単純現在時制の意味機能（その 3：「条件文条件節における認識的 will と非モーダル文」の違い（先行研究））について論じます。 事前学修 教科書の 60 頁から 66 頁までを熟読しておくこと。 事後学修 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
12 回	授業内容 単純現在時制の意味機能（その 4：「条件文条件節における認識的 will と非モーダル文」の違い（私見））について論じます。 事前学修 教科書の 66 頁から 83 頁までを熟読しておくこと。 事後学修 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
13 回	授業内容 単純現在時制の意味機能（その 5：「条件文帰結節における will と be going to」の違い（時間の不可逆性））について論じます。 事前学修 教科書の 84 頁から 90 頁までを熟読しておくこと。 事後学修 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
14 回	授業内容 単純現在時制の意味機能（その 6：「条件文帰結節における will と be going to」の違い（「既知性」と語用論的条件文））について論じます。 事前学修 教科書の 91 頁から 100 頁までを熟読しておくこと。 事後学修 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
15 回	授業内容 試験、およびその解説。 事前学修 講義内容全体を整理・暗記し、試験に備える。 事後学修 試験解説による自身の学修度の再確認。

- ◆**教科書** 丸沼『ことばを彩る 1 テンス・アスペクト』吉良文孝著 研究社 3,024 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**参考書** 丸沼『英文法解説（改訂 3 版）』江川泰一郎著 金子書房 1,836 円（税込）（送料 500 円）
- ◆**成績評価基準** 試験（80%）、授業参画度（20%）により総合的に判断します。
- ◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に案内します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語学演習D〕

山岡 洋

◆**授業概要** 日本語で書かれた教科書を用いながら、日本語と英語の音声的・音韻的な違いを学んでいく。比較の仕方は、その単位の小さい方から大きい方へと話が流れていき、言い換えるとミクロの世界からマクロの世界へと話が流れていく。具体的には音素・音節・アクセント・リズム・イントネーションの潤に説明をしていく。

◆**学修到達目標** 英語学の一分野としての英語音声学と英語音韻論がどのような学問分野であるかを学んだ上で、英語と日本語の音声がかどのような点で異なり、どのような点で共通しているかを学ぶ。具体的には、最初に音声学と音韻論の違いを学び、その後で、単位の細かい順に、音素・音節・アクセント・リズム・イントネーションについて学び、英語の発音や聴き取りの際に英語的な感覚を理解できるようにする。

◆**授業方法** 原則として、教員側からの講義の形式で行っていく。但し、教員側からできるだけ頻りに学生側に対して疑問を投げ掛け、極力「双方向的な」授業にしていく。予めテキストには目を通しておくこと。なお、理論と実践の橋渡しとして、初日の最後の時間と2日目の最後の時間には、英語の歌の聴き取り練習を行う予定である。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容: Course Introduction: Language and a Language 事前学修: 「言語とは何か」という問に対する答を自分なりに考えておくこと。 事後学修: 「言語とは何か」という問に対する答を、配付される資料に挙げてある文献で確認する。
2回	授業内容: Course Introduction: Linguistics: the Scientific Study of Language 事前学修: 初回授業で配付される関連資料に目を通しておく。 事後学修: 授業中にとったノートを、初回授業で配付される関連資料を見ながら再確認する。
3回	授業内容: 音声学と音韻論 事前学修: 教科書 pp. 1-8 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 1-8 を見ながら再確認する。
4回	授業内容: 音声産出の仕組み 事前学修: 教科書 pp. 11-15 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 11-15 を見ながら再確認する。
5回	授業内容: 母音と子音 事前学修: 教科書 pp. 15-26 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 15-26 を見ながら再確認する。
6回	授業内容: 音素・音声素性 事前学修: 教科書 pp. 31-44 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 31-44 を見ながら再確認する。
7回	授業内容: 音節とモーラ、開音節言語と閉音節言語 事前学修: 教科書 pp. 47-58 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 47-58 を見ながら再確認する。
8回	授業内容: 聞こえ度・成節子音・音節量 事前学修: 教科書 pp. 58-70 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 58-70 を見ながら再確認する。
9回	授業内容: 語アクセント 事前学修: 教科書 pp. 75-118 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 75-118 を見ながら再確認する。
10回	授業内容: 文アクセント 事前学修: 教科書 pp. 121-134 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 121-134 を見ながら再確認する。
11回	授業内容: リズム 事前学修: 教科書 pp. 134-138 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 134-138 を見ながら再確認する。
12回	授業内容: イントネーション 事前学修: 教科書 pp. 138-149 を読んでおく。 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 138-149 を見ながら再確認する。
13回	授業内容: 理解度確認 事前学修: これまでの授業の内容を改めて見直し、特に日英語の共通点・相違点を確認する。 事後学修: 最終試験に備えて、持ち込む参考資料の整理を行う。
14回	授業内容: 最終試験とその解説 事前学修: 最終試験に備えて、持ち込む参考資料のどこに何が書いてあるのかの確認をする。 事後学修: 自分の試験の答案を確認し、教科書の該当箇所と照合する。
15回	授業内容: 最終試験の解説 事前学修: 自分の試験の答案を確認し、教科書の該当箇所と照合する。 事後学修: 授業内容を確認して、自分の音声学・音韻論に関する理解が適切かどうかを再確認する。

◆**教科書** 丸沼『音声学・音韻論』日英語対照による英語学演習シリーズ1 窪園晴夫 くろしお出版 2,160円(税込)(送料300円)
〔当日資料配布〕初日に資料を配付します。

◆**参考書** 『英語の発音と英詩の韻律』英語学入門講座7 窪園晴夫・溝越彰 英潮社
〈上記の本は絶版のため、図書館等を利用してください〉
丸沼『現代の英語音声学』佐藤寧・佐藤努 金星堂 2,592円(税込)(送料300円)
丸沼『音韻構造とアクセント』窪園晴夫・太田聡 研究社 2,592円(税込)(送料300円)

◆**成績評価基準** 授業参加度(20%)、最終試験(80%)

◆**授業相談(連絡先)** : yamaokah@obirin.ac.jp

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

〔異文化間コミュニケーション概論〕

大庭 香江

- ◆**授業概要** 1. テキストで異文化間コミュニケーションについての解説を読み、例題を通して問題を掘り下げます。
2. 英語論文を読み、異文化間コミュニケーションの実際について考察を行います。
3. 日本とそれ以外の国についてディスカッションを行います。

- ◆**学修到達目標** 異文化間コミュニケーションとは文化的背景の異なる人同士のコミュニケーションですが、国籍の同じ日本人同士でも文化的背景が一緒であるとは限りません。出身地、男女、世代によっても文化的背景は異なります。私たちは日常的にも異文化間コミュニケーションを経験しているのです。

本授業では、異文化間コミュニケーションについて述べられた英語論文や、エクササイズを通して、英語が使われている国や地域の文化を理解し、多様な文化的背景を持った人々との交流を通しての文化の多様性及び異文化交流の意義について考え、異文化間コミュニケーションの現状と課題を学び、実践していきます。

また、SNS を利用した異文化交流を行い、日本大学に在籍している留学生と日本とそれ以外の国の文化についてのディスカッションする機会を設けます。

- ◆**授業方法** テキストの解説と、アクティビティを行います。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: 異文化間コミュニケーションとは何かについての考察 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
2 回	授業内容: コミュニケーションの定義 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
3 回	授業内容: ステレオタイプ 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
4 回	授業内容: 言語コミュニケーション 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
5 回	授業内容: 非言語コミュニケーション 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
6 回	授業内容: ジェスチャー 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
7 回	授業内容: 時間の感覚 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修:
8 回	授業内容: 空間の感覚 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
9 回	授業内容: コミュニケーションスタイルとスキルの分析 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
10 回	授業内容: 双方向コミュニケーション 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
11 回	授業内容: アサーティブ・コミュニケーション 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
12 回	授業内容: 異文化間コミュニケーション・シミュレーションの実践 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
13 回	授業内容: 日本文化を紹介する：SNS を利用した異文化交流 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
14 回	授業内容: 日本とそれ以外の国における文化的行動規範の違いについて：日本大学に在籍している留学生とのディスカッション 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる
15 回	授業内容: 英語圏の文化についての考察 まとめ、及び試験 事前学修: テキストを予習し、提起された問題について、考えをまとめる 事後学修: 考察をレポートにまとめる

- ◆**教科書** 関沼『異文化コミュニケーション・ワークブック』 八代京子著 三修社 3,024 円（税込）（送料 300 円）
プリント教材（英文）

- ◆**参考書** 特になし。

- ◆**成績評価基準** 試験、レポート、及び、授業参画度。

- ◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に案内します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔宗教学基礎講読〕

富田 真浩

◆**授業概要** エリアーデは、宗教を客観的な現象として捉える宗教現象学の代表的な学者である。彼は、諸宗教の構成要素を過度に一般化するために、ピックアップする箇所を恣意的に限定していたとの批判もあるが、宗教学に大きな影響を与えた人物でもある。客観的に宗教を捉えようとしたエリアーデの著作から、インドの思想を学び、宗教学的な視点を理解する。そのため、関連する内容を図書館などで自ら事前・事後に調べることを望む。

◆**学修到達目標** 宗教学・宗教史学の基本テキストとなるエリアーデの著作『世界宗教史』を講読し、この著作から見える「西洋人からみたインド」を学ぶことで、宗教学の基本的な視点について学ぶとともに、自らのインドに対する印象とエリアーデのインドに対する印象を比較することで、より客観的な宗教学的な視点と知識を獲得することができるようにする。

◆**授業方法** テキストの該当箇所を少しずつ輪読し、解説を加えていく形式をとる。また、初日の終わりと2日目の終わりにその日のテーマに関するリアクション・ペーパーの提出を求める。

◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: 「すべては苦なり……」 まず、本授業の進め方を説明します。その後、バラモン教とヒンドゥー教について、 最初期の哲学と救済の技法 についての講読をする。 事前学修: テキスト 62～65 頁をあらかじめ、熟読しておくこと。 事後学修: 授業の内容を整理しておくこと。
2回	授業内容: 至上の「覚醒」への方法、思想の歴史と文献の年代 インド思想における救済とはなにか、インド思想の成立年代について講読する。 事前学修: テキスト 65～69 頁をあらかじめ、熟読しておくこと。 事後学修: 授業の内容を整理しておくこと。
3回	授業内容: 体系化以前のヴェーダンタ、サーンキャ・ヨーガ学派における精神 ヒンドゥー教の思想・精神について講読する。 事前学修: テキスト 69～72 頁をあらかじめ、熟読しておくこと。 事後学修: 授業の内容を整理しておくこと。
4回	授業内容: 創造の意味、解脱の意味 インドの宗教の目的である解脱について講読する。 事前学修: テキスト 76～84 頁をあらかじめ、熟読しておくこと。 事後学修: 授業の内容を整理しておくこと。
5回	授業内容: ヨーガ、ヨーガの技法 インドの宗教の目的である解脱と大いにかかわりのあるヨーガについて講読する。その後、 リアクションペーパーの提出 を求める。 事前学修: テキスト 84～92 頁をあらかじめ、熟読しておくこと。 事後学修: 授業の内容を整理しておくこと。
6回	授業内容: 神の役割、サマーディと「奇蹟の力」 インドの神と瞑想について講読する。 事前学修: テキスト 92～97 頁をあらかじめ、熟読しておくこと。 事後学修: 授業の内容を整理しておくこと。
7回	授業内容: 最終的な解脱、王子シッダールタ ヒンドゥー教の最終的な解脱について、そして仏陀とその時代について講読する。 事前学修: テキスト 98～105 頁をあらかじめ、熟読しておくこと。 事後学修: 授業の内容を整理しておくこと。
8回	授業内容: 大いなる遁世、「覚り」、法 についての教え 仏教の開祖シッダールタの出家後の修行と覚りについて講読する。 事前学修: テキスト 105～111 頁をあらかじめ、熟読しておくこと。 事後学修: 授業の内容を整理しておくこと。
9回	授業内容: デーヴァダッタの分派、最後の回心、仏陀の入滅、宗教的環境 シッダールタの入滅や布教をした時代背景などについて講読する。 事前学修: テキスト 111～118 頁をあらかじめ、熟読しておくこと。 事後学修: 授業の内容を整理しておくこと。
10回	授業内容: マハーヴィーラと「救世主」、ジャイナ教の教義と実践 ジャイナ教の基礎的な内容について講読する。その後、 リアクションペーパーの提出 を求める。 事前学修: テキスト 118～124 頁をあらかじめ、熟読しておくこと。 事後学修: 授業の内容を整理しておくこと。
11回	授業内容: アーージーヴィカと全能なる「運命」、毒矢に刺された男…… 仏陀のライバルとなったゴースーラの教えと、 仏陀のメッセージとして毒矢の喩え について講読する。 事前学修: テキスト 124～130 頁をあらかじめ、熟読しておくこと。 事後学修: 授業の内容を整理しておくこと。
12回	授業内容: 四諦と中道、万物の非永遠性とアナッタの理論 仏教の核心となる教説である四諦とは中道、そして無我の理論について講読する。 事前学修: テキスト 131～138 頁をあらかじめ、熟読しておくこと。 事後学修: 授業の内容を整理しておくこと。
13回	授業内容: 涅槃への道、瞑想の技法と「知恵」 によるその照明 仏教の目的である涅槃と瞑想の技法について講読する。 事前学修: テキスト 131～146 頁をあらかじめ、熟読しておくこと。 事後学修: 授業の内容を整理しておくこと。
14回	授業内容: 「限定されないもの」の逆説 事前学修: テキスト 146～148 頁をあらかじめ、熟読しておくこと。 事後学修: 授業の内容を整理しておくこと。
15回	授業内容: これまでのまとめと授業内試験 事前学修: テキスト 62～148 頁をあらかじめ、熟読しておくこと。 事後学修: 試験も含め、授業全体の内容を整理しておくこと。

◆**教科書** 丸函『世界宗教史3 ゴータマ・ブッダからキリスト教の興隆まで (上)』ミルチア・エリアーデ著 島田裕巳訳 ちくま学芸文庫 1,836 円 (税込) (送料 300 円)

◆**参考書** 通材『宗教学基礎講読 P30100』通信教育教材 (教材コード 000044) 2,950 円 (送料込)
(この教材は市販の『世界の宗教』岸本英夫編 (原書房) と同一です。)

◆**成績評価基準** 初日と2日目のリアクション・ペーパー (40%)、最終日の試験 (40%)、授業参画度 (20%)
授業前後と授業の合間の休憩時間に質問を受け付けます。

◆**授業相談 (連絡先)**: masairo18@yahoo.co.jp

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔倫理学特殊講義〕

金子 佳司

◆**授業概要** 菅豊彦著「アリストテレス『ニコマコス倫理学』を読む」を導きの糸としながら、アリストテレスの『ニコマコス倫理学』で取り上げられている問題を理解すると同時に、それらの問題についてのアリストテレスの見解を検討します。

◆**学修到達目標** 「倫理学」とは英語の ethics の訳語であり、その ethics の語源は古典ギリシア語の ethica（エーチカ）ですが、この言葉を学問の名前として初めて使ったのはアリストテレスです。この授業では、その倫理学の古典中の古典であるアリストテレスの『ニコマコス倫理学』で取り上げられている論点を理解することを目標としています。

◆**授業方法** 授業は講義形式で行ないますが、できるだけ受講生の方々の対話を交えながら進めていきたいと思えます。また、授業中に小テストを行なって、知識の確認をしながら授業を進めていきます。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容	授業の進め方の説明。 アリストテレスと先行思想（1）ノモス（法）対ピュシス（自然）による議論について学ぶ。
	事前学修	教科書 p. i ~ p. x iii, p. 1 ~ p. 10 を読んで、これからの授業全体の概略を理解しておくこと。
	事後学修	ノモス対ピュシスによる議論についての自分の理解を確認すること。
2 回	授業内容	アリストテレスと先行思想（2）アリストテレスはソクラテスの徳の探求についてどう考えたか。
	事前学修	教科書 p. 10 ~ p. 20 を読んでおくこと。
	事後学修	ソクラテスの徳の探求とアリストテレスの思想の関係についての自分の理解を確認すること。
3 回	授業内容	アリストテレスと先行思想（3）アリストテレスはプラトンのイデア論についてどう考えたか。 小テスト①
	事前学修	教科書 p. 21 ~ p. 34 を読んでおくこと。
	事後学修	イデア論に対するアリストテレスの評価についての自分の理解を確認すること。
4 回	授業内容	幸福について（1）幸福が最高に善いものであることを学ぶ。
	事前学修	教科書 p. 35 ~ p. 49 を読んで、幸福とは何かという問題を考えておくこと。
	事後学修	アリストテレスの幸福観についての自分の理解を確認すること。
5 回	授業内容	幸福について（2）「徳に基づく魂の活動」を理解する。 小テスト②
	事前学修	教科書 p. 50 ~ p. 59 を読んでおくこと。
	事後学修	「徳に基づく魂の活動」についての自分の理解を確認すること。
6 回	授業内容	徳について（1）どうすれば徳のある人間になれるのか。
	事前学修	教科書 p. 61 ~ p. 75 を読んで、人間として優れているとはどういうことかを考えておくこと。
	事後学修	アリストテレスの徳論についての自分の理解を確認すること。
7 回	授業内容	徳について（2）性格の徳（立派な性格）とはどういうものか。
	事前学修	教科書 p. 76 ~ p. 82 を読んでおくこと。
	事後学修	アリストテレスの「性格の徳」についての自分の理解を確認すること。
8 回	授業内容	徳について（3）思慮の働きは性格の徳とどのように関わるか。 小テスト③
	事前学修	教科書 p. 1 ~ p. 10 を読んでおくこと。
	事後学修	「性格の徳」についての自分の理解を確認すること。
9 回	授業内容	徳について（4）なぜ自分を抑えることができないこと（無抑制）があるのか。
	事前学修	教科書 p. 1 ~ p. 10 を読んでおくこと。
	事後学修	アリストテレスの「無抑制」についての自分の理解を確認すること。
10 回	授業内容	徳について（5）徳のある人は自分を抑えることができるのか。 小テスト④
	事前学修	教科書 p. 1 ~ p. 10 を読んでおくこと。
	事後学修	徳と抑制の関係についての自分の理解を確認すること。
11 回	授業内容	真の友愛とはどういうものか。
	事前学修	教科書 p. 1 ~ p. 10 を読んで、本当の友情とはどういうものかという問題を考えておくこと。
	事後学修	アリストテレスの友愛論についての自分の理解を確認すること。
12 回	授業内容	観想活動とは何か。
	事前学修	教科書 p. 1 ~ p. 10 を読んでおくこと。
	事後学修	アリストテレスの「観想」についての自分の理解を確認すること。
13 回	授業内容	観想活動（精神活動）は実践活動（行為）とどう関係するのか。 小テスト⑤
	事前学修	教科書 p. 1 ~ p. 10 を読んでおくこと。
	事後学修	観想活動と実践活動の関係についての自分の理解を確認すること。
14 回	授業内容	これまでの授業内容全体のまとめ。
	事前学修	これまでの授業内容全体を見直すこと。
	事後学修	これまでの授業内容の重要な点についての自分の理解を点検すること。
15 回	授業内容	これまでの授業内容の重要な点の理解度の確認（期末試験）。
	事前学修	これまでの授業内容の重要な点を理解すること。
	事後学修	これまでの授業内容の重要な点のうち自分が理解できていなかったところを見直すこと。

◆**教科書** 丸沼『アリストテレス『ニコマコス倫理学』を読む——幸福とは何か』菅豊彦 勁草書房 2,484 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 『ニコマコス倫理学』の原典を入手することが望ましい。入手し易いのは以下。
丸沼『ニコマコス倫理学（上）（下）』渡辺邦夫・立花幸司訳 光文社 古典新訳文庫 各 1,382 円（税込）（送料各 300 円）
丸沼『ニコマコス倫理学』朴一功訳 京都大学学術出版会 西洋古典叢書 5,076 円（税込）（送料 500 円）

◆**成績評価基準** 期末試験 70%、平常点 30%（平常点は授業中に行なう小テスト〔5 回行なう予定〕によって評価します。）詳しくは、1 日目の授業の初めに説明します。

◆**授業相談（連絡先）**：相談は授業が終わってから教室などで（短時間で済む相談なら休み時間にも受け付けます）。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」〔学生番号〕および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔西洋史特講Ⅱ〕

高草木 邦人

◆**授業概要** いまから約100年前の1914年に、ルーマニアでは憲法改正が国会において議論されました。当時のルーマニア憲法は1866年に制定されたので、この議論は制定からおよそ50年という時期に当たりました。そこで、本講義では、憲法改正発議や3つの読会など国会における議論を取り上げ、当該時期の国会議員たちの思想や思考パターンを深く読み解いていきます。改正論者の主張からは、なぜ憲法を改正しなければならないのか、当時の憲法と社会とはどんなずれがあったのかなどを、そして反対論者の主張からは、なぜ改正に反対するのか、当時の憲法を継続する利点は何かなどを明らかにしていきます。

◆**学修到達目標** 講義では、憲法改正をめぐる国会の議論が当時のルーマニアの政界や社会においてどのような意味があったのかも考えます。政党再編、社会問題、国際状況といった時代背景や社会状況をふまえると、国会議員たちの言説には、状況をふまえての発言もあれば、社会との齟齬もみえてきます。このように、テキストの分析、さらにその言説と社会状況との関連付けを学修することで、受講生は史料に書かれた言葉の分析だけでなく、その史料の意義づけについても学び、自身の研究テーマに応用する能力を身に付けます。

◆**授業方法** 当日に配布するプリントや映像資料などを利用しながら、基本的に講義形式をとりますが、1日目と2日目の最後に授業内レポートを行う予定です。また、必要に応じて映像教材・視聴覚資料も利用しながら、授業をおこないます。なお、受講者の人数とその理解度に応じて、下記の授業計画を若干変更することがあります。

◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：ルーマニア近現代史の概説① ルーマニア王国成立まで 事前学修：高等学校の世界史の教科書を復習しておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
2回	授業内容：ルーマニア近現代史の概説② 20世紀転換期ルーマニアの憲法と国会の特徴 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
3回	授業内容：ルーマニア近現代史の概説③ 20世紀転換期ルーマニアの社会問題 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
4回	授業内容：与党自由党による憲法改正の発議を検討 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
5回	授業内容：憲法改正の発議に対する野党（保守党・保守民主党・民族民主党など）の主張・反論を検討 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
6回	授業内容：第1読会における与党自由党の主張・答弁を検討 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
7回	授業内容：第1読会における野党（保守党・保守民主党・民族民主党など）の主張・反論を検討 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
8回	授業内容：第1回の改正に関する採決を検討します。 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
9回	授業内容：第2読会における与党自由党の主張・答弁を検討 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
10回	授業内容：第2読会における野党（保守党・保守民主党・民族民主党など）の主張・反論を検討 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
11回	授業内容：第2回の改正に関する採決を検討します。 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
12回	授業内容：第3読会における与党自由党の主張・答弁を検討 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
13回	授業内容：第3読会における野党（保守党・保守民主党・民族民主党など）の主張・反論を検討 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
14回	授業内容：第3回の改正に関する採決を検討します。 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
15回	授業内容：試験と解説 事前学修：本講義で配布したプリント・資料などを使い、講義全体を復習しておくこと 事後学修：本講義の内容を確認・理解して、自身の研究テーマの史料を読解すること

◆**教科書** 〔当日資料配布〕 当日プリントを配布します。

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 成績の評価基準は、平常点（50%）、試験（50%）です。平常点は第1日目と第2日目の授業の最後に行うレポートや授業態度などをもとに評価します。なお、毎回出席していることを前提として評価します。

◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に案内します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔考古学演習Ⅰ・Ⅱ〕

山本 孝文

◆**授業概要** 考古学の研究における基本情報の資料収集および公開資料である発掘調査とデータ作成（報告書作成）の基礎的な方法を学ぶ。考古学の資料の大部分は遺跡から出土した遺構や遺物であるが、それが研究に供されるためには特定の記録化作業が必要である。本講義では考古学研究に必要な文献の種類や収集法、発掘調査・整理作業の概要を学び、遺跡発掘調査報告書とはどのようなものかを理解し、実際に簡易実測を通じてその方法を習得する。

◆**学修到達目標** 1. 考古学の基礎文献により各時代の概要や研究を理解できるようにする。
2. 考古学の基礎作業であるフィールドワークや遺物の整理作業の種類と過程を理解できるようにする。
3. 発掘調査報告書の読み方・利用のしかたがわかり、その中に含まれる実測図を読みとってそこから実際の遺構・遺物の姿を復元できるようにする。また、実測図の基礎的な描き方を理解し、簡易図が描けるようにする。

◆**授業方法** 前半は発掘調査および遺物整理作業に関する解説や文献収集の方法、文献の種類や解説を講義形式で行う。また受講生各自が調べた文献から各時代の遺跡の概要や研究をまとめて発表する。後半は発掘調査報告書の構成や読み方を解説し、遺物の実測の方法を指導する。また、実際に報告書に掲載された図面を模写することからはじめ、各自が選定した器物を簡易実測する。

◆**履修条件** 実測道具として 2H 鉛筆（鉛筆削り）ないしシャープペン、消しゴム、15cm ものさし、三角定規、コンパスを各自準備し、実測のための小型器物としてご飯茶碗・碗・湯のみ・猪口などのうち一つを準備すること。
履修期間中の授業終了後、文献検索などのため自宅などでインターネットを利用できること。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 ガイダンス：考古学とはどのような学問か ます考古学の学問としての基礎的な概要を説明する。その上で考古学にとって資料のデータ化とその活用がいかに重要か説明する。 事前学修 考古学に関連する概説書を事前に読んでおく。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、読み直して理解できるようにする。
2 回	授業内容 考古学で論文を書くための前提 考古学論文の基礎的な構成などを説明し、書誌情報の提示のしかたなどを紹介する。 事前学修 論文の書き方に関する書籍などを読む。 事後学修 自分が書こうとしているテーマで論文のアウトラインを作ってみる。
3 回	授業内容 考古学における基礎資料の種類 考古学の研究・論文作成に用いられる文献の種類を紹介し、それぞれの特性や利用のしかたを説明する。 事前学修 関心テーマに関する書籍・論文を探してみる。 事後学修 実際に自分の関心テーマの基礎資料を探してみる。
4 回	授業内容 考古学基礎文献の探し方 考古学関連の文献をどのように探すか、またどこに行けば目的の文献を開覧することができるかを説明する。 事前学修 関心テーマに関する書籍・論文を探してみる。 事後学修 実際に自分の関心テーマの基礎資料を探してみる。
5 回	授業内容 考古学における研究史のまとめ方 収集した各テーマの学術論文を読み、それをまとめる方法を事例を挙げながら説明する。 事前学修 前回学習した文献検索方法で学術誌掲載の論文を検索してみる。 事後学修 関心テーマの研究論文をリストアップしてみる。
6 回	授業内容 調べた文献と内容の発表 各受講生が調べてまとめた概要と、各テーマの問題点を発表する。 事前学修 検索した文献と内容をまとめておく。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、読み直して理解できるようにする。
7 回	授業内容 考古学における調査とは①：地表調査とトレンチ調査 考古学の調査の種類と、地表調査・トレンチ調査の意義と方法を説明する。 事前学修 自身が居住する地域（市区町村）にある遺跡の情報を調べておく。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、読み直して理解できるようにする。
8 回	授業内容 考古学における調査とは②：発掘調査 遺跡の種類とそれに応じた発掘調査の方法を説明する。 事前学修 自身が居住する地域（市区町村）にある遺跡の情報を調べておく。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、読み直して理解できるようにする。
9 回	授業内容 出土遺物の資料化：遺跡発掘調査報告書作成のための整理作業 出土遺物の整理の手順と各工程の意味、報告書作成の意義について説明する。 事前学修 自身が居住する地域（市区町村）にある博物館・資料館の情報を調べておく。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、読み直して理解できるようにする。
10 回	授業内容 遺跡発掘調査報告書に記録された図面の見方 発掘調査報告書に掲載されている様々な種類の遺構・遺物の図面を見、そこからどのような情報を読み取るかについて説明する。 事前学修 配布された調査報告書の実測図をよく見ておく。 事後学修 配布された調査報告書の実測図の解説文を作ってみる。
11 回	授業内容 遺跡発掘調査報告書に記録された文章の読み方 遺構・遺物の図面に付された説明文を読み、資料の特性を読み取る方法を解説する。受講生各自が図面を見てその内容を文章化する。 事前学修 配布された調査報告書の実測図をよく見ておく。 事後学修 配布された調査報告書の実測図の解説文を作ってみる。
12 回	授業内容 実測の原理と方法① 遺構の実測 実測の原理と方法を説明し、受講生各自が簡易実測を実践する。 事前学修 実測対象を選定し、準備しておく。 事後学修 実測図を作成する。
13 回	授業内容 実測の原理と方法② 遺物の実測 実測の原理と方法を説明し、受講生各自が簡易実測を実践する。 事前学修 実測対象を選定し、準備しておく。 事後学修 実測図を仕上げる。
14 回	授業内容 実測調査の実践と発表① 各自が実測した図面をもとに、添削と評価を行う。 事前学修 簡易実測図を仕上げておく。 事後学修 実測図を仕上げる。
15 回	授業内容 実測調査の実践と発表② 各自が実測した図面をもとに、添削と評価を行う。 事前学修 簡易実測図を仕上げておくこと。 事後学修 実測図を仕上げる。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕

◆**参考書** 〔丸沼〕『考古学の方法 調査と分析』藤本強著 東京大学出版会 2000 年 2,916 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 授業内課題（40%）、授業外課題（10%）、リアクションペーパー（10%）、発表・授業参画度（40%）などによって総合的に評価する。

◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に案内する。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔経済史総論〕

飯島 正義

- ◆**授業概要** 大航海時代の幕開けから絶対王政の成立、さらに市民革命に至る16世紀から18世紀にかけての西ヨーロッパの政治・経済の変化について学んでいきます。
- ◆**学修到達目標** 1. 大航海時代以降の西ヨーロッパの経済がどのように変化していったのかを説明できるようになる。
2. 絶対王政、市民革命の意義について説明できるようになる。
- ◆**授業方法** 講義形式。当日配布するプリント資料を中心に進めていくが、各内容の切れ目の時点で内容のポイントを提示するとともに、確認プリントを実施しその提出を求める。
- ◆**履修条件** 平成30年度東京スクーリング（6月期）「経済史総論」との積み重ね不可。
- ◆**授業計画（各90分）**

1回	授業内容：経済史で何を学ぶのか。 事前学修：シラバスで全体の授業内容を確認しておく。 事後学修：配布プリントの見直しと教材・参考図書等で授業内容の理解を深める。
2回	授業内容：西欧の封建制社会の構造 事前学修：配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：西欧の封建制社会の特徴と構造についてまとめておく。
3回	授業内容：西欧の中世における商業と農村工業 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：中世西欧における商業の発展と農村工業の状況についてまとめておく。
4回	授業内容：大航海時代とアジア 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：16世紀から18世紀までのヨーロッパとアジアとの貿易について整理しまとめておく。
5回	授業内容：大航海時代とアメリカ 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：16世紀から18世紀までのヨーロッパとアメリカとの貿易について整理しまとめておく。
6回	授業内容：世界市場の拡大と農村工業の発展 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：世界市場の拡大による農村工業の発展についてまとめておく。
7回	授業内容：プロト工業化とその挫折 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：農村工業の発展は地域によって異なったが、その要因を整理しまとめておく。
8回	授業内容：絶対王政の成立 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：絶対王政の成立事情についてまとめておく。
9回	授業内容：絶対王政の経済政策 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：絶対王政の経済政策（重商主義政策）の内容についてまとめておく。
10回	授業内容：市民革命の意義 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：市民革命の経済的課題を整理しまとめておく。
11回	授業内容：イギリス・フランスの市民革命 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：イギリスとフランスの市民革命の過程と課題の違いについてまとめておく。
12回	授業内容：資本制生産の発展段階（1）小営業段階・マニュファクチュア段階 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：小営業段階とマニュファクチュア段階の違い、マニュファクチュア段階の限界についてまとめておく。
13回	授業内容：資本制生産の発展段階（2）機械制大工業 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：機械制大工業と小営業段階・マニュファクチュア段階の違いについてまとめておく。
14回	授業内容：産業革命の意義 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：産業革命の意義についてまとめておく。
15回	授業内容：試験及び解説 事前学修：これまでの各内容のポイントをまとめた文章を再確認しておく。 事後学修：設題に対して、重要事項を落とさず論理的な記述ができたかどうかを確認する。

- ◆**教科書** [当日資料配布] 授業時にプリント資料を配布します。
- ◆**参考書** [教材] 『経済史総論 R20200』 通信教育教材（教材コード000161）3,300円（送料込）
[丸沼] 『エレメンタル欧米経済史』 馬場哲他著 晃洋書房 2012年 3,024円（税込）（送料350円）
- ◆**成績評価基準** 確認プリントの提出（40%）、試験（60%）
- ◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に案内します。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔経済政策総論 / 経済政策〕

周藤 利一

- ◆**授業概要** 現在の日本における公共経済政策の重要な課題に対して、どのような政策認識がなされ、政策の立案、形成、決定過程を経て、どのように実施され、その効果はどのようなものであったかを実証的に分析し、評価することにより、日本の経済政策の現状と課題、今後のあるべき方向を理解することを目標とします。
- ◆**学修到達目標** 現在の日本における公共経済政策の重要な課題の背景と現状を理解し、説明できることを目標とします。各政策課題に対し立案、決定、実施された制様の内容とその効果について説明できることを目標とします。日本の経済政策の現状と課題、今後のあるべき方向を理解、説明できることを目標とします。
- ◆**授業方法** 講義形式で行います。経済政策の意義、経済体制の選択、経済の成長と安定、国際収支と対外関係等の基礎的理論を理解するとともに、金融政策、財政政策、租税政策、産業政策、貿易政策、企業政策、雇用・労働政策、社会保障政策等の主要な経済政策の内容を学びます。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：経済政策序論：経済政策の意義、財の性質、経済主体、資源の配分と所得の分配など 事前学修：新聞やインターネットなどで関連情報を読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を配布資料やノートで再確認し、自分の理解度を確認しておくこと。
2 回	授業内容：国民経済論・経済成長論：国民経済の意義と原理、生産・支出・所得の計測方法など 事前学修：新聞やインターネットなどで関連情報を読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を配布資料やノートで再確認し、自分の理解度を確認しておくこと。
3 回	授業内容：国際収支と対外関係：国際収支の構造、外国為替市場と為替レートなど 事前学修：新聞やインターネットなどで関連情報を読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を配布資料やノートで再確認し、自分の理解度を確認しておくこと。
4 回	授業内容：金融政策論①：管理通貨制度、金融システムの意義、マネーサプライなど 事前学修：新聞やインターネットなどで関連情報を読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を配布資料やノートで再確認し、自分の理解度を確認しておくこと。
5 回	授業内容：金融政策論②：金融政策の限界、資産価格の安定化、金融の異次元緩和など 事前学修：新聞やインターネットなどで関連情報を読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を配布資料やノートで再確認し、自分の理解度を確認しておくこと。
6 回	授業内容：財政政策論①：財政制度の意義、国の財政の構造、財政投融資など 事前学修：新聞やインターネットなどで関連情報を読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を配布資料やノートで再確認し、自分の理解度を確認しておくこと。
7 回	授業内容：財政政策論②：裁量的財政政策、減税政策、日本の財政赤字、財政再建など 事前学修：新聞やインターネットなどで関連情報を読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を配布資料やノートで再確認し、自分の理解度を確認しておくこと。
8 回	授業内容：租税政策論①：租税の基礎理論、租税の機能と効果、租税の基本原則、租税の分類など 事前学修：新聞やインターネットなどで関連情報を読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を配布資料やノートで再確認し、自分の理解度を確認しておくこと。
9 回	授業内容：租税政策論②：日本の租税の現状、景気対策としての租税、税制の課題など 事前学修：新聞やインターネットなどで関連情報を読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を配布資料やノートで再確認し、自分の理解度を確認しておくこと。
10 回	授業内容：貿易政策論：比較生産費モデル、垂直分業と水平分業、WTO ルール、EPA、TPP 等 事前学修：新聞やインターネットなどで関連情報を読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を配布資料やノートで再確認し、自分の理解度を確認しておくこと。
11 回	授業内容：雇用政策論・労働政策論：労働力及び労働の需要と供給の構造、労働条件の改善など 事前学修：新聞やインターネットなどで関連情報を読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を配布資料やノートで再確認し、自分の理解度を確認しておくこと。
12 回	授業内容：社会保障政策論：私的保障と公的保障、財源の調達、社会保険と公的扶助など 事前学修：新聞やインターネットなどで関連情報を読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を配布資料やノートで再確認し、自分の理解度を確認しておくこと。
13 回	授業内容：社会福祉政策論：社会福祉の供給体制、政府の役割、経済政策と社会政策の関係 事前学修：新聞やインターネットなどで関連情報を読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を配布資料やノートで再確認し、自分の理解度を確認しておくこと。
14 回	授業内容：資源・エネルギー政策論①：世界のエネルギー事情、日本のエネルギー事情、省エネ対策 事前学修：新聞やインターネットなどで関連情報を読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を配布資料やノートで再確認し、自分の理解度を確認しておくこと。
15 回	授業内容：資源・エネルギー政策論：再生エネルギー、福島原発事故以後のエネルギー政策など 事前学修：新聞やインターネットなどで関連情報を読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を配布資料やノートで再確認し、自分の理解度を確認しておくこと。

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕教科書の指定はありません。当日、資料を配布します。
- ◆**参考書** 講義で紹介します。
- ◆**成績評価基準** 試験 70%、平常点 30%
- ◆**授業相談（連絡先）**：suto@meikai.ac.jp

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国際金融論〕

谷川 孝美

◆**授業概要** 国際収支や為替レートの変化が日々ニュースになっています。この講義では、国際的な金融取引が行われる国際金融市場、外国為替市場などの基礎的概念、外国為替レート決定理論や国際資本移動とマクロ経済の関係を示すマンデル・フレミング・モデルなどを中心に学び・理解することを通じて、国際金融の諸問題を考える上での基礎を養うことを目的とします。

◆**学修到達目標** 本講義では、国際金融における基礎および基礎理論への理解を目指し、具体的には以下のことを目標とする。

1. 国際金融市場、外国為替取引などの国際金融の基礎を理解し、説明できるようになる。
2. 外国為替レートの決定理論を理解し、説明できるようになる。
3. 国際資本移動とマクロ経済の関係による国際金融におけるトリレンマ問題を理解し、説明できるようになる。

◆**授業方法** 授業計画にそって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では、基礎的な概念や理論について平易な解説をする予定です。授業計画は開講日数で分割しますが進行状況によって前後することもあります。また、国際金融の歴史や制度の詳細は取り扱いません。

◆**授業計画（各90分）**

1回	授業内容：授業の進め方・オリエンテーション・国際金融論の対象と課題 事前学修：テキストの「はしがき」をよく読むこと。 事後学修：授業内で用いられた専門用語や説明を確認し、理解すること。
2回	授業内容：外国為替、外国為替市場と国際決済 事前学修：テキスト第1章をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
3回	授業内容：名目為替レートと実質為替レート 事前学修：テキスト第2章をよく読んでおくこと。また、新聞などで為替レートの変化を調べておくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
4回	授業内容：直物為替レート（対顧客市場における為替レート） 事前学修：テキスト第3章をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。講義時に紹介した資料を調べること。
5回	授業内容：外国為替市場と先物取引 事前学修：テキスト第3章をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
6回	授業内容：オプション・スワップ取引 事前学修：テキスト第3章をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、実際に計算し確認すること。
7回	授業内容：国際収支統計と外国為替レート 事前学修：テキスト第4章をよく読んでおくこと。また、事前に配布する資料を良く確認しておくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、講義時紹介する資料を確認すること。
8回	授業内容：一物一価の法則と購買力平価 事前学修：テキスト第5章第1節をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
9回	授業内容：金利裁定取引と金利平価 事前学修：テキスト第5章第2節をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、実際に計算して確認すること。
10回	授業内容：外国為替レートの決定1（フローアプローチ） 事前学修：テキスト第5章第3節をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
11回	授業内容：外国為替レートの決定2（アセットアプローチ） 事前学修：テキスト第5章第4節をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
12回	授業内容：外国為替レートと開放マクロ経済政策 事前学修：テキスト第6章第1節をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
13回	授業内容：国際金融のトリレンマ問題 事前学修：テキスト第6章第2節をよく読んでおくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
14回	授業内容：理解度の確認 事前学修：配布された資料を熟読し、内容を確認しておくこと。 事後学修：配付資料やテキスト、参考書などで、講義内容をよく確認し理解すること。
15回	授業内容：試験および解説 事前学修：前回の講義時に説明した内容を良く確認し理解しておくこと。 事後学修：今回の授業内容を再確認し、理解を深めること。

◆**教科書** 教材『国際金融論 S31200』通信教育教材（教材コード000432）2,300円（送料込）
事前資料送付・当日資料配布 必要に応じて、事前および当日プリント配布予定

◆**参考書** 丸沼『国際金融のしくみ 第4版』秦忠夫・本田敬吉・西村陽造編 有斐閣（有斐閣アルマ）
2,160円（税込）（送料300円）
丸沼『はじめて学ぶ国際金融論』永易敦・江坂太郎・吉田裕司 有斐閣 1,944円（税込）（送料300円）
丸沼『国際金融論をつかむ』橋本優子・小川英治・熊本方雄 有斐閣 2,376円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、最終試験を中心に、小テストや平常点などにより総合的に評価します。

◆**授業相談（連絡先）**：講義前後10分程度、講師室にて対応します。また、それ以外の時間ではメールにて対応します。
tanikawa.takayoshi@nihon-u.ac.jp

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔社会科・地理歴史科教育法Ⅱ〕

宇内 一文

- ◆**授業概要** 中学校社会科及び高等学校地理歴史科の授業（とくに歴史）の実際について、最新の教育動向を踏まえて学んでいく。中学校・高等学校教員として、自分が授業を担当する際、どのように教材研究をするのか、また生徒に対してどの学習方法をもって授業を展開していくのかについて学習する。実践に必要な知識・指導方法・指導技術について、具体的な討議や様々なグループワーク、模擬授業などを通して身につけることを目標にする。
- ◆**学修到達目標**
 1. 学習指導要領に示された中学校社会科及び高等学校地理歴史科の目標と内容を理解できる。
 2. 社会科・地理歴史科の背景となる学問領域との関係を理解し教材研究に活用できるとともに発展的な学習内容について探究し、それを学習指導に生かすことができる。
 3. 社会科・地理歴史科の基礎的な学習指導理論を理解するとともに、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身につけている。
 4. 社会科・地理歴史科の実践研究の動向を知り、授業設計の向上に主体的に取り組むことができる。
- ◆**授業方法** 授業の前半は社会科・地理歴史科における教育目標、育成を目指す資質・能力などの内容についての社会科教育原理を解説する。後半は社会科・地理歴史科の学習指導と授業設計の方法を修得し、主体的に取り組むことができるようになるために、受講者による模擬授業を行う。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

回数	授業内容
1 回	社会科の学びが変わる：社会科・地理歴史科をめぐる現代的課題 事前学修 指定した学習指導要領をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、授業にかかわる課題に取り組むことを通して、「社会科・地理歴史科をめぐる現代的課題」についての理解を深めていくこと。
2 回	社会科の目標：「公民的資質・能力」主体的に社会に参画する個人として必要な資質・能力の育成 事前学修 前回の授業のノートと配布資料を確認し、指定した箇所をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、授業にかかわる課題に取り組むことを通して、「社会科の目標」についての理解を深めていくこと。
3 回	社会科の内容：「社会的な見方・考え方」を活用した社会科授業の構造化 事前学修 授業の内容をノートと配布資料を確認し、指定した箇所をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、授業にかかわる課題に取り組むことを通して、「社会科の内容」についての理解を深めていくこと。
4 回	社会科の成り立ちとその歩み（1）戦後から 1970 年代半ばまで「経験主義から系統主義へ」 事前学修 前回の授業のノートと配布資料を確認し、指定した箇所をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、授業にかかわる課題に取り組むことを通して、「戦後から 1970 年代半ばまでの社会科の変遷」について「経験主義から系統主義へ」をキーワードにして理解を深めていくこと。
5 回	社会科の成り立ちとその歩み（2）1970 年代後半から現在まで「ゆとり・生きる力」 事前学修 前回の授業のノートと配布資料を確認し、指定した箇所をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、授業にかかわる課題に取り組むことを通して、「1970 年代後半から現在までの社会科の変遷」について「ゆとり・生きる力」をキーワードにして理解を深めていくこと。
6 回	社会科の教育課程：学習指導要領と社会科・地理歴史科のカリキュラム・マネジメント 事前学修 前回の授業のノートと配布資料を確認し、指定した箇所をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、授業にかかわる課題に取り組むことを通して、「社会科の教育課程」について「カリキュラム・マネジメント」をキーワードにして理解を深めていくこと。
7 回	教科書はどのようにつくられているか：学習指導要領と教科書 事前学修 前回の授業のノートと配布資料を確認し、指定した箇所をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、授業にかかわる課題に取り組むことを通して、「学習指導要領と教科書」についての理解を深めていくこと。
8 回	社会科の授業をどうやればいいか（社会科の授業技術）：「どのように学ぶか」と「何ができるようになるか」、新聞・情報機器の活用の仕方・掲示物等の作成 事前学修 前回の授業のノートと配布資料を確認し、指定した箇所をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、授業にかかわる課題に取り組むことを通して、「社会科の授業技術」についての理解を深めていくこと。
9 回	社会科の学習指導と評価：「真正の学び」と「バックワード・デザイン」 事前学修 前回の授業のノートと配布資料を確認し、指定した箇所をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、授業にかかわる課題に取り組むことを通して、「社会科の学習指導と評価」についての理解を深めていくこと。
10 回	授業をデザインしよう：アクティブな社会科授業づくりのための学習指導案の作成方法 事前学修 前回の授業のノートと配布資料を確認し、指定した箇所をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、授業にかかわる課題に取り組むことを通して、「アクティブな社会科授業づくりのための学習指導案の作成方法」についての理解を深めていくこと。
11 回	歴史的分野（日本史）の教材研究・授業・実践例（1）近代以前（古代）の日本の歴史／学習指導案の作成 事前学修 中学校社会科歴史的分野の目標（3）をねらいとした、「B 近世までの日本とアジア（1）古代までの日本 アー（イ）日本列島における国家形成」の内容に関する授業計画を構想し、その第 1 時限目の〔学習指導案〕と〔板書案〕を作成すること。 事後学修 PDCA サイクルにもとづく学習指導案および模擬授業の振り返り（1）
12 回	歴史的分野（日本史）の教材研究・授業・実践例（2）近現代の日本の歴史／模擬授業 事前学修 中学校社会科歴史的分野の目標（1）をねらいとした、「C 近現代の日本と世界（1）近代の日本と世界 アー（カ）第二次世界大戦と人類への惨禍」の内容に関する授業計画を構想し、その最終時限（まとめの 1 時間）の〔学習指導案〕と〔板書案〕を作成すること。 事後学修 PDCA サイクルにもとづく学習指導案および模擬授業の振り返り（2）
13 回	歴史的分野（世界史）の教材研究・授業・実践例（1）近代以前の世界の歴史／学習指導案の作成 事前学修 中学校社会科歴史的分野の目標（2）をねらいとした、「B 近世までの日本とアジア（1）古代までの日本 アー（ア）世界の古代文明や宗教のおこり」の内容に関する授業計画を構想し、その第 1 時限目の〔学習指導案〕と〔板書案〕を作成すること。 事後学修 PDCA サイクルにもとづく学習指導案および模擬授業の振り返り（3）
14 回	歴史的分野（世界史）の教材研究・授業・実践例（2）近現代の世界の歴史／模擬授業 事前学修 中学校社会科歴史的分野の目標（3）をねらいとした、「C 近現代の日本と世界（1）近代の日本と世界 アー（ア）欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き」の内容に関する授業計画を構想し、その最終時限（まとめの 1 時間）の〔学習指導案〕と〔板書案〕を作成すること。 事後学修 PDCA サイクルにもとづく学習指導案および模擬授業の振り返り（4）
15 回	これからの社会科・地理歴史科について考える 事前学修 前回の授業のノートと配布資料を確認し、指定した箇所をよく読んでおくこと。 事後学修 授業の内容をノートに整理し、授業にかかわる課題に取り組むことを通して、「これからの社会科・地理歴史科の方向性」についての理解を深めていくこと。

- ◆**教科書** 題材『社会科・地理歴史科教育法Ⅱ T20600』 通信教育教材（教材コード 000588/000589）
1,000 円 / 1,600 円（送料込）
〈この教材は市販の『中学校学習指導要領解説社会編 / 高等学校学習指導要領解説地理歴史編』文部科学省（東洋館出版社）と同一です。〉 文部科学省の HP よりダウンロード可能です。
事前資料送付
- ◆**参考書** 現行学習指導要領に準拠した中学校社会科教科書と高等学校地理歴史科（とくに歴史）教科書。
- ◆**成績評価基準** リアクションペーパーやグループワークなどの取り組み（30%）、模擬授業及び学習指導案（40%）、期末レポート（30%）。これらを総合的に判断し、評価する。
- ◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に案内します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語科教育法Ⅱ〕

隅田 朗彦

◆**授業概要** 中学校および高等学校における3つの資質・能力および外国語の5つの領域の指導と各領域を支える言葉の要素の指導について概要を理解し、基本的な知識と技能を身につける。また、複数の領域を統合した言語活動の方法論を実践できるようにする。さらに、教材やICTの活用、英語による授業展開、チームティーチング、生徒の個人差に応じた指導など、今求められている英語科教育について知識を得る。

◆**学修到達目標** 1. 3つの資質・能力および5つの領域の指導について、教師として行うべきことを知る。
2. 上記の資質・能力の養成および各領域および複数の領域を統合した技能の向上を狙った教材や教授法を知り、作成や実施ができる。
3. 現在の英語科教育に係る諸問題点を把握し、改善案を考えることができる。

◆**授業方法** 教科書の内容について担当教員が講義形式で補足解説を加えたのち、ディスカッション課題あるいは教科指導に関わる実践課題を提示する。提示された課題の趣旨に応じ、教科書等の資料を踏まえたディスカッションや教材の作成等を行い、成果をまとめること。また、検定教科書に準じた言語活動を考え、模擬授業としての実践も行う。

◆**授業計画（各90分）**

1回	授業内容：学習指導要領とカリキュラム・マネジメント 事前学修：シラバスおよび教科書目次の確認 事後学修：年次カリキュラムの策定演習課題に取り組む
2回	授業内容：リスニング（聞くこと）の指導 事前学修：教科書第6章（pp. 68-80）を読む 事後学修：リスニングから発表活動に移行する活動を考える小課題に取り組む
3回	授業内容：リーディング（読むこと）の指導 事前学修：教科書第7章（pp. 81-91）を読む 事後学修：リーディングから発表活動に移行する活動を考える小課題に取り組む
4回	授業内容：スピーキング（やり取り・発表）の指導 事前学修：教科書第8章（pp. 92-106）を読む 事後学修：受容活動からスピーキングに移行する活動を考える小課題に取り組む
5回	授業内容：ライティング（書くこと）の指導 事前学修：教科書第9章（pp. 107-119）を読む 事後学修：受容活動からライティングに移行する活動を考える小課題に取り組む
6回	授業内容：領域統合型の言語活動の指導 事前学修：教科書第10章（pp. 120-132）を読む 事後学修：5領域統合型の言語活動を考える小課題に取り組む
7回	授業内容：音声と文字の指導 事前学修：自己の受けた教育における音声、文字指導と学習指導要領の記述を比較する 事後学修：音声・文字指導についての確認課題に取り組む
8回	授業内容：文法指導・語彙・表現指導 事前学修：教科書第11～12章（pp. 133-148）を読む 事後学修：フォーカス・オン・フォームに基づく指導法を考える小課題に取り組む
9回	授業内容：異文化間理解の指導 事前学修：教科書第13章（pp. 149-160）を読む 事後学修：異文化間理解の具体的な方法を考える小課題に取り組む
10回	授業内容：授業の準備と計画：教材研究、ICTの活用、生徒の特性に応じた指導 事前学修：教科書第4章（pp. 43-55）を読む 事後学修：配布された教材の教材研究の観点を考える小課題に取り組む
11回	授業内容：授業の形態：英語でのインタラクティブ、チームティーチング 事前学修：教科書 pp. 220-234 を読む 事後学修：英語で授業することの意義に関する確認課題に取り組む
12回	授業内容：指導案の準備と作成（1）：目標と計画について 事前学修：教科書第14～15章（pp. 162-190）を読む 事後学修：模擬授業を行う授業の全体像を再確認する
13回	授業内容：指導案の準備と作成（2）：教材研究等について 事前学修：模擬授業用の教材を確認、教科書第16章（pp. 191-201）を読む 事後学修：授業中に考えて観点を基に教材研究をさらに詰める
14回	授業内容：指導案の準備と作成（3）：言語活動の準備 事前学修：配布教材の教材研究をさらに突き詰める 事後学修：作成した言語活動に問題がないかを確認し、模擬授業に備える
15回	授業内容：到達度の確認：模擬指導 事前学修：模擬指導のリハーサル 事後学修：模擬指導に対する他の受講生からのコメントを参照する

◆**教科書** **教材** 『英語科教育法Ⅰ T23800』 通信教育教材（教材コード000580）3,600円（送料込）
〈この教材は市販の『行動志向の英語科教育の基礎と実践－教師は成長する』JACET 教育問題研究会編（三修社）と同一です。〉
〔当日資料配布〕 その他の必要な資料は授業中に配布します。

◆**参考書** 小学校学習指導要領（文科省ホームページよりダウンロード可）
中学校学習指導要領（文科省ホームページよりダウンロード可）
高等学校学習指導要領（文科省ホームページよりダウンロード可）

◆**成績評価基準** 授業への参加（20%）、実践演習（30%）、授業内課題（50%）によって評価します。

◆**授業相談（連絡先）**：メールにて受け付けます（sumida.akhiko@nihon-u.ac.jp）。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔地誌学 / 地誌学概論 / 地理学概論（地誌を含む）〕 オープン受講：不可 羽田 麻美

◆**授業概要** 本授業を通じ、中学・高等学校で地誌学分野を取り扱う際に必要な知識と考え方を得ることを目標とします。地誌分野を教える際に必要な基本的概念を学び、地図を用いて地域を読み解く力をつけることを目指します。

◆**学修到達目標** ・地域を地誌的な視点から分析することができる。
・地形図の読み方を習得し、地域の地理的特徴を読解することができる。

◆**授業方法** 授業はパワーポイントと配布資料を用いておこないます。また、3日間の授業内で、地図を用いた読図実習をおこない、授業内で課題を提出してもらいます。
※3日間とも色鉛筆（5色程度）と携帯用の小型鉛筆削りを必ず持参すること。（等高線の読み取りをおこないますが、読み取りにくい場合は虫眼鏡等を準備して下さい。）

◆**履修条件** 教職課程履修者の受講を推奨します。

◆**授業計画**〔各 90 分〕

1 回	授業内容：ガイダンスおよび「地理学」の見方・考え方 事前学修：地理学とは何か、予習しておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、地理学的な地域の見方を確認しておくこと。
2 回	授業内容：「地誌学」の見方・考え方 事前学修：地誌学とは何か、予習しておくこと。 事後学修：地誌学の地域の見方を復習しておくこと。
3 回	授業内容：地誌の事例：海外地誌 事前学修：教科書、『地誌学 / 地誌学概論 / 地誌学概論（地誌を含む）』を読んでおくこと。 事後学修：授業内容を踏まえ、海外のある地域を地誌的にまとめる方法を考えておくこと。
4 回	授業内容：地誌の事例：日本地誌 事前学修：教科書、『地誌学 / 地誌学概論 / 地誌学概論（地誌を含む）』を読んでおくこと。 事後学修：授業内容を踏まえ、国内のある地域を地誌的にまとめる方法を考えておくこと。
5 回	授業内容：地形図の読み方 i) 縮尺、地図記号 事前学修：準備した地形図を見て、縮尺と地図記号の種類を確認しておくこと。 事後学修：授業で配布したプリントをもとに、準備した地形図の土地利用を確認しておくこと。
6 回	授業内容：地形図の読み方 ii) 等高線 事前学修：準備した地形図を見て、等高線の間隔を確認しておくこと。 事後学修：準備した地形図中の等高線を読み、その地域の地形的特徴をまとめておくこと。
7 回	授業内容：九十九里浜を地図から読み解く i) 土地利用図の作成 事前学修：5万分の1地形図「茂原」に表現された地図記号から、土地利用を確認しておくこと。 事後学修：新旧の土地利用図を完成させること。
8 回	授業内容：九十九里浜を地図から読み解く ii) 海浜地形の形成と人びとの暮らし 事前学修：新旧の土地利用図を作成した結果から、土地の歴史の変遷を調べておくこと。 事後学修：地形図の作業結果と授業内容を踏まえ、九十九里浜の地誌をまとめておくこと。
9 回	授業内容：沖永良部島を地図から読み解く i) 隆起サンゴ礁が作る段丘地形判読 事前学修：2万5千分の1地形図「沖永良部島西部」の土地利用を確認しておくこと。 事後学修：段丘区分図を完成させること。
10 回	授業内容：沖永良部島を地図から読み解く ii) 隆起サンゴ礁が作るカルスト地形判読 事前学修：地形図に作業した段丘区分から、土地利用との関係をまとめておくこと。 事後学修：ドリーネ地形の分布図を完成させること。
11 回	授業内容：沖永良部島を地図から読み解く iii) 隆起サンゴ礁の地形と人びとの暮らし 事前学修：9・10回で作業した地形図から、読み取れる地理的特徴をまとめておくこと。 事後学修：地形図の作業結果と授業内容を踏まえ、沖永良部島の地誌をまとめておくこと。
12 回	授業内容：災害を地図から読み解く i) 尾根線・谷線 事前学修：2万5千分の1地形図「祇園」を見て、地形的特徴をまとめておくこと。 事後学修：等高線を読み、地形図中に尾根線・谷線の位置を記入しておくこと。
13 回	授業内容：災害を地図から読み解く ii) 新旧地形図の判読 事前学修：地形図に作業した尾根線・谷線から、地形的特徴をまとめておくこと。 事後学修：新旧地形図の判読から読み取れることをまとめておくこと。
14 回	授業内容：災害を地図から読み解く iii) 土砂流が作る地形と人びとの暮らし 事前学修：広島豪雨災害についてインターネットで調べておくこと。 事後学修：地形図の作業結果と授業内容を踏まえ、災害が生じた地形場の特徴をまとめておくこと。
15 回	授業内容：総括 事前学修：これまでの授業資料をもとに、復習しておくこと。 事後学修：地誌学的アプローチによる地域の見方をまとめておくこと。

◆**教科書**〔当日資料配布〕当日プリント配布

【教材】『地誌学 T21900/地誌学概論 T22000/地理学概論（地誌を含む） T22100』
通信教育教材（教材コード 000557）1,700 円（送料込）

■市販されている地形図 ※必ず事前に購入し、授業に持参すること。

国土地理院発行の地形図（以下の計3枚）をあらかじめ購入し持参すること。

1) 5万分の1地形図「茂原」(H20.2.1 発行) 税込 375 円

2) 2万5千分の1地形図「沖永良部島西部」(H29.12.1 発行) 税込 427 円

※授業では使いませんが、「沖永良部島東部」(平成 17.8.1 発行) も併せて購入すると、島の全体像を把握できます。

3) 2万5千分の1地形図「祇園」(H25.7.1 発行) 税込 350 円

【購入方法】以下の①、②を推奨します。

①日本地図センター (<http://www.jmc.or.jp/buy.html>) のネットショッピングで購入。送料は、ネコポスを選択すると全国一律 350 円です。

②日本地図センターウェブサイト内の地図販売店一覧 (<http://www.jmc.or.jp/hanbai.html>) を参照し、販売店で直接購入。売り切れの場合があるため、事前に電話で確認した方がよい。

注意事項1：縮尺の異なる2種の地形図がありますので、2万5千分の1と5万分の1を間違えないように購入して下さい。なお、1)の「祇園」は、広島県の地形図です。

注意事項2：地形図の発行年は、シラバス作成時（2019年1月）時点で販売している地形図の発行年になります。地形図は随時更新されているため、購入時には最新版に更新されている場合がありますが、その時に販売されている最新版の地形図を購入して下さい。

注意事項3：昨年度のスクーリングでは、地形図を準備していない受講生がいましたが、受講する上で地形図の事前準備は必須です。昨年度はカラー印刷した地形図を配布しましたが、地形図に描かれた情報（等高線、地図記号等）が不鮮明なため、今年度は配布しません。地形図上に作業する実習もありますので、必ず各自で購入して下さい。

◆**参考書** 丸沼『建設技術者のための地形図読図入門1～4』鈴木隆介 古今書院

No.1 4,356 円（税込）（送料 350 円） No.3 6,156 円（税込）（送料 500 円）

No.2 6,048 円（税込）（送料 500 円） No.4 6,696 円（税込）（送料 500 円）

丸沼『大学テキスト 地図読図入門 追補版』籠瀬良明（著）ト部勝彦（追補） 古今書院 2,160 円（税込）（送料 300 円）

丸沼『読みたくなる「地図」東日本編 / 西日本編：日本の都市はどう変わったか』平岡昭利 海青社 各 1,728 円（税込）（送料各 300 円）

◆**成績評価基準** 授業内におこなう読図課題（40%）、授業への参加度（10%）、試験（50%）。全ての授業に出席することを前提として、総合的に評価します。課題未提出者は、単位取得が不可能です。

◆**授業相談（連絡先）**：a_hada@ll.u-ryukyu.ac.jp

注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔教育課程論〕

滝澤 雅彦

◆**授業概要** 各学校の教育活動・指導内容の土台となっている学習指導要領について学ぶ。各学校・園種の連続性や全体的理解のために、幼稚園・こども園の幼稚園要領から小学校、中学校、高等学校に至る長期的な視野から各校種の学習指導要領のポイントを理解し、各学校・園における具体的な教育課程を参考に、カリキュラム・マネジメントの実践について多角的に学ぶ。

◆**学習到達目標** 1. 学習指導要領の変遷と、それらとの比較における新学習指導要領の特色について理解し説明することができる。
2. 学校教育における教育課程の役割と、教育課程編成の実践について理解し説明することができる。
3. 学校教育におけるマネジメントの意義・重要性和カリキュラム・マネジメントについて理解し説明することができる。

◆**授業方法** 1. 本時の授業テーマに関連する話題についてグループ・ディスカッションを行い意見交換する。
2. レジュメに基づいて解説する。
3. 解説の中で行う発問についてグループ・ディスカッションを行い意見交換・指導する。
4. 最後に、本時または次回のテーマに関する授業レポートを作成し提出する。

◆授業計画〔各90分〕

1回	授業内容：カリキュラムとは何か 事前学修：直近の教育関係の話題やニュースについて情報を収集しておくこと。 事後学修：配布レジュメの読み返しとノート整理をしておくこと。
2回	授業内容：学習指導要領とは何か 事前学修：前時の配布レジュメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。 事後学修：本時の配布レジュメ、資料およびノートを読み返しておくこと。
3回	授業内容：学習指導要領の変遷と新学習指導要領の特色 事前学修：前時の配布レジュメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。 事後学修：本時の配布レジュメ、資料およびノートを読み返しておくこと。
4回	授業内容：学習指導要領の内容と各学校の教育課程 事前学修：前時の配布レジュメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。 事後学修：本時の配布レジュメ、資料およびノートを読み返しておくこと。
5回	授業内容：教育課程編成の実践 事前学修：前時の配布レジュメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。 事後学修：第1回から第5回までの配布レジュメ、資料およびノートを読み返しておくこと。
6回	授業内容：児童生徒や地域の実態を踏まえた教育課程編成 事前学修：直近の教育関係の話題やニュースについて情報を収集しておくこと。 事後学修：返却された授業レポートを読み返しておくこと。
7回	授業内容：幼小、小中、中高といった校・園種間の円滑な接続 事前学修：前時の配布レジュメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。 事後学修：本時の配布レジュメ、資料およびノートを読み返しておくこと。
8回	授業内容：学校における2種類のマネジメントとは何か 事前学修：前時の配布レジュメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。 事後学修：本時の配布レジュメ、資料およびノートを読み返しておくこと。
9回	授業内容：カリキュラムをマネジメントするとはどういうことか 事前学修：前時の配布レジュメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。 事後学修：本時の配布レジュメ、資料およびノートを読み返しておくこと。
10回	授業内容：各教科のカリキュラム・マネジメント 事前学修：前時の配布レジュメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。 事後学修：第6回から第10回までの配布レジュメ、資料およびノートを読み返しておくこと。
11回	授業内容：特別の教科 道徳のカリキュラム・マネジメント 事前学修：直近の教育関係の話題やニュースについて情報を収集しておくこと。 事後学修：返却された授業レポートを読み返しておくこと。
12回	授業内容：総合的な学習の時間のカリキュラム・マネジメント 事前学修：前時の配布レジュメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。 事後学修：本時の配布レジュメ、資料およびノートを読み返しておくこと。
13回	授業内容：特別活動のカリキュラム・マネジメント 事前学修：前時の配布レジュメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。 事後学修：本時の配布レジュメ、資料およびノートを読み返しておくこと。
14回	授業内容：カリキュラム評価の意義と重要性 事前学修：前時の配布レジュメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。 事後学修：本時の配布レジュメ、資料およびノートを読み返しておくこと。
15回	授業内容：カリキュラム評価の実践 事前学修：前時の配布レジュメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。 事後学修：返却された授業レポートと第11回から第15回までのレジュメ、配布資料およびノートを読み返しておくこと。

◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 1. 教科書は指定しない。
2. 当日配布レジュメ
3. 当日配布資料

◆**参考書** 丸沼『中学校学習指導要領（平成29年告示）』文部科学省 352円（税込）（送料350円）
丸沼『高等学校学習指導要領（平成30年告示）』文部科学省 818円（税込）（送料500円）

◆**成績評価基準** 授業内小テストおよび授業レポート（80%）、グループ・ディスカッションおよび発表内容（20%）。
毎回出席することを前提として評価する。

◆**授業相談（連絡先）**：初回の授業時に伝達する。

注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔博物館情報・メディア論〕

小林 克

◆**授業概要** 博物館は膨大な知識・資料の集積所である。博物館における情報の意義と活用方法を理解し、収蔵品のデジタル化の方法とメディアへの保存、デジタル化した情報の発信と保守について理解する。著作権法等の意義を理解し、収蔵資料のデータベース化を行うことで応用を図り、調査研究・情報管理・公開についての知識の習得を目指す。

◆**学修到達目標** (1) 授業では博物館における情報・視聴覚資料提供の基本的考え方と、用いられる情報機器の概要について説明できる。
(2) 博物館の情報の提供と活用に関する基礎的能力を得る。

◆**授業方法** 実際に博物館で配布されている案内やホームページなどで公開・発信されている情報をもとにして、①博物館における情報・メディアの意義とその理論、②博物館における情報公開と発信、③博物館と知的財産の3項目について考え、学習目標の理解を深めます。また公開・発信されている情報を体験するために都内の博物館・美術館の見学（2日目午後）とその検討会（3日目午前）を予定しています。

◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 現代の生活と映像・音声メディア 現代の暮らしの中では、建物の内外を問わず交通機関の内部でも音楽・映像そして情報が溢れている。これらの観点に立ち、博物館情報・メディア論の授業の進め方について説明する。 事前学修 シラバスの内容を確認しておく。 事後学修 身近にある様々なメディアを意識し、記録化する。
2 回	授業内容 情報とは何か 氾濫する情報のなかで、情報の混濁が起きている。必要情報とは何かを考える。 事前学修 自分自身の情報の取り方について、説明できるようにしておく。 事後学修 不要な情報について考え発表できるようにする。
3 回	授業内容 博物館と情報 大局的に見れば博物館そのものが一種のメディアである。博物館での一次資料と二次資料について考え、資料のドキュメンテーションとは何か理解し、博物館における情報の意義について学ぶ。 事前学修 一次資料と二次資料、ドキュメンテーションについて調べておく。 事後学修 それぞれの収蔵先は何処か考える。
4 回	授業内容 アナログ記録とデジタル記録 各種メディアへのアナログ記録とデジタル記録との基本的な違いを理解する。 事前学修 アナログ記録再生装置について、どのようなものがあるか予め調べておく。 事後学修 講義中で解説する各種メディアの違いについて、一覧表の作成を行う
5 回	授業内容 資料のデータベース化と応用 コンピュータを用いたデータベースの管理システムの紹介と、画像を含むデータベースの意義について学ぶ。 事前学修 インターネットで見られる画像データベースに触れてみる。 事後学修 データベース化された情報の応用例を考える。
6 回	授業内容 情報提供と広報活動 博物館活動の中で、どのように情報発信し、特に広報活動として情報発信を行うのか示す。 事前学修 インターネットや新聞雑誌から受け取る博物館情報の相違について考える。 事後学修 メディアの特性について理解する。
7 回	授業内容 開かれた博物館 発信される博物館情報 グローバルネットワークと博物館から発信される教育・普及情報について学ぶ。 事前学修 博物館から発信されるチラシや HP 等様々な媒体を見ておくこと。 事後学修 配布資料を基に授業内容を復習・確認する。
8 回	授業内容 博物館見学① 実際に博物館で公開・発信されている情報を視察し、説明を受ける。 事前学修 事前に伝える見学する博物館について、HP 等から情報を得ておく。 事後学修 説明メモを再確認する。
9 回	授業内容 博物館見学② 博物館展示室でのメディア活用 展示室や教育普及活動等で情報メディアが如何に活用されているか理解する。館職員からの説明に対して質疑応答を行う。 事前学修 展示室での情報を自分はどうに得ていたか確認しておく。 事後学修 動的な博物館展示について、入館者の立場で触れてみることで流れを理解する。
10 回	授業内容 博物館見学③ 実際に博物館で公開・発信されている情報を見学し、館職員からの説明に対して質疑応答を行った内容をレポートに纏める。 事前学修 説明内容、質疑応答の内容を整理しておく。 事後学修 レポートの校正を行う
11 回	授業内容 博物館活動の情報化 博物館における調査研究活動や、展示・教育普及活動の情報化について、前日の見学の内容について意見を述べる 事前学修 レポート内容の確認と疑問点、感想を発表出来るように纏めておく 事後学修 他人の意見を再確認する
12 回	授業内容 博物館運営と情報メディア利用の実際 前日の見学について、意見交換を元として、纏めて講義を行う。 事前学修 意見交換の内容を再確認する。 事後学修 講義内容ノートを再確認する。
13 回	授業内容 デジタルアーカイブとデジタルミュージアム 博物館で新たに試みられた、情報提供方法と教育効果について学ぶ。 事前学修 デジタルミュージアム、デジタルアーカイブについて調べておく。 事後学修 デジタル技術を生かした新しい展示法を考えてみる。
14 回	授業内容 インターネットと情報端末の利用 博物館でのインターネット利用の実態と、情報発信としての SNS 等の利用や問題点等を明らかにする。その上でスマートフォン等の情報端末の展示・教育普及等の利用について確認する。 事前学修 最新のスマートフォン等を利用した展示や展示情報発信等についてネットで検索し確認する。 事後学修 実際にスマートフォン等を活用した展示情報の獲得を行う。
15 回	授業内容 授業内テストおよび総括 授業の総括と質疑応答 事前学修 今までの授業内容を再確認する。 事後学修 全体的な流れと体系を理解する。

◆**教科書** 『博物館情報・メディア論』 西岡貞一・篠田謙一 一般財団法人放送大学教育振興会
〈上記の本は、丸沼書店では取り扱っていませんので、Amazon 等で購入してください。〉

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** レポート（30%）、授業参画度（発表や発言、受講態度等 30%）、テスト（40%）により総合的に評価。
毎回の出席を前提として評価します。

◆**授業相談（連絡先）**：初回授業時に案内します。

注意 E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

IV 講座の申込方法

1 受講手続の流れ

ここでは、受講手続の流れをまとめています。まず、この流れを把握し、受講手続を行ってください。なお、受講講座の選定にあたっては、『手引』のほかに『学修要覧』を参照してください。

項 目		手 続 内 容
『手引』 入手 受講科目選択		・『手引』を読み、受講講座を決定する。
受講講座 科目の単位修得方式決定		・受講講座・科目の単位修得方式を決定する。 各修得方法の詳しい内容は『学修要覧』の「単位修得方式」のページを参照。
↓		
履修登録		・単位修得を希望する科目の履修登録をする。 以下の2通りのいずれかで登録。 ①ポータルサイト ②「履修届」用紙（本誌巻末付録）
↓		
スクーリング 併用試験方式 希望者のみ	レポート提出	・レポートを提出する。 スクーリング併用試験方式で受講する科目でレポート未提出のものは表紙記載の締切日までに教務課必着で提出する。 ※期限を超過した場合、いかなる理由があっても併用の申請を受け付けることはできません。
↓		
受講希望の講座を申し込む		・受講を希望する講座・科目を「ポータルサイト」から申込み手続を行う。又は、『手引』巻末の「受講届」に記入し、教務課へ提出する。 ※表紙記載の締切日に注意してください。
↓		
スクーリング受講許可講座の 確認		・ポータルサイト上の『スクーリング・メディア授業情報一覧』にて申し込んだ講座が「申請許可」になっているか確認する。 ※「受講届」提出者は、郵送する「スクーリング受講資格審査結果通知」にて確認してください。
振込用紙の受け取り		・受講許可者に、スクーリング受講料の振込用紙を郵送します。 ※発送予定日から、5日経過しても振込用紙が届かない場合は、会計課に連絡してください。
許可講座の辞退 【許可講座の取消を行う場合のみ】		・受講を許可された講座（全講座・一部の講座とも）を受講しない場合、表紙記載の締切日までに辞退手続をする。詳しくは「許可講座を辞退する」のページを参照。
受講料の納入		・表紙記載の締切日までに受講料を振り込む。 ※受講料未納者は受講できません。
使用教材の入手		・シラバスを参照し、許可された講座の教材を入手する。
↓		
授業開始		・各スクーリング会場やポータルサイトで、講堂表を確認した上で、それぞれの講堂で受講する。
↓		
スクーリング結果確認		・「ポータルサイト」で、受講した講座の結果を確認する。 （「受講届」提出者のみ結果を郵送。発送日程は表紙記載）

2 履修登録をする

履修登録上の注意事項	
「ポータルサイト」と「履修届」の両方で申込みがあった場合は、「ポータルサイト」の内容を有効とします。	


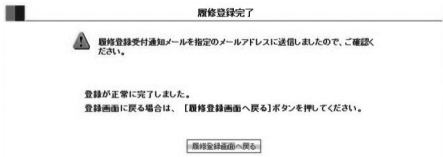
① 「ポータルサイト」による申込み

●履修登録の前に


1	履修登録には、IDとパスワードが必要です。 ID = 学生番号 初期パスワード = 自分の西暦生年月日（半角数字8桁）
2	履修登録の受付メールを受信するには、メールアドレスの登録が必要です。 「学生メニュー」の「学生情報照会・修正」より、メールアドレス及びメール送り先区分を事前に登録してください。

●履修登録方法

1	通信教育部公式ホームページ (URL: http://www.dld.nihon-u.ac.jp) の「在学生ログイン」をクリックしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「履修登録」をクリックしてください。	
3	履修登録科目の一覧から登録したい科目のチェックボックスを選択し、「登録確認」ボタンをクリックしてください。 ※一覧には学修が開始できる科目が表示されます。	


4	履修登録する科目を確認し、 登録実行 ボタンをクリックしてください。	
5	履修登録が完了すると、登録されているメールアドレスに受付通知メールが配信されます。	

●履修登録確認

1	履修登録方法の1の手順で、ログインしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「履修登録確認表」をクリックしてください。	

●履修登録の変更・取りやめ

同一履修年度かつまだ、学修を開始していない科目に限り、「ポータルサイト」で変更・取りやめをすることができます。

1	履修登録方法の1・2の手順で、履修登録の画面まで進んでください。	
2	取り消したい科目の前の「消しゴム」部分をクリックし、「取消」に変わったら、 登録確認 ボタンをクリックし、履修登録方法の4・5の手順で変更を完了させてください。	

② 「履修届」による申込み

「履修届」による申込みは、以下の要領で本誌巻末の「履修届」を作成し、教務課に提出してください。

(1) 履修登録年度 **2019 年度** (2) 提出年月日 **2019 年 4 月 1 日**

履 修 届

学生番号	12199999	フリガナ 氏名	ニチダイ ハナコ 日 大 花 子	電話番号	090-0000-0000 <small>(必ず連絡のとれる電話番号を記入すること)</small>
科目コード	科目名	単位	科目コード	科目名	単位
1	B10700 哲学	4	14		
2	C10100 英語 I	2	15		
3	C10200 英語 II	2	16		
4	H10100 保健体育講義 I	1	17		
5	L30100 行政学	4	18		
6	K20100 憲法	4	19		
7	K20200 民法 I	4	20		
8	K20300 刑法 I	4	21		(4)
9	J10150 体育実技 I	1	22		
10	B11700 政治学	4	23		
11	T10100 現代教職論	2	24		
12			25		
13					

記入例 **0123456789** (3)

合計 **28** 単位 (5) ← 年間48単位まで登録できます。
教職生および2学年以上の教職コース登録者は
年間48単位まで登録できます。

日本大学通信教育部

書き損じた場合は、修正テープ又は修正液で訂正してください。
訂正線で訂正する場合は、訂正印は不要です。

(1) 登録年度

本履修届にて履修登録する場合は、「2019 年度」と記入してください。

(2) 学生番号・氏名・提出年月日・電話番号

電話番号は、記載事項を確認する場合に使用します。確実に連絡のとれる電話番号を記載してください。

(3) 科目コード・科目名

科目コード及び科目名は、『学修要覧』又は『コース履修の手引』を確認し（ポータルサイトにも掲載）、科目コード（6ケタ）を記入してください。不備がある場合は受理できませんので注意してください。

(4) 単位

各科目の所定単位を記入してください。

(5) 合計単位

必ず合計単位数を記入してください。

【よくある不備】

- ・科目コード及び科目名の記入漏れ
- ・科目コードと科目名の不一致
- ・不配当科目の記入（例：3 学年から履修登録できる科目を2 学年で「履修届」に記入する。）
学部や入学年度によって名称が異なる科目や登録できない科目があります。
特に教職コースの科目は注意が必要です。
- ・「卒業論文」、「教育実習」、「教育実習前・事後指導」及び「教育実践演習②」、「博物館実習Ⅱ」及び「博物館実習Ⅲ」は履修登録する必要がありません。従って履修届には記載しないでください。
「履修届」とは別の手続きとなります。『学修要覧』及び『コース履修の手引』を確認してください。
- ・履修登録済みの科目の記入
一度履修登録した科目は在学中有効ですので、再度履修登録することはできません。
- ・スクーリング等で所定単位が4単位の科目で、2単位分修得している科目は登録できません。履修登録済みと同様の扱いとなります。
もし記入された場合は、『履修登録エラー一覧』に『すでに履修登録済の科目です。』と表記されます。
- ・単位修得済み科目の記入
単位修得済み科目の登録はできません。
もし記入された場合は、『履修登録エラー一覧』に『修得済みのため再履修できません。』と表記されます。
- ・年間登録単位を超過
年間 48 単位（教職生及び2 学年以上の教職コース履修生は 60 単位）まで履修できます。
もし超過して記入された場合は、『履修登録エラー一覧』に『履修制限単位を超えた履修登録はできません。』と表記されます。

③ 履修登録上の注意

- ・「履修届」の不備内容によっては、受理せず返却する場合があります（不受理）。したがって、科目修得試験やスクーリング併用試験方式等の履修登録締切日以前に「履修届」が大学に到着していても、不受理の場合は履修登録にならず、試験やスクーリングの申し込みができません。
- ・履修登録を行っただけでは、教科書の配本はありません。配本申請を別途行う必要があります。
- ・履修済みの科目の変更、取消しは同一履修年度かつ学修を行っていない（レポート未提出、スクーリング申込みなし等）場合のみ可能です。追加は上限に達していない場合、Web 履修登録や巻末の「履修届」をコピーして使用してください。
- ・履修登録を行っただけでは、スクーリングの申込みとなりません。164 ページ以降の『3 講座を申し込む』を必ず行ってください。申込みが完了しておらず、受講料納入していない場合、受講は認めません。

3 講座を申し込む

申し込み上の注意事項

「ポータルサイト」と「受講届」の両方で申込みがあった場合は、「ポータルサイト」の内容を有効とします。

① 「ポータルサイト」による申込み

●申込みの前に

1	申込みには、ID とパスワードが必要です。 ID = 学生番号 初期パスワード = 自分の西暦生年月日（半角数字8桁）
2	申込みには、パソコンのメールアドレスの登録が必要です。 登録していない場合は、「ポータルサイト」にある「NU-AppsG（在学生専用メールアカウント）」を参照して登録してください。
3	事前に履修登録が必要です。 履修登録を行っていない科目は表示されません。161 ページ参照

●申込方法

1	通信教育部公式ホームページ（URL: http://www.dld.nihon-u.ac.jp ）の「在学生ログイン」をクリックしてください。					
2	「学生メニュー」を選択し、「スクーリング申請・取消」をクリックしてください。					
<p>【ポータルサイト申込期間】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>スクーリング名</th> <th>ポータルサイトによる申込期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏期スクーリング</td> <td>2019年6月14日（金） 10：00～ 2019年6月28日（金） 24：00</td> </tr> </tbody> </table> <p>※申込開始日にならないと、夏期スクーリングの講座は表示されません。</p>			スクーリング名	ポータルサイトによる申込期間	夏期スクーリング	2019年6月14日（金） 10：00～ 2019年6月28日（金） 24：00
スクーリング名	ポータルサイトによる申込期間					
夏期スクーリング	2019年6月14日（金） 10：00～ 2019年6月28日（金） 24：00					

<p>3 「未申請スクーリング一覧」から申請したいスクーリングのチェックボックスを選択し、申請 ボタンをクリックしてください。</p>	
--	--

●受付完了

申請受付が完了すると、登録されているパソコンのメールアドレスに申請受付メールが配信されます。配信されない場合は、「スクーリング・メディア授業申請・取消」内の「申請済みスクーリング一覧」に該当講座があることを確認してください。

●申込確認

随時、「ポータルサイト」で確認することができます。

<p>1 申込方法の1の手順で、ログインしてください。</p>	
<p>2 「学生メニュー」を選択し、「スクーリング・メディア授業情報一覧」をクリックしてください。 ※申込期間終了後は、「スクーリング申請・取消」の「申請済みスクーリング一覧」に表示されなくなるので注意してください。</p>	
<p>3 申込みをしたスクーリング・メディア授業の一覧が表示されますので、内容を確認してください。</p>	

●申込内容の変更・取りやめ

申込期間内に限り、「ポータルサイト」で変更・取りやめをすることができます。

<p>1 申込方法の1～2の手順で、申請中のスクーリングの画面まで進んでください。</p>	
<p>2 「申請済みスクーリング一覧」より取消したいスクーリングのチェックボタンを選択し、取消 ボタンをクリックしてください。申込内容を変更する場合は、いったん取消後、再度申請してください。</p>	

※申込期限後に、スクーリング申込はできません。

② 「受講届」による申込み

「受講届」による申込みは、以下の要領で本誌巻末の「受講届」を作成し、教務課に提出してください。

(1) 記入上の注意

ア 講座コード

開講講座のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「講座コード」欄を参照してください。

イ 講座名

開講される講座の名称です。この講座名を「開講講座表」を参照の上、記入してください。間違えて「充当科目名」を記入しないよう注意してください。

ウ 充当科目コード

開講講座の単位修得により充当できる科目のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「科目コード」欄、及び後掲の「(2) 注意事項」を参照してください。

エ 学生番号・氏名・電話番号

電話番号は記載事項を確認する場合に使用します。確実に連絡のとれる電話番号を記載してください（緊急時電話番号に優先的に連絡しますので、あらかじめご了承ください）。

夏期S

年 月 日作成

☐内をすべて記入してください。

2019年度夏期スクーリング受講届

開講期	講座コード	講座名	充当科目コード
1期			
2期			
3期	ア	イ	ウ
4期			
5期			

■ 提出締切日 (2019年6月28日(金)) 窓口提出：事務取扱時間内
郵送提出：必着

■ 郵送又は窓口にて、提出してください。

■ これは、夏期スクーリングの受講届です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。

■ 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

■ 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。

■ 必ず、履修登録を行ってください。

■ スクーリング併用試験方式は条件を満たしている場合、自動的にスクーリング併用試験方式となります。

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="font-size: x-small;">学 生 番 号</td><td style="width: 10px;"></td><td style="width: 10px;"></td><td style="width: 10px;"></td><td style="width: 10px;"></td><td style="width: 10px;"></td><td style="width: 10px;"></td><td style="width: 10px;"></td><td style="width: 10px;"></td><td style="width: 10px;"></td></tr> <tr><td style="font-size: x-small;">フリガナ</td><td colspan="9"></td></tr> <tr><td style="font-size: x-small;">氏 名</td><td colspan="9" style="text-align: center;">工</td></tr> <tr><td style="font-size: x-small;">担当教員番号</td><td colspan="9"></td></tr> <tr><td style="font-size: x-small;">電話番号</td><td colspan="9"></td></tr> </table>	学 生 番 号										フリガナ										氏 名	工									担当教員番号										電話番号										<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100%;"> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">教務課受付印</p> </div>
学 生 番 号																																																			
フリガナ																																																			
氏 名	工																																																		
担当教員番号																																																			
電話番号																																																			

(2) 注意事項（「総合科目」、「英語」などの外国語科目及び「各演習科目」など）

例えば、「英語」の講座は、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「英語Ⅲ」及び「英語Ⅳ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語Ⅰ～Ⅳ」のどの科目に充当させるかは、各自の履修状況・履修計画によって異なります。したがって、英語をスクーリングで受講する際には、「受講届」に記載する充当科目コードによって「英語Ⅰ～Ⅳ」のうちどの科目で受講するのか、各自が大学に申告しなければなりません。

「受講届」では4桁の講座コードと6桁の充当科目コードの計10桁のコードによって、受講講座(科目)を登録します。コードは「開講講座表」の「講座コード」欄、「科目コード」欄に記載されています。

「英語」の場合、「開講講座表」の「科目コード」欄に4つのコードが記載されていますが、各自の履修計画に合致する科目（「英語Ⅰ～Ⅳ」のいずれか）のコードを、1つ選択してください。

《記入例》（講座「英語 C」において「英語Ⅲ」を選択した場合）

講座 コード	開講講座名	担当講師名	充 当 科 目	
			科目 コード	科目名
●●●●	英語 B	○○○○	C10100	英語 I
			C10200	英語 II
			C10300	英語 III
			C10400	英語 IV
▲▲▲▲	英語 C	○○○○	C10100	英語 I
			C10200	英語 II
			C10300	英語 III
			C10400	英語 IV

イ

ア

エ

ウ

ア 希望する講座として「英語 C」を選択。

イ 「英語 C」を選択したことによって講座コードは「▲▲▲▲」となる。

ウ その講座で充当する科目として「英語Ⅲ」を選択。

エ 「英語Ⅲ」を選択したことによって充当科目コードは「C10300」となる。

オ 「受講届」の記入は、講座コードに「▲▲▲▲」、充当科目コードに「C10300」と記入します。また講座名に「英語 C」と記入します。

※ 「・・・演習」という講座も同様で、例えば「英語学演習」の場合、「英語学演習Ⅰ」、「英語学演習Ⅱ」及び「英語学演習Ⅲ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語学演習Ⅰ～Ⅲ」のどの科目に充当させるかを「受講届」に記入する充当科目コードによって各自が大学に申告してください。

記入上の注意事項

- (1) 黒のボールペンを使用し、楷書で正確に記入してください。
- (2) 「受講届」提出締切後の追加、変更はできません。
- (3) 記入誤り、記入漏れによる追加変更は一切いたしません。
- (4) 次の場合、大学の判断により事務的な処理にて講座の決定を行いますので、希望講座を受講できない可能性があります。
 - ・乱雑な記入
 - ・記入誤り、記入漏れ
 - ・記入した講座コード、講座名、充当科目コードの不一致

(3) 「受講届」を提出する（提出締切日は表紙を参照）

「受講届」の記入が終わったら、申込内容の控えをとり、「受講届」を教務課に提出してください。提出方法は以下の2通りです。

ア 教務課窓口へ直接提出

教務課前に設置のポスト（白色）に投函してください。【提出期限は事務取扱時間内】

イ 郵送で提出する

「受講届」を封筒に入れ、切手貼付の上、郵送してください。【提出締切日必着】

郵送提出における注意事項

天災や郵便の遅延・未着そのほかの事故については、いかなる配慮も行いません。

「受講届」が教務課に届かなかった場合、受講ができなくなりますので、特定記録郵便・簡易書留・書留を強くお勧めします。

特定記録郵便の場合、大学での受領記録が残りませんので、「受講資格審査結果通知」が届くまで、郵送した際の受領証を必ず保管してください。紛失の場合、郵便追跡確認ができなくなります。

また、レポート等、他の書類と一緒に送付するとその間にはさまってしまい、事故の原因になります。「受講届」は単体で送付してください。

4 受講講座の変更・追加（用紙で変更を行う場合）

① 受講講座変更届の作成

受講講座の変更・追加をする場合は、本紙巻末にある「スクーリング受講講座変更届」を提出してください。

※変更・追加のために、複数の「受講届」用紙を使用した場合や他のスクーリングの「受講届」を使用した場合は、正しい申込みが判別不能となり、申込みが「無効」となりますので、決して使用しないでください。

② 記入事項

変更・追加する事項の記入を行うほかに変更前の申込講座の「スクーリング名称」、「開催期」、「講座コード」、「講座名」、「充当科目コード」及び「併用方式希望」を明記してください。また、自己の所属学部・学科（専攻）・学生番号・氏名も忘れずに記入してください。

③ 提出先・提出方法

「受講届」提出と同様です。

④ 提出締切

「受講届」提出の締切日と同一です。別途の日程はありません。

※郵送の場合は受講届の提出と同様、提出締切日までに必着です。

《記入例》

年 月 日																				
日本大学通信教育部 御中 2019年度スクーリング受講講座変更届 標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ受講講座を下記のとおり変更いたしたく、本書面をもってお願いいたします。 記 (当初の受講講座)																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">スクーリング 開催期</th> <th style="text-align: center;">講 座 コード</th> <th style="text-align: center;">講座名</th> <th style="text-align: center;">充当科目 コード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">夏期 2期</td> <td style="text-align: center;">COB2</td> <td style="text-align: center;">英語D</td> <td style="text-align: center;">C10100</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	スクーリング 開催期	講 座 コード	講座名	充当科目 コード	夏期 2期	COB2	英語D	C10100												
スクーリング 開催期	講 座 コード	講座名	充当科目 コード																	
夏期 2期	COB2	英語D	C10100																	
(変更後の受講講座) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">スクーリング 開催期</th> <th style="text-align: center;">講 座 コード</th> <th style="text-align: center;">講座名</th> <th style="text-align: center;">充当科目 コード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">夏期 1期</td> <td style="text-align: center;">COA2</td> <td style="text-align: center;">英語A</td> <td style="text-align: center;">C10200</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">夏期 2期</td> <td style="text-align: center;">COB1</td> <td style="text-align: center;">哲学</td> <td style="text-align: center;">B10700</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	スクーリング 開催期	講 座 コード	講座名	充当科目 コード	夏期 1期	COA2	英語A	C10200	夏期 2期	COB1	哲学	B10700								
スクーリング 開催期	講 座 コード	講座名	充当科目 コード																	
夏期 1期	COA2	英語A	C10200																	
夏期 2期	COB1	哲学	B10700																	
上記のとおり相違ありません。																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">学 生 番 号</td> <td style="text-align: center;">2 2 1 7 3 9 9 9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">フリガナ</td> <td style="text-align: center;">ニチ ダイ タ ロウ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">氏 名</td> <td style="text-align: center;">日 大 太 郎</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">自宅電話番号</td> <td style="text-align: center;">03-5275-8911</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">緊急時電話番号</td> <td style="text-align: center;">090-●●●●-●●●●</td> </tr> </table>	学 生 番 号	2 2 1 7 3 9 9 9	フリガナ	ニチ ダイ タ ロウ	氏 名	日 大 太 郎	自宅電話番号	03-5275-8911	緊急時電話番号	090-●●●●-●●●●										
学 生 番 号	2 2 1 7 3 9 9 9																			
フリガナ	ニチ ダイ タ ロウ																			
氏 名	日 大 太 郎																			
自宅電話番号	03-5275-8911																			
緊急時電話番号	090-●●●●-●●●●																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">教務課受付印</td> </tr> <tr> <td style="height: 50px;"> </td> </tr> </table>	教務課受付印																			
教務課受付印																				

③ スクーリング併用試験方式の確認

併用試験方式の許可・不許可について下表のとおり記載されていますので確認してください。

「併用手続」欄表示	許可・不許可	備考
○	許可	スクーリングを併用方式で受講できます。
—	不許可もしくは併用必要なし	スクーリング積み重ね方式で受講もしくはスクーリング1回のみで修得できる講座です。

※受講許可後は、一切の変更ができません。

【主な不備理由一覧】

○履修なし

受講届のみ提出している場合に表示されます。スクーリングの受講はできません。

○希望日程重複

ポータルサイトと受講届の両方で申込みを行った場合に表示されます。スクーリングの受講は可能です。

○科目修得試験方式確定

科目修得試験にすでに合格している場合に表示されます。スクーリングの受講はできません。

○修得済み

既に単位修得をしている科目の申込みを行った場合に表示されます。スクーリングの受講はできません。なお、この不備は受講届から申込みを行った場合にのみ発生します。

(ポータルサイトから申込みの場合、修得済の科目は表示されません)

2 講座振り分け及び受講不許可について

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者が定員を超えた場合、以下の①から③のいずれかで対応させていただきます。

① 超過した人数分の学生を他講師担当の同一科目講座へ振り分ける

② 新たに他講師担当の同一科目講座を増設し、超過した人数分の学生をその講座へ振り分ける

※①及び②の場合、振り分けられた講座を受講することになります。担当講師、授業内容は振り分けられた講座の内容に変更されますのでご注意ください。

③ 超過した人数分の学生を受講不許可にする

※希望した講座が受講できないことになります。また、新たに代替りの講座を申し込むこともできません。あらかじめご了承ください。

振り分けられた講座の受講を辞退する場合には、「3 許可講座を辞退する」を参照し、辞退手続きを行ってください。なお、①及び②についても受講辞退後、新たに代替りの講座を申し込むことはできません。あらかじめご了承ください。

3 許可講座を辞退する

この手続は、振込用紙を受け取った後、やむを得ない理由等により受講許可講座の全部又は一部の受講ができなくなった場合、その講座の辞退を行う手続です。

ただし、この辞退手続はスクーリング受講料等納入前であることが条件となります。スクーリング受講料等納入後に受講辞退の意思表示があったとしても受講料等は一切返還しません。

講座の辞退を行う場合には以下により手続を行ってください。

① 手続書類

以下の(1)及び(2)を教務課試験係まで提出してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> (1) 「受講申込辞退願」【各種用紙】 (2) 振込用紙 (3) 362円分郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した、長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自己の郵便番号、住所及び氏名を明記） |
|---|

※(3)は、一部の講座を辞退する場合のみ必要です。

② 手続期限 いかなる場合でも期限後は手続できません。

7月23日（火）《事務取扱時間内必着》

③ 提出先 教務課試験係

事務取扱時間内であれば窓口での提出もできます。

※この手続は他の講座への変更・追加申込みではありませんので注意してください。

VI 受講料の納入

申込講座の辞退がない場合、受講料等を期限までに納入してください。
納入がない場合、いかなる理由があっても受講はできず、成績も反映されません。

1 受講料：1講座 10,000円×受講講座数

「情報概論」のみ 13,000円（コンピュータ等実習料を含むため）

2 振込用紙発送予定日：7月16日（火）

発送予定日から5日経過しても通知が届かない場合は、至急、会計課（電話 03-5275-8925）に連絡してください。

3 納入期限：8月1日（木）

4 納入方法

2018年7月より、ATM・インターネットバンキングからも納入ができるようになりました。

大学から送付される振込用紙を使用し銀行窓口から納入、または、ATM・インターネットバンキングで納入してください。

「博物館実習Ⅰ」・「教職実践演習②」は受講料納入方法が他の講座とは異なります。

注 意 事 項

① 納入に際しての注意事項

- (1) ゆうちょ銀行窓口、会計課窓口及び郵送での納入はできません。
- (2) 振込用紙に記載された事項（納入金額等）を修正した納入は受け付けません。
- (3) ATM・インターネットバンキングで納入する場合は、173～174ページの「三菱UFJ銀行ATMでの振込のお取扱いについて」及び「三菱UFJ銀行以外のATM、各金融機関のインターネットバンキングを利用して振込を行う場合」を参照し、手続きしてください。

② その他の注意事項

- (1) 発送予定日から5日経過しても振込用紙が届かない場合は、至急会計課に連絡してください。
また、期日までに納入できない事情が発生した場合は、至急教務課に連絡してください。
- (2) 領収書（銀行領収印の押印されているもの）は、受講時及び試験時に提出を求められる場合があります。受講期間中は、学生証と共に常に携帯してください。
なおATM・インターネットバンキングからの納入については、ATMから発行される「明細書」、インターネットバンキング上の振込完了画面を印刷したものをもって領収書に代えます。
- (3) 受講料等を納入した後に、受講申込辞退の意思表示があったとしても、受講料等の返還は行いません。

三菱UFJ銀行ATMでの振込のお取扱いについて

スクーリング受講料及び年度授業料については、三菱UFJ銀行ATMでのキャッシュカード（振込金額100万円以下）および現金（振込金額10万円以下）による振込が可能となります。

大学から送付された振込用紙を持参し、以下の手順に従い振込を行ってください。

なお、三菱UFJ銀行ATMから納入いただいた場合は振込手数料が無料となります。

ATM利用手数料については、注意事項をご覧ください。

【振込手順】

1. 振込方法の選択

「お振り込み」より、現金またはキャッシュカードを選択し、キャッシュカードの場合は暗証番号を入力してください。

2. 振込先口座の選択・入力

振込用紙に記載の口座情報を選択・入力し、確認してください。

3. お振込金額の入力

今回納入する金額を入力してください。

4. 依頼人番号＝管理番号（10桁）の入力

振込用紙に記載の管理番号（10桁）を入力してください。

なお、管理番号（10桁）は振込用紙ごとに毎回異なります。

依頼人番号
管理番号(10桁)をご入力ください。

電信振 (B) 20XX年度 昼間(前期)受講料振込依頼書

依頼日	年	月	日	振込指定	電信振	手数料	円
銀行名	三菱UFJ	店舗	013	金額	20000		
お受取人	預金種目	普通預金	口座番号	0686723	内訳	現金	
	口座名	ニホンダイガクツウシンキョウウイク		内訳	当座		
	管理番号	*****		取扱期限	厳守		
	フリガナ	ニチダイ		納入期限	20XX年 X月 XX日		
	氏名	日本太郎					
	住所	〒100-0000 東京都千代田区丸の内 4-8-2					
	電話番号	03-5273-8925					

5. 依頼人名の確認及び振込実行

キャッシュカード名義が学生本人でない場合、学生氏名に変更してください。

ご依頼人(あなた様)のお名前を確認
キャッシュカードの口座名でお手続きしますよろしいですか?

はい
いいえ

銀行キャッシュカードが学生本人の名義でない場合、「いいえ」を選択

依頼人名
ご依頼人(あなた様)の氏名を押し(読み)を押してください

学生氏名(カナ)を入力

振込内容確認
内容をお確かめのうえ「確認」を押してください
訂正する場合は該当項目の「訂正」を押してください
◆電話番号が毎日の途中で変更可能な場合があります
場合は「電話番号」を訂正してください

依頼人名

「依頼人名」が、学生氏名であることを確認

6. 明細票の受取

銀行の出納印は不要です。「明細票」をもって領収書に代えますので、振込用紙とともに、大切に保管してください。

※注意事項

- ①ATM指定時間外(8:45~21:00外)のお手続や、他の金融機関のキャッシュカードによるお手続には「ATM利用手数料」がかかります。
- ②振込用紙に記載の内容を変更しての振込は受け付けられません。
- ③振込内容が複数ある場合は、1件ごとに送金してください。
- ④やむを得ずコンビニATMや三菱UFJ銀行以外の金融機関のATM及びインターネットバンキングを利用する場合は、別途「三菱UFJ銀行以外のATM、各金融機関のインターネットバンキングを利用して振込を行う場合」を参照し、手続きしてください。

【お問い合わせ先】日本大学通信教育部会計課 (電話) 03-5275-8925

三菱UFJ銀行以外のATM、各金融機関のインターネットバンキングを利用して振込を行う場合

振込用紙を参照の上、以下の内容を入力し、振込してください。

(切り取らないで銀行窓口へ提出してください)

電信扱 (B) 20XX年度 昼間 (前期) 受講料振込依頼書		3. 振込金額 振込依頼書	
2. 振込先口座		振替科目	
依頼日	年 月 日	振込指定	電信扱
銀行名	三菱UFJ	ジンボウチヨウ 神保町	店番 013
預金種目	普通預金	口座番号	0686723
お受取人	ニホンダイガクツウシンキョウウイクブ		
口座名	日本大学通信教育部		
管理番号	*****		
フリガナ	ニチダイ タロウ		
氏名	日大 太郎		
住所	〒102-8005 東京都千代田区九段南 4-8-28		
電話番号	03-5275-8925		
		振替金額	20000
		現金	
		当店券	
		他店券	
		取扱期限厳守	
		納入期限	20XX年 X月XX日
		取納印または振替印	
		(取扱銀行保管)	

管理番号・氏名の順に打電してください

(お振込時のお願い)

1. 管理番号(10桁)の部分は全て打電してください。
2. 納入期限の過ぎたものは受付できません。
3. 金額、納入期限、管理番号、氏名を訂正したものは受付できません。
4. 三菱UFJ銀行本・支店窓口及び三菱UFJ銀行ATMご利用の場合、振込手数料は無料となります。

1. 管理番号(10桁), 依頼人名

1. 管理番号(10桁), 依頼人名

管理番号(10桁)を入力した後、学生氏名を入力してください。

なお、「管理番号(10桁)」は振込用紙ごとに毎回異なります。

2. 振込先口座

振込先の講座情報を選択・入力し、確認してください。

3. 振込金額

今回納入する金額を入力してください。

例) 上の振込用紙の内容を振込する場合は、以下のとおり入力することとなります。

依頼人名 : *****ニチダイ タロウ

(振込用紙記載の10桁の管理番号を入力した後、学生氏名を入力)

振込先 : 三菱UFJ銀行 神保町支店 普通 0686723 日本大学通信教育部

振込金額 : 20,000円

※注意事項

- ①銀行の出納印は不要です。振込完了後、ATMから発行される「明細票」(インターネットバンキングの場合は振込完了の画面を印刷したもの)を大切に保管し、受講期間中は学生証と共に常に携帯してください。
- ②振込用紙に記載の内容を変更しての振込は受け付けられません。
- ③振込内容が複数ある場合は、1件ごとに送金してください。
- ④振込に係る手数料は、全て依頼人(学生)の負担となります。

【お問い合わせ先】日本大学通信教育部会計課 (電話) 03-5275-8925

1 使用教材の入手

スクーリングは集中講義形式の授業ですので予習なしでの受講は学修効果が期待できません。受講許可後、本誌のシラバス（教科書、参考書）で使用教材が、『通信教育教材』か『市販教材（市販本）』かを確認の上、以下の要領で教材を入手してください（教科書等の価格・送料はシラバスに記載されています）。教材購入方法の見分け方は、後掲の「③教材入手方法の見分け方」を参照してください。

注 意 事 項

既に所持している『通信教育教材』であっても、教材改訂によりシラバスに記載されている「教科書」や「参考書」と異なる場合がありますので、科目名のみによらず、シラバスに掲載されている「教材コード」と所持する『通信教育教材』の教材コードとを照合し、不一致の場合は、教材を入手してください。

なお、教材購入後の変更・取消及び費用の返還はできませんので注意してください。

① 使用教材が『通信教育教材』の場合

通材印が付されている教材は、本誌「各種用紙」の「教材配本申請書」を使用し配本申請又は「教材購入願」を使用し購入してください。既に今回の使用教材を入手している場合は、改めて「教材配本申請書」又は「教材購入願」によって入手する必要はありません。教材の送付先は、すべて大学に登録されている各自の住所への発送となります。教材が手元に届くまでは手続完了後、約1週間を要しますので、受講許可を確認した後、速やかに手続を行ってください。

なお、『通信教育教材』について不明な点は、研究事務課（電話 03-5275-8890）にお問い合わせください。

② 使用教材が『市販教材（市販本）』の場合

『市販教材（市販本）』は、一般書店で購入してください。住居地周辺の書店で購入できない場合、**丸沼**印のついている本については、丸沼書店で購入できます。

（書店名）（株）丸沼書店

（所在地）〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-8-12

（電 話）03-3261-4540

（FAX）03-3261-0118

（営業時間）9：00～20：00（日曜日は10：00～19：00）

（購入方法）直接店頭（220ページを参照）で購入のほか以下（1）～（3）の方法で通信販売も可能です。

（1）代金引換払（手数料460円が別途かかります）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、上記あてに郵送又はFAXをしてください。

（2）為替（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額分の定額小為替又は普通為替を同封して上記宛に郵送してください。

（3）現金書留（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額を同封して上記宛に郵送してください。

不明な点は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

『市販教材（市販本）』の価格・送料は『手引』作成時の金額です。改訂等により金額が変わる場合があります。あらかじめご了承ください。

2 「休暇依頼状（勸奨状）」と「出席証明書」の発行

① 休暇依頼状（勸奨状）

休暇依頼状は、スクーリングに出席するために勤務を休む必要がある場合に、大学から勤務先に対して発行するものです。日本大学通信教育部長名でスクーリングの開講期間等を明記した「休暇依頼状」と、公益財団法人 私立大学通信教育協会長名で通信教育の主旨等を記載した「勸奨状」の2通を発行します。なお、発行はスクーリングの受講許可後となります。

休暇依頼状（勸奨状）希望者は、送付先を明記した返信用封筒（長形3号・82円切手貼付）を添えて、本誌「各種用紙」の「休暇依頼状（勸奨状）申込書」により庶務課宛てに申し込んでください。

② 出席証明書

勤務先にスクーリングに出席したことを証明する書類が必要な場合には、大学として「スクーリング出席証明書」を発行します。ポータルサイトの「資料・申請書」からのダウンロード又は本誌巻末の「証明書交付願」を使用し、教務課宛てに申し込んでください。「出席証明書」の発行は、講義日程が終了した後となります。窓口で申し込む場合は、返信用封筒（長形3号・82円切手貼付）を添えてください。郵送での申し込みは、約10日間の日数を要します（手数料は1通につき300円）。

3 通学定期券の購入（通学証明書の発行）

通学定期券は、正科生（教職生含む）がスクーリング受講を目的とし、スクーリング期間中、乗車券にて通学するより、定期券で通学する方が安価な場合に限り購入できます。通学定期券購入の手続き等は、以下のとおりです。

学生証裏面シールへの記入	<ul style="list-style-type: none"> ①「学生番号」、「氏名」、「現住所」を黒のボールペンで記入してください。 ②「通学区間」欄に対象区間及び経由（乗り換え駅）を記入してください。また、定期券が2枚に分かれる場合は2行に分けて記入してください。
必要書類 学生課窓口にて記入	<ul style="list-style-type: none"> ①通学定期乗車券発行控<全員必要> ②通学証明書<都営地下鉄、都電、各路線バス等を利用する場合及び水道橋キャンパスに通学する場合に必要> ③滞在先届<スクーリング期間中に現住所以外から通学する場合に限り必要>
対象区間	自宅（又は滞在先）の最寄駅から以下「通信教育部最寄駅」までの最短経路
購入手続き	<ul style="list-style-type: none"> ①学生証及び「スクーリング受講許可通知書」持参で事務取扱時間内に学生課窓口にて、所定の用紙に記入の上、「経路確認」印の押印を受けてください。 ②通学定期券取扱駅の窓口にて定期券購入用紙に必要事項を記入し、押印済の学生証を提示することで通学定期券が購入できます。
その他注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ①通学区間が変更となった場合は、学生課に届け出てください。 ②年度内に「通学定期乗車券発行控」欄が不足となった場合は、学生課へ届け出てください。 ③「経路確認」印は、スクーリング期間内に限り有効です。 ④科目履修生は対象外です。

<通信教育部最寄り駅>

鉄道会社	最寄り駅（市ヶ谷キャンパス）	最寄り駅（水道橋キャンパス）
JR東日本	市ヶ谷駅	水道橋駅
都営地下鉄	市ヶ谷駅（新宿線）	水道橋駅（三田線） 神保町駅（三田線・新宿線）
東京メトロ	市ヶ谷駅（有楽町線・南北線）	後楽園駅（丸の内・南北線） 神保町駅（半蔵門線）

※最短経路とは所要の時間が最短，交通費が最安，乗換が最少である等の合理的な経路のことをいいます。

※途中経路や迂回経路は一切認められません。

注意事項

通学定期券を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると，鉄道会社等の営業規則に基づき定期運賃の数倍の罰則金等が科せられます。また，大学自体も通学定期券発行の指定から外され，他の学生に多大な迷惑をかけることになります。不正使用は絶対に行わないでください。

【不正使用例】

①通学以外の目的で使用すること。	③記名人以外が使用すること。
②現住所及び通学区間を偽ること。	④他人に譲渡・貸与すること。

4 「学割証」の発行について（長距離区間乗車時の学生割引制度）

「学割証」は，科目修得試験やスクーリング等の大学所定の行事に出席するため，片道101kmを超えて鉄道・バス等を利用する場合に限り，使用することができます。

申込方法	巻末の「学割証交付願」に必要な事項を記入し，学生課まで郵送又は大学窓口のいずれかで申し込んでください。郵送の場合は，返信用封筒（82円切手貼付，宛名明記）を同封してください。
発行条件	以下の全項目に該当すること ①正科生（教職生含む）であること。 ※科目履修生は対象外 ②科目修得試験やスクーリング等の大学所定の行事に出席することが目的であること。 ③JR各社の鉄道又はバスを使用すること。 ※JR以外の会社における学割証の適応の可否は，当該会社に各自で問い合わせてください。 ④乗車距離が片道101km以上であること。
割引額	普通乗車券運賃の2割（特急券・指定券は割引対象外）
乗車日（有効期間）	乗車日は当該行事初日の10日前から最終日の5日後までの間で選択できます。学割証には交付願に記載された乗車日が「有効期間」として記載されますが，この「有効期間」とは乗車券を購入できる期間のことです。その期間内でなければ，乗車券は購入できません。
発行枚数	原則として1枚（1枚で往復が購入できます）。 ただし，毎日通う場合等は往復乗車券購入枚数分の学割証を発行します。

	片道の距離(km)	200km まで	400km まで	600km まで	800km まで	1000km まで
	有効期間	4日間	6日間	8日間	10日間	12日間
往復乗車券 有効期間	<p>※学割証の申請枚数は、目的地までの距離と滞在期間によります。例えば、名古屋在住の方が、東京で開講されるスクーリング（3日間）を受講するのに、東京～名古屋間（366km）の学割を申請する場合、有効期間は6日間となり、往復1枚の申請で済みますが、有効期間を越えて乗車する場合は片道乗車券を2枚購入することになり、学割証も2枚必要です。</p>					
発行所要期間	<p>各行事ごとに定められた発行開始日以降、「学割証交付願」を受理してから2日後（事務取扱休業日を除く）に発行します（即日発行はできません）。郵送の場合も同様で、受付日の2日後にポストに投函しますので、郵送に係る日数を考慮して申し込んでください。</p> <p>※急ぎの場合は速達で郵送し、返信用封筒も362円分の切手を貼ってください。また、「郵送料>割引額」とならないように注意してください。</p>					
購入方法	<p>JR各駅の窓口で、学割証及び学生証を提示することにより、学生割引の切符（乗車券）が購入できます。</p>					

<発行開始日>

スクーリング名	日 程	発行開始日
夏期スクーリング 第1期	8月7日（水）～9日（金）	7月16日（火）
夏期スクーリング 第2期	8月10日（土）～12日（月）	
夏期スクーリング 第3期	8月13日（火）～15日（木）	
夏期スクーリング 第4期	8月16日（金）～18日（日）	
夏期スクーリング 第5期	8月19日（月）～21日（水）	

注意事項

学割証を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、学割証の発行が停止されるだけでなく、鉄道会社等の営業規則に基づき使用区間普通運賃の数倍の追徴金が課せられます。また、大学に対しても割引特典取り消し等の処分がなされ、他の学生に多大な迷惑をかけることになるため、不正使用は絶対に行わないでください。なお、学割証を使用しなかった場合は、必ず学生課まで返却してください。

【不正使用例】

①記載事項を改変すること。	④購入した乗車券を他人に譲渡すること。
②記名人以外が使用すること。	⑤鉄道会社等の規則に違反して使用すること。
③有効期間外に使用すること。	⑥その他、不正に使用すること。

◆よくある質問

Q 1. 複数のスクーリングで学割証を利用する場合は、巻末の「学割証交付願」も複数必要ですか？
→A 1. 複数必要です。返信用封筒も複数必要な場合があるので、学生課に問い合わせてください。

Q 2. スクーリングに毎日（8月7日～9日の3日間）通学しますが、乗車日はどう記入すれば良いですか？
→A 2. 乗車日欄に行8月7日，帰8月9日と記入し，必要枚数欄に3枚，理由欄に「毎日通学します。」と記載してください。

VIII 受講及び試験

1 講座の受講

- ① スクーリングは全日程への出席が成績評価の前提となります。遅刻、欠席のないように準備してください。
- ② スクーリング受講の際は「学生証」及び「振込用紙（銀行領収印の押印されているもの）」を必ず携帯してください。

2 試験の受験

試験は最終日に実施されます。特に大学が指定する科目や担当講師から特別の指示のあった科目の試験は、教室・時間を別に定めて実施します。試験の実施に関する指示は掲示、又は授業中に告知します。なお、スクーリング試験を受験できなかったり、不合格になった場合でも、追・再試験は実施しません。その他注意事項を次に挙げます。参照してください。

「スクーリング試験」受験上の注意

- 1 「学生証」及び「領収書（銀行領収印の押印されているもの）」を机上通路側の試験監督者が見やすいところに置くこと。受講手続及び受講料納入がない場合、受験できない。
- 2 「学生証」を忘れた場合又は未更新の場合は、事前に教務課（講師室）に申し出て指示を受けること。
- 3 携帯電話等は一切使用を禁止する。試験場内では電源を切ること。また、時計・電卓としての使用も禁止する。
- 4 持ち込みを許可されたもの以外は机の上に置かないこと。
- 5 解答用紙は、1人1枚とし、再交付はしない。
- 6 解答用紙の下段、太線枠内※印の事項については、必ずペン又はボールペンで記入すること。当該事項について記載がない場合又は誤記等は採点の対象にならない場合がある。
- 7 試験開始後 20 分以上遅刻した者は受験することができない。
- 8 途中退室は、試験監督者の指示がある場合に限り、試験開始 30 分後から認める。解答用紙を試験監督者に提出して退室すること。なお、用紙の持ち帰りは一切認めない。
- 9 試験場では、試験監督者の指示に従うこと。
- 10 不正行為（不正とみなされる行為含む）は絶対行わないこと。不正行為を行った場合は、学則により処分（停学・退学等）される。

※試験中の参照物等の貸し借りは不正行為とみなす。

3 スクーリング結果の確認

スクーリングの結果は、2019年度授業料及びスクーリング受講料を納入した学生に対し、ポータルサイトでお知らせします。ただし、スクーリングの申込みを「受講届」にて行った場合には、教務課から、結果通知を郵送します。ポータルサイトから申込みを行った場合には送付されませんので、あらかじめご了承ください。掲載の開始はポータルサイトの「お知らせ」に掲載します。

電話・郵便による問い合わせには一切応じることができません。また、スクーリング結果通知の再発行はいたしません。天災による郵便の遅延・未着や、その他の事故に対していかなる配慮も行いませんので、スクーリング結果通知を紛失した場合などはポータルサイトで確認、又は「単位照合票」の交付を受け、確認してください。

結果内容に疑義がある場合は、結果通知日から3ヶ月以内に教務課まで問い合わせてください。なお、それ以降の疑義に関しては対応いたしません。

結果発表時期	9月上旬
--------	------

① 結果の表示

結果は、「合格」、「不合格」又は「未受講」で発表します。

「未受講」の場合は、成績評価に一切算入しません。

※受講許可のない講座を受験した場合には「無効」とし、単位は修得できません。

② 単位数

結果が「合格」の場合、開講単位（1単位又は2単位）のスクーリング単位を修得したことになります。「講座内容（シラバス）」に記載されている単位数が、それぞれの科目（講座）のスクーリング単位数です。

スクーリング併用試験方式で受講が許可されている場合、スクーリングの合格及び提出されたりレポートが全て合格した時点で科目の所定単位の修得が認められますが、スクーリング単位はあくまで「講座内容（シラバス）」に記載された単位数での修得となります。そのため併用試験方式による受講であっても、単位数欄は、所定単位ではなく、スクーリング単位が表示（記載）されます。

Ⅸ 受講期間中の学生生活

クールビズについて

地球温暖化対策の取組として、日本大学通信教育部ではクールビズを推進しています。

これにより、教室内は冷房の設定温度が高めになりますので、各自、服装の調節や水分補給等に心がけ、体調管理に留意してください。

ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

なお、教職員も軽装（ノー上着、ノーネクタイ、半袖ワイシャツ等）とさせていただきますのでご了承ください。

- 1 館内の冷房の温度を 28℃に設定します。
- 2 学生ホール、廊下及び事務室の照明を一部消灯します。

1 受講にあたっての諸注意

① 学生証の携帯

「学生証」は学生としての身分を証明するものであり、常に携帯している必要があります。また、スクーリングの受講、「通学定期券」購入等の際にも必要になります。

② 健康保険証の携帯

スクーリング受講中は、万一の病気や事故に備えて、「健康保険証」（又は「保険証」に代わる「資格証明書」）を必ず携帯してください。

③ 掲示板の閲覧

スクーリング期間中は、実施校舎の掲示板に重要な事項について掲示します。授業、卒業論文指導の日程、各種行事等についての変更、注意事項を伝達する場合は、スクーリング実施校舎に掲示します。来校の際は必ず確認してください。

④ 貴重品等の管理及び紛失に関する注意

衣類、カバン、学生証、教材及び貴重品等各自の所持品を身辺から手放さないように注意してください。大学の施設内であっても、校舎内には学外者の往来も多数あり、係員の監視が十分に行き届かない場合があります。盗難や紛失には十分注意してください。

なお、盗難や紛失があった場合には、速やかに学生課まで申し出てください。

⑤ 紛失及び落とし物の拾得

校舎内で所持品を紛失、あるいは他人の落とし物を拾得した場合には、速やかに学生課まで届け出てください。届けられたものは学生課で保管します。

⑥ 自動車・オートバイ等の車両による通学の禁止

スクーリング実施校舎周辺は、駐車・駐輪できる場所がありません。また、無断で駐車・駐輪すると違反になるばかりでなく、近隣の方の迷惑になるので、公共の交通機関を利用してください。なお、自転車による通学も禁止です。

⑦ インフルエンザ等感染症予防について

大学では、様々な地域・年齢層の学生が出入りしており、スクーリング等でのインフルエンザ等の集団感染が危惧されます。

学生の皆さんは、日常生活での手洗いの励行、うがい等の予防策を徹底し、互いに感染を予防する気構え、行動が必要です。万が一感染してしまった場合、感染症の種類によっては出校停止となる場合もありますので、速やかに学生課へ連絡し、状況に応じて病院での受診や自宅療養をとる等の対策を講じてください。

⑧ その他の注意事項

- (1) 授業中の教室の出入り及び授業中の廊下の往来は静粛にすること。
- (2) 所定以外の場所には立ち入らないこと。
- (3) 所定場所以外での喫煙（教室内喫煙，歩行喫煙及び吸い殻の投げ捨て等）は禁止。
- (4) 授業中及び試験中は携帯電話等の電源を必ず切ること。
なお，試験中は時計としても使用不可。
- (5) 体調が悪い場合は，保健室（開室時間や場所は掲示板で確認）へ申し出ること。

2 「千代田区生活環境条例」について

千代田区では、歩きタバコや吸いガラ・空き缶などのポイ捨てを禁止する「生活環境条例」が施行されています。

JR市ヶ谷，JR水道橋及びスクーリング実施校舎周辺は、「路上禁煙地区」及び「環境美化地区」に指定されています。スクーリング受講生は，条例を遵守してください。

3 緊急時の避難行動の指示について

学事日程に従いスクーリングを開講しておりますが，授業中に起きる不測の事態に備え，身の安全が確保できるよう，以下のとおりの対応について行動方針を示しますので，熟読の上，ご理解ご協力をお願いいたします。

① 学生の服装について

突発的な災害に備え，学生は普段から身を守る服装を心がける。

※例えば，帽子，長袖，安全な靴，タオルやマスク，学生証（身分証明書）の携帯など。また日頃から自分で準備しておくの良い物（懐中電灯，自宅までの帰宅経路の地図，携帯ラジオ等）を携帯していることが望ましい。

② 避難について

(1) 地震発生時

ア 地震が発生し，教室内で強い揺れを感じた場合は，机の下に隠れ，身を守る姿勢を取る。

イ 教室外の場合は，その場で，頭を保護し，揺れに備えて身構える。釣り下がっている照明・機械等の下からは退避する。

(2) 避難時

ア 強い揺れが収まった場合、担当教員の指示に従い非常口などからあわてず整然とすみやかに避難場所に避難する。

イ 救援を必要とする者がいる場合、状況により救護活動を行う。

ウ 緊急一斉放送が入った場合にはその指示に従う。

※緊急放送例：「揺れが収まりました。身の回りの安全を確認し落ち着いて行動してください。」

—あわてて出口、階段に殺到しないように心掛けること。—

(3) 避難場所

避難場所では、担当教員又は職員が学生の安否確認を行うので、確認しやすい安全な場所で待機をしていること。

(4) あわてて帰宅をしない

強い地震の後には大きな余震が予測されるため、周囲の状況（何が起きたのか）、被害情報、余震情報、交通機関の運行情報等によって判断し、帰宅が困難な場合には避難場所で待機する。状況によっては一晩待つこともあり得る。

また、必要に応じて千代田区指定の帰宅困難者支援場所に移動する。

通信教育部の在學生で既に修得した科目の受講を希望する場合もしくは社会人等（卒業生を含む）で受講を希望する場合、オープン受講の申込をすることで受講することができます。下記、流れに従い、手続きを行ってください。

項目	手続内容
・『手引』入手 ・受講科目選択	・『手引』を読み、受講講座を決定する。 ※シラバスにて、「オープン受講：不可」と記載がある場合は、受講することはできません。
受講希望の講座を申し込む	・受講を希望する講座を本誌巻末の「オープン受講届」に記入し、教務課へ提出する。 ※表紙記載の締切日に注意してください。 【申込に必要な書類等】 ①スクーリングオープン受講届（本誌巻末） ②身分証明書コピー（学生証、運転免許証等）
受講資格審査	・各講座の申込者数等確認し、受講に支障がないか教務課にて資格審査を行う。 ・在學生は、受講予定の科目を現学籍で修得済みでない場合、オープン受講は許可されません。
許可通知書兼納金票の受け取り	・受講許可者に、「受講許可通知書兼納金票」を郵送します。 なお、受講学生の調整等により、「受講許可通知書兼納金票」が発送予定日より遅れる場合があります。あらかじめご了承ください。
受講料の納入	①窓口で手続きを行う場合 納金票と共にスクーリング受講料を会計課窓口にて現金で納入してください。 ②郵送で手続きを行う場合 (1)定額小為替または普通為替で納入する場合 納金票と共に簡易書留にて教務課宛に郵送してください。その際、返信用封筒（住所・氏名を明記の上、82円切手貼付）を同封してください。 (2)現金で納入する場合 納金票と共に現金書留便にて会計課宛に郵送してください。その際、返信用封筒（住所・氏名を明記の上、82円切手貼付）を同封してください。 ※受講料未納者は受講できません。
使用教材の入手	・シラバスを参照し、許可された講座の教材を入手する。
授業開始	・各スクーリング会場で、講堂表を確認した上で、それぞれの講堂で受講する。 ※成績の評価は行わず、単位は付与しません。

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

- ・履修届
- ・夏期スクーリング受講届
- ・「博物館実習Ⅰ」受講届
- ・オープン受講届（在学生用）
- ・オープン受講届（社会人等（卒業生用））
- ・スクーリング受講講座変更届
- ・夏期スクーリング受講申込辞退願
- ・教材配本申請書
- ・教材購入用紙（丸沼書店用）
- ・教材購入願（通信教育教材用）
- ・通学定期乗車券発行控
- ・学割証交付願
- ・証明書交付願
- ・休暇依頼状（勸奨状）申込書

「為替」送付時の注意事項

「証明書交付願」「教材購入願」等の各種手続において、手数料等を郵送にて「定額小為替証書」又は「普通為替証書」で納入する場合には、以下のことに注意してください。

なお、「定額小為替証書」又は「普通為替証書」をゆうちょ銀行又は郵便局窓口で購入する際は、手数料がかかります（詳細は郵便局窓口でご確認ください）。

注意事項①
「証書」と「払渡票」は切り離さないでください。

見本表	定額小為替証書	定額小為替払渡票
	01234-567890	01234-567890
	指定受取人 おなまえ	300円
	おとこ おなまえ	300円
	発行日付印	発行日付印

注意事項②
これらの欄には何も記入しないでください。

「普通為替証書」も同様に、何も記入しないでください。

注意事項④
この欄には何も記入しないでください。

注意事項③
為替の有効期間は発行日から6か月以内ですが、金融機関への手続き等があるため、有効期間が2週間以上残っているものを送付してください。

見本裏	ご 注 意
	<ol style="list-style-type: none"> この証書をお受取人に送られる際は、表面の指定受取人欄にお受取人のおなまえをご記入下さい。なお、お受取人の指定がない証書については、証券の持受人に為替金をお支払いすることとし、これにより生じた損害については、当行及び郵便局株式会社（郵便局株式会社）が委託した者を含みます。は責任を負いません。 この証書は、他の銀行等の銀行の定める金融機関以外の銀行に振り出すことができません。 当行または当行と同一の手形交換所に参加している他の銀行等の金融機関にお受取人のご名義の口座をお持ち等の場合、同日中の振金への入金等を行うことができます。なお、証書の発行日から一定期間経過後は、このお取扱いができません。 為替金をお受け取りになるときは、表面の所定の欄におとこ、おなまえを記入し、押印またはご署名をしてください。 為替金をお受け取りを代理の方に委任される場合は、委任欄に代理の方のおなまえと委任者（お受取人）のおとこ、おなまえを記入し、押印を押してください。 代理の方がお名義をお受け取りになるときは、表面の所定の欄に「〇〇〇〇代理人」のように肩書をつけて、代理の方のおとこ、おなまえを記入し、押印を押してください。 ゆうちょ銀行または郵便局内では、お名義をお支払いする際、お受取人ご本人であることを確認させていただくため、運転免許証または健康保険証等の書類のご提示をお願いすることがあります。なお、代理の方が為替金をお受け取りになる場合は、代理の方の書類のご提示をお願いすることや、お受取人と代理の方両方の書類のご提示をお願いすることがあります。 発行の日から6か月以内に為替金をお受け取りにならないときは、お申請により証書を再交付いたします。なお、発行の日から5年間が過ぎた場合は、再交付の請求を請求する権利及び為替金を受け取る権利がなくなります。
	委任欄
	(代理人) おなまえ 上記の者を代理人としてこの証書の金額を受け取ることを委任します。 (委任者) おとこ 干 おなまえ

注意事項⑤
右「受領書」は送付せず、各自で保管してください。郵便事故等で「為替」が行方不明になった場合、この「受領書」が必要になりますので、各種手続が完了するまで大切に保管してください。

見本表	定額小為替金受領証書
	01234-567890
	300円
	料金 100円
	発行日付印

(お客さま控)

(お客さま控)



提出年月日	年	月	日
-------	---	---	---

履修届

履修登録年度	年度
--------	----

学生番号	フリガナ氏名	電話番号 <small>(必ず連絡のとれる電話番号を記入すること)</small>
------	--------	--

	科目コード	科目名	単位
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			

記入例	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

	科目コード	科目名	単位
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

合計	単位	←	年間 48 単位まで登録できます。 教職生および2 年以上の教職コース登録者は 年間 60 単位まで登録できます。
----	----	---	---

□内をすべて記入してください。

夏期S

年 月 日作成

2019年度夏期スクーリング受講届

開講期	講座コード	講座名	充当科目コード
1期			
2期			
3期			
4期			
5期			



- 提出締切日 〔2019年6月28日(金)〕 窓口提出：事務取扱時間内
郵送提出：必着
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- **これは、夏期スクーリングの受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。
- 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。
必ず、履修登録を行ってください。
- スクーリング併用試験方式は条件を満たしている場合、自動的にスクーリング併用試験方式になります。

学 生 番 号	
フリガナ	
氏 名	
自宅電話番号	
緊急時電話番号	

教務課受付印

2019 年度「博物館実習 I」受講届

下記のとおり、「博物館実習 I（学内実習）」【8月13日（火）～15日（木）】の受講を申し込みます。

学部・学科・学年	学部		学科 専攻 ()	年
学 生 番 号				
氏 名				
連絡先電話番号				
メールアドレス				
博物館実習Ⅲ（館務実習）実習館の受入状況	実習館の受入状況	決定	申込中	未定
		※決定者は実習館・実習期間も記入のこと ※未決定者は現在の状況や、今後の予定（構想）等を備考欄に記入のこと		
	実習館名			
	実習期間	月 日	～	月 日
必要単位修得後 (いずれかに☑)	<input type="checkbox"/> 卒業希望 (年 月)		<input type="checkbox"/> 退学予定	
備 考				

受講届提出締切 2019年6月28日（金）必着

【注意】

- ・「博物館実習 I」の受講手続は、ポータルサイトからは申込できません。
本紙で申し込みをしてください。
- ・別途、履修登録が必要です。

履修登録	ポータルサイト	履修届（用紙）
締 切 日	6月28日（金）24時（厳守）	郵送：6月28日（金）必着 窓口：6月28日（金）事務取扱時間内必着

- ・その他、受講条件及び諸注意事項は、「夏期スクーリングの手引」3ページを参照してください。

スクーリングオープン受講届

下記のとおり、スクーリングのオープン受講を希望します。

学部・学科	学部	学科 専攻（ ）
学 年	年	学生番号
フリガナ		
氏 名		

【希望スクーリング】

スクーリング種別	開催地	
講座名	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
受講希望理由		

学生証コピー貼付欄

【提出書類】

- スクーリングオープン受講届
- 学生証コピー

教務課受付印

スクーリングオープン受講届

下記のとおり、スクーリングのオープン受講を希望します。

卒業時 学部・学科	学部	学科 専攻（ ）	学 外
住所等	〒 - - - - - Tel: - - - - -		
フリガナ			
氏 名			

【希望スクーリング】

スクーリング種別		開催地
講座名	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
受講希望理由		

身分証明書コピー貼付欄

【提出書類】

- スクーリングオープン受講届
- 身分証明書コピー

教務課受付印

※ 身分証明書として「マイナンバーカード」は、原則として使用できません。不明な点は、確認してください。

年 月 日

日本大学通信教育部 御中

2019年度スクーリング受講講座変更届

標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ受講講座を下記のとおり変更いたしたく、本書面をもってお願いいたします。

記

(当初の受講講座)

スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目 コード

(変更後の受講講座)

スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目 コード

上記のとおり相違ありません。

学 生 番 号							
フリガナ	-----						
氏 名							
自宅電話番号							
緊急時電話番号							

教務課受付印

--

併せて提出するもの

全講座辞退	⇒振込用紙
一部講座辞退	⇒振込用紙 返信用封筒（長形3号，362円切手貼付）

年 月 日

日本大学通信教育部 御中

2019年度夏期スクーリング受講申込辞退願

1 学 生 番 号 _____

2 氏 名（フリガナ） _____

3 連絡先電話番号 _____

- 4 辞 退 内 容 全講座辞退
 (□にチェック) ⇒ 振込用紙記載講座すべてを辞退する場合
- 一部講座辞退
 ⇒ 振込用紙記載講座の一部を辞退する場合，辞退講座のみを
 以下へ記入

期	講座コード	講座名
1期		
2期		
3期		
4期		
5期		

5 辞退理由（詳述）

※ **提出期限【教務課必着】7/23（火）** ※提出期限以降の辞退手続きはできません。

※ 振込用紙と一緒に送付すること。

※ **この「辞退願」は「2019年度夏期スクーリング」専用です。**他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので，各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 一部講座辞退の場合，362円分の郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料を貼付した長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自分の郵便番号・住所・氏名を明記）を同封すること。

※ **辞退手続きは1回しかできません。**

教務課受付印	会計課受付印

配本申請（無料）

年 月 日

日本大学通信教育部 御中
 （提出先：研究事務課）

教材配本申請書

学 生 番 号	氏 名
連絡先電話番号	- -

（太線枠内にボールペンで記入してください）

No	教材コード (科目コードではありません)	教材名	配本 単位数
1	0 0		単位
2	0 0		単位
3	0 0		単位
4	0 0		単位
5	0 0		単位
6	0 0		単位
7	0 0		単位
8	0 0		単位
9	0 0		単位
10	0 0		単位
合 計			単位



ポータルサイト「教材発送照会」の「配本申請」から申請できます。
 ポータルサイトから申請できない方は、この用紙を使用してください。

- ※年度内2回まで、計32単位分まで教材の申請ができます。
- ※科目履修生は申請できません。「教材購入願」にて購入してください。
- ※消えないボールペンを使用し、記入してください。
- ※書ききれない場合には、用紙をコピーして2枚用いてください。
- ※「教材コード」は『教材要綱』、『各種スクーリングの手引』で確認し、記入してください。「教材コード」と「科目コード」は異なりますので注意してください。
- ※2冊組教材はセットコードを記入してください。
- ※スクーリング等で指定する丸沼表記の教材は、対象外です。

事務局使用欄

教材入手の手続き

1 教材の入手方法について

通信教育部で扱う教材は、「通信授業」（在宅学修）を目的とした教材です。
一部のスクーリング等で、通信教育教材（**通材**と表記）を使う場合も、対象となります。
通信教育部で扱う教材の入手方法は、2通りあります。
なお、教材コード・販売価格等は『ポータルサイト』・『スクーリングの手引』に掲載されます。

① 「教材配本申請書」による配本（無料）

正科生のみ対象となります。年度内2回まで合計32単位分まで申請できます。
所定の「教材配本申請書」で申請してください。
一度提出した書類の追加・変更はできません。
ポータルサイトの「教材発送照会」画面の「登録（配本）」からも申請できます。

② 「教材購入願」による購入（有料）

教材を有料で購入することができます。
科目履修生の教材入手や、「教材配本申請書」の回数・単位数の上限を超えた場合、その他の理由で教材を入手したい場合には、有料で購入することができます。
教材を購入する場合、「教材購入願」に必要事項を記入し、次の手続により購入してください。
ポータルサイトの「教材発送申請・照会」画面の「教材購入（有料）」からも用紙を作成・出力できます。

(1) 窓口の場合

会計課窓口にある「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口で手続をしてください。

(2) 郵送の場合

『スクーリングの手引』巻末の「教材購入願」に必要事項を記入し、費用と併せて会計課に郵送してください（「教材購入願」裏面の注意事項を確認してください）。

※ 「教材購入願」による教材購入の場合、通信教育部の規定により送料が含まれるため、本体価格より高額になります。お近くの書店でお求めになることをお勧めいたします。

なお、市販本のISBNは教材要綱（ポータルサイトにも掲載）で確認できますので、書店での購入の際にご活用ください。

2 注意事項

- ① 教材は「通信教育部教材」に限り購入できます。スクーリング等で指定する市販教材（**丸沼**表記の教材）は、対象外です。
- ② 手続後の変更・取消し、納入金額の返還はできません。
- ③ 印刷教材は、大学登録住所あてに送付します。教材が手元に届くまで約1週間を要しますので、余裕をもって手続をしてください。
- ④ 窓口での教材のお渡しはできません。

教材購入用紙 (丸沼書店用)

市販教材 (市販本) 購入用

※**丸沼**印の教材を郵送にて購入の際は、この用紙で申し込んでください。
 詳細は、「使用教材の入手」のページを参照してください。

(送付先) 丸沼書店

2019年度 夏期スクーリング			
申 込 日	2019 年 月 日		
科 目 名	書 名	教材費 (税込)	送 料
小 計		円	円
合 計		円	
購入方法 (いずれかに○)	①代金引換 ②定額小為替・郵便為替 ③現金書留		

※下記の住所、氏名の欄は返信用に使用しますのではっきり書いてください。

送 り 先	住 所	〒 ー
	氏 名	
	電 話 番 号	()

※この用紙で『通信教育教材』は購入できません。
 ※不足する場合は複写の上、使用してください。

購入方法は裏面を参照してください。

【購入方法】

(1) ～ (3) の方法での購入も可能です。

(1) 代金引換払（手数料 460 円が別途かかります）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上，下記宛に郵送又は FAX をしてください。

(2) 郵便為替（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格 + 送料の合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を同封して下記へ郵送してください。

(3) 現金書留（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格 + 送料の合計金額を同封して下記へ郵送してください。

不明な場合は，丸沼書店に直接問い合わせてください。

※送料について

送料は書籍の総重量で変わります。それぞれの書籍の組み合わせにより送料が異なりますので，郵便為替・現金書留の場合，ご注文各書籍の送料の合計をお送りください。余った送料については，ご返金いたします。また，代金引換払の場合，書籍代 + 送料（実費） + 手数料（460 円）を受取時にお支払いください。

（書 店 名）（株）丸沼書店

（所 在 地）〒 101 - 0061

東京都千代田区神田三崎町 2-8-12

（電 話）03 - 3261 - 4540

（F A X）03 - 3261 - 0118

（営業時間）9：00 ～ 20：00（日曜日は10：00 ～ 19：00）

通 材

年 月 日

日本大学通信教育部 御中
(提出先：会計課)

教材購入願 (通信教育教材用)

学 生 番 号	氏 名	フリガナ
連絡先電話番号		- -

(太線枠内にボールペンで記入してください)

	教材コード	科 目 名	金 額	スクーリング種別 講 座 名
1	0 0 0			
2	0 0 0			
3	0 0 0			
4	0 0 0			
5	0 0 0			
6	0 0 0			
合計科目数		合計金額		
_____ 科目		_____ 円		



- ※ボールペンで記入してください。
- ※「教材コード・科目名・金額」は『ポータルサイト』・『スクーリングの手引』で確認し、必ず記入してください。
「教材コード (6桁)」と「科目コード」は異なりますので、注意してください。
- ※「スクーリング種別・講座名」にはスクーリング・メディア授業において『通信教育教材』を使用する場合にのみ記入してください。
- ※『スクーリングの手引』における各講座の教科書 (参考書) 欄で指定されているもの、例えば、「**通材**『政治学 B11700』通信教育教材 (教材コード 000279)」と記載されている教材を購入する場合は「政治学」を科目名として記入してください (受講科目ではなく指定された教材の科目名を記入)。

会計課領収印

「通信教育教材」の購入について

『通信教育教材』は「配本申請」又は「教材購入」で入手できます。

「教材購入」をする場合、「教材購入願」を使用し、以下の手続きにしたがって教材を入手してください。また「教材購入願」で購入できる教材は、『通信教育教材』のみです。

スクーリング等で教科書・参考書に指定された『市販教材（市販本）』は丸沼書店又はお近くの書店で購入してください。

1 購入手続

① 窓口手続

「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口（1号館2階）へ提出してください（なるべく釣り銭のないようにしてください）。

② 郵送手続

現金書留又は為替が利用できます。

(1) 現金書留での購入

「教材購入願」と合計金額分の「現金」を現金書留封筒にて会計課宛に送付してください。**その際、必ず釣り銭のないようにしてください。**

注意：普通郵便の中に現金を封入することは、郵便法によって禁止されています。また、郵便事故による補償もありませんので、必ず現金書留を利用してください。

(2) 為替での購入

「教材購入願」と合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を会計課あてに送付してください。

注意：郵便事故防止のため、なるべく簡易書留や特定記録郵便を利用してください。**為替には何も記入せず送付してください。**

※ 「教材購入願」による教材購入の場合、通信教育部の規定により送料が含まれてしまい、本体価格より高額になります。お近くの書店でお求めになることをお勧めいたします。

なお、市販本のISBNは教材要綱（ポータルサイトに掲載）で確認できますので、書店での購入の際にご活用ください。

2 注意事項

① 手続後の変更・取り消しはできません。また、返金もいたしませんので注意してください。

② 教材は大学に登録されている住所へ発送し、**窓口ではお渡ししません。**

教材が手元に届くまでに約1週間要しますので、特にスクーリング、メディア授業で使用する場合は「受講資格審査結果通知書」を確認した後、速やかに購入手続きをしてください。



通学定期乗車券発行控

		年	月	日
学 科	学 年	学 生 番 号		
大 学 院				
フリガナ		性 別	年 齢	才
氏 名		男・女		
現 住 所				
電 話	()			
通学区間	会社線名	駅～	駅	經由
	会社線名	駅～	駅	經由

※記入後、学生課に提出すること。

日本大学通信教育部長 殿

2019年度スクーリング受講に係る通学定期券の使用について

私は、2019年度 以下のスクーリングを受講する予定です。
 つきましては、当該スクーリングを受講しなくなった場合には、学生課に申し出た上、通学定期券の使用を中止いたします。
 なお、万一、不正使用した場合は、学則に基づき処分を受けることを誓約いたします。
 また、本件について、大学から呼び出しされた場合は、その指示に従うことを併せて誓約いたします。

受講スクーリング：

学生番号

氏 名

以 上

日本大学通信教育部長 殿

学割証交付願

下記の事由のため、学割証の交付をお願いします。

記

			年 月 日 申請			
学部		学科（専攻）		学生番号		
氏 名					年齢	歳
現住所 〒 -						
TEL ()						
申請事由（該当箇所に○を記入してください）						
東京スクーリング（ 月期）				卒業論文指導（ 月 日）		
夏期スクーリング（第 期）				総合面接試問		
地方スクーリング（ 月期）			開講地 （ ）	科目修得試験（第 回）		
昼間・夜間スクーリング（ 曜日 時限）				その他（ ）		
乗車区間	自	線 駅		至	線 駅	
乗車日	行	年 月 日		帰	年 月 日	
必要枚数	枚（1枚で往復乗車券購入可能。複数枚の場合は理由を明記すること）					
	※理由					
利用交通機関	鉄道・バス・その他（ ）			受取方法	窓口・郵送	

【注意事項】

- ・鉄道会社等の規定により、科目履修生は学割対象外です。
- ・大学主催行事以外（旅行等個人的事由）には使用できません。
- ・乗車区間が101kmを超える場合に限り発行します。
- ・郵送で受取希望の場合は、返信用封筒（あて名明記、82円切手貼付）を同封してください。
- ・1枚で往復乗車券が購入できます。ただし、学割証の有効期間内に限ります。
- ・この交付願では通学定期券の購入はできません。
- ・乗車日欄に記載の日程が、「有効期間」として学割証に記載され、乗車券を購入できる期間となりますので、購入日等を踏まえて記入してください。

必ず裏面の注意事項を確認してください。

- 併せて提出するもの
- ・発行手数料(為替又は現金書留)
 - ・在学生:学生証の写し/離籍者:公的身分証明書の写し
 - ・返信用封筒(郵送受領の場合のみ)
 - ・一部証明書発行に必要な書類(裏面参照)

証明書交付願

年 月 日申請

所 属	学 部	学 科	学 生 番 号						フリガナ		
正 科 生								氏 名			
科目履修生	科目履修生番号							年 月 日 生			
年 月 日 入学			学 年 編入学			卒 業 ・ 修 了			本 籍 地	都 道 府 県	
年 月 日 再入学			年 月 日 退学・在学中								
現 住 所		〒 — — — — — 携 帯 電 話 — — — — —									
成 績 証 明 書 (単位数・成績を表示)			300 円	通	※ 2 学年修了証明書			300 円	通		
単 位 照 合 票 (在学生のみ発行)			300 円	通	※ 資格試験修了証明 (以下のいずれかに○を付す)			300 円	通		
※ 卒 業 証 明 書			300 円	通	資 格 試 験 名	司書教諭・学芸員 その他 ()					
※ 卒 業 見 込 証 明 書 (平成 年 月)			300 円	通	※ スクーリング出席証明書 (以下を記入すること)			300 円	通		
※ 在 学 証 明 書			300 円	通	年 度	種 別	開 講 地				
※ 退 学 証 明 書			300 円	通	※ 人 物 考 査 書			300 円	通		
注) 教員免許状取得見込証明書 (対象の「証明方法」欄及び右欄に○を付す)				別表第1	注) 教員免許状申請用学力に関する証明書 (対象の「証明方法」欄及び右欄に○を付す)				別表第1		
証明方法 新法 ・ 旧法				別表第4	証明方法 新法 ・ 旧法				別表第4		
教 科		種 類	中 1 種 中 2 種 高 1 種	300 円	通	教 科		種 類	中 1 種 中 2 種 高 1 種	300 円	通
【記入上の注意】 ・教科欄に申請希望の教科をすべて記入し(例:「社会・公民・地歴」), 種類欄は希望種類すべてに○を付すこと。 ・当該証明書を請求する場合は, 別紙「教員免許状取得見込証明書用 確認書」を必ず提出すること。						教 科		種 類	中 1 種 中 2 種 高 1 種	300 円	通
						教 科		種 類	中 1 種 中 2 種 高 1 種	300 円	通
※ 大学院受験用調査書			300 円	通	【記入上の注意】教科欄は1行につき1教科を記入すること。種類欄はいずれかひとつに○を付すこと。						
◎用途(具体的に)必ず記入する											
厳 封 要 ・ 不 要 (希 望 に ○ を し て く だ さ い)						合 計 通 円					
受領方法			登 校 (月 日) ・ 郵 送 (返 信 用 封 筒 を 添 付 (切 手 貼 付) す る こ と)								
※必ず裏面の注意事項を確認し, 了承されましたら, チェックをお願いします。→											<input type="checkbox"/>

注 意 事 項

- ① 郵送での申し込みによる証明書発行までの日数は、返送するまでに約1週間を要します。また、手数料は、現金書留又は為替にて納入してください。窓口で申し込む場合は、申込時に発行日を確認してください（原則は申込から3日後の発行）。申請時に本学通信教育部HP又はポータルサイトにて事務取扱日時を確認の上、期限内に余裕をもって申請してください。
- ② 郵送での請求の場合、学生証（離籍者は運転免許証・パスポート・健康保険証等の公的身分証明書）のコピーを同封してください（コピーが同封されていない場合は、本人確認をしてから受理することとなりますので、証明書発行に時間がかかります）。また、窓口での手続の場合は、申請時及び受取時に学生証または公的身分証明書を提示してください。
また、身分証明書として「マイナンバーカード」は、原則として使用できません。不明な点は、教務課へ確認してください。
- ③ 「英文証明書」の場合には、この交付願ではなく、所定の用紙にて手続きが必要となります。本学通信教育部HP又はポータルサイトに掲載している「英文証明書作成依頼書」にて請求をしてください。
- ④ ※印の証明書は科目履修生には発行しておりません。また、主な証明書の種類及び発行条件は以下のとおりです。

種類	発行条件
成績証明書	最低1科目は修得済みであること。
単位照合票	在籍中であること。
※卒業証明書	本学を卒業していること。
※退学証明書	大学からの退学許可通知又は除籍通知を受け取っていること。
※在学証明書	請求時に年度授業料等を納入していること（スクーリング受講料ではない）。
教員免許状申請用学力に関する証明書	最低1科目は修得済みであること。
※卒業見込証明書	A) 4学年であること。 B) 3月卒業の場合、前年の4月1日現在で80単位以上、若しくは10月1日現在で90単位以上修得していること。 C) 9月卒業の場合、前年の10月1日現在で80単位以上、若しくは当年の4月1日現在で90単位以上修得していること。 D) 希望する時期の卒業手続を行っていること。
教員免許状取得見込証明書	・4学年であること。 ・別紙「教員免許状取得見込証明書用確認書」を必ず提出すること。
※2学年修了証明書	A) 本学通信教育部に2年以上在籍していること。 B) 総合教育科目20単位、外国語科目いずれか1外国語8単位（文学専攻（英文学）は英語10単位）、保健体育科目2単位（保健体育講義1単位、体育実技1単位）、専門教育科目を含めて合計62単位以上修得済みであること。
※スクーリング出席証明書	該当するスクーリングの受講料を納入済みで、受講が終了していること。
※人物考査書	教員採用試験受験の際、教育委員会から請求があった場合のみ発行します。発行ができるか確認しますので、申請の際、教務課担当者に確認してください。
※大学院受験用「調査書」	各大学の所定の用紙を添付してください。発行ができるか確認しますので、申請の際、教務課担当者に事前に確認してください。

- ⑤ 「教員免許状取得見込証明書」を申請する場合は、別紙「教員免許状取得見込証明書用 確認書」を必ず提出してください。記載内容に不備があった場合、提出がない場合は発行できませんので十分注意してください。
- ⑥ 「教員免許状取得見込証明書」の取得見込年月日は、前期生は3月31日、後期生は9月30日となりますが、後期生で3月31日付けでの取得見込年月日記載を希望する学生は、その旨を明記してください。ただし、その場合は、年度授業料納付後の10月1日以降に発行可能となります。
- ⑦ 「教員免許状申請用学力に関する証明書」を申請する場合、教科（国語・社会など）、種類（中1・高1など）を明記してください（1教科であっても2種類の場合は2通扱いとなります）。
- ⑧ 郵送で証明書を受領する場合は、「返信用切手」を貼付した「返信用封筒」（自己の郵便番号、住所、氏名を明記）を添付してください。返送料（普通郵便）は下表を目安にしてください。なお、封筒（切手貼付）の添付がない場合は、教務課で保管することとなりますので、注意してください。

	2通まで	3～5通	6～10通	11～20通		4通まで	5～10通	11～20通
厳封あり	82円 〔定形〕	92円 〔定形〕	140円 〔定形外〕	205円 〔定形外〕	厳封なし	82円 〔定形〕	92円 〔定形〕	140円 〔定形外〕

注：「教員免許状申請用学力に関する証明書」又は「教員免許状取得見込証明書」を申請する場合、証明方法欄のいずれかに必ず○印を付し、別表第1（初めての申請）又は別表第4（他教科申請）の区別も必ず○印を付してください。誤って記入した場合、確認に時間を要し、免許状申請等ができない場合がありますので、留意してください。

休暇依頼状(勸奨状)申込書

スクーリング受講のため、休暇依頼状（勸奨状）の発行をお願いいたします。

年 月 日 申請

申 込 者	学 部							学科(専攻)		
	学 生 番 号							学 年		
	氏 名									
	日中連絡先 電 話 番 号									
	勤 務 先 正 式 名 称									
	所 属 部 署									
受 講 す る ス ク ー リ ン グ	種 別							開 催 地		
	受 講 期 間									
提 出 先	勤 務 先 正 式 名 称									
	代 表 者 代 表 職 名									
	代 表 者 氏 名									

【注意事項】

- *スクーリング受講許可後に発行します。
- *勤務先に対してのみ発行します。
- *提出先には勤務先の代表者名を記入してください。
- *休暇依頼状に記載する受講期間は、スクーリング開講期間となります。
- *送付先を明記した返信用封筒（長形3号・82円切手貼付）を必ず同封してください。
- *複数のスクーリングで発行を希望する場合には、この用紙をコピーして使用してください。

庶務課受付印

庶務課受付印

② 校舎案内

市ヶ谷キャンパス

【所在地】〒102-8005 東京都千代田区九段南 4-8-28



JR 中央・総武線（各駅停車）市ヶ谷駅下車 徒歩3分

都営地下鉄新宿線，東京メトロ有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 A2 出口から 徒歩2分

水道橋キャンパス

【所在地】〒101-8375 東京都千代田区神田三崎町 2-3-1

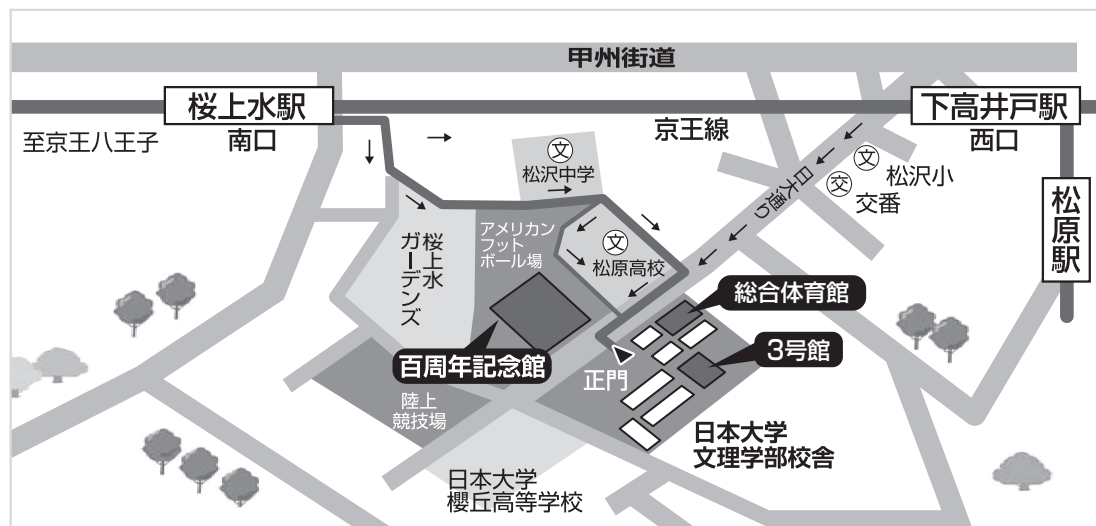


JR 中央・総武線（各駅停車），都営地下鉄三田線 水道橋駅東口から 徒歩3分

都営地下鉄三田線・新宿線，東京メトロ半蔵門線 神保町駅 A4 出口から 徒歩5分

世田谷キャンパス

【所在地】〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40



京王線下高井戸駅 又は、桜上水駅から 徒歩約 10 分

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

スクーリング手続 チェックシート

このシートは、受講届の記入からスクーリングを受講するまでの確認用です。

チェック項目	参照
◆受講届の記入	
<input type="checkbox"/> 希望する科目の履修登録は済んでいますか	IV-2 履修登録をする表紙（履修登録締切日）
<input type="checkbox"/> 申し込む「受講届」用紙の選択に間違いはありませんか	巻末「受講届」
<input type="checkbox"/> <input type="text"/> 内の必要事項の記入漏れはありませんか (講座コード・講座名・充当科目コード・学生番号・氏名・電話番号)	IV-3 講座を申し込む ◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 講座コード・講座名・充当科目コードは一致していますか	◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 希望科目の受講条件は満たしていますか (配当学年・適用カリキュラム・その他受講条件)	II-3 「開講講座表」の見方 ◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 申し込む開講期、開講地、開講曜日は間違っていないですか	◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 修得済科目を申し込んでいませんか	・単位照合票 ・単位修得状況確認 (ポータルサイト)
◆併用	
<input type="checkbox"/> 併用希望科目のレポートは、必要通数分を期限内に提出していますか	IV-1 受講手続の流れ表紙（レポート提出締切日）
◆受講届の提出	
<input type="checkbox"/> 提出締切日に間に合いますか (郵送の場合は締切日消印有効)	表紙（受講届提出締切日） IV-3 講座を申し込む
<input type="checkbox"/> 〈推奨〉申込内容の控えはありますか（受講届のコピー）	
<input type="checkbox"/> 申込完了のメールは届いていますか（ポータルサイトからの申込の場合のみ）	
<input type="checkbox"/> 〈推奨〉特定記録郵便で発送しましたか	IV-3 講座を申し込む
◆受講料の納入	
<input type="checkbox"/> ポータルサイト「スクーリング・メディア情報一覧」又は、受講資格審査結果通知の内容と振込用紙の内容に間違いはありませんか	V-1 受講資格審査結果通知を確認する
<input type="checkbox"/> 受講料の納入期限は厳守していますか	VI 受講料の納入



各種連絡先

- | | |
|---------------------------------------|--|
| ○スクーリングの手續等に関する事項
教務課 03-5275-8911 | ○各種学修相談に関する事項
学修支援センター 03-5275-8857 |
| ○受講料の振込に関する事項
会計課 03-5275-8925 | ○通学定期・学割に関する事項
学生課 03-5275-8921 |
| ○教材（教科書）に関する事項
研究事務課 03-5275-8890 | ○休暇依頼状（勸奨状）に関する事項
庶務課 03-5275-8901 |

DISTANCE LEARNING DIVISION, NIHON UNIVERSITY

〒102-8005 東京都千代田区九段南4-8-28 日本大学通信教育部